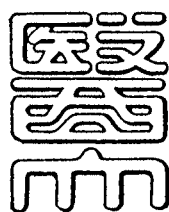


日本医科大学研究業績年報

第 35 卷

Nippon Medical School Research Annual

Vol. 35



昭和63(1988)年度

April 1988 ~ March 1989

日本医科大学研究業績年報

第 35 卷

Nippon Medical School Research Annual

Vol. 35

昭和63(1988)年度

April 1988 ~ March 1989

ま え が き

学 長 菊 地 吾 郎

昭和 29'(1954) 年発刊以来の「日本医科大学研究業績集」が、新形式の「日本医科大学研究業績年報」と改められてから、3 年目を迎えた。「年報」形式となってからは、年度毎の研究業績の集録に加えて、各研究室の研究の意図や活動状況を簡潔に述べていただいているが、この形式が今ではしっかりと定着したようである。

今回、その昭和 63 (1988) 年度版 (第35巻) を刊行するに当たって、本学の研究活動が着実に前進し、見られるように沢山の研究成果が得られたことを喜びたい。各研究室からの報告には、多年にわたる継続的な研究の歴史が織り込まれた重厚なものもあろうし、新しい研究の芽生えを告げる若々しいものもあるかと思う。この年報によって、お互いに学内の現在の研究状況をよりよく知ることができ、共同研究の機運がさらに促されるなど、本学の研究活動が一層活発になることを期待したい。

本年報には医学専門の分野だけでなく、基礎科学課程の先生方の報告が組み入れられていることが一つの特徴であろうと思う。本学では 6 年一貫の教育体制をとっているが、その姿勢がこの年報にも具体的に表現されているわけである。私個人も、人文・社会など、普段は縁遠くなっている分野の様子を垣間見ることができ、また基礎科学の先生方の考え方や問題意識、さらには価値観などがうかがえて、楽しく拝見させていただいている。医科大学ではとかく単一の価値観に傾きやすく、特に実学的な医学の必然として効率主義に流れやすいのであるが、その中で基礎科学を持つことの意義は大きいと思う。本学では数年来、「ゆとりのある教育」を目指しているが、それは一面では心の解放と豊かさを求めることにも通じているのではないか。

研究にとって最も貴重なものは、言うまでもなくオリジナリティである。そのためには発想の新しさだけでなく、自身の問題を追究し続ける地道な努力が必要である。これは基礎的な研究でも開発的な研究でも変わりはない。経験のある研究者なら誰でも実感していることと思うが、研究の途中で時として心が弱ったり迷ったりすることがあっても、長く手がけていれば蓄積も多くなっているので、必ず次の展開の仕方が見えてくるものである。実際にはこのような過程で、研究は研究者自身の自己評価と時代感覚に磨かれて、自己主張を持った、現代性のある研究に育って行くのであり、研究者もまたそれによって逞しさを身につけて行くように思う。この年報はある意味では研究者のそのような軌跡の記録であるとも言えよう。

本年報の編集に当たられた研究委員会委員長横室公三教授をはじめ、編集実務を担当された事務部研究課の方々、および原稿を執筆された諸先生に、深く感謝の意を表したい。

目 次

〔1〕基礎科学

1. 人文科学・社会科学	1
〔国文学〕	1
〔哲学・倫理学〕	1
〔心理学〕	2
〔歴史学〕	3
〔社会学〕	4
〔法 学〕	5
2. 自然科学	6
〔数 学〕	6
〔物理学〕	8
〔化 学〕	10
〔生物学〕	11
3. 外国語	12
〔英 語〕	12
〔ドイツ語〕	13
〔フランス語〕	14
4. 保健体育	15
〔保健体育〕	15

〔2〕基礎医学

1. 第一解剖学講座	19
2. 第二解剖学講座	21
3. 第一生理学講座	23
4. 第二生理学講座	25
5. 第一生化学講座	26
6. 第二生化学講座	28
7. 薬理学講座	31
8. 第一病理学講座	33
9. 第二病理学講座	39
10. 微生物学・免疫学講座	43
11. 衛生学・公衆衛生学講座	46
12. 法医学講座	49
13. 基礎医学共同研究利用施設	52
〔実験動物管理室〕	52
〔中央電子顕微鏡研究施設〕	54
〔基礎医学情報処理室〕	56

〔3〕 臨床医学

1. 第一内科学講座	61
〔付属病院第1内科〕	61
〔付属病院老人科〕	77
〔第二病院内科〕	80
〔多摩永山病院内科〕	81
2. 第二内科学講座	86
〔第一病院内科〕	86
〔第一病院理学診療科〕	98
3. 第三内科学講座	103
〔付属病院第3内科〕	103
4. 精神医学講座	113
〔付属病院神経科・第一病院神経科〕	113
5. 小児科学講座	118
〔付属病院小児科・多摩永山病院小児科〕	118
〔第一病院小児科〕	122
〔第二病院小児科〕	125
6. 放射線医学講座	127
〔付属病院放射線科〕	127
〔第一病院放射線科〕	131
〔第二病院放射線科〕	135
〔多摩永山病院放射線科〕	138
7. 皮膚科学講座	140
〔付属病院皮膚科〕	140
〔付属病院形成外科〕	140
〔第一病院皮膚科〕	140
〔第二病院皮膚科〕	140
8. 臨床病理学講座	150
〔付属病院臨床病理科〕	150
9. 第一外科学講座	157
〔付属病院第1外科〕	157
〔多摩永山病院外科〕	169
10. 第二外科学講座	171
〔第一病院外科・付属病院胸部外科〕	171
〔第一病院内視鏡科〕	186
〔第二病院外科〕	188
11. 脳神経外科学講座	192
〔付属病院脳神経外科〕	192
〔多摩永山病院脳神経外科〕	198

12.	整形外科学講座	199
	[付属病院整形外科・第一病院整形外科・第二病院整形外科・多摩永山病院整形外科]	199
13.	産婦人科学講座	205
	[付属病院産婦人科]	205
	[第一病院産婦人科]	213
	[第二病院産婦人科]	216
	[多摩永山病院産婦人科]	218
14.	耳鼻咽喉科学講座	223
	[付属病院耳鼻咽喉科]	223
	[第一病院耳鼻咽喉科]	228
	[第二病院耳鼻咽喉科]	229
	[多摩永山病院耳鼻咽喉科]	230
15.	泌尿器科学講座	231
	[付属病院泌尿器科]	231
	[第一病院泌尿器科]	236
	[第二病院泌尿器科]	239
16.	眼科学講座	242
	[付属病院眼科・第一病院眼科・第二病院眼科・多摩永山病院眼科]	242
17.	麻酔科学講座	245
	[付属病院麻酔科]	245
	[第一病院麻酔科]	247
	[第二病院麻酔科]	251
	[多摩永山病院麻酔科]	252
18.	救急医学講座	253
	[付属病院救命救急センター]	253
19.	付属病院付置施設等	263
	[付属病院集中治療室]	263
	[付属病院病理部]	267
	[付属病院中央検査部]	270
	[付属病院薬剤部]	271
20.	第一病院付置施設等	272
	[第一病院人工透析室]	272
	[第一病院中央検査室]	273
21.	第二病院付置施設等	273
	[第二病院健康管理科]	273
	[第二病院病理部]	274
	[第二病院中央検査室]	276
	[第二病院薬剤科]	276
22.	多摩永山病院付置施設等	277
	[多摩永山病院救命救急センター]	277

〔多摩永山病院病理部〕	277
〔多摩永山病院中央検査室〕	279
〔多摩永山病院薬剤科〕	279
〔多摩永山病院看護部〕	280
〔 4 〕 付置研究施設	
1. 老人病研究所	285
2. ワクチン療法研究施設	287

〔 1 〕 基 礎 科 学

1. 人文科学・社会科学

[国文学]

研究概要

昭和63年度も前年に引き続き、文学にあらわれた日本人の思想と生活を中心に研究を進めた。

その1、古代伝承とそれを支える基層文化との関連について。日本に古くから伝わる白鳥説話を取り上げてみると、それは稲作文化と焼畑文化に大きく関わるものであり、さらに鉄産出の金属文化との複合文化基盤の上に成り立つものであることが指摘できた。従来、日本文化の基層としては、稲作農耕文化・焼畑耕作文化のほうに重点が置かれたが、金属文化との複合を無視することはできない。

その2、古代の伝説が、近代・現代の日本人の心にどのように継承され、復活しているか、伝統とその継承の問題。研究対象として『万葉集』の中の浦島伝説歌、葦屋の菟原処女（うないおとめ）伝説歌などを取り上げ、それが中古の物語、中世の能や御伽草子、近世の歌舞伎を経て、鷗外・漱石に受けつがれるまでを追った。鷗外は、浦島太郎に、竜宮の歓楽と乙姫を捨てて現世の事業に生きるという新しい人間像を与えた（『玉篋両浦嶋』）。これには、ゲーテの影響が大きい。また、複数の男性に求婚され、決しかねて投身する菟原処女に、運命の存在を悟らせ、迷いから脱けて死への道を生きさせている（『生田川』）。漱石は『草枕』において、水死する万葉おとめとオフエリヤのイメージを重ねて「那美さん」を創造した。水は浄化と再生・復活の力をもつ。その水に触れることによって、漱石は自己の内面の苦悩からの脱出を試みた。この考察結果は授業に用い、学生のレポートとなって結実した。

そのほか、併行して古典芸能の調査・研究を続けた。日頃、伝統文化に触れる機会の少ない学生達が、興味を持って接することのできるよう、現代の視点から伝統文化を改めて見直す作業を続けている。

研究業績

学会発表

- 1) 福島千賀子：〔一般講演〕白鳥説話と鍛冶。日本口承文藝学会第12回大会，1988。

[哲学・倫理学]

研究概要

- 1) 現在取り組んでいるテーマは全体としては「弁証法の成立史研究」と総括できるが、直接には1800年前後の「自然哲学」（シェリング・ヘーゲル・ゲーテを中心としてその周辺——ロマン主義的自然哲学と概括されるもの——を含む）の内実の解明とその理論的検討である。なぜ自然哲学かと言えば、理由は二つある。一つは、弁証法理解に関わるが、弁証法を思考・論理法則としてのみ理解するのではなく、実在の論理として理解していること。二つには、「歴史」の問題が近代哲学史上様々に論じられてきているが、体系的認識として問題になったのは、この「自然哲学」においてであるということ。1800年前後の自然哲学の研究は、これまで、また今日、東西ドイツを中心にかなり行われているが、日本ではほとんど行われず、不毛の分野とされてきた（例えば、科学史のほうでもこの時期を回避しているし、シェリング自然哲学に関しては、これまで五篇程度しか研究論文がない）。したがって資料的研究が一つの中心になっている。現在の課題は以下のとおりである。①資料的研究・当時の原テキストおよび研究文献の収集とパソコンによる整理とテキスト・データベース作成、②当時の文献の翻訳・紹介、③自然哲学の内実の分析と理論的全体像の解明。昨年12月自然哲学研究会（事務局責任者・長島）が結成され、今年から年2回「自然哲学研究」が発行されることになった。ここにも成果の一端が現われる予定である。

- 2)「生命倫理」の問題に取り組んでいるが、この問題は倫理学上では、まだ問題の所在・論点の整理・欧米の体験の吸収の段階であり、学としての可能性がそもそも問題である(学というより社会問題)。それでこの問題については、現在、問題群の整理を行っているのが現状である。講義でもこの問題を扱っているが、そこでは論点を提示し、問題を各人に考えてもらうにとどめ、倫理学の講義は基本的考え方を習得することを中心としている。

研究業績

論文

- 1) 長島隆：〔原著〕シェリングと「哲学批判雑誌」. ヘーゲル研究, 6, 93~94, 1988.
- 2) 長島隆：〔原著〕シェリングの「ポテンツ」論;ポテンツ論と弁証法. 日本医科大学基礎科学紀要, No. 9, 69~84, 1988.
- 3) 長島隆, 北沢恒人¹⁾(¹⁾千葉大教養)：〔翻訳〕F.W.J. シェリング著「自然哲学の哲学一般に対する関係について」. ヘーゲル研究, 6, 95~113, 1988.
- 4) 北沢恒人¹⁾, 長島隆(¹⁾千葉大教養)：〔翻訳〕F.W.J. シェリング「芸術哲学講義草稿」1802/1803年序論および第一部第一章. 日本医科大学基礎科学紀要, No. 9, 85~105, 1988.

学会発表

- 1) 長島隆：〔一般講演〕ポテンツ論と人倫的自然. ヘーゲル研究会 6 月例会, 1988.
- 2) 長島隆：〔一般講演〕シェリングの「ポテンツ」論. 日本倫理学会第40回大会, 1988.
- 3) 長島隆：〔一般講演〕1770~1810年自然哲学テキスト・データベース作成に関する中間報告. ヘーゲル研究会12月例会, 1988.

[心理学]

研究概要

昭和63年度も当教室の主課題である「環境と人格形成」についての研究を引き続き行った。この課題は、①埼玉県秩父地域の基礎的な聞き取り調査資料を基とした、精神衛生・精神病理学的研究、②さらにこれらを基にしたの人格理論の構成、③この理論の応用としての心理検査の開発に大別でき、現在までそれぞれの領域ごとに発表してきた。

本年度はこの中③として、われわれによって開発された色彩選択テスト(CCT)を使用しての業績の一部を発表した。近年心理学会においてこのテストの有効性が認められてきたのを契機に、テストの成立経過と問題点、ならびに将来像に対する見通しを、シンポジウムで述べ、他演者の CCT を利用しての基礎的研究との関連を図った。国際心理学会での発表ならびに基礎科学紀要の関連論文も、この一部に当たる。

その他の発表は上記①と③に属し、いずれも②の理論構築の基礎資料としての補充ともなるものである。このうち宗教感情についての発表の一部は、新聞紙上にも紹介されたほどのジャーナリスティックな内容をもっていた。

今後のわれわれの研究は②に属するものとして、理論的に整備された仮説設定を前面に出して、①の資料の解釈学の可能性を追究するとともに、③の発展を期待しているのであるが、後者は基礎心理学的にはもちろん、文化人類学の上でも可能性があるものと思っている。

研究業績

論文

- 1) 藤岡新治¹⁾, 伊藤末博, 丸山芳也(¹⁾専修大学)：〔原著〕色彩選択テストにおける N-P scale ならびに D scale の作成. 日本医科大学基礎科学紀要, No. 9, 15~30, 1989.

- 2) 丸山芳也, 藤岡新治¹⁾, 伊藤末博 (¹⁾専修大学) : [原著] A cross-cultural study of Japanese and Thai university students using the color choice test. 日本医科大学基礎科学紀要, No. 9, 31~41, 1989.

学会発表

- 1) Maruyama, Y. : [シンポジウム] A comparative study of Japanese and Thai university students using the color choice test (Thema: Biological and cultural factors in color categorization). XXIV International Congress of Psychology (Sydney), 1988.
- 2) 丸山芳也, 伊藤末博: [シンポジウム] 異文化間のカラー・シンボリズム. 日本心理学会第52回大会, 1988.
- 3) 伊藤末博, 丸山芳也: [一般講演] 精神障害者の社会復帰と地域に関する研究(2). 第53回日本民族衛生学会総会, 1988.
- 4) 堀口久五郎¹⁾, 野村俊明²⁾, 伊藤末博, 丸山芳也 (¹⁾東洋大生, ²⁾日医大生): [一般講演] 地域研究における宗教感情の調査(2). 第53回日本民族衛生学会総会, 1988.

[歴史学]

研究概要

長年月にわたって史料収集, 調査, 研究してきたこと三種の結果が, 1988年, ようやく結実しかかったかの感がある。

第一は, 約30年間も研究対象にしてきた鎌倉北條氏関係である。拙著『鎌倉北條氏の基礎的研究』(吉川弘文館刊)が二度目の重版を重ね, 拙著『鎌倉北條一族』(新人物往来社刊)も, 本年, 重版になった。鎌倉北條氏所領を網羅した表は, 『国史大辞典』に収録された。

第二は, 17年間いじってきた日本医師史関係である, 『日本史の研究』に連載したが, 400字詰原稿用紙200枚という紙数制限があるため, 委曲を尽くし難いうらみは残った。現代, 最現代をも含めて, 将来, 新訂増補して刊行したいと思っている。

第三は, 過去数年間行ってきた清和源氏の家系調査である。これがほぼ結実して, 原稿用紙3,000枚を書きおろしたが, 1988年度中には, 1巻と2巻の2冊だけが刊行された。残り4冊が1989年中に刊行されれば, 全6巻本になる予定である。

1988年中は, 重版にさいしての新訂増補があり, 以上の原稿の書きおろしで多忙をきわめたが, その間, 「実践姓氏講座」を1年間, 『歴史読本』(新人物往来社)に連載したほか, 「日本合戦史」を『私大進学』(ライオン社)に一年間にわたって連載した。

このほか, 文京区社会教育課による「吾妻鏡を読む」も順調に進み, 1988年12月で満五周年を迎えたほか, 新宿および横浜の朝日カルチャー・センターでの「吾妻鏡を読む」, 「日本古代史概説」, 「鎌倉幕府の歴史」, 「鎌倉の古戦場」なども, 成人対象に行っている。

なお, 伊豆の現地調査の結果は, まだ成本にはならないが, 千葉県白浜町の現地調査の結果は, 近世史料集の第4巻となっている。

研究業績

論文

- 1) 奥富敬之: [原著] 恵源太義平. 群馬風土記, 3巻, 34~40, 1988.
- 2) 奥富敬之: [原著] 室町時代の諸戦乱. 歴史と旅, 15巻2号, 170~183, 1988.
- 3) 奥富敬之: [原著] 日本医師史概要 [I] 原始—巫医の時代. 日本史の研究, 394号, 37~47, 1988.

- 4) 奥富敬之：〔原著〕源頼朝の東国独立戦争。歴史と旅，15巻10号，56～63，1988.
- 5) 奥富敬之：〔原著〕日本医師史概要．〔Ⅱ〕 古代一官医の時代．日本史の研究，397号，38～49，1988.
- 6) 奥富敬之：〔原著〕日本医師史概要．〔Ⅲ〕 中世一僧医の時代．日本史の研究，400号，42～52，1988.
- 7) 奥富敬之：〔原著〕実践姓氏講座 1～12．歴史読本，33巻，1月号～12月号，1988～1989.
- 8) 奥富敬之：〔原著〕日本医師史概要〔Ⅳ〕 近世・近代一儒医・洋医の時代．日本史の研究，403号，38～51，1989.
- 9) 奥富敬之：〔原著〕『源平盛衰記』に見る武田党．新定源平盛衰記 2巻，7～8，1989.

著 書

- 1) 奥富敬之：〔分担〕岩松氏．『室町幕府守護職家事典（上）』，p.187～204，新人物往来社，1988.
- 2) 奥富敬之：〔分担〕『新版日本史』（12，13，14，15，16章）．p.108～148，育英堂，1988.
- 3) 奥富敬之：〔分担〕『話題源歴史』（5項目）．p.43～93，東京法令出版，1988.
- 4) 奥富敬之：〔監修・分担〕承久の乱，執権政治，寛元宝治の乱．『戦乱の日本史（4巻）』東国武士の覇権，p.17～49，第一法規出版，1988.
- 5) 奥富敬之：〔分担〕中世先代の乱，四條畷の合戦．『戦乱の日本史（5巻）』南北朝の内乱，p.41～85，第一法規出版，1988.
- 6) 奥富敬之：〔監修・共編著〕『安房白浜町近世史料集〔Ⅳ〕』下立松原神社文書（1）．千葉県白浜町（新人物往来社），1988.
- 7) 奥富敬之：天皇家と多田源氏．『清和源氏の全家系〔Ⅰ〕』，新人物往来社，1988.
- 8) 奥富敬之：〔分担〕北條泰時．『鎌倉武士』，p.175～212，経済界，1988.
- 9) 奥富敬之：〔分担〕『日本大百科全書』（全25巻）（約30項目）．小学館，1988.
- 10) 奥富敬之：〔分担〕山名氏．『室町幕府守護職家事典（下）』，p.385～407，新人物往来社，1988.
- 11) 奥富敬之：奥羽戦乱と東国源氏．『清和源氏の全家系〔Ⅱ〕』，新人物往来社，1988.
- 12) 奥富敬之：〔分担〕『基礎明解日本史』（9，10，16，17章）．旺文社，1988.

学会発表

- 1) 奥富敬之：〔一般講演〕愛育村医療活動の一事例；神奈川県中郡高部屋村．第89回日本医史学会総会，1988.
- 2) 奥富敬之：〔特別講演〕鎌倉幕政三転考．鎌倉市教育委員会・神奈川県歴史研究会，1988.
- 3) 奥富敬之：〔特別講演〕鎌倉北條氏．熱田神宮文化講座，1988.
- 4) 奥富敬之：〔特別講演〕畠山重忠と北條氏．嵐山町先賢顕彰会，1988.

〔社会学〕

研究概要

人間と社会との関係を視座し，まずコミュニケーション科学の観点から社会構造をタテ割りにカット分析をほどこし，関連する政治，経済，法の社会構造等の領域である隣接諸科学の分野をヨコに切りながら，現代社会における実践と検証の有効な理論を導きだし価値判断を考究することを目的とした研究が，本教室ではここ数年にわたって進められてきた。

上記に示した主な研究課題は次の領域である。

- 「世界を動かした主な指導者の“力”の理論と現代的諸問題」～ナポレオン、ヒットラー、オニール、キング牧師 他～
- 「Introduction to the International Seaport's Socio-Cultural Communication」～Japan, U.S.A., Canada, England, West

Germany etc.～

- 「国際貿易都市，米国ポートランド・ポートオーソリティーと社会文化の変遷」；その①，ポートランド，ポートオーソリティーとオレゴン州の歩み，②ポートランド市と社会文化，③太平洋西部沿岸地域の港湾都市と社会文化の3点について執筆中．月刊誌『港運』に掲載予定．
- 「港湾労働者の健康管理システムの現状と沿革ならびに将来の展望について」——(株)日本港湾福利厚生協会と東京港診療所を中心として——『港湾労働経済研究』年報 No. 20に掲載執筆中，平成二年二月刊行．
- 「アメリカ憲法の現代的諸問題と国際社会へ及ぼした影響力」～200年の歴史から生まれた生命の判例を中心として～
- 『話題源英語』各界の専門畑から眺めた単語別話題編を本教室（荒木）は“アメリカ・ポートランド国際港湾都市の“ミナトと社会文化”について執筆，平成元年5月に出版．東京法令出版社刊．

[法 学]

研究概要

近時，医事紛争が多発し，これとともに医事裁判が増加する傾向をたどり，示談や調停によってこれが解決される例はさらに多きにのぼっている．

医師は医業を行うにあたって個人開業医や勤務医として医療に従事し，また病院や診療所の開設者や人的物的設備の管理者となり，あるいは，医療法人の役員に就任することもある．そして，その中にあって，医師は，多数の患者をはじめ医療従事者やその他の関係者，さらには医療機器をはじめとする病院等の施設との関係を拒むことはできない．

このような立場にある医師が日常，遭遇しうる法律問題，たとえば，医療過誤による損害賠償や刑事責任等に関連する諸問題等を具体的事例に則し法律相談形式にまとめて，検討する．そして，これに関する法律や判例を踏まえながら，単に抽象的な法律理論に偏することなく，法律実務上の妥当な解決方法を研究しようとするものである．

（遠藤 寛）

研究業績

論 文

- 1) 遠藤寛：「まやかし療法」との記事掲載による患者激減の賠償と名誉回復は求められるか（医療法律相談第25回）．新医療，4月号，124～125，1988．
- 2) 遠藤寛：不渡り手形を乱発した医療法人に名前を貸した理事の賠償責任は（医療法律相談第26回）．新医療，5月号，146～147，1988．
- 3) 遠藤寛：医療法人設立準備中の債務は，法人不成立でも発起人が支払うべきか（医療法律相談第27回）．新医療，7月号，130～131，1988．
- 4) 遠藤寛：病院共同経営の解消を申し入れられた場合の法律上の処理方法について（医療法律相談第28回）．新医療，8月号，128～129，1988．
- 5) 遠藤寛：病院の借入金の保証人となった院長はどのような立場におかれるか（医療法律相談第29回）．新医療，9月号，136～137，1988．
- 6) 遠藤寛：病院職員が病院に損害を与えた場合の身元保証人の責任（医療法律相談第30回）．新医療，10月号，140～141，1988．
- 7) 遠藤寛：借地上の木造の病棟を鉄筋のビルに建てかえる際，地主の承諾は必要か（医療法律相談第31回）．新医療，11月号，136～137，1988．

- 8) 遠藤寛：盗まれた乗用車が人身事故を起こした場合，持主に損害賠償の義務はあるか（医療法律相談第32回）．新医療，12月号，142～143，1988.
- 9) 遠藤寛：泥酔患者の死亡に対する医師の過失と損害賠償責任①（医療法律相談第33回）．新医療，2月号，146～147，1989.
- 10) 遠藤寛：泥酔患者の死亡に対する医師の過失と損害賠償責任②（医療法律相談第34回）．新医療，3月号，136～137，1989.

2. 自然科学

〔数 学〕

研究概要

三宅：数学教育学会，医療情報学会を通じて医大数学での情報科学への対応（特にパソコン）を考究している．多変量解析（特に最適線形判別関数）とともに，Fussy 理論の研究を始めた．確率とは別に「あいまいさ」という概念を数学的に定式化し，集合論という基礎理論に反省を加えるとともに，医療分野を含めた応用面にも実績をあげている．

伊藤：生体の制御系，情報処理系の研究は，工学，医学いずれの立場からも重要なテーマである．デジタル・コンピュータの限界を越えることが期待されるニューロ・コンピュータ等にもみられるように中枢神経系に対する興味が高まっている．生理的状态下での中枢神経の挙動を，放射性物質で標識した受容体親和物質の集積離散に基づいて，数学的，工学的に解明する方法がある．現在は主にドーパミン系ニューロンを対象としている．

儀我：前から続けてきた局所コンパクト空間における抽象ボランシャル論と半群理論の研究に少し結果をつけ足した．今後も半群理論の放物型方程式への応用の研究をしたいと考え，解析的半群，作用素等を勉強している．

飯田： R^n の有限格子点に n 彩色を施した時，各座標軸に平行な直線上の色の数の不均等さに関すること．特に， R^n の各座標軸に並行な直線上で彩色されている点の数が， o かまたは n である時，ある種の彩色に対しては不均等さを o にできるのではないかという予想について研究している．

渡辺：素粒子の物理的性質は，「場の理論」と呼ばれる数学的形式で記述される．しかし場の理論は，いまだ数学として完全に成立した分野ではなく，言わば幼児期に当たる．この理論を数学的に厳密に構成する努力が数多くの人々によってなされているが，この数年私もこの種の仕事に携わってきた．下の論文は，3 次元 ϕ^4 理論と呼ばれる場の理論の model が相対論的不変性を持つことの数学的証明を与えている．

研究業績

論 文

- 1) 三宅章彦：〔総説〕統計入門；記述統計．メディカル・パソコン，3，419～423，1988.
- 2) 三宅章彦：〔総説〕統計入門；母平均の推定と検定．メディカル・パソコン，3，500～503，1988.
- 3) 三宅章彦：〔総説〕統計入門；母分散の推定と検定．メディカル・パソコン，3，604～607，1988.
- 4) 三宅章彦：〔総説〕統計入門；等平均の検定．メディカル・パソコン，3，720～723，1988.
- 5) 三宅章彦：〔総説〕統計入門；等分散の検定．メディカル・パソコン，3，806～810，1988.
- 6) 三宅章彦：〔総説〕統計入門；ノンパラ（Ⅰ）符号検定．メディカル・パソコン，3，904～907，1988.
- 7) 三宅章彦：〔総説〕統計入門；ノンパラ（Ⅱ）順位和検定．メディカル・パソコン，3，1000～1004，1988.

- 8) 三宅章彦：〔総説〕統計入門； 2×2 分割表. メディカル・パソコン, 3, 1089~1092, 1988.
- 9) 渡辺信¹⁾, 金本良通²⁾, 三宅章彦, 志田仁男³⁾ (¹⁾桐陰高専, ²⁾福島大学, ³⁾多摩市立永山中学)：〔報告〕ICME 6 第2回5ヶ国数学国際会議報告書；Introducing Technology into the Classroom. 数学教育学会研究紀要, 1988臨時増刊, 9~11, 1988.
- 10) 三宅章彦：〔報告〕ICME 6 第2回5ヶ国数学国際会議報告書；Service Mathematics II. 数学教育学会研究紀要, 1988臨時増刊, 28~29, 1988.
- 11) 橋本謙二¹⁾, 井上修治²⁾, 伊藤高司, 五郎丸毅¹⁾, 山崎統四郎²⁾ (¹⁾福山大学薬学部, ²⁾放射線医学総合研究所)：〔原著〕血中遊離リガンド濃度の迅速測定及びベンゾジアゼピンレセプター活性の定量解析に関する研究. 核医, 25, 1235~1243, 1988.
- 12) 三宅章彦：〔総説〕統計入門； $m \times n$ 分割表. メディカル・パソコン, 3, 1165~1169, 1988.
- 13) 渡辺浩：〔原著〕Block spin approach to ϕ^4 field theory. Journal of Statistical Physics, 54, 171~190, 1989.
- 14) 三宅章彦：〔総説〕統計入門；単回帰分析. メディカル・パソコン, 4, 66~70, 1989.
- 15) 三宅章彦：〔総説〕統計入門；重回帰分析. メディカル・パソコン, 4, 145~151, 1989.
- 16) 伊予雅臣¹⁾, 山崎統四郎¹⁾, 福田寛¹⁾, 井上修¹⁾, 鈴木和年¹⁾, 篠藤仁¹⁾, 伊藤高司, 米沢久司¹⁾, 西尾正人¹⁾, 古関安里¹⁾, 福井進²⁾, 館野之男²⁾ (¹⁾放射線医学総合研究所, ²⁾国立精神神経センター精神保健研究所薬物依存研究部)：〔原著〕加齢に伴うヒト線条体 D₂ ドーパミン受容体結号能の低下；ポジトロンエミッション トモグラフィによる測定. 核医, 26, 213~220, 1989.
- 17) 三宅章彦：〔フォーラム〕折笠秀樹氏の論文に対する意見. 応用統計学, 17, 153~155, 1989.

学会発表

- 1) 秋山仁¹⁾, 飯田博和, 細野潔¹⁾ (¹⁾東海大学理学部)：〔一般講演〕3次元格子点の均等彩色について. 日本数学会春季年会, 1988.
- 2) 秋山仁¹⁾, 飯田博和, 細野潔¹⁾ (¹⁾東海大学理学部)：〔一般講演〕コイン敷き詰め問題について. 日本数学会春季年会, 1988.
- 3) 三宅章彦：〔一般講演〕医大教養に於けるパソコンの導入状況について；1987年末のアンケート調査の結果. 1988年度数学教育学会春季年会, 1988.
- 4) 渡辺浩：〔セミナー〕3次元 ϕ^4 理論へのくりこみ群の応用. 東京都立大学物理教室, 1988.
- 5) 儀我真理子：〔談話会講演〕抽象ポテンシャル論と半群理論その周辺. 北海道大学談話会, 1988.
- 6) Itoh, T., Iyo, M.¹⁾, Shinotoh, H.¹⁾, Yamasaki, T.¹⁾, Inoue, O.¹⁾, Irie, T.¹⁾, Nishino, M.¹⁾, Fukuda, H.¹⁾, Suzuki, K.¹⁾ and Tateno, Y. (¹⁾NIRS)：〔一般講演〕Quantitative analysis of central type benzodiazepine receptors under steady-state in the living human brain. The Annual Meeting of Society of Nuclear Medicine (San Francisco), 1988.
- 7) 三宅章彦：〔一般講演〕医学・医療情報教育のカリキュラムにかかわる問題—現状と問題点—；日本医科大学の例提示. 日本医療情報学会情報教育研究会, 1988.
- 8) 三宅章彦：〔一般講演〕Introduction to personal computers for mathematics education in the pre-medical course of medical colleges in Japan. Sixth International Congress on Mathematical Education (Budapest), 1988.
- 9) 伊予雅臣¹⁾, 篠藤仁¹⁾, 山崎統四郎¹⁾, 井上修¹⁾, 鈴木和年¹⁾, 伊藤高司, 福田寛¹⁾, 塚田秀夫¹⁾, 須原哲也¹⁾, 西尾正人¹⁾, 米沢久司¹⁾, 古関安里¹⁾, 館野之男¹⁾, 福井進²⁾ (¹⁾放射線医学総合研究所, ²⁾国立精神神経センター精神保健研究所薬物依存研究部)：〔一般講演〕生体脳におけるドーパミン D₂ レセプターの測定；ポジトロン CT を用いて. 第18回日本神経精神薬理学会年会, 1988.
- 10) 井上修¹⁾, 塚田秀夫¹⁾, 伊予雅臣¹⁾, 小林薫¹⁾, 伊藤高司, 鈴木和年¹⁾, 山崎統四郎¹⁾, Langstorm, B.²⁾ (¹⁾放射線医

- 学総合研究所, ²⁾ウプサラ大学化学研究所) : [一般講演] レセルピン及び強制水泳マウスにおけるドーパミンレセプター活性のインビボ測定. 第18回日本神経精神薬理学会年会, 1988.
- 11) 飯田博和 : [一般講演] A few comments on the discrepancy of lattice points in R^3 . 日本数学会秋季分科会, 1988.
- 12) 渡辺浩 : [一般講演] 3次元 ϕ^4 理論へのくりこみ群の応用. 日本数学会秋季分科会, 1988.
- 13) Yamasaki, T.¹⁾, Iyo, M.¹⁾, Fukuda, H.¹⁾ and Ito, T. (¹⁾NIRS) : [シンポジウム] Neuroreceptor studies in the human brain using IIC-N-methylspiperone. Fifth Japan-Sweden Conference on Positron CT (Tokyo), 1988.
- 14) Ito, T. and Iyo, M.¹⁾ (¹⁾NIRS) : [シンポジウム] Quantitative analysis of IIC-N-methylspiperone binding to receptors using PET. The Symposium of "Quantification and Model in PET" (Akita), 1988.
- 15) 篠藤仁¹⁾, 伊予雅臣¹⁾, 福田寛¹⁾, 井上修¹⁾, 伊藤高司, 鈴木和年¹⁾, 山崎統四郎¹⁾, 館野之男¹⁾ (¹⁾放射線医学総合研究所) : [一般講演] PETによる脳内ベンゾジアゼピン受容体の定量測定. 第28回日本核医学会総会, 1988.
- 16) 遠藤真広¹⁾, 村山秀雄¹⁾, 松本徹¹⁾, 飯沼武¹⁾, 山崎統四郎¹⁾, 伊藤高司, 福田寛¹⁾, 館野之男¹⁾, 野原功全¹⁾, 富谷武浩¹⁾ (¹⁾放射線医学総合研究所) : [一般講演] ポジトロン核医学研究用ローカルエリアネットワーク NIRS-PETNET の構築. 第28回日本核医学会総会, 1988.
- 17) 伊藤高司, 小林薫¹⁾, 伊予雅臣¹⁾, 篠藤仁¹⁾, 山崎統四郎¹⁾, 井上修¹⁾, 鈴木和年¹⁾, 福田寛¹⁾, 塚田秀夫¹⁾, 須原哲也¹⁾, 西尾正人¹⁾, 米沢久司¹⁾, 古関安里¹⁾ (¹⁾放射線医学総合研究所) : [一般講演] ポジトロンCTによるヒトのドーパミンD2受容体の定量測定. 第28回日本核医学会総会, 1988.
- 18) 井上修¹⁾, 塚田秀夫¹⁾, 須原哲也¹⁾, 米沢久司¹⁾, 鈴木和年¹⁾, 伊藤高司, 山崎統四郎¹⁾ (¹⁾放射線医学総合研究所) : [一般講演] ドーパミンD1, D2レセプター活性のバランス測定. 第28回日本核医学会総会, 1988.
- 19) 塚田秀夫¹⁾, 井上修¹⁾, 小林薫¹⁾, 伊予雅臣¹⁾, 須原哲也¹⁾, 伊藤高司, 山崎統四郎¹⁾, Langstorm, B.²⁾ (¹⁾放射線医学総合研究所, ²⁾ウプサラ大学化学研究所) : [一般講演] Ro 15-1788と Ro 15-4513の脳内挙動の比較. 第28回日本核医学会総会, 1988.
- 20) 三宅章彦 : [一般講演] 教養数学に於けるパソコン導入. 第8回医療情報学連合大会, 1988.
- 21) Ito, T. : [シンポジウム] Kinetic analysis of ligand-receptor binding in vivo. IInd International Conference : Peace through Mind/Brain Science, 1989.
- 22) 渡辺浩 : [セミナー] 植物はなぜフィボナッチ数列を知っているのか. 早稲田大学理工学部非線型現象ゼミナール. 1989.

[物理学]

研究概要

赤野は, クォークの複合モデルを提唱し, これに基づいて, 小林・益川マトリックス, B^0 - \bar{B}^0 の混合比, CP 保存の破れの本質を説明した.

三浦は, 以前に提唱した準相対論的クォーク模型を基にチャーム・クォークやボトム・クォークを含むアイソマルチプレットの重粒子の電磁質量差を計算した. その結果, この模型では $(\Sigma_c^{++}-\Sigma_c^0)$ に関する FNAL での1987年の実験結果を支持せず, MacFarlane の1986年第3回高エネルギー国際会議でのレポートの測定値を支持することが分かった.

香川は, 筋収縮の分子機構の新しい電磁相互作用によるモデルを模索し, 計算機シミュレーションを行っている. また, 膜興奮現象に関連して, 電場のもとの溶液中のイオンの動的性質を研究するため, イオンチャネルのモデルである細い管に多数の測定用電極を配置し, 外部電場を加えることによって誘起される電位変化の測定を行い, 興味深い結果を得た.

安藤は, 情報科学の分野における基礎研究を続けている. 特に博士論文 "Graphs and its complements" において

グラフとその補グラフに関するこれまでの研究をまとめた。また、光通信の実用化、コンピュータ等における大容量記憶装置の普及等でその重要性が高まっている誤り訂正符号の分野においても、設計自由度が高く、極めて性能の良い、有限体 $GF(2^9)$ 上の符号長1095の代数幾何符号の構成に成功した。

研究業績

論文

- 1) Kagawa, H., Nagai, Y.¹⁾ and Asai, H.²⁾ (¹⁾麻布大, ²⁾早大) : [原著] An analysis of hyper-sharp phenomenon in a diffusion cell by computer simulation. *Biophys. Chem.*, **29**, 327~339, 1988.
- 2) 安藤清, 水野弘文¹⁾, 池田耕平¹⁾, 一条孝¹⁾ (¹⁾電通大) : [原著] 符号長とゼータ関数. *電気通信大学紀要*, **1**, 115~120, 1988.
- 3) Akano, M. : [原著] Kobayashi-Masukawa matrix and *CP* violation in the composite model of quarks. *Nuovo Cimento*, **100 A**, 225~238, 1988.
- 4) Itoh, C.¹⁾, Minamikawa, T.²⁾, Miura, K. and Watanabe, T.³⁾ (¹⁾明学大, ²⁾東京商船大, ³⁾亜大) : [原著] Mass differences of baryon isomultiplets and $\Sigma_c^{++}-\Sigma_c^0$. *Prog. Theor. Phys.*, **80**, 208~211, 1988.
- 5) Ando, K., Enomoto, H.¹⁾ and Kano, M.²⁾ (¹⁾東大, ²⁾明石工専) : [原著] Mirror-symmetric graphs. *Technical-Report Dept. Inform. Sci., Fac. Sci., Univ. Tokyo*, No. 88-021, 1988.
- 6) 安藤清, 水野弘文¹⁾ (¹⁾電通大) : [原著] 代数曲線 $x^2y+y^2z+z^2x=0$ 上の代数幾何符号. *応用数学合同研究集会報告集*, 198~204, 1988.
- 7) 安藤清 : [原著] *Graphs and its complements*. 東京大学理学博士論文, 1989.
- 8) 永井喜則¹⁾, 香川浩, 長島知正²⁾ (¹⁾麻布大, ²⁾室蘭工大) : [原著] ミオシン-アクチン滑り運動の磁気リニアモーターの可能性. *麻布大学教養部研究紀要*, No. 22, 1~16, 1989.

学会発表

- 1) Ando, K. : [一般講演] Hamilton graphs having the only one hamilton cycle. 日本数学会1988年度年会, 1988.
- 2) Ando, K. : [一般講演] Size of critical graphs. 日本数学会1988年度年会, 1988.
- 3) Kagawa, H., Nagai, Y.¹⁾ and Asai, H.²⁾ (¹⁾麻布大, ²⁾早大) : [展示] Computer simulation of hyper-sharp phenomenon of myosin diffusion in F-actin/ATP solution. Second Japan-China Bilateral Symposium on Biophysics (Kyoto), 1988.
- 4) Ando, K. : [シンポジウム] Sizes of bi-blocks. グラフ論と組合わせ論の関西研究集会, 1988.
- 5) Ando, K. : [ワークショップ] On sizes of critical graphs. '88 Summer Workshop on Combinatorics, 1988.
- 6) 永井喜則¹⁾, 香川浩, 長島知正²⁾ (¹⁾麻布大, ²⁾室蘭工大) : [一般講演] 電磁相互作用によるミオシン分子のアクチン鎖上運動のシミュレーション. 日本生物物理学会第26回年会, 1988.
- 7) Ando, K. and Egawa, Y.¹⁾ (¹⁾東京理科大) : [一般講演] The upper bound of sizes of critical graphs. 日本数学会1988年度秋季総合分科会, 1988.
- 8) 安藤清, 水野弘文¹⁾ (¹⁾電通大) : [シンポジウム] 代数曲線 $x^2y+y^2z+z^2x=0$ 上の代数幾何符号. 応用数学合同シンポジウム, 1988.
- 9) 香川浩, 萩原利彦¹⁾, 永井喜則¹⁾ (¹⁾麻布大) : [一般講演] 外部電場誘起によるイオン拡散速度の測定. 日本物理学会第44回年会, 1989.

[化 学]

研究概要

希土類元素のシリカゲルへの吸着挙動をアルカリ金属硝酸塩水溶液系について調べ、ランタノイドの分配比や分離係数が、原子番号の増加とともにテトラド効果を反映して増加すること、および溶媒陽イオンの水和イオン半径の減少とともに直線的に減少することを明らかにし、シラノール基と希土類元素との内圏錯体の生成に基づく吸着機構の関与を示唆した。また、ロジウムとイリジウムについて、原子吸光分析法と吸光光度法の併用による両金属の高精度分離・定量法を開発した。 [石田]

基礎・臨床医学の基礎的な関連参考書を査読しつつ、医学生にとって必要な酸・塩基平衡、一次反応速度の線形結合(コンパートメント・モデル)、電気化学ポテンシャルを用いた化学平衡と定常状態の取扱をターゲットに、学生にとって理解しやすく役に立つ教材、ならびに、これを支援するパソコン統合ソフトの作成を、模索しながら進めている。 [林]

①質量分析計を用いた研究：金属錯体、生体内微量物質の同定および定量、中毒原因物質の同定等。②原子炉を用いた研究：中性子放射化分析による生体内微量金属の同定および定量、中性子オートラジオグラフィーとX線写真の組合せによるそれぞれの透過能の違いを用いた胆石内部構造の研究。 [田中]

アルカリ金属-ナフタレン錯体を用いたテルペン系化合物の合成および、不飽和酸とジクロロカルベンとの反応による、ジクロロシクロプロパンカルボン酸の合成。 [菅原]

アミノ酸と塩基(2,2'-ビピリジン)を配位子とするルテニウム錯体の研究。①配位アミノ酸のラセミ化反応。②液体クロマトグラフィーによる異性体の分離。③溶液中の分子構造および安定度③光化学反応等。 [永井]

研究業績

論 文

- 1) Ishida, K., Morita, T.¹⁾, Hamada, T.¹⁾, Takeda, Y.²⁾ and Ninomiya, S.²⁾ (¹⁾Kyorin Univ., ²⁾Tokyo Gakugei Univ.) : [原著] Anion exchange separation of rhodium and iridium by ECTEOLA-cellulose column. *Fresenius Z. Anal. Chem.*, **332**, 791~794, 1988.
- 2) Ninomiya, S.¹⁾, Takeda, K.¹⁾ and Ishida, K. (¹⁾Tokyo Gakugei Univ.) : [原著] Thin-layer chromatographic behaviour and separation of rare earths in silica gel-aqueous alkali metal nitrate systems. *Fresenius Z. Anal. Chem.*, **332**, 798~801, 1988.
- 3) Tanaka, M., Nagai, T., Tasaki, T.¹⁾, Miki, M.¹⁾, Hirakawa, K.²⁾, Watanabe, T.²⁾, Kobayashi, H.³⁾, Kubota, S.⁴⁾ and Abe, T.⁴⁾ (¹⁾第二病院外科, ²⁾法医, ³⁾立教大学原子力研究所, ⁴⁾阿部設計) : [原著] A study of the internal structure of gallstones based on the differences between the interaction to elements of thermal neutrons and X-rays. *Radioisotopes*, **37**, 685~686, 1988.
- 4) Horiuchi, C.A.¹⁾, Takayama, T.²⁾, Koike, Y.²⁾, Tanaka, M. and Satoh, J. Y.¹⁾ (¹⁾立教大理, ²⁾神奈川大工) : [原著] Solvent effects in ¹H-NMR spectrum of steroidal π -allyl palladium chloride complexes. *Chem. Lett.*, No. 2, 277~280, 1989.
- 5) 森田知成¹⁾, 浜田武¹⁾, 松塚雅博¹⁾, 石田宏二 (¹⁾杏林大医) : [報告] 高濃度アルカリ金属塩化物溶液系を用いる微量ロジウムの高精度原子吸光光度定量. 杏林大学研究報告, **10**, 41~48, 1989.

学会発表

- 1) 森田知成¹⁾, 浜田武¹⁾, 石田宏二, 武田洋一²⁾ (¹⁾杏林大医, ²⁾ラサ工業) : [一般講演] Rh 試薬中の Ir 及び Ir 試薬中の Rh のイオン交換分離・吸光光度定量. 日本分析化学会第37年会, 1988.

- 2) 二宮修治¹⁾, 内田義明¹⁾, 石田宏二 (¹⁾東学大教育) : [一般講演] ジルコニウムとハフニウムの鉍酸-過酸過水素系シリカゲル薄層クロマトグラフィ. 日本分析化学会第37年会, 1988.
- 3) 岩崎仁¹⁾, 三木瑛一¹⁾, 水町邦彦¹⁾, 石森達二郎¹⁾, 永井俊, 田中幹夫 (¹⁾立教大理) : [一般講演] 光照射による trans-[Ru (CH₃COO) (2 mqn)₂ (NO)] (2 mqn = 2-メチル-8-キノリノラートイオン) の合成. 日本化学会第56春季年会, 1988.
- 4) 菅原理二, 平川慶子¹⁾, 山本伊佐夫¹⁾, 渡辺日章¹⁾, 門脇稔²⁾ (¹⁾法医, ²⁾神奈川歯科大学法学) : [展示] 個体 NMR 法による尿石中の有機成分の分析. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 5) 田中幹夫, 永井俊, 守谷直木¹⁾, 井上一¹⁾, 平川慶子¹⁾, 渡辺日章¹⁾, 三樹勝²⁾ (¹⁾法医, ²⁾第二病院外科) : [一般講演] 中性子ラジオグラフィ法による巨大尿石の画像解析について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 6) 田崎達也¹⁾, 荒木薫¹⁾, 三樹勝¹⁾, 永井俊, 田中幹夫, 渡辺日章²⁾ (¹⁾第二病院外科, ²⁾法医) : [展示] タイ人の胆石中の微量元素含有量. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 7) 堀内昭¹⁾, 高山俊夫²⁾, 小池芳雄²⁾, 田中幹夫, 棒高士¹⁾, 喜治信次¹⁾, 佐藤泰夫¹⁾ (¹⁾立教大理, ²⁾神奈川大工) : [展示] ステロイド π -アリルパラジウムクロライド錯体の合成と性質. 第35回有機金属化学討論会・討論会35周年記念会, 1988.
- 8) 田崎達也¹⁾, 三樹勝¹⁾, 永井俊, 田中幹夫, 渡辺日章²⁾ (¹⁾第二病院外科, ²⁾法医) : [一般講演] 中性子並びに X 線ラジオグラフィーによる胆石の内部構造解析の研究. 第75回日本消化器病学会総会, 1989.
- 9) 田崎達也¹⁾, 荒川薫¹⁾, 的場泰徳¹⁾, 平田知己¹⁾, 松林博男¹⁾, 三樹勝¹⁾, 永井俊, 田中幹夫, 渡辺日章²⁾ (¹⁾第二病院外科, ²⁾法医) : [一般講演] 日・タイ両国胆石成分の比較検討. 第89回日本外科学会総会, 1989.

[生物学]

研究概要

1) “*Bacillus megaterium roseus*” の再同定とこの菌株のカロテノイド色素生合成経路の解明: 色素の構造と性質の研究に用いられてきたこの菌株は, DNA の GC 含量と相同性などから, 放線菌 *Rhodococcus rhodochrous* と再同定された (高市, 木下). 色素の生合成経路の解析を, 集落の色調が親株と異なる突然変異株を用いて, また色素合成阻害剤を利用して進めている (高市, 石津).

2) 好気性光合成細菌のカロテノイド色素の研究: *Erythrobacter longus* がもつ色素の主成分は色素蛋白複合体に結合しておらず, 既知の色素より極性が高い. このうちの 1 成分は既知の色素とは異なり, keto-enol の平衡をとるのであった. また *Erythrobacter* の 1 系統 OCh 114 株を暗好気条件で培養して明嫌気条件に移すと, 色素の主成分である spheroidenone が光還元を受けるためと推定される光退色が起こる. これは今までに知られていない知見である (高市).

3) 褐藻の光捕捉顆粒: 褐藻がもつ色素間の高いエネルギー転移効率を明らかにするため, クロロフィルとカロテノイドの同定および定量を進めている (高市).

4) 棘皮動物の発生におけるウリジン二リン酸と糖の化合物 (UDP-sugar) の役割: バフンウニの未受精卵には酸溶性の UDP-sugar が含まれていて, 発生時の形態形成に重要な役割を果たしている. このウニとは形態が異なるタコノマクラ, ムラサキウニ, キタムラサキウニの卵にもこの物質が含まれていることが明らかになり, 具体的役割の解明を目指して研究を進めている (関).

5) 両生類初期胚における予定外胚葉領域の中胚葉分化能の検定: ツメガエルの胞胚における予定外胚葉の発生運命は, 誘導を受けない限り決定されていない. いくつかの中胚葉誘導作用をもつ因子を用い, 動物極側の細胞の中胚葉化がどのような細胞群において行われ得るのかを調べるため, 筋ミオシン蛋白質を中胚葉分化の指標とし, 誘導因子に対して感受性をもつ時期および胚領域の特定を試みている (木下).

研究業績

論文

- 1) Takaichi, S., Shimada, K.¹⁾ and Ishidsu, J. (¹⁾Tokyo Metropolitan Univ.) : [原著] Monocyclic cross-conjugated carotenal from an aerobic photosynthetic bacterium, *Erythrobacter longus*. *Phytochemistry*, **27**, 3605~3609, 1988.

学会発表

- 1) Takaichi, S., Shimada, K.¹⁾ and Ishidsu, J. (¹⁾Tokyo Metropolitan Univ.) : [展示] Structure and composition of carotenoids from an aerobic photosynthetic bacterium, *Erythrobacter longus*. 第16回天然物化学国際会議 (京都), 1988.
- 2) 原島圭二¹⁾, 高市真一 (¹⁾八千代国際大) : [一般講演] 好気性光合成細菌 *Erythrobacter* sp. OCh 114のカロテノイドの嫌気的光褪色反応について. 第2回カロテノイド研究談話会, 1988.
- 3) 高市真一, 畔上健¹⁾, 木下圭, 石津純一 (¹⁾東邦大・理) : [一般講演] 放線菌 *Rhodococcus rhodochrous* NMS のカロテノイド生合成経路と *Rhodococcus* 属のカロテノイド組成について. 第2回カロテノイド研究談話会, 1988.
- 4) 高市真一, 嶋田敬三¹⁾, 石津純一 (¹⁾都立大・理) : [一般講演] 好気性光合成細菌 *Erythrobacter longus* OCh 101 の極性の高い, 酸性基をもつ新カロテノイドについて. 第2回カロテノイド研究談話会, 1988.
- 5) 高市真一, 嶋田敬三¹⁾, 石津純一 (¹⁾都立大・理) : [一般講演] 好気性光合成細菌 *Erythrobacter longus* の極性の高い, 酸性基をもつ新カロテノイドについて. 第61回日本生化学会大会, 1988.

3. 外国語

[英 語]

研究概要

山口俊治——教育研究の成果を教材の形態で発表し, 評価を得つつある. 大学用教材は東北大, 京都大, 九州大ほか全国の国公私立大, 短大など279校において採択, 使用され, 「総合英語」は準教科書として数百に及ぶ高等学校において広く採用された. また, その他の著書も多数の読者を得たことは, 特に英文の体系的理解の重要性を説く教育指導法が評価されつつあることを示すと考えられる.

Timothy D. Minton —— A lot of work is done in this department on the correction of English language medical papers submitted by researchers from this and other institutes. A long-term study is in progress to analyse the commonly recurring linguistic errors in these reports.

In our continuing efforts to improve the communicative abilities of our students in the English language, we have purchased audio-visual equipment and have emphasized courses which demand such equipment. We are conducting research into effective means of aural comprehension training with a view to publishing our findings in the form of teaching materials.

Preliminary comparative research is being carried out into the English language training methods, particularly for medical students, in this country and in Thailand. Field research will follow.

宇津木愛子——サピア・ウォーフの仮説以来の「言語と思考」という大きなテーマの中で, 言語表現の主観性という問題に焦点をあて, この課題の第一人者であるジョン・ライオンズ氏の指導の下, 英語および日本語の受動表現の研究を行う. さらに, 英語話者と日本語話者の間の言語以前の, 思考や発想のずれを S. レビンソンによって展開さ

れた語用論および社会言語学の枠組みで分析する。

研究業績

著 書

- 1) Minton, T.D.: [編集・吹込] “The Secret Diary of Adrian Mole”, an English language video course, C60×4, 成美堂, 1988.
- 2) Minton, T.D.: [吹込] A collection of traditional and patriotic British songs, C 60, 成美堂, 1988.
- 3) 山口俊治: コンプリート高校総合英語. 桐原書店, 1989.
- 4) Minton, T.D.: [英文校閲] コンプリート高校総合英語 (山口俊治著). 桐原書店, 1989.
- 5) Minton, T.D.: [吹込] “Japanese Folktales in English”, C 60×2, 成美堂, 1989.
- 6) 山口俊治: 高校英語暗誦例文集. 桐原書店, 1989.
- 7) 山口俊治, Minton, T.D.: [監修・吹込] 高校英語暗誦例文カセットテープ, C 90×1, 桐原書店, 1989.
- 8) Minton, T.D.: [吹込] “New Hopes for a Changing World” by Bertrand Russell, C 90×2, 成美堂, 1989.
- 9) 山口俊治: 英語構文ゼミナール①—英文の基本構成. 語学春秋社, 1989.
- 10) 山口俊治: 英語構文ゼミナール②—英文の修飾構造. 語学春秋社, 1989.
- 11) 山口俊治: 総合英語基本問題集. 桐原書店, 1989.
- 12) 山口俊治: 英語構文ゼミナール③—重要構文の解明. 語学春秋社, 1989.
- 13) 山口俊治: 英語構文ゼミナール④—副詞節のすべて. 語学春秋社, 1989.
- 14) 山口俊治: 英語構文ゼミナール⑤—英文の実際の形態. 語学春秋社, 1989.

[ドイツ語]

研究概要

ドイツ語教室ではドイツ語教授法研究の一環として、教材（主として初級用文法教科書）作成とその教材による比較テストをほぼ毎年行っており、昭和63年度も教室員および比較テストに伴う幾つかの大学の協力により、両者とも実施が可能であった。ドイツ語教室では従来学生にドイツ文法を教えるにはどのような方法がより効果的であるかという問題について検討してきており、同時に、学生側から良く聞かれる「文法をより系統的、かつ能率的に覚える方法はないか」という要求を考慮しつつ、従来の固定化された教育方法に柔軟性を持たせながら、「教えやすく、習いやすい」教材の作成を目指している。

現在、各大学におけるドイツ語の授業方法には、大きく分けて二つのタイプがあると考えられる。一つは伝統的タイプともいえるべき「文法・講読分離型」、もう一つは外国語の能力は「話す、聞く、読む、書く」と言う四つの能力の総合であるという判断から、教授法においてもこれを分離することを否定する「総合型」である。後者のタイプはドイツ各州の教育センターやゲーテ・インスティトゥットを始め、国内の大学でも次々と新しい試みがなされている。とくに数年前からは、発話者の意志や思想、感情などの伝達および交換に重点を置く“Kommunikativer Sprachunterricht”が盛んに研究されるようになってきており、この面での教材も開発され、授業で実際に成果を挙げているところもある。しかし、新しい方法をドイツ語教室として取り入れようとすると、いくつかの困難な問題にぶつからざるを得ない。この中でも、教育する側とされる側の学習目標の違い、さらにその違いによる学習意識、学習態度の差、それに、より根本的な問題として、既成の教授法による受容能力はあっても、それを（新しい教授法において特に重要視されている）表現能力に変えることをきわめて不得意とする学習者（この場合教える側の能力にも大いに関係がある）が相手であることなど、新しい方法を取り入れるのに尻込みをする要因は決して少なくない。この方法で成功しているところは、上述した両者の目的が一致し、しかも両者の能力が優れているいわば模範的なクラ

スである。当教室ではドイツ語教育に「総合型」を取り入れるか否かは将来の課題として残して置くこととし、当面は「効率の良い」文法教材の作成を検討していくことを目標としたい。昭和63年度においてもその線で教材研究、作成および比較テストによる現状分析を行った。

研究業績

論文

- 1) 国信浩洋, 安藤勉, 横内一実: [原著] ドイツ語比較テスト. (5) 本学および他大学との学力比較に関する報告. 日本医科大学基礎科学紀要, No. 9, 11~14, 1989.

[フランス語]

研究概要

まず授業方法については、フランスのモンペリエ大学を中心に開発されつつある新教授方式を導入すべく、フランスとの連絡だけでなく同じ方向を目指す日本のいくつかの大学仏語仏文研究室とも学会その他の交流機会を利用して情報を充実させるようにしている。日本の大学生の現況把握も今後進むはずなので、現時点でもすでに若干の成果をみているが、3, 4年後には一定の解答および成果を出せると考える。なお、伝統的方式といわれる「読解・作文」については2年間でもかなり成果をあげうることを確認しているが、この場合の要点は、教授方法・教材開発のみならず、教師側が研究範囲を広めること、すなわち扱うテキスト（背景も含めて）を増やすことが肝要。書架と研究時間の充実が教師のためのものだけではないわけで、この点でのわが国の研究機関の遅れも検討材料の一つとせざるをえない。なお当教室では、昨年度より授業中に「ヨーロッパ文化史」の講義を入れるように努め出したが、教室活動の質の向上に役立っている。

さて、研究範囲であるが、十八世紀フランス文学・思想を中心としたヨーロッパおよび日本の研究という指標は、かなり大きなテーマであるが（前述の学生のための教材ストックという点では大きくプラス）、現在のところ中世から十八世紀、それに中江兆氏を軸とした維新前後の日本に照明を当てつつ、文学史・思想史にとらわれずヨーロッパ啓蒙の世紀を検証する作業は今後も継続すべきテーマと確信する。現在まで、ルソー、モレリ、ドルバック、ラオンタン、メルシエ等々の分析を時に仏国立図書館のマイクロフィルムを借用しつつ押し進めており、少しずつその成果を世に問うている。ルソーに関しては、難題の一つである「国家論」が本学紀要での仏語論文ではほぼ完成。もちろんこれも今後本学内外で続行してゆく。

研究業績

論文

- 1) 小林浩: [原著] Qu'est-ce que la société et l'homme. (2) Etude sur Rousseau. (仏文掲載), 日本医科大学基礎科学紀要, No. 9, 1~10, 1988.

学会発表

- 1) 小林浩: [一般講演] Mercier 研究. フランスユートピア研究学会, 1988.

4. 保健体育

[保健体育]

研究概要

当教室では、基礎的行動体力と防衛体力の関係について研究を行っている。

体力テストは、文部省のスポーツテストを用い、防衛体力に関しては、CMI 健康調査表（Brodman 原法および日本版）の心理テストを活用し、両者の関係について検討した。

1) 医科学生の入学時における体力テストと自覚症状愁訴について

体格は全国平均に類似する。体力テストの成績は、筋力と全身持久力に低い。そして、浪人経験の多い群ほど多くの項目に低い成績を示した。一方、CMI 健康調査表の身体的・精神的愁訴は理系学生に比して顕著に少ない特徴がみられた。今後さらに他学部学生との比較検討が必要と思われる。

2) 大学生の体力テストと身体的自覚症状愁訴について—文科系学生—

現役入学の1, 2年生について、体力テストの成績と身体的自覚症状の愁訴を比較検討した。2年生の体力テストの成績は、1年生に勝るが、身体的自覚症状の愁訴が多い。

このことから、行動体力の充実が、必ずしも一義的に、防衛体力の強化になるとはいえない面があるように思われる。

3) 新設高等学校男子生徒の CMI と体力テストについて (2)

新設高校の体格・体力テストおよび身体的自覚症状の愁訴について、縦断的結果は次のごとくであった。

体格と体力テストの伸び率は、既設校に比して加齢に伴い低下が著しい。

身体的自覚症状の愁訴では、新設校が各年次に多い傾向がみられた。

4) 全身持久力高低位者における体力テストと身体的自覚症状について

全身持久力を評価する踏み台昇降運動の判定指数の高位群は、低位群に比して体力テストの成績が勝り、身体的自覚症状の愁訴が少ない特徴がみられた。

研究業績

論文

- 1) 酒巻敏夫, 森本三千代, 落合友一: [原著] 医科学生の入学時における体力テストと自覚症状愁訴について. 日本医科大学基礎科学紀要, No. 9, 42~52, 1989.
- 2) 森本三千代, 酒巻敏夫: [原著] 新設高等学校男子生徒の CMI と体力テストについて (2). 日本医科大学基礎科学紀要, No. 9, 53~63, 1989.
- 3) 酒巻敏夫, 森本三千代: [原著] 全身持久力高低位者における体力テストと身体的自覚症状について. 日本医科大学基礎科学紀要, No. 9 64~68, 1989.

学会発表

- 1) 酒巻敏夫, 森本三千代, 加藤延雄, 柚木斉¹⁾ (¹⁾衛生・公衆衛生): [一般講演] 大学生の体力テストと身体的自覚症状愁訴について; 文科系学生. 日本体育学会第39回大会, 1988.
- 2) 森本三千代, 酒巻敏夫, 加藤延雄, 柚木斉¹⁾ (¹⁾衛生・公衆衛生): [一般講演] 新設高等学校男子生徒の CMI と体力テストについて. 日本体育学会第39回大会, 1988.
- 3) 酒巻敏夫, 森本三千代, 落合友一, 柚木斉¹⁾, 村山隆雄²⁾ (¹⁾衛生・公衆衛生, ²⁾日獣畜大保健体育): [一般講演] 医科学生の入学時における体力テストと自覚症状愁訴について. 第43回日本体力医学会大会, 1988.

〔 2 〕 基 礎 医 学

1. 第一解剖学講座

研究概要

従来から続けられている両生類の発生学では、変態に伴う消化器官の神経系の変化について報告が行われ、また、腹膜上皮細胞の細胞骨格の特性に注目した研究から *in vivo* においてストレスファイバーの性質を追及する実験系の確立がすすめられている。痛覚の回路網の解析の分野では結合傍腕核にかかわる線維網の分析・整理がすすめられた。本年度からは、山下が加わり、内分泌器官の形態学と形態学の定量化を指向した方法論の整備に関する研究が行われることになった。

両生類の発生における腸間膜系の形態学的変化を調べ、培養細胞で見られると同様のストレスファイバー (SF) が特定時期の特定部位の腸間膜皮細胞において出現・消失することを見いだした。こうした SF の消長は中皮細胞の形態変化、および腸間膜の急速な拡張・縮小と対応する事実から、SF は細胞の形態維持に働いており、さらにその発現には細胞にかかる張力が重要な一要因になっている可能性を指摘した。現在、SF の発現と張力の関係を実験系によって解析中である。

痛覚の機能を理解するためには、種々の情報 (知覚系であれ、運動系であれ) を処理するための複合的な神経回路網を必要とする。そのような回路網の分析を網様体で行っている。また、末梢から種々の情報を受ける脊髄細胞の線維 (軸索) が結合傍腕核に終わるが、その線維の一部は脊髄小脳路の側副枝であり、その領域は視床髄板内核へ線維を送ることを明らかにした (Kitamura et al., '89)。結合傍腕核、視床髄板内核、視床後外側腹側核、小脳前葉へ線維を送る脊髄細胞と脊髄固有束の起始細胞との局在関係を追跡している。

内分泌器官の形態学では、スルクスの膵臓は左および右葉からなり、そのランゲルハンス島の内分泌細胞には著しい左右差があることが見いだされた。形態学の方法論においては筋組織のミトコンドリアの蛍光染色に新しい方法を開発し、確立を急いでいる。

研究業績

論文

- 1) 北村泰子: [原著] ラットの小脳前葉と後葉へ投射する脊髄小脳路細胞の定量的考察; HRP の逆行性標識法による研究. 日医大誌, **55**, 361~370, 1988.
- 2) 鳥橋茂子: [原著] 鶏胚盤上葉の走査型電子顕微鏡による観察. 日医大誌, **55**, 355~360, 1988.
- 3) Noda, H.¹⁾, Murakami, S.¹⁾, Yamada, J., Tamaki, Y.¹⁾ and Aso, T.¹⁾ (¹⁾Indiana Univ.): [原著] Saccadic eye movements evoked by microstimulation of the fastigial nucleus of macaque monkeys. J. Neurophysiol., **60**, 1036~1052, 1988.
- 4) 鳥橋茂子: [原著] ウシガエル小腸筋間神経叢内神経細胞の変態期における形態変化. 日医大誌, **55**, 465~477, 1988.
- 5) Sugimoto, K., Fujii, S., Ichikawa, Y. and Nakamura, I.: [原著] Role of actin filaments in shape formation of mesenteric mesothelial cells of the bullfrog. J. Morphol., **198**, 321~329, 1988.
- 6) 山下和雄: [総説] 膵内・外分泌細胞の分泌機転と水素イオン濃度・電子顕微鏡的検出. 医のあゆみ, **148**, 387, 1989.

著書

- 1) Yamada, J., Sato, H., Kitamura, T. and Otani, K.¹⁾ (¹⁾Chiba Univ.): [分担] The reticular formation in the pain

- system ; A morphological study. “Biowarning system in the brain ; A Naito foundation symposium” (Takagi. H., Oomura, Y., Ito, M. and Otsuka. N. eds.), p. 31~42, University of Tokyo Press, 1988.
- 2) 山下和雄：〔分担〕骨学・靱帯学・筋学. “基準人体解剖学”(市原一郎編), p. 43~106, 廣川書店, 1988.
- 3) 大谷克巳¹⁾, 山田仁三 (¹⁾千葉大名誉教授)：〔共著〕人脳解剖図譜. クバプロ, 1989.

学会発表

- 1) 北村泰子, 山田仁三, 佐藤斎：〔一般講演〕ラットの脊髄一傍腕核線維の頸髄における起始細胞. 第93回日本解剖学会総会, 1988.
- 2) 鳥橋茂子, 杉本啓治, 市川安昭, 中村逸雄：〔一般講演〕ウシガエル小腸筋間神経叢の変態期における変化；特に神経細胞数の増減について. 第93回日本解剖学会総会, 1988.
- 3) 山下和雄, 若林隆¹⁾ (¹⁾名古屋大・医・解剖)：〔一般講演〕非切片法によるマウス下垂体前葉細胞に関する2, 3の知見. 第93回日本解剖学会総会, 1988.
- 4) 山下和雄：〔特別講演〕形態計測の方法論. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 5) 児島昭徳¹⁾, 山下和雄 (¹⁾愛知がんセンター・研・病理)：〔展示〕去勢雄ヌードマウスの脾臓内で発生するラットの辜丸腫瘍. 第47回日本癌学会総会, 1988.
- 6) 市川安昭, 杉本啓治：〔展示〕ウシガエルの腹膜上皮における炭酸脱水酵素活性. 第29回日本組織細胞化学会総会, 1988.
- 7) 杉本啓治, 藤井幸子, 市川安昭, 中村逸雄：〔一般講演〕ウシガエル幼生の大腸腸間膜中皮細胞におけるストレスファイバー. 第41回日本細胞生物学会総会, 1988.
- 8) 山田仁三, 佐藤斎, 北村泰子：〔展示〕橋核への線維を送る視床後核群における神経細胞の分布. 第12回神経科学学術集会, 1988.
- 9) 神田健郎¹⁾, 橋詰謙¹⁾, 佐藤斎 (¹⁾都立老研)：〔展示〕運動ニューロンのHRP逆行性標識に対する電気刺激の効果. 第12回神経科学学術集会, 1988.
- 10) 北村泰子, 山田仁三, 佐藤斎：〔一般講演〕ラットの傍腕核大細胞部へ線維を送る頸髄細胞. 第10回日本疼痛学会, 1988.

2. 第二解剖学講座

研究概要

第二解剖学教室の研究は二つの分野から成っている。一つは血管、腎臓、末梢神経などを主体とした肉眼解剖学の分野であり、もう一つは比較神経学の分野である。肉眼解剖の分野においては必要な場合は顕微解剖学の分野へも積極的に踏み込むように準備を整えた。またヒトの成人に見られる正常構造や異常構造の成立機序を説明するために、これまではヒトの胎児を用いて個体発生学的な検索を行っていたが、今後は実験動物による実験発生学的な検索および系統発生学的な検索も合わせて行うこととした。これによって従来の単なる肉眼解剖学から比較形態学へ変貌をめざしている。

比較神経学の分野は、従来どおり共通の祖先から同一時期に多くの種に分かれて適応放散に成功した種を対象としている。これは種が獲得した生態的地位を解析することによって脳の構造を理解しようとするものである。この方針はようやく国際的な理解を得るところとなり、諸外国（米国、西独、スエーデン、中国等）との共同研究も軌道にのった。文部省からの科学研究費の補助による電子顕微鏡の新設も決定し、電子顕微鏡レベルでの研究も開始されることとなった。今後、単一ニューロンの三次元画像処理とあわせて発展させる予定である。

研究業績

論文

- 1) 伊藤博信：〔総説〕視床の比較解剖学（特集：視床—基礎と臨床—）。神研の進歩，**32**，357～367，1988。
- 2) Asakawa, M.：〔原著〕Morphometric studies on the minor calices. Okajimas Folia Anat. Jpn., **65**，43～50，1988。
- 3) 平岡保紀¹⁾，木村剛¹⁾，秋元成太¹⁾，小川秀弥²⁾，浅野伍朗²⁾，伊藤博信（¹⁾泌尿器科，²⁾関東通信病院泌尿器科，³⁾第2病理）：〔原著〕膀胱癌の膀胱傍組織内転移；頻度，存在部位，形態についての検討。日泌会誌，**80**，185～191，1989。

著書

- 1) 浅川光夫，清水真澄¹⁾，七戸和博¹⁾（¹⁾実験動物室）：〔共訳〕実験動物。“図解。スナネズミの解剖”，藤田企画出版，1989。

学会発表

- 1) 平田清秀，宮木孝昌，田沼久美子，伊藤博信：〔一般講演〕ヒト胎児の大動脈とその主な動脈枝の計測学的研究。第93回日本解剖学会総会（全国学術集会），1988。
- 2) 鈴木和子，田沼久美子，伊藤博信：〔一般講演〕上頸神経節に見られる迷走神経との交通枝および融合部の検索。第93回日本解剖学会総会（全国学術集会），1988。
- 3) 伊藤博信：〔シンポジウム〕大脳新皮質と二つの視覚系；硬骨魚類を中心として。ニューロエソロジー—動物行動の発現機構—，1988。
- 4) Ebbesson, S.O.E., Ekstrom, P. and Ito, H.：〔一般講演〕Retinal projections change with time in sockeye salmon (*Oncorhynchus nerka*, Walbaum). American Association of Anatomists (Cincinnati), 1988。
- 5) 浅川光夫，清水真澄¹⁾，秋元敏雄¹⁾，七戸和博¹⁾，仲間一雅¹⁾，伊藤博信（¹⁾実験動物室）：〔一般講演〕スナネズミ臓器重量の計測学的検索。第35回日本実験動物学会総会，1988。
- 6) 池田龍二¹⁾，白井康正¹⁾，大場俊二¹⁾，伊志嶺隆¹⁾，三浦啓志¹⁾，高山景範¹⁾，伊藤博信，田沼久美子（¹⁾整形外科

科)：〔展示〕仙腸関節の神経支配について；特にその前方及び下方について．第3回日本整形外科学会基礎学術集会，1988.

7) 浅川光夫，久保寺司，岡村豊，羽原弦史，伊藤博信：〔展示〕解剖学実習で認められた大綱による十二指腸被覆穿孔の1例．第56回日本医科大学医学会総会，1988.

8) 清水真澄¹⁾，七戸和博¹⁾，浅川光夫，月舘説子²⁾，藤田紘一郎²⁾ (¹⁾実験動物室，²⁾東京医科歯科大医動物)：〔一般講演〕フィラリア感染好適宿主としての Mongolian gerbil の基礎的検討(Ⅰ)．第30回日本熱帯医学会総会，1988.

3. 第一生理学講座

研究概要

教室の研究テーマは数年来一貫して下記のとおりである。

- 1) 赤血球の生理学と末梢循環. ニッケルメッシュを用いた血球の変形能と圧-流量関係の測定, 活性酸素の毒性・造影剤の影響 (内科学各教室, 放射線科, 京大神経内科等との協同研究).
- 2) 脳波解析を中心とする大脳生理学. 脳波の次元解析, 相関分析等による大脳半球機能の研究 (神経科, 基礎医学情報処理室等との協同研究).
- 3) 医学概論および科学哲学. 芸術体験と脳の認知・認識の基礎に関する研究.

研究業績

論文

- 1) Uyesaka, N.: [原著] Pressure-flow relationship of erythrocyte suspension in perfusion of nucleopore membrane and red cell deformability. Jpn. J. Physiol., **38**, 145~158, 1988.
- 2) Oonishi, T.¹⁾, Sakashita, K.²⁾ and Uyesaka, N. (¹⁾Dept. of Pathol., The Kanto Teishin Hosp., ²⁾The Medical Information Institute, The Kanto Teishin Hosp.): [原著] Flow cytometric studies of the binding of monoclonal antibodies OKT 3, OKT 4 and OKT 8. J. Immunol. Methods, **115**, 159~167, 1988.
- 3) 品川嘉也: [総説] 大脳半球機能と催眠. 催眠と科学, **3**, 1~5, 1988.
- 4) 品川嘉也, 河野貴美子¹⁾, 吉川玲子, 加藤隆吉²⁾, 齊藤恵美子³⁾ (¹⁾基礎医学情報処理室, ²⁾東京催眠心理研究所, ³⁾アイライフKK): [原著] 催眠とイメージの EEG トポグラフによる解析. 催眠と科学, **3**, 15~25, 1988.
- 5) Kumazaki, T.¹⁾, Okada, S.¹⁾ and Uyesaka, N. (¹⁾Dept. of Radiol.): [原著] Effect of water-soluble iodinated contrast media on pressure-flow relationship of red cell suspension. Invest. Radiol., **23**, S 153~S 156, 1988.

著書

- 1) 品川嘉也: [分担] 脳と精神機能/脳とコンピュータ. “図説臨床精神医学講座1 精神医学入門と診断法”(島蘭安雄, 保崎秀夫, 徳田良仁, 風祭元編), p. 58~61, メジカルビュー社, 1988.
- 2) 品川嘉也: 頭が突然鋭くなる右脳刺激法. 青春出版社, 1988.
- 3) 品川嘉也: [分担] 禅と芸術体験の表出. “禅の四季—修行の生活と文化”(禅文化研究所・臨済会監修), p. 168~169. 佼成出版社, 1988.
- 4) 品川嘉也: 右脳クラシック鑑賞法. 丸善メイツ, 1988.

学会発表

- 1) 長谷川節雄, 新井弘一¹⁾, 飯野正昭, 上坂伸宏, 品川嘉也 (¹⁾第2内科): [一般講演] 不安定ヘモグロビン症患者赤血球のレオロジー的研究. 第65回日本生理学会大会, 1988.
- 2) 新井弘一¹⁾, 姉川孝²⁾, 長谷川節雄, 飯野正昭, 塩栄夫²⁾, 上坂伸宏 (¹⁾第2内科, ²⁾京大・医・神経内科): [一般講演] 新しい微小孔(ニッケルメッシュ)を用いた赤血球浮遊液の圧-流量関係. 第65回日本生理学会大会, 1988.
- 3) 河野貴美子¹⁾, 吉川玲子, 品川嘉也 (¹⁾基礎医学情報処理室): [展示] イメージ思考と大脳半球機能優位性のトポグラフによる解析. 第65回日本生理学会大会, 1988.
- 4) 長谷川節雄, 上坂伸宏: [展示] 不安定ヘモグロビン症患者赤血球(Hb Yokohama)のレオロジー特性. 第50回

血液学会総会, 1988,

- 5) Iino, M., Arai, K.¹⁾, Hasegawa, S., Shio, H.²⁾ and Uyesaka, N. (¹⁾2nd Dept. of Internal of Medicine, ²⁾Dept. of Neurol., Kyoto Univ.) : [展示] Theoretical analysis of factors regulating red cell deformability. Second Japan-China Bilateral Symposium on Biophysics (Kyoto), 1988.
- 6) Shinagawa, Y. and Matsuda, H.¹⁾ (¹⁾Information Processing Center of Medical Sciences) : [展示] An extended model of the Kedem-Katchalsky equation to the ovweshoot-uptake membrane transport of non-electrolyte. Second Japan-China Bilateral Symposium on Biophysics (Kyoto), 1988.
- 7) 飯野正昭, 新井弘一¹⁾, 長谷川節雄, 塩栄夫²⁾, 上坂伸宏 (¹⁾第2内科, ²⁾京大・医・神経内科) : [一般講演] 赤血球浮遊液のフィルトレーションの圧-流量関係に及ぼす多体効果と可逆結まりの効果. 第11回日本バイオレオロジー学会年会, 1988.
- 8) 新井弘一¹⁾, 飯野正昭, 姉川孝²⁾, 長谷川節雄, 塩栄夫²⁾, 上坂伸宏 (¹⁾第2内科, ²⁾京大・医・神経内科) : [一般講演] 新しい微小孔膜(ニッケルメッシュ)による赤血球の filterability. 第11回日本バイオレオロジー学会年会, 1988.
- 9) 長谷川節雄, 上坂伸宏, 品川嘉也 : [一般講演] 不安定ヘモグロビン症患者(Hb Yokohama) 赤血球のレオロジー特性. 第11回日本バイオレオロジー学会年会, 1988.
- 10) 品川嘉也, 菊池美也子¹⁾ (¹⁾日本システム開発研究所) : [一般講演] 情報構造としての宇宙. 日本医学哲学・倫理学会第7回大会, 1988.
- 11) 新井弘一¹⁾, 飯野正昭, 塩栄夫²⁾, 上坂伸宏 (¹⁾第2内科, ²⁾京大・医・神経内科) : [一般講演] 赤血球の微小孔通過能と変形能; 実験. 第26回日本生物物理学会年会, 1988.
- 12) 飯野正昭, 新井弘一¹⁾, 塩栄夫²⁾, 上坂伸宏 (¹⁾第2内科, ²⁾京大・医・神経内科) : [一般講演] 赤血球の微小孔通過能と変形能; 理論. 第26回日本生物物理学会年会, 1988.
- 13) 上坂伸宏, 長谷川節雄, 塩栄夫¹⁾ (¹⁾京大・医・神経内科) : [一般講演] 活性酸素による赤血球のレオロジー特性と膜構造の変化. 第26回日本生物物理学会年会, 1988.
- 14) 比留間博之¹⁾, 伊藤慎芳²⁾, 塩栄夫³⁾, 上坂伸宏 (¹⁾第3内科, ²⁾関東通信病院・内科, ³⁾京大・医・神経内科) : [一般講演] 水溶性ヨード造影剤の赤血球微小孔通過能に及ぼす作用. 第26回日本生物物理学会年会, 1988.
- 15) 新井弘一¹⁾, 飯野正昭, 赫彰郎¹⁾, 塩栄夫²⁾, 上坂伸宏 (¹⁾第2内科, ²⁾京大・医・神経内科) : [一般講演] 新しい微小孔膜(ニッケルメッシュ)を用いた赤血球浮遊液の filterability. 第29回日本脈管学会総会, 1988.
- 16) 横山聡, 河野貴美子¹⁾, 品川嘉也 (¹⁾基礎医学情報処理室) : [一般講演] 速読者の脳波トポグラフ解析. 第18回日本脳波・筋電図学会学術大会, 1988.
- 17) 河野貴美子¹⁾, 品川嘉也 (¹⁾基礎医学情報処理室) : [展示] 思考時, α 波は速波化する. 第18回日本脳波・筋電図学会学術大会, 1988.
- 18) 品川嘉也 : [特別講演] イメージと脳; 芸術療法の生理的基礎を求めて. 第20回日本芸術療法学会, 1988.
- 19) 品川嘉也 : [シンポジウム] 気とイメージ; その脳波学的研究. 日中友好シンポジウム 気と人間科学, 1988.
- 20) Shinagawa, Y. : [ワークショップ] Biomemory. International Workshop on Intelligent Materials (Tsukuba), 1989.

4. 第二生理学講座

研究概要

記憶・テンカンなど神経系の可塑的变化が当教室の重要な研究主題である。脳の高次神経活動は脳の可塑性に基づいて発現するが、脳の可塑的变化は神経細胞樹状突起の活動と関係があるとわれわれは確信して研究を行ってきた。われわれにこの確信を与えたのは Ramón Y. Cajal である。彼が英国の Royal Society に招かれてフランス語で行った演説がその proceedings に掲載されている (55:444-468, 1894) その中にわれわれの研究目標を雄弁に支持する一節があるので引用する。

A ce double point de vue — différentiation et abondance des expansions protoplasmiques, quantité énorme des ramifications nerveuses collatérales et terminales — aucun élément nerveux ne semble approcher, même de loin, de la pyramide cérébrale des mammifères. なお expansion protoplasmique というのは dendrite のことである。100年前の論文であるが、現代の neuroscience はまだ Ramón Y. Cajal の提出した重要な問題を解決していない。

Fujita らの研究は樹状突起の活動に反映される可塑的变化と関連したものである。

Kogure の仕事はテンカン発現における interneuron の役割を追求している。Yagi らの研究はモルモットを用いて前庭一次ニューロンの発射に対する麻酔の影響をしらべたものであり、前庭入力に対する脳の遠心性調節とも関連し、重要な研究主題である。また前庭系の二次ニューロンである前庭神経核に関しては、すでに可塑性に関する報告があるが、一次ニューロンにおける可塑性の問題も Yagi らは研究対象としている。記憶・テンカンと関係があるとされている海馬の電気活動の研究が今年度 (1988年) あらたに鈴木らによって開始された。

研究業績

論文

- 1) Yagi, T. and Ueno, H.: [原著] Behavior of primary horizontal canal neurons in alert and anesthetized guinea pigs. *Exp. Neurol.*, **101**, 356~363, 1988.
- 2) Yagi, T. and Ueno, H.: [原著] Physiological characteristics of the primary horizontal canal neurons in anesthetized animals. *Adv. Otorhinolaryngol.*, **41**, 20~24, 1988.
- 3) 八木聡明, 上野博史, 森園徹志: [原著] 連続振子様回転に対する外側半規管一次ニューロンの応答. *Ear. Res. Jpn.*, **19**, 459~461, 1988.
- 4) Kogure, S.: [原著] The response alterations of hippocampal cells during tetanic stimulation. *Jpn. J. Psychiatry Neurol.*, **42**, 627~629, 1988.
- 5) 藤田安一郎: [総説] 神経細胞樹状突起の電気現象と機能. *日生理誌*, **50**, 739~752, 1988.

学会発表

- 1) Fujita, Y., Harada, H. and Fujii, N.: [一般講演] Transient increase in motoneuron dendritic responses following tetanization of afferent nerves in pigs and cats. 第65回日本生理学会大会, 1988.
- 2) Kogure, S.: [一般講演] Relationship between pyramidal and nonpyramidal cells during electrically induced paroxysmal discharges. 第65回日本生理学会大会, 1988.
- 3) 藤井信人: [一般講演] ウサギ海馬の実験的テンカンにおける錐体細胞の電気現象. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 4) 藤田安一郎, 藤井信人: [一般講演] ネコ脊髄多シナプス反射の長期増強 (LTP). 第12回日本神経科学協会学術集会, 1988.

5. 第一生化学講座

研究概要

1. 造血細胞における遺伝子発現の調節機構

赤血球系細胞の分化・成熟機構を遺伝子レベルで解明することを目的とするが、当面の目標はラットグロビン遺伝子群の全貌を明らかにすることで、この目標に沿って構造解析を進めている。前年度に引きつづき、 α -グロビン遺伝子群に関しては、II α -グロビン遺伝子とその3'-下流に隣接した1個の偽遺伝子を含む17 kb、 β -グロビン遺伝子群に関しては、III β -グロビン遺伝子を含む15 kbのクローンを単離し周辺領域を含め構造決定を行った。(佐藤, 猪口)

2. ミトコンドリア形成と機能分化の分子機構

ミトコンドリア形成に際しての核、ミトコンドリア両遺伝子系の協調機構、発現の組織特異性、およびこれら遺伝子の発現異常に起因する疾病の解明を目的として、ラット cytochrome c oxidase subunit およびヒト glutamate dehydrogenase (GDH) 遺伝子の構造解析を進めている。

(1) ラット肝に引きつづき脳組織より cytochrome c oxidase subunit IV, VIa, VIc の cDNA を単離し、両組織間での同一性を確認した。さらに subunit IV の遺伝子を単離し構造解析を行っている。(後藤, 安室, 山田)

(2) ヒト肝 GDH に関し、前年の cDNA クローニングにつづいてゲノム遺伝子の構造解析に着手し、少なくとも2個の遺伝子と1個の偽遺伝子の存在を確認するとともにプロモーター領域を含む多くの塩基配列を決定した。一方、ラット肝 GDH cDNA をクローニングし、全塩基配列を決定した。(安室, 伊藤, 大木(付属眼科))

3. 各種蛋白質の構造, 機能, 代謝に関する研究

(1) ラットヘモグロビン (Hb) の多様性を蛋白質レベルで確認する目的から、前年度に単離した9種のHb成分の一次構造を解析し、これら全Hb成分のサブユニット構成を明らかにした。(田中, 阿部)

(2) *Rana catesbeiana* 肝より精製した Cu/Zn-superoxide dismutase (SOD) の全一次構造を決定した。(阿部)

(3) ラット水晶体 γ -クリスタリン cDNA のクローニングを行い3種のクローンを単離した。引きつづきその構造解析および大腸菌における発現を試みている。(安室, 大木(付属眼科))

研究業績

論文

- 1) Amuro, N., Yamaura, M., Goto, Y. and Okazaki, T.: [原著] Molecular cloning and nucleotide sequence of the cDNA for human liver glutamate dehydrogenase. *FASEB J.*, **2**, A546, 1988.
- 2) Amuro, N., Yamaura, M., Goto, Y. and Okazaki, T.: [原著] Molecular cloning and nucleotide sequence of the cDNA for human liver glutamate dehydrogenase precursor. *Biochem. Biophys. Res. Commun.*, **152**, 1395~1400, 1988.
- 3) Nagae, Y., Fujii, Y., Yoneyama, Y., Goto, Y. and Okazaki, T.: [原著] Nucleotide sequence of the *Rana catesbeiana* mitochondrial small (12 S) and large (16 S) ribosomal RNA genes. *Nucleic Acids Res.* **16**, 10363, 1988.
- 4) 長江安洋: [原著] *Rana catesbeiana* ミトコンドリア rRNA の一次および二次構造. *日医大誌*, **55**, 417~430, 1988.
- 5) Amuro, N., Ooki, K., Ito, A., Goto, Y. and Okazaki, T.: [原著] Nucleotide sequence of rat liver glutamate dehydrogenase cDNA. *Nucleic Acids Res.*, **17**, 2356, 1989.
- 6) 田中彰: [原著] ラットヘモグロビンの多様性; HPLC によるグロビン鎖の分離と構造解析. *日医大誌*, **56**, 51~58, 1989.

学会発表

- 1) Amuro, N., Yamaura, M., Goto, Y. and Okazaki, T.: [一般講演] Molecular cloning and nucleotide sequence of the cDNA for human liver glutamate dehydrogenase. 72nd Annual Meeting of Federation of American Societies for Experimental Biology (Las Vegas), 1988.
- 2) 佐藤浩之, 長江安洋, 猪口直美: [一般講演] ラットグロビン遺伝子の構造解析; マウスグロビン遺伝子との相似性. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 3) 後藤至孝, 山田益弘, 安室尚樹, 岡崎太郎: [一般講演] ラット肝および脳組織より得た cytochrome c oxidase subunit IV, VIa, VIc cDNA 構造の解析. 第61回日本生化学会大会, 1988.
- 4) 田中彰, 阿部靖子, 岡崎太郎, 入江昌親¹⁾(¹⁾星薬大): [一般講演] ラットヘモグロビンの多様性; 各種 Hb 成分のサブユニット構成. 第61回日本生化学会大会, 1988.
- 5) 佐藤浩之, 長江安洋, 猪口直美, 岡崎太郎: [一般講演] ラットグロビン遺伝子の構造; α グロビン遺伝子の構造解析. 第61回日本生化学会大会, 1988.
- 6) 猪口直美, 長江安洋, 佐藤浩之, 岡崎太郎: [一般講演] ラットグロビン遺伝子の構造; β グロビン遺伝子の構造解析. 第61回日本生化学会大会, 1988.
- 7) 阿部靖子, 佐藤浩之, 岡崎太郎, 入江昌親¹⁾(¹⁾星薬大): [一般講演] *Rana catesbeiana* Cu, Zn-superoxide dismutase の一次構造. 第61回日本生化学会大会, 1988.
- 8) 安室尚樹, 伊藤明子, 後藤至孝, 岡崎太郎: [一般講演] ヒトグルタミン酸脱水素酵素遺伝子の構造解析. 1. 2 個の遺伝子と 1 個の偽遺伝子の存在. 第61回日本生化学会大会, 1988.

6. 第二生化学講座

研究概要

当教室は(1)鉄蛋白質と鉄代謝、(2)細胞膜の生化学および(3)脂質代謝と脂溶性ビタミンについて研究している。

(1)まずヒトの鉄栄養問題について、これは摂取量の絶対量の不足が問題の根底にあるが、吉野は2篇の総説を表わし、また佐藤らは実態調査に基づく論文2篇を発表した。鉄腸管吸収機構について吉野は臨血総会のシンポジウムの一つに当教室の業績をまとめて発表し、さらに在田・麦谷・久安および吉野は日医大誌、鉄代謝研究会、米国の細胞生物学・生化学連会学会に発表した。課題の中心は鉄吸収におけるレクチン阻害およびトランスフェリンレセプターの関与についてである。鉄蛋白質研究においては島田・神田(セ)は肝実質細胞とクッパー細胞が生成するフェリチンの質的相違と機能との関係、また中川・神田(セ)は肝実質細胞のトランスフェリン・フェリチン合成機構の相互関係の存在について緻密な研究を発表した。なお宮沢(東京医大第一内科)との協同研究によって、血液疾患における血清フェリチンの蛋白質化学的変動について検討が行われた。S. リンピサン(チェンマイ大)はサラセミア研究者であるが、留学期間に鉄過剰症における過酸化脂質生成について研究をまとめた。なお折茂と神田(セ)は“Metalloproteing”の分担執筆者として、それぞれ寄稿した。

(2)折茂はカルシウム膜輸送における IMcal (integral membrane Ca binding protein) について2回発表し、入江は脂質代謝、インスリンそして運動負荷の相互関係の研究を行った。

(3)エイコサノイド代謝はアラキドン酸を源流物質とし、体内のサイクロオキシゲナーゼ系(プロスタグランジンおよびトロンボキサン)およびリポキシゲナーゼ系(ロイコトリエン)代謝産物を生成し、生体機能に多岐にわたる影響を及ぼしている。神田(佳)、南澤、桂、山田、江口らは炎症または虚血によって誘導されるエイコサノイド生成異常亢進に対するビタミンAの代謝調節機能について、報文2、学会発表6さらに紹介講演1の業績を残した。

研究業績

論文

- 1) 吉野芳夫：〔総説〕鉄栄養と鉄代謝。Health Digest. **13**. 1～6, 1988.
- 2) 佐藤久美子, 池田由紀, 折茂英生, 吉野芳夫, 若林三圭¹⁾(¹⁾茨城県立総合健診協会)：〔総説〕女性の貯蔵鉄量と鉄摂取量との関連性。栄養アクセント, **6**, 104～107, 1988.
- 3) Yoshino, Y., Sato, K., Orimo, H., Migita, S., Ikeda, Y. and Wakabayashi, S.：〔原著〕Iron nutrition status among Japanese women. Proc. 5th Asian Congress Nutr. Special Supplement to J. Nutr. Sci. Vitaminol., 64～70, 1988.
- 4) 吉野芳夫：〔総説〕鉄栄養の問題点。食の科学, **114**, 5～12, 1987.
- 5) 山田和人¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 田尻孝¹⁾, 古川清憲¹⁾, 神田佳和, 吉野芳夫(¹⁾第1外科)：〔原著〕エンドトキシン処理により誘導されるロイコトリエンC₄に対するビタミンA投与の効果。医のあゆみ, **146**, 867～868, 1988.
- 6) Katsura, K¹⁾, Minamisawa, H¹⁾, Katayama, Y¹⁾, Shimizu, J¹⁾, Goto, T¹⁾, Urushiyama, K¹⁾, Terashi, A¹⁾, Kanda, Y. and Yoshino, Y. (¹⁾2nd Internal Medicine)：〔原著〕Plasma levels of leukotriene C₄, B₄, slow reacting substance of anaphylaxis in chronological phases of cerebrovascular disease. Prostaglandins, **36**, 655～665, 1988.
- 7) 神田佳和, 久安早苗, 桂研一郎, 南澤宏明, 吉野芳夫：〔原著〕endotoxin 処置肺組織切片のeicosanoids 産生誘導に対するVA, VAAの抑制作用。日本炎症学会雑誌, **8**, 519～523, 1988.
- 8) 宮沢啓介¹⁾, 外山圭助¹⁾, 高桑良夫¹⁾, 神成節子, 林洸洋¹⁾, 吉野芳夫, 木村元彦¹⁾, 吉川治¹⁾(¹⁾東京医大第1内科)：〔原著〕白血病と鉄過剰の血清 iso ferritin pattern の相違。臨血, **29**, 2276～2282, 1988.
- 9) 右田節子：〔原著〕ラット無機鉄腸管吸収に及ぼす食品の影響ならびに分離大豆蛋白の鉄吸収阻害作用について。

日医大誌, 55, 555~563, 1988.

- 10) 吉野芳夫：〔総説〕貯蔵鉄の増加は発癌につながるか。医のあゆみ, 148, 794, 1989.
- 11) 吉野芳夫：〔総説〕鉄の腸管吸収。第30回日本臨床血液学会総会サテライトシンポジウムⅠ, 貧血と鉄代謝, 記録集, p. 7~16, 1989.

著 書

- 1) Orimo, H., and Yoshino, Y. : 〔分担〕 Transferrin, lactoferrin, and related proteins. "Bioactive Molecules Vol. 8, in Metalloproteins ; Chemical Properties and Biological Effects" (Otsuka, S. and Yamada, T. eds.) p. 258~262, Elsevier Amsterdam (Tokyo), 1988.
- 2) Shinjo, S. : 〔分担〕 Ferritin. "Bioactive Molecules Vol. 8, in Metalloproteins ; Chemical Properties and Biological Effects" (Otsuka, S. and Yamada, T. eds.), p. 248~257, Elsevier Amsterdam (Tokyo), 1988.

学会発表

- 1) Sukanya, L., 久安早苗, 三上俊夫, 神成節子, 吉野芳夫：〔一般講演〕デキストラン鉄過剰負荷ラットにみられる脂質過酸化。第50回日本血液学会総会, 1988.
- 2) 島田研三, 三上俊夫, 神成節子, 吉野芳夫, 盤若博司¹⁾ (¹⁾老人科)：〔一般講演〕鉄過剰時におけるラット肝細胞および Kupffer 細胞内貯蔵鉄の動態および ferritin の特性について。第50回日本血液学会総会, 1988.
- 3) 高桑良夫¹⁾, 外山圭助¹⁾, 宮沢啓介¹⁾, 神成節子, 木村元彦¹⁾, 吉野芳夫, 林洗洋¹⁾, 吉川治¹⁾ (¹⁾東京医大第1内科)：〔一般講演〕白血病と鉄過剰症との血清 isoferritin pattern の相違。第50回日本血液学会総会, 1988.
- 4) Kanda, Y., Hisayasu, S., Minamizawa, H.¹⁾ and Yoshino, Y. (¹⁾2nd Internal Medicine) : 〔 〕 Effects of vitamin A on eicosanoids contents in the lung of rat treated by thermal injury. Taipei Conference on Prostaglandin and Leukotriene Research (Taipei), 1988.
- 5) 佐藤久美子, 池田由紀, 吉野芳夫, 若林三圭¹⁾ (¹⁾茨城県総合健診協会)：〔一般講演〕受胎可能年齢女子におこなった微量鉄添加の鉄栄養の影響。第42回日本栄養食糧学会総会, 1988.
- 6) 折茂英生, Schachter, D¹⁾. (¹⁾コロンビア大・医・生理)：〔一般講演〕ラット消化管における Integral Membrane Calcium Binding Protein (IMCal) の局在。第42回日本栄養食糧学会総会, 1988.
- 7) 入江学, 久安早苗, 平井幸彦, 吉野芳夫：〔一般講演〕ラット脂肪細胞のインスリン感受性に対する自発運動 (Wheel Running) の影響。第42回日本栄養食糧学会総会, 1988.
- 8) 江口儀太¹⁾, 渡部博道¹⁾, 野沢富一¹⁾, 神田佳和, 吉野芳夫, 手代木正²⁾ (¹⁾北村山公立病院小児科, ²⁾第一病院小児科)：〔一般講演〕MCLS 及び急性下気道炎における Vitamin A の変動とその意義について。第90回日本小児科学会学術集会, 1988.
- 9) 神田佳和, 南澤宏明, 白鳥辰治, 可世木久幸¹⁾, 吉野芳夫 (¹⁾産婦人科)：〔一般講演〕Eicosanodis 遊出に対する Vitamin A の作用。第40回日本ビタミン学会, 1988.
- 10) Kanda, Y., Minamizawa, H., Katsura, K., Hisayasu, S. and Yoshino, Y. : 〔一般講演〕 Effects of vitamin A and vitamin A acid on eicosanoids in the rat lung. FASEB Summer Research Conferences (Vermont), 1988.
- 11) 折茂英生：〔海外留学者講演〕Vitamin D 依存性 Integral Membrane Calcium Binding Protein (IMCal) とその局在。第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 12) 中川義宏, 神田節子, 吉野芳夫, 恩田昌彦¹⁾ (¹⁾第1外科)：〔一般講演〕ラット肝細胞における ferritin と transferrin 生合成の相互作用。第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 13) Kanda, Y., Minamizawa, H., Katsura, K., Hisayasu, S. and Yoshino, Y. : 〔一般講演〕 Effects of retinol and retinotic

- acid on eicosanoids induced in rat lung. 29 th International Conference on the Biochemistry of Lipids (Tokyo), 1988.
- 14) 中川義宏, 神田節子, 吉野芳夫: [一般講演] ラット肝細胞における ferritin と transferrin 合成と鉄との関係について. 第61回日本生化学会大会, 1988.
 - 15) 入江学, 久安幸彦, 平井幸彦, 佐藤久美子, 池田由紀, 吉野芳夫: [一般講演] ラット脂肪細胞の自発運動によるインスリン感受性と受容体数の変化. 第61回日本生化学会大会, 1988.
 - 16) 神田佳和, 桂研一郎, 久安早苗, 吉野芳夫: [一般講演] ラット肺組織及び肺胞マクロファージにおけるロイコトリエン産生とビタミンAの抑制効果. 第61回日本生化学会大会, 1988.
 - 17) 麦谷圭一郎, 久安早苗, 折茂英生, 右田節子, 吉野芳夫: [一般講演] 鉄の化学形態と腸管吸収. 第12回鉄代謝研究会, 1988.
 - 18) 中川義宏, 神田節子, 吉野芳夫: [一般講演] ラット hepatocyte ferritin 及び transferrin 合成における鉄の調節機構についての検討. 第12回鉄代謝研究会, 1988.
 - 19) 佐藤久美子, 池田由紀, 吉野芳夫, 若林三圭¹⁾ (¹⁾茨城県立総合健診協会): [一般講演] 女性の貯蔵鉄量と鉄摂取量との関連性. 第11回栄養アセスメント研究会, 1988.
 - 20) 吉野芳夫, 久安早苗, 折茂英生, 麦谷圭一郎, 右田節子, 寺戸国男: [シンポジウム] 鉄の腸管吸収 (サテライトシンポジウム I, 貧血と鉄代謝). 第30回臨床血液学会総会, 1988.
 - 21) Yoshino, Y., Mugitani, K., Hisayasu, S. and Orimo, H.: [一般講演] Detection of transferrin in digestive juices and its role in iron absorption through rat small intestine. Joint Meeting, The American Society for Cell Biology and The American Society for Biochemistry and Molecular Biology (San Francisco), 1989.
 - 22) 神田佳和: [紹介講演] エイコサノイド産生誘導に対するビタミンAの抑制作用. 第235回脂溶性ビタミン総合研究委員会, 1989.

7. 薬理学講座

研究概要

当教室では、実験薬理部門ならびに臨床薬理部門において、広い視野のもとに多岐にわたった研究を行っている。

実験薬理部門では、①運動ニューロンの生存に関わる物質の検索、同定を開始し、運動ニューロン病発症機構解明へのアプローチを試みている。②脊髄 Ia シナプスの可塑的機構の検索を進めており、その一つとしてアクリルアミドの Ia シナプスに対する作用を、電気生理学および薬理的に検討している。③平滑筋のアナフィラキシー性収縮発現機序の研究を行っている。単離平滑筋細胞でアナフィラキシー性収縮が認められたことから、抗原-抗体反応が平滑筋細胞膜上で起こること、ならびにこの収縮をひき起こす抗体が IgG であることが示唆された。さらに、この収縮の細胞内情報伝達系の一部に Lipoygenase の関与が示唆された。④ラ氏島灌流標本および生体内腓分離標本を用い、ジソピラミドの insulin 分泌に及ぼす作用を検討。その結果、ジソピラミドは相反する二様の作用を示すことが明らかになり、このうち、insulin 分泌抑制作用は、高糖液により修飾されることが判明した。

臨床薬理部門では、①βラクタム抗生剤のうち、肝では代謝を受けたり、胆汁排泄を受けるものは、肝疾患患者に投与された場合、それらの薬物動態が影響を受けること、および第3世代の cefotaxime と cefoperazone の薬物動態と肝容積との関係を検討している。②四塩化炭素による急性あるいは慢性傷害ラットにおける cefotaxime の subcellular レベルでの代謝を検討。③自然発症慢性膵炎モデル WBN/Kob ラットの利用。殊に慢性膵炎治療評価への応用。④厚生省「副作用モニター報告」(昭和55年～62年度, 12,241件)のデータベースを MS-DOS 用ファイル変換し、広く使えるようにした。⑤本学内から報告された副作用データを詳しく解析。⑥薬物治験審査委員会の事務受付業務を担当。

研究業績

論文

- 1) 大橋和史, 金重輝¹⁾, 仲間一雅²⁾ (¹⁾第3内科, ²⁾実験動物室): [原著] WBN/Kob ラットにおける慢性膵炎様変化. 日消病会誌, **85**, 13, 1988.
- 2) 大橋和史: [総説] 薬剤による尿路障害. カレントセラピー, **6**, 98~101, 1988.
- 3) Shonai, K., Okamura, T. and Takeuchi, Y.¹⁾ (¹⁾微生物免疫): [原著] Antigen, histamine and serotonin-induced contractions of single smooth muscle cells of guinea pig taenia coli. アレルギー, **37**, 283~293, 1988.

学会発表

- 1) 阿曾亮子: [招待講演] 副作用情報におけるコンピューターの利用. 第31回薬物治療モニタリング研究会, 1988.
- 2) 宮田雄平: [特別講演] 運動ニューロン病発症機構への実験的アプローチ. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 3) 原浩子, 阿曾亮子, 大橋和史: [展示] 最近5年間(昭和59~63年度)に報告された本学の副作用の報告のまとめ. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 4) Shonai, K. and Okamura, T.: [展示] Anaphylactic contraction of single smooth muscle cells of guinea pig taenia coli. XIII International Congress of Allergology and Clinical Immunology (Montreux), 1988.
- 5) 宮田雄平, 吉岡耕一¹⁾ (¹⁾東京医科歯科大・医・薬理): [一般講演] 終板外アセチルコリン感受性分布の神経性調節. 第16回薬理活性シンポジウム—三種の筋細胞における薬物感受性と病態修飾—, 1988.
- 6) 大橋和史, 原浩子, 阿曾亮子, 金重輝¹⁾, 仲間一雅²⁾, 秋元敏雄²⁾ (¹⁾第3内科, ²⁾実験動物室): [一般講演] 新しい自然発症慢性膵炎モデル WBN/Kob ラットの膵病変の観察とその臨床薬理的利用. 第9回日本臨床薬理学

会, 1988.

- 7) 阿曾亮子, 原浩子, 大橋和史: [一般講演] 厚生省副作用モニター報告の広範な利用; MS-DOS ファイルへの変換. 第9回日本臨床薬理学会, 1988.
- 8) 宮田雄平: [一般講演] Disuse enhances Ia synaptic transmission in rats. The 14th Seiriken Conference on the Neural Basis of Cortical Plasticity, 1989.
- 9) 大橋和史, 金重輝¹⁾, 原浩子, 仲間一雅²⁾, 秋元敏雄²⁾ (¹⁾第3内科, ²⁾実験動物室): [一般講演] WBN/Kob ラットの慢性膀胱様変化に対する薬物の効果. 第3回糖尿病動物研究会, 1989.
- 10) 仲間一雅¹⁾, 秋元敏雄¹⁾, 大橋和史, 金重輝²⁾, 原浩子 (¹⁾実験動物室, ²⁾第3内科): [一般講演] WBN/Kob ラットの自然発症膀胱疾患について; 膀胱変現・性差についての一考. 第3回糖尿病動物研究会, 1989.
- 11) 庄内香代, 岡村忠夫: [一般講演] Lipoxigenase 阻害剤による単離平滑筋細胞のアナフィラキシー性収縮の抑制. 第62回日本薬理学会総会, 1989.

8. 第一病理学講座

研究概要

当教室では大むね研究者個人の自主的なテーマの選択で研究は遂行されているが、その対象となる主要な臓器は腎、肺、心であり、また研究方法は免疫組織化学および超微形態的追求が main で、かつそれはテーマを超えた研究者相互の協力のもとに行われている。

腎については、糸球体メサンジウム (Mes) 領域の研究が主で、その腎炎の際の態度、実験的にマウスに抗Ⅳ型コラーゲン血清を投与した際の当該部への IgA 沈着増加の成因ならびに LPS によるその suppression、ほかにスナネズミの Mes 細胞における Thy-1・1 抗原の存在などの研究がなされた。Mes 以外では糸球体基底膜についての anionic site の研究、cyclophosphamide 投与による新生仔ラットの糸球体障害、さらには実験的多嚢胞腎の形成機序の研究などが行われた。その他の泌尿器関連領域ではヒト培養前立腺細胞のヒト培養骨芽細胞に与える影響についての研究などがある。

肺については、弾性線維の胎生期発生およびその病的変化、培養肺胞間質細胞による弾性線維形成およびその際の microfibrils の役割、肺気腫の際にみられる異常弾性線維ならびに肺胞構造改変機序の研究のほか、気管支上皮細胞擦過後の上皮再生態度や胎生ウサギ肺における surfactant の局在ならびに間質性肺疾患における肺胞毛細管内皮細胞の形質変換とその意義に関する考察などが行われている。

心については、僧帽弁逸脱症候群の弁尖組織における粘液様変性部の微細形態的变化についての研究のほか、胸部外科と共同の MOF 剖検例の臨床病理学検討や、さらには心臓血管外科の新術式に関連した局所の病理形態学的研究がある。

その他、臨床病理学的に興味深い多数の腎疾患症例のほか脳、肺、心、消化器、血液疾患の個々の症例についての報告もなされた。このほか、以上のカテゴリーに属さない糖尿病自然発症ラットなどの研究をも含め、当教室のかかわった研究内容は極めて多彩である。

研究業績

論文

- 1) 山中宣昭：〔総説〕糸球体腎炎とメサンジウム細胞。臨床医，14，478～479，1988。
- 2) 山中宣昭：〔総説〕腎と他臓器；解剖学的な特徴。2. 傍糸球体装置など。腎と透析，25 (臨時増刊号)，13～18，1988。
- 3) 福田悠¹⁾ (¹⁾付属病院病理部)：〔総説〕弾性線維の胎生期発生および病的変化；電顕的・免疫組織化学的検索。結合組織，20，32～35，1988。
- 4) 福田悠¹⁾ (¹⁾付属病院病理部)：〔総説〕肺胞間質 (筋線維芽) 細胞。呼吸，7，1372～1380，1988。
- 5) 山中宣昭：〔総説〕糸球体腎炎とメサンジオリシス。腎と透析，26，347～352，1989。
- 6) 川本雅司，田中茂夫¹⁾，庄司佑¹⁾，早川弘一²⁾，馬杉洋三，山手昇³⁾ (¹⁾胸部外科，²⁾第1内科，³⁾聖マリアンナ医科大学第3外科)：〔報告〕穿孔を伴った僧帽弁瘤の1例；本邦例の検討とともに。日臨外医学会誌，50，85～90，1989。
- 7) 益田幸成：〔原著〕マウスにおけるヒツジ抗Ⅳ型コラーゲン血清投与による腎糸球体変化；特に IgA メサンジウム沈着について。日医大誌，55，147～156，1988。
- 8) 根岸鋼，鈴木恒道¹⁾，益田幸成，馬杉洋三，寺本明²⁾，大浜栄作³⁾ (¹⁾付属病院病理部，²⁾東京警察病院脳神経外科，³⁾新潟大学脳研)：〔原著〕原発性下垂体癌の2剖検例。脳と神，40，491～496，1988。

- 9) Fukuda, Y.¹⁾, Masuda, Y., Kishi, J.²⁾, Hashimoto, Y.²⁾, Hayakawa, T.²⁾, Nogawa, H.³⁾ and Nakanishi, Y.⁴⁾ (¹⁾付属病院病理部, ²⁾愛知学院大学歯学部生化, ³⁾千葉大学教養学部生物, ⁴⁾名古屋大学理学部化学) : [原著] The role of interstitial collagens in cleft formation of mouse embryonic submandibular gland during initial branching. *Development*, **103**, 259~267, 1988.
- 10) Kawaguchi, S.¹⁾, Tanaka, H.²⁾, Hoshino, K.²⁾, Katsumata, Y.²⁾, Masuda, Y., Ishizaki, M. and Masugi, Y. (¹⁾自衛隊中央病院内科, ²⁾同小児科) : [原著] Suppression of glomerular IgA deposition in ddy mice through periodic injection of lipopolysaccharides. *Clin. Immunol. Immunopathol.*, **48**, 362~370, 1988.
- 11) Yoneyama, K. : [原著] Immunohistochemical localization of pulmonary surfactants in fetal rabbit lung. *Acta Obst. Gynec. Jpn.*, **40**, 1740~1746, 1988.
- 12) 三宅弘章 : [原著] 肺癌におけるランゲルハンス系細胞の出現とその意義について. *日本肺癌学会誌*, **28**, 849~855, 1988.
- 13) Huang, S.C.¹⁾, Miki, K.¹⁾, Sano, J., Ichinose, M.¹⁾, Kawamura, N.¹⁾, Oka, H.¹⁾, Hirano, K.²⁾, Furihata, C.³⁾, Masugi, Y. and Takahashi, K.⁴⁾. (¹⁾東京大学第1内科, ²⁾岐阜薬科大学, ³⁾東京大学医科研分子腫瘍, ⁴⁾東京大学理学部生物物理化学) : [原著] Pepsinogens I and II in gastric cancer; An immunohistochemical study using monoclonal antibodies. *Jpn. J. Cancer Res.*, **79**, 1139~1146, 1988.

著 書

- 1) Yamanaka, N. and Sugisaki, Y. : [分担] Proliferative glomerulonephritis induced by antisera to type IV collagen from rabbit lens capsular and glomerular basement membrane. "Progress in Basement Membrane Research, Renal and Related Aspects in Health and Disease" (Gubler, M.C. and Steinberg, M. eds.), p. 143~144, John Libbey Eurotext Ltd., London・Paris, 1988.
- 2) 七戸和博¹⁾, 清水眞澄¹⁾, 秋元敏雄¹⁾, 仲間一雅¹⁾, 石崎正通 (¹⁾実験動物管理室) : [分担] WBN/Kob ラットの糖尿病発症におけるコロニー差について. "糖尿病動物" (後藤由夫編), p. 104~110, 医薬ジャーナル, 1988.
- 3) 竹内良夫¹⁾, 西村葉子¹⁾, 横室公三¹⁾, 木村義民¹⁾, 雑賀寿和²⁾, 石崎正通 (¹⁾微生物免疫, ²⁾眼科) : [分担] 実験的アレルギー性結膜炎モデルにおける小青竜湯の効果について, "漢方と免疫・アレルギー" (長野準他編), p. 72~80, メディカルトリビューン, 1988.

学会発表

- 1) 福田悠¹⁾, 川本雅司, 馬杉洋三, Ferrans, V. J.²⁾ (¹⁾付属病院病理部, ²⁾NHLBI. NIH. USA.) : [一般講演] プレオマイシン肺線維症の肺胞構造改変における肺胞腔内線維化の意義. 第28回日本胸部疾患学会, 1988.
- 2) 大藺英一¹⁾, 葉山修陽¹⁾, 池田一則¹⁾, 岡史篤¹⁾, 荒井竜彦¹⁾, 原一男¹⁾, 赫彰郎¹⁾, 石崎正通, 馬杉洋三, 大國寿士²⁾ (¹⁾第2内科, ²⁾微生物免疫) : [一般講演] 急性腎不全を呈した PSAGN の一症例. 第18回日本腎臓学会東部部会, 1988.
- 3) 葉山修陽¹⁾, 小林陽二¹⁾, 鈴木秀徳¹⁾, 大藺英一¹⁾, 荒井竜彦¹⁾, 原一男¹⁾, 赫彰郎¹⁾, 金川卓郎²⁾, 石崎正通, 馬杉洋三 (¹⁾第2内科, ²⁾愛生会田尻丘病院) : [一般講演] Shunt nephritis の1症例. 第18回日本腎臓学会東部部会, 1988.
- 4) 川口茂¹⁾, 松崎中¹⁾, 馬杉洋三 (¹⁾1 自衛隊中央病院内科) : [一般講演] IgA 腎症における prednisolone および cyclophosphamide 併用療法について. 第18回日本腎臓学会東部部会, 1988.
- 5) 村上睦美¹⁾, 安保和俊¹⁾, 伊藤加寿子¹⁾, 宗像恵美子¹⁾, 土屋正己¹⁾, 山本博章¹⁾, 植田穰¹⁾, 石橋正通, 山中宣昭, 杉崎祐一, 馬杉洋三 (¹⁾小児科) : [一般講演] 第一回生検時に IgG が linear pattern を呈した膜性腎症の1例.

第18回日本腎臓学会東部部会, 1988.

- 6) 栗原怜¹⁾, 河辺満彦¹⁾, 米島秀夫¹⁾, 秋葉隆²⁾, 葉山修陽³⁾, 石崎正通 (¹⁾春日部秀和病院腎臓内科, ²⁾東京医科歯科大学第2内科, ³⁾第2内科): [一般講演] 血漿交換および免疫吸着療法が有効であった SLE に伴った自己免疫性溶血性貧血の1例. 第18回日本腎臓学会東部部会, 1988.
- 7) 石崎正通, 益田幸成, 杉崎祐一, 山中宣昭, 馬杉洋三, 清水眞澄¹⁾, 七戸和博¹⁾ (¹⁾実験動物管理室): [一般講演] Mongolian gerbil 腎糸球体における Thy-1・1 抗原の存在と腎炎発症について. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 8) 潘宏¹⁾, 佐藤茂¹⁾, 石崎正通, 相原薫, 孫泰重¹⁾ (¹⁾中央電子顕微鏡研究施設): [展示] EMC virus による実験的心筋炎発症機序に関する超微形態学的研究. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 9) 村上裕垂, 福田悠¹⁾, 益田幸成, 石崎正通, 馬杉洋三, 庄司佑²⁾ (¹⁾付属病院病理部, ²⁾第2外科): [一般講演] 気管上皮擦過後の上皮再生; 電顕的免疫組織学的検索. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 10) 福田悠¹⁾, 益田幸成, 石崎正通, 馬杉洋三 (¹⁾付属病院病理部): [一般講演] 肺気腫に見られる異常弾性線維の形成機序. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 11) 田村浩一, 福田悠¹⁾, 益田幸成, 馬杉洋三 (¹⁾付属病院病理部): [一般講演] 僧帽弁逸脱症候群の弁尖における弾性線維の変化. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 12) 鈴木恒道¹⁾, 矢島幹久²⁾ (¹⁾付属病院病理部, ²⁾第2病理): [一般講演] 進行性多巣性白質脳症と考えられる1剖検例. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 13) 川並汪一¹⁾, 青木見佳子, 松田健, 小泉信一郎, 山本達也, 馬杉洋三 (¹⁾第二病院病理部): [一般講演] ヒトマスト細胞の生理的脱顆粒の組織化学的電源の特徴. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 14) 益田幸成, 石崎正通, 馬杉洋三: [展示] 抗Ⅳ型コラゲン血清投与マウスにおける IgA メサンジウム (Mes) 沈着の成因について. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 15) 杉崎祐一, 山中宣昭, 清水章, 益田幸成, 石崎正通, 馬杉洋三: [展示] 腎糸球体発生の研究. (第4報) 抗腫瘍剤 (Cyclophosphamide) によるラット新生仔腎糸球体障害. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 16) 七戸和博¹⁾, 清水眞澄¹⁾, 仲間一雅¹⁾, 石橋正通, 馬杉洋三 (¹⁾実験動物管理室): [一般講演] Mongolian gerbil 腎糸球体 mesangium における Thy-1・1 抗原の存在について. 第35回日本実験動物学会総会, 1988.
- 17) 安保和俊¹⁾, 宗像恵美子¹⁾, 伊藤加寿子¹⁾, 土屋正己¹⁾, 芦田光則¹⁾, 村上睦美¹⁾, 山本博章¹⁾, 植田穰¹⁾, 石崎正通, 山中宣昭, 馬杉洋三 (¹⁾小児科): [一般講演] 長期間経過を観察し得た MPGN 10症例の臨床並びに病理形態学的検討. 第23回日本小児腎臓病学会, 1988.
- 18) 福田悠¹⁾, 馬杉洋三, Ferrans, V. J.²⁾ (¹⁾付属病院病理部, ²⁾NHLBI. NIH. USA.): [ワークショップ] 肺線維症における肺胞構造改変. 第20回日本結合組織学会総会, 1988.
- 19) 福田悠¹⁾, 中沢南堂²⁾, 石崎正通, 益田幸成, 馬杉洋三 (¹⁾付属病院病理部, ²⁾第2病理): [一般講演] 培養肺線維芽細胞における弾性線維形成. 第20回日本結合組織学会総会, 1988.
- 20) Nakano, K.¹⁾, Yoshimura, A.²⁾, Oniki, H.¹⁾, Ideura, T.²⁾, Koshikawa, S.²⁾ and Sugisaki, Y. (¹⁾昭和大学藤が丘病院電子顕微鏡研究室, ²⁾昭和大学藤が丘病院内科): [一般講演] Analysis of anionic sites of the glomerular basement membrane of rats in vivo-and in vitro-polyethyleneimine treatment. 第20回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1988.
- 21) 幡谷直樹¹⁾, 二宮恵子¹⁾, 石川辰雄¹⁾, 齊藤正敏¹⁾, 手代木正¹⁾, 田村浩一 (¹⁾第一病院小児科): [一般講演] ラット心筋に対する adrenocorticotrophic hormon (ACTH) の影響. 第24回日本小児循環器学会総会. 1988.
- 22) 渡辺善一郎¹⁾, 川上康彦¹⁾, 勝部泰弘¹⁾, 神保修¹⁾, 小川俊一¹⁾, 田村浩一, 中田繁²⁾, 平山恒夫³⁾ (¹⁾付属病院小児科, ²⁾東京衛生病院小児科, ³⁾多摩永山病院小児科): [一般講演] 横紋筋腫と思われる右室内巨大腫瘍の1新生児例. 第24回日本小児循環器学会総会. 1988.

- 23) Fukuda, Y.¹⁾, Masuda, Y., Ishizaki, M., Masugi, Y. and Ferrans, V. J.²⁾ (¹⁾付属病院病理部, ²⁾NHLBI. NIH. USA.) :
〔展示〕Morphogenesis of abnormal elastic fibers in panacinar and centriacinar emphysema. 8th International Congress of Histochem. and Cytochem. (Washington), 1988,
- 24) Nakanishi, Y.¹⁾, Fukuda, Y.²⁾, Masuda, Y., Nogawa, H.³⁾, Kishi, J.⁴⁾, Hashimoto, Y.⁴⁾ and Hayakawa, T.⁴⁾ (¹⁾名古屋大学理学部化学, ²⁾付属病院病理部, ³⁾千葉大学教養学部生物, ⁴⁾愛知学院大学歯学部生化) : 〔シンポジウム〕Effects of interstitial collagenase and collagenase inhibitor on the morphogenesis of salivary gland (Proteases and Tissue Remodeling). 4th International Congress of Cell Biology (Montreal), 1988.
- 25) Fukuda, Y.¹⁾, Nakazawa, N.²⁾, Ishizaki, M., Masuda, Y. and Masugi, Y. (¹⁾付属病院病理部, ²⁾第2病理) : 〔展示〕Role of microfibrils in elastogenesis of cultured pulmonary fibroblasts. 4th International Congress of Cell Biology (Montreal), 1988.
- 26) Kimura, G., Akimoto, M.¹⁾, Sugisaki, Y., Fukuda, Y.²⁾, Nakazawa, N.³⁾, Asano, G.³⁾ and Masugi, Y. (¹⁾泌尿器科, ²⁾付属病院病理部, ³⁾第2病理) : 〔展示〕Stimulation of *in vitro* calcification of human osteoblastic cells with conditioned medium from a human prostatic tumor cell line. 4th International Congress of Cell Biology (Montreal), 1988.
- 27) Nakanishi, Y.¹⁾, Fukuda, Y.²⁾, Masuda, Y., Nogawa, H.³⁾, Kishi, J.⁴⁾, Hashimoto, Y.⁴⁾ and Hayakawa, T.⁴⁾ (¹⁾名古屋大学理学部化学, ²⁾付属病院病理部, ³⁾千葉大学教養学部生物, ⁴⁾愛知学院大学歯学部生化) : 〔展示〕Effects of interstitial collagenase and collagenase inhibitor on the morphogenesis of salivary gland. 4th International Congress of Cell Biology (Montreal), 1988.
- 28) 清水章, 益田幸成, 石崎正通, 杉崎祐一, 山中宣昭, 馬杉洋三, 石川勲¹⁾ (¹⁾金沢医科大学腎臓内科) : 〔一般講演〕実験的多嚢胞腎の形成機序. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 29) 鈴木聡¹⁾, 米山剛一, 岡本哲¹⁾, 土井大祐¹⁾, 天本治夫¹⁾, 波多野久昭¹⁾, 河村堯¹⁾, 佐々木茂¹⁾, 荒木勤¹⁾, 馬杉洋三 (¹⁾産婦人科) : 〔展示〕不全子宮破裂が誘因と考えられる羊水栓塞症の1症例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 30) 青山純夫¹⁾, 稲葉治樹¹⁾, 渡辺均¹⁾, 金川卓郎¹⁾, 葉山修陽²⁾, 小林陽二²⁾, 赫彰郎²⁾, 馬杉洋三, 広瀬久昭³⁾ (¹⁾愛生会田尻丘病院, ²⁾第2内科, ³⁾国立精神神経センター) : 〔展示〕V-A shunt に合併した shunt nephritis の1例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 31) 木村剛, 秋元成太¹⁾, 杉崎祐一, 中沢南堂²⁾, 福田悠³⁾, 浅野伍朗²⁾, 馬杉洋三 (¹⁾泌尿器科, ²⁾第2病理, ³⁾付属病院病理部) : 〔一般講演〕ヒト培養前立腺癌細胞のヒト培養骨芽細胞に与える影響について. 第76回日本泌尿器科学会総会, 1988.
- 32) 木村剛, 杉崎祐一, 横沢俊一¹⁾, 福田悠¹⁾, 平岡保紀²⁾, 秋元成太²⁾, 馬杉洋三 (¹⁾付属病院病理部, ²⁾泌尿器科) : 〔一般講演〕膀胱および前立腺尿道上皮における Prostatic acid phosphatase (PAP) ・Prostatic specific antigen (PSA) の発現. 第76回日本泌尿器科学会総会, 1988.
- 33) 川村紀夫¹⁾, 三木一正¹⁾, 佐野順次郎, 一瀬雅夫¹⁾, 木村正儀¹⁾, 岡博¹⁾, 降旗千恵²⁾, 高橋健治³⁾, 馬杉洋三 (¹⁾東京大学第1内科, ²⁾東京大学医科研癌生物, ³⁾東京大学理学部生化) : 〔展示〕ヒト癌組織における slow moving proteinase (SMP) の検討. 第47回日本癌学会総会, 1988.
- 34) Kimura, G., Akimoto, M.¹⁾, Nakazawa, N.²⁾, Asano, G.²⁾, Koshihara, Y.³⁾ and Masugi, Y. (¹⁾泌尿器科, ²⁾第2病理, ³⁾東京都老人総合研究所薬理) : 〔展示〕Stimulation of *in vitro* calcification and mitogenesis of human osteoblastic cells by a human prostatic carcinoma cell line. 第47回日本癌学会総会, 1988.
- 35) 田村浩一, 川本雅司, 馬杉洋三, 浅野哲雄¹⁾, 二宮淳一¹⁾, 池下正敏¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 山手昇²⁾, 庄司佑¹⁾ (¹⁾胸部外科, ²⁾聖マリアンナ医科大学第3外科) : 〔シンポジウム〕MOF剖検例の臨床病理学的検討; 胸部外科における

Risk Factor は何か？ 第41回日本胸部外科学会総会，1988.

- 36) 山中宣昭，温敏¹⁾（¹⁾中国白求恩医科大学病理）：〔一般講演〕糸球体に形成された半月体の修復機転；いわゆる腺様半月体について．第31回日本腎臓学会総会，1988.
- 37) 安保和俊¹⁾，土屋正己¹⁾，宗像恵美子¹⁾，芦田光則¹⁾，村上睦美¹⁾，山本博章¹⁾，植田穰¹⁾，石崎正通，山中宣昭，馬杉洋三（¹⁾小児科）：〔一般講演〕IgA が優位な免疫グロブリンとして認められる原発性糸球体腎炎における年令因子の検討．第31回日本腎臓学会総会，1988.
- 38) 杉崎祐一，山中宣昭，清水章，益田幸成，石崎正通，馬杉洋三：〔展示〕腎糸球体発生の研究．（第5報）抗腫瘍剤（Cyclophosphamide）腎障害Ⅱ．第31回日本腎臓学会総会，1988.
- 39) 山中宣昭：〔展示〕ラット腎糸球体の電顕連続切片による立体像再構築の試み．（第4報）コンピューター画像による解析．第31回日本腎臓学会総会，1988.
- 40) Saiga, T.¹⁾, Takeuchi, Y.²⁾, Nishimura, Y.²⁾, Ishizaki, M., Yokomuro, K.²⁾ and Shimizu, Y.¹⁾（¹⁾眼科，²⁾微生物免疫）：〔展示〕Induction of experimental allergic conjunctivitis in guinea pigs and anti-allergic effect of WP-871. The XIII International Congress of Allergology and Clinical Immunology (Montreux), 1988.
- 41) 二宮淳一¹⁾，庄司佑¹⁾，田中茂夫¹⁾，田村浩一，野一色泰晴²⁾（¹⁾胸部外科，²⁾岡山大学リハビリテーション外科）：〔シンポジウム〕心臓血管外科へのNd-YAGレーザーの応用；その基礎と臨床．第9回日本レーザー医学会大会，1988.
- 42) 二宮淳一¹⁾，庄司佑¹⁾，田中茂夫¹⁾，萩原俊彦¹⁾，浅野哲雄¹⁾，富士崎隆¹⁾，三枝直紀¹⁾，佐々木健志¹⁾，田村浩一，林晃一¹⁾，本田二郎¹⁾，師田哲郎¹⁾，野一色泰晴²⁾（¹⁾胸部外科，岡山大学リハビリテーション外科）：〔ワークショップ〕心臓血管外科におけるLaser吻合の研究．第29回日本脈管学会総会，1988.
- 43) 加治正弘¹⁾，原田厚¹⁾，佐々木健志¹⁾，浅野哲雄¹⁾，新田隆¹⁾，矢島俊己¹⁾，家所良夫¹⁾，池下正敏¹⁾，二宮淳一¹⁾，田中茂夫¹⁾，庄司佑¹⁾，田村浩一，榊原重泰²⁾，笹井巧²⁾（¹⁾胸部外科，²⁾海老名総合病院外科）：〔一般講演〕高周波アブレーションによる実験的A-Vブロック作製法．第41回日本胸部外科学会総会．1988.
- 44) Ohkuni, H.¹⁾, Todome, Y.¹⁾, Yokomuro, K.¹⁾ and Ishizaki, M.（¹⁾微生物免疫）：〔シンポジウム〕Coronary arteritis in mice after systemic injection of bacterial cell wall peptidoglycan (Thema: Animal model aiming Kawasaki disease)．第3回国際川崎病シンポジウム（東京），1988.
- 45) 横山宗伯¹⁾，竹田裕之¹⁾，山田宣孝¹⁾，福田悠²⁾，鈴木恒道²⁾，浅野伍朗¹⁾，馬杉洋三（¹⁾第2病理，²⁾付属病院病理部）：〔一般講演〕全身播種を呈した小脳髄芽細胞腫の一部検例．第95回東京病理集談会，1988.
- 46) 米山剛一¹⁾，西中健二¹⁾，福田悠²⁾，竹内正人¹⁾，荒木勤¹⁾，馬杉洋三（¹⁾産婦人科，²⁾付属病院病理部）：〔一般講演〕家兎胎仔肺における肺サーファクタントの免疫組織化学的局在性．第40回日本産科婦人科学会総会，1988.
- 47) 七戸和博¹⁾，清水眞澄¹⁾，石崎正通（¹⁾実験動物管理室）：〔一般講演〕EMC ウイルス誘発糖尿病モデル作製のためのウイルス濃度の検討．第3回糖尿病動物研究会総会，1989.
- 48) 高井淳¹⁾，加藤俊一¹⁾，高田月彦¹⁾，中島米治郎¹⁾，井出裕彦¹⁾，杉崎祐一，馬杉洋三（¹⁾下谷病院外科）：〔一般講演〕S字結腸における平滑筋肉腫の一例．第732回外科集談会，1989.
- 49) 清水眞澄¹⁾，七戸和博¹⁾，石崎正通（¹⁾実験動物管理室）：〔一般講演〕ラット，マウス，ジャードにおけるThy-1・1抗原の存在部位の比較．第4回比較臨床血液研究会総会，1989.
- 50) 田村浩一，福田悠¹⁾，石崎正通，益田幸成，馬杉洋三（¹⁾付属病院病理部）：〔一般講演〕心臓弁膜粘液様変性部の微細形態像．第78回日本病理学会総会，1989.
- 51) 福田悠¹⁾，益田幸成，石崎正通，馬杉洋三（¹⁾付属病院病理部）：〔一般講演〕肺気腫病変における肺胞構造改変機序．第78回日本病理学会総会，1989.
- 52) 川並汪一¹⁾，馬杉洋三（¹⁾第二病院病理部）：〔一般講演〕間質性肺疾患における肺胞毛細血管内皮細胞の形質

転換とその意義. 第78回日本病理学会総会, 1989.

- 53) 杉崎祐一, 馬杉洋三, Schmindeke, T.¹⁾, Stöckl, F.¹⁾, Bastford, S.¹⁾ and Vogt, A.¹⁾ (¹⁾Freiburg Univ.) : [一般講演]
陽荷電 (C) 物質による陰荷電 (A) 物質の腎内沈着への影響. I. Histon-HRP, Ferritin (F). 第78回日本病理学会総会, 1989.

9. 第二病理学講座

研究概要

ここ数年、教室の研究は各種病態の発生の基盤にある間質変化、特にそれを構成する血管およびコラーゲン、ラミニニン、フィブロネクチン、グリコサミノグリカンなど細胞外基質の動態に着目しすすめられている。

1) 腫瘍の増殖や創傷治癒の過程での細胞の増殖、分化には間質の血管や細胞外基質の動態が関与している。中でも癌細胞の増殖に際し、癌細胞自身の間質細胞への働きかけや血管増生促進がみられ、間質の変化が癌の分化度とも関連し、臨床病理学的に予後判定の指標にもなりうることが示唆されている。一方、ある種の癌細胞の増殖が多くの増殖因子やホルモンの受容体を介する働きで制御されている可能性が第一外科学教室との共同研究で解明されてきている。

2) 動脈硬化症は脳や心臓の虚血性病変の発生の上でも極めて重要な病態である。これらの血管変化と関連して内皮障害の中膜平滑筋細胞の増殖への役割や創傷治癒の過程における内皮細胞の再生、増殖の制御機構につき in vivo および in vitro において検討がすすめられ、前述の細胞外基質や肥満細胞等に由来するヒスタミンの内皮細胞の増殖促進効果と内皮細胞におけるプロスタグランディンの産生機構との関連など新しい知見が得られている。

3) 教室で開発した Na^+ , K^+ -ATPase の抗体を用いて細胞膜の病態の解明を行っているが、特にうつ滞性黄疸の発生における胆管上皮に局在する Na^+ , K^+ -ATPase の役割が明らかとされた。

その他、In situ hybridization 法を用いて肝炎後の肝線維化の成り立ち等につき解明がすすめられている。

研究業績

論文

- 1) Hayashi, T., Asano, G. and Onda, M.¹⁾. (1st First Department of Surgery) : [原著] Purification and properties of Na^+ , K^+ -ATPase from human kidney and *Torpedo californica*. Nippon Ika Daigaku Zasshi, **55**, 247~250, 1988.
- 2) Hayashi, T. : [原著] Immunohistochemical localization of Na^+ , K^+ -ATPase in human and rat kidneys. Nippon, Ika Daigaku Zasshi, **55**, 399~405, 1988.
- 3) 吉行俊郎 : [原著] ノードマウス可移植性ヒト胃癌における癌細胞増殖と間質の変化. 日医大誌, **55**, 491~504, 1988.
- 4) 清水康仁 : [原著] ノードマウス移植ヒト胃癌培養細胞の腫瘍増殖；特に線維芽細胞の役割. 日医大誌, **55**, 505~517, 1988.
- 5) Taguchi, K. and Asano, G. : [原著] Neovascularization Neovascularization of pericellular fibrosis in alcoholic liver disease. Acta Pathol. Jpn., **38**, 615~626, 1988.
- 6) 松本真彦¹⁾, 迫田哲司¹⁾, 宇佐美文章¹⁾, 中川俊¹⁾, 白井康正¹⁾, 浅野伍朗 (1st 整形外科) : [報告] 小児の膝窩部滑液包に発生した単発性軟骨腫の1例. 整形外科, **39**, 775~778, 1988.
- 7) Hara, T., Kudou, M., Otake, K., Hayashi, T. and Asano, G. : [原著] Immunohistochemical localization of Na^+ , K^+ -ATPase in human liver. Acta Histochem. Cytochem., **21**, 593~599, 1988.
- 8) Sato, M. : [原著] Morphological and histochemical studies on bone differentiation in transplanted dental pulp tissues. Connective Tissue, **20**, 71~81, 1988.
- 9) 志村俊郎¹⁾, 中澤省三¹⁾, 野手洋治¹⁾, 猪鹿倉恭子¹⁾, 山田宣孝, 浅野伍朗, 橋本清²⁾, (1st 脳神経外科, 2nd 小児科) : [報告] Mixed glioma 3 症例の病理組織学的検討. 脳腫瘍病理, **5**, 219~223, 1988.
- 10) 天神敏博 : [原著] Bromodeoxyuridine 標識による細胞動態の解析；特にアドリマイシンの影響について. J.

Jpn. Soc. Cancer Ther., 23, 1623~1632, 1988.

- 11) 向後俊昭¹⁾, 古屋富士男¹⁾, 小越大夫¹⁾, 山本正生¹⁾, 平山恒夫¹⁾, 植田穰¹⁾, 松本真彦, 浅野伍朗 (小児科): [報告] 難治性下痢を主訴とし, IgA 高値を呈した Malignant Histocytosis (MH) の乳児剖検例と下痢を伴う MH の文献的考察. 小児診療, 9, 1781~1789, 1988.
- 12) 亀山孝二, 木村俊仁, 横山宗伯, 石原島繁彦, 山田宣孝, 浅野伍朗: [原著] 心筋梗塞症例の冠動脈変化に関する形態計測的研究. 動脈硬化, 16, 683~688, 1988.
- 13) Murata, J., Matsumoto, M., Yamada, N., Sato, M. and Asano, G.: [原著] Ultrastructural changes in neuromuscular junction in denervated skeletal muscle. J. Clin. Electron Microscopy, 21, 425~432, 1988.
- 14) 木村俊仁: [原著] 内皮障害後の血管壁内水分変動とその推移; 特に核磁気共鳴緩和時間と形態変化との関連性. 脈管学, 29, 213~219, 1989.
- 15) 平岡保紀¹⁾, 木村剛¹⁾, 秋元成太¹⁾, 小川秀弥²⁾, 浅野伍朗, 伊藤博信³⁾ (1)泌尿器科, 2)関東通信病院, 3)第2解剖): [原著] 膀胱癌の膀胱傍組織内転移; 頻度, 存在部位, 形態についての検討. 日泌会誌, 80, 185~191, 1989.

著 書

- 1) 浅野伍朗: [分担] 序論. “疾患からみた基礎病理学” (浅野伍朗, 永田登喜雄編), p. 1~6, 広川書店, 1988.
- 2) 山田宣孝, 石原島繁彦: [分担] 循環障害. “疾患からみた基礎病理学” (浅野伍朗, 永田登喜雄編), p. 8~31, 広川書店, 1988.
- 3) 早田孝敬: [分担] 退行性病変. “疾患からみた基礎病理学” (浅野伍朗, 永田登喜雄編), p. 32~53, 広川書店, 1988.
- 4) 村田順造: [分担] 炎症性病変. “疾患からみた基礎病理学” (浅野伍朗, 永田登喜雄編), p. 70~97, 広川書店, 1988.
- 5) 矢島幹久: [分担] 寄生虫感染症. “疾患からみた基礎病理学” (浅野伍朗, 永田登喜雄編), p. 182~195, 広川書店, 1988.
- 6) 浅野伍朗: [分担] 腫瘍性病変. “疾患からみた基礎病理学” (浅野伍朗, 永田登喜雄編), p. 196~215, 広川書店, 1988.
- 7) 浅野伍朗: [分担] 内分泌・代謝障害. “疾患からみた基礎病理学” (浅野伍朗, 永田登喜雄編), p. 272~285, 広川書店, 1988.

学会発表

- 1) 志村俊郎¹⁾, 中沢省三¹⁾, 浅野伍朗, 阿久津靖彦 (1)脳神経外科): [展示] Meningeal Leukemia; 22剖検例の病理組織学的検討. 第47回日本脳神経外科学会総会, 1988.
- 2) 佐藤俊次, 間武雄, 浅野伍朗: [展示] 創傷治療過程における血管増殖制御の検討, 特にヒスタミンの影響について. 第31回日本形成外科学会総会, 1988.
- 3) 志村俊郎¹⁾, 中沢省三¹⁾, 山田宣孝, 浅野伍朗 (1)脳神経外科): [展示] 頭蓋内に多発性転移を来した Malignant fibrous histiocytoma. 第29回日本神経病理学会総会, 1988.
- 4) 木村俊仁, 亀山孝二, 山田宣孝, 浅野伍朗, 平川慶子¹⁾, 渡辺日章²⁾ (1)NMR 研究室, 2)法医学教室): [一般講演] 血管攣縮時の壁内水分変動と形態変化. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 5) 横山宗伯, 石原島繁彦, 山田宣孝, 浅野伍朗: [展示] Ehlers-Danlos 症候群 IV 型が疑われた 1 剖検例. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 6) 伊藤正秀¹⁾, 大島博¹⁾, 浅野伍朗 (1)第一病院内視鏡科): [一般講演] 胃粘膜内 IgA, IgM, IgG 含有細胞の分布

と炎症性浸潤との関連について. 第77回日本病理学会総会, 1988.

- 7) 松本光司, 原享, 浅野伍朗, 三樹勝¹⁾ (第2病院外科): [一般講演] 閉塞性黄疸に続発する胆管上皮細胞膜変化. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 8) 清水康仁¹⁾, 吉行俊郎¹⁾, 木山輝郎¹⁾, 浅野伍朗, 西恵吾¹⁾, 徳永昭¹⁾, 田中宣威¹⁾, 恩田昌彦¹⁾ (第1外科): [一般講演] ヒト胃癌細胞の増殖に対する間質の役割. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 9) 竹田裕之, 天神敏博, 久喜邦康¹⁾, 高橋望, 庄司佑¹⁾, 浅野伍朗 (第2外科): [展示] ヒト胃癌の増殖動態と細胞外基質に関する免疫組織化学的検討. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 10) 浦田伸一, 佐藤正紀, 村田順造, 石原島繁彦, 浅野伍朗: [展示] 骨形成に関与する間質の性状. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 11) 林哲弘¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 西恵吾¹⁾, 松倉則夫¹⁾, 徳永昭¹⁾, 田中宣威¹⁾, 浅野伍朗 (第1外科): [一般講演] 胃粘膜腸上皮化生における Na^+ , K^+ -ATPase の免疫組織化学的研究. 第88回日本外科学会総会, 1988.
- 12) 原享¹⁾, 松本光司¹⁾, 三樹勝¹⁾, 林哲弘, 浅野伍朗 (第2病院外科): [一般講演] 胆道閉塞解除後の黄疸遷延に関する臨床的実験的研究. 第88回日本外科学会総会, 1988.
- 13) 吉行俊郎¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 清水康行¹⁾, 西恵吾¹⁾, 松倉則夫¹⁾, 古川清憲¹⁾, 徳永昭¹⁾, 田中宣威¹⁾, 山下精彦¹⁾, 浅野伍朗 (第1外科): [一般講演] ノードマウス可移植性ヒト胃癌組織における癌細胞の増殖と間質の変化; とくに血管と線維芽細胞の役割. 第88回日本外科学会総会, 1988.
- 14) 内田英二¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 浅野伍朗 (第1外科): [一般講演] 肝癌におけるエストロゲンおよびエストロゲンレセプター関連物質の免疫組織学的検討. 第19回日本肝癌学会, 1988.
- 15) Kurosu, M., Haseba, T., Watanabe, T., and Asano, G. et al.: [展示] Effects of chronic ethanol feeding on alcohol dehydrogenase (ADH) isozymes in mouse liver. 4th Congress of the International Society for Biomedical Research on Alcoholism (Kyoto), 1988.
- 16) Taguchi, K., Sakamoto, F., Yamada, H. and Asano, G.: [展示] Immunohistochemical study of the pericellular fibrosis of alcoholic liver injury. 4th Congress of the International Society for Biomedical Research on Alcoholism (Kyoto), 1988.
- 17) Nakazawa, N., Akita, M. and Asano, G. et al.: [展示] Cytotoxic effects of alcohols with relation to acidic alcohol dehydrogenase isozyme (X-ADH) of human pancreatic cells in vivo and in vitro. 4th Congress of the International Society for Biomedical Research on Alcoholism (Kyoto), 1988.
- 18) Uchida, E.¹⁾, Yamanaka, Y. and Asano, G. et al. (1st Dept. Surg.): [展示] Immunohistochemical study on estrogen and estrogen receptor related antigen pancreatic cancer tissue. Congress of the American Pancreatic Association (Chicago), 1988.
- 19) Tokunaga, A.¹⁾, Onda, M.¹⁾ and Asano, G. et al. (1st Dept. Surg.): [展示] Epidermal growth factor and epidermal growth factor receptor in human gastric cancer and xenografts in nude mice. The Cancer Association for Cancer Research (San Francisco), 1988.
- 20) Fukuo, Y.¹⁾, Nagashima, M.¹⁾ and Asano, G. et al. (2nd Int. Med.): [展示] The effect of simvastatin, MK-733 (an inhibitor of HMG-Co-A reductase) on atherosclerosis in WHHL-rabbits. 8th International Symposium on Atherosclerosis (Rome), 1988.
- 21) Kimura, K., Nakagawa, R., Okinobu, M., Murata, J. and Asano, G.: [一般講演] Ultrastructural changes in coronary artery of hypervitaminosis D rat. 第20回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1988.
- 22) Matsumoto, K., Hara, T. and Asano, G.: [一般講演] Hepatocellular changes caused by obstructive jaundice. 第20回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1988.

- 23) Qlao, Y., Murata, J., Asano, G., Hirano, T.¹⁾, Yoshiro, T.¹⁾ and Yuge, K.¹⁾ (¹⁾Department of Otorhinolaryngology) : [一般講演] Electron histochemical study on vestibula of guinea pig inner ear. 第20回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1988.
- 24) Urata, S., Yamada, N., Asano, G., Ishikawa, M.¹⁾, Kikuch, T.¹⁾, Furuya, M.¹⁾, Hirukawa, M.¹⁾, Nishikawa, H.¹⁾ and Shirai, Y.¹⁾ (¹⁾Department of Orthopedic Surgery) : [一般講演] A case of recurrent epithelioid sarcoma in the hand. 第20回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1988.
- 25) 浦田伸一, 佐藤正紀, 浅野伍朗, 古谷正博¹⁾, 肥留川道雄¹⁾, 白井康正¹⁾ (¹⁾整形外科) : [一般講演] 骨化の過程における細胞外基質の役割. 第20回日本結合組織学会総会, 1988.
- 26) 間武雄, 山田裕之, 浅野伍朗 : [一般講演] 角膜細胞における prolyl 4-hydroxylase の合成機序. 第20回日本結合組織学会総会, 1988.
- 27) 山中洋一郎, 横室茂樹, 中沢南堂, 浅野伍朗, 林哲弘¹⁾, 内田英二¹⁾, 笹島耕二¹⁾, 田尻孝¹⁾, 江上格¹⁾, 恩田昌彦¹⁾ (¹⁾第1外科) : [一般講演] 膝における Na⁺, K⁺-ATPase の局在に関する免疫組織化学的検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 28) 間武雄, 山田裕之, 浅野伍朗 : [展示] 四塩化炭素障害ラット肝における prolyl 4-hydroxylase mRNA の発現. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 29) 木村俊仁, 亀山孝二, 浅野伍朗, 庄司佑¹⁾ (¹⁾第2外科) : [一般講演] 血管攣縮における内皮細胞障害の意義. 第29回日本脈管学会総会, 1988.
- 30) 亀山孝二, 木村俊仁, 石原島繁彦, 山田宣孝, 浅野伍朗 : [一般講演] 動脈硬化様変化の超音波顕微鏡による解析. 第29回日本脈管学会総会, 1988.
- 31) 佐藤俊次, 朴柄琦¹⁾, 新井克志¹⁾, 浅野伍朗 (¹⁾防衛医科大) : [一般講演] 血管内皮細胞の増殖とプロスタサイクリン産生へのヒスタミンの影響. 第29回日本脈管学会総会, 1988.
- 32) 内田英二¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 内藤善哉¹⁾, 会田邦晴, 山中洋一, 笹島耕二¹⁾, 西恵吾¹⁾, 徳永昭¹⁾, 田尻孝¹⁾, 江上格¹⁾, 浅野伍朗, 古川文夫²⁾, 高橋道人²⁾ (¹⁾第1外科, ²⁾国立衛試) : [一般講演] 膝癌におけるエストロゲンおよびその関連物質の病理学的検討. 第47回日本癌学会総会, 1988.
- 33) 吉行俊郎¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 田中宣威¹⁾, 徳永昭¹⁾, 松倉則夫¹⁾, 西恵吾¹⁾, 清水康仁¹⁾, 木山輝郎, 松田範子¹⁾, 浅野伍朗 (¹⁾第1外科) : [一般講演] ヒト胃癌およびヌードマウス可移植性ヒト胃癌における Epidermal growth factor (EGF) の発現. 第47回日本癌学会総会, 1988.
- 34) 吉弘孝匡¹⁾, 平野敏一¹⁾, 喬炎, 弓削庫太¹⁾, 浅野伍朗 (¹⁾第一病院耳鼻咽喉科) : [一般講演] 唾液腺腫瘍細胞の分化と間質性状との関連性. 第47回日本癌学会総会, 1988.
- 35) Kimura, G., Akimoto, M.¹⁾, Nakazawa, N., Koshihara, Y.²⁾, Asano, G. and Masugi, Y.³⁾ (¹⁾Dept. Urol, ²⁾Dept. Pharmacol., ³⁾Dept. Fist Path.) : [一般講演] Stimulation of in vitro calcification and mitogenesis of human osteoblastic cell by a human prostatic carcinoma cell line. 第47回日本癌学会総会, 1988.
- 36) Urata, K., Sato, M., Qiao, Y., Kimura, K. and Asano, G. : [展示] Ultrastructural localization of alkaline phosphatase and Ca⁺⁺-ATPase in mesenchymal cell on bone differentiation. 29th Annual Meeting of the Japan Society of Histochemistry and Cytochemistry, 1988.
- 37) Yamada, H., Aida, T., Taguchi, K. and Asano, G. : [一般講演] Localization of α_1 (III) procollagen mRNA on liver fibrosis by in situ hybridization. 29th Annual Meeting of the Japan Society of Histochemistry and Cytochemistry, 1988.
- 38) 横山宗伯, 竹田裕之, 山田宣孝, 福田悠¹⁾, 鈴木恒道¹⁾, 浅野伍朗, 馬杉洋三²⁾ (¹⁾付属病院病理部, ²⁾第1病理) : [一般講演] 全身播種を呈した小脳髄芽細胞腫の一剖検例. 第95回東京病理集談会, 1988.

10. 微生物学・免疫学講座

研究概要

免疫学：免疫系と免疫系以外の組織との相互作用を、肝臓の場において解析する目的で、肝臓に存在する多様な免疫系細胞や造血系細胞、あるいは種々の cytokines について同定を進めるとともに、その生物学的意義を検索している。

感染アレルギー：レンサ球菌感染後糸球体腎炎の発症に関与すると考えられる蛋白質の化学構造の一部を明らかにした。さらに、レンサ球菌細胞壁ペプチドグリカンによって実験的慢性多発性関節炎や冠状動脈炎を惹起する等、レンサ球菌感染が関与すると考えられる疾患の機序の解明を進めている。

薬剤アレルギー：構造の簡単な化学物質が免疫原性を獲得する機序を、抗生物質を使用して検索を進めている。一方、生体全体の複雑な反応であるアレルギー症の治療に、生体の homeostasis をコントロールするという観点からその効果が期待される漢方薬の抗アレルギー作用を解析している。

ウイルス学：大流行をおこすインフルエンザウイルスを予測する前駆波現象を見だし、その機序の解明を行っている。さらに、人工合成ワクチンを開発するため、ワクチンによって惹起される感染防御の機序を、セムリキ森林ウイルスを用いて解析を進めている。

研究業績

論文

- 1) 渡理英二, 横室公三: [総説] Accessory 細胞; 形態・由来・機能. Med. Immunol., **16**, 651~655, 1988.
- 2) Supawadee, J.¹⁾, Suzuki, H., Hasegawa, A.²⁾, Inoue, S.³⁾, Yamazi, Y., Pongprote, B.¹⁾, Tonusin, S.¹⁾ and Chauwanit, P.¹⁾
(¹⁾Chiang Mai Univ, ²⁾National Institute of Health, Tokyo, ³⁾National Institute of Public Health): [原著] Follow-up on Thai infants for rotavirus antigen and antibody in feces. 日医大誌, **55**, 518~520, 1988.
- 3) Miura, K.¹⁾, Goto, N.²⁾, Suzuki, H. and Fijisaki, Y.³⁾ (¹⁾National Institute of Animal Industry, ²⁾Kobe Univ., ³⁾Kitasato Institute, Kashiwa): [原著] Strain difference of mouse in susceptibility to Japanese encephalitis virus infection. Exp. Anim., **37**, 365~373, 1988.
- 4) Shonai, K.¹⁾, Okamura, T.¹⁾, and Takeuchi, Y. (¹⁾薬理): [原著] Antigen, histamine, serotonin-induced contractions of single smooth muscle cells of guinea pig teania coli. Jpn. J. Allécol., **37**, 283~293, 1988.
- 5) 竹内良夫, 栗山純一, 西村葉子, 吉河達祐¹⁾, 渡辺日章²⁾, 川島健³⁾, 吉野慎一³⁾, 横室公三 (¹⁾麻酔科, ²⁾法医, ³⁾理学診療科): [原著] Fosfomycin のアレルギー誘発能に関する基礎的研究 (1). Chemotherapy, **36**, 397~401, 1988.

著書

- 1) 大国寿士: [分担] ウイルス感染症. “疾患からみた基礎病理学” (浅野伍朗, 永田登喜雄編), p. 134~181, 廣川書店, 1988.
- 2) 留目優子: [分担] 免疫学的病変. “疾患からみた基礎病理学” (浅野伍朗, 永田登喜雄編), p. 98~131, 廣川書店, 1988.
- 3) 留目優子: [分担] 免疫学. “新微生物学入門” (吉田耕作, 高橋昌己編), p. 205~241, 医学出版社, 1988.
- 4) 竹内良夫: [分担] 化学療法剤. “新微生物学入門” (吉田耕作, 高橋昌己編), p. 57~66, 医学出版社, 1988.
- 5) 竹内良夫: [分担] ウイルス学. “新微生物学入門” (吉田耕作, 高橋昌己編), p. 141~181, 医学出版社, 1988.

- 6) Heber-katz, E.¹⁾, Watari, E. and Dietzchold, B.¹⁾ (¹⁾ウィスター研究所) : [分担] Pathways to presentation. "Processing and Presentation of Antigens" (Pernis, B., Silverstein, S. C. and Vogel, H. J. eds.), p. 133~142, Academic Press, New York, 1988.
- 7) 竹内良夫 : [分担] アレルギー. "漢方と免疫アレルギー" (長野準編), p. 72~81, メディカルトリビューン企画, 1989.
- 8) Takeuchi, Y. : [分担] Allergy. "Recent Advances in the Pharmacology of Kampo (Japanese Harbal) Medicines" (Hosoya, E. and Yamamura, Y. eds.), p. 266~275, Excerpta Medica, 1989.
- 9) 竹内良夫 : [分担] アレルギー. "最新の漢方薬理 ; 漢方薬の化学的な検証と展望" (細谷映吉, 山村雄一編), p. 262~275, Excerpta Medica, 1989.

学会発表

- 1) 小室敏郎, 馬淵綾子, 西沢高士, 横室公三, 村田順造¹⁾, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾第2病理) : [一般講演] 肝細胞によって起こる免疫細胞活性化の解析 ; 関与する細胞の形態学的, 酵素細胞化学的検索. 第61回日本細菌学会総会, 1988.
- 2) Mabuchi, A., Komuro, T., Watari, E., Sakamoto, T., Suezawa, R. and Yokomuro, K. : [一般講演] Regulation of nylon passed spleen cells by active factors released from syngeneic nonparenchymal liver cells. The 19th International Leucocyte Culture Conference (Banff, Canada), 1988.
- 3) 留目優子, 大国寿士, 横室公三 : [一般講演] 各種リウマチ性疾患における抗ペプチドグリカン抗体の検索. 第23回日本リウマチ学会総会, 1988.
- 4) 大国寿士, 留目優子, 横室公三 : [一般講演] 細菌細胞壁ペプチドグリカンのラット血小板に対する凝集・活性化について. 第9回日本炎症学会総会, 1988.
- 5) 横室公三, 馬淵綾子, 末沢梨佳, 内田拓実, 荒牧琢己¹⁾, 奥村英正¹⁾ (¹⁾第1内科) : [一般講演] 肝非実質細胞培養上清中に存在する肝実質細胞増殖抑制因子の研究. 第24回日本肝臓学会総会, 1988.
- 6) 坂本俊樹, 馬淵綾子, 横室公三, 厨信一郎¹⁾ (¹⁾第3内科) : [一般講演] 初代培養肝実質細胞のCSF産性能と肝再生に伴う造血系の変動. 第24回日本肝臓学会総会, 1988.
- 7) 内田拓実¹⁾, 馬淵綾子, 横室公三, 荒牧琢己¹⁾, 奥村英正¹⁾ (¹⁾第1内科) : [展示] 肝再生に伴って起こるクッパー細胞のアルギナーゼ活性の変動と増殖抑制. 第24回日本肝臓学会総会, 1988.
- 8) Ohkuni, H., Todome, Y., Yokomuro, K. and Kimura, Y. : [一般講演] Induction of chronic polyarthritis in PVG/c rats following the intravenous injection of streptococcal cell wall peptidoglycan. The 6th SEAPAL Congress of Rheumatology (Tokyo), 1988.
- 9) 本間義春, 竹内良夫, 西村葉子, 栗山純一, 横室公三 : [一般講演] 薬剤アレルギーに関する基礎的研究 ; cefaclorの抗原性について. 第38回日本アレルギー学会総会, 1988.
- 10) 栗山純一, 竹内良夫, 西村葉子, 本間義春, 横室公三 : [一般講演] 薬剤アレルギーに関する基礎的研究. (続) ケフラールの pseudallergic reaction の誘発能について. 第38回日本アレルギー学会総会, 1988.
- 11) 馬淵綾子, 末沢梨佳, 小室敏郎, 坂本俊樹, 西沢高士, 横室公三 : [一般講演] 肝非実質細胞上清中に存在する脾臓細胞活性化因子の研究. 第38回日本アレルギー学会総会, 1988.
- 12) 西川文雄, 渡理英二, 浦詳子, 山地幸雄 : [展示] インフルエンザの流行伝播機構を解析する試み. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 13) Takeuchi, Y., Nishimura, Y., Kuriyama, J., Kimura, Y. and Yokomuro, K. : [展示] Anti-allergic action of sho-seiryu-To. The 13th International Congress of Allergology and Clinical Immunology (Montreux), 1988.
- 14) Saiga, T.¹⁾, Takeuchi, Y., Nishimura, Y., Ishizaki, M.²⁾, Yokomuro, K. and Kimura, Y.¹⁾ (¹⁾眼科, ²⁾第1病理) : [展

- 示] Induction of experimental allergic conjunctivitis in guinea pigs and anti allergic effects of WP-871. The 13th International Congress of Allergology and Clinical Immunology (Montreux), 1988.
- 15) 馬淵綾子, 小室敏郎, 横室公三: [一般講演] 肝非実質細胞の培養上清中に存在する脾臓細胞増殖調節因子とその制御. 第60回日本細菌学会関東支部総会, 1988.
- 16) Ohkuni, H., Todome, Y., Yokomura, K., Ishizaki, M.¹⁾ and Masugi, Y.¹⁾ (¹⁾第1病理): [シンポジウム] Coronary arthritis in mice after systemic injection of bacterial cell wall peptidglycan (Thema: Animal models aiming Kawasaki disease). The 3rd International Kawasaki Disease Symposium (Tokyo), 1988.
- 17) 竹内良夫, 栗山純一, 本間義春, 西村葉子, 横室公三: [一般講演] cefaclor のアレルギー様症状誘発能について. 第35回日本化学療法学会東日本支部総会, 1988.
- 18) 西川文雄, 秋田美千代¹⁾, 中山幹男²⁾, 中村和幸³⁾, 鈴木博, 山地幸雄, 阿部博⁴⁾ (¹⁾社会保険蒲田総合病院, ²⁾予研, ³⁾長野県衛公研, ⁴⁾聖徳女子短大): [一般講演] 1987~88年のインフルエンザの疫学; 全国の発生状況より考察した東京. 蒲田地区の流行. 第36回日本ウイルス学会総会, 1988.
- 19) 小室敏郎, 馬淵綾子, 横室公三, 中川洋子, 村田順造¹⁾, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾第2病理): [一般講演] 免疫系における生体の統御. (XXVI) 肝再生の過程で活性化する免疫系細胞の形態学的観察. 第18回日本免疫学会総会, 1988.
- 20) 馬淵綾子, 横室公三, 末沢梨佳, 渡理英二, 新谷真理子¹⁾ (¹⁾皮膚科): [一般講演] 免疫系における生体の統御. (XXVII) 肝非実質細胞培養上清による脾細胞の増殖と分化; 脾細胞の分泌するサイトカインの変動と細胞の分化. 第18回日本免疫学会総会, 1988.
- 21) 坂本俊樹, 西沢高士, 山下浩二, 馬淵綾子, 横室公三, 厨信一郎¹⁾, 庄司佑²⁾ (¹⁾第3内科, ²⁾第2外科): [一般講演] 肝再生と造血系; 肝細胞の産生するGM-CSFと肝内の造血幹細胞について. 第18回日本免疫学会総会, 1988.
- 22) 西沢高士, 坂本俊樹, 馬淵綾子, 横室公三: [一般講演] 肝類洞細胞に膠着するリンパ細胞の活性化とその意義 (II). 第18回日本免疫学会総会, 1988.
- 23) 竹内良夫, 西村葉子, 横室公三, 木村義民, 雑賀壽和¹⁾, 石崎正通²⁾ (¹⁾眼科, ²⁾第1病理): [一般講演] 実験的アレルギー性結膜炎モデルにおける小青竜湯の効果について. 第7回博多シンポジウム, 1989.
- 24) 留目優子, 大国寿士, 横室公三: [一般講演] ELISA 法によるA群レンサ球菌C-多糖体抗体の測定; 全菌体を抗原として. 日本循環器学会若年者心疾患の予防と管理に関する研究班会議, 1989.
- 25) 大国寿士: [シンポジウム] Nephritis strain-associated protein (NSAP) の免疫化学的性状; Nephro-streptokinase? (主題: レンサ球菌とブドウ球菌研究, 最近の進展). 第62回日本細菌学会総会, 1989.

11. 衛生学・公衆衛生学講座

研究概要

1985年、講座主任が乗木より南へ移行し、研究の動向が感染症の疫学から環境衛生、労働衛生の研究へ替わっていった。1985年に当教室に既存の化学分析に有用な機器は超遠心機と2台の分光光度計であった。この状態から今日では液体クロマトグラフ5台、ガスクロマトグラフ2台、FPLC1台、蛍光光度計、原子吸光分光光度計、冷却遠心機各々1台、分光光度計3台を揃え、細胞培養室を新たに整備した。既存のCO₂インキュベーターがあったが、これは全く作動せず新しいものを購入した。既存のクリーンベンチは手を加えて使用可能とし、またコールドルーム（約1平方メートル）も冷却装置を買い替えて作動できるようにした。試薬と消耗品類の整頓、図書の整理等も各種の研究機関の状況を参考にして行った。今年は等電点分画電気泳動装置、免疫化学に用いるプレートスキャン装置などを購入する予定である。1989年に至って、研究らしい研究のできる状態となったことを教室員一同喜んでいる。本年報への業績の質、量ともに見るべきものがないことを、今年度については残念に思うところであるが、幸にして、いくつかの論文は、すでに海外の英文誌に掲載予定がきまっており、次年度の本年報に目録がのるのであろう。新たに若い助手二名を当教室に迎えて、免疫化学、生態学的な研究方法が環境衛生、労働衛生の研究にとり入れられるであろう。今年は当教室の整備状況を主としてお報せ申し上げた。

なお、多数の在籍者を擁した当教室も、それぞれ研究論文を仕上げ、それぞれの持場で活躍できるオリエンテーションもこの4年余りの間に終了したことをよろこびたく思う。

研究業績

論文

- 1) 南正康, 高橋真利子, 真壁明子, 平田洋子: [総説] ベンゼンとその誘導体: 石油系化合物. 救急医, 12, 1407~1412, 1988.
- 2) 青木隆一¹⁾, 柚木斉, 他 (Ciprofloxacin 感染性腸炎研究班) (¹⁾大阪市立桃山病院感染症センター): [原著] 感染性腸炎に対する Ciprofloxacin (CPFX, BAYO9867) と, Pipemidic acid (PPA) の二重盲検法による治療効果の比較検討. 感染症誌, 62, 322~339, 1988.
- 3) 薩田清明: [原著] インフルエンザワクチンの予防効果について; 欠席状況 (欠席率, 欠席日数) から. 日医新報, No. 3340, 43~49, 1988.
- 4) 薩田清明: [総説] インフルエンザの流行と気象との関係; 気温より相対湿度と強く相関することが明らかに. 医のあゆみ, 146, 169, 1988.
- 5) 薩田清明: [原著] 学級閉鎖を指標にみたインフルエンザワクチンの効果; 1985年11月の早期流行から. 日医新報, No. 3357, 43~50, 1988.
- 6) 南正康, 黒沢純夫, 鈴木繁, 平田洋子: [原著] 機械工場における一般工作用締め付け工具, 研磨工具等による弾発指の成因とそれに伴う自立神経機能異常に関する疫学的・生理学的・心身医学的研究. 産業医ジャーナル, 11, 40~50, 1988.
- 7) 佐野守男: [原著] 運動負荷による Noradrenalin 動態と hemodynamic response の関係について; 労働負担度評価への応用を目指して. 日医大誌, 55, 439~451, 1988.
- 8) 黒沢純夫: [原著] 手持ち工具 (振動工具, 引金付工具) 取り扱い作業者の健康障害予防に関する研究. 日医大誌, 55, 452~464, 1988.
- 9) 高橋亨: [原著] 国民健康保険診療報酬明細書を用いた脳卒中およびがんの医療費と予後の予測. 日医大誌, 55,

478~490, 1988.

- 10) 山田拓¹⁾, 須崎伸一郎¹⁾, 山本保博¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 南正康^(¹⁾救急医学): [症例報告] 重症硫化水毒中毒の一例. 中毒研究, 1, 91~93, 1988.
- 11) 野津原崇: [原著] 白血球のスーパーオキシド(O₂⁻)生成系に及ぼす1-メチル-4-フェニルピリジン(MPP⁺)の影響. 日医大誌, 56, 14~21, 1989.
- 12) 薩田清明: [原著] インフルエンザワクチンの効果について; 欠席状況(欠席率, 平均欠席日数, 欠席日数の長短)から. 厚生指標, 36, 3~10, 1989.
- 13) Naoi, M.¹⁾, Matsuura, S.²⁾, Parvez, H.³⁾, Takahashi, T.¹⁾, Hirata, Y., Minami, M. and Nagatsu, T.¹⁾. (¹⁾名大, 生化1, ²⁾名大, 化学, ³⁾パリ大, 神経薬理): [原著] Oxidation of N-methyl-1,2,3,4-tetrahydroisoquinoline into the N-methyl-isoquinolinium ion by monoamine oxidase. J. Neurochem., 52, 653~655, 1989.
- 14) 南正康, 友田輝男¹⁾ (¹⁾金沢大, 第1生化): [解説] 産業中毒をめぐって. (1) メトヘモグロビンを中心として. 労働の科学, 44, 39~41, 1989.

著 書

- 1) 柚木斉: [分担] 感染症. “診療内科”(阿部裕, 塩川優一編), p.1097~1115, 金原出版, 1989.

学会発表

- 1) 平井和人, 平田洋子, 中山千登勢, 相川由美, 南正康: [一般講演] 薬, 毒物によるSOD活性の修飾; EGDNとリドカイン. 第61回日本産業衛生学会総会, 1988.
- 2) 佐野守男, 南正康: [一般講演] 運動負荷によるNoradrenaline動態とhemodynamic responseの関係について; 労働負担度評価への応用を目指して. 第61回日本産業衛生学会総会, 1988.
- 3) 南正康, 高橋真利子, 真壁明子, 須崎伸一郎¹⁾, 山本保博¹⁾, 大塚敏文¹⁾ (¹⁾救急医学): [シンポジウム] 救命救急センターにおける産業中毒迅速分析と定量化の意義. 第10回中毒研究会, 1988.
- 4) 酒巻敏夫¹⁾, 森本三千代¹⁾, 加藤延雄¹⁾, 柚木斉 (¹⁾保健体育): [一般講演] 大学生の体力テストと身体的自覚症状愁訴について; 文科系学生. 日本体育学会第39回大会, 1988.
- 5) 森本三千代¹⁾, 酒巻敏夫¹⁾, 加藤延雄¹⁾, 柚木斉, (¹⁾保健体育): [一般講演] 新設高等学校男子生徒のCMIと体力テストについて. 日本体育学会第39回大会, 1988.
- 6) 若山葉子, 勝又聖夫, 田口真, 柚木斉, 岩井ちよ子¹⁾, 大木喜江¹⁾ (¹⁾茨城県猿島町保健センター): [一般講演] 猿島肝炎(ウイルス肝炎)の疫学的研究. 第47回日本公衆衛生学会総会, 1988.
- 7) 勝又聖夫, 田口真, 若山葉子, 黒沢純夫, 高橋亨, 柚木斉, 南正康, 岩井ちよ子¹⁾, 大木喜江¹⁾ (¹⁾茨城県猿島町保健センター): [一般講演] 定期住民健診20年間の受診状況の推移. 第47回日本公衆衛生学会総会, 1988.
- 8) 薩田清明: [一般講演] インフルエンザワクチンの効果について; 欠席状況(欠席率, 欠席日数)から. 第47回日本公衆衛生学会総会, 1988.
- 9) 八代悠紀子¹⁾, 柚木斉, 岩井ちよ子²⁾, 大木喜江²⁾ (¹⁾国立公衆衛生院, ²⁾茨城県猿島町保健センター): [一般講演] 農村地区住民の傷病既往の状況. 第47回日本公衆衛生学会総会, 1988.
- 10) 黒沢純夫, 鈴木繁¹⁾, 高橋修和²⁾, 柚木斉, 南正康 (¹⁾本田技研健康管理センター, ²⁾老人病研究所): [展示] 振動・引金付工具作業者の弾発指について; 実態と対策案. 第47回日本公衆衛生学会総会, 1988.
- 11) 平田洋子, 南正康, 直井信¹⁾, 永津俊治¹⁾ (¹⁾名大生化1): [展示] N-Methylisoguinolinium ionのドーパミンニューロンにおよぼす影響. 第31回日本神経化学会, 1988.
- 12) 平田洋子, 南正康, 直井信¹⁾, 永津俊治¹⁾, (¹⁾名大生化1): [一般講演] N-Methylisoguinolinium ionの微量定

量法とラット線条体スライスへの取り込み. 第61回日本生化学会大会, 1988.

- 13) 酒巻敏夫¹⁾, 森本三千代¹⁾, 落合友一¹⁾, 柚木斉, 村山隆雄²⁾ (¹⁾保健体育, ²⁾日獣畜大保健体育): [一般講演] 医科学学生の入学時における体力テストと自覚症状愁訴について. 第43回日本体力医学会大会, 1988.
- 14) 薩田清明: [一般講演] インフルエンザワクチンの予防接種の効果について; 発熱を伴う欠席状況から. 第35回日本学校保健学会総会, 1989.
- 15) 薩田清明: [一般講演] 生気象学的にみたわが国のインフルエンザの流行について. 第27回日本生気象学会総会, 1988.
- 16) 若山葉子, 勝又聖夫, 田口真, 柚木斉: [一般講演] 猿島肝炎(ウイルス肝炎)の疫学的研究; 20年間の追跡記録. 第53回日本民族衛生学会総会, 1988.
- 17) 八代悠紀子¹⁾, 柚木斉 (¹⁾国立公衆衛生院): [一般講演] 農村地区住民の傷病既往の状況 第2報. 第53回日本民族衛生学会総会, 1988.

12. 法医学講座

研究概要

当教室は、法医中毒学を中心に多岐の分野にわたり、救急医学、内科学、外科学、老人病研究所、精神医学、病理学、化学等の各教室と共同研究を行っている。また、法医免疫血清学として親子鑑定を行い、赤血球型、血清型、赤血球酵素型、HLA 型等から遺伝学的検討を行っている。

1. 法医中毒学

1) アルコール研究：前年度に引き続き、昭和63年度学術研究振興資金が研究課題「アルコール代謝機構とその臓器障害性」(渡辺研究班長)に対し交付され、第一内科学、病理学、中央電顕室、老人病研究所、日本獣医畜産大学分子腫瘍研究室と共同で、アルコール脱水素酵素、アルデヒド脱水素酵素の各々の isozyme のレベルでの代謝調節と肝だけでなく心臓、腎、脳等の種々臓器への障害の機序を含め検討している。

2) 急性薬物中毒：近年、救急医療体制の整備に伴い、薬毒物の迅速な分析が重要となってきた。本学付属病院のCCMと共同し、緊急薬物分析のコンピューター化を検討している。日本で使用頻度の高い薬毒物を基盤にTLC, GC, HPLC, GC/MS, NMR等を用いて、独自のシステムを開発している。特に、多波長検出器を接続したHPLCによる薬物の一斉分析法を開発し、治療法、治療の有効性の評価への応用が可能となった。また、NMRにより種々の薬毒物の投与時の脳内エネルギー代謝、水の緩和時間等、in vivoでの経時的測定が可能となり、今後の中毒機序の解明への応用が期待される。

2. その他

1) 脳死について：近年、わが国でも臓器移植の問題が取り上げられており、脳死は、今後さらに検討を要する重要な課題であり、法医学の立場から研究を続けている。

2) 胆石、尿石の分析：外科学、化学教室と共同で胆石、尿石の成分の分析を行っている。中性子ラジオグラフ法による3次元構造の解析が可能となり、結石の成立機序の解明への研究へと進展している。

研究業績

論文

- 1) 林田眞喜子, 仁平信, 渡辺日章, 須崎紳一郎¹⁾, 山本保博¹⁾ (救急医学) : [原著] 多波長 UV 検出器付 HPLC による急性中毒原因物質分析システムの開発; MULTI・HPLC 薬物多剤同時検出システム. 中毒研究, 2, 49~60, 1988.
- 2) 黒須三恵, 長谷場健, 渡辺日章 : [原著] 脳死判定規準の問題点. 法医学の実際と研, 31, 295~299, 1988.
- 3) 仁平信 : [総説] 麻薬 (特集: 中毒—新しい治療指針). 救急医, 12, 1325~1331, 1988.
- 4) 山本保博¹⁾, 牧野俊郎¹⁾, 仁平信, 林田眞喜子 (救急医学) : [原著] 緊急薬物分析としての TOXi-Lab[®] 法. 救急医, 12, 1755~1762, 1988.
- 5) Tanaka, T.¹⁾, Nagai, T.¹⁾, Tasaki, T.²⁾, Miki, M.²⁾, Hirakawa, K., Watanabe, T., Kobayashi, H.³⁾, Kubota, S.⁴⁾ and Abe, T.⁴⁾ (¹⁾Dept. of Chemistry, ²⁾Dept. of Surgery, Second Hospital, ³⁾Inst. for Atomic Energy, Rikkyo, Univ., ⁴⁾Abe Sek-kei, Inc.) : [原著] A study of the internal structure of gallstones based on the differences between the interactions to elements of thermal neutrons and X-rays. Radioisotopes, 37, 685~686, 1988.
- 6) 真下啓子, 佐藤茂¹⁾, 渡辺日章 (¹⁾中央電顕施設) : [原著] アルコール性心筋症の実験モデル; 培養心筋細胞における巨大ミトコンドリアの出現. 医のあゆみ, 148, 269~270, 1989.

学会発表

- 1) 林田真喜子, 仁平信, 平川慶子, 渡辺日章 : [一般講演] MULTI-HPLC による薬物多剤分析システム. 第72次日本法医学会総会, 1988.
- 2) 仁平信, 林田真喜子, 平川慶子, 渡辺日章, 中原雄二¹⁾, (¹⁾国立衛験) : [展示] 吸着チップ/シモン法による尿中簡易覚醒剤スクリーニング. 第72次日本法医学会総会, 1988.
- 3) 木村俊仁¹⁾, 亀山孝二¹⁾, 山田宣孝¹⁾, 浅野伍朗¹⁾, 平川慶子, 渡辺日章, (¹⁾第2病理) : [一般講演] 血管攣縮時の壁内水分変動と形態変化. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 4) Hayashida, M., Nihira, M., Hirakawa, K., Moriya, N. and Watanabe, T. : [Poster] Blood alcohol levels in the drunken patients admitted to Critical Care Medical Center(CCMC). 4th Congress of the International Society for Biomedical Research on Alcoholism (Kyoto), 1988.
- 5) Mashimo, K., Sato, S.¹⁾ and Watanabe, T. (¹⁾Cent. Inst. Electron Microsc. Res.) : [Poster] Ultrastructural changes following ethanol addition in the cultured myocardium. 4th Congress of the International Society for Biomedical Research on Alcoholism (Kyoto), 1988.
- 6) Nihira, M., Hayashida, M., Watamabe, T., Sato, S.¹⁾ and Aihara, K.¹⁾ (¹⁾Cent. Inst. Electron Microsc. Res.) : [Poster] Ultrastructural changes of liver, heart, lung and kidney in mice on acute ethanol poisoning. 4th Congress of the International Society for Biomedical Research on Alcoholism (Kyoto), 1988.
- 7) Tomita, Y., Haseba, T., Kurosu, M., Kamii, H. and Watanabe, T. : [Poster] Effects of acute and chronic ethanol administration on aldehyde dehydrogenase in mouse liver. 4th Congress of the International Society for Biomedical Research on Alcoholism (Kyoto), 1988.
- 8) Hirakawa, K., Nihira, M., Hayashida, M. and Watanabe, T. : [Poster] Proton Nuclear Magnetic Resonance(NMR) imaging of rat brain during acute ethanol intoxication. 4th Congress of the International Society for Biomedical Research on Alcoholism (Kyoto), 1988.
- 9) Kurosu, M., Haseba, Y., Tomita, Y., Kamii, H., Yamamoto, I., Watanabe, T., Sato, S.¹⁾ and Asano, G.²⁾ (¹⁾Cent. Inst. Electron Microsc. Res., ²⁾Dept. of 2nd Pathology) : [Poster] Effect of chronic ethanol feeding on alcohol dehydrogenase(ADH) isozymes in mouse liver. 4th Congress of the International Society for Biomedical Research on Alcoholism (Kyoto), 1988.
- 10) 山本伊佐夫, 黒須三恵, 長谷場健, 富田ゆかり, 上井一, 渡辺日章 : [一般講演] マウス肝アルコール脱水素酵素アイソザイムの阻害物質および活性化物質のスクリーニング. 第23回日本アルコール医学会総会, 1988.
- 11) Kishikawa, T.¹⁾, Gahzizadeh, M.¹⁾, Hara, U.¹⁾, Aihara, K.¹⁾, Nihira, M. and Watanabe, T. (¹⁾Cent. Inst. Electron Microsc. Res.) : [Poster] Mechanism of the ultrastructural change of lung surfactant; involment of inositol release during incubation with glucosidase in vitro. 14th International Congress of Biochemistry (Prague), 1988.
- 12) 須崎紳一郎¹⁾, 山本保博¹⁾, 林田真喜子, 仁平信, 渡辺日章, (¹⁾救急医学) : [一般講演] 急性薬物中毒多剤併用例の薬物血中濃度の経時的変化. 第10回中毒研究会, 1988.
- 13) 仁平信, 平川慶子, 林田真喜子, 渡辺日章, 須崎紳一郎¹⁾, 山本保博¹⁾, (¹⁾救急医学) : [一般講演] 核磁気共鳴法による有機リン系農薬の分析法. 第10回中毒研究会, 1988.
- 14) 菅原理二¹⁾, 平川慶子, 山本伊佐夫, 渡辺日章, 門脇稔²⁾ (¹⁾化学, ²⁾神川歯科大学法学) : [展示] 固体 NMR 法による尿石中の有機成分の分析. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 15) 富田ゆかり, 黒須三恵, 長谷場健, 仁平信, 渡辺日章 : [展示] 長期エタノール負荷が急性エタノール投与後の肝アルデヒド脱水素酵素活性に及ぼす影響. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 16) 黒須三恵 : [展示] 倫理委員会はどうかあるべきか. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.

- 17) 田中幹夫¹⁾, 永井俊¹⁾, 守谷直樹, 上井一, 平川慶子, 渡辺日章, 三樹勝²⁾ (¹⁾化学, ²⁾第二病院外科): [一般講演] 中性子ラジオグラフィ法による巨大尿石の画像解析について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 18) 田崎達也¹⁾, 荒川薫¹⁾, 三樹勝¹⁾, 永井俊²⁾, 田中幹夫²⁾, 渡辺日章 (¹⁾第二病院外科, ²⁾化学): [展示] タイ人の胆石中の微量元素含有量. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 19) 仁平信, 平川慶子, 林田真喜子, 渡辺日章: [一般講演] 核磁気共鳴法による有機リン系農薬の分析法 (2). 第57回日本法医学会関東地方会, 1988.
- 20) 須崎紳一郎¹⁾, 犬塚祥¹⁾, 富田譲二¹⁾, 山本保博¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 林田真喜子, 守谷直樹, 仁平信, 渡辺日章 (¹⁾救急医学): [一般講演] 飲酒後の外傷に及ぼす血中アルコール濃度の影響. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
- 21) 田崎達也¹⁾, 三樹勝¹⁾, 永井俊²⁾, 田中幹夫²⁾, 渡辺日章, (¹⁾第二病院外科, ²⁾化学): [一般講演] 中性子並びに X線ラジオグラフィーによる胆石の内部構造解析の研究. 第75回日本消化器病学会総会, 1989.
- 22) 田崎達也¹⁾, 荒川薫¹⁾, 的場泰徳¹⁾, 平田知己¹⁾, 松林博男¹⁾, 三樹勝¹⁾, 永井俊²⁾, 田中幹夫²⁾, 渡辺日章, (¹⁾第二病院外科, ²⁾化学): [一般講演] 日・タイ両国胆石成分の比較検討. 第89回日本外科学会総会, 1989.
- 23) Suzuki, S.¹⁾, Yamamoto, Y.¹⁾, Ohtsuka, T.¹⁾, Hayashida, M., Nihira, M. and Watanabe, T. (¹⁾Dept. of Critical Care. Med): [Oral] Effect of alcohol intoxication on trauma patients in Critical Care Medical Center in Tokyo. 5th Congress of the WPACCM-ANZIC, 1989.

13. 基礎医学共同研究利用施設

〔実験動物管理室〕

研究概要

動物モデル（疾患モデル・生物学的モデル）の開発をテーマとして、遺伝的疾患をもつ動物の病態解析・コロニー育成および各種実験動物の生理的特性の検索・基礎データの集積を行っている。本年度は以下のようなことについて検討を行った。

疾患モデル動物としては、第1に自発性糖尿病動物として確立された WBN/Kob ラットについて、糖尿病発症における著明な性差は自発性膵病変の進展に対する性ホルモンの関与によるものであることを明確化した。さらにこの膵組織病変の様相が慢性膵炎モデルとして利用できるとの観点から、臨床薬理センターとの共同研究により、このラットに対する抗膵炎薬の効果を検索した。第2に、当施設で作出した完全無毛ラットについて、このラットにみられた体表皮角化異常がヒトの遺伝性魚鱗症の1モデルとなりうることを解明した。第3に第2内科との共同研究により、家族性高脂血症モデルとして知られている WHHL ウサギを用いて、HMG-CoA リダクターゼインヒビターの作用を検討した。第4に EMC ウイルス接種による実験的糖尿病モデルを作製する際のウイルス液の濃度について検討を加えた。

実験動物の基礎的データの集積としては、前年度に継続して Mongolian gerbil を取り上げ、被毛色突然変異体の血液学的比較検討をはじめ、第1病理学教室との共同研究により Thy-1.1 抗原の存在部位を検索し、第2解剖学教室と共同で形態学的検討を行った。また、この動物は医動物学の分野では実験的フィラリア感染モデルとして広く利用されているため、好適宿主としての生理的特性について、東京医科歯科大学医動物学教室と共同で研究を進めた。

研究業績

論文

- 1) 七戸和博, 清水眞澄, 仲間一雅, 石崎正通¹⁾, 馬杉洋三¹⁾ (第1病理) : [原著] 抗 Thy-1.1 抗体によって誘発される Mongolian gerbil の腎炎について. 日本疾患モデル研究会記録 4, 16, 1988.
- 2) 大橋和史¹⁾, 金重輝²⁾, 仲間一雅 (第1薬理, ²⁾第1内科) : [速報] WBN/Kob ラットにおける慢性膵炎様変化. 日消病会誌, 85, 1571, 1988.

著書

- 1) 七戸和博, 清水眞澄, 秋元敏雄, 仲間一雅, 石崎正通¹⁾ (第1病理) : [分担] WBN/Kob ラットの糖尿病発症におけるコロニー差について. “糖尿病動物 第2巻” (後藤由夫編), p. 104~110, 医薬ジャーナル, 1988.
- 2) 仲間一雅, 秋元敏雄, 清水眞澄, 七戸和博, 戸部満寿夫¹⁾ (国衛試) : [分担] WBN/Kob 雄ラットの自然発症糖尿病に対する Estrogen の発症抑止効果について. “糖尿病動物” (後藤由夫編), p. 130~136, 医薬ジャーナル, 1988.
- 3) 浅川光夫¹⁾, 清水眞澄, 七戸和博 (第2解剖) : [翻訳] 実験動物 図解 スナネズミの解剖. 藤田企画出版, 1989.

学会発表

- 1) 清水眞澄, 秋元敏雄, 七戸和博, 仲間一雅 : [一般講演] Mongolian gerbil の coat color mutants における白血球数及び白血球像の比較. 第35回日本実験動物学会総会, 1988.

- 2) 秋元敏雄, 清水眞澄, 七戸和博, 石川彰一¹⁾, 仲間一雅 (¹⁾石川実験動物研究所) : [一般講演] Hairless mutant rat (WBN/Kob Ht) のホモ個体にみられた体表皮角化異常について. 第35回日本実験動物学会総会, 1988.
- 3) 七戸和博, 清水眞澄, 仲間一雅, 石崎正通¹⁾, 馬杉洋三¹⁾ (¹⁾第1病理) : [一般講演] Mongolian gerbil 腎糸球体 mesangium における Thy-1.1 抗原の存在について. 第35回日本実験動物学会総会, 1988.
- 4) 仲間一雅, 秋元敏雄, 清水眞澄, 七戸和博, 戸部満寿夫¹⁾ (¹⁾国衛試) : [一般講演] WBN/Kob ラットの糖尿病症状および腎病変発現に及ぼす性ホルモンの影響. (2) 雌ラットについて. 第35回日本実験動物学会総会, 1988.
- 5) 浅川光夫¹⁾, 清水眞澄, 秋元敏雄, 七戸和博, 仲間一雅, 伊藤博信¹⁾ (¹⁾第2解剖) : [一般講演] スナネズミ臓器重量の計測学的検索. 第35回日本実験動物学会総会, 1988.
- 6) 石崎正通¹⁾, 益田幸成¹⁾, 杉崎祐一¹⁾, 山中宜昭¹⁾, 馬杉洋三¹⁾, 清水眞澄, 七戸和博 (¹⁾第1病理) : [一般講演] Mongolian gerbil 腎糸球体における Thy-1.1 抗原の存在と腎炎発症について. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 7) 清水眞澄, 七戸和博 : [一般講演] Mongolian gerbil の実験血液学的モデルとしての可能性について. 第3回比較臨床血液研究会総会, 1988.
- 8) Fukuo, Y.¹⁾, Nagashima, M.¹⁾, Saitoh, A.¹⁾, Kobayashi, Y.¹⁾, Terashi, A.¹⁾, Nakama, K. and Asano, G.²⁾ (¹⁾2nd Department of Internal Medicine. ²⁾2nd Department of Pathology) : [一般講演] The effect of simvastatin, MK-733 (an inhibitor of HMG-CoA reductase) on atherosclerosis in WHHL-rabbits. 8th International Symposium on Atherosclerosis (Rome), 1988.
- 9) 清水眞澄, 七戸和博, 浅川光夫¹⁾, 月館説子²⁾, 藤田紘一郎²⁾ (¹⁾第2解剖, ²⁾東医歯大・医・医動物) : [一般講演] フィラリア感染好適宿主としての Mongolian gerbil の基礎的検討 (1). 第30回日本熱帯医学会総会, 1988.
- 10) 七戸和博, 清水眞澄, 月館説子¹⁾, 藤田紘一郎¹⁾ (¹⁾東医歯大・医・医動物) : [一般講演] フィラリア感染好適宿主としての Mongolian gerbil の基礎的検討 (2). 第30回日本熱帯医学会総会, 1988.
- 11) 原康¹⁾, 三浦陽¹⁾, 小岩井正博¹⁾, 増永朗¹⁾, 多川政弘¹⁾, 江島博康¹⁾, 清水眞澄, 七戸和博, 仲間一雅 (¹⁾日獣大・獣医外科) : [一般講演] FIV 感染ネコにおける末梢血リンパ球幼若化能の低下について. 第106回日本獣医学会総会, 1988.
- 12) 秋元敏雄, 石川彰一¹⁾, 仲間一雅 (¹⁾石川実験動物研究所) : [一般講演] Hairless mutant rat (WBN/Kob-Ht) の幼若期における魚鱗症様症状について. 第5回日本疾患モデル動物研究会総会, 1988.
- 13) 福生吉裕¹⁾, 永島幹夫¹⁾, 斎藤彰¹⁾, 小林陽二¹⁾, 赫彰郎¹⁾, 仲間一雅, 亀山孝二²⁾, 浅野伍朗²⁾ (¹⁾第2内科, ²⁾第2病理) : [一般講演] MK-733 (HMG-CoA reductase inhibitor) の WHHL 兎における抗動脈硬化作用について. 63年度日本動脈硬化学会冬季大会, 1989.
- 14) 仲間一雅, 秋元敏雄, 大橋和史¹⁾, 金重輝¹⁾, 原浩子¹⁾ (¹⁾臨床薬理センター) : [一般講演] WBN/Kob ラットの自然発症糖尿病について; 腎病変発現・性差についての一考. 第3回糖尿病動物研究会, 1989.
- 15) 大橋和史¹⁾, 金重輝¹⁾, 原浩子¹⁾, 仲間一雅, 秋元敏雄 (¹⁾臨床薬理センター) : [一般講演] WBN/Kob ラットの慢性腎炎様変化に対する薬物の硬化. 第3回糖尿病動物研究会, 1989.
- 16) 七戸和博, 清水眞澄, 石崎正通¹⁾ (¹⁾第1病理) : [一般講演] EMC ウィルス誘発糖尿病モデル作製のためのウィルス濃度の検討. 第3回糖尿病動物研究会, 1989.
- 17) 清水眞澄, 七戸和博, 石崎正通¹⁾ (¹⁾第1病理) : [一般講演] ラット・マウス・ジャードにおける Thy-1.1 抗原の存在部位の比較. 第4回比較臨床血液研究会, 1989.

[中央電子顕微鏡研究施設]

研究概要

当研究施設は昭和62年中央電子顕微鏡室より昇格して以来確実に研究機能の拡充に努力を傾倒してきた。それには次のような活動がふくまれている。

1) 電子顕微鏡診断部門、電顕をもちいる診断活動は単に病理部門のみならず先端医療、医学上不可欠な分野であり当施設はその先鞭をつけたことでしられている。現在診断開始後、約4,000例の検索をおこないS.63年度においては約600例の多きに達した。この分野の標準化を行うべく現在 global network の体系化を準備中である。その一環として第4回アジア、太平洋電顕会議のなかで行われた電顕診断ワークショップの組織、運営に協力した(タイ国、バンコック)。さらに本年度においては中国北京で行われる National Training Course in use of Electron Microscopy in Health Science Research とそれに関連して行われるタイチラロンコロン大学主催の Bi-Regional (Workshop on) Diagnostic Electron Microscopy の運営に協力する予定になっている。

2) 国内学際協力部門、当施設は学際的研究の展開を基調として運営しているので学の内外との協力研究を行っている。例えばアルコール依存症の臓器障害(法医学教室を中心とする学内協同研究機構、アルコール性肝硬変の計測形態学的研究(神奈川県立ガンセンター)、Alveolar Soft Part Tumor の免疫電顕的研究(国立ガンセンター)、太田母班の分子生物学的発症機序の解明(東京女子医大)等がそれである。また公的機関よりの受託研究としては環境庁よりの骨軟化の発症機序の解明を東大、群大、東北大、横浜市立大等と協力して行っている。

3) 国際学術協力部門、当施設は本分野における WHO 研究協力センターとして世界でも唯一の指定を受けていることもあって WHO の協力もえて環境汚染にともなう呼吸器疾患の解明を展開中である(協力機関:米国 N. I. H., Duke 大学, オーストラリア Adelaide 大学, 中国首都医学院, 西安医大), また黒山病についてはハルビン医大、山東医大、N. I. H., モヤマ病については北京市立神経科学研究所と協力しており当研究施設のもつ研究動向は国際的評価をうける段階に達しており今後の発展が期待されよう。

研究業績

論文

- 1) 星野博, 多羅尾和郎, 伊藤義彦, 及川裕望, 玉井拙夫, 飯森和人, 宇南山史郎, 池田俊夫, 桜井彰, 林和弘, 広畑泰久, 相原薫: [原著] 代償性肝硬変症の成因による肝臓と脾臓の容積に関する研究; CT scan による測定結果. 日消病会誌, **85**, 2577~2582, 1988.
- 2) Ghazizadeh, M., Kagawa, S., Oguro, T., Takigawa, H., Sasaki, Y. and Aihara, K.: [原著] Tissue polypeptide antigen expression in human prostate tumors. J. Cancer Res. Clin. Oncol., **115**, 84~88, 1989.
- 3) 真下啓子¹⁾, 佐藤茂, 渡辺日章¹⁾ (法医): [原著] アルコール性心筋症の実験モデル; 培養心筋細胞における巨大ミトコンドリアの出現. 医のあゆみ, **148**, 269~270, 1989.

学会発表

- 1) 潘杰, Ghazizadeh, M., 広畑泰久, 岸川テル子, 相原薫: [展示] パラコート長期経口投与による重要各臓器の変化に関する電子顕微鏡的研究. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 2) 広畑泰久, Ghazizadeh, M., 阿斯亘, 潘杰, 岸川テル子, 相原薫: [一般講演] 磁性体微粒子を芯物質とするアドリアマイシンマイクロカプセルを用いた経カテーテル化学療法と塞栓療法との併用による治療の試み. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 3) Kishikawa, T., Ghazizadeh, M., Hara, Y., Sasaki, Y., Inoue, K. and Aihara, K.: [展示] Morphological change in rat lung surfactant after in vitro incubation with β -galactosidase, N-acetylglucosaminidase and sphingomyelinase.

第77回日本病理学会総会, 1988.

- 4) 広畑泰久, Ghazizadeh, M., 阿斯亘, 潘杰, 岸川テル子, 相原薫: [一般講演] アルコール性肝疾患における肝容積の変化についての検討. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 5) 小林洋, Ashraf, M.¹⁾, Millard, R. W.¹⁾, Ghazizadeh, M.¹⁾ (¹⁾Cincinnati 大学薬理): [一般講演] 虚血性心疾患の進展とその予防に関する研究. (第7報) Reoxygenation (RO) 障害における活性酸素の役割について. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 6) 潘杰, 佐藤茂, 石崎正通¹⁾, 相原薫, 孫泰重 (¹⁾第1病理): [展示] EMC virus による実験的心筋炎発症機序に関する超微形態学的研究. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 7) Ghazizadeh, M., Oguro, T., Sasaki, Y., Cheng, K.-M., Aihara, K. and Araki, T.¹⁾ (¹⁾Dept. of Obstetrics and Gynecology): [展示] The expression of C-myc oncogene product in ovarian tumors. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 8) Ghazizadeh, M., Oguro, T., Sasaki, Y., Pan Jie, Aihara, K. and Yajima, G.: [展示] Detection of tissue polypeptide antigen (TPA) in ovarian tumors. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 9) 広畑泰久, 相原薫, 笹森齊¹⁾, 青木文¹⁾, 和田良仁¹⁾, 加藤富三¹⁾ (¹⁾第一病院・放射線科): [一般講演] 磁性体微粒子の細胞体内分布とその生体に及ぼす影響に関する研究. 第39回日本電子顕微鏡学会総会, 1988.
- 10) Kishikawa, T., Ghazizadeh, M., Hara, Y., Aihara, K., Nihira, M.¹⁾ and Watanabe, T.¹⁾ (¹⁾Department of Legal Medicine): [展示] Mechanism of the ultrastructural change of lung surfactant; Involvement of inositol release during incubation with glucosidase in vitro. 14th International Congress of Biochemistry (Prague), 1988.
- 11) Hirohata, Y., Aihara, K., Wada, Y.¹⁾, Sasamori, H.¹⁾, Aoki, F.¹⁾ and Kato, T.¹⁾ (¹⁾Dapt. of Radiology, 1st Hospital): [一般講演] Fundamental studies of transcatheter arterial chemoembolization by using adriamycin microcapsules microcapsules having the core of ferromagnetic microparticles. The Vth Asia-Pacific Conference and Workshop on Electron Microscopy (Bangkok), 1988.
- 12) Aihara, K., Sato, S., Hirohata, Y., Suzuki, K., Sasaki, Y., Oguro, T., Chen, J.¹⁾, Yang, S.²⁾ and Pan Jie ³⁾ (¹⁾Xian Medical University, ²⁾Capital Inst. of Medicine, ³⁾Sandong Medical University): [一般講演] Pulmonary surfactant; Its pathological implication. The Vth Asia-Pacific Conference and Workshop on Electron Microscopy (Bangkok), 1988.
- 13) Aihara, K., Sato, S., Hirohata, Y., Michimata, A., Sasaki, M., Inoue, K., Gao, T.¹⁾, Chen, J.²⁾, Yang, S.²⁾, Zeng, X.³⁾ and Wu, Z.³⁾ (¹⁾Capital Inst. of Medicine, ²⁾Xian Medical University, ³⁾Harbin Medical University): [一般講演] An appraisal of the activity of the WHO Collaborating Centre for Research and Training in Diagnostic Electron Microscopy for four years. The Vth Asia-Pacific Conference and Workshop on Electron Microscopy (Bangkok), 1988.
- 14) Sato, S. and Aihara, K.: [一般講演] The lung evolution and its design a comparative ultrastructural study. The Vth Asia-Pacific Conference and Workshop on Electron Microscopy (Bangkok), 1988.
- 15) Arai, K.¹⁾, Sato, T.¹⁾, Oguro, T., Aihara, K. and Asano, G.²⁾ (¹⁾National Defence Medical College, ²⁾The 2nd Department of Pathology): [一般講演] An ultrastructural study of the proliferating tip of keloid tissue. The Vth Asia-Pacific Conference and Workshop on Electron Microscopy (Bangkok), 1988.
- 16) 佐藤泰山¹⁾, 高木勇²⁾, 山田敬喜²⁾, 相原薫, 鈴木克哉, 福崎忠夫³⁾, 森英和⁴⁾ (¹⁾保健衛生大学共利研 E/M 室, ²⁾同解剖, ³⁾信光社, ⁴⁾サクラ精機): [一般講演] 同一ブロック面の必要な数ヶ所の領域をトリミングし, 超薄切片を同時に作成する試み. 第20回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1988.
- 17) 小林洋, 広畑泰久, 相原薫: [一般講演] カルシウム拮抗剤 Diltiazem (DTZ) の家兔コレステロール負荷心に対する効果について. 第20回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1988.
- 18) 佐藤茂, 相原薫, 栗原怜¹⁾, 吉村忍²⁾ (¹⁾春日部秀和病院, ²⁾防衛医大・中病): [一般講演] 慢性血液透析患者

における骨軟化症の電子顕微鏡観察；EDX 解析を中心に。第20回日本臨床電子顕微鏡学会総会，1988.

- 19) Kishikawa, T., Ghazizadeh, M., Sasaki, Y., Aihara, K., Nihira, M.¹⁾ and Watanabe, T.¹⁾ (¹⁾Dept. of Legal Med.) : [展示] The mechanism of morphological change in rat lung surfactant by N-acetylglucosaminidase and β -galactosidase. 第78回日本病理学会総会，1989.
- 20) Ghazizadeh, M., Sasaki, Y., Aihara, K. and Springer, G. F.¹⁾. (¹⁾Dept. of Immunochemistry Research, Evanston Hospital, (Northwestern University) : [一般講演] Expression of Tn antigen in human breast lesions. 第78回日本病理学会総会，1989.
- 21) Ghazizadeh, M., Sasaki, Y., Oguro, T., Araki, T.¹⁾ and Aihara, K. (¹⁾Dept. of Obstetrics and Gynecology) : [展示] Lectin histochemistry of human ovarian tumors. 第78回日本病理学会総会，1989.
- 22) 揚少毅，小林洋，潘杰，広畑泰久，Ghazizadeh, M., 佐々木美枝子，佐佐木喜広，相原薫，孫泰重¹⁾ (¹⁾韓国，慶北大学病理) : [展示] 肺動脈硬化性病変の発生機序解明とその病理組織学的意義について（第一報）。第78回日本病理学会総会，1989.
- 23) 鄭珩，小林洋，潘杰，広畑泰久，Ghazizadeh, M., 揚少毅，相原薫，孫泰重¹⁾，Reinke, M.²⁾ (¹⁾韓国慶北大学病理，²⁾Inst. für Pharmakologie, Erlangen-Nürnberg) : [展示] 動脈硬化性心臓病変の進展とその予防に関する研究（第2報）。第78回日本病理学会総会，1989.
- 24) 潘杰，広畑泰久，小林洋，相原薫，曾憲恵，呉鐸，揚少毅 : [一般講演] セレニウム欠乏による心筋症発症機序についての電顕的細胞化学研究。第78回日本病理学会総会，1989.
- 25) 潘杰，広畑泰久，相原薫 : [展示] Paraquat 肺における超微形態と界面活性物質の変動についての相関（第二報）。第78回日本病理学会総会，1989.

[基礎医学情報処理室]

研究概要

学内各方面のコンピュータ利用について常に御相談にあずかっており，この数年間におけるコンピュータの普及は目覚ましいものがある。ただ当室の主力機であるミニコン S3300は記憶容量は十分であるが，計算速度の点では最新のパソコンとの差がなくなってきており，古式化している。設置後5年たち，レプレースの時期にきていることを示している。学内の御理解をお願いしたい。

プログラム開発では，当室でフラクタル次元（相関次元）解析，相関関数などのアナログ情報解析プログラムが完成している。御利用下さい。

室員の研究もアナログ情報解析に力を入れており，脳波分析を行っている。

その他各自のテーマによる研究があり，数理モデル，東洋医学の心身鍛練法の脳波，脳と宇宙の認識などの成果がある。

研究業績

論文

- 1) 松田裕之 : [雑文] 生物進化の数学モデル。電子情報通信学会誌，71，836～837，1988.
- 2) 品川嘉也 : [総説] 大脳半球機能と催眠。催眠と科学，3，1～5，1988.
- 3) 品川嘉也，加藤隆吉¹⁾，河野貴美子，吉川玲子，斉藤恵美子²⁾ (¹⁾東京催眠心理研究所，²⁾アイライフ K. K.) : [原著] 催眠とイメージの EEG トポグラフによる解析。催眠と科学，3，15～25，1988.
- 4) Matsuda, H. and Namba, T.¹⁾ (¹⁾専修大・商) : [原著] Coevolutionarily stable community structure in a patchy environment. J. Theor. Biol., 136，229～243，1989.

- 5) 松田裕之：〔原著〕自然選択説の二つの誤解；ディーム内選択は群選択か. *Networks in Evolutionary Biology*, No. 6, 60~64, 1989.

著 書

- 1) 品川嘉也：〔分担〕脳と精神機能／脳とコンピュータ. “図説 臨床精神医学講座 1 精神医学入門と診断法” (島 菌安雄, 保崎秀夫, 徳田良仁, 風祭元編), p. 58~61, メジカルビュー社, 1988.
- 2) 品川嘉也：頭が突然鋭くなる右脳刺激法. 青春出版社, 1988.
- 3) 品川嘉也：〔分担〕禅と芸術体験の表出. “禅の四季；修行の生活と文化” (禅文化研究所・臨済会監修), p. 168~169, 佼成出版社, 1988.
- 4) 品川嘉也：右脳クラシック鑑賞法. 丸善メイツ, 1988.

学会発表

- 1) Kawano, K., Yoshikawa, R. and Shinagawa, Y. : 〔展示〕 Brain laterality during thinking and EEG topographical analysis. 第65回日本生理学会大会, 1988.
- 2) 松田裕之, 難波利幸¹⁾ (¹⁾専修大・商) : 〔一般講演〕パッチ状資源環境における共進化的に安定な群集構造. 第35回日本生態学会大会, 1988.
- 3) Matsuda, H. and Namba, T.¹⁾ (¹⁾専修大・商) : 〔展示〕 Coevolutionarily stable community structure in a patchy environment. Second Japan-China Bilateral Symposium on Biophysics (Kyoto), 1988.
- 4) Shinagawa, Y. and Matsuda, H. : 〔展示〕 An extended model of the Kedem-Katchalsky equation to the overshoot-uptake membrane transport of non-electrolyte. Second Japan-China Bilateral Symposium on Biophysics (Kyoto), 1988.
- 5) 河野貴美子, 加藤隆吉¹⁾, 品川嘉也 (¹⁾東京催眠心理研究所) : 〔一般講演〕催眠イメージ想起中の α 波周波数と脳波トポグラフ. 第4回日本催眠学会総会, 1988.
- 6) 品川嘉也, 菊池美也子¹⁾ (¹⁾日本システム研究所) : 〔一般講演〕情報構造としての宇宙. 日本医学哲学・倫理学会第7回大会, 1988.
- 7) 松田裕之 : 〔一般講演〕細胞性粘菌における胞子細胞と柄細胞の最適分化比率. 第26回日本生物物理学会大会, 1988.
- 8) 松田裕之, 品川嘉也 : 〔一般講演〕非電解質の生態膜透過と細胞の体積変化のダイナミクス. 京都大学数理解析研究所研究集会, 1988.
- 9) 品川嘉也 : 〔特別講演〕イメージと脳；芸術療法の生理的基礎を求めて, 第20回日本芸術療学会, 1988.
- 10) 品川嘉也 : 〔シンポジウム〕気とイメージ；その脳波学的研究. 日中友好シンポジウム「気と人間科学」, 1988.
- 11) 横山聡, 河野貴美子, 品川嘉也 : 〔一般講演〕速読者の脳波トポグラフ解析. 第18回日本脳波・筋電図学会学術大会, 1988.
- 12) 河野貴美子, 品川嘉也 : 〔展示〕思考時, α 波は速波化する. 第18回日本脳波・筋電図学会学術大会, 1988.
- 13) 嶋田正和¹⁾, 松田裕之, (¹⁾東大, 教養) : 〔展示〕アズキゾウムシの産卵分布戦略；理想自由分布の進化的安定性. 第7回日本動物行動学会大会, 1988.
- 14) 品川嘉也 : 〔ワークショップ〕Biomemory. International Workshop on Intelligent Materials, 1989.

〔 3 〕 臨 床 医 学

1. 第一内科学講座

[付属病院第1内科]

研究概要

第一内科学教室では肝臓病学、循環器病学ならびに代謝・糖尿病学を中心に以下に示すような基礎的・臨床的研究を行った。

肝臓病学では、①肝硬変症の病態生理、特に acute on chronic. ②肝循環と全身血行動態の関係。③門脈圧降下薬、特に spironolactone の門脈圧降下作用、④実験的門脈圧亢進モデルの開発と各種薬剤の効果。⑤数量化理論による門脈圧の予測。⑥慢性肝炎における運動負荷の肝機能に対する影響。⑦ウイルス肝炎における 2'-5'-A oligosynthetase の動態とインターフェロン療法。⑧肝癌の発生に対する HBV、飲酒の関与。⑨肝内胆汁うっ滞に対する治療。⑩ PBC の病態。

循環器病学では、1) 不整脈の実験的および臨床的研究。①ガラス微小電極法による抗不整脈薬の作用機序。②吸引電極法による心室性不整脈発生機序の解明。③電気生理学的検査による不整脈発生機序の検討および抗不整脈薬の臨床的評価。④ホルター心電図法、運動負荷法を用いた不整脈患者における自律神経系関与の究明。⑤心房細動、粗動など各種不整脈の臨床的研究。2) 虚血性心疾患では①無症候性心筋虚血の病態と予後。②梗塞サイズ縮小に対する Ca 拮抗剤の効果。③冠動脈疾患における薬物療法、冠動脈内血栓溶解療法 (PTCR)、冠動脈形成術 (PTCA)、冠血管トームスの反応性。④ドップラーエコー法による左心拡張期の評価。3) 臨床薬理学では全国の基幹施設として抗不整脈薬、抗狭心症薬、抗心不全薬、降圧剤、昇圧剤の第 I, II, III 相試験の実施。

代謝、糖尿病学では①心筋梗塞急性期における代謝異常の発生機序、特に循環動態との関係。②糖尿病合併心筋梗塞例での late potential 検出の意義。③糖尿病早期腎障害の指標としての尿中 LAP, AI-P, γ -GTP の意義。④糖尿病におけるプロテイン C, AT-III, プラスミノゲン活性の動態。⑤レーザードプラ法による糖尿病末梢循環障害の検討。

研究業績

論文

- 1) Katoh, T., Karagueuzian, H. S.¹⁾, Sugi, K.¹⁾, Ohta, M., Mandel, W. J.¹⁾ and Pater, T.¹⁾ (Cidars-Sinai Medical Center) : [原著] Effects of propafenone on sinus nodal and ventricular automaticity ; In vitro and in vivo correlation. Am. Heart J., 113, 941~952, 1987.
- 2) 加藤貴雄, 早川弘一, 加藤和三¹⁾, 飯沼宏之¹⁾, 杉本恒明²⁾, 松尾博司³⁾, 比江嶋一昌⁴⁾, 笠貫宏⁵⁾, 田辺晃久⁶⁾ (¹⁾心臓血管研究所付属病院内科, ²⁾東京大学医学部第2内科, ³⁾東京大学医学部第2内科 (現在: 埼玉医科大学総合医療センター第3内科), ⁴⁾東京医科歯科大学第1内科, ⁵⁾東京女子医科大学心臓血管研究所内科, ⁶⁾東海大学医学部第1内科) : [原著] 塩酸プロパフェノン (YM-13400) の心室性期外収縮に対する至適用量の検討 ; 多施設二重盲検比較法による第二相後期臨床試験. 臨薬理, 18, 635~650, 1987.
- 3) 早川弘一, 宗像一雄, 大木清司 : [総説] 突然死の心電図. 臨成人病, 17, 1382~1384, 1987.
- 4) 加藤和三¹⁾, 飯沼宏之¹⁾, 早川弘一, 加藤貴雄, 広沢弘七郎²⁾, 笠貫宏²⁾, 杉本恒明³⁾, 松尾博司⁴⁾, 比江嶋一昌⁵⁾, 五島雄一郎⁶⁾, 田辺晃久⁶⁾, 浜本紘⁷⁾ (¹⁾心臓血管研究所付属病院, ²⁾東京女子医科大学心研内科, ³⁾東京大学第2内科, ⁴⁾東京大学第2内科 (現在: 埼玉医科大学総合医療センター第3内科), ⁵⁾東京医科歯科大学第1内科, ⁶⁾東海大学第1内科, ⁷⁾榊原記念クリニック内科) : [原著] 塩酸プロパフェノン (YM-13400) の不整脈に対する臨床的有用性の検討 ; 第二相前期試験. 基礎と臨, 21, 4089~4103, 1987.

- 5) 加藤和三¹⁾, 飯沼宏之¹⁾, 早川弘一, 加藤貴雄, 比江嶋一昌²⁾, 笠貫宏³⁾, 田辺晃久⁴⁾ (¹⁾心臓血管研究所付属病院, ²⁾東京医科歯科大学第1内科, ³⁾東京女子医科大学心研内科, ⁴⁾東海大学医学部第1内科): [原著] 頻脈性不整脈に対する塩酸プロパフェノンの長期使用経験. 薬理と治療, **15**, 2457~2473, 1987.
- 6) 加藤和三¹⁾, 飯沼宏之¹⁾, 早川弘一, 加藤貴雄, 杉本恒明²⁾, 松尾博司³⁾, 比江嶋一昌⁴⁾, 笠貫宏⁵⁾, 田辺晃久⁶⁾ (¹⁾心臓血管研究所付属病院, ²⁾東京大学第2内科, ³⁾埼玉医科大学総合医療センター第3内科, ⁴⁾東京医科歯科大学第1内科, ⁵⁾東京女子医科大学心研内科, ⁶⁾東海大学第1内科): [原著] 心室性期外収縮に対するプロパフェノン (YM-13400) の臨床的有用性; ジソピラミドを対照薬とする多施設二重盲検比較試験. 臨医薬, **3**, 969~990, 1987.
- 7) 加藤貴雄¹⁾, 雪吹周生¹⁾, 早川弘一 (¹⁾集中治療室): [総説] 重症不整脈の治療の進歩 (特集: 心蘇生の進歩). ICU と CCU, **11**, 1111~1119, 1987.
- 8) 加藤貴雄, 石原茂樹¹⁾ (¹⁾集中治療室): [総説] 急性心筋梗塞の救急医療; 不整脈. 日臨, **45**, 795~801, 1987.
- 9) 早川弘一, 加藤和三¹⁾, 比江嶋一昌²⁾, 中田八洲郎³⁾, 飯沼宏之¹⁾, 笠貫宏⁴⁾, 山口巖⁵⁾, 加藤貴雄, 池田孝之⁶⁾ (¹⁾心臓血管研究所付属病院内科, ²⁾東京医科歯科大学第1内科, ³⁾順天堂大学循環器内科, ⁴⁾東京女子医科大学心研内科, ⁵⁾筑波大学臨床医学系内科, ⁶⁾金沢大学第1内科): [原著] Aprindine (MS-5075) 注射剤の各種頻脈性不整脈に対する効果; 多施設協同による第II相試験. 薬理と治療, **16**, 883~904, 1988.
- 10) 岸田浩, 鈴木健¹⁾, 斉藤勉, 畑典武, 大津文雄¹⁾, 金子ひろ子, 猪口直美, 木内要 (¹⁾多摩永山病院内科): [原著] Silent ischemia に対するホルター心電図法の応用. 心電図, **8**, 181~185, 1988.
- 11) 奥村英正, 荒牧琢己: [総説] 肝硬変. 日臨, **46**, 1016~1029, 1988.
- 12) 加藤和三¹⁾, 早川弘一, 比江嶋一昌²⁾, 中田八洲郎³⁾, 飯沼宏之¹⁾, 笠貫宏⁴⁾, 山口巖⁵⁾, 加藤貴雄⁶⁾, 池田孝之⁷⁾, 佐久間昭⁸⁾ (¹⁾心臓血管研究所付属病院, ²⁾東京医科歯科大学第1内科, ³⁾順天堂大学循環器内科, ⁴⁾東京女子医科大学心研内科, ⁵⁾筑波大学臨床医学系内科, ⁶⁾集中治療室, ⁷⁾金沢大学第1内科, ⁸⁾東京医科歯科大学難治疾患研究所臨床薬理学): [原著] 発作性上室性頻拍に対する Aprindine (MS-5075) 注射剤の臨床効果; 多施設二重盲検試験による検討. 薬理と治療, **16**, 905~921, 1988.
- 13) Atarashi, H., Kawaguchi, N., Gotoh, M. and Hayakawa, H.: [原著] Clinical and electrocardiographic characteristics of responders and nonresponders to class IA antiarrhythmic drugs. Jpn. Circ. J., **52**, 289~297, 1988.
- 14) 奥村英正, 寺田秀人, 荒牧琢己, 里村克章, 勝田悌実: [総説] 肝硬変. 現代医療, **20**, 1213~1216, 1988.
- 15) 高野照夫¹⁾, 畑典武 (¹⁾集中治療室): [総説] 胸痛; 救急を要する症状と具体的方法 (特集: 老年者の救急-I). Geriatr. Med., **26**, 535~542, 1988.
- 16) 遠藤孝雄: [総説] 急性心筋梗塞. 看技, **34**, 71~74, 1988.
- 17) 早川弘一: [総説] 電気生理検査 (特集: 循環器における最近の検査法). 臨成人病, **18**, 451~455, 1988.
- 18) Osaka, M., Aramaki, T., Okumura, H. and Kawanami, O.¹⁾ (¹⁾First Department of Pathology): [報告] Primary biliary cirrhosis with fibrosing alveolitis. Gastroenterol. Jpn., **23**, 457~460, 1988.
- 19) 加藤貴雄, 早川弘一, 高野照夫¹⁾ (¹⁾集中治療室): [原著] Class Ib 抗不整脈薬の心行動態に及ぼす影響; lidocaine, mexiletine, aprindine, tocainide の比較 (特集: 不整脈のトピックス). 進歩する心臓研, **8**, 3~9, 1988.
- 20) 岸田浩: [総説] 無症候性心筋虚血の薬物療法. Ther. Res., **8**, 1247~1252, 1988.
- 21) 荒牧琢己, 勝田悌実, 奥村英正: [総説] 薬物療法; マルチレートとプロプラノロール. 治療, **70**, 1077~1084, 1988.
- 22) 新博次: [総説] 抗不整脈剤 (特集: 新しい薬物と使用法). ICU と CCU, **12**, 383~389, 1988.
- 23) Kishida, H., Saito, T., Nejima, J., Hata, N., Kusama, Y., Suzuki, T.¹⁾, Otsu, F.¹⁾, Kaneko, H. and Inokuchi, N (¹⁾Tama

- Nagayama Hospital) : [原著] Evaluation of a new antianginal agent, nipradilol, in effort angina using Holter monitoring. Jpn. Heart J., 29, 309~317, 1988.
- 24) Endo, T., Kiuchi, K., Fujita, S., Kikuchi, K., Hayakawa, H. and Okumura, H. : [原著] Reduction of size of myocardial infarction with nicorandil, a new antianginal drug, after coronary artery occlusion in dogs. J. Cardiovasc. Pharmacol., 12, 587~592, 1988.
- 25) 太田真夫, 高野照夫¹⁾ (¹⁾集中治療室) : [総説] 入院を要する心不全の判断と初期治療. 医と薬学, 19, 1099~1103, 1988.
- 26) 赤池正博, 奥村英正, 荒牧琢己 : [総説] 心不全; ショックを含む. 日臨, 46, 402~409, 1988.
- 27) 赤池正博, 奥村英正, 荒牧琢己 : [総説] 血清 LDH 高値 (特集: 再考肝機能障害). 総合臨, 37, 999~1001, 1988.
- 28) 早川弘一, 斉藤寛和 : [総説] 心房細動の臨床. 日医大誌, 55, 315~319, 1988.
- 29) 勝田悌実, 関山達也, 奥村英正 : [総説] 門脈圧亢進症の β -blocker 療法. 日臨, 46, 1089~1096, 1988.
- 30) 荒牧琢己 : [総説] 腹水. 臨消内科, 4, 928~933, 1988.
- 31) 荒牧琢己 : [総説] 腹水の治療. 臨消内科, 4, 1036~1046, 1988.
- 32) 岸田浩, 畑典武 : [総説] 重症安定狭心症. Mebio, 5, 88~95, 1988.
- 33) 加藤和三¹⁾, 飯沼宏之¹⁾, 高田博之¹⁾, 阿南隆一郎¹⁾, 細田達一²⁾, 豊岡照彦²⁾, 杉本恒明³⁾, 野崎彰³⁾, 早川弘一, 子島潤, 小林義典, 比江嶋一昌⁴⁾, 池野文昭⁴⁾, 広沢弘七郎⁵⁾, 笠貫宏⁵⁾, 五島雄一郎⁶⁾, 田辺晃久⁶⁾, 吉川広⁶⁾, 下村克朗⁷⁾, 松久茂久雄⁷⁾, 橋場邦武⁸⁾, 木谷文博⁸⁾ (¹⁾心臓血管研究所付属病院, ²⁾自治医科大学循環器内科, ³⁾東京大学第2内科, ⁴⁾東京医科歯科大学第1内科, ⁵⁾東京女子医科大学心研内科, ⁶⁾東海大学第1内科, ⁷⁾国立循環器病センター, ⁸⁾長崎大学第3内科) : [原著] 心室性および上室性期外収縮に対する cibenzoline 錠の有効性と安全性の検討. 臨医薬, 4, 971~990, 1988.
- 34) 渡部真理, 高野照夫¹⁾ (¹⁾集中治療室) : [総説] 狭心症と心筋梗塞の診断と治療; CCU を中心に (特集: 狭心症と心筋梗塞②). Heart Nursing, 1, 64~73, 1988.
- 35) 大木清司, 高野照夫¹⁾, 清野精彦¹⁾, 森規勝 (¹⁾集中治療室) : [総説] 緊急医療と心電図. 臨検, 32, 527~533, 1988.
- 36) 清野精彦¹⁾, 森規勝 (¹⁾集中治療室) : [総説] 心筋梗塞急性期の重症度評価の実際; 心電図. Med. Pract., 5, 955~958, 1988.
- 37) 加藤貴雄, 大木清司 : [総説] 急性心筋梗塞に伴った不整脈治療の実際; 頻脈. Med. Pract., 5, 1029~1031, 1988.
- 38) Ohta, M., Hayakawa, H., Takano, T.¹⁾, Aihara, K.²⁾ and Yajima, G.³⁾ (¹⁾CCU, ²⁾Central Electron Microscopy Institute, ³⁾Department of Pathology) : [原著] Ultrastructural observation in clinical and experimental myocardial infarction, with reference to pathogenesis. Jpn. Circ. J., 52, 664~672, 1988.
- 39) 清野精彦¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一, 栗田明²⁾ (¹⁾集中治療室, ²⁾防衛医科大学校第1内科) : [総説] 急性心不全における末梢循環動態と循環調節機構について. 循環器, 24, 122~127, 1988.
- 40) 樺方美文 : [原著] ウサギ洞房結節細胞に対する低酸素の陰性変時作用について. 日医大誌, 55, 371~379, 1988.
- 41) 斉藤寛和, 早川弘一 : [総説] 心腔内電気現象の記録法と正常値. 臨床医, 14, 1282~1284, 1988.
- 42) 高山守正, 早川弘一 : [総説] 心電図による梗塞部位診断. 診断と治療, 76, 2003~2007, 1988.
- 43) 鈴木健¹⁾, 岸田浩 (¹⁾多摩永山病院内科) : [総説] Silent ischemia; 心電図の虚血所見と自覚症状との関係. 診断と治療, 76, 1965~1968, 1988.
- 44) 早川弘一 : [総説] 薬効評価としてのホルター心電図法. 循環科学, 8, 892~896, 1988.
- 45) 小海信一, 高山守正, 早川弘一 : [総説] Reperfusion arrhythmia とその対策. 臨科学, 24, 961~966, 1988.
- 46) Yasutake, M., Sasaki, H., Fujimatsu, M.¹⁾, Kanda, T.¹⁾, Oshibuchi, M.¹⁾, Ootsu, N.¹⁾, Atarashi, J.¹⁾, Hayakawa, H. and

Okumura, H. (¹¹Departments of Cardiology, Medicine, Radiology and Pathology, Hakujikai Memorial Hospital) : [報告] Metastatic cholangiocarcinome to the right atrial appendage detected by magnetic resonance imaging. *Am. Heart J.*, **116**, 566~568, 1988.

- 47) 長沢紘一¹⁾, 筒井末春²⁾, 本多和雄³⁾, 太田真夫, 川口信子, 中野弘一²⁾, 坪井康次²⁾, 中川保弘³⁾, 難波経彦⁴⁾, 斉藤敏二⁵⁾, 八幡浩二¹⁾, 針谷吉人¹⁾, 富士崎成子¹⁾, 原文男⁶⁾, 倉田文秋⁶⁾, 藤原忠通⁷⁾, 八田貞人⁸⁾, 植田俊郎⁸⁾, 黒木伸一⁸⁾, 栗原広孝⁸⁾, 宗像純司⁹⁾, 川越栄⁹⁾, 橋本英洋¹⁰⁾, 永田勝太郎¹¹⁾, 菊地長徳¹²⁾ (¹⁾多摩永山病院内科, ²⁾東邦大学心療内科, ³⁾益田赤十字病院内科, ⁴⁾済生会神奈川県病院内科, ⁵⁾小金原病院内科, ⁶⁾第二病院内科, ⁷⁾稲田登戸病院循環器科, ⁸⁾白十字総合病院内科, ⁹⁾東京都立駒込病院内科, ¹⁰⁾下谷病院内科, ¹¹⁾東邦大学大橋病院麻酔科, ¹²⁾東京女子医科大学第2病院内科) : [原著] 起立失調症候群および低血圧症に対する Amezinium metilsulfate (LU-1631) の臨床評価; 至適用法・用量の検討. *臨医薬*, **4**, 1103~1122, 1988.
- 48) 筒井末春¹⁾, 長沢紘一²⁾, 本多和雄³⁾, 中野弘一¹⁾, 坪井康次¹⁾, 田原啓二¹⁾, 桂宗孝¹⁾, 中川保弘¹⁾, 芝山幸久¹⁾, 五十嵐美加¹⁾, 難波経彦⁴⁾, 斉藤敏二⁵⁾, 太田真夫, 佐々木熙之, 八幡浩二²⁾, 針谷吉人²⁾, 原文男⁶⁾, 倉田文秋⁶⁾, 関純一⁶⁾, 藤原忠通⁷⁾, 八田貞人⁸⁾, 谷部正浩⁸⁾, 塚本浩⁸⁾, 福田純⁸⁾, 宗像純司⁹⁾, 川越栄⁹⁾, 橋本英洋¹⁰⁾, 小野寺威夫¹⁰⁾, 猪口直美¹⁰⁾, 金子ひろ子¹⁰⁾, 永田勝太郎¹¹⁾, 菊地長徳¹²⁾, 中島光好¹³⁾ (¹⁾東邦大学心療内科, ²⁾多摩永山病院内科, ³⁾益田赤十字病院検査部, ⁴⁾済生会神奈川県病院内科, ⁵⁾小金原病院内科, ⁶⁾第二病院内科, ⁷⁾稲田登戸病院循環器科, ⁸⁾白十字総合病院内科, ⁹⁾東京都立駒込病院内科, ¹⁰⁾下谷病院内科, ¹¹⁾東邦大学大橋病院麻酔科, ¹²⁾東京女子医大第二病院内科, ¹³⁾浜松医科大学薬理学教室) : [原著] 低血圧症に対する Amezinium metilsulfate (LU-1631) の臨床評価. *臨医薬*, **4**, 1123~1144, 1988.
- 49) 岸田浩 : [総説] 心筋梗塞における大規模臨床試験の現状; とくに Ca⁺⁺拮抗薬と β 遮断薬における再発防止効果について. *Ther. Res.*, **9**, 735~742, 1988.
- 50) 大須賀恵美子, 佐々木熙之, 本間博, 大須賀勝, 宗像一雄, 岸田浩 : [原著] 新しい β 遮断剤 N-696の健常人における安静時および運動時心機能に及ぼす作用とその持続効果; Propranolol との比較. *Ther. Res.*, **9**, 753~766, 1988.
- 51) 大津文雄¹⁾, 鈴木健¹⁾, 岸田浩, 斉藤勉, 畑典武, 早川弘一, 奥村英正, 八幡浩二¹⁾, 藤原忠通²⁾, 浜本紘³⁾ (¹⁾多摩永山病院内科, ²⁾稲田登戸病院内科, ³⁾榊原記念クリニック) : [原著] 不安定狭心症に対する Nisoldipine の効果; Holter 心電図による検討. *新薬と臨*, **37**, 1569~1577, 1988.
- 52) 小林義典, Ni Yi-Xuan¹⁾, 高野照夫¹⁾ (¹⁾集中治療室) : [総説] 心筋梗塞と不整脈. *Coronary*, **5**, 261~268, 1988.
- 53) 岸田浩 : [総説] 持続性 Ca 拮抗薬の利点. *医と薬学*, **20**, 672~679, 1988.
- 54) 新谷博一¹⁾, 谷口興一²⁾, 池田正男³⁾, 加藤和三⁴⁾, 蔵本築⁵⁾, 早川弘一, 山崎昇⁶⁾, 佐久間昭⁷⁾ (¹⁾昭和大学第3内科, ²⁾東京医科歯科大学第2内科, ³⁾国立循環器病センター (現: 自治医科大学), ⁴⁾心臓血管研究所附属病院内科, ⁵⁾東京都老人医療センター内科, ⁶⁾浜松医科大学第3内科, ⁷⁾東京医科歯科大学難治疾患研究所臨床薬理部門) : [原著] Nicardipine hydrochloride 徐放製剤 (YC-93LA) の狭心症に対する効果. *臨医薬*, **4**, 1613~1628, 1988.
- 55) 筒井末春¹⁾, 中野弘一¹⁾, 坪井康次¹⁾, 中川保弘¹⁾, 芝山幸久¹⁾, 長沢紘一²⁾, 太田真夫, 川口信子, 佐々木熙之, 八幡浩二²⁾, 針谷吉人²⁾, 大津文雄²⁾, 難波経彦³⁾, 斉藤敏二⁴⁾ (¹⁾東邦大学医学部心療内科, ²⁾多摩永山病院内科, ³⁾済生会神奈川県病院内科, ⁴⁾小金原病院内科) : [原著] 心臓神経症・神経循環無力症に対する propranolol (Inderal[®]) の Phase II study. *臨医薬*, **4**, 1629~1640, 1988.
- 56) 王南冰 : [総説] 測定抗心律不齊薬物血中沈度の意義. *日本医学紹介*, **9**, 370~370, 1988.
- 57) 加藤貴雄 : [総説] 抗不整脈薬; Ib~Ic 群について. *Ther. Res.*, **9**, 12~16, 1988.
- 58) 高野照夫¹⁾, 太田真夫 (¹⁾集中治療室) : [総説] 重症心筋梗塞症; 成功例, 失敗例の case study ③. *Mebio.*, **5**, 86~90, 1988.

- 59) 小林義典, 田中隆, 飯田恵子, 洪基哲, 新博次, 加藤貴雄, 早川弘一, 清野精彦¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾ (¹⁾集中治療室): [報告] 心室遅延電位ならびに entrainment 現象を証明し, 心室頻拍の機序を推定しえた ARVD の一例. 心電図, 8, 87~87, 1988.
- 60) 高野照夫¹⁾, 木内要 (¹⁾集中治療室): [総説] 心筋梗塞 (いわゆる Non-Q Myocardial Infarction を含めて). Medicina, 25, 1678~1679, 1988.
- 61) 雪吹周生, 清野精彦¹⁾, 高野照夫¹⁾ (¹⁾集中治療室): [報告] 肺血栓塞栓症. 循環科学, 9, 1048~1054, 1988.
- 62) 新谷博一¹⁾, 岸田浩, 池田正男²⁾, 片桐敬³⁾, 加藤和三⁴⁾, 蔵本築⁵⁾, 谷口興一⁶⁾, 早川弘一, 山崎昇⁷⁾, 佐久間昭⁸⁾ (¹⁾昭和大学, ²⁾国立循環器病センター (現: 自治医科大学), ³⁾昭和大学第3内科, ⁴⁾心臓血管研究所付属病院内科, ⁵⁾東京都老人医療センター内科, ⁶⁾東京医科歯科大学第2内科, ⁷⁾浜松医科大学第3内科, ⁸⁾東京医科歯科大学難治疾患研究所): [原著] 異型狭心症に対する塩酸ニカルジピン徐放製剤 (YC-93LA) の有用性に関する検討; 長時間ホルター心電図による評価. 臨医薬, 4, 1825~1840, 1988.
- 63) 新谷博一¹⁾, 渡辺潤²⁾, 池田正男³⁾, 加藤和三²⁾, 蔵本築⁴⁾, 谷口興一⁵⁾, 早川弘一, 山崎昇⁶⁾, 佐久間昭⁷⁾ (¹⁾昭和大学, ²⁾心臓血管研究所付属病院, ³⁾国立循環器病センター (現: 自治医科大学), ⁴⁾東京都老人医療センター内科, ⁵⁾東京医科歯科大学第2内科, ⁶⁾浜松医科大学第3内科, ⁷⁾東京医科歯科大学難治疾患研究所): [原著] 異型狭心症に対する塩酸ニカルジピン徐放製剤 (YC-93LA) の臨床効果; 多施設共同研究. 臨医薬, 4, 1841~1850, 1988.
- 64) 岸田浩, 加藤和三¹⁾, 戸山靖一²⁾, 池田正男³⁾, 矢永尚士⁴⁾, 鈴木恵子²⁾ (¹⁾心臓血管研究所付属病院内科, ²⁾大阪府立成人病センター循環器内科, ³⁾自治医科大学内科, ⁴⁾九州大学生体防御医学研究所病院気候内科): [原著] Nitrendipine の異型狭心症に対する臨床効果の検討; 24時間連続記録ホルター心電図による評価. Ther. Res., 9, 999~1013, 1988.
- 65) 岸田浩, 川口信子: [総説] 僧帽弁逸脱症候群. 医のあゆみ, 147, 176~178, 1988.
- 66) 早川弘一: [総説] 心室性期外収縮の治療方針. 呼吸と循環, 36, 1083~1088, 1988.
- 67) 新博次, 飯田恵子, 洪基哲, 平山悦之, 後藤正道, 井野威, 加藤貴雄, 早川弘一: [原著] 新しい不整脈薬 Cibenzoline の電気生理学的効果. 呼吸と循環, 36, 1119~1124, 1988.
- 68) 新博次, 早川弘一, 加藤和三¹⁾, 飯沼宏之¹⁾, 細田瑳一²⁾, 杉本恒明³⁾, 比江嶋一昌⁴⁾, 広沢弘七郎⁵⁾, 笠貫宏⁵⁾, 五島雄一郎⁶⁾, 田辺晃久⁶⁾, 下村克朗⁷⁾, 橋場邦武⁸⁾ (¹⁾心臓血管研究所付属病院, ²⁾自治医科大学循環器内科, ³⁾東京大学第2内科, ⁴⁾東京医科歯科大学第1内科, ⁵⁾東京女子医科大学心研内科, ⁶⁾東海大学第1内科, ⁷⁾国立循環器病センター, ⁸⁾長崎大学第3内科): [原著] 上室性不整脈に対する cibenzoline の臨床効果と安全性の検討. 臨医薬, 4, 1851~1867, 1988.
- 69) 奥村英正, 大須賀勝, 勝田悌実, 荒牧琢己, 里村克章, 赤池正博, 関山達也, 寺田秀人, 古明地弘和, 小宮山徹三: [総説] 門脈圧降下薬, 消化器科, 9, 425~431, 1988.
- 70) 中村辰男¹⁾, 平山悦之¹⁾, 藤森ひろみ¹⁾, 小林義典¹⁾, 井野威¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 春山勝²⁾, 早川弘一, 奥村英正 (¹⁾北村山公立病院, ²⁾尾花沢市中央診療所内科): [報告] Torsade de pointes 型心室頻拍に対するメキシレチン静注の使用経験. Ther. Res., 9, 1029~1032, 1988.
- 71) 広沢弘七郎¹⁾, 谷口興一²⁾, 関口守衛¹⁾, 田中直秀¹⁾, 岸田浩, 飯沼宏之³⁾, 加藤和三³⁾ (¹⁾東京女子医科大学付属心臓血圧研究所, ²⁾東京医科歯科大学第2内科, ³⁾心臓血管研究所付属病院): [原著] 狭心症患者の運動耐容能に対する Nitroglycerin テープ (NT-1) の急性ならびに連用効果. 医と薬学, 20, 1159~1168, 1988.
- 72) 岸田浩, 加藤和三¹⁾, 安田寿一²⁾, 細田瑳一³⁾, 上田慶二⁴⁾, 早川弘一, 杉本恒明⁵⁾, 中村芳郎⁶⁾, 長田洋文⁷⁾, 外畑巖⁸⁾, 下村克朗⁹⁾, 黒岩昭夫¹⁰⁾ (¹⁾心臓血管研究所付属病院内科, ²⁾北海道大学医学部循環器内科, ³⁾自治医科大学循環器内科 (現: 東京女子医科大学付属日本心臓血圧研究所循環器内科), ⁴⁾東京都老人医療センター循環器内

- 科, ⁵¹東京大学医学部第2内科, ⁶¹慶應義塾大学医学部呼吸循環科, ⁷¹昭和大学藤が丘病院循環器内科, ⁸¹名古屋大学医学部第1内科 (現: 藤田学園保健衛生大学七栗サナトリウム内科), ⁹¹国立循環器病センター専門外来部, ¹⁰¹産業医科大学第2内科): [原著] 狭心症患者に対する BAY k 5552 (Nisoldipine) 長期投与の有効性と安全性の検討. 基礎と臨, 22, 4889~4907, 1988.
- 73) 佐藤光治¹⁾, 佐々木映子¹⁾, 石永三千¹⁾, 矢島純¹⁾, 畑三恵子¹⁾, 服部怜美¹⁾, 本田光芳¹⁾, 上田洋一, 清野精彦 (¹⁾皮膚科): [報告] 結節性紅斑型薬疹の2例. 皮膚臨床, 30, 1399~1401, 1988.
- 74) 加藤和三¹⁾, 細田瑳一²⁾, 細野清士³⁾, 谷口興一⁴⁾, 長田洋文⁵⁾, 岸田浩, 飯沼宏之¹⁾, 佐久間昭⁶⁾ (¹⁾心臓血管研究所付属病院内科, ²⁾自治医科大学循環器内科, ³⁾三越厚生事業団, ⁴⁾東京医科歯科大学第2内科, ⁵⁾昭和大学藤が丘病院内科, ⁶⁾東京医科歯科大学難治疾患研究所臨床薬理学部門): [原著] N-696の狭心症に対する臨床効果; 多施設二重盲検比較試験による検討. 臨成人病, 18, 1737~1753, 1988.
- 75) 加藤和三¹⁾, 岸田浩, 村山正博²⁾, 外畑巖³⁾, 谷口興一⁴⁾, 郡司篤晃⁵⁾, 田中恒男⁵⁾ (¹⁾心臓血管研究所付属病院内科, ²⁾聖マリアンナ医科大学第2内科, ³⁾藤田学園保健衛生大学七栗サナトリウム内科, ⁴⁾東京医科歯科大学第2内科, ⁵⁾東京大学医学部保健管理学): [原著] 持続性 β 遮断薬 N-696 のトレッドミル運動負荷による狭心症に対する臨床の評価; 多施設共同二重盲検群間比較試験. 臨成人病, 18, 1965~1981, 1988.
- 76) 加藤和三¹⁾, 本宮武司²⁾, 細田瑳一³⁾, 栗田明¹⁾, 早川弘一, 岸田浩, 飯沼宏之¹⁾, 郡司篤晃⁵⁾ (¹⁾心臓血管研究所付属病院内科, ²⁾東京都立広尾病院循環器科, ³⁾自治医科大学循環器内科 (現: 東京女子医科大学付属日本心臓血圧研究所循環器内科), ⁴⁾防衛医科大学校第1内科, ⁵⁾東京大学医学部保健学科保健管理学教室): [原著] Treadmill 運動負荷試験を用いた労作狭心症に対する Nisoldipine (BAYk5552) の薬効評価; Nifedipine を対照とした二重盲検比較試験. 臨医薬, 4, 1989~2016, 1988.
- 77) 荒牧琢己, 勝田悌実, 奥村英正: [総説] 腹水 (特集: 肝炎・肝硬変症の治療). カレントセラピー, 6, 1528~1532, 1988.
- 78) 亀井真一郎, 加藤貴雄: [総説] 最近の pacemaker clinic (特集: 人工心臓ペースメーカー最近の進歩). 循環器, 24, 515~522, 1988.
- 79) Kishida, H., Toyama, S.¹⁾, Yanaga, T.²⁾ and Suzuki, K.¹⁾ (¹⁾Department of Internal Medicine, the Center for Adult Diseases, ²⁾Department of Bioclimatology and Medicine, Medical Institute of Bioregulation, Kyushu University) [原著] Effect of new calcium antagonist, nilvadipine, on variant angina pectoris evaluated by 24-hour Holter electrocardiography. Jpn. Heart J., 29, 781~793, 1988.
- 80) 岸田浩: [総説] 新しい β 遮断薬ニブラジロールの薬理作用と臨床効果について. 循環制御, 9, 547~551, 1988.
- 81) 新博次, 早川弘一, 加藤和三¹⁾, 飯沼宏之¹⁾, 細田瑳一²⁾, 杉本恒明³⁾, 比江嶋一昌⁴⁾, 広沢弘七郎⁵⁾, 笠貫宏⁶⁾, 五島雄一郎⁷⁾, 田辺晃久⁷⁾, 下村克朗⁸⁾, 橋場邦武⁹⁾ (¹⁾心臓血管研究所付属病院, ²⁾自治医科大学循環器内科 (現: 東京女子医科大学心研内科), ³⁾東京大学第2内科, ⁴⁾東京医科歯科大学第1内科, ⁵⁾東京女子医科大学心研内科 (現: 榊原記念病院循環器内科), ⁶⁾東京女子医科大学心研内科, ⁷⁾東海大学第1内科, ⁸⁾国立循環器病センター, ⁹⁾長崎大学第3内科): [原著] 各種不整脈に対する Cibenzoline 長期使用経験. 臨医薬, 4, 2331~2342, 1988.
- 82) 田辺晃久¹⁾, 五島雄一郎¹⁾, 加藤和三²⁾, 飯沼宏之²⁾, 細田瑳一³⁾, 杉本恒明⁴⁾, 早川弘一, 新博次, 比江嶋一昌⁵⁾, 広沢弘七郎⁶⁾, 笠貫宏⁷⁾, 下村克朗⁸⁾, 橋場邦武⁹⁾ (¹⁾東海大学第1内科, ²⁾心臓血管研究所付属病院, ³⁾自治医科大学循環器内科 (現: 東京女子医科大学心研内科), ⁴⁾東京大学第2内科, ⁵⁾東京医科歯科大学第1内科, ⁶⁾東京女子医科大学心研内科 (現: 榊原記念病院), ⁷⁾東京女子医科大学心研内科, ⁸⁾国立循環器病センター, ⁹⁾長崎大学第3内科): [原著] 発作性上室頻拍, 発作性心房細・粗動に対する Cibenzoline の臨床効果と安全性の検討. 臨医薬, 4, 2315~2330, 1988.
- 83) 加藤和三¹⁾, 岸田浩, 杉本恒明²⁾, 村山正博³⁾, 井上清⁴⁾, 飯沼宏之¹⁾, 小川暢也⁵⁾ (¹⁾心臓血管研究所付属病院,

- ²⁾東京大学医学部第2内科, ³⁾聖マリアンナ医科大学第2内科, ⁴⁾東京警察病院循環器センター, ⁵⁾愛媛大学医学部薬理学教室) : [原著] 狭心症患者の運動耐容能に対する Nitrendipine の効果; Nifedipine 徐放錠を対照とした二重盲検群間比較試験. 臨と研, **65**, 3981~3994, 1988.
- 84) 亀井真一郎, 早川弘一: [総説] 不整脈; 頻脈性不整脈. 臨床医, **14**, 2062~2064, 1988.
- 85) 加藤貴雄¹⁾, 石原茂樹¹⁾, 田中隆¹⁾, 小林義典¹⁾, 高田加寿子¹⁾, 島井新一郎¹⁾, 清野精彦¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (¹⁾集中治療室) : [原著] 新しい抗不整脈薬 Cibenzoline 静注の心行動態に及ぼす影響. Jpn. J. Clin. Pharmacol., **19**, 707~716, 1988.
- 86) 斉藤寛和, 金応文, 加藤貴雄: [総説] 抗不整脈薬; その種類と特徴. 治療, **70**, 2313~2318, 1988.
- 87) 岸田浩, 安武正弘: [総説] 右室梗塞における不整脈. Coronary, **5**, 355~361, 1988.
- 88) 奥村英正, 古明地弘和, 荒牧琢己, 里村克章, 勝田悌実, 寺田秀人, 関山達也, 大須賀勝, 小宮山徹三, 赤池正博: [原著] 無腹水肝硬変患者の肝及び全身循環動態に及ぼす spironolactone の作用. 肝臓, **29**, 1593~1598, 1988.
- 89) 福岡長知, 岸田浩: [総説] 虚血性心疾患における突然死の予知と対策 (特集: 突然死の予防と対策). カレントセラピー, **7**, 42~46, 1989.
- 90) 加藤貴雄, 金応文: [総説] late potential-high risk の証明? Medicina, **26**, 18~20, 1989.
- 91) 新博次: [総説] 新しい抗不整脈剤. Medicina, **26**, 74~77, 1989.
- 92) 川本雅司¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 庄司佑¹⁾, 早川弘一, 馬杉洋三²⁾, 山手昇³⁾ (¹⁾胸部外科, ²⁾第1病理, ³⁾聖マリアンナ医科大学第3外科) : [報告] 穿孔を伴った僧帽弁瘤の1例; 本邦例の検討とともに. 日臨外医学会誌, **50**, 85~90, 1989.
- 93) 比江嶋一昌¹⁾, 早川弘一, 太田真夫, 飯沼宏之²⁾, 内藤政人³⁾, 山口巖⁴⁾, 小松親義⁵⁾, 川口尚志⁶⁾ (¹⁾東京医科歯科大学医学部第1内科, ²⁾心臓血管研究所付属病院, ³⁾国立東京第二病院循環器科, ⁴⁾筑波大学臨床医学系内科, ⁵⁾東京慈恵会医科大学第4内科, ⁶⁾小平記念東京日立病院内科) : [原著] 本態性高血圧症における Ca 拮抗薬 Nitrendipine と β -遮断薬 Propranolol との併用療法による降圧効果と有用性の検討. 臨と研, **66**, 254~263, 1989.
- 94) 新谷博一¹⁾, 片桐敬²⁾, 池田正男³⁾, 加藤和三⁴⁾, 蔵本築⁵⁾, 谷口興一⁶⁾, 早川弘一, 山崎昇⁷⁾, 佐久間昭⁸⁾ (¹⁾昭和大学医学部第3内科 (現: 昭和大学名誉教授), ²⁾昭和大学医学部第3内科, ³⁾国立循環器病センター内科 (現: 自治医科大学循環器内科), ⁴⁾心臓血管研究所付属病院内科, ⁵⁾東京都老人医療センター内科, ⁶⁾東京医科歯科大学第2内科, ⁷⁾浜松医科大学第3内科, ⁸⁾東京医科歯科大学難治疾患研究所臨床薬理学部門) : [原著] YC-93LA (塩酸ニカルジピン徐放製剤) の狭心症に対する臨床的有用性の検討; ニフェジピンを対照薬とした二重盲検比較試験. 臨医薬, **5**, 79~98, 1989.
- 95) 鈴木健: [原著] 狭心症における心筋虚血発作の臨床的意義ならびにその出現機序に関する研究; ホルター心電図による解析. 日医大誌, **56**, 59~71, 1989.
- 96) 高野照夫¹⁾, 来馬明規 (¹⁾集中治療室) : [総説] 危険な不整脈, 心停止 (DC ショック). 総臨, **38**, 113~116, 1989.
- 97) 加藤和三¹⁾, 岸田浩, 細田磋一²⁾, 栗田明³⁾, 村山正博⁴⁾, 飯沼宏之¹⁾, 本宮武司⁵⁾, 早川弘一, 佐久間昭⁶⁾ (¹⁾心臓血管研究所付属病院内科, ²⁾自治医科大学循環器内科 (現: 東京女子医科大学), ³⁾防衛医科大学校第1内科, ⁴⁾聖マリアンナ医科大学第2内科, ⁵⁾都立広尾病院循環器科, ⁶⁾東京医科歯科大学難治疾患研究所) : [原著] 多段階トレッドミル運動負荷試験による塩酸ニカルジピン徐放製剤 (YC-93LA) の狭心症に対する薬効評価; ニフェジピンを対照とした二重盲検比較試験. 臨医薬, **5**, 343~363, 1989.
- 98) 加藤貴雄: [総説] ホルター心電図の現状と将来. 医器学, **59**, 59~102, 1989.
- 99) 畑典武, 岸田浩, 斉藤勉: [総説] 無症候性心筋虚血の治療. 臨成人病, **19**, 195~198, 1989.

- 100) 畑典武：〔原著〕急性心筋梗塞回復期における低負荷トレッドミル運動負荷試験とその有用性に関する研究．日医大誌，**56**，2～13，1989.
- 101) 太田真夫，奥村英正，福田純¹⁾，筒井仁¹⁾，真鍋辰哉¹⁾，八田貞人¹⁾，河住茂²⁾，鹿野浩一²⁾，長野具雄²⁾，村中正治²⁾（¹⁾白十字総合病院内科，²⁾湯河原厚生年金病院内科）：〔原著〕脳血管障害に対する M-101-GS の使用経験．新薬と臨，**38**，237～254，1989.
- 102) Seino, Y.¹⁾, Shimai, S.¹⁾, Tanaka, K.¹⁾, Takano, T.¹⁾ and Hayakawa, H. (¹⁾CCU)：〔原著〕Cardiovascular circulatory adjustments and renal function in acute heart failure. Jpn. Circ. J., **53**，180～190，1989.
- 103) 佐々木熙之，太田真夫，大坂元久，佐々木美典，宗像一雄，早川弘一，岡崎豊¹⁾（¹⁾三井製薬工業(株)）：〔原著〕強心薬 MS-857 の臨床第Ⅰ相試験．臨薬理，**20**，143～144，1989.
- 104) 畑典武，岸田浩，小海信一，森規勝，安武正弘，高山守正，早川弘一，奥村英正，神山博¹⁾，海田るみ¹⁾，岡崎彬¹⁾（¹⁾中外製薬中央研究所薬物代謝センター）：〔原著〕ニコランジル静注による冠動脈拡張反応と心血行動態について．臨薬理，**20**，187～188，1989.
- 105) 新博次，斉藤寛和，早川弘一：〔原著〕臨床第一相試験における心電図基本変動．臨薬理，**20**，213～214，1989.
- 106) 斉藤勉，岸田浩，福岡長知，畑典武，鈴木健，大津文雄，早川弘一，奥村英正：〔原著〕労作狭心症に対する持続性 β 遮断薬 Carvedilol の抗狭心症効果；ホルター心電図法による検討．臨薬理，**20**，279～280，1989.
- 107) 寺田秀人，古明地弘和，大須賀勝，関山達也，赤池正博，勝田悌実，里村克章，荒牧琢己，奥村英正：〔原著〕肝硬変における spironolactone の肝循環および全身血行動態に対する作用．臨薬理，**20**，105～106，1989.
- 108) 折茂肇¹⁾，中村哲郎¹⁾，大澤伸昭²⁾，金澤康德²⁾，東島利夫³⁾，大竹稔，山東博之⁴⁾，板垣晃之⁵⁾，鈴木孝臣⁵⁾，井藤英喜⁶⁾，相磯嘉孝⁷⁾，沢田皓史⁸⁾（¹⁾東京大学医学部老年病学教室，²⁾東京大学医学部第3内科，³⁾順天堂大学医学部内科，⁴⁾国立病院医療センター第3内科，⁵⁾浴風会病院内科，⁶⁾東京都老人医療センター内分泌科，⁷⁾東京都立豊島病院内科，⁸⁾社会保険中央総合病院内科）：〔原著〕糖尿病性神経障害に対するノイロトロピン錠の治療効果．Prog. Med., **9**，1153～1160，1989.
- 109) Kishida, H., Suzuki, T., Saito, T., Otsu, F., Hata, N., Nejima, J., Kusama, Y., Yasutake, M. and Inokuchi, N：〔原著〕Characteristics of symptomatic and asymptomatic myocardial ischemia during ambulatory electrocardiographic monitoring in patients with angina pectoris. Jpn. Heart J., **30**，151～162，1989.
- 110) Kishida, H., Inagaki, Y.¹⁾, Hayakawa, H., Kurita, A.²⁾, Saito, T.¹⁾ and Kitagawa, H.³⁾（¹⁾Third Department of Internal Medicine, Chiba University School of Medicine, ²⁾First Department of Internal Medicine, National Defense Medical College, ³⁾Faculty of Pharmaceutical Sciences, Chiba University）：〔原著〕The effect of nitroglycerin ointment on exercise-induced angina；A multicenter trial. Cardiovasc. Drugs Ther., **2**，831～836，1989.
- 111) 早川弘一：〔総説〕心臓病に対する適応と使い方；特に不整脈に対する効果．東京医師会誌，**41**，1220～1227，1989.

著 書

- 1) 早川弘一，比江嶋一昌¹⁾（¹⁾東京医科歯科大学）：〔共編〕臨床心臓電気生理学．南江堂，1988.
- 2) 早川弘一，加藤貴雄：〔分担〕臨床心臓電気生理学的検査．“臨床心臓電気生理学”（早川弘一，比江嶋一昌編），p.45～62，南江堂，1988.
- 3) 奥村英正：〔分担〕臨床医学概論：消化器病学．“臨床工学技士指定講習会テキスト”（厚生省健康政策局医事課，財団法人医療機器センター監修），p.359～362，金原出版，1988.
- 4) 新博次：〔分担〕粗細動．“不整脈ハンドブック”（杉本恒明，下村克朗監修），p.35～44，メディカルレビュー社，1988.

- 5) 荒牧琢己：〔分担〕有腹水肝硬変の病態と治療；予後との関係。“肝臓病学最近の話題”（原田尚編），p.198～199，日本医学館，1988。
- 6) 岸田浩：〔分担〕狭心症の病態生理。“図でみる心血管系の病態生理”（梶原長雄監修，谷口興一編集），p.26～29，メジカルビュー社，1989。
- 7) 荒牧琢己，奥村英正：〔分担〕自己免疫性肝障害，原発性硬化性胆管炎。“臨床肝臓病学”（岡博，杉浦光雄編），p.294～300，朝倉書店，1989。
- 8) 岸田浩：〔分担〕不安定狭心症の病態。“Annual Review 循環器1989”（杉本恒明，大島正浩，松本昭彦，杉下靖郎編），p.73～81，中外医学社，1989。
- 9) 早川弘一：〔分担〕血圧の異常，不整脈，大動脈疾患末梢脈管疾患。“成人看護学各論”（吉田時子，前田マスヨ監修，岡安大仁，石田市子，木全心一編集），p.390～410，金原出版，1989。
- 10) 早川弘一，後藤正道：〔分担〕不整脈と β 遮断薬。“ β 遮断薬の使い方；狭心症・不整脈編”（新谷博一編），p.80～90，メディカルトリビューン，1989。
- 11) 早川弘一：〔分担〕期外収縮。“今日の治療指針1989年版”（日野原重明，阿部正和監修），p.308 医学書院，1989。
- 12) 細田瑳一¹⁾，岸田浩（¹⁾東京女子医大）：〔共編〕無症候性虚血性心疾患と心筋虚血。羊土社，1989。
- 13) 岸田浩：〔分担〕無症候性虚血性心疾患の治療：内科的治療。“無症候性虚血性心疾患と心筋虚血”（細田瑳一，岸田浩編）p.123～132，羊土社，1989。
- 14) 岸田浩：〔分担〕無症候性虚血性心疾患の問題点と今後の動向。“無症候性虚血性心疾患と心筋虚血”（細田瑳一，岸田浩編），p.153～157，羊土社，1989。

学会発表

- 1) 加藤貴雄：〔一般講演〕心室遅延電位検出に関する一考察；新しい加算平均法の検討。第1回レートポテンシャル研究会，1987。
- 2) 加藤貴雄：〔シンポジウム〕心筋梗塞急性期にみられる各種不整脈の臨床的特徴（主題：心筋虚血と不整脈）。第15回日本集中治療医学会，1988。
- 3) 加藤貴雄，大木清司，亀井真一郎，早川弘一，岡本克郎¹⁾，細谷学¹⁾（¹⁾日本電気）：〔一般講演〕アナログテープによるバックアップ機能を備えたカード式リアルタイム解析デジタルホルターシステム Heart Port 9000の試用経験。第27回日本ME学会大会，1988。
- 4) 大木清司，田中隆，佐々部典子，加藤貴雄，早川弘一：〔一般講演〕新しい加算平均心電図記録システムの臨床応用。第27回日本ME学会大会，1988。
- 5) Matsuo, S. : 〔一般講演〕The mechanism underlying hypoxia-induced outward current in myocardium. International Symposium on Basic Mechanisms of Arrhythmias (Tokyo), 1988.
- 6) Saito, H. : 〔一般講演〕Alternans of action potential duration ; Differences between Purkinje and ventricular muscle fibers. International Symposium on Basic Mechanisms of Arrhythmias (Tokyo), 1988.
- 7) Saito, T., Kishida, H., Kaneko, H., Inokuchi, N., Hata, N., Suzuki, T., Otsu, F., Hayakawa, H. and Okumura, H. : 〔展示〕The limitation of judgement of severity of angina by the frequency of ischemic episodes on Holter monitoring. 3rd International Symposium on Holter Monitoring (Vienna), 1988.
- 8) Fukuma, N., Suzuki, T., Otsu, F., Tanaka, K., Hariya, Y., Yahata, K., Kishida, H. and Hayakawa, H. : 〔展示〕Comparison of therapeutic response to calcium antagonist (Nisoldipine) between resting angina pectoris with ST-segment depression and elevation on Holter ECG. 3rd International Symposium on Holter Monitoring (Vienna), 1988.
- 9) 清野精彦，島井新一郎¹⁾，田中啓治，高野照夫¹⁾，早川弘一（¹⁾集中治療室）：〔シンポジウム〕心血管循環調節

- 機序と腎不全について（主題：循環不全からみた心不全の病態と重症度）。第52回日本循環器学会総会，1988。
- 10) 加藤貴雄：〔シンポジウム〕抗不整脈薬；Ib～c 群について（主題：抗不整脈薬の功罪）。第52回日本循環器学会総会，1988。
 - 11) 岸田浩：〔パネルディスカッション〕Silent Myocardial Ischemia。第52回日本循環器学会総会，1988。
 - 12) 高山守正，Roche, A. H. G.¹⁾（¹⁾Green Lane Hospital, Auckland）：〔一般講演〕左室収縮末期容量が最良の長期予後決定因子；CABG 施行重症左室機能低下例163例の予後の検討。第52回日本循環器学会総会，1988。
 - 13) 高山守正，Norris, R. M.¹⁾（¹⁾Green Lane Hospital, Auckland）：〔一般講演〕実験急性虚血心筋の Post-systolic shortening と冠再灌流後の心筋収縮能の関係。第52回日本循環器学会総会，1988。
 - 14) 加藤貴雄，大木清司，田中隆，小林義典，太田真夫，早川弘一，高野照夫¹⁾（¹⁾集中治療室）：〔一般講演〕心筋梗塞における心室遅延電位とその臨床的有用性。第52回日本循環器学会総会，1988。
 - 15) 村松光，松尾省吾，宗像一雄，岸田浩，早川弘一：〔展示〕低酸素により誘発される外向き電流についての検討。第52回日本循環器学会総会，1988。
 - 16) 清野精彦，島井新一郎¹⁾，雪吹周生，長江安洋，田中啓治，加藤貴雄，高野照夫¹⁾，早川弘一，田中茂夫²⁾（¹⁾集中治療室，²⁾胸部外科）：〔展示〕Rate responsive pacing における心房機能の重要性について；連動負荷心臓力学動態と血中心房性利尿ペプチド，cyclic nucleotide の分析。第52回日本循環器学会総会，1988。
 - 17) 加藤貴雄：〔シンポジウム〕ホルター心電計の現状と将来（主題：無拘束モニタリングの現状と将来）。第63回日本医科器械学会大会，1988。
 - 18) 奥村敏，畑典武，新博次，里村克章，荒牧琢己，奥村英正，野村武夫¹⁾（¹⁾第3内科）：〔一般講演〕肝細胞癌に IgG- κ 型骨髓腫を合併した1例。第199回日本消化器病学会関東地方会，1988。
 - 19) 宮入泰郎¹⁾，山門進¹⁾，松坂聡¹⁾，田口文彦¹⁾，玉川恭士¹⁾，岸田輝幸¹⁾，吉田豊¹⁾，平川恒久¹⁾，小林正文¹⁾，野村武夫¹⁾，高山守正（¹⁾第3内科）：〔一般講演〕最近経験したびまん浸潤型大腸進行癌の2例。第199回日本消化器病学会関東地方会，1988。
 - 20) 福岡長知¹⁾，小林薫¹⁾，栗原広孝¹⁾，田中邦夫¹⁾，鈴木健¹⁾，大津文雄¹⁾，針谷吉人¹⁾，長澤紘一¹⁾，奥村英正，鈴木守²⁾（¹⁾永山病院内科，²⁾群大寄生虫学）：〔一般講演〕Qinghaosu により救命しえた重症熱帯熱マラリアの1例。第373回日本内科学会関東地方会，1988。
 - 21) 太田真夫，真鍋辰哉，堀川龍是，橋本英洋，大竹稔，清水順治，奥村英正：〔一般講演〕インスリン非依存型糖尿病における protein C および antithrombin II の測定；細小血管症との関連について。第31回日本糖尿病学会総会，1988。
 - 22) 吉田知永，藤岡幹雄，佐野純子，黒木伸一，高山守正，遠藤孝雄，里村克章，勝田悌実，荒牧琢己，奥村英正：〔一般講演〕外傷性肝破裂の肝切除術後，非 A 非 B 型肝炎に B 型肝炎が重感染し肝不全を呈した1例。日本医科大学医学会第65回例会，1988。
 - 23) 渡部真理¹⁾，田中邦夫¹⁾，富士崎成子¹⁾，鈴木健¹⁾，大津文雄¹⁾，針谷吉人¹⁾，長澤紘一¹⁾，奥村英正（¹⁾多摩永山病院内科）：〔一般講演〕多摩地区における輸血後肝炎発生状況と供血者肝機能の検討。日本医科大学医学会第65回例会，1988。
 - 24) 早川弘一：〔会長講演〕EPSの誕生期。第3回日本心臓ペースング学会，1988。
 - 25) 新博次：〔シンポジウム〕心室頻拍の診断・治療における落とし穴（主題：臨床電気生理学的検査の限界と落とし穴）。第3回日本心臓ペースング学会，1988。
 - 26) 清野精彦¹⁾，高野照夫¹⁾，早川弘一，田中茂夫²⁾（¹⁾集中治療室，²⁾胸部外科）：〔シンポジウム〕生理的ペースングの左室収縮・拡張動態と神経内分泌動態に関する検討；心拍応答機能と心房心室興奮同期の重要性。（主題：ペースングと血行動態）。第3回日本心臓ペースング学会，1988。

- 27) 加藤貴雄, 大木清司, 黒木伸一, 早川弘一: [ファイアサイドカンファランス] 任意の平均加算様式による LP 検出のメリット (主題: Late Potential). 第3回日本心臓ペースング学会, 1988.
- 28) 斉藤寛和, 新博次, 岸田浩, 早川弘一: [一般講演] 心室筋活動電位および張力の alternans に関する検討. 第3回日本心臓ペースング学会, 1988.
- 29) 亀井真一郎, 新博次, 井野威, 来馬明規, 金應文, 黒木伸一, 小野寺威夫, 斉藤寛和, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] 新しい抗不整脈薬 SUN 1165の電気生理学的効果. 第3回日本心臓ペースング学会, 1988.
- 30) 清野精彦¹⁾, 雪吹周生¹⁾, 島井新一郎¹⁾, 田中啓治¹⁾, 加藤貴雄¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一, 田中茂夫²⁾ (¹⁾集中治療室, ²⁾胸部外科): [一般講演] Rate responsive pacing における房室同期の重要性について; 運動負荷左室収縮・拡張動態と血中心房性利尿薬パブチド, cyclic nucleotides の分析. 第3回日本心臓ペースング学会, 1988.
- 31) 黒木伸一, 八島正明, 来馬明規, 金應文, 亀井真一郎, 小野寺威夫, 小林義典, 斉藤寛和, 井野威, 新博次: [一般講演] 急性心筋梗塞発症後に顕性化した Mahaim 束による心室早期興奮の1例. 第18回臨床心臓電気生理研究会, 1988.
- 32) 来馬明規, 亀井真一郎, 黒木伸一, 大木清司, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] IC メモリーカード, アナログテープ併用式リアルタイム解析ホルターシステム Heart Port 9000の試用試験. 第9回ホルター心電図研究会, 1988.
- 33) 小林薫¹⁾, 田中邦夫¹⁾, 富士崎成子¹⁾, 鈴木健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 針谷吉人¹⁾, 八幡浩二¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 岸田浩, 早川弘一 (¹⁾多摩永山病院内科): [一般講演] 非観血的携帯用血圧測定装置による血圧日内変動の検討. 第9回ホルター心電図研究会, 1988.
- 34) 国見聡宏, 内田拓実, 斉藤寛和, 寺田秀人, 佐々木照之, 赤池正博, 奥村英正: [一般講演] 巨大肺膿瘍を形成した高 IgE 症候群の1例. 第374回日本内科学会関東地方会, 1988.
- 35) 吉田美由紀¹⁾, 福岡長知¹⁾, 田中邦夫¹⁾, 富士崎成子¹⁾, 鈴木健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 針谷吉人¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 奥村英正 (¹⁾多摩永山病院内科): [一般講演] 異型狭心症を合併した原発性甲状腺機能低下症の一例. 第374回日本内科学会関東地方会, 1988.
- 36) 鹿野浩一¹⁾, 木内要¹⁾, 河住茂¹⁾, 村中正治¹⁾, 古沢清吉²⁾, 伊藤恵子, 奥村英正, 高野康雄³⁾ (¹⁾湯河原厚生年金病院内科, ²⁾同整形外科, ³⁾小田原市立病院中検病理部): [一般講演] 人工膝関節置換術施行後にルポイド肝炎を合併した慢性関節リウマチの1症例. 第374回日本内科学会関東地方会, 1988.
- 37) 国見聡宏, 星野公彦, 斉藤寛和, 佐々木照之, 畑典武, 新博次, 岸田浩, 早川弘一, 奥村英正: [一般講演] 頻回に著名な ST 下降を示し狭心症が疑われた早期興奮症候群 (マハイム束) の一例. 第375回日本内科学会関東地方会, 1988.
- 38) 吉田知永, 藤岡幹雄, 佐野純子, 黒木伸一, 大須賀勝, 高山守正, 遠藤孝雄, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 奥村英正, 吉田竜介¹⁾ (¹⁾救命救急センター): [一般講演] 外傷性肝破裂の肝切除後, 非 A 非 B 型肝炎に B 型肝炎が重感染し肝不全を呈した1例. 第200回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 39) 内田拓実, 馬淵綾子¹⁾, 横室公三¹⁾, 荒牧琢己, 奥村英正 (¹⁾微生物学免疫学教室): [一般講演] 肝再生に伴って起こるクッパー細胞のアルギナーゼ活性の変動と増殖抑制. 第24回日本肝臓学会総会, 1988.
- 40) Mori, N., Hata, N., Kishida, H., Koumi, S., Takayama, M. and Hayakawa, H.: [一般講演] Coronary dilating action of nicorandil in coronary artery disease. Xth Congress of the European Society of Cardiology (Vienna), 1988.
- 41) Seino, Y.¹⁾, Ibuki, C.¹⁾, Shimai, S.¹⁾, Tanaka, K.¹⁾, Katoh, T.¹⁾, Takano, T.¹⁾, Tanaka, S.²⁾ and Hayakawa, H. (¹⁾CCU, ²⁾Dept of Cardiothoracic Surgery): [展示] Cardiodynamic and neurohumoral importance of AV synchrony in rate responsive pacing. Xth Congress of the European Society of Cardiology (Vienna), 1988.
- 42) Hata, N., Kishida, H., Koumi, S., Mori, N., Takayama, M. and Hayakawa, H.: [展示] Coronary dilating action and

hemodynamic changes of new anti-anginal agent, nicorandil, in coronary artery disease. Xth Congress of the European Society of Cardiology (Vienna), 1988.

- 43) Aramaki, T., Katsuta, Y., Satomura, K., Terada, H., Komeichi, H., Ohsuga, M., Sekiyama, T. and Okumura, H.: [展示] Effects of spironolactone on hepatic and systemic hemodynamics in liver cirrhosis without ascites. XIII International Congress of Gastroenterology (Rome), 1988.
- 44) Nagasawa, K., Seto, H., Aramaki, T., Katsuta, Y., Ohsuga, M., Imaizumi, T., Hatta, S. and Okumura, H.: [展示] The estimation of portal pressure in patients with chronic liver disease using a multivariate analysis. XIII International Congress of Gastroenterology (Rome), 1988.
- 45) 畑典武, 小海信一, 安武正弘, 今泉孝敬, 斉藤勉, 岸田浩, 早川弘一: [一般講演] 冠動脈疾患における運動負荷心筋シンチグラフィの有用性と問題点について. 第36回日本心臓病学会, 1988.
- 46) 田中隆, 大木清司, 佐々部典子, 小林義典, 太田真夫, 加藤貴雄, 早川弘一, 高野照夫¹⁾ (¹CCU): [一般講演] 心筋梗塞における心室遅延電位の有用性と加齢との関係. 第30回日本老年医学会総会, 1988.
- 47) 斉藤寛和, 新博次, 八島正明, 来馬明規, 金應文, 亀井真一郎, 黒木伸一, 小野寺威夫, 小林義典, 早川弘一, 藤原忠通¹⁾ (¹稲田登戸病院内科): [一般講演] 心房細動 f波の臨床的検討. 第2報 f波波高の経年的変化について. 第30回日本老年医学会総会, 1988.
- 48) 栗原広孝¹⁾, 小林薫¹⁾, 田中邦夫¹⁾, 富士崎成子¹⁾, 鈴木健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 針谷吉人¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 八幡浩二, 早川弘一, 奥村英正¹⁾ (¹多摩永山病院内科): [一般講演] 24時間記録携帯用血圧計による高齢者の血圧日内変動と臨床的特徴. 第30回日本老年医学会総会, 1988.
- 49) 佐野純子, 佐藤直樹, 黒木伸一, 大須賀勝, 佐々木照之, 遠藤孝雄, 里村克章, 荒牧琢己, 奥村英正: [一般講演] 難治性腹水を初発症状とした十二指腸生検により診断された T 細胞性非ホジキンリンパ腫の 1 例. 第201回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 50) 新博次: [ファイアサイドカンファランス] 抗不整脈薬はどうして効くか (使用依存性抑制によるクラス I 抗不整脈薬の分類). 第5回日本心電学会学術集会, 1988.
- 51) 金應文, 田中隆, 大木清司, 黒木伸一, 小林義典, 太田真夫, 加藤貴雄, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (¹CCU): [一般講演] 加算平均心電図法を用いた QRS 初期部微小電位の臨床的意義. 第5回日本心電学会学術集会, 1988.
- 52) 平山悦之¹⁾, 井野威¹⁾, 藤森ひろみ¹⁾, 中村辰男¹⁾, 亀井真一郎¹⁾, 小林義典¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 早川弘一, 奥村英正 (¹北村山公立病院): [一般講演] 洞不全症候群における房室伝導能の評価; 薬理学的自律神経遮断による検討. 第5回日本心電学会学術集会, 1988.
- 53) 新博次, 井野威, 亀井真一郎, 黒木伸一, 飯田恵子, 小野寺威夫, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] 発作性上室性頻拍に対する Class Ic 抗不整脈薬単回経口投与の有用性. 第5回日本心電学会学術集会, 1988.
- 54) 斉藤勉, 岸田浩, 安武ひろ子, 猪口直美, 畑典武, 鈴木健, 大津文雄, 早川弘一: [一般講演] 狭心症における無症候性心筋虚血の発生機序. 第5回日本心電学会学術集会, 1988.
- 55) 木内要, 岸田浩, 猪口直美, 安武ひろ子, 斉藤勉, 畑典武, 鈴木健, 大津文雄, 早川弘一: [一般講演] 狭心症患者の予後推定に対するホルター心電図法の有用性について. 第5回日本心電学会学術集会, 1988.
- 56) 亀井真一郎, 新博次, 来馬明規, 金應文, 黒木伸一, 小林義典, 斉藤寛和, 早川弘一: [一般講演] 各種抗不整脈薬静注による心室性期外収縮発生機序の推定の試み. 第5回日本心電学会学術集会, 1988.
- 57) 黒木伸一, 飯田恵子, 上田洋一, 亀井真一郎, 斉藤寛和, 井野威, 加藤貴雄, 岸田浩, 早川弘一: [一般講演] 運動負荷試験における心室期外収縮と連結期の臨床的意義. 第5回日本心電学会学術集会, 1988.
- 58) 雪吹周生, 清野精彦, 木内要, 早川弘一, 高橋厚¹⁾ (¹愛和医院): [一般講演] 慢性腎透析症例における不整脈出現に関する分析とその対策について. 第5回日本心電学会学術集会, 1988.

- 59) 黒木伸一, 大木清司, 金應文, 佐々部典子, 田中隆, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] 任意の加算様式による心室遅延電位の検出とそのメリット. 第5回日本心電学会学術集会, 1988.
- 60) 斉藤寛和: [特別講演] 急激な刺激周期の短縮に伴う活動電位持続時間の Alternans; Purkinje と心室筋細胞の違いについて. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 61) 小宮山徹三, 赤池正博, 菊池恭一, 古明地弘和, 大須賀勝, 関山達也, 寺田秀人, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 奥村英正: [一般講演] ウイルス肝炎における末梢血リンパ球および血清 2'-5'オリゴアデニル酸合成酵素 (2-5 As) 活性の臨床的意義. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 62) 小野寺威夫, 小林義典, 黒木伸一, 亀井真一郎, 斉藤寛和, 井野威, 新博次, 早川弘一, 奥村英正: [展示] 心室頻拍に対する臨床電気生理学的検査の有用性と問題点. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 63) 福間長知, 斉藤勉, 岸田浩, 安武ひろ子, 木内要, 畑典武, 鈴木健, 大津文雄, 早川弘一, 奥村英正: [展示] Silent myocardial ischemia の予後. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 64) 安武正弘, 小海信一, 雪吹周生, 畑典武, 高山守正, 奥村敏, 佐藤直樹, 鄭廣模, 岸田浩, 早川弘一, 奥村英正, 井上寛治¹⁾ (高知市民病院心臓外科): [展示] Mitral valvuloplasty (経皮的僧帽弁形成術) の2例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 65) 星野公彦¹⁾, 福間長知¹⁾, 田中邦夫¹⁾, 鈴木健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 針谷吉人¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 岸田浩, 早川弘一, 奥村英正 (多摩永山病院内科): [一般講演] 急性心筋梗塞超急性期の臨床所見の検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 66) 佐々木義典¹⁾, 石川貴史¹⁾, 吉田美由紀¹⁾, 丸山二郎¹⁾, 川越栄¹⁾, 宗像純司¹⁾, 玉川重徳²⁾, 早川弘一, 奥村英正 (立駒込病院循環器科, ²⁾同臨床検査部): [一般講演] 拡張型心筋症におけるリンパ球サブセットの検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 67) 佐藤正弘¹⁾, 久島英二¹⁾, 秋元成太²⁾, 富田勝³⁾, 吉田知永 (付属病院人工透析室, ²⁾同泌尿器科, ³⁾第二病院泌尿器科): [展示] 血漿吸着療法の臨床的検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 68) 桜井太一郎, 内田高浩, 斉藤寛和, 佐々木照之, 奥村英正, 西松能子¹⁾, 遠藤俊吉¹⁾ (神経科): [一般講演] 右眼瞼下垂を主訴とし, 重症筋無力症が疑われた部分癲癇の1例. 第376回日本内科学会関東地方会, 1988.
- 69) 八島正明¹⁾, 古明地弘和¹⁾, 鈴木健¹⁾, 富士崎成子¹⁾, 大津文雄¹⁾, 針谷吉人¹⁾, 八幡浩二¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 奥村英正, 厨信一郎²⁾ (多摩永山病院内科, ²⁾第3内科): [一般講演] 尿崩症にて発症した急性骨髄性白血病の1例. 第376回日本内科学会関東地方会, 1988.
- 70) 清野精彦, 滝田孝之, 高野照夫¹⁾, 大竹稔, 早川弘一, 奥村英正 (集中治療室): [シンポジウム] 本邦冠動脈疾患に合併せる末梢動脈硬化病変の糖尿病性血管障害としての特徴 (主題: 糖尿病性血管障害の特徴と治療). 第29回日本脈管学会総会, 1988.
- 71) 小海信一, 畑典武, 森規勝, 雪吹周生, 横山広行, 佐藤直樹, 藤岡幹雄, 大国真一, 岸田浩, 早川弘一, 奥村英正: [一般講演] Nicorandil の冠動脈拡張作用についての検討. 第29回日本脈管学会総会, 1988.
- 72) 小林明子, 古明地弘和, 小宮山徹三, 大須賀勝, 寺田秀人, 関山達也, 赤池正博, 勝田悌実, 里村克章, 荒牧琢己, 奥村英正: [一般講演] 肝硬変の食道静脈瘤と全身および肝血行動態. 第30回日本消化器病学会大会, 1988.
- 73) 大須賀勝, 古明地弘和, 小宮山徹三, 寺田秀人, 関山達也, 赤池正博, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 奥村英正: [展示] 所謂 "Acute-on-chronic" に関する臨床病理学的検討. 第30回日本消化器病学会大会, 1988.
- 74) 奥村敏, 畑典武, 亀井真一郎, 井野威, 新博次, 加藤貴雄, 岸田浩, 早川弘一, 奥村英正: [一般講演] 進行性筋ジストロフィー症に合併した Persistent partial atrial standstill の1例. 第129回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1988.
- 75) 哲翁弥生¹⁾, 今泉孝敬¹⁾, 大津文雄¹⁾, 針谷吉人¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 奥村英正 (多摩永山病院内科): [一般講演]

- 抗凝固療法により生じた肝被膜下出血の1例. 第377回日本内科学会関東地方会, 1988.
- 76) Aramaki, T., Katsuta, Y., Komeichi, H., Ohsuga, M., Terada, H., Satomura, K. and Okumura, H.: [一般講演] Experimental animal model for portal hypertension with microsphere in the rabbit. International Association for the Study of the Liver (Toronto), 1988.
 - 77) Ohta, M., Manabe, T., Tomita, Y., Horikawa, T., Hashimoto, H., Shimizu, J., Ohtake, M. and Okumura, H.: [一般講演] Plasma levels of protein C and antithrombin-III in patients with non-insulin-dependent diabetes mellitus, with reference to retinopathy. 13th International Diabetes Federation Congress (Sydney), 1988.
 - 78) Sugiki, Y., Ohta, M., Kobayashi, Y., Tanaka, T., Manabe, T., Hashimoto, H., Shimizu, J., Ohtake, M. and Hayakawa, H.: [展示] Detection of late potential on the body surface ECG in patients with diabetes mellitus with reference to myocardial infarction. 13th International Diabetes Federation Congress (Sydney), 1988.
 - 79) 奥村英正: [特別講演] 外科と肝障害. 第50回臨床外科医学会総会, 1988.
 - 80) Saito, H., Atarashi, H., Kishida, H., Hayakawa, H. and Surawicz, B.¹⁾ (¹⁾Krannert Institute of Cardiology): [展示] Role of sarcoplasmic reticulum in electrical and mechanical alternans in dog ventricular muscle fibers. 61st Scientific Sessions, American Heart Association (Washington, D. C.), 1988.
 - 81) Seino, Y.¹⁾, Ibuki, C.¹⁾, Shimai, S.¹⁾, Takano, T.¹⁾, Tanaka, S.²⁾ and Hayakawa, H. (¹⁾CCU, ²⁾Dept. of Cardiothoracic Surgery): [展示] Cardiodynamic and neurohormonal importance of AV synchrony in rate responsive pacing. 61st Scientific Sessions, American Heart Association (Washington, D. C.), 1988.
 - 82) 小林義典, 八島正明, 亀井真一郎, 黒木伸一, 小野寺威夫, 斉藤寛和, 新博次, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] 洞不全症候群における自律神経の関与; 薬理学的除神経法およびトレッドミル運動負荷法による評価. 第41回日本自律神経学会総会, 1988.
 - 83) 野村敦宣, 安武正弘, 井野威, 佐々木熙之, 岸田浩, 早川弘一, 奥村英正: [一般講演] 免疫グロブリン結合型マクロ CPK 血症を伴った慢性甲状腺炎の1例. 第378回日本内科学会関東地方会, 1988.
 - 84) 多田祐美子¹⁾, 今泉孝敬¹⁾, 鈴木健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 針谷吉人¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 前田昭太郎²⁾, 奥村英正 (¹⁾多摩永山病院内科, ²⁾同病理): [一般講演] 抗下垂体抗体陽性甲状腺機能低下症を合併した overlap syndrome の1例. 第378回日本内科学会関東地方会, 1988.
 - 85) 国見聡宏, 斉藤寛和, 寺田秀人, 佐々木熙之, 赤池正博, 岸田浩, 奥村英正: [一般講演] 黄色ブドウ球菌による多発性肺膿瘍を発症した高IgE症候群の兄妹例. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
 - 86) 来馬明規, 金應文, 亀井真一郎, 黒木伸一, 新博次, 加藤貴雄, 早川弘一, 岡本克郎¹⁾, 細谷学¹⁾ (¹⁾日本電気(株)): [一般講演] リアルタイム解析ホルターシステム NEC Heart Port 9000 の概要と問題点について. 第6回心電図信号処理ワークショップ, 1988.
 - 87) 金應文, 田中隆, 大木清司, 黒木伸一, 小林義典, 新博次, 太田真夫, 加藤貴雄, 早川弘一, 高野照夫¹⁾ (¹⁾集中治療室): [一般講演] 加算平均心電図法を用いたQRS初期部微小電位の臨床的意義. 第6回心電図信号処理ワークショップ, 1988.
 - 88) 新博次, 斉藤寛和, 早川弘一: [一般講演] 臨床第一相試験における心電図基本変動. 第9回日本臨床薬理学会, 1988.
 - 89) 寺田秀人, 古明地弘和, 大須賀勝, 関山達也, 赤池正博, 勝田悌実, 里村克章, 荒牧琢己, 奥村英正: [一般講演] 肝硬変におけるスピロラクトンの肝循環並びに全身血行動態に対する作用. 第9回日本臨床薬理学会, 1988.
 - 90) 佐々木熙之, 太田真夫, 大坂元久, 佐々木義典, 宗像一雄, 早川弘一, 岡崎豊¹⁾ (¹⁾三井製薬工業): [展示] 強心薬 MS-857 の臨床第一相試験. 第9回日本臨床薬理学会, 1988.
 - 91) 畑典武, 岸田浩, 小海信一, 森規勝, 安武正弘, 高山守正, 早川弘一, 奥村英正, 神山博¹⁾, 海田るみ¹⁾, 岡崎彬¹⁾

- (¹¹中外製薬)：〔一般講演〕ニコランジル静注による冠動脈拡張反応と心行動態について。第9回日本臨床薬理学会，1988。
- 92) 斉藤勉，岸田浩，福岡長知，畑典武，鈴木健，大津文雄，早川弘一，奥村英正：〔一般講演〕労作狭心症に対する持続性 β 遮断薬 Carvedilol の抗狭心症効果；Holter 心電図法による検討。第9回日本臨床薬理学会，1988。
- 93) 赤池正博，小宮山徹三，古明地弘和，大須賀勝，寺田秀人，関山達也，里村克章，勝田悌実，荒牧琢己，奥村英正：〔展示〕急性非 A 非 B 型肝炎遷延例および非遷延例における肝組織学的検討。第23回日本肝臓学会東部会，1988。
- 94) 寺田秀人，古明地弘和，小宮山徹三，大須賀勝，赤池正博，勝田悌実，里村克章，荒牧琢己，奥村英正：〔一般講演〕重症アルコール性肝障害 5 例に関する臨床病理学的検討。第23回日本肝臓学会東部会，1988。
- 95) 大須賀勝，古明地弘和，小宮山徹三，寺田秀人，関山達也，赤池正博，里村克章，勝田悌実，荒牧琢己，奥村英正，小林薫¹⁾ (¹多摩永山病院内科)：〔一般講演〕肝内胆汁うっ滞に対する cholestyramine の効果。第23回日本肝臓学会東部会，1988。
- 96) 八島正明，井野威，新博次，寺田秀人，古明地弘和，大須賀勝，荒牧琢己，奥村英正，大矢徹¹⁾，隈崎達夫¹⁾ (¹放射線科)：〔展示〕上腸間膜動静脈吻合を合併し，著明な門脈圧上昇を呈したアルコール性肝硬変の 1 例。第23回日本肝臓学会東部会，1988。
- 97) 馬場英維，杉木雄治，畑典武，新博次，早川弘一，奥村英正：〔一般講演〕急性心膜炎を合併した若年男性 Sjögren 症候群の 1 例。第379回日本内科学会関東地方会，1988。
- 98) 加藤信也，奥村敏，星野公彦，渡部真理，小林義典，新博次，里村克章，荒牧琢己，奥村英正：〔一般講演〕右心房内と肺動脈に腫瘍塞栓を来した肝細胞癌の 1 例。第202回日本消化器病学会関東地方会，1988。
- 99) 本間博，Ostrzega, E.¹⁾，Maddahi, J.¹⁾，Charuzi, Y.¹⁾ (¹Cedars-Sinai Medical Center)：〔一般講演〕冠動脈バイパスグラフト (CABG) 術後患者の評価における ultrafast CT と運動負荷 TI-201 心筋 SPECT の臨床的役割。第130回日本循環器学会関東甲信越地方会，1988。
- 100) 山中博之¹⁾，雪吹周生¹⁾，金應文¹⁾，加治正弘¹⁾，宇都宮英敏¹⁾，清野精彦¹⁾，田中啓治¹⁾，高野照夫¹⁾，早川弘一，福島孝夫²⁾，田中茂夫²⁾，庄司佑²⁾，勝見敦³⁾，辺見弘³⁾ (¹集中治療室，²胸部外科，³救命救急センター)：〔一般講演〕多発臓器塞栓症を発症した左室内粘液腫の 1 症例。第130回日本循環器学会関東甲信越地方会，1988。
- 101) 早川弘一：〔シンポジウム〕狭心症の病態と臨床薬理 (主題：狭心症の病態と治療の進歩)。第23回日本成人病学会，1989。
- 102) 小宮山徹三，赤池正博，菊池恭一，古明地弘和，大須賀勝，寺田秀人，里村克章，勝田悌実，荒牧琢己，奥村英正：〔一般講演〕急性ウイルス肝炎における末梢血リンパ球および血清オリゴアデニル酸合成酵素 (2-5 AS) 活性の臨床的意義。第23回日本成人病学会，1989。
- 103) 赤池正博，菊池恭一，小宮山徹三，寺田秀人，大須賀勝，古明地弘和，里村克章，勝田悌実，荒牧琢己，奥村英正：〔一般講演〕急性 B 型肝炎に対する副腎皮質ホルモンの影響。第23回日本成人病学会，1989。
- 104) 佐々木熙之，大須賀恵美子，滝口ふゆ子，畑典武，杉木雄治，早川弘一，奥村英正：〔一般講演〕左室造影法第二斜位像における中隔二重陰影の超音波心断層法による検討。第23回日本成人病学会，1989。
- 105) 福岡長知，岸田浩，安武ひろ子，木内要，斉藤勉，畑典武，鈴木健，大津文雄，早川弘一，奥村英正：〔一般講演〕陳旧性心筋梗塞例における梗塞領域と無症候性一過性虚血発作との関係。第23回日本成人病学会，1989。
- 106) 野村敦宣，安武正弘，井野威，佐々木熙之，橋本英洋，太田真夫，大竹稔，奥村英正：〔一般講演〕マクロ CPK 血症と慢性甲状腺炎を合併した糖尿病の 1 例。第26回日本糖尿病学会関東甲信越地方会，1989。
- 107) 亀井真一郎，奥村敏，来馬明規，八島正明，金應文，黒木伸一，小野寺威夫，小林義典，斉藤寛和，井野威，新博次，早川弘一：〔一般講演〕Slow pathway に付着した nodoventricular fiber の存在が示唆された一例。第1回

臨床不整脈研究会, 1989.

- 108)大村和子, 新博次, 安武正弘, 畑典武, 岸田浩, 早川弘一, 黒川顕¹⁾, 佐々木健志²⁾, 田中茂夫²⁾ (¹⁾救命救急センター, ²⁾胸部外科): [一般講演] 右室二腔症の1成人例. 第131回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1989.
- 109)宗田真理子, 寺田秀人, 佐々木照之, 勝田悌実, 里村克章, 荒牧琢己, 奥村英正: [一般講演] 肺内動静脈短絡を伴ない著明な低酸素血症を呈した肝硬変症の1例. 第203回日本消化器病学会関東地方会, 1989.
- 110)哲翁弥生¹⁾, 内田高浩¹⁾, 今泉孝敬¹⁾, 鈴木健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 針谷吉人¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 山本鼎²⁾, 前田昭太郎²⁾, 奥村英正 (¹⁾多摩永山病院内科, ²⁾同放射線科, ³⁾同病理部): [一般講演] 若年発症アミラーゼ産生肺癌の1例. 第380回日本内科学会関東地方会, 1989.
- 111)多田祐美子¹⁾, 鈴木健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 針谷吉人¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 前田昭太郎²⁾, 早川弘一, 丸山二郎³⁾, 川越栄³⁾, 宗像純司³⁾ (¹⁾多摩永山病院内科, ²⁾同病理, ³⁾都立駒込病院): [一般講演] 長期生存し得た完全大血管転位症に大動脈縮窄症を合併した1剖検例. 第131回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1989.
- 112)畑典武, 新博次, 田中啓治, 奥村英正, 松本光司¹⁾, 内山正一¹⁾, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾第2病理): [一般講演] 腸間膜原発平滑筋肉腫の1例. 第381回日本内科学会関東地方会, 1989.
- 113)桜井太一郎¹⁾, 栗原広孝¹⁾, 鈴木健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 針谷吉人¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 奥村英正, 村山享一²⁾ (¹⁾多摩永山病院内科, ²⁾脳神経外科): [一般講演] マイコプラズマ肺炎に合併した脊髄炎の1例. 第381回日本内科学会関東地方会, 1989.
- 114)真鍋辰哉, 大竹稔, 早川弘一, 堀川龍是¹⁾, 皆川彰¹⁾ (¹⁾付属病院中央検査部): [一般講演] 早期糖尿病性腎症における尿中微量アルビミンと血清脂質. 第2回進行性腎障害と高脂血症治療懇話会, 1989.
- 115)滝口美由子, 大須賀恵美子, 赤池正博, 勝田悌実, 里村克章, 荒牧琢己, 奥村英正: [一般講演] 慢性肝疾患患者における運動の肝機能検査値に及ぼす影響; Treadmill 並びに歩数計による検討. 第75回日本消化器病学会総会, 1989.
- 116)勝田悌実, 滝口美由子, 大須賀勝, 赤池正博, 古明地弘和, 小宮山徹三, 寺田秀人, 里村克章, 荒牧琢己, 奥村英正, 田中茂夫¹⁾ (¹⁾第2外科): [展示] 心臓・大血管外科手術後の肝障害. 第75回日本消化器病学会総会, 1989.
- 117)Ino, T., Atarashi, H., Hayakawa, H., Kuroki, S., Onodera, T. and Saitoh, H.: [一般講演] Electrophysiologic and hemodynamic effects of SUN-1165; A new antiarrhythmic drug. 38th Annual Scientific Session of the American College of Cardiology (Anaheim), 1989.
- 118)Hayakawa, H.: [シンポジウム] Electrophysiologic and hemodynamic effects of SUN-1165, a new class-Ic, on supraventricular tachycardia (Theme: Clinical usefulness of antiarrhythmic agents). International Symposium on Current Topics on Antiarrhythmic Agents (Nagoya), 1989.
- 119)加藤貴雄: [シンポジウム] Late Potential と心筋梗塞 (主題: 心電学の展望). 第53回日本循環器学会総会, 1989.
- 120)金應文, 田中隆, 大木清司, 黒木伸一, 小林義典, 太田真夫, 加藤貴雄, 早川弘一, 高野照夫¹⁾ (¹⁾集中治療室): [一般講演] 加算平均心電図法 QRS 初期部電位の特徴; 正常例, 脚ブロック例の比較. 第53回日本循環器学会総会, 1989.
- 121)清野精彦¹⁾, 大木清司¹⁾, 島井新一郎¹⁾, 雪吹周生¹⁾, 木内要¹⁾, 田中啓治¹⁾, 加藤貴雄¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (¹⁾集中治療室): [一般講演] Persistent Atrial standstill における α -hANP 分泌反応の評価; 内分泌学的診断基準として. 第53回日本循環器学会総会, 1989.
- 122)井野威, 新博次, 小林義典, 黒木伸一, 八島正明, 斉藤寛和, 早川弘一: [一般講演] 新しい Ic 群経口抗不整脈薬 SUN-1165 の電気生理学的効果と心行動態に及ぼす影響. 第53回日本循環器学会総会, 1989.
- 123)畑典武, 横山広行, 佐藤直樹, 大國真一, 国見聡宏, 星野公彦, 安武正弘, 小海信一, 岸田浩, 早川弘一: [一般講演] 心筋梗塞責任冠動脈の進展についての検討. 第53回日本循環器学会総会, 1989.

- 124)木内要, 遠藤孝雄, 福岡長知, 藤田信輔, 子島潤, 早川弘一:〔一般講演〕NICORANDILの実験的心筋梗塞サイズ縮小効果. 第53回日本循環器学会総会, 1989.
- 125)佐々木照之, 杉木雄治, 清野精彦, 大須賀恵美子, 早川弘一, 奥村英正:〔一般講演〕健康人の体位による左室後壁奇異性運動の発生機序. 第53回日本循環器学会総会, 1989.
- 126)清野精彦¹⁾, 木内要¹⁾, 雪吹周生¹⁾, 島井新一郎¹⁾, 大木清司¹⁾, 宇都宮英敏¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (¹⁾集中治療室):〔一般講演〕急性心筋梗塞発症早期のdoppler MRの病態について. 第53回日本循環器学会総会, 1989.
- 127)田中隆, 金應文, 大木清司, 加藤貴雄, 早川弘一, 高野照夫¹⁾ (¹⁾集中治療室):〔一般講演〕加算平均心電図法(SAE)によるQRS初期部微小電位(IP)の臨床的意義;重症心室性不整脈(VA)および梗塞部位との関係. 第53回日本循環器学会総会, 1989.
- 128)滝田孝之¹⁾, 清野精彦¹⁾, 大木清司¹⁾, 塚本浩¹⁾, 中村辰男¹⁾, 稲福睦美¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (¹⁾集中治療室):〔一般講演〕本邦冠動脈疾患症例における末梢動脈硬化の進展に関する分析. 第53回日本循環器学会総会, 1989.
- 129)遠藤孝雄, 木内要, 福岡長知, 富田喜文, 藤田信輔, 草間芳樹, 子島潤, 高野照夫¹⁾, 早川弘一, 高見光孝²⁾, 陳忠正²⁾ (¹⁾集中治療室, ²⁾第一製薬中央研究所):〔一般講演〕白血球・血小板粘着凝集抑制剤DN-9693のイヌ末梢白血球化学遊走および実験的心筋梗塞サイズに対する効果. 第53回日本循環器学会総会, 1989.
- 130)高田加寿子¹⁾, 田中啓治¹⁾, 島井新一郎¹⁾, 清野精彦¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (¹⁾集中治療室):〔一般講演〕心房性ナトリウム利尿ペプチド(SUN 4936)のうっ血性心不全に対する効果. 第53回日本循環器学会総会, 1989.
- 131)岸田浩, 福岡長知, 斉藤勉, 畑典武, 川口信子, 安武正弘, 大津文雄, 鈴木健:〔一般講演〕梗塞前狭心症欠如例における心筋梗塞患者の疼痛閾値とsilent myocardial ischemia(SMI)の関係. 第53回日本循環器学会総会, 1989.
- 132)小海信一, 村松光, 岸田浩, 早川弘一:〔一般講演〕不活性化過程除去Na電流に対する第Ia群抗不整脈薬の作用に関する検討. 第53回日本循環器学会総会, 1989.

〔付属病院老人科〕

研究概要

老人科では, 老年期における糖代謝障害および糖尿病, 肥満, 高血圧症, 脂質代謝異常, 動脈硬化性疾患などに関する臨床的研究を行うとともに, 老年期における糖代謝ならびに鉄代謝の基礎的研究を行った.

1) 老年期糖尿病の臨床像に関する研究

発症年齢, 罹病期間, 治療法, 血糖コントロール状態と合併症, 予後との関連に主眼をおき, 老年期発症と若・壮年期発症糖尿病との臨床像の差異を明らかにし, 老年期糖尿病のコントロール基準の確立を試みた.

2) インスリン非依存型糖尿病の膵外分泌能に関する研究

動脈硬化症, 細小血管症, 罹病期間の因子と膵外分泌能の関連から糖尿病の病態を明らかにし, さらに老年期糖尿病の診断基準の1指標としての有用性を示唆する成績を得た.

3) 老年期における軽度耐糖能異常の臨床的意義に関する研究

特に脳・心血管障害に及ぼす影響を剖検例で検討し, 軽度耐糖能異常に脳・心血管障害が高率に合併することを明らかにした.

4) 血糖連続測定による経口ブドウ糖負荷試験の検討

年齢, 耐糖能の面よりの血糖曲線の解析を行い, 糖処理能から見た老年者の糖負荷試験の判定基準の設定を試みた.

5) 老年期における肥満の臨床的研究

老年期における肥満と動脈硬化性疾患の関連を検討し, 老年期の肥満者に脳・心血管合併症が高率であることを明

らかにした。

6) 老年者のフェリチンおよび糖化フェリチンに関する検討

糖尿病患者に両値の上昇を認め、その上昇機序ならびに臨床的意義の検討を行った。

7) 鉄過剰時のラット肝細胞および Kupffer 細胞内貯蔵鉄の動態および ferritin の特性について検討した。

研究業績

論文

- 1) 大庭建三, 山下直博, 中野博司, 盤若博司:〔総説〕老年疾患と治療の実際:糖尿病・代謝異常(特集:老化と高齢者の診療). 臨と研, 65, 1112~1117, 1988.
- 2) 大庭建三, 魚住敏, 中野博司, 島田研三, 妻鳥昌平, 盤若博司:〔総説〕加齢にともなう機能変化;代謝系 糖. 老人科診療, 9, 169~173, 1988.
- 3) 板垣晃之, 吉田亮一¹⁾, 大友英一¹⁾, 盤若博司(¹⁾浴風会病院):〔原著〕高齢者の糖尿病治療に関する検討;低血糖症状について. 糖尿病, 31, 285~295, 1988.
- 4) 中野博司, 大庭建三, 春山勝, 山下直博, 野崎太矩祠, 妻鳥昌平, 盤若博司:〔報告〕膀胱内にガス産生を来し, 気尿を認めた糖尿病の一例. 糖尿病, 31, 313~317, 1988.
- 5) 中野博司:〔原著〕老年者糖尿病のコントロール指標としての血糖値および glycosylated hemoglobin に関する臨床的研究. 日医大誌, 55, 270~278, 1988.
- 6) 妻鳥昌平, 大庭建三, 中野博司:〔総説〕長期血糖コントロールの面からの糖尿病合併症および睪外分泌に関する検討. Doctor's Review, 25, 6~10, 1988.
- 7) 板垣晃之, 吉田亮一¹⁾, 鈴木孝臣¹⁾, 大友英一¹⁾, 盤若博司(¹⁾浴風会病院):〔原著〕高齢者の糖尿病治療に関する検討;血糖の Tight Control の意義. 老化と疾患, 1, 100~112, 1988.
- 8) 大庭建三, 大崎良一郎, 中野博司, 妻鳥昌平, 盤若博司:〔報告〕D- ペニシラミンによる多発性筋炎に CK 結合性免疫グロブリンの出現をみた1例. 内科, 62, 585~588, 1988.
- 9) 中野博司, 大庭建三:〔総説〕老年者の血清アルブミン値;加齢に伴う変化に関して. 医のあゆみ, 147, 611, 1988.
- 10) 大庭建三, 春山勝, 中野博司, 山下直博, 野崎太矩祠, 妻鳥昌平, 板垣晃之, 早川道夫¹⁾, 大友英一¹⁾(¹⁾浴風会病院):〔原著〕老年者の軽度耐糖能異常と脳梗塞;特に高血圧症との関連からの検討. 日内会誌, 77, 1842~1846, 1988.

著書

- 1) 妻鳥昌平, 大庭建三, 中野博司:〔分担〕長期の血糖コントロールと合併症;長期血糖コントロールの面からの糖尿病合併症および睪外分泌能に関する検討.“糖尿病記録号 1988”(前沢秀憲編), p.201~205, 医学図書, 1989.

学会発表

- 1) 中野博司, 山下直博, 大庭建三, 妻鳥昌平, 盤若博司:〔一般講演〕老年期発症糖尿病の臨床像に関する検討;治療法および合併症の面より. 第85回日本内科学会講演会, 1988.
- 2) 島田研三, 三上俊夫, 神成節子, 吉野芳夫, 盤若博司:〔一般講演〕鉄過剰時における肝細胞および Kupffer 細胞内貯蔵鉄の動態および ferritin の特性について. 第50回日本血液学会総会, 1988.
- 3) 妻鳥昌平, 大庭建三, 中野博司:〔ワークショップ〕長期の血糖コントロールと合併症;長期血糖コントロール

の面からの糖尿病合併症および睪外分泌能に関する検討。第31回日本糖尿病学会総会，1988.

- 4) 板垣晃之，菱村将隆¹⁾，吉田亮一¹⁾，八田美鳥¹⁾，安原治²⁾，漆原彰³⁾（¹⁾浴風会病院，²⁾京都大学神経内科，³⁾大宮共立病院）：〔一般講演〕高齢者における原因不明の低血糖；身体所見及び薬物面からの検討。第31回日本糖尿病学会総会，1988.
- 5) 中野博司，武内寛，平井真明，瀧上正章，野崎太矩祠，大庭建三，妻鳥昌平，盤若博司：〔一般講演〕インスリン非依存型糖尿病の睪外分泌。第31回日本糖尿病学会総会，1988.
- 6) 山下直博，春山勝，魚住敏，西和紀，中野博司，島田研三，大庭建三，妻鳥昌平，盤若博司：〔展示〕インスリン非依存型糖尿病の臨床像に関する検討；発症年齢および罹病期間の面より。第31回日本糖尿病学会総会，1988.
- 7) 春山勝，武内寛，中野博司，大庭建三，妻鳥昌平，盤若博司：〔一般講演〕インスリン非依存型糖尿病の睪外分泌能；動脈硬化症，細小血管症，罹病期間の面より。第20回日本動脈硬化学会総会，1988.
- 8) Yamashita, N., Haruyama, M., Nakano, H., Nozaki, T., Ohba, K., Metori, S. and Itagaki, T.: [シンポジウム] Cerebral infarction, hypertension and glucose intolerance in the elderly. The Third International Symposium on Treatment of Diabetic Complications (Nagata), 1988.
- 9) 大庭建三，春山勝，中野博司，山下直博，野崎太矩祠，妻鳥昌平，板垣晃之，早川道夫¹⁾，大友英一¹⁾（¹⁾浴風会病院）：〔一般講演〕老年者軽度耐糖能異常と脳・心血管障害。第7回関東老年病研究会，1988.
- 10) 中野博司，大庭建三，春山勝，山下直博，野崎太矩祠，妻鳥昌平，盤若博司：〔一般講演〕膀胱内にガス産生を来した糖尿病の1例。第7回関東老年病研究会，1988.
- 11) 魚住敏，中野博司，瀧上正章，野崎太矩祠，大庭建三，妻鳥昌平：〔一般講演〕Minimal change nephrotic syndrome を合併した高齢者インスリン非依存型糖尿病の1例。第376回日本内科学会関東地方会，1988.
- 12) 春山勝，中野博司，山下直博，野崎太矩祠，大庭建三，妻鳥昌平，板垣晃之，早川道夫¹⁾，大友英一¹⁾（¹⁾浴風会病院）：〔一般講演〕老年者の肥満と動脈硬化に関する検討。第56回日本医科大学医学会総会，1988.
- 13) 仲地紀良，藤田敬四郎¹⁾，平井敏之¹⁾，後藤博一¹⁾，新井愛彦¹⁾，岩崎弘子¹⁾，小島大輔¹⁾，飯田和美¹⁾，宮崎定活¹⁾，本多悟¹⁾，丸山千里¹⁾（¹⁾ワクチン療法研究施設）：〔展示〕当施設におけるSSM使用登録癌患者数の現況と長期にわたり希有な治療経過をとった腹部悪性腫瘍の2例。第56回日本医科大学医学会総会，1988.
- 14) 市山広樹，山下直博，芳賀克也，川越理香，春山勝，西和紀，中野博司，島田研三，野崎太矩祠，大庭建三，妻鳥昌平：〔展示〕脾内に複数の腫瘍形成を認め，急性転化を来した高齢者慢性骨髄単球性白血病（CMMoL）の1例。第56回日本医科大学医学会総会，1988.
- 15) 笹井恵子，中野博司，武部健一郎，春山勝，武内寛，瀧上正章，野崎太矩祠，大庭建三，妻鳥昌平，永井真之¹⁾（¹⁾付属病院眼科）：〔展示〕短期間で失明し頻回の低血糖の関与が疑われたインスリン非依存型糖尿病の1例。第56回日本医科大学医学会総会，1988.
- 16) 奥山裕，平井真明，家所哲夫，大崎良一郎，魚住敏，中野博司，瀧上正章，野崎太矩祠，大庭建三，妻鳥昌平：〔展示〕CK結合性免疫グロブリンの出現をみた3例。第56回日本医科大学医学会総会，1988.
- 17) Fujita, K.¹⁾, Hirai, T.¹⁾, Goto, H.¹⁾, Arai, Y.¹⁾, Nakaji, K., Iida, K.¹⁾, Miyazaki, S.¹⁾, Honda, S.¹⁾, Iwaki, H.¹⁾, Kojima, D.¹⁾ and Maruyama, C.¹⁾（ワクチン療法研究施設）：〔一般講演〕A statistical analysis on cancer patients in treatment with S.S.M. (An extract from human tubercle bacilli: Maruyama vaccine) -Report X. 第26回日本癌治療学会総会，1988.
- 18) 市山廣樹，山下直博，中野博司，大庭建三，妻鳥昌平，板垣晃之¹⁾，大友英一¹⁾（¹⁾浴風会病院）：〔一般講演〕失行で発症したCreutzfeldt-Jakob病疑診例。第8回関東老年病研究会，1988.
- 19) 武内寛，春山勝，魚住敏，西和紀，中野博司，島田研三，野崎太矩祠，大庭建三，妻鳥昌平，盤若博司：〔一般講演〕老年者インスリン非依存型糖尿病の睪外分泌能に関する検討。第30回日本老年医学会総会，1988.

- 20) 山下直博, 平井真明, 中野博司, 測上正章, 島田研三, 野崎太矩祠, 大庭建三, 妻鳥昌平, 盤若博司: [一般講演] 老年者のフェリチンおよび糖化フェリチンに関する検討; 血糖値, 糖尿病性細小血管症の面より. 第30回日本老年医学会総会, 1988.
- 21) 中野博司, 芳賀克也, 魚住敏, 武内寛, 平井真明, 山下直博, 測上正章, 大庭建三, 妻鳥昌平, 盤若博司: [一般講演] 老年者糖尿病の臨床像に関する検討. (第2報) 発症年代別の治療および合併症の面より. 第30回日本老年医学会総会, 1988.
- 22) 大庭建三, 春山勝, 中野博司, 山下直博, 野崎太矩祠, 妻鳥昌平, 盤若博司, 板垣晃之, 早川道夫¹⁾, 大友英一¹⁾ (¹⁾浴風会病院): [一般講演] 老年期の耐糖能と脳・心血管病変; 剖検所見よりの検討. 第30回日本老年医学会総会, 1988.
- 23) 板垣晃之, 吉田亮一¹⁾, 鈴木孝臣¹⁾, 早川道夫¹⁾, 大友英一¹⁾, 盤若博司 (¹⁾浴風会病院): [一般講演] 高齢者糖尿病の長期観察例のコントロール状態と合併症及び予後との関連について. 第30回日本老年医学会総会, 1988.
- 24) 測上正章, 大崎良一郎, 春山勝, 西和紀, 中野博司, 山下直博, 野崎太矩祠, 大庭建三, 妻鳥昌平, 盤若博司: [一般講演] 血糖連続測定による経口ブドウ糖負荷試験の検討; 年齢・耐糖能の面よりの血糖曲線の解析. 第30回日本老年医学会総会, 1988.
- 25) 山下直博, 西和紀, 島田研三, 大庭建三, 妻鳥昌平: [一般講演] 肝硬変及び腎不全に合併した RAEB の一治療例. 第1回老年者造血器悪性腫瘍研究会, 1988.
- 26) 市山廣樹, 山下直博, 奥山裕, 笹井恵子, 芳賀克也, 西和紀, 中野博司, 大庭建三, 妻鳥昌平: [一般講演] 失行で発症した Creutzfeldt-Jakob 病疑の1例. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 27) 春山勝, 中野博司, 大庭建三, 妻鳥昌平, 板垣晃之, 早川道夫¹⁾, 大友英一¹⁾ (¹⁾浴風会病院): [一般講演] 老年者の冠動脈硬化に対する肥満の影響. 第9回日本肥満学会, 1988.
- 28) 笹井恵子, 中野博司, 春山勝, 島田研三, 大庭建三, 妻鳥昌平: [一般講演] 黄色靱帯骨化症を認めたインスリン非依存型糖尿病の1例. 日本糖尿病学会関東甲信越地方会第26回講演会, 1989.
- 29) 春山勝, 中野博司, 大庭建三, 妻鳥昌平, 板垣晃之, 早川道夫¹⁾, 大友英一¹⁾ (¹⁾浴風会病院): [一般講演] 老年者の動脈硬化に対する肥満の影響. 日本動脈硬化学会昭和63年度冬期大会, 1989.

[第二病院内科]

研究概要

第二病院内科では, 循環器, 呼吸器, 腎臓を中心に研究を行った.

一昨年より始めた糖尿病患者の心, 肺病変に関する研究の第三報として, 糖尿病患者の肺末梢(肺胞, 肺末梢間生, 細小動脈, 毛細血管)につき病理組織学的検討を行った.

第一報ですでに報告したが糖尿病患者では, 動脈血酸素分圧の低下, 呼吸機能特に% VCDLCO の低下がみられたことから, 肺末梢に病変のあることを推測し, 今回糖尿病患者の肺組織標につき, micrometer を用いて, 肺胞壁, 肺末梢毛細管の厚さを測定, 正常対照例に比べ糖尿病患者では有意に壁原の増加していることを明らかにした.

腎臓に関する研究 糖尿病性腎症の血液透析時の酸素分圧および double product との関係に関し研究を行った.

研究業績

学会発表

- 1) 松原貴則, 藤井裕介, 倉田文秋, 嶋崎譲, 上田征夫, 原文男, 川並汪一¹⁾ (¹⁾第二病院病理): [パネルディスカッション] 糖尿病に関係する肺末梢病変について. 第85回日本内科学会講演会, 1988.
- 2) 鈴木攻, 村沢恒男, 本多由幸, 石井正志, 知念正人, 増田康文, 藤本紘太郎, 羽入田陽一郎, 上田征夫, 原文男,

永野淳二¹⁾ (天草第一病院) : [一般講演] 糖尿病性腎症の血液透析における動脈血酸素分圧と double product との関係. 第33回日本透析療法学会, 1988.

- 3) 伊藤達也, 倉田文秋, 関純一, 岩本正彦, 長戸路卓, 前川馨, 遠山俊之, 藤井裕介, 嶋崎譲, 斉藤正人, 上田征夫, 原文男 : [展示] 過去8年間の呼吸器疾患入院患者の検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 4) 倉田文秋, 関純一, 伊藤達也, 長戸路卓, 前川馨, 藤井裕介, 上田征夫, 原文男 : [一般講演] 漏戸胸を合併した先天性心胸膜欠損症の1例. 第376回日本内科学会関東地方会, 1988.
- 5) 橋本雅人, 藤井裕介, 須田宏之, 倉田文秋, 嶋崎譲, 上田征夫, 原文男 : [一般講演] 血栓性静脈炎により両側総腸骨静脈の閉塞を来した Beshet 病の1例. 第378回日本内科学会関東地方会, 1988.
- 6) 鈴木攻, 関純一, 村沢恒男, 斉藤正人, 嶋崎譲, 羽入田陽一郎, 上田征夫, 原文男 : [一般講演] 抗生物質療法により著しい改善の見られた肝膿瘍の一例. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 7) 藤井裕介, 佐藤雅史¹⁾, 鍛喜美恵¹⁾, 篠原美智¹⁾ (放射線科) : [一般講演] 宮崎肺吸虫症の2例. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 8) 知念正人, 斉藤正人, 本多由幸, 鈴木攻, 関純一, 藤井裕介, 上田征夫, 原文男 : [一般講演] 化学療法により著しい改善の見られた小細胞癌による上大静脈症候群の一例. 第4回神奈川県内科医学会集談会, 1989.

[多摩永山病院内科]

研究概要

多摩永山病院内科では虚血性心疾患, 高血圧症, 低血圧症を中心とする循環器疾患の研究と, 病理部, 薬剤科, 中央検査室と共同して内科全般にわたる広範囲の臨床研究を併せて行っている.

1) 循環器疾患: 虚血性心疾患については, 運動負荷試験, 24時間連続記録心電図, 冠動脈造影など一般検査のほかに薬剤負荷などの誘発試験を行い, 心および末梢循環パラメータならびに生理的活性物質を測定し, 病態の解明, 重症度の判定, 効果的治療法の選択などにつき検討している. さらに, 本学第一内科との共同研究として無症候性心筋虚血の病態と予後, 狭心症および心筋梗塞の薬物療法などについても検討している. 高血圧症については, 運動負荷試験や薬剤負荷試験による各種循環パラメーターや生理的活性物質の変動につき研究するとともに, 24時間連続血圧計による血圧の日内変動と性格検査などを組み合わせ, 高血圧症の病態, 治療の選択や効果について研究している. また, 運動負荷時にみられる ST-T 変化や陰性 U 波の出現機序および臨床的意義につき狭心症と比較, その差異についても検討中である. 低血圧症については24時間血圧計を用い愁訴の出現および治療による影響などにつき検討している.

2) 院内での共同研究: 薬剤科と協力して TDM (therapeutic drug monitoring) を臨床に取り入れ, より安全で有効な治療法の確立につとめ, 気管支喘息急性期の薬物動態やアミノグリコシドの使用法につき報告してきた. 現在は, 各種薬剤が気管支拡張薬の薬物動態に及ぼす影響やうっ血性心不全が薬物動態に及ぼす影響などについて研究 중이다. 病理部および中央検査室とはコンプロマイズトホストにおける敗血症の成立機序を解明するため, 生前および剖検時の細菌培養の結果を比較し, 生前の細菌感染症の診断・治療の重要性を認識させるべく研究を続けている.

研究業績

論文

- 1) 岸田浩¹⁾, 鈴木健, 斉藤勉¹⁾, 畑典武¹⁾, 大津文雄, 金子ひろ子¹⁾, 猪口直美¹⁾, 木内要¹⁾ (第1内科) : [原著] Silent Ischemia に対するホルター心電図法の応用. 心電図, 8, 181~185, 1988.
- 2) Kishida, H.¹⁾, Saito, T.¹⁾, Nejima, J.¹⁾, Hata, N.¹⁾, Kusama, Y.¹⁾, Suzuki, T., Otsu, F., Kaneko, H. and Inokuchi, N.¹⁾ (1st Dept. of Int. Med.) : [原著] Evaluation of a new antianginal agent, Nipradilol, in effort angina using

- Holter monitoring. Jpn. Heart J., **29**, 309~317, 1988.
- 3) 大津文雄, 高野照夫¹⁾ (1)集中治療室): [総説] 心筋梗塞急性期の重症度評価の実際・循環動態. Med. Pract., **5**, 967~969, 1988.
 - 4) 長澤紘一, 筒井末春¹⁾, 本多和雄²⁾, 太田真夫³⁾, 川口信子³⁾, 中野弘一¹⁾, 坪井康次¹⁾, 中川保弘¹⁾, 難波経彦⁴⁾, 斉藤敏二⁵⁾, 八幡浩二, 針谷吉人, 富士崎成子, 原文男⁶⁾, 倉田文秋⁶⁾, 藤原忠道⁷⁾, 八田貞人⁸⁾, 植田俊郎⁸⁾, 黒木伸一⁸⁾, 栗原広孝⁸⁾, 宗像純司⁹⁾, 川越栄⁹⁾, 橋本英洋¹⁰⁾, 永田勝太郎¹¹⁾, 菊地長徳¹²⁾ (1)東邦大学心療内科, 2)益田赤十字病院内科, 3)第1内科, 4)済生会神奈川県病院内科, 5)小金原病院内科, 6)第二病院内科, 7)稲田登戸病院循環器科, 8)鹿島白十字病院内科, 9)東京都立駒込病院内科, 10)下谷病院内科, 11)東邦大学大橋病院麻酔科, 12)東京女子医科大学第二病院内科): [原著] 起立失調症候群および低血圧症に対する Amezinium metilsulfate (LU-1631) の臨床評価; 至適用法・用量の検討. 臨医薬, **4**, 1103~1122, 1988.
 - 5) 筒井末春¹⁾, 長澤紘一, 本多和雄²⁾, 中野弘一¹⁾, 坪井康次¹⁾, 田原啓二¹⁾, 桂宗孝¹⁾, 中川保弘²⁾, 芝山幸久¹⁾, 五十嵐美加¹⁾, 難波経彦³⁾, 斉藤敏二⁴⁾, 太田真夫⁵⁾, 佐々木照之⁵⁾, 八幡浩二, 針谷吉人, 原文男⁶⁾, 倉田文秋⁶⁾, 関純一⁶⁾, 藤原忠通⁷⁾, 八田貞人⁸⁾, 谷部正浩⁸⁾, 塚本浩⁸⁾, 福田純⁸⁾, 宗像純司⁹⁾, 川越栄⁹⁾, 橋本英洋¹⁰⁾, 小野寺威夫¹⁰⁾, 猪口直美¹⁰⁾, 金子ひろ子¹⁰⁾, 永田勝太郎¹¹⁾, 菊地長徳¹²⁾, 中島光好¹³⁾ (1)東邦大学心療内科, 2)益田赤十字病院検査部, 3)済生会神奈川県病院内科, 4)小金原病院内科, 5)第1内科, 6)第二病院内科, 7)稲田登戸病院循環器科, 8)白十字総合病院内科, 9)東京都立駒込病院内科, 10)下谷病院内科, 11)東邦大学大橋病院麻酔科, 12)東京女子医大第二病院内科, 13)浜松医科大学薬理学教室): [原著] 低血圧症に対する Amezinium metilsulfate (LU-1631) の臨床評価. 臨医薬, **4**, 1123~1144, 1988.
 - 6) 長澤紘一: [総説] 心臓神経症の診断基準と病態; 循環器科の立場から. カレントセラピー, **6**, 10~14, 1988.
 - 7) 鈴木健, 岸田浩¹⁾ (1)第1内科): [総説] Silent ischemia; 心電図の虚血所見と自覚症状との関係. 診断と治療, **76**, 1965~1968, 1988.
 - 8) 大津文雄, 鈴木健, 岸田浩¹⁾, 斉藤勉¹⁾, 畑典武¹⁾, 早川弘一¹⁾, 奥村英正¹⁾, 八幡浩二, 藤原忠通²⁾, 浜本紘³⁾ (1)第1内科, 2)稲田登戸病院内科, 3)榊原記念クリニック): [原著] 不安定狭心症に対する Nisloipine の効果; Holter 心電図による検討. **37**, 1569~1577, 1988.
 - 9) 筒井末春¹⁾, 中野弘一¹⁾, 坪井康次¹⁾, 中川保弘¹⁾, 芝山幸久¹⁾, 長澤紘一, 太田真夫²⁾, 川口信子²⁾, 佐々木照之²⁾, 八幡浩二, 針谷吉人, 大津文雄, 難波経彦³⁾, 斉藤敏二⁴⁾ (1)東邦大学医学部心療内科, 2)第1内科, 3)済生会神奈川県病院内科, 4)小金原病院内科): [原著] 心臓神経症・神経循環無力症に対する propranolol (Inderal[®]) の Phase II study. 臨医薬, **4**, 1629~1640, 1988.
 - 10) 鈴木健: [原著] 狭心症における心筋虚血発作の臨床的意義ならびにその出現機序に関する研究; ホルター心電図による解析. 日医大誌, **56**, 59~71, 1989.
 - 11) 中原保裕¹⁾, 吉岡優子¹⁾, 浜田康次¹⁾, 村田正弘¹⁾, 田中邦夫, 富士崎成子, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一 (1)多摩永山病院薬剤科): [原著] 気管支喘息発作時における theophylline therapeutic range の意義. 臨薬理, **20**, 201~202, 1989.
 - 12) 斉藤勉¹⁾, 岸田浩¹⁾, 福岡長知¹⁾, 畑典武¹⁾, 鈴木健, 大津文雄, 早川弘一¹⁾, 奥村英正¹⁾ (1)第1内科): [原著] 労作狭心症に対する持続性 β 遮断薬 Carvedilol の抗狭心症効果. 臨薬理, **20**, 279~280, 1989.
 - 13) Kishida, H.¹⁾, Suzuki, T., Saito, T.¹⁾, Otsu, F., Hata, N.¹⁾, Nejima, J.¹⁾, Kusama, Y.¹⁾, Yasutake, H.¹⁾ and Inokuchi, N.¹⁾ (1)1st Dep. of Int. Med.): [原著] Characteristics of symptomatic and asymptomatic myocardial ischemia during ambulatory electrocardiographic monitoring in patients with angina pectoris. Jpn. Heart J., **30**, 151~162, 1989.

学会発表

- 1) 鈴木健, 大津文雄, 富士崎成子, 田中邦夫, 小林薫, 針谷吉人, 八幡浩二, 岸田浩¹⁾, 早川弘一¹⁾, 奥村英正¹⁾ (第1内科) : [一般講演] 本態性高血圧者の運動負荷試験; 血行動態とカテコラミンの関係. 第85回日本内科学会講演会, 1988.
- 2) 福岡長知, 小林薫, 栗原広孝, 田中邦夫, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一, 奥村英正¹⁾, 鈴木守²⁾, (第1内科, ²⁾群馬大学寄生虫学) : [一般講演] Qinghaosu により救命し得た重症熱帯熱マラリアの1例. 第373回日本内科学会関東地方会, 1988.
- 3) Fukuma, N., Suzuki, T., Otsu, F., Tanaka, K., Hariya, Y., Yahata, K., Kishida, H.¹⁾ and Hayakawa, H. (¹⁾1st Dept. of Int. Med.) : [一般講演] Comparison of therapeutic response to calcium antagonist (Nisoldipine) between resting angina pectoris with ST-segment depression and elevation on Holter ECG. 3rd International Symposium on Holter Monitoring (London), 1988.
- 4) 渡部眞理, 田中邦夫, 富士崎成子, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一, 奥村英正¹⁾ (第1内科) : [一般講演] 多摩地区における輸血後肝炎発生状況と供血者肝機能の検討. 第65回日本医科大学医学会, 1988.
- 5) 栗原広孝, 小林薫, 田中邦夫, 富士崎成子, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一 : [一般講演] 24時間記録携帯用血圧計による高令者の血圧日内変動の検討. 第7回関東老年病研究会, 1988.
- 6) 小林薫, 田中邦夫, 富士崎成子, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一, 岸田浩¹⁾, 早川弘一¹⁾ (第1内科) : [一般講演] 非観血的携帯用血圧測定装置による血圧日内変動の検討. 第9回ホルター心電図研究会, 1988.
- 7) 吉田美由紀, 福岡長知, 田中邦夫, 富士崎成子, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一, 奥村英正¹⁾, (第1内科) : [一般講演] 異型狭心症を合併した原発性甲状腺機能低下症の1例. 第374回日本内科学会関東地方会, 1988.
- 8) Nagasawa, K., Seto, H.¹⁾, Aramaki, T.¹⁾, Katsuta, Y.¹⁾, Ohsuga, E.¹⁾, Imaizumi, T., Hatta, S.²⁾ and Okumura, H.¹⁾ (¹⁾1st Dept. of Int. Med., ²⁾Hakujiji G. Hospt.) : [一般講演] The estimation of portal pressure in patients with chronic liver disease using a multivariate analysis. XIII International Congress of Gastroenterology (Rome), 1988.
- 9) 八島正明, 古明地弘和, 鈴木健, 富士崎成子, 大津文雄, 針谷吉人, 八幡浩二, 長澤紘一, 奥村英正¹⁾, 厨信一郎²⁾ (第1内科, ²⁾第3内科) : [一般講演] 尿崩症にて発症した急性骨髄性白血病の1例. 第376回日本内科学会関東地方会, 1988.
- 10) 斉藤勉¹⁾, 岸田浩¹⁾, 安武ひろ子¹⁾, 猪口直美¹⁾, 畑典武¹⁾, 鈴木健, 大津文雄, 早川弘一¹⁾ (第1内科) : [一般講演] 狭心症における無症候性心筋虚血の発生機序. 第5回日本心電学会学術集会, 1988.
- 11) 木内要¹⁾, 岸田浩¹⁾, 猪口直美¹⁾, 安武ひろ子¹⁾, 斉藤勉¹⁾, 畑典武¹⁾, 鈴木健, 大津文雄, 早川弘一¹⁾ (第1内科) : [一般講演] 狭心症患者の予後推定に対するホルター心電図法の有用性について. 第5回日本心電学会学術集会, 1988.
- 12) 星野公彦, 福岡長知, 田中邦夫, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一, 岸田浩¹⁾, 早川弘一¹⁾, 奥村英正¹⁾ (第1内科) : [一般講演] 急性心筋梗塞超急性期の臨床所見の検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 13) 中原保裕¹⁾, 吉岡優子¹⁾, 村田正弘¹⁾, 栗原広孝, 田中邦夫, 鈴木健, 富士崎成子, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一 (多摩永山病院薬剤科) : [一般講演] 気管支喘息発作の治療における TDM の有用性. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 14) 倉品修平¹⁾, 中川恵理¹⁾, 伊佐野京子¹⁾, 飯野幸永¹⁾, 長澤紘一, 前田昭太郎²⁾ (多摩永山病院中央検査室, ²⁾同病理) : [一般講演] 剖検例の細菌学的検索. 第2報 弱毒菌の動向. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 15) 井上淳¹⁾, 岩名敦子¹⁾, 岡崎桂子¹⁾, 岡本直人¹⁾, 木原麻奈美¹⁾, 飯野幸永¹⁾, 長澤紘一 (多摩永山病院中央検査室) : [一般講演] 血漿フルクトサミン測定の基礎的検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.

- 16) 福間長知, 齊藤勉¹⁾, 岸田浩¹⁾, 安武ひろ子¹⁾, 木内要¹⁾, 畑典武¹⁾, 鈴木健, 大津文雄, 早川弘一¹⁾, 奥村英正¹⁾ (¹⁾第1内科): [一般講演] Silent myocardial ischemia の予後. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 17) 高田月彦¹⁾, 吉岡正智¹⁾, 田中洋介¹⁾, 山田和人¹⁾, 樋口勝美¹⁾, 谷口善郎¹⁾, 塩田吉宣¹⁾, 増森興治¹⁾, 山田智彦¹⁾, 多田祐美子, 前田昭太郎²⁾, 恩田昌彦³⁾ (¹⁾多摩永山病院外科, ²⁾同病理, ³⁾第1外科): [一般講演] 出血性ショックに陥った十二指腸平滑筋腫の1例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 18) 栗原広孝, 小林薫, 田中邦夫, 富士崎成子, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一, 八幡浩二, 早川弘一¹⁾, 奥村英正¹⁾ (¹⁾第1内科): [一般講演] 24時間記録携帯用血圧計による高令者の血圧日内変動と臨床的特徴. 第30回日本老年医学会総会, 1988.
- 19) 哲翁弥生, 今泉孝敬, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一, 奥村英正¹⁾ (¹⁾第1内科): [一般講演] 抗凝固療法により生じた肝被膜下出血の1例. 第377回日本内科学会関東地方会, 1988.
- 20) 多田祐美子, 今泉孝敬, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一, 前田昭太郎¹⁾, 奥村英正²⁾ (¹⁾多摩永山病院病理, ²⁾第1内科): [一般講演] 抗下垂体抗体陽性甲状腺機能低下症を合併した overlap syndrome の1例. 第378回日本内科学会関東地方会, 1988.
- 21) 中原保裕¹⁾, 吉岡優子¹⁾, 浜田康次¹⁾, 村田正弘¹⁾, 田中邦夫, 富士崎成子, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一 (¹⁾多摩永山病院薬剤科): [一般講演] 気管支喘息発作時における theophylline therapeutic range の意義. 第9回日本臨床薬理学会, 1988.
- 22) 齊藤勉¹⁾, 岸田浩¹⁾, 福間長知, 畑典武¹⁾, 鈴木健, 大津文雄, 早川弘一¹⁾, 奥村英正¹⁾ (¹⁾第1内科): [一般講演] 労作狭心症に対する持続性 β 遮断薬 Carvedilol の抗狭心症効果; Holter 心電図法による検討. 第9回日本臨床薬理学会, 1988.
- 23) 杉山佳世子¹⁾, 前田昭太郎¹⁾, 大塚俊司¹⁾, 東敬子¹⁾, 奥田朗夫¹⁾, 哲翁弥生, 今泉孝敬, 山本鼎²⁾, 大竹清子³⁾ (¹⁾多摩永山病院病理, ²⁾同放射線科, ³⁾第2病理): [展示] アミラーゼ産生性若年型肺癌の1例. 第27回日本細胞学会秋期大会学術講演会, 1988.
- 24) 多田祐美子, 中込明裕, 福間長知, 田中邦夫, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一, 前田昭太郎¹⁾ (¹⁾多摩永山病院病理): [一般講演] 大動脈弁穿破をきたした β -Streptococcus A 群感染性心内膜炎の2例. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 25) 伊佐野京子¹⁾, 中川恵理¹⁾, 倉品修平¹⁾, 飯野幸永¹⁾, 栗原広孝, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一 (¹⁾多摩永山病院中央検査室): [一般講演] 成人リステリア脳髄膜炎の1例. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 26) 吉岡優子¹⁾, 中原保裕¹⁾, 村田正弘¹⁾, 田中邦夫, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一, 八幡浩二 (¹⁾多摩永山病院薬剤科): [一般講演] 他抗生剤併用時における TOB の体内動態に関する検討. 第23回日本成人病学会, 1989.
- 27) 福間長知, 岸田浩¹⁾, 安武ひろ子¹⁾, 木内要¹⁾, 齊藤勉¹⁾, 畑典武¹⁾, 鈴木健, 大津文雄, 早川弘一¹⁾, 奥村英正¹⁾ (¹⁾第1内科): [一般講演] 陳旧性心筋梗塞例における梗塞領域と無症候性一過性虚血発作との関係. 第23回日本成人病学会, 1989.
- 28) 哲翁弥生, 内田高浩, 今泉孝敬, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一, 山本鼎¹⁾, 前田昭太郎²⁾, 奥村英正³⁾ (¹⁾多摩永山病院放射線科, ²⁾同病理, ³⁾第1内科): [一般講演] 若年発症アミラーゼ産生肺癌の1例. 第380回日本内科学会関東地方会, 1989.
- 29) 多田祐美子, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一, 前田昭太郎¹⁾, 早川弘一²⁾, 丸山二郎³⁾, 川越栄³⁾, 宗像純司¹⁾ (¹⁾多摩永山病院病理, ²⁾第1内科, ³⁾都立駒込病院): [一般講演] 長期生存し得た完全大血管転位症に大動脈縮窄症を合併した1剖検例. 第131回日本循環器学会関東甲信越地方例会, 1989.
- 30) 桜井太一郎, 栗原広孝, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一, 奥村英正¹⁾, 村山享一²⁾ (¹⁾第1内科, ²⁾多摩

永山病院脳神経外科)：〔一般講演〕マイコプラズマ肺炎に合併した脊髄炎の1例。第381回日本内科学会関東地方会，1989.

- 31) 滝田孝之，清野精彦¹⁾，大木清司¹⁾，塚本浩¹⁾，中村辰男¹⁾，稲福睦美¹⁾，田中啓治¹⁾，高野照夫¹⁾，早川弘一²⁾ (¹⁾集中治療室，²⁾第1内科)：〔一般講演〕本邦冠動脈疾患症例における末梢動脈硬化の進展に関する分析。第53回日本循環器学会総会，1989.
- 32) 岸田浩¹⁾，福岡長知¹⁾，齊藤勉¹⁾，畑典武¹⁾，川口信子¹⁾，安武正弘¹⁾，大津文雄，鈴木健 (¹⁾第1内科)：〔一般講演〕梗塞前狭心症欠如例における心筋梗塞患者の疼痛閾値と silent myocardial ischemia (SMI) の関係。第53回日本循環器学会総会，1989.

2. 第二内科学講座

[第一病院内科]

研究概要

第二内科学教室の研究テーマは脳血管障害の病態を明らかにし、その最新の知見を治療に応用することであり、動物を用いた実験的研究およびCT, MRI, SPECT, PETを用いた臨床からの研究が行われている。

実験的研究では、脳卒中の急性期の病態につき生化学的、生理学的、病理学的にアプローチを行っている。そのなかでも現代医学においてその生物学的作用から最も注目されている物質の一つであるプロスタグランジンの脳虚血急性期の病態に及ぼす影響や、ロイコトリエンの脳浮腫発生や発展に及ぼす影響に関する研究がなされている。また、近年この分野におけるトピックの一つであり、痴呆との関連性が示唆されている海馬の遅発性神経壊死のメカニズムに関しても研究が進められている。

一方、臨床においても、今後高齢人口の増加に伴って増加の予想される痴呆の研究がPET, MRIを使用して行われている。また、脳血管障害の予知・予防という観点より、脳血管障害の重要な基礎疾患である高血圧、高脂血症の研究が疫学および細胞・組織学的な方面よりアプローチされている。さらに、本教室では透析を中心とした腎臓研究グループがあり、臨床的研究がなされている。

以上、本教室には四つの研究グループがあり、国内外の関係学会において幅広く、活発な活動を行い、多くの論文を発表している。

研究業績

論文

- 1) 赫彰郎, 氏家隆, 花島浩¹⁾, 漆山和夫²⁾, 後藤達範²⁾, 宮崎徳蔵³⁾, 津島隆也³⁾, 伊与田浩介⁴⁾, 池田祐司⁴⁾, 瀬田健一⁵⁾, 飯島紘栄⁶⁾, 金川卓郎⁷⁾, 清水康弘⁷⁾, 布施喜八⁸⁾, 渡辺庄浩⁹⁾, 水野一晴⁹⁾, 立花米一¹⁰⁾, 笠原昇¹¹⁾ (¹⁾佼成病院, ²⁾栃木県県南総合病院, ³⁾東京都多摩老人医療センター, ⁴⁾博慈会記念病院, ⁵⁾老人病研究所附属病院, ⁶⁾大野中央病院, ⁷⁾田尻ヶ丘病院, ⁸⁾恵仁会病院, ⁹⁾済生会平塚病院, ¹⁰⁾目白第二病院, ¹¹⁾初石病院) : [原著] 脳血管を合併した本態性高血圧症に対する Enalapril Maleate (レニベース錠) の臨床効果. 医と薬学, **19**, 965~977, 1988.
- 2) 赫彰郎 : [総説] くも膜下出血. 今月のニュードラッグ, **15**, 35~45, 1988.
- 3) Memezawa, H., Katayama, Y., Sugimoto, S., Shimizu, J., Suzuki, S., Kashiwagi, F., Kamiya, T., Nagazumi, A. and Terashi, A. : [原著] The effect of HFC diet on experimental cerebral ischemia. Jpn. Heart J., **129**, 580, 1988.
- 4) Katsura, K., Minamisawa, H., Katayama, Y., Shimizu, J., Goto, T., Urushiyama, K., Terashi, A., Kanda, Y.¹⁾ and Yoshino, Y.¹⁾ (¹⁾Second Department of Biochemistry) : [原著] Plasma levels of leukotrien C₄, B₄, slow reacting substance of anapylaxis in chondological phases of cerebrovascular disease. Prostaglandins, **36**, 655~665, 1988.
- 5) Malmqrist, K. G.¹⁾, Brun, A.¹⁾, Inamara, K., Martins, E.¹⁾, Salford, L. G.¹⁾, Siesjö, B. K.¹⁾, Topper, V. A. S.¹⁾ and Themner, K.¹⁾ (¹⁾Lund University) : [原著] Proton microprobe and particle induced x-ray emission (PIXE) Analysis for studies of pathological brain tissue. Scanning Microsc., **2**, 1685~1693, 1988.
- 6) 宮崎徳蔵¹⁾, 笠原昇, 氏家隆, 後藤達範, 赫彰郎 (¹⁾多摩老人医療センター神経内科) : [原著] 脳血管痴呆および老年痴呆の脳循環動態. 老年期痴呆, **2**, 91~96, 1988
- 7) 赫彰郎, 大友英一¹⁾, 東儀英夫²⁾, 平井俊策³⁾, 高倉公明⁴⁾, 荒木五郎⁵⁾, 伊藤栄一⁶⁾, 松田保⁷⁾, 澤田徹⁸⁾, 藤島正敏⁹⁾, 青木延雄¹⁰⁾, 小川暢也¹¹⁾ (¹⁾浴風会病院, ²⁾岩手医科大学, ³⁾群馬大学, ⁴⁾東京大学, ⁵⁾東海大学, ⁶⁾国立療養所東名

- 古屋病院, ⁷⁾金沢大学, ⁸⁾国立循環器病センター, ⁹⁾九州大学, ¹⁰⁾東京医科歯科大学, ¹¹⁾愛媛大学) : [原著] 脳血栓症に対する AK-124 (組織プラスミノゲンアクチベーター) の臨床上の有用性; 多施設二重盲検法による用量設定試験. 薬理と治療, **16**, 2207~2233, 1988.
- 8) 赫彰郎, 柏木史彦 : [総説] 抗脳浮腫薬. 臨床医, **14**, 752~754, 1988.
- 9) Tachibano, Y.¹⁾, Tsuji, Y.²⁾, Tezuka, H. and Terashi, A. (¹⁾Dept. of Int. Med. Mejiro 2nd Hospital, ²⁾Dept. of Neurosurgery, Mejiro 2nd Hospital) : Auditory brainstem response in diabetic coma and cerebral infarction. Nippon Ika Daigaku Zasshi, **55**, 329~331, 1988.
- 10) 宮崎徳蔵¹⁾, 津島隆也¹⁾, 手塚博幸, 岡本明彦, 漆山和夫²⁾, 新城之介³⁾, 伊与田浩介³⁾, 瀬田健一³⁾, 布施喜八⁴⁾, 花島浩⁵⁾, 飯島紘栄⁶⁾, 金川卓郎⁷⁾, 河野靖⁸⁾, 赫彰郎 (¹⁾多摩老人医療センター神経内科, ²⁾栃木県県南総合病院内科, ³⁾博慈会記念病院内科, ⁴⁾府中恵仁会病院内科, ⁵⁾佼成病院内科, ⁶⁾大野中央病院内科, ⁷⁾田尻ヶ丘病院内科, ⁸⁾市立富士宮総合病院) : [原著] 脳血管障害患者に対するエラスチームの長期使用経験. Geriatric Medicine, **26**, 711~719, 1988.
- 11) 羽田和正¹⁾, 長谷川卓志¹⁾, 西横貴代美¹⁾, 中島信治¹⁾, 福生吉裕, 赫彰郎 (¹⁾老人病研究所) : [症例報告] Xanthoma 患者の血清 cholesterol dynamics に関する検討. 日医大誌, **55**, 320~324, 1988.
- 12) Nakajima, S.¹⁾, Ozasa, K.¹⁾, Hada, K. and Hasegawa, T.¹⁾ (¹⁾Institute of Gerontology) : [原著] Cholesterol transfer between α - and β -lipoprotein fractions in serum; Method of estimation and some factors influencing the cholesterol translocation. Nippon Ika Daigaku Zasshi, **55**, 291~300, 1988.
- 13) Imamura, K., Smith, M.-L.¹⁾, Olsson, T.¹⁾ and Siesjö, B. K.¹⁾ (¹⁾Lund University) [原著] Pathogenesis of substantia nigra lesions following hyperglycemic ischemia; Changes in energy metabolites, cerebral blood flow and morphology of pars reticulata in a rat model of ischemia. Journal of Cerebral Blood Flow and Metabolism, **8**, 375~384, 1988.
- 14) 荒井龍彦 : [原著] 血液透析中における慢性腎不全患者の脳血流動態について. 日医大誌, **55**, 291~300, 1988.
- 15) 赫彰郎, 荒木俊彦, 北村伸 : [総説] 脳動静脈奇形. 現代医療, **20**, 1894~1897, 1988.
- 16) 赫彰郎 : [総説] 痴呆の鑑別. Medical Practice, **5**, 1453~1453, 1988.
- 17) 赫彰郎, 北村伸 : [総説] 痴呆と脳循環. Clin. Neurosci., **6**, 776~778, 1988.
- 18) 坂本静樹, 北村伸, 氏家隆, 飯尾正明¹⁾, 赫彰郎 (²⁾国立療養所中野病院) : [原著] アルツハイマー型老年痴呆の脳循環代謝に関する研究; ¹⁵O ポジトロン CT を用いて. 神経内科, **29**, 29~36, 1988.
- 19) 笠原昇 : [原著] 脳循環動態よりみた脳血管性痴呆に関する研究. 日医大誌, **55**, 337~345, 1988.
- 20) 千葉隆胤 : [原著] 脳血管障害における β -endorphin, methionin-enkephalin; 経時的変動の評価と臨床的意義. 日医大誌, **55**, 380~387, 1988.
- 21) 福生吉裕 : [その他] 国際アフェレーシス学会印象記. 日医大誌, **55**, 412~413, 1988.
- 22) Martins, E.¹⁾, Inamura, K., Themner, K.¹⁾, Malmqvist, K. G.¹⁾ and Siesjö, B. K.¹⁾ (¹⁾Lund University) [原著] Accumulation of calcium and loss of potassium in the hippocampus following transient cerebral ischemia; A proton microprobe Study. Blood Flow Metab., **8**, 531~538, 1988.
- 23) 河辺満彦¹⁾, 葉山修陽¹⁾, 荒井龍彦¹⁾, 大藺英一¹⁾, 原一男¹⁾, 赫彰郎, 福田憲昭²⁾, 中川俊²⁾, 樋口順三²⁾ (¹⁾第一病院人工透析室, ²⁾同整形外科, ³⁾東京人工腎臓センター) : [症例報告] 心因性腰痛と診断されていた維持透析患者に脊髄腫瘍の合併を認めた一症例. 透析会誌, **21**, 717~720, 1988.
- 24) 赫彰郎 : [その他] 高齢化で脳血管性痴呆症など精神症状が増加の脳卒中. 産業と経済, **42**, 84~85, 1988.
- 25) 赫彰郎, 坂本静樹 : [総説] 老年期痴呆の病態; とくに脳循環代謝の面から. Physicians Therapy Manual, **4**, 1988.

- 26) 北村伸, 氏家隆, 黒木副武, 坂本静樹, 添田敏幸, 飯尾正明, 赫彰郎 (¹国立中野病院放射線科) : [原著] パーキンソン病患者の脳血流と脳酸素代謝についての検討. *Brain and Nerve*, **40**, 979~985, 1988.
- 27) Fukuo, Y., Kobayashi, Y., Nagashima, M., Saitoh, A., Kanbara, R. and Terashi, A. : [原著] The Effect of thymectomy on experimental atherosclerosis. 8th International Symposium on Atherosclerosis Poster Session Abstract Book, p. 275, 1988.
- 28) Fukuo, Y., Nagashima, M., Saitoh, A., Kobayashi, Y., Terashi, A., Nakama, K.¹⁾ and Asano, G.²⁾ (¹Department of Laboratory Animal Sciences, ²Department of Pathology) : [原著] The effect of simvastatin, MK-733 (an inhibitor HMG-CoA reductase) on atherosclerosis in WHHL-rabbits. 8th International symposium on Atherosclerosis Poster Session Abstract Book, p. 276, 1988.
- 29) Hada, K., Hasegawa, T.¹⁾, Fukuo, Y., Terashi, A. and Nakajima, S.¹⁾ (¹Institute of Gerontology) : [原著] Metabolic disturbance of nonzymatic glycosylation of lipoproteins in patients with atherosclerosis. 8th International Symposium on Atherosclerosis Poster Session Abstract Book, p. 331, 1988.
- 30) Inaba, H., Fukuo, Y., Kobayashi, Y., Terashi, A. and Kanekawa, T.¹⁾ (¹Tajirigaoka Hospital Department of Internal Medicine) : [原著] Changes of coagulation fibrinolytic factors in cerebral thrombosis. 8th International Symposium on Atherosclerosis Poster Session Abstract Book, p. 399, 1988.
- 31) Kanbara, R., Fukuo, Y., Nagashima, M., Kobayashi, Y., Terashi, A. : [原著] Relationship between TG level and Phla in acute phase of CVA patients. 8th International Symposium on Atherosclerosis Poster Session Abstract Book, p. 440, 1988.
- 32) Kobayashi, Y., Fukuo, Y., Nakazawa, Y., Kato, H., Kanekawa, T. and Terashi, A. : [原著] The evaluation of the diagonal ear lobe crease (ELC) as an atherosclerotic sign. 8th International Symposium on Atherosclerosis Poster Session Abstract Book, p. 474, 1988.
- 33) Komaba, Y., Fukuo, Y., Hayama, N., Hara, K., Koyama, J., Hada, K., Nagashima, M., Kobayashi, Y. and Terashi, A. : [原著] Effect of LDL Apheresis on cerebrotendinous xanthomatosis. 8th International Symposium on Atherosclerosis Poster Session Abstract Book, p. 481, 1988.
- 34) Koyama, J.¹⁾, Fukuo, Y., Kobayashi, Y., Hayama, N., Hara, K., Hada, K., Terashi, A., Hasegawa, T.¹⁾ Nakajima, S.¹⁾ (¹Institute of Gerontology) : [原著] The effects of IDI apheresis on aortic pulse wave velocity (PWV) in patients with familial hyper-cholesterolemia. 8th International Symposium on Atherosclerosis Poster Session Abstract Book, p. 494, 1988.
- 35) Muramatsu, T., Fukuo, Y., Kobayashi, Y., Kato, H., Onoue, T., Komaba, Y. and Terashi, A. : [原著] Correlations of polyunsaturated fatty acid and aortic pulse wave velocity. 8th International Symposium on Atherosclerosis Poster Session Abstract Book, p. 635, 1988.
- 36) Nagashima, M., Fukuo, Y., Saitoh, A., Matsui, M.¹⁾, Nomura, N.¹⁾, Ishizaki, R.¹⁾, Iwasaki, M., Hisayasu, S.²⁾, Yoshino, Y.²⁾ and Terashi, A. (¹Cancer Research Laboratory, ²Department of Biochemistry) : [原著] Tumor necrosis factor induces the platelet derived growth factor B chain (v-sis) expression in monocytic leukemia cell lines. 8th International Symposium on Atherosclerosis Poster Session Abstract Book, p. 639, 1988.
- 37) Saitoh, A., Fukuo, Y., Matsui, M.¹⁾, Nomura, N.¹⁾, Ishizaki, R.¹⁾, Nagashima, M., Kobayashi, Y. and Terashi, A. (¹Cancer Research Laboratory) : [原著] The effect of Cu⁺⁺-oxidized low density lipoprotein (Cu⁺⁺-oxidized LDL) on the induction of the C-SIS gene expression in human myeloid leukemia cells during monocytic differentiation. 8th International Symposium on Atherosclerosis Poster Session Abstract Book, p. 801, 1988.
- 38) Shibuya, T., Kobayashi, Y., Fukuo, Y. and Terashi, A. : [原著] A study on the correlation between cerebral in-

- farction and protein C. 8th International Symposium on Atherosclerosis Poster Session Abstract Book, p. 855, 1988.
- 39) Takahashi, T., Fukuo, Y., Kobayashi, Y., Iwasaki, M., Nagashima, M., Saitoh, A., Muramatsu, T., Komaba, Y. and Terashi, A. : [原著] The effect of saturated fatty acids and polyunsaturated fatty acids on bile acids. 8th International Symposium on Atherosclerosis Poster Session Abstract Book, p. 924, 1988.
 - 40) 栗原怜¹⁾, 河辺満彦¹⁾, 米島秀夫¹⁾, 梅田貢一¹⁾, 田中孝一¹⁾, 秋葉隆²⁾, 日ノ下文彦²⁾, 福留裕一郎²⁾, 吉山直樹²⁾, 石崎正通³⁾ (¹⁾春日部秀和病院内科, ²⁾東京医科歯科大学第2内科, ³⁾第1病理) : [症例報告] 血液透析患者にみられた EDTA およびヘパリン依存性偽血小板減少症の1例. 腎と透析, **25**, 767~771, 1988.
 - 41) 栗原怜¹⁾, 河辺満彦¹⁾, 清水章¹⁾, 米島秀夫¹⁾, 富田雅乃²⁾, 吉田健²⁾, 岡田耕市²⁾ (¹⁾春日部秀和病院内科, ²⁾埼玉医科大学泌尿器科) : [症例報告] 多嚢胞化萎縮腎に胃癌の合併をみた長期透析患者の1手術例. 埼玉医大誌, **15**, 393~399, 1988.
 - 42) 五十嵐博中, 湯浅龍彦¹⁾, 藤原直士²⁾, 赫彰郎, 宮武正¹⁾ (¹⁾新潟大学脳研究所神経内科, ²⁾同医学部麻酔学教室) : [原著] In vivo ¹³C-MR spectroscopy による脳内グルコース代謝の測定および脳虚血モデルの応用. Brain Hypoxia, **2**, 41~47, 1988.
 - 43) 宮崎徳蔵¹⁾ (¹⁾多摩老人医療センター神経内科) : [総説] 脳血管障害のケアと予防排尿障害のケア. クリニシアン, **35** (375), 72~76, 1988.
 - 44) 赫彰郎, 清水純, 南澤宏明 : [原著] リポキシゲナーゼ阻害薬 AA-861. 現代医療, **20**, 3077~3080, 1988.
 - 45) 萩原万里子, 李勝彦, 海江田亮, 北浜正, 永積惇, 赫彰郎, 池田祐司¹⁾, 瀬田健一¹⁾ (¹⁾博慈会記念病院内科) : [原著] 脳血管性痴呆の MRI ; 臨床鑑別に対する一考察. 日画像医誌, **7** (3), 172~181, 1988.
 - 46) 葉山修陽, 大藺英一, 河辺満彦, 荒井龍彦, 原一男, 赫彰郎 : [症例報告] 二重内腔透析用カテーテル留置により鎖骨下静脈の閉塞を認めた1症例. 腎と透析, **25**, 950~952, 1988.
 - 47) 小林陽二, 福生吉裕, 赫彰郎 : [原著] Camostal mesilate 投与により関節痛などの自覚症状の軽快をみた慢性脾炎を合併する SLE の1例. 現代医療, **20**, 3010~3012, 1988.
 - 48) 赫彰郎, 氏家隆 : [総説] 脳血管障害と α ブロッカー, β ブロッカー. 内科, **62**, 1055~1057, 1988.
 - 49) 小林陽二, 福生吉裕, 赫彰郎, 金川卓郎¹⁾ (¹⁾田尻ケ丘病院) : [原著] 痴呆を有する脳血栓後遺症例における血清脂質に関する検討 ; 運動機能と精神機能に関する検討. 臨成人病, **118**, No. 12, 2103~2106, 1988.
 - 50) 稲村憲治, 赫彰郎, Martins, E.¹⁾ Siesjö, B. K.¹⁾ (¹⁾Lund 大学実験脳研究所) : [原著] 脳虚血後 hippocampus CAI 病変における Ca 蓄積 ; Calcium mediated cell damage の証明. Cyto-protection & Biology, **16**, 327~334, 1988.
 - 51) 重田俊一, 赫彰郎 : [総説] 脳血管障害の MRI, CT による診断. 三和医報, **25**, 49~55, 1988.
 - 52) 赫彰郎, 荒木俊彦, [総説] AV マルフォーメーション. 現代医療, **21**, 19~23, 1989.
 - 53) 赫彰郎, 清水純, 稲村憲治, 氏家隆 : [原著] 脳血障害. 循環器, **25**, 65~72, 1989.
 - 54) 赫彰郎, 手塚博幸 : [総説] 脳血栓 ; 脳動脈硬化症. 薬局, **40**, 13~19, 1989.
 - 55) Tezuka, H., Suzuki, H., Omori, Y. and Kabb, N. : [原著] Headache and Thermography. Asian Med. **32**, 57~60, 1989.
 - 56) Kitamura, S., Yamamoto, Y. L.¹⁾ Hakim, A.¹⁾, Evans, A.¹⁾ Mayer, E.¹⁾, Kato, A.¹⁾ Pokrva, R.¹⁾ (¹⁾Montred Neurologic-al Institute) : [原著] Patterns of physiological and biochemical changes in acute human cerebral infarction with and without hyperglycemia studied by positron emission tomography. Am. J. Imaging, **3**, 50, 1989.
 - 57) 宮崎徳蔵¹⁾, 赫彰郎, 新城之介²⁾, 池田祐司²⁾, 漆山和夫³⁾, 後藤達範³⁾, 飯島紘栄⁴⁾, 金川卓郎⁵⁾, 氏家隆⁶⁾ (¹⁾多摩老人医療センター神経内科, ²⁾博慈会記念病院内科, ³⁾栃木県南総合病院内科, ⁴⁾大野中央病院内科, ⁵⁾田尻ケ丘病院内科, ⁶⁾府中恵仁会病院内科) : [原著] 脳血管障害患者に対する M-101 GS (塩酸モキシシリト散) の

使用経験. 新薬と臨, 38, 2~9, 1989.

- 58) 赫彰郎, 永積惇, 手塚博幸, 北村伸, 稲村憲治, 氏家隆, 海江田亮, 坂本静樹, 五十嵐博中: [総説] 神経病学; 脳血管系を中心に. 日医新報, No. 3381, 3~18, 1989.
- 59) 赫彰郎, 荒木俊彦: [総説] 老年痴呆 (SDAT) の診断. 現代医療, 5, 56~61, 1989.
- 60) 赫彰郎, 海江田亮: [総説] クモ膜下出血の診断と治療. 臨と研, 66, 539~545, 1989.
- 61) 五十嵐博中, 湯浅龍彦¹⁾, 藤原直士²⁾, 赫彰郎, 宮武正¹⁾ (¹⁾新潟大学脳研究所神経内科学部門, ²⁾同医学部麻酔学教室): [原著] In vivo ¹³C-NMR spectroscopy による脳内グルコース代謝測定; 正常砂ネズミおよび脳虚血モデルへの応用. 脳と神, 41, 171~176, 1989.
- 62) 小林陽二, 福生吉裕, 渋谷敏道, 赫彰郎, 金川卓郎¹⁾ (¹⁾田尻ヶ丘病院): [原著] 低蛋白血症に対する SK-80 (サンケンラクト) の長期使用効果についての検討. 日本静脈・経腸栄養研究会誌, 4, 242~245, 1989.
- 63) 福生吉裕, 葉山修陽, 原一男, 赫彰郎, 瀬田健一¹⁾ (¹⁾博慈会老人病研究所付属病院): [原著] LDL-Apheresis が有効であった Cerebrotendinous Xanthomatosis の一症例. 臨神経, 29, 196~201, 1989.
- 64) 赫彰郎, 坂本静樹: [総説] 脳血管障害老人の Care と Cure 合併症とその対策. 循環科学, 9, 272~276, 1989.
- 65) 大山雅史, 手塚博幸, 福地孝明, 路川健, 赫彰郎: [症例報告] 病側が交代した再発性 Tolosa-Hunt 症候群の一例. 臨神経, 29, 315~317, 1989.

著 書

- 1) Fukuo, Y., Hayama, N., Koyama, J., Nagashima, M., Hara, K., Terashi, A., Tamaki, C.¹⁾ and Sata, K.¹⁾ (¹⁾Institute of Geriatric Hospital): [分担] Effect of LDL apheresis on a case of cerebrotendinous xanthomatosis. "Therapeutic Plasmapheresis VII", p. 316~337, ISAO Press, 1989.
- 2) 赫彰郎: [分担] 脳梗塞急性期の治療. "脳神経外科シリーズ 閉塞性脳血管障害の治療" (高倉公明監修), 現代医療社, p. 19~31, 1989.
- 3) 福生吉裕, 小林陽二, 永島幹夫, 齊藤彰: マクロファージの泡沫化を調節する胸腺因子の研究・科研費一般-C 報告書, p. 1~62, 1989.

学会発表

- 1) 大藺英一, 葉山修陽, 池田一則, 岡史篤, 荒井龍彦, 原一男, 赫彰郎, 石崎正通¹⁾, 馬杉洋三¹⁾, 大国寿士²⁾ (¹⁾第1病理, ²⁾微生物免疫): [一般講演] 急性腎不全を呈した PSAGN の1症例. 第18回日本腎臓学会東部部会, 1988.
- 2) 臼田和弘, 千葉隆胤, 飯田正美, 溝口正明, 原一男, 赫彰郎: [一般講演] 著明な末梢血好酸球増加を伴った肺癌 (大細胞癌) の1例. 第373回日本内科学会関東地方会, 1988.
- 3) 五十嵐博中, 赫彰郎, 藤原博士¹⁾, 湯浅龍彦²⁾, 宮武正²⁾ (¹⁾新潟大学医学部麻酔科学教室, ²⁾同脳研究所神経内科学部門): [一般講演] In vivo ¹³C NMR spectroscopy による砂ネズミ脳内グルコース測定. 第29回日本神経学会総会, 1988.
- 4) 李勝彦, 北浜正, 萩原万里子, 海江田亮, 石原島繁彦¹⁾, 永積惇, 赫彰郎, 池田祐司²⁾, 瀬田健一²⁾, 大津直之³⁾ (¹⁾第2病理, ²⁾博慈会記念病院内科, ³⁾同病理部): [一般講演] MRI にて白質に広汎な高信号域を呈した高齢者の脳血管造影所見と病理学的検討. 第29回日本神経学会総会, 1988.
- 5) 北浜正, 萩原万里子, 李勝彦, 海江田亮, 永積惇, 赫彰郎: [一般講演] MRI による小脳脳幹部の評価; OPCA 例における検討. 第29回日本神経学会総会, 1988.
- 6) 坂本博樹, 北村伸, 氏家隆, 黒木副武, 今津修¹⁾, 荒木俊彦, 添田敏幸, 赫彰郎, 飯尾正明²⁾ (¹⁾初石病院神経内科, ²⁾国立療養所中野病院放射線科): [一般講演] アルツハイマー型老年痴呆の局所脳血流, 酸素代謝に関す

る検討. 第29回日本神経学会総会, 1988.

- 7) 北村伸, 荒木俊彦, 坂本静樹, 黒木副武, 氏家隆, 添田敏幸, 飯尾正明¹⁾, 赫彰郎^(¹国立療養所中野病院放射線科): [一般講演] 多発梗塞性痴呆の発現についての脳循環代謝面よりの検討. 第29回日本神経学会総会, 1988.
- 8) 濱本眞¹⁾, 宮崎徳蔵¹⁾, 津島隆也²⁾ (¹東京都多摩老人医療センター神経内科, ²同健康管理室): [一般講演] 高血圧老人に関する研究. 第2報 降圧療法の影響について. 第29回日本神経学会総会, 1988.
- 9) 鈴木秀徳, 大森容子, 海江田亮, 萩原万里子, 北浜正, 永積惇, 赫彰郎: [一般講演] 視床出血の保存的治療による予後; 多変量解析にての検討. 第29回日本神経学会総会, 1988.
- 10) 桂研一郎, 神田佳和¹⁾, 清水純, 片山泰朗, 南澤宏明, 久安早苗¹⁾, 赫彰郎, 吉野芳夫¹⁾ (¹第2生化): [一般講演] Vitamin A 欠乏ラット脳虚血時の Eicosanoids 産生と Vitamin A 投与の影響. 第29回日本神経学会総会, 1988.
- 11) 稲村憲治, 赫彰郎, Martins, E¹⁾, Smith, M.-L.¹⁾, Siesjö, B. K.¹⁾ (¹Lund 大学実験脳研究): [一般講演] Status epilepticus における substantia nigra の障害. (第一報) ¹⁴C-DMO による局所 pH 検討. 第29回日本神経学会総会, 1988.
- 12) 勝又俊弥, 大山雅史, 黒木副武, 北村伸, 手塚博幸, 赫彰郎: [一般講演] Hemiballismus の臨床所見と CT 所見との比較検討. 第29回日本神経学会総会, 1988.
- 13) 大森容子, 鈴木秀徳, 海江田亮, 萩原万里子, 北浜正, 手塚博幸, 永積惇, 赫彰郎: [一般講演] 頭痛とサーモグラフィ; 脳血管性頭痛患者の冷却負荷試験による自律神経機能評価の試み. 第29回日本神経学会総会, 1988.
- 14) 神谷達司, 片山泰朗, 清水純, 鈴木悟, 目々澤肇, 柏木史彦, 飯田恵, 永積惇, 赫彰郎: [一般講演] Bradykinin (BK) の脳浮腫発生の関与に関する研究. (第2報) 実験的脳虚血における血中 BK の経時的測定. 第29回日本神経学会総会, 1988.
- 15) Fukuo, Y.: [招待講演] Effect of LDL apheresis on cerebrotendinous xanthomatosis. World Apheresis Association, 2nd International Congress (Ottawa, Canada), 1988.
- 16) 栗原怜¹⁾, 河辺満彦¹⁾, 米島秀夫¹⁾, 秋葉隆²⁾, 葉山修陽, 石橋正通³⁾ (¹春日部秀和病院腎臓内科, ²東京医科歯科大学第2内科, ³第1病理): [一般講演] 血漿交換および免疫吸着療法が有効であった SLE に伴った自己免疫性溶血性貧血の1例. 第18回日本腎臓学会東部部会, 1988.
- 17) Tachibana, Y¹⁾, Tezuko, H. and Terashi, A. (¹Department of Internal Medicine, Mejiro 2nd Hospital): [一般講演] Auditory brain stem responses in cerebrovascular disease. The 6th Shogun Medical Society Meeting (Tokyo), 1988.
- 18) Inamura, K., Martins, E.¹⁾, Themner, K.¹⁾, Malmqvist, K. G.¹⁾, Terashi, A. and Siesjö, B. K.¹⁾ (¹Lund University): [招待講演] Calcium accumulation in ischemia and seizures. Cerebral Ischemia and Calcium (F. R. G.), 1988.
- 19) 葉山修陽, 小林陽二, 鈴木秀徳, 大藺英一, 荒井龍彦, 原一男, 赫彰郎, 金川卓郎¹⁾, 石橋正通²⁾, 馬杉洋三²⁾ (¹田尻ヶ丘病院, ²第1病理): [一般講演] Shunt nephritis の1症例. 第18回日本腎臓学会東部部会, 1988.
- 20) 勝又俊弥, 岩崎正知, 氏家隆, 荒木宏, 赫彰郎: [一般講演] 高齢パーキンソン病患者で、経過中に日和見感染症を繰り返したネフローゼ症候群を併発した2症例. 第7回関東老年病学会, 1988.
- 21) 李勝彦, 北浜正, 氏家隆, 永積惇, 赫彰郎: [一般講演] MRI (SE 法) にて片側大脳皮質に進行性に広汎な高信号域を認めた1症例. 第105回日本神経学会関東地方会, 1988.
- 22) 桂研一郎, 清水純, 片山泰朗, 南澤宏明, 赫彰郎, 神田佳和¹⁾, 吉野芳夫¹⁾ (¹第2生化): [一般講演] Vitamin A 欠乏ラット脳虚血時の Eicosanoids 産生と Vitamin A 投与の影響. 第11回脳浮腫研究会, 1988.
- 23) 赫彰郎: [特別講演] 知的機能障害の PET. 第7回群馬脳卒中研究会, 1988.
- 24) 山室学¹⁾, 今井博彦¹⁾, 柳沢正志¹⁾, 高木信一¹⁾, 池田祐司¹⁾, 北浜正¹⁾, 新城之介¹⁾, 永積惇, 赫彰郎 (¹博慈会記

- 念病院内科)：〔一般講演〕遺伝性血管神経浮腫の発作時に脳梗塞を合併した1症例。第375回日本内科学会関東地方会，1988。
- 25) 和田志津子¹⁾，三輪祐一¹⁾，三富哲郎¹⁾，今井博康¹⁾，宮川秀郎，吉池保博¹⁾，長岡章平¹⁾，服部誠¹⁾，千場純¹⁾ (¹⁾国病横須加内科)：〔一般講演〕興味ある CRK isoenzyme pattern および Tl 心筋シンチ所見を呈した多発性筋炎の1例。第375回日本内科学会関東地方会，1988。
- 26) 葉山修陽，大藁英一，荒井龍彦，原一男，赫彰郎，栗原怜¹⁾，河辺満彦¹⁾，米島秀夫¹⁾ (¹⁾春日部秀和病院内科)：〔一般講演〕腎不全における脂質代謝異常と二次性副甲状腺機能亢進症の関連について。第33回日本透析療法学会総会，1988。
- 27) 赫彰郎：〔特別講演〕脳血管障害の臨床。第1回北摂老年神経疾患懇話会，1988。
- 28) 河辺満彦¹⁾，栗原怜¹⁾，米島秀夫¹⁾，那須亮一²⁾，木村祥一郎³⁾，秋葉隆³⁾，葉山修陽，矢部啓夫³⁾，中川智之³⁾ (¹⁾春日部秀和病院腎臓内科，²⁾同放射線科，³⁾東京医科歯科大学第2内科，⁴⁾慶應義塾大学整形外科)：〔一般講演〕骨ファントムを使用した Q-CT 法による慢性透析患者の骨評価。第33回日本透析療法学会総会，1988。
- 29) 栗原怜¹⁾，加藤仁志¹⁾，河辺満彦¹⁾，森島明¹⁾，米島秀夫¹⁾，秋葉隆²⁾，葉山修陽 (¹⁾春日部秀和病院腎臓内科，²⁾東京医科歯科大学第2内科)：〔一般講演〕血液透析患者に対する r-HuEPO 投与の循環動態に及ぼす影響。第33回日本透析療法学会総会，1988。
- 30) 大藁英一，葉山修陽，駒場祐一，荒井龍彦，大森容子，原一男，赫彰郎，栗原怜¹⁾，河辺満彦¹⁾，米島秀夫¹⁾ (¹⁾春日部秀和病院腎臓内科)：〔一般講演〕透析患者の右心機能評価。1. Double Shunt Case. 第33回日本透析療法学会総会，1988。
- 31) 栗原怜¹⁾，河辺満彦¹⁾，米島秀夫¹⁾，秋葉隆²⁾，矢部啓夫³⁾，中川智之³⁾，葉山修陽，佐藤茂⁴⁾，相原薫⁴⁾ (¹⁾春日部秀和病院腎臓内科，²⁾東京医科歯科大学第2内科，³⁾慶應義塾大学整形外科，⁴⁾中央電顕施設)：〔一般講演〕慢性血液透析患者における鉄過剰と鉄骨症。第6回日本骨代謝学会，1988。
- 32) 秋葉隆¹⁾，吉山直樹¹⁾，丸茂文昭¹⁾，河辺満彦²⁾，栗原怜²⁾，米島秀夫²⁾ (¹⁾東京医科歯科大学第2内科，²⁾春日部秀和病院腎臓内科)：〔一般講演〕クエン酸カルシウムのりん吸着薬としての有用性。第6回日本骨代謝学会，1988。
- 33) Fukuo, Y., Suzuki, H., Iwasaki, M., Muramatsu, T., Kobayashi, Y. and Terashi, A.：〔一般講演〕The effect of magnesium on terminal bloodflow and skin temperature ; Thermographical study. Fifth International Magnesium Symposium (Kyoto), 1988。
- 34) 永島幹夫：〔一般講演〕単芽球性細胞株において腫瘍壊死因子 (TNF) は血小板由来増殖因子 B-鎖 (V-sis) 発現を誘導する。第8回千里セミナー，1988。
- 35) 海江田亮，勝又俊弥，坂本静樹，北村伸，赫彰郎：〔一般講演〕超皮質性運動型を呈した交叉性失語の1例。第106回日本神経学会関東地方会，1988。
- 36) 本田治久¹⁾，酒寄修¹⁾，後藤達範¹⁾，千葉隆胤¹⁾，漆山和夫¹⁾，坂本静樹，北村伸，赫彰郎 (¹⁾栃木県県南総合病院)：〔一般講演〕高次神経機能障害である失語症診断における X 線 CT の限界について。第56回日本医科大学医学会総会，1988。
- 37) 稲村憲治：〔海外留学者講演〕脳虚血およびテンカンによる脳神経細胞障害のメカニズム；黒質障害と calcium mediated cell damage について。第56回日本医科大学医学会総会，1988。
- 38) 高木信一¹⁾，北浜正¹⁾，今井博彦¹⁾，山室学¹⁾，新城之介²⁾，鈴木秀徳，於保倫之助，永積惇，赫彰郎 (¹⁾博慈会記念病院内科，²⁾同老人病研究所)：〔一般講演〕視床出血の保存的治療による予後；多変量解析による検討。第56回日本医科大学医学会総会，1988。
- 39) 花島浩¹⁾，勝野浩¹⁾，飯田正美¹⁾，前田まみ子¹⁾，岡本弘子¹⁾，鈴木悟¹⁾，岩田好文¹⁾，福地孝明，勝又俊弥¹⁾ (¹⁾佼成病院内科)：〔一般講演〕橋出血の予後についての検討；虚血症性心患に対する Dypiridamol 負荷法による心筋

Single Photon Emission CT (SPECT) の臨床的有用性の検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.

- 40) 駒場祐一, 村松忠, 尾上敏夫, 加藤仁志, 福生吉裕, 赫彰郎, 五十嵐義晃¹⁾, 森島明²⁾ (¹⁾第一病院放射線科, ²⁾春日部秀和病院): 虚血性心疾患に対する Dipyridamol 負荷法による心筋 Single Photon Emission CT (SPECT) の臨床的有用性の検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 41) 葉山修陽¹⁾, 大藺英一¹⁾, 荒井龍彦¹⁾, 原一男¹⁾, 赫彰郎, 清水一雄²⁾, 庄司佑²⁾, 栗原怜³⁾, 河辺満彦³⁾, 米島秀夫³⁾ (¹⁾第一病院人工透析室, ²⁾第2外科, ³⁾春日部秀和病院腎内科): [一般講演] 腎性上皮小体機能亢進症7例の経験. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 42) 栗原怜¹⁾, 河辺満彦¹⁾, 清水章¹⁾, 米島秀夫¹⁾, 加藤仁志²⁾, 森島明²⁾, 葉山修陽 (¹⁾春日部秀和病院腎内科, ²⁾同循環器内科): [一般講演] Recombinant Human Erythropoietin (r-HuEPO) による血液透析患者に対する貧血の治療. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 43) 永島幹夫, 斉藤彰, 福生吉裕, 赫彰郎, 松井南¹⁾, 野村信夫, 石崎良太郎¹⁾ (¹⁾日本獣医畜産大学分子腫瘍学研究室): [一般講演] 腫瘍壊死因子 (TNF) は単球の血小板由来増殖因子 (PDGF) の放出刺激因子か? 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 44) 長谷川卓志¹⁾, 羽田和正, 西楨貴代美¹⁾, 大網弘¹⁾, 小山美弥¹⁾, 中島信治¹⁾ (¹⁾老人病研究所): [一般講演] ストレス負荷による代謝変化の動脈硬化に及ぼす影響について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 45) 斉藤彰, 福生吉裕, 永島幹夫, 小林陽二, 赫彰郎, 松井南¹⁾, 野村信夫¹⁾, 石崎良太郎 (¹⁾日本獣医畜産大学分子腫瘍学研究室): [一般講演] マクロファージの分化とアポE発現; 特に脂質代謝との関連について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 46) 羽田和正, 長谷川卓志¹⁾, 小山潤三, 西楨貴代美¹⁾, 中島信治¹⁾, 福生吉裕 (¹⁾老人病研究所): [一般講演] 八丈島民と都会住民のタウリンについての比較検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 47) 中山一郎¹⁾, 勝又俊弥, 福地孝明, 鈴木悟, 岩田好文¹⁾, 岡本弘子¹⁾, 前田きみ子¹⁾, 勝野浩¹⁾, 飯田正美, 花島浩¹⁾ (¹⁾佼成病院内科): [一般講演] 6年間に4回の発症をみた再発性脳出血の1例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 48) 荒木宏, 福生吉裕, 岩崎正知, 永島幹夫, 小林陽二, 今井博彦, 山室学, 高木信一, 松信精一, 北浜正, 本田治久, 赫彰郎, 瀬田健一¹⁾, 新家陽樹¹⁾ (¹⁾博慈会老人病研究所付属病院): [一般講演] 慢性期脳梗塞患者におけるアポEの遺伝的表現型の解析. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 49) 青山純夫¹⁾, 稲村憲治¹⁾, 渡部均¹⁾, 金川卓郎¹⁾, 葉山修陽, 小林陽二, 赫彰郎, 馬杉洋三²⁾, 広瀬久昭³⁾ (¹⁾田尻ヶ丘病院, ²⁾第1病理, ³⁾国立精神神経センター): [一般講演] V-A shunt に合併した shunt nephritis の1例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 50) 山室学¹⁾, 今井博彦¹⁾, 高木信一¹⁾, 松信精一¹⁾, 北浜正¹⁾, 新城之介²⁾, 柳沢正志, 永積惇, 赫彰郎 (¹⁾博慈会記念病院内科, ²⁾同老人病研究所): [一般講演] Heart stroke により Pancerebellar syndrome をきたした1例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 51) 加部直美, 鈴木秀徳, 大森容子, 海江田亮, 萩原万里子, 北浜正, 永積惇, 赫彰郎: [一般講演] 脳血管障害とサーモグラフィー; 知覚障害の定量的評価について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 52) 岩崎正知, 福生吉裕, 赫彰郎: [一般講演] 脳卒中とマグネシウム; 主に局所脳循環からの考察. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 53) 坂本静樹, 北村伸, 氏家隆, 荒木俊彦, 黒木副武, 添田敏幸, 赫彰郎: [一般講演] アルツハイマー型老年痴呆の脳循環代謝に関する検討; ¹⁵O ポジトロン CT を用いて. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 54) 村松忠, 加藤仁志, 福生吉裕, 北村伸, 手塚博幸, 赫彰郎, 森島明¹⁾ (¹⁾春日部秀和病院内科): [一般講演] 心筋症を合併した Becker type の progressive muscle dystrophy (DMP) の1症例. 第56回日本医科大学医学会総

- 会, 1988.
- 55) 海江田亮, 北浜正, 李勝彦, 萩原万里子, 永積惇, 赫彰郎: [一般講演] MRI における脳室内周囲高信号領域の検討. 第30回日本老年医学会総会, 1988.
 - 56) 萩原万里子, 李勝彦, 海江田亮, 永積惇, 赫彰郎, 北浜正, 池田祐司¹⁾, 瀬田健一¹⁾, 伊与田浩介¹⁾ (¹⁾博慈会記念病院内科): [一般講演] 脳血管性痴呆の MRI; 部位による臨床的検討. 第30回日本老年医学会総会, 1988.
 - 57) 荒木俊彦, 北村伸, 坂本静樹, 黒木副武, 氏家隆, 添田敏幸, 飯尾正明¹⁾, 唐崎三千代²⁾, 赫彰郎 (¹⁾国立中野病院, ²⁾初石病院): [一般講演] 多発梗塞性痴呆の発現における脳循環代謝. 第30回日本老年医学会総会, 1988.
 - 58) 吉井博¹⁾, 津島隆也¹⁾, 中野忠澄¹⁾, 賀来俊¹⁾, 村井容子¹⁾, 永井俊彦¹⁾, 宮崎徳蔵¹⁾, 中川成之輔²⁾, 一瀬邦弘²⁾, 松下哲²⁾, 伊藤雄二²⁾, 井上剛輔²⁾, 山本由記雄²⁾ (¹⁾多摩老人医療センター内科, ²⁾同臨床病理): [一般講演] 老人ホーム定期検診としての HbA1c. 第30回日本老年医学会総会, 1988.
 - 59) 渋谷敏道, 小林陽二, 福生吉裕, 赫彰郎: [一般講演] Taurine の血小板, 凝固線溶系への影響に関する検討.
 - 60) 福生吉裕, 村松忠, 小林陽二, 渋谷敏道, 羽田和正, 斉藤彰, 岩崎正知, 永島幹夫, 高橋常文, 神原礼文, 小山潤三, 尾上敏夫, 赫彰郎, [一般講演] 老けの研究: 第1報; 見かけの年齢と動脈硬化度との関係. 第30回日本老年医学会総会, 1988.
 - 61) 永積惇, 赫彰郎, 宮崎徳蔵¹⁾, (¹⁾多摩老人医療センター神経内科): [一般講演] 脳血管障害に対するエラスチームの長期使用経験; 多施設共同研究成績より. 第2回エラスチームシンポジウム, 1988.
 - 62) 片山泰朗: [一般講演] 脳血管障害発症における高血圧の関与. カプトリル発売五周年記念シンポジウム (合併症を伴う高血圧の治療), 1988.
 - 63) 酒寄修¹⁾, 本田治久¹⁾, 後藤達範¹⁾, 漆山和夫¹⁾ (¹⁾栃木県南総合病院): [一般講演] 脳血栓再発例の臨床的検討. 第28回全国国保地域医療学会, 1988.
 - 64) 竹田篤¹⁾, 鳴海福星¹⁾, 栗原怜²⁾, 河辺満彦²⁾, 米島秀夫²⁾ (¹⁾春日部秀和病院小児科, ²⁾同腎臓内科): [一般講演] 副甲状腺全摘術にて改善した腎性骨異常栄養症の1例. 第23回小児腎臓病学会, 1988.
 - 65) 千葉隆胤, 重田俊一, 三浦隆正, 北村伸, 赫彰郎: [一般講演] 脳血管障害とニューロペプチド, オピオイドペプチドの変動と臨床的意義について. 第25回日本臨床生理学会, 1988.
 - 66) 鈴木秀徳, 大森容子, 加部直美, 海江田亮, 萩原万里子, 北浜正, 永積惇, 赫彰郎: [一般講演] 脳血管障害とサーモグラフィ; 知覚障害の定量的評価について. 第25回日本臨床生理学会, 1988.
 - 67) 清水純, 鈴木悟¹⁾, 片山泰朗, 目々澤肇, 柏木史彦, 赫彰郎 (¹⁾立正佼成会付属佼成病院内科): [一般講演] フルナリジン長期投与の実験的脳卒中に及ぼす影響. 第29回日本脈管学会総会, 1988.
 - 68) 今井博彦¹⁾, 山室学¹⁾, 柳沢正志¹⁾, 高木信一¹⁾, 池田祐司¹⁾, 北浜正¹⁾, 田村治子²⁾, 新城之介²⁾, 永積惇, 赫彰郎 (¹⁾博慈会記念病院内科²⁾老人病研究所): [一般講演] 急性期脳梗塞における赤血球変形能測定; Filtrometer MF 4 を用いた検討. 第29回日本脈管学会総会, 1988.
 - 69) 柏木史彦, 片山泰朗, 清水純, 赫彰郎: [一般講演] 高張溶液 (NIK-242注) の実験的脳虚血に及ぼす効果; 脳浮腫, 脳代謝および脳血流に関する検討. 第29回日本脈管学会総会, 1988.
 - 70) 新井弘一, 飯野正昭¹⁾, 塩栄夫²⁾, 赫彰郎, 上坂伸宏¹⁾ (¹⁾第1生理, ²⁾京都大学神経内科): [一般講演] 新しい微小孔膜 (ニッケルメッシュ) を用いた赤血球浮遊液の filterability. 第29回日本脈管学会総会, 1988.
 - 71) 加部直美, 鈴木秀徳, 大森容子, 海江田亮, 萩原万里子, 北浜正, 手塚博幸, 永積惇, 赫彰郎: [一般講演] 頭痛とサーモグラフィ; 三叉神経痛と顔面皮膚温. 第29回日本脈管学会総会, 1988.
 - 72) 葉山修陽, 大藪英一, 荒井龍彦, 原一男, 赫彰郎, 栗原怜¹⁾, 河辺満彦¹⁾, 米島秀夫¹⁾ (¹⁾春日部秀和病院腎臓内科): [一般講演] 透析患者における HDL, LDL, glycosylation について. 第二報 糖尿病性腎症における透析液糖濃度の影響. 第31回日本腎臓学会総会, 1988.

- 73) 栗原怜¹⁾, 秋葉満²⁾, 河辺満彦¹⁾, 清水章¹⁾, 葉山修陽, 竹田篤¹⁾, 鳴海福星¹⁾, 丸茂文昭²⁾, 米島秀夫¹⁾ (¹⁾春日部病院腎センター, ²⁾東京医科歯科大2内) : [一般講演] r-HuEPO 再投与時の反応性の変化について. 第31回日本腎臓学会総会, 1988.
- 74) 於保倫之助, 添田敏幸, 飯田恵, 目々澤肇, 稲村憲治, 清水純, 片山泰朗, 赫彰郎 : [一般講演] SHRSP の加齢と局所脳血流量 ; オートラジオグラフィ法による検討. 第24回高血圧自然発症ラット学会総会 (SHR 学会), 1988.
- 75) 海江田亮, 北浜正, 李勝彦, 鈴木秀徳, 萩原万里子, 永積惇, 赫彰郎 : [一般講演] MRI におせる脳室周囲高信号領域の成因についての検討. 第7回日本痴呆学会, 1988.
- 76) 北村伸, 荒木俊彦¹⁾, 坂本静樹, 黒木副武, 氏家隆, 添田敏幸, 飯尾正明²⁾, 赫彰郎 (¹⁾初石病院神経内科, ²⁾国立中野病院放射線科) : [一般講演] 多発梗塞性痴呆の発現についての脳循環代謝面よりの検討. 第7回日本痴呆学会, 1988.
- 77) Fukuo, Y., Kobayashi, Y., Nagashima, M., Saitoh, A., Kanbara, R., Terashi, A. : [一般講演] The effect of thymectomy on experimental atherosclerosis. 8th International Symposium on Atherosclerosis, 1988.
- 78) Fukuo, Y., Nagashima, M., Saitoh, A., Kobayashi, Y., Terashi, A., Nakama, K.¹⁾ and Asano, G.²⁾ (¹⁾Department of Laboratory Animal Sciences, ²⁾Department of Pathology) : [一般講演] The effect of simvastatin, MK-733 (An inhibitor HMG-CoA reductase) on atherosclerosis in WHHL-rabbits. 8th International Symposium on Atherosclerosis, 1988.
- 79) Hada, K., Hasegawa, T.¹⁾, Fukuo, Y., Terashi, A. and Nakajima, S.¹⁾ (¹⁾Institute of Gerontology) : [一般講演] Metabolic disturbance of nonzymatic glycosylation of lipoproteins in patients with atherosclerosis. 8th International Symposium on Atherosclerosis, 1988.
- 80) Kobayashi, Y., Fukuo, Y., Nakazawa, Y., Kato, H., Kanekawa, T. and Terashi, A. : [一般講演] The Evaluation of the diagonal ear lobe crease (ELC) as an atherosclerotic sign. 8th International Symposium on Atherosclerosis, 1988.
- 81) Komaba, Y., Fukuo, Y., Hayama, N., Hara, K., Koyama, J., Hada, K., Nagashima, M., Kobayashi, Y. and Terashi, A. : [一般講演] Effect of LDL apheresis on cerebrotendinous xanthomatosis. 8th International Symposium on Atherosclerosis, 1988.
- 82) Koyama, J.²⁾, Fukuo, Y., Kobayashi, Y., Hayama, N., Hara, K., Hada, K., Terashi, A., Hasegawa, T.¹⁾ and Nakajima, S.¹⁾ (¹⁾Institute of Gerontology) : [一般講演] The effects of LDL apheresis on aortic pulse wave velocity (PWV) in patients with familial hyper-cholesterolemia. 8th International Symposium on Atherosclerosis, 1988.
- 83) Muramatsu, T., Fukuo, Y., Kobayashi, Y., Kato, H., Onue, T., Komaba, Y. and Terashi, A. : [一般講演] Correlations of polyunsaturated fatty acid and aortic pulse wave velocity. 8th International Symposium on Atherosclerosis, 1988.
- 84) Saitoh, A., Fukuo, Y., Matsui, M.¹⁾, Nomura, N.¹⁾, Isizaki, R.¹⁾, Nagashima, M., Kobayashi, Y. and Terashi, A. (¹⁾Cancer Research Laboratory) : [一般講演] The effect of Cu⁺⁺-oxidized low density lipoprotein (Cu⁺⁺-oxidized LDL) on the induction of the C-SIS gene expression in human myeloid leukemia cells during monocytic differentiation. 8th International Symposium on Atherosclerosis, 1988.
- 85) Shibuya, T., Kobayashi, Y., Fukuo, Y. and Terashi, A. : [一般講演] A study on the correlation between cerebral infarction and protein C. 8th International Symposium on Atherosclerosis, 1988.
- 86) Takahashi, T., Fukuo, Y., Kobayashi, Y., Iwasaki, M., Nagashima, M., Saitoh, A., Muramatsu, T., Komaba, Y. and Terashi, A. : [一般講演] The effect of saturated fatty acids and polyunsaturated fatty acids on bile acids. 8th In-

ternational Symposium on Atherosclerosis, 1988.

- 87) Nagashima, M., Fukuo, Y., Saitoh, A., Matsui, M.¹⁾, Nomura, N.¹⁾, Ishizaki, R.¹⁾, Iwasaki, M., Hisayasu, S.²⁾, Yoshino, Y. and Terashi, A. (¹Cancer Research Laboratory, ²Department of Biochemistry) : [一般講演] Tumor necrosis factor induces the platelet derived growth factor B chain (v-sis) expression in monocytic leukemia cell lines. 8th International Symposium on Atherosclerosis, 1988.
- 88) Terashi, A. : [指定発言] Regional cerebral blood flow and oxygen metabolism in patients with dementia of the Alzheimer's type with PET. The Third German-Japanese Seminar "Senile Dementia of Alzheimer's Type", 1988.
- 89) 河辺満彦¹⁾, 竹田篤¹⁾, 鳴海福星¹⁾, 栗原怜¹⁾, 米島秀夫¹⁾, 葉山修陽, 山中宣昭²⁾, 秋葉隆³⁾ (¹春日部秀和病院腎センター, ²第1病理, ³東京医科歯科大学第2内科) : [一般講演] Ig A 腎症と膜性腎症の合併例. 第377回日本内科学会関東地方会, 1988.
- 90) 加部直美, 鈴木秀徳, 大森容子, 手塚博幸, 赫彰郎 : [一般講演] 頭痛とサーモグラフィー; 血管性頭痛と筋収縮性頭痛の冷却負荷試験による比較検討. 第16回頭痛研究会, 1988.
- 91) 吉井博¹⁾, 津島隆也¹⁾ (¹東京都多摩老人医療センター健康管理室) : [一般講演] 老人ホーム定期検診として HbA_{1c}. 第30回日本老年医学会総会, 1988.
- 92) 赤沢憲治¹⁾, 津島隆也¹⁾ (¹東京都多摩老人医療センター健康管理室) : [一般講演] 老人ホームにおける婦人科疾患とホーム利用者の婦人科疾患. 第30回日本老年医学会総会, 1988.
- 93) 濱本眞¹⁾, 津島隆也²⁾, 宮崎徳蔵¹⁾ (¹東京都多摩老人医療センター神経内科, ²同健康管理室) : [一般講演] 施設老人における血圧コントロールと活発度. 第30回日本老年医学会総会, 1988.
- 94) 鈴木秀徳, 大森容子, 加部直美, 海江田亮, 萩原万里子, 北浜正, 永積惇, 赫彰郎 : [一般講演] 脳血管障害とサーモグラフィ; 健側手冷却負荷による検討. 第41回日本自律神経学会総会, 1988.
- 95) 荒木俊彦, 飯尾正明¹⁾, 北村伸, 坂本静樹, 黒木副武, 氏家隆, 添田敏幸, 赫彰郎 (¹国立中野病院放射線科) : [一般講演] 多発梗塞性痴呆の発現についての脳循環代謝面よりの検討. 第28回日本核医学会総会, 1988.
- 96) 赫彰郎 : [特別講演] 痴呆の画像診断; 特に PET を中心に. 第3回埼玉中枢神経画像診断研究会, 1988.
- 97) 清水光義, 山室学, 重田俊一, 永積惇, 赫彰郎 : [一般講演] MRI で経時的に病巣を描出しえたウイルス性脳炎の1例. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 98) 清水光義, 山室学, 重田俊一, 永積惇, 赫彰郎 : [一般講演] MRI で経時的に病巣を描出しえたウイルス性脳炎の1例. 第107回日本神経学会関東地方会, 1988.
- 99) 濱本眞¹⁾, 宮崎徳蔵¹⁾, 黒田安計²⁾, 伊藤雄三³⁾, 吉村正博⁴⁾ (¹東京都多摩老人医療センター神経内科, ²同精神科, ⁴都老人総合研究所臨床病理) : [一般講演] 大脳皮質に多数の老人斑とレビー小体を認めた1剖検例; 汎発性レビー小体病の初期像に関する研究. 第107回日本神経学会関東地方会, 1988.
- 100) 稲村憲治 : [招待講演] 虚血性細胞壊死における Ca の役割. 第8回関東 CVD 研究会, 1988.
- 101) 稲村憲治, 赫彰郎, Smith, M.-L.¹⁾, Siesjö, B. K.¹⁾ (¹Lund University) : [一般講演] 高血糖虚血における黒質障害. 第31回脳循環代謝研究会, 1988.
- 102) 五十嵐博中, 赫彰郎, 湯浅龍彦¹⁾, 宮武正¹⁾ (¹新潟大学脳研究所神経内科部門) : [一般講演] NMR による脳虚血モデルの経時的観察. 第二報 エネルギー代謝, グルコース代謝及び Na ポンプ機能. 第31回脳循環代謝研究会, 1988.
- 103) 藤原直志¹⁾, 湯浅龍彦²⁾, 五十嵐博中, 羽柴正夫¹⁾, 下地恒毅¹⁾, 宮武正²⁾ (¹新潟大学医学部麻酔学教室, ²同脳研究所神経内科学部門) : [一般講演] ¹³C NMR スペクトロスコピーでみた脳のグルコース代謝. 第31回脳循環代謝研究会, 1988.
- 104) 竹田篤¹⁾, 河辺満彦¹⁾, 葉山修陽, 鳴海福星¹⁾, 栗原怜¹⁾, 米島秀夫¹⁾ (¹春日部秀和病院腎センター) : [一般講演]

- 長期無尿状態が続いた急性肝炎に併発した急性腎不全の1例。第33回埼玉県腎不全懇談会研究発表会，1988。
- 105)加藤仁志¹⁾，森島明¹⁾，河辺満彦¹⁾，栗原怜¹⁾，山口泰¹⁾，榊原裕司¹⁾，保浦眞一¹⁾，米島秀夫¹⁾ (¹⁾春日部秀和病院内科)：〔一般講演〕ホパテン酸カルシウム長期投与例に見られた乳酸アシドーシスに対する重曹透析の治療経験。第107回日本神経学会関東地方会，1988。
- 106)加藤仁志¹⁾，森島明¹⁾，河辺満彦¹⁾，米島秀夫¹⁾，大島永久²⁾，横山基乾²⁾，中原秀樹²⁾，山田宗之²⁾ (¹⁾春日部秀和病院内科，²⁾独協医大越谷病院心臓血管外科)：〔一般講演〕高齢者腹部大動脈瘤破裂の救命例。昭和63年度南埼玉郡医師会医学集談会，1988。
- 107)加藤仁志¹⁾，森島明¹⁾，米島秀夫¹⁾，山口泰²⁾，榊原裕司²⁾，保浦眞一²⁾ (¹⁾春日部秀和病院内科，²⁾順天堂大消化器内科)：〔一般講演〕肝臓瘍の2治療例。昭和63年度南埼玉郡医師会医学集談会，1988。
- 108)Kurihara, S.¹⁾, Akiba, T.²⁾, Kawabe, M.¹⁾, Yoneshima, H.¹⁾ and Marumo, F.²⁾ (¹⁾Kasukabe-Syuwa Hospital, ²⁾Tokyo Medical and Dental University)：〔一般講演〕Change of hematopoietic response to recombinant erythropoietin (r-HuEPO) in hemodialyzed patients. The American Society of Nephrology 21st Annual Meeting (San Antonio, Texas), 1988。
- 109)Akiba, T.¹⁾, Kurihara, H.²⁾, Kato, H.²⁾, Yoneshima, H.²⁾ and Marumo, F.¹⁾ (¹⁾Dept. of Int. Med, Tokyo Med. and Dental University, ²⁾Kasukabe-shuwa Hospital)：〔一般講演〕Hemodynamic changes of hemodialyzed patients by erythropoietin treatment. The American Society of Nephrology 21st Annual Meeting (San Antonio, Texas), 1988。
- 110)長谷川卓志¹⁾，小山潤三¹⁾，西横貴代美¹⁾，中島信治¹⁾ (¹⁾老人病研究所)：ストレスによる大動脈脂質沈着促進作用に関する研究。日本動脈硬化学会昭和63年度冬大会，1989。
- 111)永島幹夫，斉藤彰，福生吉裕，赫彰郎，松井南¹⁾，野村信夫¹⁾，石崎良太郎¹⁾ (¹⁾日本獣医畜産大学分子腫瘍研)：〔一般講演〕TNFは単芽球形白血病細胞においてPDGF mRNA発見を誘導する。日本動脈硬化学会昭和63年度冬季大会，1989。
- 112)福生吉裕，永島幹夫，斉藤彰，小林陽二，赫彰郎，仲間一雅¹⁾，亀山孝二²⁾，浅野伍朗²⁾ (¹⁾実験動物管理室，²⁾第2病理)：〔一般講演〕Mk-733 (HMG-CoA reductase inhibitor)のWHHL兔における抗動脈硬化作用について。日本動脈硬化学会昭和63年度冬季大会，1989。
- 113)羽田和正，神原礼文，新井弘一，尾上敏夫，斉藤彰，村松忠，永島幹夫，高橋常文，岩崎正知，渋谷敏道，稲葉治樹，小林陽二，福生吉裕，赫彰郎，長谷川卓治¹⁾，小山潤三¹⁾，中島信治¹⁾ (¹⁾老人病研究所)：〔一般講演〕無発症糖尿病患者における血中フルクトサミンの重要性について。第23回日本成人病学会，1989。
- 114)荒木宏，福生吉裕，岩崎正知，永島幹夫，小林陽二，本田治久，赫彰郎，瀬田健一¹⁾，新家陽樹¹⁾ (¹⁾博慈会老人病研究所附属病院)：〔一般講演〕脳梗塞患者におけるアポEの遺伝的表現型の解析。第23回日本成人病学会，1989。
- 115)一瀬邦弘¹⁾，内山真¹⁾，田中邦明¹⁾，宮崎徳蔵²⁾，濱本眞²⁾，五十嵐博中²⁾，駒崎尚恵²⁾，倉田淑³⁾ (¹⁾東京都多摩老人医療センター精神科，²⁾同神経内科，³⁾同臨床病理科)：〔一般講演〕アルツハイマー型老年痴呆の臨床生理学的研究。(第1報)重症度による脳波及び脳血流の変化。第12回脳波分析研究会，1989。
- 116)山崎峰雄，氏家隆，北村伸，赫彰郎，荒木俊彦¹⁾ (¹⁾初石病院内科)：〔一般講演〕Joseph病の1例；脳循環代謝所見と合わせて。第108回日本神経学会関東地方会，1989。
- 117)赫彰郎：〔特別講演〕痴呆の病態と臨床。アバン研究講演会，1989。
- 118)小林陽二，福生吉裕，渋谷敏道，赫彰郎，金川卓郎¹⁾ (¹⁾田尻ヶ丘病院)：〔一般講演〕低蛋白血症に対するSK-80 (サンケンラクト)の長期使用効果についての検討。第4回日本静脈・経腸栄養研究会，1989。
- 119)河辺満彦¹⁾，栗原怜¹⁾，加藤仁志¹⁾，竹田篤¹⁾，鳴海福星¹⁾，森島明¹⁾，米島秀夫¹⁾ (¹⁾春日部秀和病院内科)：〔一般講演〕血液透析患者に対する recombinant human erythropoietin (r-HuEPO)投与の効果。第26回埼玉県医学会

総会, 1989.

- 120)北浜正, 李勝彦, 今井博彦, 保津豊徳, 海江田亮, 萩原万里子, 北村伸, 永積惇, 赫彰郎: [一般講演] MID と非痴呆性多発梗塞の違いについての検討. 第14回日本脳卒中学会総会, 1989.
- 121)海江田亮, 李勝彦, 萩原万里子, 北浜正, 永積惇, 赫彰郎: [一般講演] 痴呆患者における MRI 脳室周囲高信号域の検討. 第14回日本脳卒中学会総会, 1989.
- 122)柏木史彦, 片山泰朗, 目々澤肇, 神谷達司, 清水純, 赫彰郎: [一般講演] 高張溶液 (10% グリセロール) の過量投与の脳虚血に及ぼす影響. 第3報 脳含水量・脳循環代謝・病理組織. 第14回日本脳卒中学会総会, 1989.
- 123)保津豊徳, 氏家隆, 小島直志, 北村伸, 重田俊一, 赫彰郎: [一般講演] 多発脳梗塞性痴呆の発見についての脳循環よりの検討. 第14回日本脳卒中学会総会, 1989.
- 124)片山泰朗, 赫彰郎, Welsh, F. A.¹⁾ (¹⁾Division of Neurosurgery, Univ. of Pennsylvania): [一般講演] 脳虚血における Pyruvate dehydrogenase 活性と局所脳エネルギー代謝および dichloroacetate の影響. 第14回日本脳卒中学会総会, 1989.
- 125)荒木宏, 福生吉裕, 岩崎正知, 永島幹夫, 小林陽二, 赫彰郎, 瀬田健一¹⁾, 新家陽樹¹⁾ (¹⁾博慈会老人病研究所附属病院): [一般講演] 脳卒中患者におけるアポ E の遺伝的表現型の解析. 第14回日本脳卒中学会総会, 1989.
- 126)坂本静樹, 北村伸, 氏家隆, 荒木俊彦, 黒木副武, 保津豊徳, 添田敏幸, 赫彰郎, 飯尾正明¹⁾ (¹⁾国立療養所中野病院放射線科): [一般講演] 糖尿病に合併する虚血性脳血管障害の脳循環代謝. 第14回日本脳卒中学会総会, 1989.
- 127)今井博彦¹⁾, 北浜正¹⁾, 田村治子²⁾, 新城之介²⁾, 永積惇, 赫彰郎 (¹⁾博慈会記念病院神経内科, ²⁾老人病研究所): [一般講演] 脳梗塞患者における ANP の検討. 第14回日本脳卒中学会総会, 1989.
- 128)稲村憲治, 赫彰郎, Smith, M.-L.¹⁾, Siesjö, B. K.¹⁾. (¹⁾Lund 大学実験脳研究所): [一般講演] 高血糖ラットにおける虚血性脳障害 (第二報) substantia nigra 障害における病理像. 第14回日本脳卒中学会総会, 1989.
- 129)桑原道雄¹⁾, 秋葉隆¹⁾, 富田公夫¹⁾, 丸茂文昭¹⁾, 栗原怜²⁾, 河辺満彦²⁾, 米島秀夫²⁾ (¹⁾東京医科歯科大学第2内科, ²⁾春日部秀和病院内科): [一般講演] High performance membrane dialyzer (Asahi PAN-CX 2) を用いた血液透析における deferoxamine 投与時の鉄とアルミニウムの動態. 第4回ハイパフォーマンス・メンブレン研究会, 1989.
- 130)酒寄修, 福地孝明, 高木信一, 目々澤肇, 赫彰郎, 三田茂¹⁾, 岩田好文¹⁾, 前田きみ子¹⁾, 岡本弘子¹⁾, 勝野浩¹⁾, 花島浩¹⁾ (¹⁾佼成病院内科): [一般講演] 早期よりヘパリン療法, ウリナスタチン投与を実施し, 救命し得た Weil 病の一例. 第26回レプトスピラ・シンポジウム, 1989.

[第一病院理学診療科]

研究概要

理学診療科の研究概要は従来より行われてきた頸肩腕症候群や腰痛などの運動器の疼痛を中心とする臨床的研究, 運動療法 (治療体操) と関節リウマチの基礎的, 免疫学的, 臨床的研究があげられる.

痛みの治療の理学療法 (リハビリテーション) に関する総説として疼痛の伝導路と受容体, 神経線維, 閾門制御説, 脊髄後角ニューロンやリハビリテーションにおける疼痛の意義, 理学療法についての総説では最近の疼痛に関する新知見を概要し, また腰痛に関するプライマリケア, 診断と治療, 腰痛学校, 腰痛学級などの総説もなされている.

間接リウマチに関しては最近アメリカリウマチ協会の診断基準の改定により診断基準が簡素化されたが, その臨床的評価, 薬物療法特に東洋医学的アプローチとして漢方薬の作用機序などが検討された. 最近注目的になっている免疫調節剤の問題や DDS (drug delivery system) の問題も検討されている.

また間接疾患に対する外科的療法として人工関節置換術があるが, 特に膝関節に関しては吉野/東海林式人工膝関

節（Y/S 式）が開発され日本式生活様式に適応した正座可能な関節が内外の注目をあびている。また人工関節は股関節、膝関節のみならず肘、肩、足関節にも実用的な関節が開発され臨床上の実用性が評価されている。

研究業績

論文

- 1) 石田肇：〔総説〕理学療法（リハビリテーション）（特集：痛みの治療）。カレントセラピー，**6**，1208～1215，1988.
- 2) 石田肇：〔総説〕慢性関節リウマチ（特集：老年医学の最近のトピックス—11）。Geriatric Medicine（老年医学），**26**，217～221，1988.
- 3) 石田肇：〔総説〕腰痛症治療のこつ。Orthopaedics，**9**，93～97，1988.
- 4) 石田肇：〔総説〕腰痛学校。腰痛学級。医のあゆみ，**147**（腰痛特集），1205～1207，1988.
- 5) 石田肇：〔総説〕疼痛の診断と治療。腰痛（特集：現代疼痛学 2—疼痛治療の進歩と問題点）。最新医，**43**，2582～2591，1988.
- 6) 石田肇：〔総説〕腰痛患者の問診と診察法（特集：腰痛—その鑑別診断と治療）。診断と治療，**76**，2403～2409，1988.
- 7) 石田肇：〔総説〕「肩こり」とは何だろうか；SERIES 肩こり。診断と治療，**77**，201～204，1988.
- 8) 藤森十郎，吉野槇一，川島健，沢崎康順，鎌田利一，岸本真，志賀弘朗：〔原著〕慢性関節リウマチ頸椎病変における環軸椎自然癒合。リウマチ，**28**，222～229，1988.
- 9) 吉野槇一：〔原著〕リウマチ膝人工関節再置換術；術後成績と手技上の問題点。リウマチ，**28**，442～444，1988.
- 10) 中村洋，吉野槇一，藤森十郎，小岩政仁：〔原著〕若年 RA 患者の THR 適応に対するわれわれの考え方。関節の外科，**16**，34～36，1989.
- 11) 梶野明英，吉野槇一，〔原著〕Heberden 結節の遺伝性素因。関節外科，**8**，53～58，1989.
- 12) 梶野明英¹⁾，古沢清吉¹⁾，鈴木昇¹⁾，内田毅¹⁾（¹⁾湯河原厚生年金病院整形外科）：〔報告〕股関節病変を合併した掌蹠膿疱症の 1 例。日関外誌，**7**，335～344，1988.
- 13) 藤森十郎，吉野槇一，梶野明英，小岩政仁，中村洋，岸本真：〔報告〕関節リウマチ患者にみられた重症筋無力症の 4 例。臨整外，**23**，1001～1006，1988.
- 14) 藤森十郎，吉野槇一，小岩政仁，岸本真，飯盛仁志，小島龍男：〔報告〕環軸椎自然癒合に伴い環軸椎前方亜脱臼による脊髄症の消失した RA の 1 例。別冊整形外科，**14**，20～22，1988.
- 15) 岸本真，吉野槇一，藤森十郎，沢崎康順，青山純夫¹⁾，馬杉洋三²⁾（¹⁾第 2 内科，²⁾第 1 病理）：〔報告〕関節リウマチに合併した全身性アミロイドーシスの 1 剖検例。別冊整形外科，**14**，36～38，1988.
- 16) 伊藤勝巳¹⁾，内田詔爾¹⁾，西野仁樹¹⁾，黄田道信¹⁾（¹⁾都立墨東病院リウマチ科）：〔報告〕D-penicillamine により寛解にいたった症例；著効例の検討。別冊整形外科，**14**，71～74，1988.
- 17) 吉野槇一，藤森十郎，小岩政仁，岸本真：〔報告〕Methotrexate が著効を示した悪性関節リウマチの 1 例。別冊整形外科，**14**，94～95，1988.
- 18) 伊藤勝巳¹⁾，内田詔爾¹⁾，西野仁樹¹⁾，黄田道信¹⁾（¹⁾都立墨東病院リウマチ科）：〔報告〕著明な脛骨骨欠損を有する内反 RA 膝に対して骨移植術を併用した TKR の 1 例。別冊整形外科，**14**，104～106，1988.
- 19) 沢崎康順，吉野槇一，藤森十郎，飯盛仁志：〔報告〕脛骨内側顆部高度骨欠損に対する人工膝関節置換術の経験。別冊整形外科，**14**，107～109，1988.
- 20) 西野仁樹¹⁾，内田詔爾¹⁾，伊藤勝巳¹⁾，黄田道信¹⁾（¹⁾都立墨東病院リウマチ科）：〔報告〕著明な外反 RA 膝人工膝関節置換術における人工靱帯の応用。別冊整形外科，**14**，110～112，1988.
- 21) 梶野明英，吉野槇一，藤森十郎，鎌田利一，小岩政仁：〔報告〕RA による高度骨破壊を呈した臼蓋に対し，反

- 対側骨頭を骨移植に使用して THR を行った 1 例. 別冊整形外科, 14, 116~118, 1988.
- 22) 黄田道信¹⁾, 内田詔爾¹⁾, 伊藤勝巳¹⁾, 黄俊仁¹⁾ (¹⁾都立墨東病院リウマチ科): [報告] ムチランス型 RA の骨, 関節手術における人工骨材料の応用. 別冊整形外科, 14, 119~122, 1988.
- 23) 藤森十郎, 吉野横一, 沢崎康順, 鎌田利一, 梶野明英, 中村洋: [報告] RA 患者の TKR 施行後生じた大腿骨 顆上骨折の一例. 別冊整形外科, 14, 128~131, 1988.
- 24) 飯盛仁志, 吉野横一, 藤森十郎, 鎌田利一, 梶野明英: [報告] 人工膝関節挿入後の化膿性膝関節炎に敗血症と DIC (播種性血管内凝固症候群) を併発した 1 例. 別冊整形外科, 14, 132~135, 1988.
- 25) 小岩政仁, 吉野横一, 藤森十郎, 鎌田利一, 岸本真, 小島龍男: [報告] 下肢 6 関節置換術後に歩行可能となった RA の 2 例. 別冊整形外科, 14, 147~150, 1988.
- 26) 内田詔爾¹⁾, 伊藤勝巳¹⁾, 西野仁樹¹⁾, 黄田道信¹⁾, 黄俊仁¹⁾ (¹⁾都立墨東病院リウマチ科): [報告] 両下肢 6 関節に人工関節全置換を行った RA の 3 例. 別冊整形外科, 14, 151~154, 1988.
- 27) 鎌田利一, 吉野横一, 藤森十郎, 沢崎康順, 梶野明英: [報告] 手指 MP 関節に対する Swanson 型 silastic implant の使用経験. 別冊整形外科, 14, 171~173, 1988.
- 28) 梶野明英, 吉野横一, 藤森十郎, 小岩政仁, 岸本真: [報告] 巨大な iliopsoas bursitis を合併した RA の一例. 整炎外, 31, 1505~1508, 1988.

著 書

- 1) 石田肇: 肩こり 腰痛の医学. 健康バイブル, 講談社, 1988.
- 2) 石田肇: 腰痛. 保健同人社, 1988.
- 3) 吉野横一: [分担] 関節リウマチのリハビリテーション. “整形外科 Mook 55「整形外科的リハビリテーション」”, p. 143~149, 金原出版, 1988.
- 4) 吉野横一: [分担] 慢性関節リウマチ; 多関節手術. “整形, 形成外科診療”, p. 698~699, 六法出版, 1988.
- 5) Yoshino, S.: [分担] Yoshino-Shoji total Knee system; Its features and postoperative results. “Total Knee Replacement”, p. 221~224, Springer-Verlag [Tokyo (Berline)], 1988.
- 6) 石田肇: 健康手帳 腰痛体操. 保健会館健康推進部, 1989.
- 7) 吉野横一, 中村洋: [分担] 人工関節置換術の合併症と対策; 特に関節リウマチの人工関節置換術について. “整形外科 Mook56「整形外科治療における合併症とその対策」”, p. 95~104, 金原出版, 1989.
- 8) 梶野明英, 吉野横一: [分担] その他リウマチ性症状を伴う疾患の診療, “臨床免疫”, p. 789~798, 科学評論社, 1989.

学会発表

- 1) 飯盛仁志, 小島龍男, 大久保哲行, 沢崎康順, 鎌田利一, 藤森十郎, 吉野横一: [一般講演] 感染人工関節症例の検討. 第61回日本整形外科学会学術集会, 1988.
- 2) 吉野横一, 梶野明英, 小岩政仁, 原勇¹⁾, 真島暉明¹⁾, 東海林宏²⁾ (¹⁾原整形外科病院, ²⁾ルイジアナ州立大学医学部整形外科): [一般講演] 人工膝関節挿入後の可動域に影響を及ぼす因子について. 第61回日本整形外科学会学術集会, 1988.
- 3) 梶野明英, 吉野横一, 藤森十郎, 小岩政仁, 岸本真: [一般講演] 巨大な Iliopsoas Bursitis を合併した RA の 1 例. 第32回日本リウマチ学会総会, 1988.
- 4) 藤森十郎, 吉野横一, 鎌田利一, 小島龍男: [一般講演] RA 患者末梢リンパ球分画に対する和漢薬 (十全大補湯, 小柴胡湯) の影響; 2 次元フローサイトメトリーによる検討. 第32回日本リウマチ学会総会, 1988.

- 5) 黄田道信, 内田詔爾¹⁾, 伊藤勝巳¹⁾, 黄俊仁¹⁾ (¹⁾都立墨東病院リウマチ科) : [一般講演] 慢性関節リウマチに対するブシラミンの長期成績について. 第32回日本リウマチ学会総会, 1988.
- 6) 内田詔爾¹⁾, 伊藤勝巳¹⁾, 黄田道信, 黄俊仁¹⁾, 吉野槇一 (¹⁾都立墨東病院リウマチ科) : [一般講演] D-Pc を10年以上継続投与した症例の臨床的解析. 第32回日本リウマチ学会総会, 1988.
- 7) 藤森十郎, 吉野槇一, 梶野明英, 小岩政仁, 中村洋, 小島龍男, 内田詔爾¹⁾, 伊藤勝巳¹⁾, 黄田道信¹⁾, 進藤裕幸²⁾ (¹⁾都立墨東病院リウマチ科, ²⁾埼玉医大整形外科) : [一般講演] 活動性 RA に対するオーラノフィン定量投与と初期低用量投与法の有効性・安全性の比較検討. 第32回日本リウマチ学会総会, 1988.
- 8) 村中正治¹⁾, 河住茂¹⁾, 鹿野浩一¹⁾, 古沢清吉²⁾, 梶野明英, 飯田恵子³⁾, 奥村英正 (¹⁾湯河原厚生年金病院内科, ²⁾湯河原厚生年金病院外科, ³⁾第1内科) : [一般講演] 人工関節置換手術後に血管内溶血反応, ルポイド肝炎様所見をそれぞれ発現した慢性関節リウマチの2症例. 第32回日本リウマチ学会総会, 1988.
- 9) 伊藤勝巳¹⁾, 内田詔爾¹⁾, 黄俊仁¹⁾, 黄田道信, (¹⁾都立墨東病院リウマチ科) : [一般講演] 慢性関節リウマチに対する金療法とD-ペニシラミン療法のスイッチングの臨床的効果. 第32回日本リウマチ学会総会, 1988.
- 10) 黄俊仁¹⁾, 内田詔爾¹⁾, 伊藤勝巳¹⁾, 黄田道信, 西野仁樹¹⁾ (¹⁾都立墨東病院リウマチ科) : [一般講演] 遅効性抗リウマチ剤効果減弱例に対するCCAの追加療法について. 第32回日本リウマチ学会総会, 1988.
- 11) 内田詔爾¹⁾, 伊藤勝巳¹⁾, 黄田道信, 黄俊仁¹⁾, 沢井高志²⁾, 京極方久²⁾ (¹⁾都立墨東病院リウマチ科, ²⁾東北大. 第1病理) : [一般講演] 関節炎の細胞性免疫の研究. 第3報 滑膜のリンパ球サブセットについて. 第32回日本リウマチ学会総会, 1988.
- 12) 吉野槇一, [シンポジウム] RA 人工膝関節再置換手術上の問題点. 第32回日本リウマチ学会総会, 1988.
- 13) 吉野槇一, 小岩政仁, 梶野明英, 中村洋. 大久保哲行: [一般講演] RA に対するメソトレキセート低投与量の短期成績について. 第32回日本リウマチ学会総会, 1988.
- 14) 沢崎康順, 吉野槇一, 鎌田利一, 亀山三郎¹⁾ (¹⁾下谷病院整形外科) : [一般講演] RA 患者における血液, 関節液および関節滑膜の Leukotriene B₄ の検討. 第32回日本リウマチ学会総会, 1988.
- 15) 吉野槇一: [シンポジウム] Comparison of factors between full flexion knees and non-full flexion knees. 第1回日独リウマチ外科シンポジウム, 1988.
- 16) 小岩政仁, 吉野槇一, 鎌田利一, 岸本真, 小和田誠: [一般講演] TKR 後の survival rate について. 第16回日本リウマチ, 関節外科学会, 1988.
- 17) 黄俊仁¹⁾, 内田詔爾¹⁾, 伊藤勝巳¹⁾, 黄田道信¹⁾ (¹⁾都立墨東病院リウマチ科) : [一般講演] 慢性関節リウマチにおける人工膝関節全置換術の経年成績. 第16回日本リウマチ, 関節外科学会, 1988.
- 18) 伊藤勝巳¹⁾, 内田詔爾¹⁾, 黄俊仁¹⁾, 黄田道信¹⁾ (¹⁾都立墨東病院リウマチ科) : [一般講演] 慢性関節リウマチに対する鏡視下滑膜切除術の成績と適応. 第16回日本リウマチ, 関節外科学会, 1988.
- 19) 黄田道信¹⁾, 内田詔爾¹⁾, 伊藤勝巳¹⁾, 黄俊仁¹⁾ (¹⁾都立墨東病院リウマチ科) : [一般講演] 慢性関節リウマチにおける膝関節変形について. 第16回日本リウマチ, 関節外科学会, 1988.
- 20) 鎌田利一, 岸本真, 吉野槇一, 東海林宏¹⁾ (¹⁾ルイジアナ州立大, 整形外科) : [一般講演] 人工膝関節置換術における骨欠損補填法の力学的考察; 三次元有限要素法による解析. 第16回日本リウマチ, 関節外科学会, 1988.
- 21) 中村洋, 吉野槇一, 藤森十郎, 梶野明英, 小島龍男, 駒ヶ嶺正隆¹⁾ (¹⁾盛岡友愛病院) : [一般講演] 大転子を利用し骨移植を行った人工股関節再置換術の3例. 第16回日本リウマチ, 関節外科学会, 1988.
- 22) 川村晴也¹⁾, 志賀弘朗¹⁾, 黄田道信²⁾, 亀山三郎³⁾ (¹⁾鹿島白十字総合病院整形外科, ²⁾都立墨東病院リウマチ科, ³⁾下谷病院 整形外科) : [一般講演] RA 大腿骨顆部骨折に対する人工膝関節の1使用経験. 第66回茨城県整形外科集談会, 1988.
- 23) 東海林宏¹⁾, 吉野槇一 (¹⁾ルイジアナ州立大, 整形外科) : [一般講演] Patella replacement in bilateral total

knee arthroplasty in RA. 第56回アメリカ整形外科学会, 1989.

- 24) 吉野 慎一, 東海林宏¹⁾ (¹⁾ルイジアナ州立大, 整形外科) : [映画] Precision soft tissue procedure in total knee arthroplasty. 第56回アメリカ整形外科学会, 1989.
- 25) 小島龍男, 吉野 慎一, 藤森十郎, 梶野明英, 中村洋, 真島暉明¹⁾, 岸本真¹⁾ (¹⁾原整形外科) : [一般講演] 人工膝関節置換術後に異所性骨化を生じた2例. 第19回人工関節研究会, 1989.

3. 第三内科学講座

[付属病院第3内科]

研究概要

消化器病学, 血液学および内分泌学の3領域を中心に, 基礎的ならびに臨床的研究を行った。

消化器病学については, ①電子内視鏡による食道静脈瘤の彩色学的研究, ②食道静脈瘤の食道運動に及ぼす影響, ③食道静脈瘤破裂予防における β -ブロッカー内服と内視鏡的硬化療法の有用性の比較検討, ④門脈圧亢進症における血行動態の解析および上部消化管病変と腹腔鏡所見の対比, ⑤胃粘膜電位差測定法の改良と臨床応用, ⑥消化性潰瘍の薬物療法, ⑦大腸内視鏡検査前処置の改良など, 臨床研究に主眼をおいた。

血液学領域の臨床面では, ①骨髓異形成症候群の予後規定因子の解析, ②肝硬変における血球減少機序, ③急性白血病の化学療法ならびに支持療法の改良, ④再生不良性貧血および赤芽球癆における造血抑制因子の解明を主要テーマとし, また⑤再生不良性貧血, 特発性血小板減少性紫斑病, 自己免疫性溶血性貧血および骨髓異形成症候群の病態と治療に関する多施設共同研究(厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班)に参加した。基礎的研究としては, ⑥特発性血小板減少性紫斑病における巨核球前駆細胞のキネティクス, ⑦巨核球産生刺激因子の精製に関する研究を継続し, 新たに, ⑧造血器悪性腫瘍の分子生物学的解析を研究テーマにとりあげた。

内分泌学については基礎的研究として, ①ソマトスタチンによる成長ホルモン分泌促進因子の調節を主課題にとりあげ, β -エンドルフィン, カテコールアミン合成阻害剤 α -methyl-p-tyrosineの成長ホルモン分泌に対する作用はソマトスタチン分泌を修飾して発現されること, ②免疫組織学的手法を用いてヒト脳の部位によりLH-RHのprocessingが異なることを報告した。臨床面では③先端巨大症, Cushing病などの診断と治療に関する多施設共同研究(厚生省特定疾患間脳下垂体機能障害調査研究班)に参加した。

研究業績

論文

- 1) 野村武夫: [総説] 血小板輸血をめぐる。臨血, 29, 612, 1988.
- 2) 金沢秀典: [原著] 肝硬変の予後判定因子に関する検討(特に腹腔鏡所見の有用性について)。日医大誌, 55, 179~190, 1988.
- 3) 野村武夫: [総説] 薬剤による再生不良性貧血(特集: 骨髓毒性—再生不良性貧血)。トキシコロジーフォーラム, 11, 231~239, 1988.
- 4) 池田康夫¹⁾, 半田誠¹⁾, 小川哲平¹⁾, 野村武夫, 壇和夫, 外山圭助³⁾, 長沢洋⁴⁾, 溝口秀昭⁵⁾, 増田道彦⁵⁾, 清水勝⁶⁾, 緒方完治⁷⁾ (¹⁾慶大輸血部, ²⁾同内科, ²⁾東医大内科, ⁴⁾同輸血部, ⁵⁾東京女子医大内科, ⁶⁾同輸血部, ⁷⁾愛知県職員病院内科): [原著] 72時間保存濃厚血小板の臨床評価に関する多施設共同研究。臨血, 29, 818~824, 1988.
- 5) 野村武夫: [総説] 出血時間, 毛細血管抵抗試験, 全血凝固時間(特集: 検査値をよむ)。内科, 61, 1214~1215, 1988.
- 6) 本山敦子: [原著] Monosodium. Glutamate 投与ラフトのソユトスタチン分泌能(成長ホルモン分泌促進因子持続投与による検討)。日医大誌, 55, 261~269, 1988.
- 7) 平塚秀雄, 他: [症例報告] 十二指腸の異所性胃粘膜に発生した纖毛腫内癌の1例。消内視鏡の進歩, 32, 245~248, 1988.
- 8) 野村武夫: [総説] 貧血(特集: 最新の話—診断と治療)。現代医療, 20, 666~670, 1988.
- 9) 野村武夫: [総説] 社会保険からみた骨髓移植(特集: 骨髓移植のすべて)。医のあゆみ, 146, 454~457, 1988.

- 10) 小林正文, 大矢智恵, 末岡伸夫:〔総説〕急性胃粘膜病変. 消化器科, **19**, 48~55, 1988.
- 11) Tsubura, E¹⁾, Momura, T., Niitani, H²⁾, Osamura, S³⁾, Okawa, T⁴⁾, Tanaka, M⁵⁾, Ota, K⁶⁾, Nishikawa, H¹⁾, Masaoka, T⁷⁾, Fukuoka, M⁸⁾, Horiuchi, A⁹⁾, Furuse, K¹⁰⁾, Ito, M¹¹⁾, Nagai, K¹²⁾, Ogura, T¹³⁾, Kozuru, M¹⁴⁾, Hara, N¹⁵⁾, Hara, K¹⁶⁾, Ichimaru, M¹⁷⁾, and Takatsuki, K¹⁸⁾. (1)国立療養所刀根山病院内科, 2)臨床病理, 3)東京医大内科, 4)東京女子医大1内, 5)国立名古屋病院3内, 6)愛知がんセンター内科, 7)大阪府立成人病センター5内, 8)大阪府立羽曳野病院2内, 9)近畿大3内, 10)国立療養所近畿中央病院2内, 11)公立学校共済近畿中央病院1内, 12)兵庫医大2内, 13)徳島大3内, 14)国立病院九州がんセンター造血器科, 15)同呼吸器科, 16)長崎大2内・17)同原研内科, 18)熊本大2内):〔原著〕Restorative activity of muroctasin on leukopenia associated with anticancer treatment. *Arzneim Forsch*, **38**, 1070~1074, 1988.
- 12) 下山正徳¹⁾, 正岡徹²⁾, 野村武夫, 大野竜三³⁾ (1)国立がんセンター薬物療法部, 2)大阪府立成人病センター5内, 3)名古屋大1内):〔総説〕難治性白血病の治療. 治療学, **21**, 245~259, 1988.
- 13) 野村武夫, 寺田秀夫¹⁾ (1)昭和大大内科):〔総説〕血栓性血小板減少性紫斑病. 臨血, **29**, 1309~1310, 1988.
- 14) 小林正文, 比留間博之, 山田益弘, 大矢智恵:〔原著〕塩酸 Ravitidine 注射液1回100mg点滴静注後の臨床薬理学的検討. 医と薬学, **20**, 495~500, 1988.
- 15) 小林正文:〔総説〕Do & Don't 胃炎. *Mod. Physician*, **8**, 1188, 1988.
- 16) 壇和夫:〔原著〕Myelodysplastic syndrome の予後判定因子に関する検討. 臨血, **29**, 1214~1218, 1988.
- 17) 平塚秀雄, 他:〔総説〕便通異常対策の臨床. クリニカ, **15**, 670~675, 1988.
- 18) 小林正文, 岩切勝彦:〔総説〕逆流性食道炎の治療. クリニカ, **15**, 627~632, 1988.
- 19) 野村武夫:〔総説〕特発性血小板減少性紫斑病(特集:診断基準とその使い方). *Medicina*, **25**, 2060~2063, 1988.
- 20) 小林正文, 常岡健二¹⁾, 崎田隆也²⁾, 他 (1)日本医大名誉教授, 2)公立昭和病院):〔原著〕胃炎に対するシンプロストールの有用性ならびに至適用量の検討一二重盲検比較試験による. *Clin. Eval.*, **16**, 617~642, 1988.
- 21) 黒田肇:〔総説〕診断基準とその使い方. 4. 薬剤性肝障害. *Medicina* (医学書院), **25** (10), 1846~1847, 1988.
- 22) 野村武夫:〔総説〕白血病(生涯教育シリーズNo17:癌のプライマリケア). 日医会誌, **100** (増刊), 313~319, 1988.
- 23) 浦部晶夫¹⁾, 高久史磨¹⁾, 溝口秀昭²⁾, 高橋正知²⁾, 三浦恭定³⁾, 北川誠一³⁾, 若林芳久⁴⁾, 堀江誠一⁴⁾, 平嶋邦猛⁵⁾, 福田正高⁵⁾, 丸山元孝⁵⁾, 野村武夫, 壇和夫, 高谷治⁶⁾, 佐藤典治⁶⁾, 島田馨⁷⁾, 浅野茂隆⁷⁾, 幸道秀樹⁷⁾, 山口潜⁸⁾, 武藤良和⁸⁾, 衣笠恵士⁹⁾, 工藤秀樹⁹⁾, 森真由美¹⁰⁾, 藤岡成徳¹¹⁾, 斎藤恒博¹¹⁾, 岩田展明¹²⁾, 前川正¹²⁾ (1)東大3内, 2)東京女子医大内科, 3)自治医大血液科, 4)順天堂大内科, 5)埼玉医大1内, 6)防衛医大3内, 7)東大医科研内科, 8)虎の門病院血液科, 9)都立墨東病院内科, 10)都老人医療センター血液内科, 11)三井記念病院血液内科, 12)群馬大3内):〔原著〕血液疾患に伴う重症感染症:Cefmenoxime (CMX) の有用性について. 新薬と臨, **37**, 2127~2133, 1988.
- 24) 小林紀夫¹⁾, 前川正²⁾, 高久史磨³⁾, 浦部晶夫³⁾, 青木延雄⁴⁾, 奈良信雄⁴⁾, 溝口秀昭⁵⁾, 星野茂⁵⁾, 森真由美⁶⁾, 斎藤英彦⁷⁾, 大野竜三⁷⁾, 永井清保⁸⁾, 垣下栄三⁸⁾, 樋口光宏⁸⁾, 宮崎保⁹⁾, 吉田豊¹⁰⁾, 三浦亮¹¹⁾, 刈米重夫¹²⁾, 竹内季雄¹³⁾, 八代邦彦¹⁴⁾, 三浦恭定¹⁵⁾, 野村武夫, 大島年照¹⁶⁾, 外山圭助¹⁷⁾, 小野沢康輔¹⁸⁾, 工藤秀機¹⁹⁾, 田中正夫²⁰⁾, 山本正彦²¹⁾, 平野正美²²⁾, 小栗隆²³⁾, 白川茂²⁴⁾, 内野治人²⁵⁾, 安永幸二郎²⁶⁾, 米沢毅²⁷⁾, 正岡徹²⁸⁾, 陰山克²⁹⁾, 中山志郎³⁰⁾, 木村郁郎³¹⁾, 蔵本淳³²⁾, 入野昭三³³⁾, 仁保喜之³⁴⁾, 市丸道人³⁵⁾, 高月清³⁶⁾, 井形昭弘³⁷⁾ (1)群馬大3内, 2)群馬大, 3)東京大3内科, 4)東京医歯大1内, 5)東京女子医大1内, 6)都老人医療センター血液科, 7)名古屋大1内, 8)兵庫医大2内, 9)北海道大3内, 10)弘前大1内, 11)秋田大3内, 12)福島県立医大1内, 13)国立高崎病院内科, 14)済生会前橋病院内科, 15)自治医大血液科, 16)日大1内, 17)東京医大1内, 18)都立駒込病院内科, 19)都立墨東病院内科, 20)国立名古屋病院内科, 21)名古屋市立大2内, 22)藤田学園保健衛生大内科, 23)愛知医大2内, 24)三重大2内, 25)京

- 都大 1 内, ²⁶⁾関西医大 1 内, ²⁷⁾大阪大 2 内, ²⁸⁾大阪府立成人病センター内科, ²⁹⁾大阪医大 2 内, ³⁰⁾神戸市立中央病院免疫血液科, ³¹⁾岡山大 2 内, ³²⁾広島大原医研内科, ³³⁾香川医大 1 内, ³⁴⁾九州大 1 内, ³⁵⁾長崎大原研内科, ³⁶⁾熊本大 2 内, ³⁷⁾鹿児島大 3 内:〔原著〕抗生物質投与時にみられる低プロトンビネミアに対する Ea-0167 (ビタミン K₂ 内服薬) の臨床的有用性の検討. 臨と研, **65**, 4032~4045, 1988.
- 25) 大矢智恵, 比留間博之, 高田啓介, 香川隆男, 松永元良, 成田淳夫, 小林正文, 野村武夫:〔研究〕高吸水性線維を用いた電位差誘導ブリッジによる胃粘膜電位差測定法. 消内視鏡の進歩, **33**, 59~61, 1988.
- 26) 平塚秀雄:〔総説〕Arbaprostil (CU-83) の胃潰瘍に対する臨床効果の検討. 医と薬学, **20**, 308~314, 1988.
- 27) 平塚秀雄:〔総説〕便秘に対するピコゲルム顆粒の臨床的評価. 薬理と治療, **16**, 1630~1641, 1988.
- 28) 平塚秀雄:〔総説〕家庭医療における消化性潰瘍患者のマネジメント; 消化性潰瘍患者の生活指導. 家庭医, **4**, 409~413, 1988.
- 29) 平塚秀雄:〔総説〕トイレで健康チェック; 排泄と看護. 看 MOOK, **28**, 53~63, 1988.
- 30) 平塚秀雄:〔原著〕TE-031 第一相臨床試験. CHE MO THE RADY, **36** (S-3), 452~499, 1988.
- 31) 平塚秀雄:〔総説〕大腸, 小腸疾患の診療—最近の進歩; 大腸癌検診の現況と問題点. 診断と治療, **76**, 1646~1651, 1988.
- 32) 平塚秀雄:〔総説〕胃潰瘍に対する TG-51 の臨床評価; 塩酸セトラキサートを対照薬とした多施設二重盲検群間比較試験. 臨成人病, **18**, 1155~1172, 1988.
- 33) 平塚秀雄:〔総説〕経口金剤オーラノフィン投与中に発現した下痢に対する塩酸ロペラミドおよび臭化メベンゾラートの治療効果の検討. 医と薬学, **20**, 543~551, 1988.
- 34) 平塚秀雄:〔総説〕UP-45 (Sodium picosulfate 錠) の緩下剤としての臨床的評価. 臨成人病, **18**, 1551~1559, 1988.
- 35) 野村武夫:〔総説〕赤血球増加症 (特集: 血液疾患—診断から治療). 現代医療, **20**, 3254~3258, 1988.
- 36) 野村武夫, 壇和夫, 田近賢二:〔総説〕最近 5 年間における成人急性白血病の治療成績. 日医大誌, **55**, 603~607, 1988.
- 37) 金沢秀典, 松坂聡, 多田教彦, 宮田邦久, 津久井拓, 黒田肇, 小林正文, 野村武夫:〔原著〕肝硬変の全身, 肝血行動態, 奇静脈血流量, 食道静脈瘤内視鏡像へ及ぼす Nadolol の影響; Propranolol との比較. Ther. Res., **9**, 1809~1817, 1988.
- 38) 岡田憲明, 末岡伸夫, 長谷川修, 田近賢二, 田近義博, 林伸幸, 会田大義, 平川恒久, 瀬底正彦, 渡辺昂, 小林正文, 野村武夫:〔症例報告〕急性アルコール性食道炎の 1 例. 消内視鏡の進歩, **31**, 240~242, 1988.
- 39) 黒田肇:〔総説〕腹腔鏡検査の基本. Gastroenterol Endosc, **30** (Suppl.), 2852~2856, 1988.
- 40) Ohki, I., Dan, K., Kuriya, S. and Nomura, T.:〔原著〕A study on the mechanism of anemia and leukopenia in liver cirrhosis. Jpn. J. Med., **27**, 155~159, 1988.
- 41) Kamamoto, T., Kuriya, S. and Murphy, M. J., Jr.:〔原著〕Effects of an aplastic anemia urinary extract on mouse erythroid progenitor cells in vivo. Exp. Hematol., **16**, 268~273, 1988.
- 42) A co-operative study group for clinical use of human corticotropin releasing hormone [Fukata, J., Wakabayashi, I. et al]:〔原著〕Human corticotropin-releasing hormone test in normal subjects and patients with hypothalamic, pituitary or adrenocortical disorders. Endocrinol. Jpn. **35**, 491~502, 1988.
- 43) Sugihara, H., Wakabayashi, I., Minami, S., Takahashi, F., Shibasaki, T.¹⁾, Ling, N.²⁾, (¹⁾Dept. Med. Tokyo Women's Med Coll, ²⁾The Salk Institute for Biological Science):〔原著〕Effect of α -methyl-p-tyrosine and an antiserum to rat growth hormone releasing factor on plasma GH secretory profile during a continuous infusion of human GRF in rats. Brain Res., **475**, 128~133, 1988.

- 44) 厨信一郎：〔総説〕血液製剤. Med Pract, **15** (臨時増刊号), 335～343, 1988.
- 45) Kuriya, S., Tajika, K., Ogata, K. and Nomura, T.: 〔原著〕A simple method for ultrastructural observation of in vitro hematopoietic and leukemic colonies formed in fibrin- and plasma-clots. Acta Haematol., **52**(1), 18～24, 1989.
- 46) 野村武夫：〔総説〕血液製剤 (特集：老年者治療に役立つ最近の薬剤). 老年医学, **27**, 197～202, 1989.
- 47) 小林正文, 常岡健二, 関口利和¹⁾, 他 (¹⁾群馬大学医学部) 〔原著〕逆流性食道炎に対する Nizatidine の臨床評価, 薬理と治療, **17**, 457～468, 1989.
- 48) 野村武夫：〔総説〕貧血. Mebio, **6**, 109～117, 1989.
- 49) 山田隆, 末岡伸夫, 田辺義博, 壇和夫, 厨信一郎, 野村武夫, 他：〔症例報告〕シタラピン小量療法による RAEB in Transformation の長期寛解維持. 臨血, **30**, 371～375, 1989.

著 書

- 1) 野村武夫：〔分担〕特発性血小板減少性紫斑病. “内科 基本処方マニュアル” (木下安弘, 浜口勝彦, 佐藤哲男編), p. 368～370, 南江堂, 1988.
- 2) 野村武夫：〔分担〕白血病患者へのアプローチ患者の訴えと主要な身体所見. “Common Disease Series No.6 : 白血病・悪性リンパ腫” (高久史磨監修), p. 17～24, 南江堂, 1988.
- 3) 野村武夫：〔分担〕赤血球異常. “臨床産業医学全書 第2巻分冊2” (安部英, 牛尾耕一, 大橋辰哉, 原一郎, 吉田修, 野見山一生編), p. 33～37, 医歯薬出版, 1988.
- 4) 野村武夫：〔分担〕白血球異常. “臨床産業医学全書 第2巻分冊2” (安部英, 牛尾耕一, 大橋辰哉, 原一郎, 吉田修, 野見山一生編), p. 37～40, 医歯薬出版, 1988.
- 5) 野村武夫：〔分担〕二次性貧血. “図説内科診断治療講座 第4巻” (高久史磨編), p. 194～215, ミジカルビュー, 1988.
- 6) 小林正文：〔分担〕胃炎, 消化性潰瘍と胃粘膜防御機構, (編集・竹本忠良) 胃炎治療の現況と展望, p. 129～136, メディカルトリジェーン企画, 1988.
- 7) 野村武夫：〔分担〕特発性血小板減少性紫斑病 (ITP) 治療の現況. “血小板1988—血小板と免疫” (蔵本淳, 青木延雄, 大熊稔, 日高弘義, 山崎博男編), p. 146～161, 科学評論社, 1988.
- 8) 野村武夫：〔分担〕紫斑. “新・病態生理学読本” (吉利和, 三辺謙, 和田武雄編), p. 42～46, 日本評論社, 1988.
- 9) 野村武夫：〔分担〕貧血総論. “診療内科学” (阿部裕, 塩川優一編), p. 927～930, 金原出版, 1989.
- 10) 野村武夫：〔分担〕貧血各論 A-I. “診療内科学” (阿部裕, 塩川優一編), p. 930～943, 金原出版, 1989.
- 11) 平塚秀雄：〔共著〕急性胃炎, 慢性胃炎の治療 “胃炎を語る”. 羊土社, 1988.
- 12) 平塚秀雄：〔監修〕十二指腸. “消化管内視鏡診断”. 協和企画通信, 1988.
- 13) 平塚秀雄：〔編集〕セリアックスブルー病 (Ⅲ—2) 放射線照射性腸炎 (Ⅲ—7) 胃切除 (Ⅲ—16). “消化吸收不良の臨床”, 永井書店, 1988.
- 14) 小林正文：〔分担〕図説・内科診断治療講座, 7. 消化性潰瘍 (三輪剛) 予後診断, p. 184～189, メディカルビュー, 1989.
- 15) 野村武夫：〔編集〕血液・造血器疾患. “今日の治療指針1989” (日野原重明, 阿部正和監修), p. 465～495, 医学書院, 1989.
- 16) 厨信一郎：〔分担〕赤血球破碎症候群, 薬剤・化学物質による溶血性貧血, 赤芽球増殖性ポルフィリン症, その他の溶血性貧血, メトヘモグロビンミア, 特発性再生不良性貧血, 二次性再生不良性貧血, 赤芽球癆, 鉄芽球性貧血, ピリドキシン反応性貧血, 症候性貧血. “診療内科学” (阿部裕, 塩川優一郎編), p. 943～956, 金原出版, 1989.

学会発表

- 1) 厨信一郎, 緒方清行, 野村武夫: [一般講演] マウス巨核球前駆細胞の分化に関する実験的研究. 第50回日本血液学会総会, 1988.
- 2) 若林一二, 南史朗, 新谷英滋, 高橋文恵, 杉原仁, 本山敦子: [一般講演] ソマトスタチンによる反跳性分泌を用いた成長ホルモン刺激試験の基礎的検討. 第85回日本内科学会講演会, 1988.
- 3) 大木一郎, 緒方清行, 壇和夫, 厨信一郎, 野村武夫: [一般講演] 肝硬変患者における白血球減少の機序に関する研究; 肝硬変血清の CFU-C コロニー形成に及ぼす影響について. 第50回日本血液学会総会, 1988.
- 4) 壇和夫, 田近賢二, 五味聖二, 野村武夫: [一般講演] 特発性血小板減少性紫斑病の骨髓巨核球キネティクスに関する研究. 第50回日本血液学会総会, 1988.
- 5) 野村武夫, 前川正¹⁾, 内野治人²⁾, 宮崎保³⁾, 三浦恭定⁴⁾, 阿部師⁵⁾, 浅野茂隆⁶⁾, 永井清保⁷⁾, 八幡義人⁸⁾, 河北誠⁹⁾, 田口信行¹⁰⁾, 外山圭助¹¹⁾, 白川茂¹²⁾ (¹⁾群馬大, ²⁾京都大 1 内, ³⁾北海道大 3 内, ⁴⁾自治医大血液, ⁵⁾筑波大臨床医学系, ⁶⁾東京大医科研内科, ⁷⁾兵庫医大 2 内, ⁸⁾川崎医大内科, ⁹⁾熊本大 2 内, ¹⁰⁾国立小児病院, ¹¹⁾東京医大 1 内, ¹²⁾三重大 2 内: [一般講演] 特発性血小板減少性紫斑病 (ITP) のビンカアルカロイド緩速点滴静注療法に関する多施設共同研究. 第50回日本血液学会総会, 1988.
- 6) 伊藤敏治, Kon, H., 野村武夫: [一般講演] 赤血球ゴーストに及ぼすスペクトリン構造の影響. 第50回日本血液学会総会, 1988.
- 7) 香川隆男, 平川恒久, 高田啓介, 末岡伸夫, 渡淳, 大矢智恵, 渡辺昂, 小林正文: [一般講演] パラコート中毒の上部消化管病変の実験的検討. 第35回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 8) 渡淳, 宮田邦久, 山田益弘, 津久井拓, 多田教彦, 松坂聡, 山門進, 佐々木坦, 瀬底正彦, 渡辺昂, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 食道静脈瘤内圧測定を試み (第3報). 第35回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 9) 平塚秀雄, 他: [一般講演] 内視鏡検査により診断しえた在型早期食道癌の3切除例. 第35回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 10) 末岡伸夫, 宮入泰郎, 岩切勝彦, 青木正明, 林伸幸, 香川隆男, 会田大義, 川上明彦, 瀬底正彦, 渡辺昂, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 電子内視鏡による食道静脈瘤の観察. (第3報) 下部食道 血管の観察における有用性. 第35回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 11) 山門進, 吉田豊, 青木正明, 津久井拓, 山田益弘, 玉川恭士, 田口文彦, 岸田輝幸, 香川隆男, 渡辺昂, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 特殊組成電解質流 (Golytely) を用いた大腸内視鏡検査前処置の有用性. 第35回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 12) 平塚秀雄, 安井譲, 他: [一般講演] 高齢者に対する colonoscopy による screening の試み (第2報). 第35回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 13) 平塚秀雄: [シンポジウム] 消化器内視鏡 (検査および治療) に伴う偶発症の予防と対応; 下部消化管内視鏡. 第35回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 14) 安井譲, 平塚秀雄: [一般講演] 大腸ポリペクトミー症例の検討; 早期癌を中心に. 第35回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 15) 安井譲, 平塚秀雄: [一般講演] 高齢者に対する Colonoscopy による Screening の試み (第2報). 第35回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 16) 平塚秀雄: [一般講演] 大腸粘膜下腫瘍 (類似病変を含む) に対する内視鏡的診断と治療. 第35回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 17) 津久井拓, 山田益弘, 山田裕之, 宮田邦久, 多田教彦, 田口克司, 松坂聡, 坂本文夫, 金沢秀典, 幸坂宣俊, 平川恒久, 黒田肇, 渡辺昂, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 肝硬変に伴う胃病変と腹腔鏡所見との比較検討.

第35回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.

- 18) 平塚秀雄, 他: [一般講演] 胃アニサニス症 15例の検討. 第35回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 19) 岩切勝彦, 津久井拓, 山田益弘, 山田裕之, 多田教彦, 松坂聡, 金沢秀典, 黒田肇, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 腹腔鏡検査における偶発症とその対策. 日本医科大学医学会第65回例会, 1988.
- 20) 宮入泰郎, 山門進, 松坂聡, 田口文彦, 玉川恭士, 岸田輝幸, 吉田豊, 平川恒久, 小林正文, 野村武夫, 高山守正¹⁾ (¹⁾第1内科): [一般講演] 最近経験したびまん浸潤型大腸進行癌の2例. 第199回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 21) 奥村敏, 畑典武, 新博次, 里村克章, 荒牧琢己, 奥村英正¹⁾, 野村武夫 (¹⁾第1内科): [一般講演] 肝細胞癌にIgG-k型骨髄腫を合併した1例. 第199回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 22) 間武雄, 山田裕之, 浅野伍朗¹⁾, Kao, W. Y²⁾. (¹⁾第2病理, ²⁾Vniversity of Cincinnati): [一般講演] 角膜細胞における prolyl-4-hydroxylase の合成機序. 第20回日本結合組織学会総会, 1988.
- 23) 多田教彦, 山田益弘, 津久井拓, 山田裕之, 松坂聡, 田口克司, 坂本文夫, 幸坂宣俊, 金沢秀典, 黒田肇, 小林正文, 野村武夫, 竹田雄一郎¹⁾, 村田朗¹⁾, 仁井谷久暢¹⁾, 山田宣孝²⁾ (¹⁾臨床病理, ²⁾第2病理): [一般講演] 腹腔鏡下生検で診断し得た腹膜中皮腫の1例. 第46回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 24) 平塚秀雄, 安井譲: [一般講演] 特異な組織像を呈した十二指腸癌の1例. 第46回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 25) 渡淳, 宮田邦久, 津久井拓, 山田益弘, 多田教彦, 松坂聡, 瀬底正彦, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 食道静脈瘤内圧の測定 (第4報); 軟性局注針による連続圧測定の試み. 第46回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 26) 大矢智恵, 喜多博之, 高田啓介, 香川隆男, 松永元良, 成田淳夫, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 高吸水性線維を用いた内視鏡下胃粘膜電位差 (PD) 測定法とその臨床的应用. 第46回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 27) 比留間博之, 杉原仁, 永井俊彦, 井上剛輔¹⁾, 櫛引邦亮²⁾, 横路洋²⁾, 中山夏太郎²⁾, 相田真介³⁾, 伊藤雄二³⁾ (¹⁾東京都多摩老人医療センター消化器科同内科, ²⁾同外科, ³⁾同病理): [一般講演] 山田 I 型小ポリープ様病変を呈し, 化学療法により消失した胃悪性リンパ腫の1例. 第46回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 28) 安井譲, 平塚秀雄: [一般講演] 特異な組織像を呈した十二指腸癌の一例. 第46回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 29) 平塚秀雄: [一般講演] 内視鏡の止血が奏効した Dieulafoy 潰瘍の5例. 第46回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 30) 小宮格, 田近賢二, 伊藤敏治, 猪口孝一, 五味聖二, 緒方清行, 山田隆, 田辺義博, 大木一郎, 桑原哲夫, 壇和夫, 厨信一郎, 野村武夫: [一般講演] 癌細胞の転移により広範な骨髄壊死をきたした1例. 第101回日本臨床血液学会例会, 1988.
- 31) 岩切勝彦, 津久井拓, 多田教彦, 松坂聡, 山田裕之, 岸田輝幸, 金沢秀典, 平川恒久, 黒田肇, 小林正文: [一般講演] 分娩を契機に発症したと思われる若年性 PBC の1例. 第200回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 32) Takahashi, F., Wakabayashi, I., Minami, S., Sugihara, H. and Shinya, E.: [国際] Is inhibitory tone mediated by somatostatin reduced in female rats? The 8th International Congress of Endocrinology, 1988.
- 33) Sugihara, H., Wakabayashi, I., Minami, S., Takahashi, F. and Hasegawa, O.: [国際] Modulation of somatostatin release by α -methyl-p-tyrosine in rats. The 8th International Congress of Endocrinology, 1988.
- 34) Minami, S., Wakabayashi, I., Sugihara, H., Takahashi, F., Kamegai, J. and Sawada, H.: [国際] Anterolateral hypothalamic deafferentation abolishes growth hormone release induced by β -endorphin in rats. The 8th Interna-

tional Congress of Endocrinology, 1988.

- 35) Kamegai, J., Wakabayashi, I., Minami, S., Takahashi, F., Sugihara, H., and Okada, K. : [国際] Effect of insulin induced hypoglycemia on growth hormone levels in rats during a continuous infusion of GH-releasing factor. The 8th International Congress of Endocrinology, 1988.
- 36) Abe, J¹⁾, Okamura, H¹⁾, Motoyama, A., Wakabayashi, I., Paul¹⁾, W. K., Ibata¹⁾, Y. (¹⁾Kyoto Prefectural University of Medicine) : [国際] Distribution of LHRH and gonadotropin releasing hormone associated peptide immunoreactive neurons in the human hypothalamus. The 8th International Congress of Endocrinology, 1988.
- 37) Kuriya, S., Ogata, K. and Nomura, T. : [一般講演] Three stages of Differentiation of mouse megakaryocyte progenitor cells. 17th Annual Meeting of The International Society for Experimental Hematology (Houston), 1988.
- 38) Dan, K., Tajika, K., Gomi, S. and Nomura, T. : [ポスター] Kinetics of megakaryocyte progenitor cells in idiopathic thrombocytopenic purpura. 22nd Congress of International Society of Hematology (Milano), 1988.
- 39) Gomi, S., Dan, K., Kuriya, S. and Nomura, T. : [ポスター] Influence of serum immunoglobulin G on the measurement of platelet-associated immunoglobulin G. 22nd Congress of International Society of Hematology (Milano), 1988.
- 40) Shinohara, T¹⁾. and Nomura, T. (¹⁾Dept. Human Cytogenet., Japan Red Cross Medical Center) : [ポスター] "Jumping translocation" of a trisomic whole q arm of chromosome #1 in an acute lymphoblastic leukemia. 22nd Congress of International Society of Hematology (Milano), 1988.
- 41) Kuriya, S., Ogata, K. and Nomura, T. : [学会発表・一般講演] Three stages of Differentiation of mouse megakaryocyte progenitor cells. 17th Annual Meeting of The International Society for Experimental Hematology (Houston) 1988.
- 42) Dan, K., Tajika, K., Gomi, S. and Nomura, T. : [ポスター] Kinetics of megakaryocyte progenitor cells in idiopathic thrombocytopenic purpura. 22nd Congress of International Society of Hematology (Milano), 1988.
- 43) Gomi, S., Dan, K., Kuriya, S. and Nomura, T. : [ポスター] Influence of serum immunoglobulin G on the measurement of platelet-associated immunoglobulin G. 22nd Congress of International Society of Hematology (Milano), 1988.
- 44) Shinohara, T¹⁾. and Nomura, T. (¹⁾Dept. Human Cytogenet., Japan Red Cross Medical Center) : [ポスター] "Jumping translocation" of a trisomic whole q arm of chromosome #1 in an acute lymphoblastic leukemia. 22nd Congress of International Society of Hematology (Milano), 1988.
- 45) 山門進, 吉田豊, 田口文彦, 玉川恭士, 岸田輝幸, 平川恒久, 小林正文, 野村武夫 : [一般講演] 腸管洗浄液(PEG-ELS)による大腸内視鏡検査前処置法の評価; 背景因子の検討. 第6回大腸検査法研究会, 1988.
- 46) 田辺義博, 山門進, 田口文彦, 玉川恭士, 大木一郎, 桑原哲夫, 岸田輝幸, 香川隆男, 吉田豊, 平川恒久, 小林正文, 野村武夫 : [一般講演] 進行胃癌と早期大腸癌の同時性重複癌の術後10年目に発症した大腸多発癌の1例. 第201回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 47) 田辺義博, 山門進, 田口文彦, 玉川恭士, 大木一郎, 桑原哲夫, 岸田輝幸, 香川隆男, 吉田豊, 村岡恒久, 平川恒久, 小林正文, 野村武夫, 岡崎滋樹¹⁾, 中尾充¹⁾, 田中宣威¹⁾, 恩田昌彦¹⁾ (¹⁾第1外科) : [一般講演] 進行胃癌と早期大腸癌の同時性重複癌の術後10年目に発症した大腸多発癌の1例. 第201回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 48) 間武雄, 山田裕之, 浅野伍郎¹⁾ (¹⁾第2病理) : [展示] 四塩化炭素障害ラット肝における prolyl 4-hydroxylase mRNA の発現. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 49) 平塚秀雄 : [一般講演] 人間ドックにおける Sigmoidoscopy-SCG (Screening Colonography) 同日併用による大

- 腸検診. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 50) 桑名壮太郎, 香取利一, 金重輝, 吉安正行¹⁾, 梅森真理¹⁾, 青木伸弘, 恩田昌彦²⁾ (¹⁾三菱重工大倉山病院外科, ²⁾第1外科): [一般講演] 糖尿病性腎症由来のうっ血性心不全に持続的血液ろ過 (CHF) が著効した2例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
 - 51) 宮田邦久, 山田益弘, 山田裕之, 津久井拓, 多田教彦, 松坂聡, 田口克司, 坂本文夫, 金沢秀典, 黒田肇, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 腹腔鏡検査により経過観察しえたB型慢性活動性肝炎の3例. 第24回腹腔鏡懇話会, 1988.
 - 52) 猪口孝一, Shimada, T., Nienhuis, A. W. 野村武夫: [一般講演] FU トムの intervening sequence を有する precursor mRNA に対する効果. 第47回日本癌学会総会, 1988.
 - 53) 平塚秀雄: [一般講演] 人間ドックにおける大腸検診の対策 (第4報). 第26回日本消化器集団検診学会秋季大会, 1988.
 - 54) Sasaki, H., Watari, A., Joong-Hui-Kim., Oya, C., Narita, A., Hirakawa, T. and Kobayasi, M.: [ポスター] Prophylactic effect of endoscopic local injection of absolute ethanol on rebleeding from gastric ulcer. The 8th Asian-Pacific congress of gastroenterology. The 5th Asian-Pacific congress of digestive endoscopy. 1988, 10, 9-13, Seoul, Korea.
 - 55) 末岡伸夫, 瀬底正彦, 岩切勝彦, 増田正徳, 林伸幸, 大木一郎, 青木正明, 平川恒久, 吉田豊, 川上明彦, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 電子内視鏡による食道静脈瘤の観察. (第4報); 下部食道細血管の観察, 静脈瘤色調の数量化に関する検討. 第36回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
 - 56) 松永元良, 大矢智恵, 比留間博之, 高橋文恵, 高田啓介, 香川隆男, 松川フレディ, 成田淳夫, 平川恒久, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 高吸水性繊維を用いた内視鏡下胃粘膜電位差測定法とその臨床的応用. 第36回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
 - 57) 平塚秀雄: [シンポジウム] 小腸内視鏡の進歩と問題点. 第36回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
 - 58) 平塚秀雄: [一般講演] 大腸腺腫と早期癌の検討; ポリペクトミー症例をもとに. 第36回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
 - 59) 平塚秀雄: [一般講演] 免疫学的便潜血反応による大腸癌スクリーニングの実態. 第36回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
 - 60) 坂本文夫, 黒田肇: [一般講演] アルコール性肝炎とアルコール性肝線維症の腹腔鏡像と背景因子. 第36回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
 - 61) 平塚秀雄, 他: [一般講演] 若年者虚血性大腸炎の検討. 第36回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
 - 62) 田口文彦, 吉田豊, 沢田秀雄, 宮入泰郎, 長谷川修, 松坂聡, 山門進, 玉川恭士, 岸田輝幸, 平川恒久, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 大腸内視鏡検査における大腸ポリープ見逃し例の検討. 第36回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
 - 63) 平塚秀雄, 安井譲, 他: [一般講演] 大腸腺腫と早期癌の検討; ポリペクトミーの症例をもとに. 第36回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
 - 64) 平塚秀雄, 他: [一般講演] 内視鏡的ポリペクトミーした大腸早期癌症例の検討. 第36回日本消化器病学会大会, 1988.
 - 65) 金沢秀典, 多田教彦, 宮田邦久, 津久井拓, 黒田肇, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 肝硬変の血行動態へ及ぼす Propranolol, nadolol 長期投与の影響. 第30回日本消化器病学会大会, 1988.
 - 66) 渡淳, 宮田邦久, 津久井拓, 多田教彦, 松坂聡, 佐々木坦, 瀬底正彦, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 食道静脈瘤内圧の測定; 軟性局注針による速圧測定の試み. 第30回日本消化器病学会大会, 1988.

- 67) 平塚秀雄, 他: [一般講演] 胆嚢ポリープの自然史の検討. 第30回日本消化器病学会大会, 1988.
- 68) 松坂聡, 金沢秀典, 多田教彦, 宮田邦久, 津久井拓, 黒田肇, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] ドップラー発振器を用いた奇静脈血流速度測定を試み. 第30回日本消化器病学会大会, 1988.
- 69) 猪口孝一, 小宮格, 宮入泰郎, 津久井拓, 桑原哲夫, 壇和夫, 厨信一郎, 野村武夫, 篠原多美子¹⁾ (¹⁾日赤医療センター染色体研): [一般講演] TdT 陽性 B-cell ALL の1例. 第102回日本臨床血液学会例会, 1988.
- 70) 平塚秀雄: [シンポジウム] The treatment of early gastric cancers with microwave coagulation. 第5回アジア太平洋消化器内視鏡学会会議 (ソウル), 1988.
- 71) 山田裕之, 間武雄, 田口克司, 浅野伍郎, (第2病理): [一般講演] In situ hybridization 法による肝における type III collagen 遺伝子発現. 第29回日本組織細胞化学学会総会, 1988.
- 72) 比留間博之, 伊藤慎芳¹⁾, 塩栄夫²⁾, 上坂伸宏³⁾ (¹⁾関東通信病院内科, ²⁾京大神経内科, ³⁾第1生理): [一般講演] 水溶性ヨード造影剤の赤血球微小孔通過能に及ぼす作用. 日本生物物理学会第26回年会, 1988.
- 73) 比留間博之, 永井俊彦, 宮入泰郎 (東京都多摩老人医療センター消化器科): [一般講演] 胃小ポリープ様病変を呈した興味ある2例. 多摩消化器病研究会, 1988.
- 74) 山田隆, 田近賢二, 緒方清行, 五味聖二, 田辺義博, 大木一郎, 桑原哲夫, 壇和夫, 厨信一郎, 野村武夫: [展示] 急性白血病寛解導入時における水平層流病室の有用性について. 第30回日本臨床血液学会総会, 1988.
- 75) 猪口孝一, 緒方清行, 大木一郎, 壇和夫, 厨信一郎, 野村武夫: [一般講演] 二次性白血病の細胞遺伝学的ならびに分子生物学的研究. 第30回日本臨床血液学会総会, 1988.
- 76) 五味聖二, 田辺義博, 大木一郎, 桑原哲夫, 壇和夫, 厨信一郎, 野村武夫: [一般講演] リンパ球系, 顆粒球系, 巨核球系の細胞表面形質がみられた急性白血病の1例. 第30回日本臨床血液学会総会, 1988.
- 77) 猪口孝一, 緒方清行, 大木一郎, 壇和夫, 厨信一郎, 野村武夫, 篠原多美子¹⁾ (¹⁾日赤医療センター): [ワークショップ] 二次性白血病の細胞遺伝学的ならびに分子生物学的研究. 第30回日本臨床血液総会, 1988.
- 78) 二木真琴, 伊藤敏治, 猪口孝一, 大木一郎, 桑原哲夫, 壇和夫, 厨信一郎, 野村武夫: [展示] 末梢血異型単球増加を伴った monosomy 7, Ph¹ 染色体陽性の急性リンパ性白血病の1例. 第30回日本臨床血液学会総会, 1988.
- 79) 田辺義博, 壇和夫, 野村武夫: [一般講演] 慢性骨髄性白血病の骨髄巨核球前駆細胞 (CFU-Meg) に対する interferon の作用. 第30回日本臨床血液学会総会, 1988.
- 80) 厨信一郎, 壇和夫, 野村武夫: [ワークショップ] 特発性血小板減少性紫斑病に対するピンカアルカロイド緩速点滴静注療法. 第30回日本臨床血液学会総会 (岡山市), 1988.
- 81) 長谷川修, 亀谷純, 南史朗, 高橋文恵, 杉原仁, 若林一二: [一般講演] 両側副腎悪性リンパ腫を合併した選択的性アルドステロン症. 第61回日本内分泌学会秋季学術大会, 1988.
- 82) 岡田憲明, 南史朗, 杉原仁, 高橋文恵, 新谷英滋, 沢田秀雄, 若林一二: [一般講演] 視床下部室周囲核電気刺激の血漿成長ホルモンに与える効果. 第15回日本内分泌学会神経内分泌分科会, 1988.
- 83) 長谷川修, 末岡伸夫, 吉沢雅史, 増田正徳, 新谷英滋, 岡田憲明, 亀谷純, 宮入泰郎, 黒田肇, 瀬底正彦, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 門脈圧亢進, 上大静脈の狭窄・拡張などを認めない中部食道孤立性静脈瘤の症例. 第47回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 84) 桑原哲夫, 安恵美, 岩切勝彦, 宮田邦久, 多田教彦, 松坂聡, 五味聖二, 田辺義博, 大木一郎, 坂本文夫, 金沢秀典, 黒田肇, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 急性白血病に合併した肝膿瘍に対する腹腔鏡検査の意義. 第47回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 85) 山門進, 吉田豊, 田辺義博, 田口文彦, 玉川恭士, 岸田輝幸, 平川恒久, 小林正文, 野村武夫, 木村正儀¹⁾, 三木一正¹⁾ (¹⁾東京大第1内科): [一般講演] 同胞に発生した Crohn 病. 第47回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.

- 86) 壇和夫, 田近賢二, 伊藤敏治, 猪口孝一, 緒方清行, 五味聖二, 山田隆, 田辺義博, 大木一郎, 桑原哲夫, 厨信一郎, 野村武夫:〔ワークショップ〕不応性貧血の予後に関する臨床的検討. 第30回日本臨床血液学会総会, 1988.
- 87) 南定, 渡淳, 五味聖二, 玉川恭士, 大木一郎, 岸田輝幸, 平川恒久, 小林正文, 野村武夫, 岡崎滋樹¹⁾, 会田邦晴²⁾ (¹⁾第1外科, ²⁾第1病理):〔一般講演〕脾頭部に発生したと思われる形質細胞腫の1例. 第202回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 88) 秦泉寺亮, 幸坂宣俊, 末岡伸夫, 小林正文, 野村武夫, 加藤俊二¹⁾, 山口裕通¹⁾, 古谷政一¹⁾ (¹⁾下館市民病院外科):〔一般講演〕小腸悪性リンパ腫と早期胃癌を合併した von Recklinghausen 病の1例. 第202回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 89) 緒方清行, 二本真琴, 猪口孝一, 五味聖二, 大木一郎, 桑原哲夫, 壇和夫, 厨信一郎, 野村武夫:〔一般講演〕多発性骨髄腫の治療後に発症しアンドロジェンが奏効した赤白血病の1例. 第103回日本臨床血液学会例会, 1988.
- 90) 岩切勝彦, 末岡伸夫, 林伸幸, 会田大義, 川上明彦, 黒田肇, 瀬底正彦, 小林正文, 野村武夫:〔一般講演〕食道静脈瘤の食道内圧, 特に一次蠕動波について. 第23回日本成人病学会, 1989.
- 91) 杉原仁, 比留間博之, 永井俊彦:以下東京都多摩老人医療センター〔一般講演〕側頭動脈炎の一例. 第7回関東老年病学会, 1989.
- 92) 三宅一昌, 山田益弘, 山田隆, 五味聖二, 田辺義博, 桑原哲夫, 壇和夫, 厨信一郎, 野村武夫:〔一般演題〕心タンポナーデで発見されたT細胞急性リンパ性白血病. 日本内科学会地方会第380回, 1989.
- 93) 水谷崇¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 山下精彦¹⁾, 森山雄吉¹⁾, 田中宣威¹⁾, 徳永昭¹⁾, 足立幹夫¹⁾, 京野昭二¹⁾, 渡辺章¹⁾, 上田光孝¹⁾, 鳥羽昌仁¹⁾, 野村務¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 西久保秀紀¹⁾, 野村武夫, 桑原哲夫, 三宅弘一 (¹⁾第1外科):〔一般講演〕真性赤血球増加症に合併した胃癌の1例. 第203回日本消化器病学会関東地方会, 1989.
- 94) 三宅弘一, 宮入泰郎, 田口克司, 渡淳, 田辺義博, 桑原哲夫, 香川隆男, 平川恒久, 小林正文, 野村武夫, 奥田武志¹⁾, 中尾充¹⁾, 岡崎滋樹¹⁾, 恩田昌彦¹⁾ (¹⁾第1外科):〔一般講演〕多彩な肉眼のおよび組織学的所見を呈した分類不能型進行癌の1例. 第203回日本消化器病学会関東地方会, 1989.
- 95) 宮田邦久, 山田益弘, 山田裕之, 多田教彦, 松坂聡, 田口克司, 桑原哲夫, 坂本文夫, 幸坂宣俊, 金沢秀典, 黒田肇, 小林正文, 野村武夫:〔一般講演〕腹部CT検査にて多発性低吸収域を認め, 腹腔鏡検査が診断に有用であった3例. 第25回腹腔鏡懇話会, 1989.
- 96) 伊藤敏治, 南定, 安恵美, 二本真琴, 五味聖二, 山田隆, 緒方清行, 猪口孝一, 田辺義博, 大木一郎, 桑原哲夫, 壇和夫, 厨信一郎, 野村武夫:〔一般講演〕悪性貧血の治療後に発症した赤芽球癆の1例. 第104回日本臨床血液学会例会, 1989.
- 97) 平川恒久, 香川隆男, 末岡伸夫, 高橋文恵, 青木正明, 小林正文, 野村武夫:〔一般講演〕ウサギ腐蝕性胃炎の病理組織学的検討; Hcl, NaOH, パラコートの対比. 第75回日本消化器病学会総会, 1989.
- 98) 山門進, 吉田豊, 田口文彦, 玉川恭士, 岸田輝幸, 平川恒久, 小林正文, 野村武夫:〔一般講演〕家族内発生 Crohn 病の臨床像の特徴. 第75回日本消化器病学会総会, 1989.
- 99) 比留間博之, 大矢智恵, 高橋文恵, 大木一郎, 香川隆男, 松永元良, 成田淳夫, 平川恒久, 小林正文, 野村武夫:〔一般講演〕胃粘膜電位差 (PD) 測定によるタウロコール酸 (TCA) の胃粘膜障害性の検討. 第75回日本消化器病学会総会, 1989.
- 100) 金沢秀典, 松坂聡, 多田教彦, 黒田肇, 小林正文, 野村武夫:〔ポスター〕Propranolol の門脈圧へ及ぼす効果に関する検討. 第75回日本消化器病学会総会, 1989.
- 101) 平塚秀雄:〔一般講演〕胃十二指腸出血に対する内視鏡的止血法. 第75回日本消化器病学会総会, 1989.
- 102) 山田裕之, 間武雄, 田口克司, 浅野伍朗 (第2病理):〔一般講演〕In situ hybridization 法による, 肝線維化に関与する type III collagen と prolxlhydroxylase の RNA 局在の検討. 第78回日本病理学会総会, 1989.

4. 精神医学講座

[付属病院神経科・第一病院神経科]

研究概要

教室の研究テーマには、精神生理学、精神薬理学、コンサルテーション・リエゾン精神医学、社会精神医学、心身医学、犯罪精神医学およびその他の各領域があり、各々活発に研究が進められた。

精神生理学領域では、従来からの定量脳波による感情精神病の脳機能総合異常の研究がさらに進められ、若年発病者と高年発病者の差異など heterogeneity に関わる問題が詳細に検討された。また、摂食障害者の定量脳波学的研究も症例数を増し、その基礎となる若年女性の定量脳波が感情尺度との関連のなかで検討された。催眠による定量脳波変化の研究も続行された。

精神薬理学領域では、本学法医学教室と共同で行っている向精神薬微量定（同時多剤測定）でその精度向上が計られており、また、TRH analog の DN-1417 の難治性てんかんに対する臨床効果ははじめ多くの第Ⅱ・Ⅲ相試験を行っている。

コンサルテーション・リエゾン精神医学では、自殺、術後精神障害など救急医療における精神医学の従来の研究のほか、今年は救急医療スタッフのストレスの問題、精神医学教育の問題、てんかん重積などが研究された。

社会精神医学領域では、アルコール依存症者の治療の場の拡大（保健所、内科外来など）が試みられ、分裂病の居住形態別の特徴とその意義についての計量尺度の考案が試みられている。大富士方式による分裂病者・社会復帰プログラムにおける尺度化の検討、精神科デイ・ケアの問題の研究も始められている。

心身医学領域では、昨年にひきつづき神経性不食症の類型化および新しいタイプの提唱、脳波研究、さらに、虚血性心疾患のリハビリテーションにおける心身医学、スポーツの精神医学的側面が研究された。

その他、新しい神経症尺度（FN 式）の開発とその妥当性の検討が活発に行われており、また、近年増加の著しい治療困難な思春期精神障害の治療研究、従来よりのセネストパチーの臨床研究、パセドウ精神病、発達心理学、臨床心理学の研究も従来どおり進められている。

研究業績

論文

- 1) 遠藤俊吉, 他: [原著] TRH analog (UN-1417) 経口剤の難治性てんかんにおける臨床試験. てんかん研, 6, 58~68, 1988.
- 2) 黒澤尚: [総説] 救命救急センターと精神科. 日精病協誌, 7, 57~59, 1988.
- 3) 藤波茂忠: [総説] 甲状腺疾患と精神症状; 精神障害の原因を甲状腺機能異常に求められるか. 医のあゆみ, 145, 758, 1988.
- 4) 長谷川朝穂, 黒澤尚, 遠藤俊吉, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾ (¹⁾集中治療室): [総説] CCU に働く医師のストレス解消法. 日救急医会関東誌, 9, 398~399, 1988.
- 5) 黒澤尚: [総説] 救命処置を要する精神症状. 総合臨, 37, 1732~1735, 1988.
- 6) 黒澤尚: [総説] 自殺. 総合臨, 37, 1736~1738, 1988.
- 7) 黒澤尚: [総説] 自殺. 救急医, 12, 857~862, 1988.
- 8) 森隆夫, 遠藤俊吉, 朝田薫, 鈴木博子: [原著] うつ病と脳波; そのトポグラフィーの特徴と催眠治療にともなう変化. 催眠と科学, 3号, 6~14, 1988.
- 9) 白山正人, 浜本紘¹⁾ (¹⁾榊原記念クリニック): [総説] post CCU から社会復帰における心理反応 (特集: ICU

- における精神庇護). ICU と CCU, 12, 571~578, 1988.
- 10) 長谷川朝穂:〔総説〕CCU に働く医師の労働状況とストレス. 医のあゆみ, 146, 210, 1988.
 - 11) 黒澤尚:〔総説〕意識障害と混同される精神疾患. Emergency Nursing, 1, 216~219, 1988.
 - 12) 岩崎正人:〔総説〕アルコール退薬症候群. 日本臨床, 46, 141~145, 1988.
 - 13) 高木宏昌:〔報告〕抗精神病薬多剤併用時の血清濃度モニタリングのための問題点. 医のあゆみ, 146, 513, 1988.
 - 14) 長谷川朝穂:〔総説〕集中治療での患者;ICU 症候群についてのアプローチ(特集:集中治療のあるべき姿). 新医療, 15, 82~86, 1988.
 - 15) 橋口英俊:〔総説〕仕事と家庭(特別企画:働き盛りのメンタル・ヘルス). こころの科学, 21, 52~57, 1988.
 - 16) 黒澤尚:〔総説〕中毒と自殺. 救急医, 12, 1235~1239, 1988.
 - 17) 白山正人:〔総説〕精神保健としてのスポーツ(特集:現代にとってスポーツとは何か). 体育科教育, 36, 46~48, 1988.
 - 18) 白山正人:〔総説〕スポーツの意義;精神医学の立場から(特集:スポーツ医学1988). 最新医, 43, 2121~2125, 1988.
 - 19) 黒澤尚:〔総説〕救命・救急センターで働く医師のストレス. 労の科学, 43, 22~25, 1988.
 - 20) 黒澤尚:〔総説〕術後の精神障害とその対策. Expert Nurse, 4, 74~77, 1988.
 - 21) 黒澤尚:〔総説〕急激な発症をみた精神症状とその対応. Med. Pract., 4, 1905~1908, 1988.
 - 22) 黒澤尚, 長谷川朝穂, 遠藤俊吉:〔原著〕救命救急センターにおける精神医学の卒後教育. 精神誌, 90, 1055~1061, 1988.
 - 23) 森隆夫:〔総説〕うつ病の脳波像. 臨検, 32, 1532~1533, 1988.
 - 24) 白山正人:〔総説〕精神医学, 心身医学からみたスポーツ(特集:こころのスポーツ医・科学). 臨スポーツ医, 5, 1205~1210, 1988.
 - 25) 岩崎康孝, 黒澤尚:〔総説〕けいれん. Med. Pract., 6, 1981~1983, 1988.
 - 26) 藤波茂忠:〔総説〕プライマリ・ケアと神経症と質問紙法心理テスト. 日プライマリ・ケア誌, 11, 439~440, 1988.
 - 27) 藤波茂忠:〔総説〕健康の話;神経症の話. NEONAA(燃料及び燃焼), 55, 61~65, 1988.
 - 28) 松村英幸:〔原著〕イミプラミン治療時の内因性うつ病者視覚誘発電位変化についての研究;視覚誘発電位振幅変化と投与量, 抑うつ尺度ならびに継時的因子との関連について. 日医大誌, 55, 574~581, 1988.
 - 29) 藤波茂忠:〔総説〕神経症の診断と質問紙法心理テスト. 日医大誌, 56, 91, 1989.
 - 30) 藤波茂忠:〔総説〕だれでもできる神経症の自己診断プログラム. 健康な子供, 18, 55~58, 1989.
 - 31) 西松能子, 朝田薫, 秋山美紀夫, 遠藤俊吉:〔原著〕Munchausen 症候群の一症例;心身両面よりの接近. 精神科治療, 4, 71~79, 1989.
 - 32) 白山正人:〔総説〕疲労の神経・筋生理;身体性・精神性疲労(特集:疲労). 理学療法, 6, 21~27, 1989.
 - 33) 黒澤尚, 他:〔総説〕手術後の精神障害とその対策. 臨外, 44, 191~196, 1989.
 - 34) 白山正人:〔総説〕虚血性心疾患患者のリハビリテーション時における心身医学的問題. 医のあゆみ, 148, 91, 1989.
 - 35) 遠藤俊吉:〔総説〕最近の抗うつ薬療法. 東京医師会誌, 41, 1165~1168, 1989.
 - 36) 藤原豪, 他:〔原著〕東京都立梅ヶ丘病院幼児病棟における感覚総合療法の試み. 都立医療技術短期大学紀要, 75~85, 1989.
 - 37) Hasegawa, A., Kurosawa, H., Endo, S., Tanaka, K. and Hirotsawa, K.:〔報告〕Physicians' stress; In the Coronary Care Units(特集:Health surveillance workers). 産業医大誌, 11(特集号), 474~479, 1989.

38) 木村真人：〔総説〕精神科ディケアの実際；病院ディケアの経験と今後の課題。医のあゆみ，149，150，1989。

著 書

- 1) 黒澤尚，他：〔分担〕救急医療における精神科治療，“図説臨床精神医学講座 第2巻 精神科治療学”（島藺安雄，他編），p.194～199，メジカルビュー社，1988。
- 2) 黒澤尚：〔分担〕術前・術後の精神症状，精神障害のある患者の管理。“合併症をもつ患者の術前・術中・術後の管理”（平澤博之編），p.212～223，医学書院，1988。
- 3) 橋口英俊：〔分担〕スクール・バイオレンス。（内山喜久雄監訳），p.111～149，日本文化科学社，1988。
- 4) 橋口英俊：〔分担〕現代子ども大百科。（平山宗宏，他編），p.356～358，中央法理，1988。
- 5) 春日武彦，黒澤尚：〔分担〕過呼吸症候群。“救急処置・処方マニュアル”（医学のあゆみ編集委員会編），p.184，医歯薬出版，1988。
- 6) 春日武彦，黒澤尚：〔分担〕不安神経症。“救急処置・処方マニュアル”（医学のあゆみ編集委員会編），p.185，医歯薬出版，1988。
- 7) 春日武彦，黒澤尚：〔分担〕自殺企図。“救急処置・処方マニュアル”（医学のあゆみ編集委員会編），p.186，医歯薬出版，1988。
- 8) 春日武彦，黒澤尚：〔分担〕アルコール離脱症候群。“救急処置・処方マニュアル”（医学のあゆみ編集委員会編），p.187，医歯薬出版，1988。
- 9) 春日武彦，黒澤尚：〔分担〕夜間せん妄。“救急処置・処方マニュアル”（医学のあゆみ編集委員会編），p.188，医歯薬出版，1988。
- 10) 春日武彦，黒澤尚：〔分担〕悪性症候群。“救急処置・処方マニュアル”（医学のあゆみ編集委員会編），p.189，医歯薬出版，1988。
- 11) 黒澤尚：〔分担〕ICU・CCU患者の精神症状。“新・医療心理学読本”（小此木啓吾編），p.235～239，日本評論社，1988。
- 12) 岩崎正人：〔分担〕アルコール退薬症候群とは何ですか。“現代のエスプリ アルコホリクス物語”，p.224～226，至文堂，1988。
- 13) 黒澤尚：〔分担〕急性外傷患者の精神医学的処置。“外傷の救急治療”（中澤省三，他編），p.526～536，南山堂，1988。
- 14) 橋口英俊：〔分担〕論理療法を学ぶ。（日本学生相談学会編），p.213～219，川島書店，1988。
- 15) 橋口英俊：〔分担〕心理治療法ハンドブック。（伊藤隆二編），p.111～136，福村出版，1989。
- 16) 黒澤尚：〔分担〕精神疾患について。“Nursing Select（看護診断とケアプラン）”（篠田知璋，他編），p.9～15，出版研，1989。
- 17) 黒澤尚：〔分担〕リエゾン精神医学。“Nursing Select（看護診断とケアプラン）”（篠田知璋，他編），p.17～22，出版研，1989。
- 18) 橋口英俊：〔分担〕メンタルヘルス・ハンドブック（上里一郎，他編），p.646～666，同朋舎，1989。
- 19) 橋口英俊：〔共著〕十一人の棋風。（岡本浩一との共著），ブレーン出版，1989。

学会発表

- 1) 白山正人，藤波茂忠，浜本紘¹⁾（¹⁾榊原記念クリニック）：〔一般講演〕心臓リハビリテーション実施者の精神的側面；虚血性心疾患患者における検討。第85回日本内科学会講演会，1988。
- 2) 藤波茂忠，藤木健夫，斉藤隆亮，越智真理子，塚川光利，山口英人，荒井圭介，白山正人：〔一般講演〕50項目

- 5 尺度の神経症判別尺度の作成. 第84回日本精神神経学会総会, 1988.
- 3) 黒澤尚, 長谷川朝穂, 遠藤俊吉: [シンポジウム] 救命救急センターにおける精神医学の卒後教育; 精神医学の卒後研修と生涯教育. 第84回日本精神神経学会総会, 1988.
- 4) 西松能子, 朝田薫, 中村秀一, 遠藤俊吉: [一般講演] 身体症状をともなう慢性作為病を呈したパーソナリティ障害の症例. 第84回日本精神神経学会, 1988.
- 5) 岩崎康孝, 黒澤尚, 遠藤俊吉, 他: [一般講演] 第三次救急施設に収容されるてんかん重積患者; その収容機転について. 第84回日本精神神経学会, 1988.
- 6) 藤波茂忠, 藤木健夫, 斉藤隆亮, 越智真理子, 塚川光利, 山口英人, 荒井圭介, 白山正人: [一般講演] 5 尺度 50項目の神経症判別スケールの開発と妥当性の検討. 第29回日本心身医学会総会, 1988.
- 7) 山田正枝, 西松能子, 朝田薫, 坂本博子, 岩崎康孝, 遠藤俊吉: [一般講演] 神経性食思不振症の一型 (理想体型願望型) について. 第29回日本心身医学会総会, 1988.
- 8) 長谷川朝穂, 黒澤尚, 遠藤俊吉, 田中啓治, 高野照夫¹⁾, 広沢弘七郎¹⁾ (1)東京都 CCU 連絡協議会): [一般講演] CCU に働く医師の労働状況とストレス. 第29回日本心身医学会総会, 1988.
- 9) 岩崎正人, 遠藤俊吉, 他: [一般講演] 千歳荘 (結核患者専用の中間施設) におけるアルコール依存症者の研究. 第23回日本アルコール医学会総会, 1988.
- 10) 岩崎正人, 他: [一般講演] 内科病院外来におけるアルコール関連障害治療の試み. 第23回日本アルコール医学会総会, 1988.
- 11) 黒澤尚: [セミナー] ICU でみられる精神症状とその対応. ICU・CCU 看護卒後教育セミナー (日本集中治療医学会), 1988.
- 12) 黒澤尚, 他: [シンポジウム] 中毒による自殺未遂者の医療; 仕事量の検討 (急性中毒と自殺). 第10回中毒研究会, 1988.
- 13) 斉藤隆亮: [一般講演] 老人性痴呆に対して黄連解毒湯が奏効した症例. 第22回東洋心身医学研究会, 1988.
- 14) 岩崎正人, 他: [一般講演] 東京都品川区品川保健所における酒案相談の参加状況の検討. 第47回日本公衆衛生学会, 1988.
- 15) 高山大起, 高橋亨, 荻野新六, 遠藤俊吉: [一般講演] 慢性精神分裂病者の就労生活評価尺度の考案. 第56回日本医学会総会, 1988.
- 16) Hasegawa, A., Kurosawa, H., Endo, S., Tanaka, K., Takano, T. and Hirose, K.: [一般演題] Physicians' stress in the Coronary Care Units (Thema: Stress in Work Place). 第8回産業医科大学国際シンポジウム (北九州市), 1988.
- 17) 森隆夫, 木村真人, 朝田薫, 鈴木博子, 秋山美紀夫, 遠藤俊吉: [一般講演] 抑うつ被験者の, 催眠治療前後における定量脳波変化. 第18回脳波・筋電図学会学術大会, 1988.
- 18) 木村真人, 森隆夫, 朝田薫, 鈴木博子, 遠藤俊吉: [一般講演] うつ病者の脳波定量分析; 年齢及び臨床症状による検討. 第18回日本脳波・筋電図学会学術大会, 1988.
- 19) 朝田薫, 鈴木博子, 木村真人, 秋山美紀夫, 森隆夫, 遠藤俊吉: [展示] 摂食障害者における脳波定量分析 (第2報). 第18回日本脳波・筋電図学会学術大会, 1988.
- 20) 鈴木博子, 朝田薫, 木村真人, 森隆夫, 遠藤俊吉: [一般講演] 若年女性を対象とした定量脳波学的研究; 抑うつ尺度との相関について. 第18回日本脳波・筋電図学会学術大会, 1988.
- 21) 黒澤尚: [研修講演] 自殺未遂者の精神面への対応. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
- 22) 黒澤尚, 他: [一般講演] 全国自殺企図患者の動態. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
- 23) 黒澤尚, 他: [一般講演] 合併症を有する救急患者の取り扱いについて. 第16回日本救急医学会総会, 1988.

- 24) 黒澤尚, 他: 〔一般講演〕救急医療施設における精神科医の役割. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
- 25) 長谷川朝穂, 黒澤尚, 遠藤俊吉, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾ (¹⁾集中治療室): 〔一般講演〕ICUにおける精神症状に対する薬物療法. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
- 26) 岩崎康孝, 黒澤尚, 遠藤俊吉, 他: 〔一般講演〕救急施設に収容されるてんかん重積患者について; その治療. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
- 27) Hayashi, S. and Ochi, M.: 〔一般講演〕Role of public housing for social life of shizophrenic patients in metroplis. The 4th Scientific Meeting of The Pacific Rim College of Psychiatrists (Hong Kong), 1988.
- 28) 黒澤尚: 〔教育講演〕老年者の術後管理. 第1回老年麻酔研究会, 1989.
- 29) 岩崎康孝, 黒澤尚, 遠藤俊吉, 他: 〔一般講演〕救急施設に収容されるてんかん重積患者について. 第二報 その治療と予后. 日本救急医学会関東地方会, 1989.
- 30) 高木宏昌, 倉岡幸令, 遠藤俊吉: 〔一般講演〕Multi-HPLCによる向精神薬多剤併用時の血中濃度モニタリング (第1報). 第11回日本生物学的精神医学会, 1989.

5. 小児科学講座

[付属病院小児科・多摩永山病院小児科]

研究概要

血液・免疫系については、白血病の治療の質について、厚生省心身障害研究班の第三年次の研究、白血病の治療の改善、好中球減少時のCSFによる治療や感染防止・治療、好中球減少の治療、栄養性鉄欠乏症の取り扱い方、NK細胞の動態などについての研究を続行している。

小児のアレルギー疾患についても研究している。

循環器については超音波による検査を、先天性心疾患のみならず、二次的疾患についても広く行い、各種疾患における循環動態、および先天性心疾患・川崎病についての診断・治療について研究している。

腎疾患については、学校検尿の試験法、尿異常者の判定に関する問題と事後処置、IgA腎症とMPGNなどについての研究を行っている。

呼吸器については、肺機能、呼吸（肺）音の分析、特に小児気管支喘息のラ音分析、呼吸器疾患の放射線的診断のニューモダリティー（RIエロゾルクリアランス）の研究とともに、受動喫煙による呼吸器障害についても研究している。

研究業績

論文

- 1) 山本正生, 福永慶隆, 神野直昭, 竹鼻純子, 浅野健, 伊藤保彦, 植田穰: [報告] 自己免疫性溶血性貧血およびIgA欠損症を乳児期より認め、その後common variable immunodeficiencyの病態と汎血球減少を呈してきた1女児例. 日本小児血液学会雑誌, 2, 84~89, 1988.
- 2) 村上睦美: [総説] 日本の腎不全予防対策の中の学校検尿の実践と成果. 保健同人生活教育, 3, 9~11, 1988.
- 3) 吉田豊, 真鍋重人¹⁾, 五十嵐利一, 務川靖 (¹⁾大宮総合病院): [総説] 細菌性肺炎とウィルス肺炎. 画像診断, 8, 126~133, 1988.
- 4) 山本正生, 浅野健, 太田耕造, 前田美穂, 植田穰: [総説] 鉄欠乏性貧血; 最近の話題を中心に. 小児診療, 51, 213~221, 1988.
- 5) 山本正生, 伊藤保彦, 福永慶隆, 植田穰: [総説] 乳児急性白血病的特性. 小児科, 29, 153~162, 1988.
- 6) 岡部俊成, 飛田正俊, 加藤隆司, 向後俊昭, 平山恒夫, 他: [原著] モノクロナール抗体を用いた高感度IgEキットの基礎的, 臨床的検討. 小児臨, 41, 401~408, 1988.
- 7) 村上睦美, 植田穰: [総説] 食事療法: 小児腎疾患の食事療法. 小児科, 29, 249~257, 1988.
- 8) 渡辺正規, 渡辺善一郎, 小川俊一, 磯裕明, 日野佳昭, 津村治男, 平山恒夫, 神野直昭, 安田正¹⁾, 他: (¹⁾大宮総合病院): [報告] 右主肺動脈閉鎖, 心室中隔欠損, 動脈管開存, 左上大静脈遺残, 両側重複腎盂・尿管を伴った4q intersitital deletionの1例. 小児臨, 41, 535~540, 1988.
- 9) Katsube, Y. and Fujino, O.: [報告] Cerebral arteriovenous malformation in 11-year-old-boy. Jpn. J. Psych. Neurol., 42, 607~608, 1988.
- 10) 継仁, 赤松洋¹⁾, 他 (¹⁾日赤医療センター): APR-Sラテックスの有用性について. 小児臨, 41, 957~962, 1988.
- 11) 山本正生, 遠藤義忠¹⁾ (¹⁾東急病院): [報告] 風疹に続発した急性溶血性貧血の1例. 小児臨, 41, 872~876, 1988.
- 12) 村上睦美, 伊藤加壽子, 宗像恵美子, 安保和俊, 土屋正己, 植田穰, 芦田光則¹⁾, 山本博章²⁾, 他 (¹⁾勝楽堂病

- 院, ²⁾川崎協同病院) : 尿試験紙の潜血部分の感度についての検討. 腎と透析, **24**, 691~696, 1988.
- 13) 吉田豊 : [総説] 小児喘鳴の対策. 小児耳鼻咽喉科, **9**, 12~17, 1988.
 - 14) 山本正生, 松岡和彦, 植田穰 : [総説] 脾機能亢進症. 小児内科, **20**, 1047~1053, 1988.
 - 15) 村上睦美 : [総説] 腎炎の成人期への移行. からだの科学, **141**, 59~63, 1988.
 - 16) 土田昌宏¹⁾, 植田穰, 山本正生, 他 (¹⁾東邦大学第1小児科) : [原著] 小児に対する Human Urinary CSF (P-100) の臨床第Ⅱ相試験結果. 臨血, **29**, 1041~1049, 1988.
 - 17) 務川靖, 五十嵐利一, 坂本純一, 真鍋重人, 吉田豊 : [報告] Accessory diaphragm の1例. 臨小児放線研究会誌, **4**, 12~13, 1988.
 - 18) 村上睦美 : [総説] 小児腎疾患のスクリーニング; 学校検尿の意義. 小児看護, **11**, 865~869, 1988.
 - 19) 向後俊昭, 古屋富士男, 小越丈夫, 山本正生, 平山恒夫, 植田穰, 松本真彦¹⁾, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾第2病理) : [報告] 難血性下痢を主訴とし, IgA 高値を呈した Malignant Histiocytosis (MH) の乳児自験例と下痢を伴うMHの文献的考察. 小児診療, **51**, 73~81, 1988.
 - 20) 小宮山淳¹⁾, 山本正生, 植田穰, 他 (¹⁾信州大学小児科) : [原著] 小児慢性好中球減少症における P-100 (CSF-HU) の臨床的関与の検討. 臨血, **29**, 1365~1370, 1988.
 - 21) 松浦賢長¹⁾, 村上睦美, 山本博章, 植田穰, 村上勝美, 倉橋俊至¹⁾, 平山宗宏¹⁾ (¹⁾東京大学母子保健学教室) : [原著] 学校検尿における微量血尿に関する研究. 第一報 腎臓病専門医へのアンケート調査結果. 小児保健研, **47**, 550~554, 1988.
 - 22) 吉田豊, 五十嵐利一 : [総説] 呼吸器症状のない胸部異常陰影. 小児科, **29**, 1216~1221, 1988.
 - 23) 山本正生, 植田穰 : [総説] 眼瞼・結膜・口腔粘膜の蒼白 (偶然気づかれた異常所見). 小児科, **29**, 1052~1055, 1988.
 - 24) 加藤隆司, 飛田正俊, 岡部俊成, 向後俊昭, 平山恒夫, 務川靖, 五十嵐利一, 吉田豊, 山本正生, 植田穰 : [原著] 小児気管支喘息と特異 IgG4 抗体の検討. 小児科, **29**, 1329~1336, 1988.
 - 25) 村上睦美 : [総説] 尿検査; 血尿 (偶然気づかれた異常所見). 小児科, **29**, 1202~1203, 1988.
 - 26) 村上睦美 : [総説] 学校検尿で発見された尿異常児に対する事後措置について. 埼玉医学会誌, **23**, 958~961, 1988.
 - 27) 村上睦美, 植田穰 : [総説] 機会蛋白尿, 機会血尿をどうするか. Medicina, **25**, 2588~2590, 1988.
 - 28) 植田穰 : [総説] 生命倫理. 小児科, **29**, 1501~1503, 1988.
 - 29) 村上睦美, 安保和俊, 土屋正己, 植田穰 : [報告] 慢性腎不全に陥った Batter 症候群の一例. Seminars in Pediatric Nephrology, **4**, 3~6, 1988.
 - 30) 吉田豊, 五十嵐利一, 安田正¹⁾, 三河春樹²⁾, 小林陽之助³⁾, 佐々木聖⁴⁾ (¹⁾大宮総合病院, ²⁾京大, ³⁾関西医大, ⁴⁾大阪医大) : [原著] 小児における徐放性鎮咳剤 PTS の薬効評価. 薬理と治療, **16**, 4887~4900, 1988.
 - 31) 村上睦美, 安保和俊, 植田穰 : [総説] 無症候性血尿; 疾患別くすりの使い方—小児薬物療法の実践—. 小児内科, **20**(臨時増刊号), 374~375, 1988.
 - 32) 古瀬昭夫¹⁾, 村上睦美 他 (¹⁾国立療養所西別府病院) : [原著] 小児腎疾患における腎機能憎悪因子としての運動の関与; 全国アンケート調査を中心に. 日小児会誌, **93**, 76~81, 1989.
 - 33) 宗像恵美子 : [原著] 試験紙法による尿比重測定に関する研究; 試験紙の特性, 学童期の尿比重分布, 尿比重測定の集団検尿への試みについて. 日児誌, **93**, 92~100, 1989.
 - 34) 松浦賢長¹⁾, 村上睦美, 倉橋俊至²⁾, 平山宗宏²⁾, 他 (¹⁾東京大学母子保健学教室, ²⁾東京都母子保健サービスセンター) : [原著] 学校検尿における微量血尿に関する研究. 第二報 校長, 養護教諭, 保護者へのアンケート調査結果. 小児保健研, **48**, 40~44, 1989.
 - 35) 村上睦美, 植田穰 : [総説] 微量血尿・体位性蛋白尿; 内科医が知っておきたい小児疾患. モダン・フィジシャ

ン, 9, 78~79, 1989.

- 36) 吉田豊：〔総説〕かぜと胸部X線写真. 日医師会誌, 101, 476~478, 1989.
- 37) 村上睦美, 植田穰：〔総説〕初期症状のとりえ方と初期治療；小児の血尿, 蛋白尿. 治療, 71, 612~617, 1989.
- 38) 村上睦美, 長沢俊彦¹⁾, 他^(¹⁾杏林大学第一内科)：〔座談会〕IgA 腎症をめぐる. 腎と透析, 26, 247~258, 1989.
- 39) 浅野健, 山本正生, 植田穰：〔報告〕卵巣の混合悪性胚細胞腫について. 小児科, 30, 337~342, 1989.
- 40) 村上睦美, 伊藤加壽子, 植田穰：〔総説〕運動と腎機能；小児を中心に；病態生理の立場から. 臨スポーツ医, 6, 253~261, 1989.
- 41) 小倉雄一, 伊藤保彦, 浅野健, 太田耕造, 金子清志, 福永慶隆, 山本正生, 植田穰, 中村こずえ¹⁾, 水谷修紀¹⁾(⁽¹⁾国立小児病院医療研究センター)：〔報告〕Biclonal leukemia と考えられる一症例. 日本小児血液学会雑誌, 3, 98~102, 1989.

著 書

- 1) 山本正生：〔分担〕小児科総論.“64年度臨床実地問題注解小児科”(藤本吉秀, 他編), p. 1~50, 金原出版, 1988.
- 2) 村上睦美：〔分担〕Goodpasture syndrome. “小児科診療 Q and A 13”, p. 1328~1329, 六法出版, 1988.
- 3) 山本正生, 植田穰：〔分担〕小児科の進歩；白血病患児における脳炎—脳症.“小児科年鑑1988”(前川喜平, 今村栄一編), p. 165~169, 診断と治療社, 1988.
- 4) 村上睦美：〔分担〕蛋白尿を指摘された生徒の取扱い.“内科診療 Q and A 22”, p. 1052~1053, 六法出版, 1988.
- 5) 村上睦美：〔分担〕血尿を指摘された生徒の取扱い.“内科診療 Q and A 22”, p. 1054~1055, 六法出版, 1988.
- 6) 吉田豊：〔分担〕肺疾患.”小児の治療マニュアル”(大国真彦編), p. 275~285, 中外医学社, 1988.
- 7) 村上睦美：〔分担〕泌尿・生殖器疾患.”小児治療マニュアル”(大国真彦編), p. 385~400, 中外医学社, 1988.
- 8) 吉田豊, 五十嵐利一, 務川靖：〔分担〕鎮咳, 去痰剤.“小児内科臨時増刊「小児薬物療法の実際」20”(小児内科・外科編集委員会編), p. 50~52, 東京医学社, 1988.
- 9) 村上睦美, 植田穰：〔分担〕子供の血尿, たんぱく尿.“スポーツ医学 Q and A 2”(黒田善雄, 中嶋寛之編), p. 252~257, 金原出版, 1989.
- 10) 吉田豊, 藤岡睦久¹⁾, 他^(¹⁾濁協医大)：〔共著〕続 こどものX線をどう読むか. 金原出版, 1989.
- 11) 村上睦美：〔分担〕急性糸球体腎炎.“新薬物療法'89年版”(上田泰, 清水喜八郎, 晴見健一編), p. 480~481, メジカルレビュー社, 1989.
- 12) 村上睦美：〔分担〕ネフローゼ症候群.“新薬物療法'89年版”(上田泰, 清水喜八郎, 晴見健一編), p. 496~497, メジカルレビュー社, 1989.
- 13) 村上睦美：〔分担〕紫斑病性腎炎.“新薬物療法'89年版”(上田泰, 清水喜八郎, 晴見健一編), p. 498~499, メジカルレビュー社, 1989.

学会発表

- 1) 柴崎浩美¹⁾, 岡部俊成, 加藤隆司, 向後俊昭, 平山恒夫, 他^(¹⁾東京薬科大学)：〔一般講演〕起立性調節障害(OD)患者のコルチゾールの日内変動パターン. 第108回日本薬学会, 1988.
- 2) 務川靖, 五十嵐利一, 吉田豊, 坂本純一, 真鍋重人, 安田正¹⁾(⁽¹⁾大宮総合病院小児科)：〔一般講演〕気管支喘息児の連続性ラ音の解析. 第20回日本胸部疾患学会, 1988.
- 3) 村上睦美, 安保和俊, 伊藤加壽子, 宗像恵美子, 土屋正己, 植田穰, 山本博章¹⁾, 馬杉洋三²⁾, 他^(¹⁾川崎協同病院, ²⁾第1病理)：〔一般講演〕第一回生検前に IgG が lineal pattern を呈した膜性腎症の1例. 第18回日本腎臓

学会東部部会, 1988.

- 4) 務川靖, 五十嵐利一, 吉田豊, 植田穰, 坂本純一¹⁾, 真鍋重人¹⁾, 安田正¹⁾ (大宮総合病院): [一般講演] 気管支喘息児の連続性ラ音の解析. (第2報). 第91回日本小児科学会学術集会, 1988.
- 5) 右田真, 赤松洋¹⁾ 他 (日赤医療センター): [一般講演] 総肺静脈還流異常を認めた父親の相互転座による1q部分トリソミー5pトリソミーの1症例. 第377回日本小児科学会東京都地方会, 1988.
- 6) 藤野修, 小松崎秀樹: [展示] Congenital hypomyelination syndrome の一例. 第30回日本小児神経学会, 1988.
- 7) 務川靖, 川上康彦, 五十嵐利一, 真鍋重人, 吉田豊, 杉崎祐一¹⁾ (第1病理): [一般講演] 右上葉に発生した肺葉内分画症の一例. 第20回臨床小児放射線研究会, 1988.
- 8) 務川靖, 五十嵐利一, 真鍋重人, 松岡和彦, 吉田豊, 片山信仁¹⁾, 恵畑欣一¹⁾ (付属病院放射線科): [一般講演] 食道アカラジアの男児例. 第20回臨床小児放射線研究会, 1988.
- 9) 村上睦美, 土屋正己: [ワークショップ] 肉眼的血尿; 腎炎と肉眼的血尿. 第23回日本小児腎臓病学会, 1988.
- 10) 安保和俊, 宗像恵美子, 伊藤加壽子, 土屋正己, 村上睦美, 植田穰, 芦田光則¹⁾, 山本博章²⁾, 馬杉洋三³⁾, 他 (勝楽堂病院, ²⁾川崎協同病院, ³⁾第1病理): [一般講演] 長時間経過を観察し得たMPGN10症例の臨床並びに病理形態学的検討. 第23回日本小児腎臓病学会, 1988.
- 11) 継仁, 赤松洋¹⁾, 他 (日赤医療センター): [一般講演] 21番環状染色体の一例. 第377回日本小児科学会東京都地方会, 1988.
- 12) 渡辺正規, 勝部康弘, 神保修, 渡辺善一郎, 小川俊一, 津村治男, 平山恒夫: [一般講演] 小児心疾患における血漿hANP濃度についての検討. 第24回日本小児循環器学会総会, 1988.
- 13) 山本隆彰, 伊藤保彦, 鈴木均, 福永慶隆, 山本正生, 植田穰: [一般講演] 乳児期に頸部リンパ節炎にて発症したC1q欠損症の1例. 第25回補体シンポジウム, 1988.
- 14) 丸山和男, 飛田正俊, 岡部俊成, 加藤隆司, 向後俊昭, 平山恒夫, 浅野健, 山本正生: [一般講演] 食物アレルギーにおける便中の α_1 -Antitrypsinの意義について (第1報). 日本アレルギー学会, 1988.
- 15) 竹鼻純子, 福永慶隆, 山本正生, 植田穰: [一般講演] 摘脾患者における免疫能; NK細胞測定およびLGL測定を中心に. 第30回日本小児血液学会総会, 1988.
- 16) 小倉雄一, 伊藤保彦, 浅野健, 太田耕造, 金子清志, 福永慶隆, 山本正生, 植田穰, 水谷修紀¹⁾, 中村こずえ¹⁾ (国立小児病院小児医療研究センターウィルス研究室): [展示] Biclinal leukemiaと思われた1例. 第30回日本小児血液学会総会, 1988.
- 17) 森川寿子, 前田美穂, 浅野健, 上砂光裕, 松岡和彦, 山本正生, 植田穰, 守田利貞¹⁾ (国立東静病院小児科): [一般講演] 骨髓生検が診断の一助となったGaucher病の一例. 第30回日本小児血液学会総会, 1988.
- 18) 岡部俊成, 飛田正俊, 丸山和男, 上砂光裕, 加藤隆司, 向後俊昭, 山本正生, 植田穰: [展示] 喘息児を対象とした転地療法 (サマーキャンプ) の意義について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 19) 浅野健, 山本正生, 植田穰: [一般講演] 便 α_1 -antitrypsin clearanceによる小児各種疾患の臨床的検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 20) 藤野修, 前田美穂, 山本正生, 小松崎英樹: [一般講演] 抗癌剤によると思われる汎血球減少症の2小児例. 第22回日本てんかん学会, 1988.
- 21) 務川靖, 五十嵐利一, 松岡和彦, 吉田豊: [一般講演] 食道アカラジアの男児例. 第380回日本小児科学会東京都地方会, 1988.
- 22) 安保和俊, 土屋正己, 宗像恵美子, 芦田光則¹⁾, 村上睦美, 山本博章²⁾, 植田穰, 馬杉洋三³⁾ 他 (勝楽堂病院, ²⁾川崎協同病院, ³⁾第1病理): [一般講演] IgAが優位な免疫グロブリンとして認められる原発性糸球体腎炎における年齢因子の検討. 第31回日本腎臓病学会, 1988.

- 23) 千葉隆, 今井大洋, 務川靖, 五十嵐利一, 吉田豊, 齊藤了一¹⁾, 大石卓爾¹⁾, 山岸喜彦¹⁾, 恵畑欣一¹⁾ (¹⁾本学放射線科): [一般講演] 小児呼吸器疾患の RI エロゾルクリアランス. 第21回臨床小児放射線研究会, 1988.
- 24) 金子清志, 渡辺淳, 浅野健, 前田美穂, 小倉雄一, 福永慶隆, 山本正生, 植田穰, 三神寛¹⁾ (¹⁾第一病院皮膚科): [一般講演] 小児皮膚悪性リンパ腫の1例. 第4回日本小児がん研究会, 1988.
- 25) 加藤隆司, 右田真, 飛田正俊, 岡部俊成, 向後俊昭, 平山恒夫, 吉田豊, 山本正生, 植田穰: [一般講演] traumatic pulmonary cyst の一男児例. 第21回日本小児呼吸器疾患学会, 1988.
- 26) 今井大洋, 千葉隆, 務川靖, 五十嵐利一, 吉田豊, 植田穰: [一般講演] 小児の受動喫煙に関する研究. 第21回日本小児呼吸器疾患学会, 1988.
- 27) 千葉隆, 今井大洋, 務川靖, 五十嵐利一, 吉田豊, 植田穰, 齊藤了一¹⁾, 大石卓爾¹⁾ (¹⁾放射線科): [一般講演] 小児呼吸器疾患の RI エロゾルクリアランス. 第21回日本小児呼吸器疾患学会, 1988.
- 28) 五十嵐利一, 務川靖, 吉田豊, 植田穰, 植木美津子¹⁾, 篠原美沙¹⁾, 小田倉力¹⁾ (¹⁾屏風ヶ浦病院): [一般講演] 大学病院, 一般病院を受診中の小児に対する受動喫煙に関する調査. 第35回日本小児保健学会, 1988.
- 29) 前田美穂, 太田耕造, 浅野健, 山本正生, 植田穰, 吉野芳夫¹⁾ (¹⁾第2生化): [一般講演] 乳児期における毛細血管血清 Ferritin 測定の有効性の検討. 第35回日本小児保健学会, 1988.
- 30) 赤塚順一¹⁾, 山本正生, 金子清志, 他 (¹⁾慈恵医大小児科): [一般講演] 小児 ITP に対するノイロトロピン錠の臨床効果の検討. 第30回日本臨床血液学会, 1988.
- 31) 赤塚順一¹⁾, 山本正生, 植田穰, 他 (¹⁾慈恵医大小児科): [一般講演] 小児血液・悪性腫瘍患児真菌感染症の Chemoprophylaxis における経口的 Amphotericin-B 剤の投与法に関する検討. 第30回日本臨床血液学会, 1988.
- 32) 土田昌宏¹⁾, 山本正生, 植田穰, 他 (¹⁾東邦医大第1小児科): [一般講演] 小児 ALL 再発令の治療と予後; 昭和53年~62年. 第30回日本臨床血液学会, 1988.
- 33) 岡部俊成, 飛田正俊, 丸山和男, 加藤隆司, 向後俊昭, 平山恒夫, 山本正生: [一般講演] 転地療法の(サマーキャンプ)の意義について. 第25回日本小児アレルギー学会, 1988.
- 34) 関隆志, 上砂光裕, 右田真, 丸山和男, 太田耕造, 渡辺正規, 飛田正俊, 岡部俊成, 加藤隆司, 向後俊昭, 平山恒夫: [一般講演] 抗ウイルス剤を使用せずにはほぼ完全に回復した単純ヘルペス脳炎の13歳女児例. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 35) 務川靖, 千葉隆, 今井大洋, 五十嵐利一, 吉田豊, 安田正¹⁾, 渋谷淳夫²⁾ (¹⁾大宮総合病院, ²⁾工業技術院): [一般講演] 運動誘発性喘息の連続性ラ音の解析. 第12回肺音研究会, 1988.
- 36) 金子清志, 山本正生, 植田穰: [一般講演] 再生不良性貧血に合併した慢性脾炎にたいする柴胡桂枝湯の効果について. 第8回東京小児東洋医学懇話会, 1988.
- 37) 渡辺淳, 浅野健, 金子清志, 前田美穂, 小倉雄一, 山本正生, 植田穰: [一般講演] 両側びまん性肺転移により呼吸不全を呈し死亡した神経芽腫の一男児例. 日本小児科学会東京地方会, 1988.
- 38) 千葉隆, 吉田豊, 山本正生, 植田穰: [一般講演] 開口障害で発症した鼻咽頭癌の1例. 関東甲信越地区小児がん登録委員会, 1989.

[第一病院小児科]

研究概要

昭和63年度, 当科の研究概要は次のとおりである.

小児糖尿病: 「小児期発症 IDDM の合併症早期発見の手引」(昭和63年厚生省心身障害研究)作成に関し, 当科関係の小児 IDDM につき各種パラメーターの検索を行い, これと並行して糖尿病性腎症, 網膜症の発症についての検討.

新しいヒトインスリン製剤(速効性と中間型インスリンの合剤)使用とその際の血中濃度について. また, Novo

Pen 使用による分割注射の効用について。

小児 IDDM のコントロール基準を作成した。

小児肥満：超音波断層法（Bモード）を用いた皮下脂肪量の測定，水中体重法による体脂肪量，重水を使用しての BMI により小児肥満状態の解析を行っている。また，経口ブドウ糖負荷試験による血糖，インスリン値の変動より小児肥満の類型分類を行い，小児肥満より肥満型 NIDDM 移行への特徴を見出せるか否か種々検討を加えている。

小児てんかん：小児てんかんでの抗けいれん剤断薬の基準とその結果について発表するとともに，睡眠型てんかん大発作に対する抗けいれん剤の効果についての臨床的，終夜脳波的検討，抗けいれん剤による肝ミクロゾーム活性の変動などについて研究を開始した。

循環器：ACTH 注射による心肥大出現についての動物実験に着手し，病理組織的，生化学的検索を行っている。

気管支喘息：アストグラフによる気管支喘息肺機能の分析を行っている。

以上，研究発表の数は以前に及ばなかったが，今年の日本小児科学会総会では，一般演題中よりプログラム委員の協議の結果，推薦演題に指定された，研究内容の質的充実が客観的に認められたことであり，今後の研究発展をさらに期待している。

研究業績

論文

- 1) 藤井栄一：〔原著〕小児てんかんにおける抗けいれん剤の新しい断薬方法についての臨床的および脳波学的検討。日医大誌，55，591～602，1988。
- 2) 市瀬裕美，目沢憲一，宮本幹夫，若林恒郎：〔原著〕小児気管支喘息におけるアストグラフと経皮酸素分圧の同時測定の試み。日医大誌，55，539～543，1988。
- 3) 大木由加志，望月信幸，幡谷直樹，峰田喬臣，細井宏益，手代木正：〔原著〕IDDM 患者のコントロール状況とコントロール基準について。ホルモンと臨，36，735～739，1988。
- 4) 二宮恵子，小野田嘉明，判治直人，梶尾房枝，望月信幸，石川辰雄，斎藤正敏，手代木正：〔原著〕腹部大動脈瘤を伴った MCLS の 2 症例。日小児会誌，93，292～297，1989。
- 5) 八木剛一，大木由加志，峰田喬臣，細井宏益，手代木正：〔報告〕肝炎の合併に伴いインスリン必要量が著しく減少した小児の IDDM の 1 例。ホルモンと臨，36（増刊号），223～225，1988。
- 6) 市瀬裕美，目沢憲一，宮本幹夫，若林恒郎：〔報告〕小児気管支喘息におけるアストグラフ反応曲線パターンの解析。日医大誌，55，325～328，1988。
- 7) 江口儀太，渡部博道：〔報告〕北村山地区における A 群溶連菌保菌者の実態調査。山形医師会報，45，24～30，1988。
- 8) 目沢憲一，松崎慎一郎，浅井享¹⁾，若林恒郎（¹⁾川口市市民病院整形外科）：〔報告〕梅毒性骨軟骨炎の 1 乳児例。埼玉医会誌，23，999～1002，1988。
- 9) 幡谷直樹，手代木正：〔総説〕嗄声（特集：症候からみた小児の病態生理）。小児看護，11，1257～1262，1988。
- 10) 幡谷直樹，手代木正：〔総説〕胸痛（特集：症候からみた小児の病態生理）。小児看護，11，1263～1267，1988。
- 11) 大木由加志：〔総説〕私の処方：小児の肥満。Mod. Physician，8，94，1988。
- 12) 大木由加志：〔総説〕診療の秘訣：小児の肥満。Mod. Physician，8，112，1988。
- 13) 手代木正：〔総説〕救急患者初期治療のポイント；小児科医の立場から。総合臨，37，1152～1154，1988。
- 14) 手代木正：〔総説〕Bartter 症候群。小児診療，51，1712～1719，1988。
- 15) 手代木正：〔総説〕糖尿病における最近のトピックス；病因と治療。小児診療，51，2465～2473，1988。
- 16) 藤井栄一，手代木正：〔総説〕小児てんかんにおける抗けいれん剤治療終結に関する諸問題。東京医師会誌，41，

1077~1079, 1989.

学会発表

- 1) 藤井栄一, 平柳直人, 岡田一芳, 手代木正: [一般講演] 新しい断薬基準に基づく小児てんかんの断薬後の予後とその背景. 第91回日本小児科学会総会, 1988.
- 2) 望月信幸, 幡谷直樹, 大木由加志, 細井宏益, 手代木正: [一般講演] 肥満児における超音波断層法 (Bモード) を用いた皮下脂肪厚の測定および水中体重法による体脂肪量の測定に関する検討. 第91回日本小児科学会総会, 1988.
- 3) 平柳直人, 善利洋子, 藤井栄一, 岡田一芳, 手代木正: [一般講演] 血清 γ -GTP 値におよぼす抗けいれん剤の影響について. 第30回日本小児神経学会総会, 1988.
- 4) 幡谷直樹, 二宮恵子, 石川辰雄, 斎藤正敏, 手代木正: [一般講演] ラット心筋に対する adrenocorticotrophic hormone (ACTH) の影響. 第24回日本小児循環器学会総会, 1988.
- 5) 石川辰雄, 平田欣也¹⁾, 永瀬裕三¹⁾, 原田昌範¹⁾, 二宮恵子, 斎藤正敏 (¹⁾群馬循環器病院): [一般講演] 肺高血圧症に対する Tolazoline と isoproterenol 効果の比較. 第24回日本小児循環器学会総会, 1988.
- 6) 目沢憲一, 松崎慎一郎, 若林恒郎: [一般講演] 梅毒性骨軟骨炎の1乳児例. 第21回小児放射線研究会, 1988.
- 7) Drash, A. L.¹⁾, Dorman, J. S.¹⁾, Orchard, T. J.¹⁾, Becker, D. J.¹⁾, Norris, J. M.¹⁾, Ohki, Y. and Laporte, R. E.¹⁾ (¹⁾The Children's Hospital of Pittsburgh): [シンポジウム] Does diabetes duration before puberty contribute to the risk for microvascular disease in insulin dependent diabetic persons? 48th Annual Meeting of the American Diabetes Association (New Orleans), 1988.
- 8) 目沢憲一, 松崎慎一郎, 若林恒郎: [一般講演] 著しい低蛋白血症をきたしたアレルギー性紫斑病の1例. 第56回日本小児科学会埼玉地方会, 1988.
- 9) 渡部博道, 江口儀太: [一般講演] 同時発症した溶血性尿毒症症候群の1卵性双生児例. 第42回日本小児科学会山形地方会, 1988.
- 10) 角田守, 朝倉由美, 入江学, 望月信幸, 幡谷直樹, 大木由加志, 細井宏益, 手代木正: [一般講演] 耐糖能からみた肥満児の類型分類について. 第56回日本医大医学会総会, 1988.
- 11) Arslanian, S. A.¹⁾ and Ohki, Y. (¹⁾The Children's Hospital of Pittsburgh): [一般講演] Pathogenesis of the dawn phenomenon in adolescents with insulin dependent diabetes mellitus (IDDM). 1st Eastern Society for Pediatric Research (New York), 1988.
- 12) 渡部博道, 江口儀太: [一般講演] 学童のA群レンサ球菌保菌者の実態調査と検尿結果について; 山形県北村山地方における. 第56回日本医大医学会総会, 1988.
- 13) 北村勝彦, 松田和洋¹⁾, 手代木正, 徳永徹¹⁾ (¹⁾予研): [一般講演] ヒト IL-2抑制因子に関する研究. 第50回日本血液学会, 1988.
- 14) 望月信幸, 朝倉由美, 入江学, 幡谷直樹, 角田守, 大木由加志, 細井宏益, 手代木正: [一般講演] 肥満児におけるインスリン分泌能と体脂肪率に関する検討. 第22回日本小児内分泌学会, 1988.
- 15) Arslanian, S. A.¹⁾, Ohki, Y., Becker, D. J.¹⁾, Drash, A. L.¹⁾ (¹⁾The Children's Hospital of Pittsburgh): [一般講演] Metabolic clearance rate of insulin; Comparison between normal and insulin dependent diabetic adolescents (IDDM). 46th Midwest Society for Pediatric Research (Chicago), 1988.
- 16) 望月信幸, 朝倉由美, 入江学, 幡谷直樹, 角田守, 大木由加志, 細井宏益, 手代木正: [一般講演] 肥満児における超音波断層法 (Bモード) を用いた皮下脂肪厚の測定および重水法による体脂肪率の測定とインスリン分泌能に関する検討. 第9回日本肥満学会, 1988.

- 17) 判治直人, 幡谷直樹, 手代木正：〔一般講演〕巨核球性白血病と思われる Down 症候群の 1 例. 関東甲信越地区小児癌登録研究会, 1989.
- 18) 目沢憲一, 松崎慎一郎, 若林恒郎：〔一般講演〕抗けいれん剤服薬小児の γ -GTP 値について. 第 2 回埼玉小児神経懇話会, 1989.
- 19) 目沢憲一, 松崎慎一郎, 遠藤敏彦¹⁾, 松本高宣¹⁾, 若林恒郎 (¹⁾川口市民病院検査部)：〔一般講演〕当科におけるヘパプラスチンテストの現況. 第26回埼玉県医学会総会, 1989.
- 20) 平柳直人, 野沢富一, 佐野守男, 藤井栄一, 目沢憲一, 岡田一芳, 手代木正：〔一般講演〕複雑部分発作重積状態を呈した 1 幼児例. 第16回関東小児神経学研究会, 1989.

〔第二病院小児科〕

研究概要

本年度は各研究グループにおいて必ずしも基礎的研究において斬新な成果が期待できなかったよう思うが、診療面における実績の上昇とともに臨床的研究に成長がみられた。

新生児における新治療法の体得とともに、循環器における協同による難病の診断、治療等、付属、第二、多摩永山各病院間の歩調に進歩がみられた。

小児神経の患者は増加傾向にありその診療研究の実績は神奈川県内に着実に根をおろしてきた感がある。

現在取り組んでいる消化酵素（ペプチダーゼ）の膜消化に関する研究は、実験の煩雑さからいまだ発表できるデータが整っていないが来年度には成果が期待される。

論 文

- 1) 継仁, 西巻滋¹⁾, 関和男¹⁾, 川上義¹⁾, 赤松洋¹⁾, 柴田ミヨ子¹⁾, (¹⁾日赤医療センター)：〔報告〕APR-S ラテックスの有用性について. 小児臨, 41, 957～962, 1988.
- 2) 志村俊郎¹⁾, 中沢省三¹⁾, 野手洋治¹⁾, 猪鹿倉恭子¹⁾, 山田宣孝²⁾, 浅野伍朗²⁾, 橋本清 (¹⁾付属病院脳神経外科, ²⁾第 2 病理)：〔報告〕Mixed glioma 3 症例の病理組織学的検討；成人例と小児例において. 脳腫瘍病理, 5, 219～223, 1988.

学会発表

- 1) 林毅陸, 小泉要介, 西沢善樹, 太田裕子, 品川洋一, 橋本清, 太田秀穂：〔一般講演〕CT で描出されず MRI が診断に有用であった脳腫瘍の 1 例. 第172回日本小児科学会神奈川地方会, 1988.
- 2) 小泉要介, 橋本清, 藤田武久, 榎戸久, 渋谷展子：〔一般講演〕精神発作を呈した pseudo-seizure の 1 例. 第22回神奈川てんかん懇話会, 1988.
- 3) 渋谷展子, 小泉要介, 榎戸久, 古谷正伸, 品川洋一, 橋本清, 太田秀穂：〔一般講演〕先天性風疹症候群の一例. 第 2 回神奈川小児神経懇話会, 1988.
- 4) 古井民一郎, 林毅陸, 藤田武久, 高見沢邦武²⁾, 西川俊郎²⁾, 相羽純¹⁾, 高尾篤良¹⁾ (¹⁾女子医大心研, ²⁾女子医大第 2 病理)：〔展示〕先天性偏側肥大を伴う結節性硬化症に合併した右室横紋筋腫の 1 例. 第24回日本小児循環器学会, 1988.
- 5) 継仁, 西巻滋¹⁾, 関和男¹⁾, 川上義¹⁾, 赤松洋¹⁾, 篠原多美子¹⁾ (¹⁾日赤医療センター)：〔一般講演〕21番環状染色体と21番モノリミーのモザイクの一症例. 第378回日本小児科学会東京地方会懇話会, 1988.
- 6) 西沢善樹, 重富ゆかり, 小泉要介, 林毅陸, 永井雄一, 榎戸久, 太田裕子, 古谷正伸, 品川洋一, 橋本清, 太田秀穂：〔一般講演〕未熟児呼吸窮迫症候群 (RDS) に対する人工肺サーファクタント (PSF) の当科における治

- 療成績. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 7) 藤田武久, 橋本清, 渡辺一雄, 小泉要介, 太田秀穂: [一般講演] 腫瘍内出血で突然死をきたした小脳上皮腫の一例. 第174回日本小児科学会神奈川地方会, 1988.
 - 8) 榎戸久, 橋本清, 藤野修¹⁾, 藤田武久, 古谷正伸, 小泉要介, 前田美穂¹⁾, 山本正生¹⁾ (¹⁾付属病院小児科): [一般講演] 抗痙攣剤によると思われる汎血球減少症の2小児例. 第22回日本てんかん学会, 1988.
 - 9) 橋本清, 古谷正伸, 榎戸久, 小泉要介, 洪井展子, 藤野修¹⁾, 釜蒔敏¹⁾, 高石康子¹⁾, 小松崎英樹¹⁾, 守田利貞子²⁾ (¹⁾付属病院小児科、²⁾東静岡病院小児科): [一般講演] 熱性けいれんを既往にもつ欠損発作の症例の検討. 第11回熱性痙攣懇話会, 1988.
 - 10) 森川寿子, 前田美穂¹⁾, 浅野健¹⁾, 上砂光裕¹⁾, 守田利貞¹⁾, 福永慶隆¹⁾, 山本正生¹⁾, 植田穰¹⁾ (¹⁾付属病院小児科): [一般講演] 骨髓生検が有用であった Gaucher 病の一例. 第30回日本小児血液学会, 1988.
 - 11) 小泉要介, 橋本清, 藤田武久, 榎戸久, 古谷正伸: [一般講演] 難治性てんかんを呈した Incontinentia pigmentiachromians (hypomelanosis of Ito) の一例. 第3回神奈川小児神経懇話会, 1989.
 - 12) 榎戸久, 橋本清, 藤田武久, 洪井展子, 古谷正伸, 小泉要介: [一般講演] γ -globulin 大量静注療法が著効を呈した点頭てんかんの2症例. 第23回神奈川てんかん懇話会, 1989.
 - 13) 榎戸久, 橋本清, 藤田武久, 洪井展子, 古谷正伸, 小泉要介, 釜蒔敏¹⁾, 小松崎英樹¹⁾, 藤野修¹⁾ (¹⁾付属病院小児科): [一般講演] 点頭てんかんに対するガンマグロブリン大量静注療法の使用経験. 第16回関東小児神経学研究会, 1989.

6. 放射線医学講座

[付属病院放射線科]

研究概要

放射線医学教室における基本的な研究姿勢は臨床放射線医学であるが、最近の傾向として臨床放射線医学に直結する基礎研究の比重が大きくなりつつ有ることが挙げられることは前回にも記したが、このような方向性はわれわれの教室における特徴の一つとして単に国内のみならず、国際的にも高い評価を得ている。

血管系の放射線学的研究に関しては、診断面、治療応用部門ともに多くの研究がまとまり、シンポジウムの指名や教育講演の依頼等の増加とともに、学会での高い評価を受けるに至った。PTA の新しい試みとして、門脈圧亢進症のシャント術後に発生する静脈吻合部狭窄の拡張術があり、今後よい結果が期待できそうである。ヨード造影剤の臨床例における肺循環に及ぼす影響は、5 回にわたって *Acta Radiologica Diag.* に掲載され、第一生理学教室との共同研究である赤血球と末梢循環に及ぼす影響は *Investigative Radiology* および *Current Status and Future Trend of Contrast Media* の分担執筆として掲載された。

こうしてみると、長年にわたって踏襲継続してきたこれらの研究テーマも大きな転換期にさしかかったとの印象が強い。教室にて開発された新しい回転立体イメージング法の完成や、ヨードを使用しない新しい血管造影剤開発の基礎研究、造影剤による肺浮腫の生理学・病理学的研究、PTA に代わる *Expandable stent* の基礎研究、PCD 方式によるデジタル微細高感度センサーの開発等が新しいテーマとして従来の研究にインパクトを与え始めている。これらの研究は着手されて日も浅いために、論文としてはいまだ世に出されていないが、逐次国内、国外での発表を行いつつあり、回転立体イメージング法の研究は国際シンポジウムにて金賞を受賞した。

PACS の一環として、Digital 画像の有用性についての研究は Analog/Digital 変換に伴う data の収集方法、画像表示方法、および光ディスクへの画像保管などについて研究中である。

肺癌の病理組織と肺血管の関与、FBAL による病態解析の他に新しく進められたび慢性肺疾患における病理・放射線画像の関連研究（第一病理、指導）へ続けられている。

MRI が 2 月設置後順調に日常診療に加わり研究面においても CT におけると同様にその三次元表示を始めとした画像処理の開発がすすめられている。

核医学部門では、各科との協調により、機能的解析を定量的に実施しようとする試みが多くなされている。

現在の主な研究項目は、

脳、¹²³I-IMP による血流イメージを中心とした脳代謝の定量化。

呼吸器、現在、肺胞上皮細胞を主体とした透過機能の定量評価を検討中。

心臓、心筋イメージングのソフトの高度化、装置の精度向上に伴い、心筋洗い出し率（washout rate）法による、虚血の部位的量的評価の検討。

消化器 経脾的、および内視鏡穿刺下での静脈瘤動態シンチグラフィーによる、静脈瘤の血行動態の観察と定量化。

放射線治療部門では放射線治療そのものについての発表件数は多くはないが数年来着実な治療症例を重ねており、近い将来には大きな成果を発表できることであろう。進められている研究テーマは昨年に引き続いて行われているが、とくに治療計画における各種画像診断の利用については当教室での発展が各方面から望まれている。

研究業績

論文

- 1) 田島廣之、隈崎達夫：〔総説〕シリーズ：画像診断 撮像から読影のコツ（38）。治療，70，981～985，1988。

- 2) 隈崎達夫, 田島廣之, 大矢徹, 伊藤公一郎:〔総説〕画像診断技術の進歩と適応, 血管造影; 肺動脈. 総合臨, 37, 606~611, 1988.
- 3) 弦間和仁, 大矢徹, 西川博¹⁾, 隈崎達夫 (¹⁾海老名総合病院):〔原著〕PTA が有効であった両側腎動脈線維筋性異形成 (FMD) の1例. 臨放線, 33, 523~526, 1988.
- 4) 三谷原重雄, 山本彰, 片山信仁, 渡潤, 赤沼弘勝, 大石卓爾, 林宏光, 隈崎達夫, 惠畑欣一:〔原著〕胸部領域のCT検査におけるER-60の使用経験と有用性. 基礎と臨, 22, 1917~1922, 1988.
- 5) 隈崎達夫, 岡本安裕¹⁾, 水野杏一¹⁾, 他 (¹⁾防衛医大第1内科):〔原著〕溶液の冠動脈内注入により冠血流を増加させる因子の検討. 脈管学, 28, 235~239, 1988.
- 6) Kumazaki, T. and Uyesaka, N.¹⁾ (¹⁾Dept. of Physiology):〔原著〕Effect of water soluble iodinated contrast media on red cell deformability and vasculature; The pressure-flow relationship of erythrocyte suspension in the perfusion of bullfrog's hind limbs. Advance and Future Trends of Contrast Media, 3, 168~176, 1988.
- 7) Ohya, T., Hosoi, S., Kumazaki, T., Liu, Y. F.¹⁾ et al. (¹⁾The First Dept. of Surgery):〔原著〕The clinical significance of posterior gastric vein in portal hypertension as visualized in portograms. 日医大誌, 55, 209~212, 1988.
- 8) 玉井仁, 惠畑欣一, 秋本正宇¹⁾, 他 (¹⁾形成外科):〔原著〕われわれの開発したパーソナルコンピュータによるCT 3次元表示システムの頭部顔面への利用; パソコンによる3D-CT. 形成外科, 32, 395~399, 1988.
- 9) 隈崎達夫:〔総説〕骨盤外傷に伴う動脈損傷に対する塞栓術. 医のあゆみ, 145, 605~606, 1988.
- 10) 玉井仁, 惠畑欣一, 百束比古¹⁾, 大久保正智¹⁾ (¹⁾形成外科):〔原著〕Vascularized outer-table calvarial bone flap による前頭骨再建の経験. 手術, 42, 995~999, 1988.
- 11) 隈崎達夫, 田島廣之¹⁾, (¹⁾栃木県立がんセンター・画像診断部):〔総説〕シリーズ:画像診断 撮像から読影のコツ (40). 治療, 70, 1353~1358, 1988.
- 12) 惠畑欣一, 隈崎達夫, 本多一義, 大矢徹, 田島廣之¹⁾, 他 (¹⁾栃木県立がんセンター画像診断部):〔原著〕消化管救急患者に対する緊急血管造影の有用性. 腹部救急診療の進歩, 8, 933~936, 1988.
- 13) 惠畑欣一:〔総説〕画像診断技術の進歩と適応; 腹部画像診断, 単純X線撮影. 総合臨, 37, 1953~1961, 1988.
- 14) 惠畑欣一:〔総説〕MRI (磁気共鳴画像). Lab. Clin. Pract. 6, 15~17, 1988.
- 15) 隈崎達夫:〔総説〕低浸透圧血管尿路造影剤. 総合臨, 37, 2141~2142, 1988.
- 16) 隈崎達夫:〔原著〕ER-60によるIVDSA. 基礎と臨, 22, 3807~3812, 1988.
- 17) Tajima, H., Kumazaki, T., Ebata, and Tajima, N.¹⁾ (¹⁾多摩永山病院放射線科):〔原著〕Effect of iohexol and diatrizoate on pulmonary arterial pressure following pulmonary angiography; A clinical comparison in man. Acta Radiol. Diag., 29, 487~490, 1988.
- 18) 弦間和仁, 隈崎達夫:〔総説〕シリーズ:画像診断 撮像から読影のコツ (43). 治療, 70, 1872~1878, 1988.
- 19) Kumazaki, T., Okada, S. and Uyesaka, N.¹⁾ (¹⁾Dept. of Physiology):〔原著〕Effect of water-soluble iodinated contrast media on pressure-flow relationship of red cell suspension. Invest. Radiol., 23 (Suppl.), 153~156, 1988.
- 20) 宮下次廣:〔原著〕放射線治療医にとっての超音波断層法. 影像情報 Med., 21, 957~962, 1988.
- 21) 隈崎達夫:〔総説〕造影法手技とInterventional Radiology のコツ; 内胸動脈造影. 臨放線, 33 (臨増), 1303~1308, 1988.
- 22) 大矢徹, 隈崎達夫:〔総説〕血管撮影およびInterventional angiography (特集:急性腹症の画像診断). 臨画像, 4, 66~72, 1988.
- 23) 惠畑欣一:〔総説〕慢性関節リウマチの画像診断. 医のあゆみ, 147, 691~692, 1988.
- 24) 弦間和仁, 隈崎達夫:〔総説〕シリーズ:画像診断 撮像から読影のコツ (44). 治療, 70, 2205~2210, 1988.
- 25) 保坂純郎, 隈崎達夫:〔総説〕シリーズ:画像診断 撮像から読影のコツ (45). 治療, 70, 2449~2454, 1988.

- 26) 齋藤了一, 山岸嘉彦¹⁾ (¹⁾第二病院放射線科): [総説] シリーズ: 画像診断 撮像から読影のコツ (46). 治療, 71, 191~196, 1989.
- 27) Ebata, K., Okawa, T.¹⁾, Kita, M.¹⁾, Saito, Y.²⁾ et al. (¹⁾Tokyo Women's Medical College, ²⁾Kanazawa University): [原著] A randomized prospective study of radiation versus radiation plus ACNU in inoperable non-small cell carcinoma of the lung. Cancer, 63, 249~254, 1989.
- 28) 惠畑欣一, 桜井恵, 他: [原著] Fluconazole の深在性真菌症に対する臨床試験成績. Jpn. J. Antibiot., 42, 63~116, 1989.
- 29) 伊藤公一郎, 保坂純郎, 赤沼弘勝, 弦間和仁, 隈崎達夫, 惠畑欣一: [原著] TAE 後多発性肝動脈瘤を呈した 1 例. 臨放線, 34, 281~284, 1989.

著 書

- 1) 隈崎達夫: [分担] コンピュータラジオロジー; 肺. “放射線医学大系 特別巻 5”, p. 76~85, 中山書店, 1988.
- 2) 惠畑欣一: [分担] 強皮症, 全身性硬化症. “消化・吸収不良の臨床”, p. 262~269, 永井書店, 1988.

学会発表

- 1) 保坂純郎, 弦間和仁, 片山信仁, 伊藤公一郎, 大矢徹, 田島廣之¹⁾, 奥山厚¹⁾, 隈崎達夫, 惠畑欣一 (¹⁾栃木県立がんセンター画像診断部): [一般講演] 腹部実質臓器の外傷性出血に対する TAE の有用性. 第 2 回日本外傷研究会, 1988.
- 2) 玉井仁, 山本彰, 宮下次廣, 市川太郎, 隈崎達夫, 惠畑欣一: [一般講演] 顔面骨骨折の CT 3 次元表示; パーソナルコンピュータを用いて. 第 2 回日本外傷研究会, 1988.
- 3) 本多一義, 北浜博之¹⁾, 孫田誠三¹⁾, 他 (¹⁾栃木県立がんセンター画像診断部): [一般講演] 内視鏡的に摘除した胃の inflammatory fibroid polyp の 1 例. 第46回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 4) 本多一義, 北浜博之¹⁾, 孫田誠三¹⁾, 他 (¹⁾栃木県立がんセンター画像診断部): [一般講演] 胃癌診断における各種内視鏡機器の比較. 第46回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 5) 玉井仁, 惠畑欣一, 秋本正宇¹⁾, 百束比古¹⁾, 梅田敏彦¹⁾, 大久保正智¹⁾, 滝沢康¹⁾, 文入正敏¹⁾ (¹⁾形成外科): [一般講演] われわれの開発したパーソナルコンピュータによる簡便な3-D CT について. 第140回日本形成外科学会東京地方会, 1988.
- 6) 大矢徹, 隈崎達夫, 惠畑欣一, 竹内正人¹⁾, 沢倫太郎¹⁾, 福田功¹⁾, 岡本哲¹⁾, 波多野久昭¹⁾, 河村堯¹⁾, 佐々木茂¹⁾, 荒木勤¹⁾ (¹⁾産婦人科): [一般講演] 悪性腫瘍に対する皮下埋め込み式リザーバー使用による動注化学療法の試み. 第75回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1988.
- 7) 渡潤, 宮下次廣, 玉井仁, 片山信仁, 三谷原重雄, 惠畑欣一: [一般講演] 骨転移に対するエルカトニン併用放射線照射の除痛効果・再石灰化の検討. 第370回日本医学放射線学会関東地方会, 1988.
- 8) 山本彰, 玉井仁, 大石卓爾, 片山信仁, 本多一義, 惠畑欣一, 竹田雄一郎¹⁾, 鴨井青龍²⁾ (¹⁾臨床病理, ²⁾産婦人科): [一般講演] 乳糜胸水を伴ったびまん性過誤腫性肺脈管筋腫症の 1 例. 第370回日本医学放射線学会関東地方会, 1988.
- 9) 伊藤公一郎, 隈崎達夫, 赤沼弘勝, 弦間和仁, 大矢徹, 高木亮, 惠畑欣一, 田島廣之¹⁾ (¹⁾栃木県立がんセンター画像診断部): [一般講演] CT にて指摘された左肺静脈還流異常の 2 例. 第370回日本医学放射線学会関東地方会, 1988.
- 10) 渡潤, 宮下次廣, 桜井恵, 坂本光史, 三谷原重雄, 片山信仁, 飯田英次, 小俣香, 惠畑欣一: [一般講演] 骨転移に対するエルカトニン併用放射線照射の除痛効果・再石灰化の検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.

- 11) 田島廣之：〔海外留学者講演〕後天性大動脈弁狭窄症に対する経皮的弁形成術。第56回日本医科大学医学会総会，1988.
- 12) 本多一義，福永淳¹⁾，奥山厚¹⁾，田島廣之¹⁾，北浜博之¹⁾，笹川道三¹⁾，孫田誠三²⁾（¹⁾栃木県立がんセンター画像診断部，²⁾多摩永山病院放射線科）：〔一般講演〕肝腫瘍に対する angiographic CT の有用性について。第56回日本医科大学医学会総会，1988.
- 13) 弦間和仁，山本彰，高木亮，川俣博志，保坂純郎，伊藤公一郎，大矢徹，隈崎達夫，恵畑欣一，鈴木恒道¹⁾，田島廣之²⁾，白井康正³⁾（¹⁾付属病院病理部，²⁾栃木がんセンター，³⁾付属病院整形外科）：〔展示〕術中出血量の減少を目的とした骨・軟部腫瘍に対する動脈塞栓術の経験。第56回日本医科大学医学会総会，1988.
- 14) 玉井仁，恵畑欣一，滝沢康¹⁾，秋本正宇¹⁾，百束比古¹⁾，文入正敏¹⁾（¹⁾形成外科）：〔展示〕パーソナルコンピュータによる3DCT の形成外科領域への応用。第56回日本医科大学医学会総会，1988.
- 15) 本多一義，田島廣之¹⁾，奥山厚¹⁾，福永淳¹⁾，北浜博之¹⁾，笹川道三¹⁾，孫田誠三²⁾（¹⁾栃木がんセンター，²⁾多摩永山病院）：〔展示〕集学的診断・治療カンファレンスにおける医用画像ファイリングシステム。第56回日本医科大学医学会総会，1988.
- 16) 玉井仁，坂本光史，赤沼弘勝，宮下次廣，月岡健雄，渡潤，本多一義，隈崎達夫，恵畑欣一，秋本正宇¹⁾，百束比古¹⁾（¹⁾形成外科）：〔展示〕パーソナルコンピュータによる CT 三次元表示システム；フレームバッファを用いて。第56回日本医科大学医学会総会，1988.
- 17) 宮下次廣，坂本光史，天野康雄，飯田英次，月岡健雄，村上隆介，玉井仁，恵畑欣一：〔展示〕腹腔内走査による子宮頸癌の画像表示。第56回日本医科大学医学会総会，1988.
- 18) 大矢徹，川俣博志，伊藤公一郎，高橋政之，高木亮，本多一義，隈崎達夫，恵畑欣一，中沢省三¹⁾，高橋弘¹⁾（¹⁾脳神経外科）：〔展示〕経上腕動脈的脳血管 IADSA の経験。第56回日本医科大学医学会総会，1988.
- 19) 宮下次廣，伊達治行¹⁾，恩田昌彦¹⁾，山下精彦¹⁾，笹島耕二¹⁾，京野昭二¹⁾，内田英二¹⁾，八木和郎¹⁾（¹⁾第一外科）：〔展示〕超音波内視鏡（EUS）による食道癌の外膜浸潤の診断。第56回日本医科大学医学会総会，1988.
- 20) 大石卓爾，小俣香，村上隆介，林宏光，齋藤了一，三谷原重雄，恵畑欣一，山岸嘉彦¹⁾，奥山厚²⁾，千葉隆³⁾，今井大洋³⁾，務川靖³⁾，五十嵐利一³⁾，吉田豊³⁾，植田穰³⁾（¹⁾第二病院放科，²⁾栃木がんセンター，³⁾付属病院小児科）：〔展示〕気管支喘息・気管支拡張症に対する核医学検査の有用性。第56回日本医科大学医学会総会，1988.
- 21) 林宏光，伊藤公一郎，大矢徹，玉井仁，大石卓爾，天野康雄，弦間和仁，本多一義，隈崎達夫，恵畑欣一，田島廣之¹⁾，奥山厚¹⁾，福永淳¹⁾，北浜博之¹⁾，笹川道三¹⁾（¹⁾栃木県立がんセンター）：〔展示〕下肢動脈閉塞病変に対するウロキナーゼ動注療法の有用性。第56回日本医科大学医学会総会，1988.
- 22) 宮下次廣，伊達治行¹⁾，恩田昌彦¹⁾，山下精彦¹⁾，田尻孝¹⁾，笹島耕二¹⁾，他（¹⁾第1外科）〔一般講演〕超音波内視鏡（EUS）による食道癌の外膜浸潤；特に外膜浸潤の程度の判定について。第56回日本医科大学医学会総会，1988.
- 23) 大石卓爾，齋藤了一，山岸嘉彦¹⁾，隈崎達夫，恵畑欣一，奥山厚²⁾（¹⁾第二病院・放射線科，²⁾栃木県立がんセンター画像診断部）：〔一般講演〕肺血栓塞栓症における肺血流シンチグラフィ。第4回関東地方呼吸器核医学研究会，1988.
- 24) 齋藤了一，大石卓爾，山岸嘉彦¹⁾，恵畑欣一，他（¹⁾第二病院放射線科）：〔一般講演〕小児呼吸器疾患の RI エロゾルクリアランス。第21回臨床小児放射線研究会，1988.
- 25) 齋藤了一，大石卓爾，千葉隆¹⁾，今井大洋¹⁾，務川靖¹⁾，他（¹⁾小児科）：〔一般講演〕小児呼吸器疾患の RI エロゾルクリアランス，第21回日本小児呼吸器疾患学会，1988.
- 26) Saito, R., Ohishi, T., Mitanihara, S., Yamagishi, Y., Ebata, K., Okuyama, A. and Tajima, H. : 〔展示〕Clinical usefulness of radionuclide imaging in the bone and soft tissue tumors. Fourth Asia and Oceania Congress of Nuclear

- Medicine (Taipei, Taiwan), 1988.
- 27) Mitanihara, S., Oishi, T., Saito, R., Yamagishi, Y., Ebata, K., Okuyama, A., Omigawa, H. and Tada, N. : [展示] Tl-201 per-rectal scintigraphy ; Noninvasive method for estimating portal-systemic shunt in chronic liver diseases. Fourth Asia and Oceania Congress of Nuclear Medicine (Taipei, Taiwan), 1988.
- 28) Oishi, T., Saito, R., Mitanihara, S., Kumazaki, T., Yamagishi, Y., Ebata, K., Okuyama, A. and Oumigawa, H. : [展示] Clinical value of pulmonary perfusion scintigraphy in the pulmonary thromboembolism. Fourth Asia and Oceania Congress of Nuclear Medicine (Taipei, Taiwan), 1988.
- 29) 宮下次廣, 伊達治行¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 山下精彦¹⁾, 田尻孝¹⁾, 笹島耕二¹⁾, 他 (¹⁾第1外科) : [一般講演] 超音波内視鏡 (EUS) による食道癌の外膜浸潤; 特に外膜浸潤の程度の判定について. 日本超音波医学会第53回研究発表会, 1988.
- 30) 齋藤了一, 大石卓爾, 林宏光, 渡潤, 五十嵐義晃¹⁾, 奥山厚²⁾, 山岸嘉彦³⁾, 惠畑欣一 (¹⁾第一病院, ²⁾栃木県立がんセンター, ³⁾第二病院) : [一般講演] 骨・軟部腫瘍症例のシンチグラフィー. 第28回日本核医学会総会, 1988.
- 31) 山岸嘉彦¹⁾, 齋藤了一, 五十嵐義晃²⁾, 鍛喜美恵¹⁾, 高岩成光¹⁾, 正田史典¹⁾, 佐藤雅史¹⁾, 渡部英之¹⁾ (¹⁾第二病院, ²⁾第一病院) : [一般講演] 骨単純X線写真上の normal variants 例に対する骨シンチグラフィーの臨床的意義. 第28回日本核医学会総会, 1988.
- 32) 玉井仁, 秋本正宇¹⁾, 大久保正智¹⁾, 他 (¹⁾形成外科) : [一般講演] われわれの開発したパーソナルコンピュータによる簡便な3-D CT について. 第6回日本頭蓋頸顔面外科学会, 1988.
- 33) 宮下次廣, 惠畑欣一 : [一般講演] US による内胸動静脈の位置計測. 第1回日本放射線腫瘍学会学術大会, 1989.
- 34) 隈崎達夫 : [シンポジウム] 腹部外傷における Interventional Radiology について. 第8回日本画像医学会シンポジウム, 1989.

[第一病院放射線科]

研究概要

昭和63年度の業績の特徴としてはMRIの導入により, その方面の発表の多いことが挙げられる. 以下に臨床的研究と基礎的研究に分けてその概略を記す.

1. 臨床的研究

画像診断を放射線科医が一貫して行なっているため, 多くのモダリティすなわちCT, MRI, DR, RI, 超音波検査, サーモグラフィなどの画像診断の研究が中心となっている.

初めに述べたごとく, MRI に関しての臨床経験, 症例報告などの業績がみられたことは例年と異なっている.

昨年に引き続きRIの研究があり, また例年と同様, サーモグラフィの業績が多かった.

国際会議に関しては, 加藤が第3回日仏医学コロキウムの会長を務め, そこでの業績を編集出版し, またそこで教室の長年の乳癌についての研究の一部を発表した. (伊藤)

2. 基礎的研究

中央電子顕微鏡施設との共同研究による微粒子フェライトの研究はまとめの段階に入り, その一部が論文になった. 医用画像の転送など画像診断の基礎的研究の発表があり, この分野の研究を続行中である.

3. その他

前述の国際会議の主催のほかに, 海外での講演(岡田)がみられた.

研究業績

論文

- 1) 岡田進：〔報告〕最近のフランスにおける MRI 視察記. 日仏医, **18**, 33～36, 1986.
- 2) 岡田進, 加藤富三：〔報告〕フランスにおける MRI 開発利用の現状. 映像情報 Med., **18**, 688～692, 1986.
- 3) 岡田進, 野本宏：〔原著〕シリーズ：画像診断. 撮像から撮影のコツ (25). 治療, **68**, 2131～2135, 1986.
- 4) 岡田進, 朝日良一, 田島なつき¹⁾, 隈崎達夫¹⁾, 長谷川節夫²⁾, 菊池洋史³⁾, 上坂伸宗³⁾ (¹⁾付属病院放射線科, ²⁾関東通信病院内科, ³⁾第一生理)：〔原著〕イオン性低浸透圧造影剤 (loxaglate) の赤血球膜に及ぼす作用, 日医放線会誌, **47**, 729～744, 1987.
- 5) 岡田進：〔原著〕水溶性ヨード造影剤 (loxaglate) の圧一流量系に及ぼす作用. 日医放線会誌, **47**, 1034～1045, 1987.
- 6) 張重華¹⁾, 鈴木栄一²⁾, 弓削庫大²⁾, 五十嵐義晃 (¹⁾上海医科大学眼耳鼻咽喉科医院, ²⁾第一病院耳鼻咽喉科)：〔原著〕針刺前後穴位温度変化的観察. 中国針灸, **5**, 37～38, 1988.
- 7) 五十嵐義晃：〔総説〕赤外サーモグラフィ装置の臨床的応用に関する一考察. Biomedical Thermology 医学・生物学サーモロジー, **8**, 1～3, 1988.
- 8) 和田良仁：〔原著〕磁性体微粒子を芯物質とした Adriamycin マイクロカプセルによる経カテーテル化学塞栓物質の基礎的研究. 日医大誌, **55**, 301～314, 1988.
- 9) 伊藤正, 加藤富三, 五十嵐義晃, 渡辺均, 多田周：〔総説〕サーモグラフィのその後 (特集：乳癌の画像診断 UPDATE). 画像診断, **8**, 811～816, 1988.
- 10) Kumazaki, T.¹⁾, Okada, S.²⁾, and Uyesaka, N.²⁾ (¹⁾付属病院放射線科, ²⁾第 1 生理)：〔原著〕Effect of water-soluble iodinated contrast media on pressure-flow relationship of red cell suspension. Invest Radiol, **23**(Suppl. 1), 153～156, 1988.
- 11) 岩崎益実, 川村寧, 多田周¹⁾ (¹⁾三鷹医師会)：〔原著〕医用画像の広域情報交換. 医療情報学 8 回連大会論集, 1988.
- 12) 五十嵐義晃, 伊藤正, 多田周, 渡辺均, 加藤富三：〔総説〕コンタクトサーモグラフィ. (I) 液晶と検査方法. Biomedical Thermology 医学・生物学サーモロジー, **8**, 230～236, 1988.
- 13) 鈴木振一郎, 〔原著〕断層心エコー図法による健康成人の左心系の計測；正常値の算出と体格との相関について. 日医大誌, **55**, 564～573, 1988.
- 14) 佐藤俊彦, 川勝樹夫, 五十嵐義晃, 伊藤正, 加藤富三, 井口俊¹⁾, 石渡俊行²⁾, 横田淳一³⁾ (¹⁾佼成病院放射線科, ²⁾同内科, ³⁾東芝那須工場 CT 技術部)：〔報告〕MRI が診断に有効であった肝内型 portal vein aneurysm の 1 例. 臨放線, **34**, 265～268, 1989.
- 15) 佐藤俊彦, 五十嵐義晃, 伊藤正, 加藤富三, 山口暁¹⁾, 永井進¹⁾, 力武義之¹⁾, 横田淳一²⁾ (¹⁾産婦人科, ²⁾東芝那須工場 CT 技術部)：〔報告〕先天性子宮頸管, 腔閉鎖症の 1 例；MR 画像を中心に. 臨放線, **34**, 391～394, 1989.
- 16) 加藤富三：〔総説〕老人放射線学の必要性. 老人病研究会年報, No.11, 12, 1989.

著書

- 1) 五十嵐義晃, 渡辺均, 加藤富三：〔分担〕コンタクト・サーモグラフィの撮影法. “サーモグラフィ”, p. 51～55, 秀潤社, 1988.
- 2) 伊藤正, 加藤富三, 五十嵐義晃, 多田周：〔分担〕コンタクトサーモグラフィによる乳房疾患の定量診断法. “サーモグラフィ”, p. 76～82, 秀潤社, 1988.

- 3) 北浜博之：〔分担〕2. Flexibe type. "Contact Thermography", p. 10~12, 癌と化学療法社, 1988.
- 4) 北浜博之：〔分担〕集団検診と contact thermography. "Contact Thermography", p. 77~84, 癌と化学療法社, 1988.
- 5) Ito, T., Kato, T. and Igarashi, Y.：〔分担〕Medical imaging in senology. "Recherche Biomedicale Cooperation Franco-japonaise", p. 228~233, Société Médicale Franco-japonaise, 1989.
- 6) Kato, T.：〔分担〕Allocution du 3ème colloque franco-japonaise de Médecine. "Recherche Biomedicale Cooperation Franco-japonaise", p. 11~21, Société Médicale Franco-japonaise, 1989.
- 7) Kato, T., Ito, T., and Igarashi, Y.：〔編集出版〕Proceedings：3ème colloque franco-japonaise de Médecine <Imaenè Médicale en Cancérologie>, "Recherche Biomédicale, Cooperation Franco-japonaise", Société Médicale Franco-japonaise, 1989.
- 8) 加藤富三, 五十嵐義晃：〔分担〕VI サーモグラフィ. "放射線医学大系 IB 放射線診断学総論", p. 100~108, 中山書店, 1989.

学会発表

- 1) 岡田進, 加藤富三, 上坂伸宏¹⁾, 品川嘉也¹⁾ (¹⁾第1生理)：〔一般講演〕圧-流量関係 (カエル後肢灌流実験) に及ぼす水溶性ヨード造影剤の作用. 第64回日本生理学会大会, 1987.
- 2) 岡田進, 加藤富三, 古沢和久¹⁾, 上坂伸宏¹⁾, 隈崎達夫²⁾ (¹⁾第1生理学, ²⁾付属病院放射線科)：〔一般講演〕圧-流量関係に及ぼす水溶性ヨード造影剤の作用カエル後肢灌流実験による解析. 第10回日本バイオレオロジー学会総会, 1987.
- 3) Okada, S., Uyesaka, N.¹⁾, Kumazaki, T.²⁾ and Kato, T. (¹⁾第1生理, ²⁾付属病院放射線科)：〔展示〕The effect of radiographic contrast media on the pressure flow rate relation of erythrocyte suspension; A quantitative analysis from the perfusion of bullfrog's limbs. 4th Word Congress for Microcirculation, 1987.
- 4) 川勝樹夫, 佐藤俊彦, 斉木名執, 茂古沼吉宗, 牛広明, 五十嵐義晃, 伊藤正, 加藤富三, 赤石健¹⁾, 笹森斉¹⁾, 井口俊¹⁾, 石渡俊行²⁾, 横田淳一³⁾ (¹⁾佼成病院放射線科, ²⁾同内科, ³⁾東芝那須 CT 技術部)：〔一般講演〕MRI で抽出しえた Intrahepatic Portal Voin Aneurysm の一例. 第369回日本医学放射学会関東地方会, 1988.
- 5) 佐藤俊彦, 斉木名執, 五十嵐義晃, 伊藤正, 加藤富三, 加藤秀和¹⁾, 家所良夫¹⁾, 武井裕¹⁾, 庄司佑¹⁾, 横田淳一²⁾ (¹⁾第2外科, ²⁾東芝那須 CT 技術部)：〔一般講演〕MRI および MRI シネモードが術前診断に有用であった解離性大動脈瘤の1例. 第65回日本医科大学医学会例会, 1988.
- 6) 和田良仁, 笹森斉, 青木文, 柳田直樹, 伊藤正, 加藤富三, 唐沢信安¹⁾ (¹⁾唐沢内科医院)：〔一般講演〕磁性体微粒子を芯物質とした Adriamycin マイクロカプセルによる経カテーテル化学塞栓療法の基礎的研究. 第3回日本生体磁気学会大会, 1988.
- 7) 岩崎益実¹⁾, 川村寧¹⁾, 多田周 (¹⁾三鷹医師会)：〔一般講演〕画像伝送による医療機関の連携. 第11回プライマリケア学会, 1988.
- 8) 多田周, 岩崎益実¹⁾, 川村寧¹⁾ (¹⁾三鷹医師会)：〔展示〕テレビ電話による超音波診断実験. 第11回プライマリケア学会, 1988.
- 9) Greselle, J. F.¹⁾, Brichaux, J. C.¹⁾, Kien, P.¹⁾, Caille, J. M.¹⁾ and Okada, S. (¹⁾Service de Nevroradiologic, Group Hôpitalier Pellegrin, Bardeaux)：〔一般講演〕Magnetic resonance imaging of intracerebral hemorrhage. 1st European Congress of Neurology (Prague), 1988.
- 10) Okada, S., Greselle, J. F.¹⁾, Kien, P.¹⁾ and Caille, J. M.¹⁾ (¹⁾Service de Neuroradiologie Group Hôpitalier Pellegrin Bardeaux)：〔一般講演〕MRI findings in acute cerebral ischemia. 1st European Congress of Neurology (Prague), 1988.

- 11) 伊藤正, 加藤富三, 五十嵐義晃: [シンポジウム] Medical imaging in senology. 第3回日仏医学コロキウム, 1988.
- 12) 五十嵐義晃, 柳田直樹, 青木文, 菊池隆介, 伊藤正: [一般講演] 機能的な精神疾患を主体とした ^{123}I -IMP SPECT 像の検討. 第47回日本医学放射線学会総会, 1988.
- 13) 多田周: [一般講演] コンタクトサーモグラフィによる乳癌の Quantitative Diagnosis の試み 第2報. 第47回日本医学放射線学会総会, 1988.
- 14) 牛広明: [一般講演] X-ray CT & US Studies on Hepatic cyst. 第47回日本医学放射線学会総会, 1988.
- 15) 岩崎益実¹⁾, 川村寧¹⁾, 多田周 (¹⁾三鷹医師会): [一般講演] 医用画像の広域情報交換. 第8回医療情報学連合大会, 1988.
- 16) 佐藤俊彦, 斉木名執, 五十嵐義晃, 伊藤正, 加藤富三, 加藤秀和¹⁾, 家所良夫¹⁾, 武井裕¹⁾, 庄司佑¹⁾, 横田淳一²⁾, (¹⁾第2外科, ²⁾東芝那須CT技術部): [一般講演] MRI および MRI シネモードが術前診断に有用であった解離性大動脈瘤の一例. 日本医科大学医学会第65回例会, 1988.
- 17) 川勝樹夫, 佐藤俊彦, 斉木名執, 茂古沼吉宗, 牛広明, 五十嵐義晃, 伊藤正, 加藤富三, 赤石健¹⁾, 笹森齊¹⁾, 井口俊¹⁾, 石渡俊行²⁾, 横田淳一³⁾, (¹⁾佼成病院放射科, ²⁾同内科, ³⁾東芝那須CT技術部): [一般講演] MRI で抽出しえた Intrahepatic Portal Vein Aneurysm の一例. 第369回日本医学放射線学会関東地方会, 1988.
- 18) 北浜博之 (栃木ガンセンター): [一般講演] 乳房撮影における CR-MMG の有用性の検討. 第3回栃木県乳腺研究会, 1988.
- 19) 福永淳¹⁾, 北浜博之¹⁾, 奥山厚¹⁾, 田島廣之¹⁾, 近藤祐一郎¹⁾, 関俊夫¹⁾, 中田薫¹⁾, 笹川道三¹⁾, 固武健二郎¹⁾, 尾形佳郎¹⁾, 島村秀好¹⁾ (¹⁾栃木ガンセンター): [一般講演] 後縦腸及び後腹膜の3部位に多発した神経腫の1例. 第370回日本医学放射線学会関東地方会, 1988.
- 20) 北浜博之 (栃木ガンセンター): [展示] 早期乳癌例に対する乳房撮影におけるデジタル画像処理の有用性に関する検討. 第48回乳癌研究会, 1988.
- 21) 林宏光, 伊藤公一郎¹⁾, 大矢徹¹⁾, 玉井仁¹⁾, 大石卓爾¹⁾, 天野康雄¹⁾, 弦間和仁¹⁾, 本多一義¹⁾, 隈崎達夫¹⁾, 恵畑欣一¹⁾, 北浜博之²⁾, 田島廣之²⁾, 奥山厚²⁾, 福永淳²⁾, 笹川道三²⁾ (¹⁾付属病院放射線科, ²⁾栃木県立がんセンター): [展示] 下肢動脈閉塞病変に対するウロキナーゼ動注療法の有用性. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 22) 五十嵐義晃, 伊藤正, 多田周, 斉木名執, 石王道人, 清水一雄¹⁾, 豊島宏二¹⁾ (¹⁾第2外科): [一般講演] Hyperparathyroidism の画像診断. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 23) 駒場祐一¹⁾, 村松忠¹⁾, 尾上敏夫¹⁾, 加藤仁志¹⁾, 福生吉裕, 赫彰郎¹⁾, 五十嵐義晃 (¹⁾第2内科): [一般講演] 虚血性心疾患に対する Dipyridamole 負荷法による心筋 SPECT の臨床的有用性の検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 24) 五十嵐義晃, 伊藤正, 茂古沼吉宗, 多田周, 斉木名執, 石王道人, 柳田直樹, 川勝樹夫, 市川三奈江, 鴨下亨, 加藤富三: [展示] 永久磁石方式の MRI 装置の使用経験. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 25) 茂古沼吉宗, 伊藤正, 五十嵐義晃, 多田周, 斉木名執, 石王道人, 柳田直樹, 川勝樹夫, 市川三奈江, 鴨下亨, 加藤富三: [展示] 永久磁石方式 MRI (MRP-20). 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 26) 柳田直樹, 伊藤正, 五十嵐義晃, 和田良仁, 井口俊: [展示] ハイパーサーシアの基礎的研究. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 27) 多田周, 鴨下亨, 柳田直樹, 斉木名執, 川勝樹夫, 五十嵐義晃, 伊藤正: [一般講演] コンタクトサーモグラフィによる乳癌の Quantitative Diagnosis の試み 第2報. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 28) 福永淳¹⁾, 北浜博之¹⁾, 笹川道三¹⁾, 本多一義²⁾, 孫田誠三²⁾ (¹⁾栃木県立がんセンター, ²⁾付属病院放射線科): [一

- 般講演] 肝腫瘍に対する angiographic CT の有用性について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 29) 田島廣之¹⁾, 奥山厚¹⁾, 福永淳¹⁾, 北浜博之¹⁾ (栃木ガンセンター): [展示] 集学的診断, 治療カンファレンスにおける医用画像ファイリングシステム. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 30) 奥山厚¹⁾, 福永淳¹⁾, 田島廣之¹⁾, 北浜博之¹⁾, 笹川道三¹⁾ (栃木県立がんセンター): [展示] CR を用いた RI イメージングの基礎的研究, 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 31) 関俊夫¹⁾, 中田薫¹⁾, 近藤祐一郎, 北浜博之¹⁾, 田島廣之¹⁾, 福永淳¹⁾, 奥山厚¹⁾, 笹川道三¹⁾, 井村種二²⁾, 鈴木恵子²⁾, 島村香也子²⁾ (栃木県立がんセンター画像診断部, ²⁾同研究検査部): [ポスターシンポジウム] 急速進展胃癌と緩速進展胃癌の比較検討. 第36回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 32) 中田薫¹⁾, 関俊夫¹⁾, 近藤祐一郎¹⁾, 北浜博之¹⁾, 孫田誠三¹⁾, 本多一義¹⁾, 笹川道三¹⁾, 鈴木恵子²⁾, 島村香也子²⁾, (栃木県立がんセンター画像診断部, ²⁾同研究検査部): [一般講演] 内視鏡的に摘除した胃の in inflammatory fibroid polyp の 1 例. 第46回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 33) 関俊夫¹⁾, 中田薫¹⁾, 近藤祐一郎¹⁾, 北浜博之¹⁾, 孫田誠三¹⁾, 本多一義¹⁾, 笹川道三¹⁾, 鈴木恵子²⁾, 島村香也子²⁾ (栃木県立がんセンター画像診断部, ²⁾同病理): [一般講演] 胃癌診断における各種内視鏡機器の比較. 第46回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 34) 近藤祐一郎, 中田薫, 関俊夫, 福永淳, 北浜博之, 田島廣之, 奥山厚, 笹川道三: [一般講演] 内視鏡的治療後早期胃癌症例の検討; 治療後の生活常態を中心に. 第47回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 35) 中田薫¹⁾, 関俊夫¹⁾, 近藤祐一郎¹⁾, 北浜博之¹⁾, 田島廣之¹⁾, 福永淳¹⁾, 奥山厚¹⁾, 笹川道三¹⁾, 井村種二²⁾, 鈴木恵子²⁾, 島村香也子²⁾ (栃木県立がんセンター画像診断部, ²⁾同研究検査部): [一般講演] 11年の経過観察の後内視鏡的に切除し得た十二指腸カルチノイドの一例. 第47回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 36) 中田薫¹⁾, 関俊夫¹⁾, 近藤祐一郎¹⁾, 北浜博之¹⁾, 田島廣之¹⁾, 福永淳¹⁾, 奥山厚¹⁾, 笹川道三¹⁾, 井村種二²⁾, 鈴木恵子²⁾, 島村香也子²⁾ (栃木県立がんセンター画像診断部, ²⁾同研究検査部): [一般講演] 11年の経過観察の後内視鏡的に切除し得た十二指腸カルチノイドの一例. 第8回栃木県消化器内視鏡懇話会, 1988.
- 37) 中田薫, 関俊夫, 北浜博之, 奥山厚, 田島廣之, 福永淳, 笹川道三, 関口忠司, 尾形佳郎, 鈴木恵子, 島村香也子: [一般講演] 胃腺扁平上皮癌の 1 例. 第9回栃木県消化器内視鏡懇話会, 1989.
- 38) 浅井隆二¹⁾, 鈴木振一郎¹⁾, 細見浩章¹⁾, 高元俊彦²⁾ (NTT 東京中央健康管理センター, ²⁾東京医歯大第2内科): [一般講演] 心エコーにより糖尿病患者に認められた特異な心筋肥大形態; PIDMOAD 症候群とその類縁性について. 第40回通信医学会総会, 1989.

[第二病院放射線科]

研究業績

放射線診断学

- 1) ビマン性肺疾患に対し, 気管支鏡を用いた BAL, 肺生検を施行し, 画像診断の向上に力を注いでいる.
- 2) 川崎市民の胸部間接撮影による胸部疾患集団検診業務の中心的役割を果たし, 結核, 癌のみならず広く胸部疾患を取り上げている. 肺癌の早期診断および早期治療に胸部検診業務の重要性を啓蒙している.
- 3) 上部消化管の消化性潰瘍の X 線診断学において, 単に潰瘍のみの形態的診断に止まらず, 潰瘍形成の背景となる攻撃因子 (胃分泌機能) および粘膜自体の防御因子等, 粘膜のもつ機能を画像に表現する, いわゆる functional radiology に目標をおき, 研究を続行中である.
- 4) 腸管微細粘膜像と生理機能との関係解明を研究中である.
- 5) 川崎市および東京都大田区からの依頼により, 地域住民の胃癌計画検診業務に参画し, より効率良い, より精度の高い集検大系の確立をめざし研究中である.

放射線治療学

肺癌に対して BAL, 放射線治療を, 集学的治療の一つとして積極的に取り組んでいる。

核医学

- 1) 骨シンチグラフィーを骨腫瘍に施行し, Ga シンチグラフィーを併用し, 良悪の鑑別の可能性を追求している。
- 2) 骨腫瘍以外の骨疾患, 例えば炎症, 無腐性骨壊死, 代謝性疾患, 骨折, 特に疲労骨折, 正常変異, 原因不明の痛みなどにも骨シンチグラフィーを応用し, 病態の把握や経過の判定に利用している。
- 3) 他の付属 3 病院と共同で小児の骨疾患につき骨シンチグラフィーを行い, 成人との違いや, 小児に多い疾患の診断に利用している。

研究業績

論文

- 1) 福永淳, 山岸嘉彦, 吉田貞利¹⁾ (¹⁾川崎市がん検診センター): [総説] シリーズ: 画像診断 撮像から読影のコツ (39) 早期胃癌. 治療, **70**, 1151~1155, 1988.
- 2) 鍛喜美恵, 山岸嘉彦: [総説] シリーズ: 画像診断 撮像から読影のコツ (41) 左第 7 肋骨線維性骨異形成. 治療, **70**, 1506~1510, 1988.
- 3) 正田史典, 山岸嘉彦: [総説] シリーズ: 画像診断 撮像から読影のコツ (42), 右第 2 指基節骨の内軟骨骨腫. 治療, **70**, 1711~1715, 1988.
- 4) 山岸嘉彦: [総説] 原発性骨腫瘍の画像診断; 単純 X 線像およびシンチグラムを中心に. 骨転移—病態・診断・治療, **5**, 5~16, 1988.
- 5) 渡部英之: [総説] 胃癌の X 線診断. 最新医, **43**, 1920~1925, 1988.
- 6) 齋藤了一¹⁾, 山岸嘉彦 (¹⁾付属病院放射線科): [総説] シリーズ: 画像診断 撮像から読影のコツ (46) 右立方骨動脈瘤様骨嚢腫. 治療, **71**, 191~196, 1989.
- 7) 高橋政之, 山岸嘉彦, 松尾博由¹⁾ (¹⁾第二病院整形外科): [総説] シリーズ: 画像診断 撮像から読影のコツ (47) 疲労骨折, 治療, **71**, 847~852, 1989.
- 8) 佐藤雅史: [総説] 救急疾患の画像診断; 症候を中心に呼吸器. 最新医, **44**, 487~492, 1989.

著書

- 1) 渡部英之: [分担] X 線診断. “内科診断治療講座 消化性潰瘍” (三輪剛編), p. 137~153, メジカルビュー社, 1989.

学会発表

- 1) 福永淳, 北浜博之¹⁾, 奥山厚¹⁾, 田島廣之¹⁾, 近藤祐一郎¹⁾, 関俊夫¹⁾, 中田薫¹⁾, 笹川道三¹⁾, 国武健二郎¹⁾, 尾形佳郎¹⁾, 島村香也子¹⁾ (¹⁾栃木県立がんセンター): [一般講演] 後縦隔及び後腹膜の 3 部位に多発した神経鞘腫の 1 例. 第 370 回日本医学放射線学会関東地方会, 1988.
- 2) 大石卓爾¹⁾, 齋藤了一¹⁾, 山岸嘉彦, 隈崎達夫¹⁾, 恵畑欣一¹⁾, 奥山厚²⁾, (¹⁾付属病院放射線科, ²⁾栃木県立がんセンター画像診断部): [一般講演] 肺血栓塞栓症における肺血流シンチグラフィ. 第 4 回関東地区呼吸器核医学研究会, 1988.
- 3) 渡部英之, 高橋政之, 稲垣禎彦, 鍛喜美恵, 高岩成光, 正田史典, 佐藤雅史, 山岸嘉彦: [一般講演] 十二指腸球部微細粘膜像観察の臨床的意義. 第 56 回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 4) 正田史典, 高橋政之, 鍛喜美恵, 高岩成光, 佐藤雅史, 渡部英之, 山岸嘉彦: [一般講演] 肺癌の指骨転移の検

討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.

- 5) 大石卓爾¹⁾, 小俣香¹⁾, 村上隆介¹⁾, 林宏光¹⁾, 齋藤了一¹⁾, 三谷原重雄¹⁾, 恵畑欣一¹⁾, 山岸嘉彦, 奥山厚²⁾, 千葉隆³⁾, 今井大洋³⁾, 務川靖³⁾, 五十嵐利一³⁾, 吉田豊³⁾, 植田穰³⁾ (¹⁾付属病院放射線科, ²⁾栃木県立がんセンター画像診断部, ³⁾付属病院小児科): [一般講演] 気管支喘息・気管支拡張症に対する核医学検査の有用性. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 6) 林宏光¹⁾, 伊藤公一郎¹⁾, 大矢徹¹⁾, 玉井仁¹⁾, 大石卓爾¹⁾, 天野康雄¹⁾, 弦間和仁¹⁾, 本多一義¹⁾, 隈崎達夫¹⁾, 恵畑欣一¹⁾, 田島廣之²⁾, 奥山厚²⁾, 福永淳, 北浜博之²⁾, 笹川道三²⁾ (¹⁾付属病院放射線科, ²⁾栃木県立がんセンター): [展示] 下肢動脈閉塞病変に対するウロキナーゼ動注療法の有用性. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 7) 福永淳, 奥山厚¹⁾, 田島廣之¹⁾, 北浜博之¹⁾, 笹川道三¹⁾, 本多一義²⁾, 孫田誠三³⁾ (¹⁾栃木県立がんセンター, ²⁾付属病院放射線科, ³⁾多摩永山病院放射線科): [一般講演] 肝腫瘍に対する angiographic CT の有用性について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 8) 田島廣之¹⁾, 奥山厚¹⁾, 福永淳, 北浜博之¹⁾, 笹川道三¹⁾, 本多一義²⁾, 孫田誠三³⁾ (¹⁾栃木県立がんセンター, ²⁾付属病院放射線科, ³⁾多摩永山病院放射線科): [展示] 集学的診断 治療カンファレンスにおける医用画像フェイリングシステム. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 9) 奥山厚¹⁾, 福永淳, 田島廣之¹⁾, 北浜博之¹⁾, 笹川道三¹⁾ (¹⁾栃木県立がんセンター): [展示] CR を用いた RI イメージングの基礎的研究. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 10) 北浜博之¹⁾, 福永淳, 田島廣之¹⁾, 奥山厚¹⁾, 笹川道三¹⁾ (¹⁾栃木県立がんセンター): [展示] 早期乳癌例に対するデジタル処理画像の有用性. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 11) 中田薫¹⁾, 関俊夫¹⁾, 近藤祐一郎¹⁾, 北浜博之¹⁾, 田島廣之¹⁾, 福永淳, 奥山厚¹⁾, 笹川道三¹⁾, 井村穰二¹⁾, 鈴木恵子¹⁾, 島村香也子¹⁾ (¹⁾栃木県立がんセンター): [一般講演] 11年の経過観察の後に切除し得た十二指腸カルチノイドの一例. 第8回栃木県消化器内視鏡懇話会, 1988.
- 12) 関俊夫¹⁾, 中田薫¹⁾, 近藤祐一郎¹⁾, 福永淳, 田島廣之¹⁾, 北浜博之¹⁾, 奥山厚¹⁾, 笹川道三¹⁾, 井村穰二¹⁾, 鈴木恵子¹⁾, 島村香也子¹⁾, (¹⁾栃木県立がんセンター): [一般講演] 急速進展胃癌と緩速進展胃癌の比較検討. 第36回日本消化器内視鏡学会総会. 1988.
- 13) Mitanihara, S.¹⁾, Ohishi, T.¹⁾, Saito, R.¹⁾, Yamagishi, Y., Ebata, K.¹⁾, Okuyama, A.²⁾, Oumigawa, H.³⁾ and Tada, N.⁴⁾ (¹⁾付属病院放射線科, ²⁾栃木県立がんセンター, ³⁾三楽病院, ⁴⁾第3内科): [一般講演] Tl-201 per-rectal scintigraphy; Noninvasive method for estimating portal-systemic shunt in chronic liver diseases. Fourth Asia and Oceania Congress of Nuclear Medicine, 1988.
- 14) Saito, R.¹⁾, Ohishi, T.¹⁾, Mitanihara, S.¹⁾, Yamagishi, Y., Ebata, K.¹⁾, Okuyama, A.²⁾, Tajima, H.²⁾ and Oumigawa, H.³⁾ (¹⁾付属病院放射線科, ²⁾栃木県立がんセンター, ³⁾三楽病院): [一般講演] Clinical usefulness of radionuclide imaging in the bone and soft tissue tumors. Fourth Asia and Oceania congress of Nuclear Medicine, 1988.
- 15) Ohishi, T.¹⁾, Saito, R.¹⁾, Mitanihara, S.¹⁾, Kumazaki, T.¹⁾, Yamagishi, Y. and Ebata, K.¹⁾ (¹⁾付属病院放射線科): [一般講演] Clinical value of pulmonary perfusion scintigraphy in the pulmonary thromboembolism. Fourth Asia and Oceania Congress of Nuclear Medicine, 1988.
- 16) 齋藤了一¹⁾, 大石卓爾¹⁾, 林宏光¹⁾, 渡潤¹⁾, 五十嵐義晃²⁾, 奥山厚³⁾, 山岸嘉彦, 恵畑欣一¹⁾ (¹⁾付属病院放射線科, ²⁾第一病院放射線科, ³⁾栃木県立がんセンター画像診断部): [一般講演] 骨軟部腫瘍症例のシングラフィ. 第28回日本核医学会総会, 1988.
- 17) 山岸嘉彦, 齋藤了一¹⁾, 五十嵐義晃²⁾, 鍛喜美恵, 高岩成光, 疋田史典, 佐藤雅史, 渡部英之 (¹⁾付属病院放射線科, ²⁾第一病院放射線科): [一般講演] 骨単純X線写真上の normal variant に対する骨シンチグラフィの意義.

第28回日本核医学会総会, 1988.

- 18) 近藤祐一郎¹⁾, 田中薫¹⁾, 関俊男¹⁾, 福永淳, 北浜博之¹⁾, 田島廣之¹⁾, 奥山厚¹⁾ (¹⁾栃木県立がんセンター) : [一般講演] 内視鏡的治療後早期胃癌症例の検討; 治療後の生活常態を中心に. 第47回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 19) 中田薫¹⁾, 関俊夫¹⁾, 近藤祐一郎¹⁾, 北浜博之¹⁾, 田島廣之¹⁾, 福永淳, 奥山厚¹⁾, 笹川道三¹⁾, 井村穰二¹⁾, 鈴木恵子¹⁾, 島村香也子¹⁾ (¹⁾栃木県立がんセンター) : [一般講演] 11年の経過の後に内視鏡的に切除し得た十二指腸カルチノイドの1例. 第47回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 20) 佐藤雅史, 鍛喜美恵, 篠原義智, 藤井裕介¹⁾ (¹⁾第二病院内科) : [一般講演] 宮崎肺吸虫症の2例. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 21) 坂充¹⁾, 田中薫¹⁾, 関俊夫¹⁾, 北浜博之¹⁾, 奥山厚¹⁾, 田島廣之¹⁾, 福永淳, 笹川道三¹⁾, 関口忠司¹⁾, 尾形佳郎¹⁾, 鈴木恵子¹⁾, 島村香也子¹⁾ (¹⁾栃木県立がんセンター) : [一般講演] 胃扁平上皮癌の1例, 第9回栃木県消化器内視鏡懇話会, 1989.

[多摩永山病院放射線科]

研究概要

- 1) 多摩永山病院救命救急センターとの共同で, 胸部鈍的外傷のCT所見の検討を試みた.
- 2) 栃木県立がんセンターにおける医用画像ファイリングシステムの作成に参画した.
- 3) 細気管支肺胞上皮癌の発育進展様式を当院外科および病理部との共同研究で, X線学的, 病理組織学的に検討を続けている.
- 4) 高濃度硫酸バリウムによる上部消化管造影の有用性につき報告した.

研究業績

論文

- 1) Tajima, H., Kumazaki, T., Tajima, N. and Ebata, K. : [原著] Effect of iohexol and diatrizoate on pulmonary arterial pressure following pulmonary angiography. Acta Radiol, **29**, 487~490, 1988.

学会発表

- 1) 高橋政之, 田島なつき, 有竹澄江, 山本鼎, 塩田吉宣¹⁾, 谷口善郎¹⁾, 安東俊明¹⁾, 和田英理¹⁾, 小田彰¹⁾ (¹⁾多摩永山病院救命救急センター) : [一般講演] 肺外傷のCT. 第2回日本外傷研究会, 1988.
- 2) 田島なつき : [海外留学学者講演] 高濃度硫酸バリウムによる上部消化管造影. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 3) 福永淳¹⁾, 奥山厚¹⁾, 田島廣之¹⁾, 北浜博之¹⁾, 笹川道三¹⁾, 本多一義²⁾, 孫田誠三 (¹⁾栃木県立がんセンター画像診断部, ²⁾付属病院放射線科) : [一般講演] 肝腫瘍に対する angiographic CT の有用性について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 4) 田島廣之¹⁾, 奥山厚¹⁾, 福永淳¹⁾, 北浜博之¹⁾, 笹川道三¹⁾, 本多一義²⁾, 孫田誠三 (¹⁾栃木県立がんセンター画像診断部, ²⁾付属病院放射線科) : [展示] 集学的診断・治療カンファレンスにおける医用画像ファイリングシステム. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 5) 和田英理¹⁾, 吉岡正智¹⁾, 田中洋介¹⁾, 山田和人¹⁾, 樋口勝美¹⁾, 塩田智彦¹⁾, 山田智彦¹⁾, 谷口善郎¹⁾, 増森興治¹⁾, 高田月彦¹⁾, 小田彰²⁾, 山本鼎, 孫田誠三, 有竹澄江, 田島なつき, 前田昭太郎³⁾, 恩田昌彦⁴⁾, 長沢紘一⁵⁾, 針谷吉人⁵⁾, 大津文雄⁵⁾, 渡部眞理⁵⁾ (¹⁾多摩永山病院外科, ²⁾同救命救急センター, ³⁾同病理検査室, ⁴⁾第1外科, ⁵⁾多

摩永山病院内科)：〔展示〕二次陰影を伴う小結節型肺胞上皮癌の1切除例。第56回日本医科大学医学会総会，1988.

6) 杉山佳世子¹⁾，前田昭太郎¹⁾，大塚俊司¹⁾，東敬子¹⁾，奥田朗夫¹⁾，哲翁弥生²⁾，今泉孝敬²⁾，山本鼎，大竹清子³⁾ (¹⁾多摩永山病院病理，²⁾同内科，³⁾第2病理)：〔一般講演〕アミラーゼ産生性若年型肺癌の一例。第27回日本臨床細胞学会秋期大会，1988.

7) 哲翁弥生¹⁾，内田高浩¹⁾，今泉孝敬¹⁾，鈴木健¹⁾，大津文雄¹⁾，針谷吉人¹⁾，長沢紘一¹⁾，山本鼎，前田昭太郎²⁾，奥村英正³⁾ (¹⁾多摩永山病院内科，²⁾同病理部，³⁾第1内科)：〔一般講演〕若年発症アミラーゼ産生肺癌の一例。第380回日本内科学会関東地方，1989.

7. 皮膚科学講座

[付属病院皮膚科]

研究概要

- 1) 薬疹, 接触皮膚炎: 貼付搔破試験, 皮内反応, challenge test等による原因の確認とアレルギーカードの発行.
- 2) 膠原病, 特に皮膚筋炎の診断: Jo-1抗体と呼吸器症状の相関.
- 3) 皮膚細菌感染症: 分離細菌および薬剤感受性の統計.
- 4) 皮膚結核の診断, 治療および臨床統計.
- 5) 梅毒の診断, 治療および統計に関する研究: 分画 TPHA を指標とする治療効果の判定.
- 6) 皮膚腫瘍の臨床診断および病理学的研究: 特に電顕, 酵素抗体法を用いた研究.

[付属病院形成外科]

研究概要

- 1) secondary flap について日本形成外科学会でセミナーとして指名報告.
- 2) cervicoscapular flap の開発.
- 3) distally based island calf f-c flap の開発.
- 4) monopedicled venous flap の解析.
- 5) wire frame 固定法の応用の拡大.
- 6) 形成外科領域への computer の導入, すなわち3-D CT と有限要素法による皮弁の解析.

[第一病院皮膚科]

研究概要

- 1) 皮膚腫瘍の発生および診断に関する研究.
- 2) 組織内スピロヘータの証明に関する研究.
- 3) 皮膚疾患に対するサーモグラフィーの応用.
- 4) 各種皮膚疾患における細胞性免疫の基礎的研究, 特に NK, LAK の動態について.

[第二病院皮膚科]

研究概要

- 1) 接触皮膚炎, 薬疹: patch scratch test, challenge test によるアレルギー物質の検索と統計的解析. アレルギーカードを発行し再発を予防している.
- 2) 皮膚腫瘍の臨床診断, 病理組織学的検索, 形成外科的治療.
- 3) 梅毒の診断, 治療と分画 TPHA 推移の相関, 統計.
- 4) 皮膚細菌感染症, 真菌症の菌分離と同定および統計. 薬剤感受性の統計的解析.

[付属病院皮膚科]

研究業績

論文

- 1) 本田光芳：〔総論〕序説（特集：かぶれ—接触皮膚炎）. 皮膚臨床, 30, 711～719, 1988.
- 2) 青木見佳子, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳：〔原著〕皮膚疾患合併妊娠の薬物治療（特集：合併症妊娠の薬物治療）. 周産期医, 18, 1011～1014, 1988.
- 3) 松村英子, 本田光芳：〔原著〕はきものによって起こる障害の予防と治療；皮膚障害（特集：はきものと健康）. 保健の科学, 30, 580～583, 1988.
- 4) 原田昭太郎¹⁾, 相馬良直¹⁾, 石原勝²⁾, 伊藤正俊²⁾, 木下三和子²⁾, 本田光芳, 加藤さき子, 紫芝敬子³⁾, 葛西庸子³⁾, 岩崎由雄⁴⁾（¹⁾関東通信病院皮膚科, ²⁾東邦大大森病院皮膚科, ³⁾佼成会病院皮膚科, ⁴⁾東大分院薬剤部）：〔原著〕DD-115（0.025%酢酸デキサメタゾン・クリーム）の湿疹・皮膚炎群に対する左右比較試験による有用性の検討. 臨医薬, 4, 1257～1265, 1988.
- 5) 佐々木映子, 本田光芳：〔原著〕偽化粧品皮膚炎, 香粧会誌, 12, 102～106, 1988.
- 6) 服部怜美¹⁾, 三枝由紀子¹⁾, 佐藤元泰¹⁾, 川並汪一²⁾, 青木見佳子（¹⁾第二病院皮膚科, ²⁾同病理部）：〔原著〕Gabexate Mesilate（FOY）による Eosinophilic Panniculitis. 日本皮膚病理組織研究会誌, 4, 12～15, 1988.
- 7) 佐々部真琴, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳：〔原著〕101毛髪再生精による接触皮膚炎. 皮膚診療, 10, 833～836, 1988.
- 8) 佐藤光治, 佐々木映子, 石永三千, 矢島純, 畑三恵子, 服部怜美¹⁾, 本田光芳, 上田洋一²⁾, 清野精彦²⁾（¹⁾第二病院皮膚科, ²⁾第1内科）：〔原著〕結節性紅斑型薬疹の2例（特集：薬疹）. 皮膚臨床, 30, 1399～1401, 1988.
- 9) 伊藤由美, 青木見佳子, 本田光芳：〔原著〕妊娠時の発疹. 産婦の実際, 37, 1700～1703, 1988.
- 10) 佐藤光治, 青木見佳子, 畑三恵子, 矢島純, 服部怜美¹⁾, 本田光芳（¹⁾第二病院皮膚科）：〔症例〕ピアス型イヤリングによる Epidermal Cyst の1例. 皮膚臨床, 30, 1567～1570, 1988.
- 11) 山本一哉¹⁾, 佐々木りか子¹⁾, 深田栄俊²⁾, 高橋夫紀子³⁾, 佐藤元泰⁴⁾, 服部怜美⁴⁾, 本田光芳, 小川暢也⁵⁾（¹⁾国立小児病院皮膚科, ²⁾埼玉県立小児医療センター皮膚科, ³⁾静岡県立こども病院皮膚科, ⁴⁾第二病院皮膚科, ⁵⁾愛媛大薬理学）：〔治療〕酪酸クロベタゾンの小児アトピー性皮膚炎に対する臨床効果；共同試験二重盲検法による再燃抑制効果の検討. 日小皮会誌, 7, 143～150, 1988.
- 12) 白井洋司¹⁾, 吉田秀也¹⁾, 梅田敏彦¹⁾, 塩塚正純¹⁾, 大久保正智¹⁾, 百束比古¹⁾, 石井和博¹⁾, 文入正敏¹⁾, 本田光芳, 服部怜美²⁾（¹⁾形成外科, ²⁾第二病院皮膚科）：〔原著〕2種類の前額皮弁により鼻の再建を施行した Squamous cell carcinoma の2症例. Skin Cancer, 3, 152～156, 1988.
- 13) 滝沢康¹⁾, 百束比古¹⁾, 白井洋司¹⁾, 文入正敏¹⁾, 本田光芳, 中山恵二²⁾, 久喜邦康³⁾（¹⁾形成外科, ²⁾第一病院皮膚科, ³⁾第2病理）：〔報告〕面皰母斑の1例. 形成外科, 32, 67～72, 1988.
- 14) 矢島純, 曾我早奈絵, 本田光芳：〔原著〕小児における接触皮膚炎；最近のトピックス（特集：小児の皮膚疾患）. 小児科, 30, 15～23, 1989.
- 15) 佐々部真琴, 江川ゆり, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳：〔症例〕イブプロフェンピコノールによるアレルギー性接触皮膚炎. 皮膚臨床, 31, 243～247, 1989.
- 16) 佐々木映子, 石永三千, 本田光芳：〔原著〕ステロイド剤（特集：老年人治療に役立つ最近の薬剤 II）. Geriat. Med., 27, 173～177, 1989.
- 17) 青木見佳子, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳, 伊藤博元¹⁾, 恵畑欣一²⁾, 森園徹志³⁾, 柴原正明⁴⁾, 杉山千代志⁵⁾（¹⁾整形外科, ²⁾放射線科, ³⁾耳鼻咽喉科, ⁴⁾東京都, ⁵⁾結核研究所）：〔症例報告〕皮膚腺病の4例；高齢者と若年者例. 臨皮, 43, 303～307, 1989.

- 18) 本田光芳, 矢島純, 畑三恵子, 佐々部真琴, 田宮由美子: [原著] LOC-5軟膏およびクリーム of 臨床使用経験. 薬理と治療, 17, 1051~1063, 1989.

著 書

- 1) 佐々木映子, 本田光芳: [分担] 皮膚結核. “皮膚疾患最新の治療 '89~'90 Biennial” (西山茂夫, 島雄周平, 堀嘉昭編), p. 172~173, 南江堂, 1989.

学会発表

- 1) 青木見佳子, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳, 紫原正明¹⁾, 杉山千代志²⁾ (¹⁾東京都, ²⁾結研): [一般講演] 皮膚腺病の1例. 第87回日本皮膚科学会総会学術大会, 1988.
- 2) 佐藤元泰¹⁾, 三枝由紀子¹⁾, 飯泉陽子¹⁾, 服部怜美¹⁾, 青木見佳子, 本田光芳, 森山マサミ²⁾ (¹⁾第二病院皮膚科, ²⁾神奈川県): [展示] 下口唇に生じた基底細胞癌の1例. 第87回日本皮膚科学会総会学術大会, 1988.
- 3) 佐々部真琴, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳, [一般講演] 101毛髪再生精による接触皮膚炎. 日本皮膚科学会第647回東京地方会, 1988.
- 4) 伊藤由美, 青木見佳子, 佐々木映子, 畑三恵子, 本田光芳, 滝沢康¹⁾, 百束比古¹⁾ (¹⁾形成外科): [一般講演] 悪性線維性組織球腫の1例. 第4回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1988.
- 5) 矢島純, 青木見佳子, 佐々木映子, 石永三千, 佐藤元泰¹⁾, 畑三恵子, 服部怜美¹⁾, 本田光芳 (¹⁾第二病院皮膚科): [一般講演] 小児の接触皮膚炎, 第12回日本小児皮膚科学会学術大会, 1988.
- 6) 江川ゆり, 青木見佳子, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳, 大原正雄¹⁾, 原眞¹⁾, 秋元成太¹⁾, 宮下次廣²⁾, 恵畑欣一²⁾ (¹⁾泌尿器科, ²⁾放射線科): [一般講演] Lymphorrhoea scroti (陰囊部リンパ液漏出症). 日本皮膚科学会第648回東京地方会, 1988.
- 7) 佐々部真琴, 江川ゆり, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳: [一般講演] イブプロフェンビコノールによるアレルギー性接触皮膚炎. 第18回抗原研究会, 1988.
- 8) 江川ゆり, 伊藤由美, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳: [一般講演] 吉草酸ベタメタゾンによるアレルギー性接触皮膚炎. 第18回抗原研究会, 1988.
- 9) 田宮由美子, 松村英子, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳, 清水衛¹⁾ (¹⁾東京都): [一般講演] 硝酸スルコナゾール, 硫酸ストレプトマイシン, 吉草酸酢酸プレドニゾロンによるアレルギー性接触皮膚炎. 第18回抗原研究会, 1988.
- 10) 原眞¹⁾, 大原正雄¹⁾, 秋元成太¹⁾, 江川ゆり, 畑三恵子, 矢島純 (¹⁾泌尿器科): [一般講演] 陰囊部リンパ液漏出症の1例. 日本泌尿器科学会第457回東京地方会, 1988.
- 11) 服部怜美¹⁾, 三枝由紀子¹⁾, 佐藤元泰¹⁾, 川並汪一²⁾, 青木見佳子 (¹⁾第二病院皮膚科, ²⁾第二病院病理部): [一般講演] Gabexate Mesilate (FOY) による Eosinophilic Panniculitis. 第4回日本皮膚病理組織研究会, 1988.
- 12) 白井洋司¹⁾, 梅田敏彦¹⁾, 百束比古¹⁾, 文入正敏¹⁾, 本田光芳, 青木見佳子 (¹⁾形成外科): [一般講演] 腋窩 Paget 病の1例. 第141回日本形成外科学会東京地方会, 1988.
- 13) 秋元正宇¹⁾, 百束比古¹⁾, 白井洋司¹⁾, 文入正敏¹⁾, 中山恵二²⁾, 青木見佳子 (¹⁾形成外科, ²⁾第一病院皮膚科): [一般講演] 顔面に発生した Malignant trichilemmoma の1例. 第142回日本形成外科学会東京地方会, 1988.
- 14) 佐々部真琴, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳: [一般講演] 101毛髪再生精による接触皮膚炎. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 15) 藤本和久, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳, 三枝由紀子¹⁾, 佐藤元泰¹⁾, 服部怜美¹⁾ (¹⁾第二病院皮膚科): [展示] 膿痂疹の分離細菌, 薬剤感受性について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.

- 16) 江川ゆり, 伊藤由美, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳:〔展示〕吉草酸ベタメタゾン (リンドロン VG 軟膏[®]) によるアレルギー性接触皮膚炎. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 17) 田宮由美子, 松村英子, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳:〔展示〕リドメックス[®], グラマイシン[®], エクセルゲーム[®] によるアレルギー性接触皮膚炎. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 18) 三枝由紀子¹⁾, 石井正志¹⁾, 佐藤元泰¹⁾, 服部怜美¹⁾, 本田光芳 (¹第二病院皮膚科):〔展示〕日本医科大学第二病院皮膚科における顕性梅毒の統計. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 19) 本田光芳:〔ワークショップ〕毛髪洗浄剤 (テーマ:洗浄剤の安全性). 皮膚薬物生理学会第1回フォーラム, 1988.
- 20) 松村英子, 佐々部真琴, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳:〔一般講演〕非ステロイド系抗炎症外用剤によるアレルギー性接触皮膚炎. 第52回日本皮膚科学会東日本学術大会, 1988.
- 21) 服部怜美¹⁾, 三枝由紀子¹⁾, 佐藤元泰¹⁾, 佐藤光治, 青木見佳子 (¹第二病院皮膚科):〔展示〕静注した薬剤により生じたとおもわれる Eosinophilic granuloma. 第52回日本皮膚科学会東日本学術大会, 1988.
- 22) 白井洋司¹⁾, 百束比古¹⁾, 大久保正智¹⁾, 塩塚正純¹⁾, 文入正敏¹⁾, 服部怜美²⁾, 本田光芳 (¹形成外科, ²第二病院皮膚科):〔一般講演〕最近経験した尋常性狼瘡による顔面組織欠損の2再建例. 第143回日本形成外科学会東京地方会, 1988.
- 23) 伊藤由美, 新谷真理子, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳:〔一般講演〕多種のステロイド外用剤に感作された1例. 日本皮膚科学会第651回東京地方会, 1988.
- 24) 田宮由美子, 青木見佳子, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳:〔一般講演〕放射線照射後に生じた基底細胞癌. 日本皮膚科学会第651回東京地方会, 1988.
- 25) 尾見徳弥, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳:〔一般講演〕ベンジルアルコールによるアレルギー性接触皮膚炎の1例. 日本皮膚科学会第651回東京地方会, 1988.
- 26) 北原東一, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳, 小林博和¹⁾ (¹眼科):〔一般講演〕塩酸ベツノロール点眼液による接触皮膚炎の2例. 日本皮膚科学会第651回東京地方会, 1988.
- 27) 林みき, 青木見佳子, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳:〔一般講演〕砒素が関連したと思われる多発性基底細胞癌の1例. 日本皮膚科学会第651回東京地方会, 1988.
- 28) 青木律¹⁾, 百束比古¹⁾, 白井洋司¹⁾, 秋元正宇¹⁾, 文入正敏¹⁾, 本田光芳 (¹形成外科):〔一般講演〕全眼瞼外反をきたした先天性魚鱗癬の1例. 第145回日本形成外科学会東京地方会, 1989.
- 29) 青木見佳子, 佐々部真琴, 矢島純, 本田光芳, 立川裕理¹⁾, 横山宗伯²⁾, 川並汪一³⁾ (¹第3内科, ²第2病理, ³第二病院病理部):〔一般講演〕間質性肺炎にて死亡した皮膚筋炎の2例. 日本皮膚科学会第654回合同臨床東京地方会, 1989.

[付属病院形成外科]

研究業績

論文

- 1) 白井洋司, 吉田秀也, 梅田敏彦, 塩塚正純, 大久保正智, 百束比古, 石井和博, 文入正敏, 本田光芳¹⁾, 服部怜美²⁾ (¹付属病院皮膚科, ²第二病院皮膚科):〔原著〕2種類の前額皮弁により鼻の再建を施行した Squamous cell carcinoma の2症例. Skin Cancer, 3, 152~156, 1988.
- 2) 百束比古, 大久保正智, 秋元正宇, 滝沢康, 文入正敏, 矢嶋浩三¹⁾, 玉井仁²⁾, 恵畑欣一²⁾ (¹付属病院脳神経外科, ²同放射線科):〔原著〕Vascularized outer-table calvarial bone flap による前頭骨再建の経験. 手術, 42, 995~999, 1988.

- 3) 秋元正宇：〔原著〕有限要素法による局所皮弁の解析．第1報 60度Z形成術，90度Z形成術および正方弁法の2次元解析．日形成外会誌，8，567～573，1988.
- 4) 平井隆，百束比古，文入正敏：〔原著〕ワイヤーフレーム外固定法を用いた植皮法の経験．形成外科，31，923～928，1988.
- 5) 滝沢康，百束比古，白井洋司，文入正敏，本田光芳¹⁾，中山恵二²⁾，久喜邦康³⁾（¹⁾付属病院皮膚科，²⁾第一病院皮膚科，³⁾第2病理）：〔報告〕面皰母斑の1例．形成外科，32，67～72，1988.
- 6) 梅田敏彦，平井隆，百束比古，文入正敏，中山恵二¹⁾（¹⁾第一病院皮膚科）：〔報告〕潰瘍を呈した隆起性皮膚線維肉腫の1例．形成外科，32，181～185，1988.
- 7) 百束比古，文入正敏：〔原著〕腋窩部熱傷瘢痕拘縮の形成手術について．熱傷，15，35～41，1989.
- 8) 玉井仁¹⁾，秋元正宇，（¹⁾付属病院放射線科）：〔原著〕われわれの開発したパーソナルコンピュータによるCT 3次元表示システムの頭部顔面への利用；パソコンによる3D-CT．形成外科，32，395～399，1989.
- 9) 大久保正智，百束比古，文入正敏：〔原著〕U-osfeofomyの経験．形成外科，32，401～405，1989.

著 書

- 1) Hyakusoku, H. and Fumiiri, M.：〔分担〕The square flap method. "Year Book of Plastic and Reconstructive Surgery 1988", p. 225～226, Year Book Medical Publishers, Chicago, London, Boca Raton, 1988.

学会発表

- 1) 百束比古：〔セミナー〕Secondary flapの歴史とその可能性．第31回日本形成外科学会総会，1988.
- 2) 百束比古，文入正敏：〔一般講演〕耳介の術後ケロイド発生について．第31回日本形成外科学会総会，1988.
- 3) 吉田秀也，百束比古，大久保正智，梅田敏彦，文入正敏，伊藤博信¹⁾，田沼久美子¹⁾（¹⁾第2解剖）：〔一般講演〕Cervicodorsal fasciocutaneous flapによる頭頸部および腋窩の再建．第31回日本形成外科学会総会，1988.
- 4) 百束比古，吉田秀也，平井隆，滝沢康，文入正敏：〔一般講演〕Cervicoscaphular fasciocutaneous flap（仮称）による頸部瘢痕拘縮の形成．第31回日本形成外科学会総会，1988.
- 5) 滝沢康，百束比古，平井隆，梅田敏彦，文入正敏，石井和博¹⁾（¹⁾大浜第一病院形成外科）：〔一般講演〕Cross-leg fasciocutaneous flaps．第31回日本形成外科学会総会，1988.
- 6) 大久保正智，百束比古，文入正敏，矢嶋浩三¹⁾（¹⁾付属病院脳神経外科）：〔一般講演〕前額部陥没の再建；特にCalvarial bone flapの優位性について．第31回日本形成外科学会総会，1988.
- 7) 平井隆，百束比古，文入正敏，〔展示〕植皮におけるワイヤーフレーム外固定法．第31回日本形成外科学会総会，1988.
- 8) 平井隆，百束比古，文入正敏，千場信之¹⁾（¹⁾日本電気ソフトウェア）：〔展示〕コンピュータを用いた局所皮弁の三次元的解析；局所皮弁立体ペーパーモデル．第31回日本形成外科学会総会，1988.
- 9) 秋元正宇，百束比古，平井隆，文入正敏：〔展示〕コンピュータを用いた有限要素法による局所皮弁の解析（第1報）．第31回日本形成外科学会総会，1988.
- 10) 滝沢康，百束比古，大久保正智，文入正敏：〔一般講演〕乳幼児期に受けた広範囲熱傷患児にみられた特記すべき後遺症．第14回日本熱傷学会，1988.
- 11) 百束比古，大久保正智，文入正敏：〔一般講演〕腋窩部熱傷瘢痕拘縮の再建．第14回日本熱傷学会，1988.
- 12) 吉田秀也，百束比古，大久保正智，秋元正宇，滝沢康，文入正敏：〔一般講演〕Superficial cervical arteryを基に含む筋膜皮弁による熱傷・瘢痕拘縮の再建．第14回日本熱傷学会，1988.
- 13) 百束比古，大久保正智：〔パネルディスカッション〕顔面熱傷における植皮術の問題点．第14回日本熱傷学会，

1988.

- 14) 大久保正智, 滝沢康, 秋元正宇, 吉田秀也, 平井隆, 梅田敏彦, 塩塚正純, 白井洋司, 百束比古, 文入正敏: [一般講演] 骨露出を伴う広範囲熱傷・電撃傷の再建. 第14回日本熱傷学会, 1988.
- 15) 吉田秀也, 百束比古, 白井洋司, 文入正敏, 中山恵二¹⁾ (¹⁾第一病院皮膚科): [一般講演] 有棘細胞癌を合併した多発性ボーエン病の一症例. 第4回日本皮膚悪性腫瘍学会, 1988.
- 16) 伊藤由美¹⁾, 青木見佳子¹⁾, 佐々木映子¹⁾, 畑三恵子¹⁾, 本田光芳¹⁾, 滝沢康, 百束比古 (¹⁾付属病院皮膚科): [一般講演] 悪性線維性組織球腫の一例. 第4回日本皮膚悪性腫瘍学会, 1988.
- 17) 秋元正宇, 百束比古, 梅田敏彦, 大久保正智, 滝沢康, 文入正敏, 玉井仁¹⁾, 恵畑欣一¹⁾ (¹⁾付属病院放射線科): [一般講演] われわれの開発したパーソナルコンピュータによる簡便な3-D CTについて. 第140回日本形成外科学会東京地方会, 1988.
- 18) 吉田秀也, 百束比古, 白井洋司, 大久保正智, 秋元正宇, 滝沢康, 文入正敏: [一般講演] Bi-pedicled island SEPA flap による陰囊再建. 第140回日本形成外科学会東京地方会, 1988.
- 19) 白井洋司, 梅田敏彦, 百束比古, 文入正敏, 本田光芳¹⁾, 青木見佳子¹⁾ (¹⁾付属病院皮膚科): [一般講演] 腋窩 Paget 病の1例. 第141回日本形成外科学会東京地方会, 1988.
- 20) 秋元正宇, 百束比古, 白井洋司, 文入正敏, 中山恵二¹⁾, 青木見佳子²⁾ (¹⁾第一病院皮膚科, ²⁾第二病院皮膚科): [一般講演] 顔面に発生した Malignant trichilemmoma の1例. 第142回日本形成外科学会東京地方会, 1988.
- 21) 簡野晃次, 百束比古, 白井洋司, 大久保正智, 塩塚正純, 梅田敏彦, 平井隆, 吉田秀也, 秋元正宇, 滝沢康, 青木律, 利根川均, 三橋清, 文入正敏: [展示] カニキチン膜 (ベスキチンW[®]) による採皮創被覆効果について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 22) 滝沢康, 秋元正宇, 百束比古, 文入正敏, 玉井仁¹⁾, 恵畑欣一¹⁾ (¹⁾付属病院放射線科): [展示] パーソナルコンピュータによる3-D CTの形成外科領域への応用. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 23) 秋元正宇, 百束比古, 文入正敏: [展示] Z形成術と正方弁法のコンピュータを用いた有限要素法による解析. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 24) 平井隆, 百束比古, 文入正敏: [展示] 正方弁法のコンピュータによる3次元解析. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 25) 玉井仁¹⁾, 坂本光史¹⁾, 赤沼弘勝¹⁾, 宮下次廣¹⁾, 月岡健雄¹⁾, 渡潤¹⁾, 本多一義¹⁾, 隈崎達夫¹⁾, 恵畑欣一¹⁾, 秋元正宇, 百束比古 (¹⁾付属病院放射線科): [展示] パーソナルコンピュータによるCT三次元表示システム; フレームパッファを用いて. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 26) 滝沢康, 百束比古, 白井洋司, 大久保正智, 秋元正宇, 文入正敏: [一般講演] 最近の下腿および足部の再建法について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 27) 白井洋司, 塩塚正純, 大久保正智, 文入正敏: [一般講演] 尋常性狼瘡の外鼻再建例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 28) 文入正敏, 百束比古, 大久保正智, 白井洋司: [展示] 両側唇裂の鼻変形の形成手術. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 29) 大久保正智, 百束比古, 吉田秀也, 文入正敏: [展示] Reduction mammoplasty (乳房縮小術). 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 30) 百束比古, 白井洋司, 大久保正智, 塩塚正純, 梅田敏彦, 文入正敏, 五味淵誠¹⁾, 浅野哲雄¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 久吉隆郎²⁾, 平井真実²⁾, 三樹勝²⁾ (¹⁾胸部外科, ²⁾第二病院外科): [展示] 胸壁再建術; 皮弁の選択について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 31) 難波亨¹⁾, 久吉隆郎¹⁾, 平田正信¹⁾, 赤岩順¹⁾, 天野純治¹⁾, 三樹勝¹⁾, 百束比古, 白井洋司, 大久保正智, 文入正敏,

- 三神寛²⁾ (¹⁾第二病院外科, ²⁾第一病院皮膚科) : [展示] 胸壁悪性腫瘍の切除例の検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 32) 吉田秀也¹⁾, 百束比古, 秋元正宇, 文入正敏, 沼尻秀章²⁾ (¹⁾総合会津中央病院形成外科, ²⁾船橋病院整形外科) : [一般講演] SEPA flap とその応用. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 33) 滝沢康, 秋元正宇, 大久保正智, 百束比古, 文入正敏 : [一般講演] Vascularized calvarial bone flap のパソコンを用いた3-D CTによる評価. 第23回日本形成外科学会中部地方会総会, 1988.
- 34) 白井洋司, 百束比古, 大久保正智, 塩塚正純, 文入正敏, 服部怜美¹⁾, 本田光芳²⁾ (¹⁾第二病院皮膚科, ²⁾付属病院皮膚科) : [一般講演] 最近経験した尋常性狼瘡による顔面組織欠損の2再建例. 第143回日本形成外科学会東京地方会, 1988.
- 35) 秋元正宇, 百束比古 : [一般講演] Reversed flow island lateral supramalleolar flap の経験. 第142回日本形成外科学会東京地方会, 1988.
- 36) Akimoto, M., Hyakusoku, H, and Fumiiri, M. : [一般講演] Computer analysis of the square flap method. 1st International Conference of Aesthetic Plastic Surgery for Orientals (Tokyo), 1988.
- 37) 大久保正智, 滝沢康, 百束比古, 文入正敏 : [一般講演] 自己注入された陰茎異物の1例. 第11回日本美容外科学会総会, 1988.
- 38) 百束比古, 大久保正智, 白井洋司, 文入正敏 : [一般講演] 当科を受診した美容外科手術後遺症の検討. 第11回日本美容外科学会総会, 1988.
- 39) 白井洋司, 百束比古, 文入正敏 : [一般講演] Secondary island graft-flap による眼瞼再建例. 第11回日本美容外科学会総会, 1988.
- 40) 秋元正宇, 大久保正智, 百束比古, 文入正敏, 玉井仁¹⁾ (¹⁾付属病院放射線科) : [一般講演] われわれの開発したパーソナルコンピュータによる3-D CT システムについて. 第6回日本頭蓋顎顔面外科学会, 1988.
- 41) 百束比古, 白井洋司, 秋元正宇, 滝沢康, 文入正敏, 久吉隆郎¹⁾ (¹⁾第二病院外科) : [一般講演] Distally based island calf fasciocutaneous flap の経験. 第144回日本形成外科学会東京地方会, 1988.
- 42) 大久保正智, 百束比古, 文入正敏 : [一般講演] 乳癌を合併した乳房異物の1例. 日本美容外科学会第43回学術集会, 1989.
- 43) 青木律, 百束比古, 白井洋司, 秋元正宇, 文入正敏, 本田光芳¹⁾ (¹⁾付属病院皮膚科) : [一般講演] 全眼瞼外反をきたした先天性魚鱗癬の1例. 第145回日本形成外科学会東京地方会, 1989.
- 44) 百束比古, 滝沢康, 文入正敏, 吉田秀也¹⁾ (¹⁾総合会津中央病院形成外科) : [一般講演] 腓腹下部に作成したdistally based skin island flap による踵部再建の2例. 第146回日本形成外科学会東京地方会, 1989.
- 45) 滝沢康, 百束比古, 白井洋司, 秋元正宇, 文入正敏 : [一般講演] Monopedicled cephalic venous flap による電撃傷再建の経験. 第146回日本形成外科学会東京地方会, 1989.
- 46) 秋元正宇¹⁾, 百束比古, 梅田敏彦, 滝沢康, 文入正敏 (¹⁾総合会津中央病院形成外科) : [一般講演] Expanded median forehead flap を用いた熱傷外鼻再建の経験. 第146回日本形成外科学会東京地方会, 1989.

[第一病院皮膚科]

研究業績

論文

- 1) 中村進一 : [総説] エジプトにおける小児皮膚科学. J. Pediat. Dermatol., 7, 40, 1988.
- 2) 今井俊哉, 中山恵二, 三神寛, 中村進一, 渋谷哲男¹⁾, 五十嵐文夫²⁾ (¹⁾第2外科, ²⁾健生病院) : [原著] 重複癌の2例. Skin Cancer, 3, 88~91, 1988.

- 3) 中山恵二, 今井俊哉, 金森幸男, 中村進一, 山本泰一¹⁾ (¹⁾老人病研究所) : [原著] 毛細血管拡張性肉芽腫を伴った陰茎悪性黒色腫の1例. *Skin Cancer*, **3**, 168~172, 1988.
- 4) Nakamura, S., Nakayama, K., Imai, T., Ito, F. and Nishihara, K. : [症例報告] Sarcoid reactions in a patient with congenital syphilis. *J. Dermatol. (Tokyo)*, **15**, 188~190, 1988.
- 5) 若松律子, 楠本敬子, 伊東文行, 中村進一 : [図譜] カンジダ症を伴った外陰ジストロフィー. *STD*, **68**, 5~6, 1988.
- 6) 若松律子, 楠本敬子, 伊東文行, 中村進一 : [原著] カンジダ症を伴った外陰ジストロフィー. *STD*, **68**, 14~16, 1988.
- 7) Nakamura, S., Nakayama, K., Ito, F. and Furuya, K. : [原著] Multiple mixed tumor (pleomorphic adenoma) ; A clinico-pathological study. *J. Dermatol. (Tokyo)*, **15**, 268~272, 1988.
- 8) 中村進一 : [総説] 疥癬, その診断と治療. *Med. Pract.*, **5**, 1449, 1988.
- 9) Nakamura, S., Nakayama, K., Hoshi, K. and Onda, S. : [症例報告] A case of steatocystoma simplex on the head. *J. Dermatol. (Tokyo)*, **15**, 347~348, 1988.
- 10) Nakamura, S., Nakayama, K., Imai, T., Ihara, C. and Ootani, A. : [症例報告] Sweet's syndrome in a patient with Basedow's disease. *J. Dermatol. (Tokyo)*, **15**, 451~453, 1988.
- 11) Nakamura, S., Nakayama, K. and Imai, T. : [原著] Incompletely differentiated sebaceous carcinoma ; Light and electron microscopic studies. *J. Clin. Electron Microscopy*, **21**, 385~391, 1988.
- 12) Nakamura, S., Nakayama, K., Nishihara, K., Imai, T. and Kanamori, S.¹⁾ (¹⁾付属病院泌尿器科) : [原著] Primary malignant melanoma of the penis ; A case report and a review of the literature. *J. Dermatol. (Tokyo)*, **16**, 68~72, 1989.
- 13) 西村泰司¹⁾, 寺島保典¹⁾, 金森幸男, 服部智正¹⁾, 秋元成太¹⁾ (¹⁾付属病院泌尿器科) : [原著] 腎細胞癌における tumor-infiltrating lymphocyte のクローニングの試み. *医のあゆみ*, **148**, 121~122, 1989.

著 書

- 1) 宗像醇 : [分担] 新生児のサーモグラフィ. “生理機能画像診断サーモグラフィ” (日本サーモグラフィ学会, 藤正厳編), p. 157~161, 秀潤社, 1988.

学会発表

- 1) 中村進一, 中山恵二 : [一般講演] マダニ刺咬症の1例. 第87回日本皮膚科学会学術大会, 1988.
- 2) 吉田秀也¹⁾, 百束比古¹⁾, 白井洋司¹⁾, 文入正敏¹⁾, 中山恵二 (¹⁾形成外科) : [一般講演] 有棘細胞癌を合併した多発性ボーエン病の一例. 第4回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1988.
- 3) 中山恵二, 今井俊哉, 三神寛, 星健二, 中村進一 : [一般講演] 悪性黒色腫の2剖検例. 第4回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1988.
- 4) 今井俊哉, 中山恵二, 後藤正紀, 中村進一 : [一般講演] 悪性黒色腫を疑わせた頭頂部汗管癌の1例. 第4回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1988.
- 5) Nakamura, S., Nakayama, K., Ito, F. and Furuya, K. : [展示] A case of multiple mixed tumor. 8th Regional Conference of Dermatology (Bali), 1988.
- 6) Imai, T., Nakayama, K. and Nakamura, S. : [展示] Two cases of clear cell hidradenoma. 8th Regional Conference of Dermatology (Bali), 1988.
- 7) 金森幸男, 中山恵二, 中村進一 : [一般講演] Verruciform xanthoma の1例. 第648回日本皮膚科学会東京地方

会, 1988.

- 8) 秋本正宇¹⁾, 百束比古¹⁾, 白井洋司¹⁾, 文入正敏¹⁾, 青木見佳子²⁾, 中山恵二 (¹⁾形成外科, ²⁾第二病院皮膚科) : [一般講演] 顔面に発生した Malignant trichilemmoma の一例. 第142回日本形成外科学会東京地方会, 1988.
- 9) 中山恵二, 星健二, 三神寛, 金森幸男, 中村進一, 飯田和美¹⁾, 石原島繁彦²⁾ (¹⁾ワクチン療法研究施設, ²⁾第2病理) : [展示] Eccrine porocarcinoma の1剖検例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 10) 難波享¹⁾, 久吉隆郎¹⁾, 平田正信¹⁾, 赤岩順¹⁾, 天野純治¹⁾, 三樹勝¹⁾, 百束比古²⁾, 白井洋司²⁾, 大久保正智²⁾, 文入正敏²⁾, 三神寛 (¹⁾第二病院外科, ²⁾形成外科) : [展示] 胸壁悪性腫瘍の切除例の検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 11) 三神寛, 中山恵二, 楠本敬子, 中村進一 : [一般講演] アミロイド苔癬加療中に発症した Hypereosinophilic syndrome の1例. 第52回日本皮膚科学会東日本学術大会, 1988.
- 12) 相良宗徳, 中山恵二, 今井俊哉, 中村進一 : [一般講演] 軀幹に生じた Eccrine poroma の1例. 第650回日本皮膚科学会東京地方会, 1988.
- 13) 島本良子, 三神寛, 中山恵二, 中村進一, 品川千尋¹⁾ (¹⁾武蔵野市) : [一般講演] 口唇部に認められた Verrucous carcinoma の1例. 第650回日本皮膚科学会東京地方会, 1988.
- 14) 今井俊哉, 井上かがね, 中山恵二, 恩田周太郎, 中村進一 : [一般講演] 水疱様外観を呈した石灰化上皮腫の1例. 第651回日本皮膚科学会東京地方会, 1988.
- 15) 西原潔, 星健二, 金森幸男, 三神寛, 恩田周太郎, 中村進一 : [一般講演] 尋常性狼瘡の1例. 第651回日本皮膚科学会東京地方会, 1988.
- 16) 中村進一 : [一般講演] 毛ジラミの光顕および走査電顕像. 日本性感染症学会第1回学術大会, 1988.
- 17) 相良宗徳, 中山恵二, 立原利江子, 中村進一, 片山博徳¹⁾ (¹⁾老人病研究所) : [一般講演] 多彩な皮疹を呈した顕症梅毒の1例. 第654回日本皮膚科学会合同臨床東京地方会, 1989.
- 18) Munakata, A., Nakayama, K. and Nakamura, S. [特別講演] Malignant melanoma in Japan. The 4th Regional Meeting of the Thai College of Surgery (Chiang Mai), 1989.

[第二病院皮膚科]

研究業績

論文

- 1) 服部怜美, 三枝由紀子, 佐藤元泰, 川並汪一¹⁾, 青木見佳子²⁾ (¹⁾第二病院病理部, ²⁾付属病院皮膚科) : [原著] Gabexate Mesilate (FOY) による Eosinophilic panniculitis. 日本皮膚病理組織研究会誌, **4**, 12~15, 1988.
- 2) 佐藤光治¹⁾, 佐々木映子¹⁾, 石永三千¹⁾, 矢島純¹⁾, 畑三恵子¹⁾, 服部怜美, 本田光芳¹⁾, 上田洋一²⁾, 清野精彦 (¹⁾付属病院皮膚科, ²⁾第1内科) : [原著] 結節性紅斑型薬疹. 皮膚臨床, **30**, 1399~1401, 1988.
- 3) 山本一哉¹⁾, 佐々木りか子¹⁾, 深田栄俊²⁾, 高橋夫紀子³⁾, 佐藤元泰, 服部怜美, 本田光芳⁴⁾, 小川暢也⁵⁾ (¹⁾国立小児病院, ²⁾埼玉県立小児医療センター, ³⁾静岡県立こども病院, ⁴⁾付属病院皮膚科, ⁵⁾愛媛大学) : [原著] 酪酸クロベタゾンの小児アトピー性皮膚炎に対する臨床効果; 共同試験二重盲検法による再燃抑制効果の検討. 日小皮会誌, **7**, 143~150, 1988.
- 4) 佐藤光治¹⁾, 青木見佳子¹⁾, 畑三恵子¹⁾, 矢島純¹⁾, 服部怜美, 本田光芳¹⁾ (¹⁾付属病院皮膚科) : [原著] ピアス型イヤリングによる Epidermal cyst の1例. 皮膚臨床, **30**, 1567~1570, 1988.
- 5) 佐藤元泰 : [原著] 水銀剤と消毒剤のパッチテストおよび水銀皮膚炎の臨床像について. 日皮会誌, **99**, 15~23, 1989.

学会発表

- 1) 佐藤元泰, 三枝由紀子, 飯泉陽子, 服部怜美, 青木見佳子¹⁾, 本田光芳¹⁾, 森山マサミ²⁾ (¹⁾付属病院皮膚科, ²⁾横浜市): [展示] 下口唇に生じた基底細胞癌の1例. 第87回日本皮膚科学会学術大会, 1988.
- 2) 矢島純¹⁾, 青木見佳子¹⁾, 佐々木映子¹⁾, 石永三千¹⁾, 佐藤元泰, 畑三恵子¹⁾, 服部怜美, 本田光芳¹⁾ (¹⁾付属病院皮膚科): [一般講演] 小児の接触皮膚炎. 第12回日本小児皮膚科学会学術大会, 1988.
- 3) 服部怜美, 三枝由紀子, 佐藤元泰, 川並汪一¹⁾, 青木見佳子²⁾ (¹⁾第二病院病理部, ²⁾付属病院皮膚科): [一般講演] Gabexate Mesilate (FOY) による Eosinophilic panniculitis. 第4回日本皮膚病理組織研究会, 1988.
- 4) 藤本和久¹⁾, 畑三恵子¹⁾, 矢島純¹⁾, 本田光芳¹⁾, 三枝由紀子, 佐藤元泰, 服部怜美 (¹⁾付属病院皮膚科): [展示] 膿痂疹の分離細菌, 薬剤感受性について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 5) 三枝由紀子, 石井正志, 佐藤元泰, 服部怜美, 本田光芳¹⁾ (¹⁾付属病院皮膚科): [展示] 日本医科大学付属第二病院皮膚科における顕症梅毒の統計. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 6) 佐藤元泰, 三枝由紀子, 服部怜美, 関純一¹⁾, 原文夫¹⁾, 川並汪一²⁾ (¹⁾第二病院内科, ²⁾同病理部): [一般講演] 結腸癌を合併した皮膚筋炎の1例. 第52回日本皮膚科学会東日本学術大会, 1988.
- 7) 服部怜美, 三枝由紀子, 佐藤元泰, 佐藤光治¹⁾, 青木見佳子¹⁾ (¹⁾付属病院皮膚科): [展示] 点滴静注薬剤 Gabexate Mesilate (FOY) により生じた Eosinophilic panniculitis. 第52回日本皮膚科学会東日本学術大会, 1988.
- 8) 白井洋司¹⁾, 百束比古¹⁾, 大久保正智¹⁾, 塩塚正純¹⁾, 文入正敏¹⁾, 服部怜美, 本田光芳²⁾ (¹⁾付属病院形成外科, ²⁾同皮膚科): [一般講演] 最近経験した尋常性狼瘡による顔面組織欠損の2再建例. 第143回日本形成外科学会東京地方会, 1988.
- 9) 三枝由紀子, 石井正志, 佐藤元泰, 服部怜美: [一般講演] Eccrine poroma の2例. 日本皮膚科学会第653回東京地方会, 1989.
- 10) 三枝由紀子, 佐藤元泰, 服部怜美, 石井正志: [一般講演] 臍部に転移した胃癌の1例. 日本皮膚科学会第654回東京地方会, 1989.

8. 臨床病理学講座

[付属病院臨床病理科]

研究概要

臨床病理学教室では肺癌を中心とした悪性腫瘍の免疫、化学療法の基礎的ならびに臨床的研究および基礎腫瘍学、特に腫瘍免疫、転移の mechanism、癌遺伝子を中心に以下に示すような研究を行った。

臨床的研究としては、① 肺小細胞癌に対する VCR, ADM, MMC, CPA, CDDP, ACNU の 6 剤を用いた多剤併用療法の直接抗腫瘍効果および延命効果についての検討。② lysosome labilizer としての効果を期待した非小細胞肺癌に対する CDDP+VDS と urokinase との併用効果の研究。③ 非小細胞肺癌における CDDP+VDS と PSK, OK-432, もしくは bestatin の免疫化学療法ならびに radiation+lentinan の免疫放射線療法の有効性に関する検討。④ CDDP の腎毒性軽減を目的とした sodium thiosulfate の有用性に関する検討。⑤ 各種抗癌剤の phase study。⑥ LAK 細胞を用いた養子免疫療法の肺癌および癌性胸膜炎、心膜炎に対する有効性に関する検討。⑦ 癌性胸膜炎に対する免疫療法剤の phase study。⑧ 放射線肺臓炎の早期診断に関する研究。⑨ 肺癌における脳転移の予後に及ぼす影響についての検討等を行った。

基礎的研究としては、① LAK 細胞を用いた養子免疫療法と化学療法の適切な併用スケジュールを確立するための in vitro, in vivo study。② LAK 細胞の腫瘍集積性を高めるための研究。③ ヒト肺癌細胞株の細胞外基質に対する接着・浸潤能に関する研究。④ 肺癌症例の癌遺伝子異常に関する研究、薬剤耐性遺伝子の研究。⑤ 抗癌剤のライソゾーム酵素活性に及ぼす影響についての検討。⑥ 新たな腫瘍マーカーの臨床的意義に関する検討等を行った。

研究業績

論文

- 1) 斉藤達雄¹⁾, 田口鐵男²⁾, 涌井昭³⁾, 前川正⁴⁾, 木村正⁵⁾, 今村幸雄⁶⁾, 阿部令彦⁷⁾, 仁井谷久暢, 富永健⁸⁾, 太田和雄⁹⁾
(GKT- β 腫瘍部会研究会) (1)癌研究会付属病院, 2)大阪大学微生物病研究所付属病院, 3)東北大学抗酸菌病研究所臨床癌化学療法部門, 4)群馬大学医学部第3内科, 5)国立病院医療センター外科, 6)国立病院医療センター内科, 7)慶応義塾大学医学部外科, 8)都立駒込病院外科, 9)愛知県がんセンター病院第2内科): [原著] 遺伝子組換え型ヒトインターフェロン B (GKT- β) の悪性腫瘍患者における臨床第Ⅰ相試験. Biotherapy, 2, 331~338, 1988.
- 2) 仁井谷久暢, 吾妻安良太: [総説] 抗癌薬. 現代医療, 20, 109~115, 1988.
- 3) 弦間昭彦, 興石義彦¹⁾, 野口雅之¹⁾, 広橋説雄¹⁾ (1)国立がんセンター研究所病理部): [総説] サザン, ノーザン, ウエスタンブロッティング. 癌治療・今日と明日, 10, 15~18, 1988.
- 4) 石井勝¹⁾, 服部信²⁾, 加藤俊³⁾, 望月真人⁴⁾, 守殿貞夫⁵⁾, 澤武紀雄⁶⁾, 河田幸道⁷⁾, 河合恒雄⁸⁾, 阿部令彦⁹⁾, 大倉久直¹⁰⁾, 高見博¹¹⁾, 仁井谷久暢, 高見沢裕吉¹²⁾, 田利清信¹³⁾, 河合忠¹⁴⁾, 山中英寿¹⁵⁾, 長谷川浩一¹⁶⁾ (1)埼玉県立がんセンター臨床検査部, 2)金沢大学医学部第1内科, 3)久留米大学医学部産婦人科, 4)神戸大学医学部産婦人科, 5)神戸大学医学部泌尿器科, 6)金沢大学がん研究所内科, 7)岐阜大学医学部泌尿器科, 8)癌研究会付属病院泌尿器科, 9)慶応義塾大学医学部外科, 10)国立がんセンター臨床検査部, 11)帝京大学医学部第1外科, 12)千葉大学医学部産婦人科, 13)埼玉県立がんセンター泌尿器科, 14)自治医科大学臨床病理, 15)群馬大学医学部泌尿器科, 16)坪井病院内科): [原著] Basic Fetoprotein EIA キットの臨床的検討. (1) 血清 BFP の臨床的有用性. 癌と化療, 15, 2107~2113, 1988.
- 5) 木村禧代二¹⁾, 加藤俊²⁾, 高見沢裕吉³⁾, 田利清信⁴⁾, 鈴置洋三⁵⁾, 関場香⁶⁾, 福岡正博⁷⁾, 秋元成太⁸⁾, 阿部令彦⁹⁾, 山藤光彦¹⁰⁾, 仁井谷久暢, 古瀬清行¹¹⁾, 太田和雄¹²⁾, 木村郁郎¹³⁾, 今野淳¹⁴⁾, 本門威¹⁵⁾, 富永健¹⁶⁾, 新島端夫¹⁷⁾,

- 稲垣治郎¹⁾ (1)名古屋記念病院内科, ²⁾久留米大学医学部産婦人科, ³⁾千葉大学医学部産婦人科, ⁴⁾埼玉県立がんセンター, ⁵⁾国立名古屋病院産婦人科, ⁶⁾岡山大学医学部産婦人科, ⁷⁾大阪府立羽曳野病院第2内科, ⁸⁾付属病院泌尿器科, ⁹⁾慶応義塾大学医学部外科, ¹⁰⁾国立名古屋病院呼吸器科, ¹¹⁾国立療養所近畿中央病院内科, ¹²⁾愛知県がんセンター第2内科, ¹³⁾岡山大学医学部第2内科, ¹⁴⁾東北大学抗酸菌病研究所内科, ¹⁵⁾埼玉県立がんセンター呼吸器科, ¹⁶⁾都立駒込病院外科, ¹⁷⁾東京大学医学部泌尿器科) : [原著] Carboplatin の第Ⅰ相試験. *Oncologia*, 21, 88~94, 1988.
- 6) 木村禧代二¹⁾, 鈴木明²⁾, 大泉耕太³⁾, 今野淳郎⁴⁾, 長谷川浩一⁵⁾, 本間威⁶⁾, 尾形利郎⁷⁾, 西脇裕⁸⁾, 栗山喬之⁹⁾, 仁井谷久暢, 江口研二¹⁰⁾, 倉石安庸¹¹⁾, 小川一誠¹²⁾, 太田和雄¹³⁾, 大島駿作¹⁴⁾, 福岡正博¹⁵⁾, 古瀬清行¹⁶⁾, 木村郁郎¹⁷⁾, 大野泰亮¹⁷⁾, 大田満夫¹⁸⁾, 原信之¹⁸⁾ (1)名古屋記念病院, ²⁾札幌医科大学, ³⁾東北大学抗酸菌病研究所, ⁴⁾東北大学抗酸菌病研究所, ⁵⁾坪井病院, ⁶⁾埼玉県立がんセンター, ⁷⁾防衛医科大学校, ⁸⁾国立療養所松戸病院, ⁹⁾千葉大学肺癌研究施設, ¹⁰⁾国立がんセンター, ¹¹⁾東京慈恵会医科大学, ¹²⁾癌研究会癌化学療法センター, ¹³⁾愛知県がんセンター, ¹⁴⁾京都大学結核胸部疾患研究所, ¹⁵⁾大阪府立羽曳野病院, ¹⁶⁾国立療養所近畿中央病院, ¹⁷⁾岡山大学, ¹⁸⁾国立病院九州がんセンター) : [原著] カルボプラチン (Carboplatin) の肺癌に対する共同第Ⅱ相試験成績. 癌と化療, 15, 2139~2144, 1988.
- 7) 木村禧代二¹⁾, 鈴木明²⁾, 今野淳³⁾, 長谷川浩一⁴⁾, 本間威⁵⁾, 栗山喬之⁶⁾, 大島駿作⁷⁾, 福岡正博⁸⁾, 平木俊吉⁹⁾ (1)名古屋記念病院, ²⁾札幌医科大学, ³⁾東北大学抗酸菌病研究所, ⁴⁾坪井病院, ⁵⁾埼玉県立がんセンター, ⁶⁾千葉大学肺癌研究施設, ⁷⁾京都大学結核胸部疾患研究所, ⁸⁾大阪府立羽曳野病院, ⁹⁾岡山赤十字病院) : [原著] カルボプラチン (Carboplatin) 注射液による肺癌に対する共同第Ⅱ相試験成績. 癌と化療, 15, 2781~2785, 1988.
- 8) 蝶良英郎¹⁾, 仁井谷久暢, 小川暢也²⁾, 鈴木明³⁾, 中林武仁⁴⁾, 大崎饒⁵⁾, 田村昌士⁶⁾, 長谷川浩一⁷⁾, 内山照雄⁸⁾, 高谷治⁹⁾, 荻原正雄¹⁰⁾, 可部順三郎¹¹⁾, 北村論¹²⁾, 吉良枝郎¹³⁾, 西脇裕¹⁴⁾, 栗山喬之¹⁵⁾, 栗田雄三¹⁶⁾, 吉田清一¹⁷⁾, 西村穰¹⁸⁾, 山本正彦¹⁹⁾, 久世文幸²⁰⁾, 岸本進²¹⁾, 古瀬清行²²⁾, 伊藤正己²³⁾, 福岡正博²⁴⁾, 小倉剛²⁵⁾, 副島林造²⁶⁾, 山木戸道郎²⁷⁾, 安元公正²⁸⁾, 大田満夫²⁹⁾, 篠田厚³⁰⁾, 原耕平³¹⁾, 安藤正幸³²⁾, 志摩清³³⁾, 齊藤厚³⁴⁾ (1)国立療養所刀根山病院内科, ²⁾愛媛大学医学部薬理, ³⁾札幌医科大学第3内科, ⁴⁾国立札幌病院呼吸器科, ⁵⁾岩見沢労災病院内科, ⁶⁾岩手医科大学第3内科, ⁷⁾坪井病院内科, ⁸⁾獨協医科大学越谷病院呼吸器内科, ⁹⁾防衛医科大学校第3内科, ¹⁰⁾富士市立中央病院内科, ¹¹⁾国立病院医療センター呼吸器科, ¹²⁾自治医科大学呼吸器内科, ¹³⁾順天堂大学医学部呼吸器内科, ¹⁴⁾国立療養所松戸病院内科, ¹⁵⁾千葉大学肺癌研究所内科, ¹⁶⁾新潟県立がんセンター内科, ¹⁷⁾埼玉県立がんセンター呼吸器科, ¹⁸⁾愛知県がんセンター内科, ¹⁹⁾名古屋市立大学医学部第2内科, ²⁰⁾京都大学結核胸部疾患研究所第1内科, ²¹⁾大阪大学医学部第3内科, ²²⁾国立療養所近畿中央病院内科, ²³⁾公立学校共済近畿中央病院第1内科, ²⁴⁾大阪府立羽曳野病院第2内科, ²⁵⁾徳島大学医学部第3内科, ²⁶⁾川崎医科大学呼吸器内科, ²⁷⁾広島大学医学部第2内科, ²⁸⁾九州大学医学部第2外科, ²⁹⁾九州がんセンター外科, ³⁰⁾国立療養所大牟田病院内科, ³¹⁾長崎大学医学部第2内科, ³²⁾熊本大学医学部第1内科, ³³⁾熊本市民病院内科, ³⁴⁾琉球大学医学部第1内科) : [原著] ムクロタシン [MDP-Lys (L18)] の白血球減少回復促進効果に対する第Ⅲ相比較試験; 肺癌化学療法施行例. *Prog. Med.*, 8, 2427~2442, 1988.
- 9) 村田朗, 仁井谷久暢 : [症例報告] Crow-Fukase 症候群 (高月病) の1例. テンタクル, 1, 137~141, 1988.
- 10) Tsubura, E.¹⁾, Nomura, T.²⁾, Niitani, H., Osamura, S.³⁾, Okawa, T.⁴⁾, Tanaka, M.⁵⁾, Ota, K.⁶⁾, Nishikawa, H.¹⁾, Masaoka, T.⁷⁾, Fukuoka, M.⁸⁾, Horiuchi, A.⁹⁾, Furuse, K.¹⁰⁾, Ito, M.¹¹⁾, Nagai, K.¹²⁾, Ogura, T.¹³⁾, Kozuru, M.¹⁴⁾, Hara, N.¹⁵⁾, Hara, K.¹⁶⁾, Ichimaru, M.¹⁷⁾ and Takatsuki, K.¹⁸⁾ (1)国立療養所刀根山病院内科, ²⁾第3内科, ³⁾東京医科大学第1内科, ⁴⁾東京女子医科大学放射線科, ⁵⁾国立名古屋病院第3内科, ⁶⁾愛知県がんセンター内科, ⁷⁾大阪府立成人病センター第5内科, ⁸⁾大阪府立羽曳野病院第2内科, ⁹⁾近畿大学第3内科, ¹⁰⁾国立療養所近畿中央病院第2内科, ¹¹⁾公立学校共済組合近畿中央病院第1内科, ¹²⁾兵庫医科大学第2内科, ¹³⁾徳島大学第3内科, ¹⁴⁾国立病院九州がんセンター

- 造血器科,¹⁵⁾同呼吸器科,¹⁶⁾長崎大学第2内科,¹⁷⁾同原爆病後障害研究施設内科,¹⁸⁾熊本大学第2内科):〔原著〕Restorative activity of Muroctasin on leukopenia associated with anticancer treatment. *Arzneimittelforschung*, **38**, 1070~1074, 1988.
- 11) Gemma, A., Nakajima, T.¹⁾, Shiraishi, M.¹⁾, Noguchi, M.¹⁾, Gotoh, M.¹⁾, Sekiya, T.¹⁾, Niitani, H. and Shimosato, Y.¹⁾ (国立がんセンター病理部):〔原著〕*myc* family gene abnormality in lung cancers and its relation to xenotransplantability. *Cancer Res.*, **48**, 6025~6028, 1988.
- 12) 仁井谷久暢:〔総説〕Vindesine sulfate. *Karkinos*, **1**, 125~130, 1989.
- 13) 仁井谷久暢:〔総説〕2. 抗癌剤の効果判定, 2) 臨床評価. *日臨*, **47**(増刊:癌治療学 下), 1256~1271, 1989.
- 14) 小林国彦, 日野光紀, 倉根修二, 矢野侃, 仁井谷久暢, 山野義光, 長谷川浩一¹⁾, 坪井栄孝¹⁾ (坪井病院):〔原著〕既治療肺小細胞癌に対する CDDP 単独, CDDP-carboquone, CDDP-etoposide 療法の比較第Ⅱ相試験. *癌と化療*, **16**, 207~212, 1989.
- 15) 吉村明修, 倉根修二, 村田朗, 吉森浩三, 広田健二¹⁾, 渋谷昌彦, 仁井谷久暢: (1)フジ虎ノ門病院整形外科):〔原著〕LAK 細胞誘導に及ぼす corticosteroid の影響; In vitro における検討. *Biotherapy*, **3**, 132~136, 1989.
- 16) 古瀬清行¹⁾, 原信之²⁾, 西脇裕³⁾, 成毛昭夫⁴⁾, 池上晴通⁵⁾, 高橋正治⁶⁾, 飯岡杜吾⁷⁾, 仁井谷久暢 (1)国立療養所近畿中央病院, 2)国立病院九州がんセンター, 3)国立療養所松戸病院, 4)国立がんセンター, 5)大阪府立成人病センター, 6)京都大学放射線医学, 7)奈良県立医大第3外科):〔原著〕非切除非小細胞癌(臨床病期ⅢA N₂, performance status 0, 1)の予後; 第28回日本肺癌学会総会(1987年, 於大阪)シンポジウム「Ⅲ期(N₂)非小細胞癌の治療」における集計報告. *肺癌*, **29**, 1~7, 1989.
- 17) 螺良英郎¹⁾, 仁井谷久暢, 小川暢也²⁾, 鈴木明³⁾, 中林武仁⁴⁾, 大崎饒⁵⁾, 田村昌士⁶⁾, 長谷川浩一⁷⁾, 内山照雄⁸⁾, 高谷治⁹⁾, 荻原正雄¹⁰⁾, 可部順三郎¹¹⁾, 北村論¹²⁾, 吉良枝郎¹³⁾, 西脇裕¹⁴⁾, 栗山喬之¹⁵⁾, 栗田雄三¹⁶⁾, 吉田清一¹⁷⁾, 西村稔¹⁸⁾, 山本正彦¹⁹⁾, 久世文幸²⁰⁾, 岸本進²¹⁾, 古瀬清行²²⁾, 伊藤正己²³⁾, 福岡正博²⁴⁾, 小倉剛²⁵⁾, 副島林造²⁶⁾, 山木戸道郎²⁷⁾, 安元公正²⁸⁾, 大田満夫²⁹⁾, 篠田厚³⁰⁾, 原耕平³¹⁾, 安藤正幸³²⁾, 志摩清³³⁾, 齊藤厚³⁴⁾ (1)国立療養所刀根山病院内科, 2)愛媛大学医学部薬理, 3)札幌医科大学第3内科, 4)国立札幌病院呼吸器科, 5)岩見沢労災病院内科, 6)岩手医科大学第3内科, 7)坪井病院内科, 8)独協医科大学越谷病院呼吸器内科, 9)防衛医科大学第3内科, 10)富士市立中央病院内科, 11)国立病院医療センター呼吸器科, 12)自治医科大学呼吸器内科, 13)順天堂大学医学部呼吸器内科, 14)国立療養所松戸病院内科, 15)千葉大学肺癌研究所内科, 16)新潟県立がんセンター呼吸器科, 17)埼玉県立がんセンター呼吸器科, 18)愛知県がんセンター内科, 19)名古屋市立大学医学部第2内科, 20)京都大学結核胸部疾患研究所第1内科, 21)大阪大学医学部第3内科, 22)国立療養所近畿中央病院内科, 23)公立学校共済近畿中央病院第1内科, 24)大阪府立羽曳野病院第2内科, 25)徳島大学医学部第3内科, 26)川崎医科大学呼吸器内科, 27)広島大学医学部第2内科, 28)九州大学医学部第2内科, 29)国立病院九州がんセンター外科, 30)国立療養所大牟田病院内科, 31)長崎大学医学部第1内科, 32)熊本大学医学部第1内科, 33)熊本市民病院内科, 34)琉球大学医学部第1内科):〔原著〕ムロクタシン〔MOP-Lys (L18)〕の白血球減少回復促進効果に対する第Ⅲ相比較試験; 129肺癌化学療法施行例. *Biotherapy*, **3**, 282~286, 1989.
- 18) 忽滑谷直孝, 西脇裕¹⁾, 児玉哲郎¹⁾, 井上祐二¹⁾⁴⁾, 林辺晃¹⁾, 村杉雅秀²⁾, 黒木基夫²⁾, 高橋健郎²⁾, 西山祥行²⁾, 北谷知己²⁾, 松山智治²⁾ (1)国立療養所松戸病院内科, 2)同外科, 3)札幌医科大学第3内科):〔原著〕癌性疼痛に対する経口麻薬剤の使用経験. *癌の臨床*, **35**, 51~54, 1989.
- 19) Hirose, A., Niitani, H., Hayashibara, K. and Tsuboi, E.¹⁾ (坪井病院):〔原著〕Effects of sodium thiosulfate in combination therapy of cis-dichlorodiammineplatinum and vindesine. *Cancer Chemother. Pharmacol.*, **23**, 255~258, 1989.

著 者

- 1) 倉根修二, 仁井谷久暢: [分担] 植物アルカロイド類および植物成分. “抗癌剤/臨床データ集 4”, p. 169 ~181, Life-science Information Canter, 1988.
- 2) 仁井谷久暢, 渋谷昌彦: [分担] 抗癌剤および投与法の開発. “Etoposide” (齊藤達雄編), p. 118~126, 医薬ジャーナル社, 1988.

学会発表

- 1) 渋谷昌彦, 馬場誠, 飯塚和弘, 酒井茂利, 大塚麻理子, 松坂三枝, 仁井谷久暢: [ワークショップ] In vitro における抗癌剤の LAK 活性に及ぼす影響 (IL-2, LAK 療法). 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 2) 長谷川浩一¹⁾, 林原賢治, 古江尚²⁾, 麦谷曜夫²⁾, 広田文雄²⁾, 仁井谷久暢, 島袋全哲, 栗原稔³⁾, 安斎勝行³⁾, 中尾功⁴⁾, 伊藤恵一⁴⁾, 藤田浩⁵⁾, 塚越茂⁶⁾ (¹⁾坪井病院内科, ²⁾帝京大学溝口病院内科, ³⁾昭和大学豊州病院消化器科, ⁴⁾癌研究会内科, ⁵⁾鶴見大学細菌学, ⁶⁾癌研究会化療センター): [ワークショップ] 5'-O-L-Valyl-5-Fluorouridine · HCl (FO-152) の第 I 相試験 (新しい抗癌剤). 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 3) 久勝章司, 長谷川浩一¹⁾, 中尾功²⁾, 伊藤恵一²⁾, 星野章³⁾, 仁井谷久暢, 島袋全哲, 吉村明修, 古江尚⁴⁾, 麦谷曜夫⁴⁾, 広田文雄⁴⁾ (¹⁾坪井病院内科, ²⁾癌研究会内科, ³⁾安城更生病院化学療法科, ⁴⁾帝京大学溝口病院内科): [ワークショップ] 5施設共同研究による MST-16 の臨床第 I 相試験 (新しい抗癌剤). 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 4) 諏訪敏一¹⁾, 佐藤忠敏¹⁾, 崎村恭也²⁾, 矢野侃, 島袋全哲, 仁井谷久暢, 吉森浩三, 長谷川浩一³⁾, 河内正男⁴⁾, 泉嗣彦⁴⁾, 栗原稔⁴⁾, 西田佳昭⁵⁾, 安井昭⁵⁾, 八田善夫⁶⁾, 古江尚⁷⁾ (¹⁾大宮日赤病院外科, ²⁾同内科, ³⁾坪井病院内科, ⁴⁾昭和大学豊州病院消化器科, ⁵⁾同外科, ⁶⁾同第2内科, ⁷⁾帝京大学内科): [ワークショップ] 間歇投与による 5'-deoxy-5-fluorouridine の有効性と安全性の検討 (新しい抗癌剤). 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 5) 吉村明彦, 倉根修二, 村田朗, 坪井永保, 広田健児¹⁾, 大塚麻理子, 松坂三枝, 渋谷昌彦, 仁井谷久暢 (¹⁾フジ虎の門病院): [一般講演] 化学療法の LAK 活性誘導能に及ぼす影響. 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 6) 久保田馨¹⁾, 古瀬清行²⁾, 井上勝一³⁾, 長谷川浩一⁴⁾, 栗田雄三⁵⁾, 本間威⁶⁾, 西脇裕⁷⁾, 有吉寛⁸⁾, 大島駿作⁹⁾, 福岡正博¹⁰⁾, 田村亮¹¹⁾, 藤井昌史¹²⁾, 木村郁郎¹³⁾, 仁井谷久暢, 太田和雄¹⁴⁾ (¹⁾近畿中央病院内科, ²⁾国療近畿中央病院, ³⁾美唄労災病院内科, ⁴⁾坪井病院, ⁵⁾新潟県立がんセンター内科, ⁶⁾埼玉県立がんセンター, ⁷⁾国療松戸病院, ⁸⁾愛知県がんセンター, ⁹⁾京都大学胸部疾患研究所附属病院第2内科, ¹⁰⁾羽曳野病院, ¹¹⁾神戸市立西市民病院内科, ¹²⁾国立四国がんセンター内科, ¹³⁾岡山大学第2内科, ¹⁴⁾愛知がんセンター): [一般講演] 新白金錯体 254-S [(glycolato-O, O') diammine-Pt (II)] の原発性肺癌. 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 7) 古江尚¹⁾, 住永雅司¹⁾, 涌井昭²⁾, 神部真理子²⁾, 長谷川浩一³⁾, 仁井谷久暢, 河内重人, 太田和雄⁴⁾, 有吉寛⁵⁾, 田口鐵男⁶⁾, 太田潤⁶⁾, 服部孝雄⁷⁾, 佐伯俊昭⁷⁾ (PT-11研究会) (¹⁾帝京大学溝口病院内科, ²⁾東北大学抗酸菌病研究所臨床癌化療, ³⁾坪井病院内科, ⁴⁾愛知県がんセンター, ⁵⁾同血液化療, ⁶⁾大阪大学微生物病研究所、外科, ⁷⁾広島大学原爆放射能医学研究所外科): [一般講演] 新規癌化学療法剤 CPT-11 の第1相臨床試験. 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 8) 村田朗, 倉根修二, 吉村明修, 吉森浩三, 広田健児¹⁾, 大塚麻理子, 松坂三枝, 渋谷昌彦, 仁井谷久暢 (¹⁾フジ虎の門病院): [一般講演] LAK 療法に関する基礎的研究. 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 9) 吉森浩三, 倉根修二, 吉村明修, 村田朗, 広田健児¹⁾, 大塚麻理子, 松坂三枝, 渋谷昌彦, 仁井谷久暢 (¹⁾フジ虎の門病院整形外科): [一般講演] 抗癌剤の LAK 活性, NK 活性に及ぼす影響. 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 10) 吉村明修, 倉根修二, 村田朗, 吉森浩三, 広田健児¹⁾, 大塚麻理子, 松坂三枝, 渋谷昌彦, 仁井谷久暢 (¹⁾フジ虎の門病院): [展示] LAK 活性に及ぼす凍結保存の影響. 第47回日本癌学会総会, 1988.

- 11) 福岡正博¹⁾, 太田和雄²⁾, 鈴木明³⁾, 田村昌士⁴⁾, 長谷川浩一⁵⁾, 吉田清一⁶⁾, 本間威⁶⁾, 馬島尚⁷⁾, 仁井谷久暢, 小川一誠⁸⁾, 有吉寛²⁾, 古瀬清行⁹⁾, 木村郁郎¹⁰⁾, 大榎泰亮¹⁰⁾, 小倉剛¹¹⁾ (¹⁾大阪羽曳野病院, ²⁾愛知がんセンター, ³⁾札幌医大, ⁴⁾岩手医大, ⁵⁾坪井病院, ⁶⁾埼玉がんセンター, ⁷⁾千葉がんセンター, ⁸⁾癌研, ⁹⁾国療近畿中央病院, ¹⁰⁾岡山大, ¹¹⁾徳島大) : [一般講演] Bleomycin の新誘導体 NK 313 の臨床第Ⅰ相試験. 第47回日本癌学会総会, 1988.
- 12) 日野光紀, 福岡正博¹⁾, 長谷川浩一²⁾, 加藤俊³⁾, 古江尚⁴⁾, 太田和雄⁵⁾, 馬島尚⁶⁾, 木村郁郎⁷⁾, 古瀬清行⁸⁾, 塚越茂⁹⁾, 藤田浩¹⁰⁾, 仁井谷久暢 (¹⁾羽曳野病院, ²⁾坪井病院, ³⁾久留米大, ⁴⁾帝京大溝口病院, ⁵⁾愛知がんセンター, ⁶⁾千葉がんセンター, ⁷⁾岡山大, ⁸⁾国療近畿中央病院, ⁹⁾癌研, ¹⁰⁾鶴見大) : [一般講演] Cis-1, 1-cyclobutanedicarboxylato (2 R)-2-methyl-1, 4-butanediamine platinum (Ⅱ) (Nk121). 第47回日本癌学会総会, 1988.
- 13) 吾妻安良太, 日野光紀, 広沢彰, 小林国彦, 青山昭徳, 大塚麻理子, 松坂三枝, 仁井谷久暢 : [展示] 継代コロニー形成培養法による薬剤感受性試験の検討. 第47回日本癌学会総会, 1988.
- 14) 小林国彦, 日野光紀, 広沢彰, 吾妻安良太, 松坂三枝, 大塚麻理子, 渋谷昌彦, 酒井茂利, 飯塚和弘, 馬場誠, 青山昭徳, 仁井谷久暢 : [一般講演] In vitro における細胞障害性に及ぼす抗癌剤および LAK 細胞の併用効果について. 第47回日本癌学会総会, 1988.
- 15) 村田朗, 渋谷昌彦, 河内重人, 青山昭徳, 大塚麻理子, 松坂三枝, 仁井谷久暢 : [一般講演] Poly I:C によって活性化されたマウス肺 NK 細胞の肺転移巣に及ぼす影響. 第28回日本胸部疾患学会, 1988.
- 16) 河内重人, 中広一善, 吾妻安良太, 吉森浩三, 仁井谷久暢, 久勝章司, 長谷川浩一¹⁾, 坪井栄孝¹⁾ (¹⁾坪井病院) : [一般講演] 肺癌患者における血清 BFP 値測定の臨床的意義. 第28回日本胸部疾患学会, 1988.
- 17) 日野光紀, 倉根修二, 渋谷昌彦, 吉村明修, 河内重人, 仁井谷久暢, 小林国彦, 長谷川浩一¹⁾, 坪井栄孝¹⁾ (¹⁾坪井病院) : [一般講演] 肺小細胞癌に対する ADM, VCR, ACNU と THP-ADM, VCR, ACNU による Randomized Phase II study の検討 (第二報). 第28回日本胸部疾患学会, 1988.
- 18) 広沢彰, 酒井茂利, 飯塚和弘, 仁井谷久暢, 林原賢治, 坪井栄孝¹⁾ (¹⁾坪井病院) : [一般講演] CDDP 2 クール投与時の STS 併用による腎機能の検討. 第28回日本胸部疾患学会, 1988.
- 19) 吉村明修, 倉根修二, 村田朗, 吉森浩三, 広田健児¹⁾, 日比野俊, 谷口泰之, 大塚麻理子, 松坂三枝, 渋谷昌彦, 仁井谷久暢 (¹⁾フジ虎ノ門病院、整形外科) : [一般講演] 肺癌化学療法の LAK 活性, NK 活性に及ぼす影響. 第28回日本胸部疾患学会, 1988.
- 20) 吉村明修, 渋谷昌彦, 吉森浩三, 仁井谷久暢, 山野義光, 長谷川浩一¹⁾, 坪井栄孝¹⁾ (¹⁾坪井病院内科) : [一般講演] 非小細胞癌に対する Cisplatin Carboplatin 併用療法の Pilot Study. 第29回日本肺癌学会総会, 1988.
- 21) 弦間昭彦, 野口雅之¹⁾, 平田仁¹⁾, 中島孝¹⁾, 下里幸雄¹⁾, 津金昌一郎²⁾, 仁井谷久暢 (¹⁾国立がんセンター病理部, ²⁾同疫学部) : [一般講演] 杯細胞型肺腺癌切除例の免疫組織化学と予後に関する検討. 第29回日本肺癌学会総会, 1988.
- 22) 広沢彰, 小林国彦, 飯塚和弘, 酒井茂利, 仁井谷久暢, 林原賢治, 坪井栄孝¹⁾ (¹⁾坪井病院) : [一般講演] CDDP の腎機能に及ぼす影響と STS 併用の意義. 第29回日本肺癌学会総会, 1988.
- 23) 渋谷昌彦, 馬場誠, 青山昭徳, 大塚麻理子, 松坂三枝, 仁井谷久暢, 小泉潔¹⁾, 庄司佑²⁾ (¹⁾胸部外科, ²⁾第2外科) : [ワークショップ] 宿主 Natural Killer (NK) 活性に及ぼす肺癌化学療法の影響と対策. 第29回日本肺癌学会総会, 1988.
- 24) 小林国彦, 日野光紀, 吾妻安良太, 広沢彰, 武本俊彦¹⁾, 松坂三枝, 渋谷昌彦, 仁井谷久暢 (¹⁾虎ノ門病院整形外科) : [一般講演] ヒト肺癌細胞株を用いたコロニー形成法によるプラチン (Pt) 化合物に関する検討. 第29回日本肺癌学会総会, 1988.
- 25) 林原賢治, 久勝章司, 山野義光, 長谷川浩一¹⁾, 坪井栄孝¹⁾, 森川哲行²⁾, 忽滑谷直孝, 弦間昭彦, 日野光紀, 仁

- 井谷久暢⁽¹⁾坪井病院, ⁽²⁾国療松戸病院) : [一般講演] 非小細胞癌手術不能例の脳転移症例の検討. 第29回日本肺癌学会総会, 1988.
- 26) 根来俊一, 福岡正博, 井上勝一, 長谷川浩一, 栗田雄三, 本間威, 西脇裕, 有吉寛, 大島駿作, 古瀬清行, 田村亮, 藤井昌史, 木村郁郎, 仁井谷久暢, 太田和雄 (254-S 研究会肺癌分科会) : [一般講演] 原発性肺癌に対する新白金錯体254-S の Phase II study. 第29回日本肺癌学会総会, 1988.
- 27) 山田浩一, 吉村明修, 弦間昭彦, 仁井谷久暢 : [一般講演] 切除不能原発性肺腺癌の細胞形態と予後. 第93回日本肺癌学会関東支部会, 1988.
- 28) Koshiishi, Y.¹⁾, Noguchi, M.¹⁾, Kanai, T.¹⁾, Gemma, A., Hirohashi, S.¹⁾, Nakajima, T.¹⁾ and Shimosato, Y.¹⁾ (⁽¹⁾国立がんセンター病理部) : [シンポジウム] Detection of *ras* oncogene procluct, p21 monoclonal antibodies. Fifth World Conference on Lung Cancer, 1988.
- 29) Gemma, A., Nakajima, T.¹⁾, Shiraishi, M.¹⁾, Noguchi, M.¹⁾, Koshiishi, Y.¹⁾, Sekiya, T.¹⁾ and Shimosato, Y.¹⁾ (⁽¹⁾国立がんセンター病理部) : [シンポジウム] Role of *myc* family gene abnormality in xenotransplantation of lung cancer. Fifth World Conference on Lung Cancer, 1988.
- 30) Kabayashi, K., Hirokawa, A., Sakai, S., Iizuka, K., Niitani, H., Hayashibara, K. and Tsuboi, E.¹⁾ (⁽¹⁾坪井病院) : [シンポジウム] Effect of the administration of sodium thiosulfate (STS) with CDDP on renal function. Fifth World Conference on Lung Cancer, 1988.
- 31) Hino, M., Niitani, H., Yano, T., Kurane, S., Kobayashi, K., Tsuboi, E.¹⁾, Nishimura, M.²⁾, Ohnoshi, Y.³⁾, Furuse, K.⁴⁾ and Fukuoka, M.⁵⁾ (⁽¹⁾坪井病院, ⁽²⁾愛知がんセンター, ⁽³⁾岡山大学, ⁽⁴⁾近畿中央病院, ⁽⁵⁾大阪羽曳野病院) : [シンポジウム] A comparative randomized phase II study of CDDP (c) vs C with carbaziquinone (CQ) vs C with etoposide (E) as second-line chemotherapy in small cell lung cancer, Fifth world Conference on Lung Cancer, 1988.
- 32) Nishiwaki, Y.¹⁾, Fukuoka, M.²⁾, Nakai, H.³⁾, Honma, T.⁴⁾, Furuse, K.⁵⁾, Ota, M.⁶⁾, Niitani, H., Ogawa, N.³⁾ and Kimura, K.⁷⁾ (⁽¹⁾国立療養所松戸病院, ⁽²⁾大阪府立羽曳野病院第2内科, ⁽³⁾癌研内科, ⁽⁴⁾埼玉県立がんセンター, ⁽⁵⁾帝京大学, ⁽⁶⁾愛知がんセンター, ⁽⁷⁾岡山大) : [シンポジウム] Preliminary report of a randomized controlled study of immunochemotherapy vs. chemotherapy in adenocarcinoma of the lung. Fifth World Conference on Lung Cancer, 1988.
- 33) Koshiishi, Y.¹⁾, Noguchi, M.¹⁾, Gemma, A., Shimosato, Y.¹⁾, Naruke, T.¹⁾, Ikeda, S.¹⁾ and Suemasu, K.¹⁾ (⁽¹⁾国立がんセンター病理部) : [シンポジウム] Evaluation of relationship between gross features and depth of invasion of central type "early" squamous cell carcinoma. Fifth World Conference on Lung Cancer, 1988.
- 34) 富山元次郎 : [一般講演] 糖尿病患者における尿中微量蛋白および尿中 NAG 測定の意味. 第35回日本臨床病理学会総会, 1988.
- 35) 青山昭徳, 吾妻安良太, 小林国彦, 河内重人, 島袋全哲, 仁井谷久暢, 久勝章司, 長谷川浩一¹⁾, 坪井栄孝¹⁾ (⁽¹⁾坪井病院) : [一般講演] 肺癌患者における血清 BFP 測定の意味. 第35回日本臨床病理学会総会, 1988.
- 36) 小林国彦, 日野光紀, 松坂三枝, 広沢彰, 武本俊彦¹⁾, 吾妻安良太, 久勝章司, 仁井谷久暢 (⁽¹⁾虎ノ門病院整形外科) : [一般講演] Time dependency of cytotoxicity of platinum derivatives in vitro. 第9回日本臨床薬理学会, 1988.
- 37) 酒井茂利, 広沢彰, 渋谷昌彦, 飯塚和弘, 吉村明修, 仁井谷久暢, 林原賢治, 坪井栄孝¹⁾ (⁽¹⁾坪井病院) : [一般講演] CDDP による腎機能障害と STS 併用の効果. 第36回日本化学療法学会, 1988.
- 38) 小林国彦, 日野光紀, 広沢彰, 吾妻安良太, 松坂三枝, 大塚麻理子, 渋谷昌彦, 酒井茂利, 飯塚和弘, 馬場誠, 青山昭徳, 仁井谷久暢 : [一般講演] 抗癌剤および LAK 細胞の併用時における in vitro での殺細胞性の検討. 第36回日本化学療法学会, 1988.

- 39) 弦間昭彦, 吉森浩三, 小林国彦, 久勝章司, 長谷川浩一¹⁾, 比佐純孝¹⁾, 坪井栄孝¹⁾, 立花正徳¹⁾, 左近司光明¹⁾, 仁井谷久暢, 江口研二²⁾, 土屋了介²⁾ (¹⁾坪井病院, ²⁾国立がんセンター) : [一般講演] 肺野1.5 cm 以下陰影に対する気管支造影時断層撮影の検討. 第11回日本気管支学会総会, 1988.
- 40) 吉森浩三, 弦間昭彦, 小林国彦, 久勝章司, 林原賢治, 長谷川浩一¹⁾, 立花正徳¹⁾, 坪井栄孝¹⁾ (¹⁾坪井病院) : [一般講演] 肺泡蛋白肺洗浄における気管支鏡および肺動脈閉塞用カテーテル使用時の経験と文献的考察. 第11回日本気管支学会総会, 1988.
- 41) 吉村明修, 倉根修二, 村田朗, 吉森浩三, 広田健二, 大塚麻理子, 松坂三枝, 渋谷昌彦, 仁井谷久暢 : [一般講演] Corticosteroid の LAK 活性に及ぼす影響. 第16回日本臨床免疫学会, 1988.
- 42) 馬場誠, 渋谷昌彦, 酒井茂利, 飯塚和弘, 日野光紀, 小林国彦, 青山昭徳, 大塚麻理子, 松坂三枝, 仁井谷久暢 : [一般講演] 抗癌剤の LAK 活性に及ぼす影響; in vitro における検討. 第16回日本臨床免疫学会, 1988.
- 43) 広沢彰, 酒井茂利, 飯塚和弘, 仁井谷久暢 : [一般講演] CDDP 27クール投与症例に対する STS 併用効果の検討. 第85回日本内科学会総会, 1988.
- 44) 日野光紀, 倉根修二, 渋谷昌彦, 吉村明修, 河内重人, 仁井谷久暢, 小林国彦, 長谷川浩一¹⁾, 坪井栄孝¹⁾ (¹⁾坪井病院内科) : [一般講演] 肺小細胞癌に対する ADM, VCR, ACNV と THP-ADM, VCR, ACNU による Randomized phase II Study の検討. 第85回日本内科学会総会, 1988.
- 45) 富山元次郎 : [一般講演] Computer Graphics を用いた長期間の血糖変動の解析について. 第30回日本老年医学会総会, 1988.
- 46) 吾妻安良太, 日野光紀, 広沢彰, 青山昭徳, 大塚麻理子, 松坂三枝, 仁井谷久暢 : [一般講演] 継代コロニー形成培養法による抗癌剤感受性試験の検討. 第21回抗癌剤適応研究会, 1988.
- 47) 富山元次郎 : [展示] 尿中微量アルブミンおよび尿中 NAG 測定の臨床的意義. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 48) 富山元次郎 : [一般講演] Computer graphics による長期間血糖解析の試み. 第31回日本糖尿病学会総会, 1988.
- 49) 富山元次郎 : [一般講演] 血清フルクトサミン値; その臨床的評価について. 第26回日本糖尿病学会関東甲信越地方会, 1989.
- 50) 野村浩一郎, 日野光紀, 吉村明修, 弦間昭彦, 小林国彦, 吉森浩三, 忽滑谷直孝, 渋谷昌彦, 仁井谷久暢, 小泉潔¹⁾ (¹⁾胸部外科) : [一般講演] 非切除肺癌における T 因子; 特に腫瘍径による予後の検討. 第94回日本肺癌学会関東部会, 1989.
- 51) 古田知行, 酒井茂利, 広沢彰, 忽滑谷直孝, 弦間昭彦, 吉村明修, 日野光紀, 仁井谷久暢, 相原薫¹⁾ (¹⁾中央電子顕微鏡研究施設) : [一般講演] 非切除腺癌の長期生存例. 第94回日本肺癌学会関東部会, 1989.
- 52) 持丸博, 広沢彰, 仁井谷久暢, 長谷川浩一¹⁾, 林原賢治 (¹⁾坪井病院) : [一般講演] 細胞診陰性で開胸生検にて確診された悪性胸膜中皮腫の4例. 第94回日本肺癌学会関東部会, 1989.
- 53) 鳥山直樹, 吉森浩三, 弦間昭彦, 吉村明修, 仁井谷久暢, 山田宣孝¹⁾, 鈴木恒道¹⁾, 澤田季雄²⁾, 田口克司²⁾, 野村武夫²⁾ (¹⁾病理, ²⁾第3内科) : [一般講演] 気管支鏡下生検により診断した肺門部悪性リンパ腫の1例. 第83回日本胸部疾患学会関東地方会, 1989.
- 54) 臼杵二郎, 坪井永保, 忽滑谷直孝, 村田朗, 弦間昭彦, 小林国彦, 日野光紀, 吉村明修, 飯塚和弘, 倉根修二, 仁井谷久暢 : [一般講演] 肺小細胞癌の長期生存 (4年) の1例. 第83回日本胸部疾患学会関東地方会, 1989.

9. 第一外科学講座

〔付属病院第1外科〕

研究概要

教室では消化器外科学を中心に以下に示すテーマに基づいて基礎的ならびに臨床的研究を進めている。

1) 腹膜炎、イレウスを中心とする急性腹症の病態、特に細菌性ショック発来機構の解明ならびに病態に応じた新しい治療法の確立。恩田教授の指導のもと森山助教授、滝沢講師らにより精力的に研究が進められている。その成果は内外の専門誌に掲載され、この方面において学会の指導的役割を担っている。外科的感染症における細菌性因子の役割については代田名誉教授によって導入された無菌生物を用い、古川医員の指導のもとに基礎的、臨床的研究が進められている。また高圧酸素療法の有効性についても高く評価されている。

2) 胆石症における結石生成および胆道感染症の研究。

3) 消化器癌治療に対する集学的治療。食道—山下助教授、笹島講師、胃—山下助教授、徳永講師、大腸—田中助教授、肝・胆道・膵—恩田教授、田尻講師、金医員、伊藤医員らにより外科的治療を中心として治療成績向上の努力がなされ、その成果は内外の学会、専門誌に報告され、注目されている。また制癌研究の一環として細胞培養技術およびヌードマウスが導入され、癌治療指針の新しい手段となっている。

4) 門脈圧亢進症に基づく食道静脈瘤に対する治療の工夫。放射線科教室との共同研究で、血行動態の解析を行い病態に応じた最適な治療法を選択し良好な成績を得ている。山下助教授、田尻講師らにより国際会議を中心に報告、内外より高く評価されている。

5) 虚血性腸管病変の研究。高齢者に特異的な血管性腸管病変の研究が恩田教授、中島医員を中心として開始されている。

6) 肝臓移植に関する実験的研究。国立小児病院実験外科との共同研究を進めている。

7) 小児外科領域。江上助教授を中心として研究が進められている。

なお、海外留学生は常時、3～4人を数え、最近では米国国立癌研究所、シンシナチ大学、ネブラスカ大学との共同研究が進められ、内外の学会、専門誌に報告されている。

研究業績

論文

- 1) 沖浜裕司, 梅原松臣, 内藤善哉, 松田健, 山田和人, 松倉則夫, 鄭淳, 金徳栄, 滝沢隆雄, 田尻孝, 森山雄吉, 山下清彦, 恩田昌彦:〔症例報告〕肝硬変症に随伴した高ビリルビン血症に高圧酸素療法が有効であった一例. 日高気圧環境医学会誌, 22, 77～82, 1987.
- 2) Egami, K.:〔原著〕Congenital tracheo-aesophageal fistula "H" or "N" fistula. *Pediatric Surgery International*, 2, 198～211, 1987.
- 3) Kato, S., Yamashita, K., Kim, T., Tajiri, T. and Onda, M.:〔原著〕Modification of DNA by mitomycin C in cancer patients detected by 32p-post labeling analysis. *Mutat. Res.*, 202, 85～91, 1988.
- 4) Hayashi, T.:〔原著〕Immunohistochemical localization of Na⁺, K⁺-ATPase in human and rat kidney. *Nippon Ika Daigaku Zasshi*, 55, 399～405, 1988.
- 5) Yamakawa, T.:〔原著〕How can cholangioscopy improve the management of intrahepatic stones? *Surg. Endosc.*, 2, 162～166, 1988.
- 6) 斎藤美津雄, 山川達郎:〔原著〕胆道内圧測定によるCholangiovenous refluxの評価. 胆膵の生理機能, 4, 71

～74, 1988

- 7) 田尻孝, 山下精彦, 梅原松臣, 吉田寛, 鳥羽昌仁, 山田和人, 足立幹夫, 鄭淳, 金徳栄, 恩田昌彦: [原著] 消化管出血—食道・胃静脈瘤; 保存的治療の限界と手術のタイミング. 外科治療, **59**, 503～509, 1988.
- 8) Hayashi, T., Asano, G. and Onda, M.: [原著] Purification and properties of Na⁺, K⁺-ATPase from human kidney and torpedo californica. Nippon Ika Daigaku Zasshi, **55**, 247～250, 1988.
- 9) Sasajima, K., Taniguchi, Y., Morino, K., Yamashita, K., Onda, M., Hao, K. and Takubo, K.: [報告] Rapid growth of a pseudo-sarcoma of the esophagus. J. Clin. Gastroenterol, **10**, 533～536, 1988.
- 10) 山川達郎: [総説] 胆道内視鏡シリーズ7, 肝内結石症に対する術後胆道鏡. (その2) 症例を中心として. 臨外, **43**, 437～440, 1988.
- 11) 田尻孝, 山下精彦, 梅原松臣, 吉田寛, 鳥羽昌仁, 山田和人, 足立幹夫, 鄭淳, 金徳栄, 恩田昌彦: [総説] 消化管出血; 食道・胃静脈瘤 (特集: 保存時治療の限界と手術のタイミング). 外科治療, **59**, 503～509, 1988.
- 12) 吉村成子, 恩田昌彦: [話題] シクロスポリンと肝の再生について. Mebio, **5**, 150～151, 1988.
- 13) 山川達郎: [総説] 胆道内視鏡シリーズ8, 経皮経肝的胆管鏡. (その1) 手技的事項を中心として. 臨外, **43**, 571～574, 1988.
- 14) 山川達郎, 平井淳: [総説] 胆道内視鏡シリーズ9, 経皮経肝的胆管鏡. (その2) 症例を中心として. 臨外, **43**, 1001～1004, 1988.
- 15) 山川達郎, 平井淳: [総説] 胆道内視鏡シリーズ10, 経皮経肝的胆管鏡. (その3) 良性胆管狭窄の治療. 症例を中心として. 臨外, **43**, 1141～1144, 1988.
- 16) 杉浦光雄¹⁾, 二川俊二¹⁾, 榛沢隆¹⁾, 神坂和明¹⁾, 畔上信久¹⁾, 栗栖寛子¹⁾, 宝角衛¹⁾, 井野元勤¹⁾, 富俊明¹⁾, 亀田治男¹⁾, 今井深¹⁾, 山崎一信¹⁾, 高崎健¹⁾, 田中民弥¹⁾, 大谷麗二¹⁾, 井廻道大¹⁾, 大西真¹⁾, 田中慧¹⁾, 林星舟¹⁾, 秋山洋¹⁾, 渡辺五朗¹⁾, 田尻孝, 梅原松臣, (¹⁾順大1外, 他): [原著] 肝硬変症に伴う胃十二指腸病変に対する Famotidine (Gaster[®]) の治療効果. 診療と新薬, **25**, 1076～1087, 1987.
- 17) Ikeda, I.¹⁾, Ishizawa, Y.¹⁾, Ochiai, M.¹⁾, Sakai, R.¹⁾, Itabashi, M.²⁾, Onda, M., Sugimura, T.¹⁾ and Nagao, M.¹⁾ (¹⁾国立がんセンター研究所発がん研究部, ²⁾同病理部): [Rapid Communication] No correlation between L-myc restriction fragment length polymorphism and malignancy of human colorectal cancers. Jpn. J. Cancer Res., **79**, 674～676, 1988.
- 18) Ishizawa, Y.¹⁾, Tahira, T.¹⁾, Ochiai, M.¹⁾, Ikeda, I.¹⁾, Sugimura, T.¹⁾ and Nagao, M.¹⁾ (¹⁾国立がんセンター研究所発がん研究部): [Short Communication] Molecular cloning and characterization of human *ret- II* oncogene. Oncogene Res., **3**, 193～197, 1988.
- 19) Kitagawa, Y.¹⁾, Tahira, T.¹⁾, Ikeda, I.¹⁾, Kikuchi, K.²⁾, Tsuiki, S.²⁾, Sugimura, T. and Nagao, M.¹⁾ (¹⁾国立がんセンター研究所発がん研究部, ²⁾東北大学抗酸菌研究所): [Report] Molecular cloning of cDNA for the catalytic subunit of rat liver type 2 A protein phosphatase, and detection of high levels of expression of the gene in normal and cancer cells. Biochim. Biophys. Acta, **951**, 123～129, 1988.
- 20) 木山輝郎, 笹島耕二, 林久太佳, 鄭淳, 山下精彦, 恩田昌彦: [症例] Mallory-Weiss 病変を合併した時発性食道破裂 (Boerhaave 症候群) の1例. Gastroenterol. Endosc., **30**, 730～733, 1988.
- 21) 滝井昇, 恩田昌彦, 山下精彦, 田尻孝, 金徳栄, 鄭淳, 足立幹夫, 松倉則夫, 山田和人, 岡崎滋樹, 梅原松臣, 吉田寛: [報告] 治療に抵抗し頻回に大量吐血を来したが, 種々の基栓により救命し得た食道・胃静脈瘤の1例. 日救急医学会関東誌, **9**, 130～132, 1988.
- 22) 吉村成子, 恩田昌彦, 加藤俊二, 金徳栄, 田尻孝, 鎌田直司 (国立小児病院, 小児医療研究センター実験外科): [原著] シクロスポリンの肝再生に及ぼす影響. 今日の移植, **1**, 143～147, 1988.

- 23) 大川共一：〔原著〕医療における安全とデisposable製品，デisposable製品と経済性．日本医科器械学会誌，58，438～444，1988．
- 24) 伊藤誠二，恩田昌彦，森山雄吉，田尻孝，田代真一，有馬保生，岡崎滋樹，山中洋一郎，会田邦晴：〔症例〕短期間に形成された炭酸カルシウム胆石の1例．肝と脾，9，971～975，1988．
- 25) 恩田昌彦，田尻孝，梅原松臣：〔総説〕脾（特集：各領域におけるエンボリゼーション）．外科診療，30，1069～1078，1988．
- 26) 山川達郎，平井淳：〔総説〕胆道内視鏡シリーズ11，経皮経肝的胆管鏡．（その4）悪性胆管狭窄の診断と治療．症例を中心として．臨外，43，1279～1282，1988．
- 27) 山川達郎，小林俊介：〔総説〕消化器系徴候：外科的黄疸．Mod. Physician，8，915～918，1988．
- 28) 恩田昌彦，古川清憲：〔総説〕胆道感染症の病状と重篤化因子．臨消内科，3，1249～1255，1988．
- 29) 山川達郎，平井淳：〔総説〕胆道内視鏡シリーズ12，経皮経肝的胆嚢鏡と総括．臨外，43，1421～1424，1988．
- 30) 鎌田直司¹⁾，吉村成子（¹⁾国立小児病院小児医療研究センター実験外科）：〔総説〕肝移植における免疫学的特殊性．Med. Immunol.，15，263～268，1988．
- 31) 梅原松臣，恩田昌彦，山下精彦，田中宣威，田尻孝，徳永昭，滝沢隆雄，青木伸弘，金徳栄，羽尾邦彦，鄭淳，有馬保生，吉松信彦，石川紀行，吉田寛，恵畑欣一，隅崎達夫，本多一義，大矢徹，田島広之，伊藤公一郎：〔原著〕消化管救急疾患に対する緊急血管造影の有用性，Efficacy of Emergency Angiography for Critical Gastrointestinal Disease．腹部救急診療の進歩，8，933～936，1988．
- 32) 恩田昌彦，徳永昭：〔総説〕手術創の管理（術後処置ののすべて）．消化器外科，11，755～758，1988．
- 33) 山下精彦，恩田昌彦，田尻孝：〔総説〕教室における年次的にみた消化性潰瘍手術の傾向．消化器外科，11，1827，1988．
- 34) Matsukura, N., Onda, N., Tokunaga, A., Yoshiyuki, T., Shimizu, Y., Nishi, K., Furukawa, K., Yoshiyasu, M., Kiyama, T., Tanaka, N. and Yamashita, K. : 〔原著〕Simultaneous gastric cancer in monozygotic twins. Cancer, 62, 1988.
- 35) 安東俊明¹⁾，吉岡正智¹⁾，田中洋介¹⁾，和田勲武¹⁾，細井通則¹⁾，鳥羽昌仁¹⁾，八木和郎¹⁾，的場文夫¹⁾，恩田昌彦（¹⁾多摩永山病院外科）：〔臨床研究〕急性胆嚢・胆管炎における手術時期の臨床的検討．腹部救急診療の進歩，8，239～243，1988．
- 36) 山川達郎：〔総説〕脾・胆道疾患の内視鏡的治療：経皮経肝的アプローチ．Gastroenterol. Endosc., 30, 2900～2903, 1988.
- 37) Feng, L. Y., Dong, Z. X., Tajiri, T., Umehara, M., Yamashita, K., Onda, M., Ohya, T., Hosoi, S. and Kumazaki, T. : 〔原著〕The clinical significance of posterior gastric vein in portal hypertension as visualized in portograms. Nippon Ika Daigaku Zasshi, 55, 209～212, 1988.
- 38) 山田和人，恩田昌彦，田尻孝，古川清憲，神田佳和¹⁾，吉野芳夫¹⁾（¹⁾第2生化）：〔原著〕エンドトキシン処理により誘導されるロイタトリエンC₄に対するビタミンAの効果．医のあゆみ，146，867～868，1988．
- 39) 大川共一，池野広幸，本山三生，皆川彰：〔報告〕中央手術部における清浄度について．日手術部医会誌，9，114～117，1988．
- 40) 大川共一：〔原著〕不織布システム導入後の経過について．日手術部医会誌，9，228～231，1988．
- 41) 大川共一：〔原著〕手術室における不織布リネンシステム導入後の経過について．日手術部医会誌，9，389～393，1988．
- 42) 安東俊明，小田彰，和田英理，塩田吉宣，谷口善郎，高崎秀明（多摩永山病院救命救急センター）：〔報告〕多臓器不全をきたした熱中症の1例．日救急医会関東誌，9，644～646，1988．
- 43) 内田英二，恩田昌彦，内藤善哉，会田邦清，山中洋一郎，高崎秀明，田尻孝：〔速報〕脾Caにおけるエストロ

- ゲンおよびエストロゲンレセプター関連物質の免疫組織学的検討. 日外会誌, 89, 1755, 1988.
- 44) 永井哲志, 山川達郎: [研究速報] ラットを用いた胆管腸管吻合術. 日消外会誌, 21, 2354, 1988.
 - 45) Sasajima, K., Hayashi, N., Yamashita, K., Onda, M. and Takubo, K.: [報告] Oat cell carcinoma of the esophagus with multiple differentiation. J. Clin. Gastroenterol., 10, 667~671, 1988.
 - 46) 寺島保典¹⁾, 西村泰司¹⁾, 秋元成太¹⁾, 金徳栄, 田尻孝 (¹⁾泌尿器科): [症例報告] 経皮的針性検後, 術前化学療法を施行した副腎皮質癌の1例. 泌紀, 34, 1777~1782, 1988.
 - 47) Matsukura, N., Onda, M., Tokunaga, A., Toshiro, Y., Shimizu, Y., Nishi, K., Furukawa, K., Yoshiyasu, M., Kiyama, T., Tanaka, N. and Yamashita, K.: [報告] Simultaneous gastric cancer in monozygotic twins. Cancer, 62, 2430~2435, 1988.
 - 48) 鄭淳, 恩田昌彦: [原著] 食道静脈瘤硬化療法の予後向上への工夫; 特に各種基栓術との併用の有用性を中心に. 日本消化器内視鏡学会雑誌, 30, 2698~2700, 1988.
 - 49) 伊藤誠二, 恩田昌彦, 山下精彦, 森山雄吉, 田尻孝, 有馬保生, 岡崎滋樹, 京野昭二: [症例] 胆管癌の放射線治療効果を内視鏡的に観察しえた1例. 消内視鏡の進歩, 33, 361~364, 1988.
 - 50) 山田和人, 恩田昌彦, 田尻孝, 古川清憲, 神田佳和¹⁾, 吉野芳夫¹⁾ (¹⁾第2生化): [総説] エンドトキシン処理により誘導されるロイコトリエンC₄に対するビタミンA投与の効果. 医のあゆみ, 146, 867~868, 1988.
 - 51) Miyashita, M., Onda, M., Sasajima, K., Tokunaga, A. and Tanaka, N.: [原著] Multiple organ failure without sepsis following surgical treatment of advanced gastric carcinoma. Jpn. J. Surg., 18, 705~708, 1988.
 - 52) 田中宣威, 恩田昌彦, 森山雄吉, 徳永昭, 滝沢隆雄, 古川清憲, 横井公良, 橋本正好: [原著] 大腸穿孔例の臨床的検討. 腫瘍と感染, 1, 181~186, 1988.
 - 53) 宮下正夫, 恩田昌彦, 松田健, 森山雄吉, 滝沢隆雄, 金徳栄, 松田範子, 川並汪一: [原著] 実験的エンドトキシンショック時の肺傷害. 呼吸と循環, 37, 65~70, 1989.
 - 54) 吉葉昌彦, 矢野正和, 山初順一, 京野昭二: [総説] イレウス; 腸閉塞症 (特集: 急性腹症—診断・治療マニュアル診断・治療の実際). 外科診療, 31, 245~254, 1989.
 - 55) 山川達郎, 大滝修司: [総説] 術中・術後胆道鏡による胆道癌の診断 (特集: 膵・胆道癌の内視鏡診断の進歩). 胆と膵, 10, 27~33, 1989.
 - 56) Yoshimura, S. and Kamada, N.¹⁾ (¹⁾National Children's Research Center): [原著] Effect of cyclosporin A on liver regeneration following partial hepatectomy in mice. Transplant. Proc., 21, 433~434, 1989.
 - 57) Kamada, N.¹⁾, Yamaguchi, A.¹⁾, Ohkouchi, Y.¹⁾, Teramoto, K.¹⁾, Gotoh, S.¹⁾, Sumimoto, R., Yoshimura, S. and Daquerizo, A.²⁾ (¹⁾National Children's Research Center, ²⁾U.C.L.A.): [原著] Long-term enhancement of rat renal allografts by serum from liver grafted rats. Transplant. Proc., 21, 911~912, 1989.

著 書

- 1) 梅原松臣, 田尻孝, 恩田昌彦: [分担] 食道静脈瘤への血液供給路としての十二胃動静脈の動態. “肝臓病学最近の話題” (原田尚綱), p. 70~73, 日本医学館, 1988.
- 2) 池田五十鈴, 長尾美奈子: [分担] 大腸癌の癌遺伝子. “病理と臨床, 6” (石田陽一, 他編), p. 989~993, 文光堂, 1988.
- 3) 山川達郎, 福岡英祐: [分担] Endoprosthesis. “肝・胆道・膵の手術” (佐藤寿雄編), p. 250~256, 医学書院, 1988.
- 4) 吉葉昌彦, 矢野正和, 山初順一, 京野昭二: [分担] 術前・術後管理のための臨床検査, 術中・術後の異常状態の検索, 術後イレウス. “臨床検査MOOK32” (森岡恭彦編), p. 180~192, 金原出版, 1989.

学会発表

- 1) Okiham, Y., Nakajima, Y. and Millard, W., R.¹⁾ (¹⁾University of Cincinnati Medical Center, OH.) : [一般講演] Effect of prostaglandin-E₂ and papaverine on distribution of intestinal blood flow. APS Fall Meeting (San Diego), 1987.
- 2) 大川共一, 池野広幸, 本山三生, 皆川彰 : [一般講演] 中央手術部の環境清浄度について. 第3回日本環境感染学会総会, 1988.
- 3) 吉村成子, 恩田昌彦, 加藤俊二, 金徳栄, 田尻孝, 野田泰嗣, 斎藤忠生, 鈴木英之, 田代真一, 古川清憲 : [一般講演] シクロスポリンの肝再生促進効果に関する実験的研究. 第88回日本外科学会総会, 1988.
- 4) 吉行俊郎, 恩田昌彦, 清水康仁, 西恵吾, 松倉則夫, 古川清憲, 徳永昭, 田中宣威, 山下精彦, 浅野伍郎 : [一般講演] ノードマウス可移植性ヒト胃癌組織における癌細胞の増殖と間質の変化; とくに血管と維持芽細胞の役割. 第88回日本外科学会総会, 1988.
- 5) 西恵吾, 恩田昌彦, 清水康仁, 吉行俊郎, 松倉則夫, 徳永昭, 田中宣威, 森山雄吉, 山下精彦 : [一般講演] 胃癌における Estradiol (Eg), Epidermal growth factor (EGF) の免疫組織化学的研究; 悪性度の指標として. 第88回日本外科学会総会, 1988.
- 6) 古川清憲, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田中宣威, 徳永昭, 滝沢隆雄, 中島米治郎, 田代真一, 鄭淳, 中尾充, 斎藤忠生, 鈴木英之 : [一般講演] 実験的エンドトキシンショックに対する Taurolin の治療効果. 第88回日本外科学会総会, 1988.
- 7) 笹島耕二, 恩田昌彦, 山下精彦, 宮下正夫, 谷口善郎, 内藤善哉, 代田利明 : [一般講演] ヒト正常食道上皮細胞の増殖と分化. 第88回日本外科学会総会, 1988.
- 8) 高崎秀明, 恩田昌彦, 江上格, 田尻孝, 内田英二, 内藤善哉, 会田邦晴, Pow, P. M.¹⁾, Tempero, M. A.¹⁾ (¹⁾Univ. Nebraska Med. Center, NE, USA) : [一般講演] 膵癌の腫瘍マーカー (TAG72, CA19-9, DU-PAN-2) の免疫組織化学的検討. 第88回日本外科学会総会, 1988.
- 9) Okiham, Y., Nakajima, Y. and Millard, W., R.¹⁾ (¹⁾University of Cincinnati Medical Center, OH.) : [一般講演] Hemodynamic and metabolic characteristics of three different jejunal segment preparations from the same animal. 72nd Annual Meeting FASEB (Las Vegas), 1988.
- 10) 瀬谷知子, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田尻孝, 伊藤誠二, 中島米治郎, 伊達治行, 有馬保生, 門瀬泰克 : [一般講演] 胆管癌の口腔内転移の1症例. 第199回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 11) 有馬保生, 恩田昌彦, 山下精彦, 森山雄吉, 田中宣威, 田尻孝, 徳永昭, 伊藤誠二, 金徳栄, 古川清憲, 田代真一, 斎藤忠生, 鈴木英之 : [一般講演] 胃切除術後の胆石症手術例の検討. 第17回日本胆道外科研究会, 1988.
- 12) 大川共一 : [シンポジウム] 医療における安全とディスプレイ製品; ディスプロ製品と経済性. 第63回日本医科器械学会大会, 1988.
- 13) 伊藤誠二, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田尻孝, 金徳栄, 田代真一, 有馬保生 : [一般講演] 閉塞性黄疸に対する内視鏡的診断と治療. 第35回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 14) 鄭淳, 恩田昌彦 : [ワーク・ショップ] 食道静脈硬化化療法の長期予後食道静脈硬化化療法の予後向上への工夫; 特に各種基栓術との併用の有用性を中心として. 第35回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 15) 笹島耕二, 山下精彦 : [パネル・ディスカッション] 食道偽肉腫と扁平上皮癌の成長速度; 急速に進展したと考えられる消化器癌とその初期像. 第35回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 16) 山川達郎, 平井淳, 関戸仁 : [シンポジウム] 過去13年間の胆道鏡の経験, ことに診断の進歩について (主題: 胆・膵管鏡による診断の進歩). 第35回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 17) 京野昭二, 恩田昌彦, 山下精彦, 江上格, 田尻孝, 滝沢隆雄, 徳永昭, 金徳栄, 中島米治郎, 田代真一, 八木和

- 郎, 清水康仁, 瀬谷知子, 山本英明: [一般講演] 最近経験した興味ある小児・腹部鈍的外傷の2例. 第2回日本外傷研究会, 1988.
- 18) 安東俊明, 小田彰, 和田英理, 塩田吉宣, 谷口善郎, 高崎秀明(多摩永山病院救命救急センター): [一般講演] 多臓器不全をきたした熱中症の1例. 第25回日本救急医学会関東地方会, 1988.
 - 19) 京野昭二, 恩田昌彦, 吉葉昌彦, 山下精彦, 田尻孝, 徳永昭, 笹島耕二, 中島米治郎, 田代真一, 伊達治行, 橋本正好, 足立幹夫, 内藤善哉: [一般講演] 悪性サイクル症例の臨床・病理学的検討. 第51回胃癌研究会, 1988.
 - 20) 伊藤誠二, 恩田昌彦, 山下精彦, 森山雄吉, 田尻孝, 有馬保生, 岡崎滋樹, 京野昭二: [一般講演] 胆管癌の放射線治療経過を内視鏡的に観察しえた1例. 第46回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
 - 21) Yamakawa, T.: [一般講演] Routine postoperative cholangioscopy for management of retained biliary tract stones. International Congress on Surgical Endoscopy (Berlin), 1988.
 - 22) Tajiri, T., Onda, M., Yamashita, K., Sasajima, K., Kim, D. Y., Tei, J., Adachi, M. and Umehara, M.: [一般講演] Effect of combined endoscopic variceal embolization with other embolization therapies for gastro-esophageal varices. Surgical Endoscopy, Ultrasound, and Interventional Techniques, 1988.
 - 23) 橋本正好, 恩田昌彦, 田中宣威, 徳永昭, 古川清憲, 田代真一, 横井公良, 吉行俊郎, 清水康仁: [一般講演] 直腸 sm 癌局所切除症例の検討. 第29回大腸癌研究会, 1988.
 - 24) 田尻孝, 恩田昌彦, 山下精彦, 金徳栄, 鄭淳, 足立幹夫, 山田和人, 梅原松臣: [シンポジウム] 食道静脈瘤手術における肝障害と手術侵襲を考慮した手術適応基準. 第32回日本消化器外科学会総会, 1988.
 - 25) 西恵吾, 恩田昌彦, 徳永昭, 山下精彦, 森山雄吉, 田中宣威, 古川清憲, 松倉則夫, 内田英二, 吉行俊郎, 清水康仁, 木山輝郎: [一般講演] ヒト胃癌およびヌードマウス移植ヒト胃癌組織における Epidermal growth factor (EGF) の免疫組織化学. 第32回日本消化器外科学会総会, 1988.
 - 26) 横井公良, 恩田昌彦, 田中宣威, 森山雄吉, 徳永昭, 滝沢隆雄, 金徳栄, 古川清憲, 田代真一, 橋本正好, 清水康仁, 吉行俊郎: [一般講演] 教室における大腸癌再発の診断と治療. 第32回日本消化器外科学会総会, 1988.
 - 27) 吉田寛, 恩田昌彦, 田尻孝, 山下精彦, 金徳栄, 鄭淳, 足立幹夫, 山田和人, 鳥羽昌仁, 梅原松臣, 真々田裕宏: [一般講演] 教室における遠位脾腎静脈吻合術の経験. 第32回日本消化器外科学会総会, 1988.
 - 28) 京野昭二, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田中宣威, 滝沢隆雄, 徳永昭, 中島米治郎, 古川清憲, 田代真一, 横井公良, 鳥羽昌仁, 宮下正夫, 斎藤忠生, 鈴木英之, 林久太佳: [一般講演] 最近10年間の術後イレウスの検討. 第32回日本消化器外科学会総会, 1988.
 - 29) 斎藤忠生, 恩田昌彦, 古川清憲, 森山雄吉, 田中宣威, 田尻孝, 滝沢隆雄, 伊藤誠二, 中島米治郎, 田代真一, 鄭淳, 有馬保生, 中尾充, 山田昌彦, 鈴木英之, 石川紀行, 小林丈康: [一般講演] 細菌性腹膜炎の病態について. 第32回日本消化器外科学会総会, 1988.
 - 30) 内田英二, 恩田昌彦, 内藤善哉, 会田邦清, 山中洋一郎, 代田歳明, 高崎秀明, 伊達治行, 笹島耕二, 西恵吾, 徳永昭, 田尻孝, 江上格, 浅野伍朗¹⁾, 古川文夫, 高橋直人²⁾ (¹⁾第2病理, ²⁾国立衛試病理): [一般講演] 脾癌におけるエストロゲンおよびエストロゲンレセプター関連物質の免疫組織学的検討. 第19回日本脾臓学会, 1988.
 - 31) 八木和郎, 恩田昌彦, 吉葉昌彦, 山下精彦, 笹島耕二, 滝沢隆雄, 徳永昭, 伊藤誠二, 中島米治郎, 古川清憲, 田代真一, 京野昭二, 伊達治行, 有馬保生, 内田英二, 橋本正好, 横井公良, 中尾充, 足立幹夫, 鳥羽昌仁, 妻島昌平: [一般講演] 多発早期胃癌の一例. 第200回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
 - 32) 山川達郎, 平井淳: [シネカンファランス] 経皮経肝の胆管鏡. 第32回日本消化器外科学会総会, 1988.
 - 33) 斎藤美津雄, 山川達郎: [一般講演] 胆道内圧測定における減衰曲線定量化の試み. 第5回日本胆脾生理解機能研究会, 1988.

- 34) 伊藤誠二, 恩田昌彦: [シンポ関連演題] 胆道疾患に対する内視鏡的診断と治療. 第24回日本胆道学会総会, 1988.
- 35) 田中宣威, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田尻孝, 徳永昭, 滝沢隆雄, 田代真一, 伊藤誠二, 横井公良, 橋本正好, 有馬保生: [一般講演] 教室における胆石と大腸癌合併例および胆嚢摘除と大腸癌発生の関連性. 第24回日本胆道学会総会, 1988.
- 36) 平井淳, 山川達郎, 輦止勝麿, 小林俊介, 金子等, 斎藤美津雄, 関戸仁: [一般講演] PTBD の内瘻化における問題点. 第24回日本胆道学会総会, 1988.
- 37) Hayashi, T., Onda, M., Nishi, K., Toda, M., Yoshiyuki, T., Matsukura, N., Tokunaga, A., Tanaka, N. and Asano, G.: [展示] Immunohistochemical localization of Na, K-ATPase in human and rat. 8th International Congress of Histochemistry and Cytochemistry (Washington, D. C.), 1988.
- 38) Yoshiyuki, T., Onda, M., Tokunaga, A., Shimizu, Y., Hayashi, T., Nishi, K., Matsukura, N., Tanaka, N. and Asano, G.: [展示] Immunohistochemical demonstration of epidermal growth factor in human gastric cancer xenografts in nude mice. 8th International Congress of Histochemistry and Cytochemistry (Washington, D. C.), 1988.
- 39) Shimizu, Y., Onda, M., Tokunaga, A., Yoshiyuki, T., Nishi, K., Miyashita, M., Matsukura, N., Tanaka, N. and Asano, G.: [展示] Role of fibroblast on tumorigenicity of gastric cancer cells in nude mice. 8th International Congress of Histochemistry and Cytochemistry (Washington, D. C.), 1988.
- 40) Yoshimura, S. and Naoshi, K.¹⁾ (¹⁾National Children's Research Center): [一般講演] Effect of cyclosporin A on liver regeneration following partial hepatectomy in mice. XII International Congress of the Transplantation Society (Sydney), 1988.
- 41) Kamada, N.¹⁾, Yamaguchi, A.¹⁾, Ohkouchi, Y.¹⁾, Teramoto, K.¹⁾, Gotoh, S.¹⁾, Sumimoto, R.¹⁾, Yoshimura, S. and Baquarize, A.²⁾. (¹⁾National Children's Research Center, ²⁾U.C.L.A.): [一般講演] Long term enhancement of rat renal allograft by serum from liver grafted rats. XII International Congress of the Transplantation Society (Sydney), 1988.
- 42) 山中洋一郎, 横室茂樹, 中沢南堂, 浅野伍朗, 林哲弘, 内田英二, 笹島耕二, 田尻孝, 江上格, 恩田昌彦: [一般講演] 脾における Na⁺, K⁺-ATPase の局在に関する免疫組織化学的検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 43) 吉松信彦, 山本達也, 高井淳, 木内博之, 井出裕雄, 恩田昌彦: [一般講演] S 状結腸癌に併存した憩室の穿孔による汎発性腹膜炎の1例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 44) 沖浜裕司, 恩田昌彦, 山下精彦, 森山雄吉, 田尻孝, 滝沢隆雄, 金徳栄, 中島米治郎, 鄭淳, 松倉則夫, 山田和人, 京野昭二, 松田健, 松田範子, 梅原松臣, 吉田寛: [展示] 高圧酸素療法が有効であった肝不全症例について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 45) 吉田寛, 恩田昌彦, 田尻孝, 山下精彦, 金徳栄, 鄭淳, 足立幹夫, 山田和人, 鳥羽昌仁, 梅原松臣, 真々田裕宏: [展示] 教室の遠位脾腎静脈吻合術式の変遷. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 46) 有馬保生, 恩田昌彦, 山下精彦, 森山雄吉, 田中宣威, 田尻孝, 徳永昭, 伊藤誠二, 田代真一: [展示] 胃切除後胆石症. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 47) 伊達治行, 恩田昌彦, 山下精彦, 笹島耕二, 京野昭二, 内田英二, 八木和郎, 宮下次広: [展示] 超音波内視鏡 (EUS) による食道癌の外膜浸潤の診断. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 48) 京野昭二, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田中宣威, 滝沢隆雄, 徳永昭, 中島米治郎, 古川清憲, 田代真一, 横井公良, 内藤善哉, 斎藤忠生, 鈴木英之, 鴨井青龍¹⁾, 荒木勤¹⁾ (¹⁾付属病院産婦人科): [展示] 妊娠経過中に発症した癒着性イレウスの1例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 49) 木山輝郎, 恩田昌彦, 徳永昭, 吉行俊郎, 清水康仁, 西恵吾, 田中宣威, 莎其拉, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾第2病理): [展示] ヌードマウス可移植性ヒト胃癌の発育における性ステロイドホルモンの効果について. 第56回日本医科大学

医学会総会, 1988.

- 50) 和田雅世¹⁾, 羽尾邦彦¹⁾, 高井淳¹⁾, 的場文夫¹⁾, 吉行俊郎¹⁾, 笹島耕二, 山下精彦, 恩田昌彦, 田久保海峯²⁾ (¹⁾国立横須賀病院外科, ²⁾埼玉がんセンター研究所病理部): [展示] 食道小細胞性未分化癌の1例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 51) 斎藤忠生, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田中宣威, 田尻孝, 徳永昭, 滝沢隆雄, 伊藤誠二, 中島米治郎, 古川清憲, 田代英一, 鄭淳, 中尾充, 山田智彦, 鈴木英之, 小林丈康, 石川紀行: [展示] 急性腹膜炎の臨床的実験的検討; 特にEtを中心として. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 52) Yamakawa, T., Kaneko, H. and Fukuma, E.: [一般講演] Anti-tumor effect local and arterial injection of nimustine lipiodol suspension. 10th World Congress of Collegium International Chirurgiae Digestivae (Copenhagen), 1988.
- 53) 有馬保生, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田中宣威, 田尻孝, 伊藤誠二, 金徳栄, 古川清憲, 田代真一, 京野昭二, 横井公良, 八木和郎, 斎藤忠生, 鈴木英之: [一般講演] 閉塞性黄疸症例に対するPTCDの検討. 第11回日本腹部救急診療研究会, 1988.
- 54) 梅原松臣, 田尻孝, 吉田寛, 鳥羽昌仁, 足立幹夫, 鄭淳, 金徳栄, 山下精彦, 恩田昌彦: [一般講演] 食道静脈瘤に対する治療法の選択. 第21回日本門脈圧亢進症研究会, 1988.
- 55) 岡崎滋樹, 江上格, 中尾充, 渡辺章, 伊藤治行, 田代真一, 伊藤誠二, 古川清憲, 田尻孝, 森山雄吉, 恩田昌彦, 小林正文¹⁾ (¹⁾第3内科): [一般講演] 膵管胆道合流異常の手術と問題点. 第11回膵管, 胆道合流異常研究会, 1988.
- 56) 宮本昌之, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田尻孝, 伊藤誠二, 田代真一, 有馬保生, 岡崎滋樹, 中尾充: [一般講演] 総胆管巨大結石症の1例. 第201回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 57) Lte, T. S.¹⁾, Prei Binger, H. S.¹⁾, Yoshimura, S.¹⁾ and Hong, G. S.¹⁾ (¹⁾University of Bonn): [一般講演] Suppressor cell activity in hepatic regeneration. European Society for Surgical Research 23th Congress (Bologna), 1988.
- 58) 山口昌久¹⁾, 大河内康光¹⁾, 寺本研一¹⁾, 後藤茂¹⁾, 住元了¹⁾, 吉村成子, 鎌田直司¹⁾ (¹⁾国立小児病院小児医療研究センター実験外科): [ワークショップ] ラット肝移植血清移入 (Enhancement 効果) によってもたらされる免疫学的寛容機構の解析. 第24回日本移植学会総会, 1988.
- 59) 吉村成子, 福地久和¹⁾, 後藤茂¹⁾, 鎌田直司¹⁾ (¹⁾国立小児病院小児医療研究センター実験外科): [一般講演] ラット肝移植に伴う免疫学的寛容における脾細胞の解析. 第24回日本移植学会総会, 1988.
- 60) 後藤茂¹⁾, 吉村成子, 福地久和¹⁾, 鎌田直司¹⁾ (¹⁾国立小児病院小児医療研究センター実験外科): [一般講演] ラット肝移植において誘導される抑制活性を有する脾ガラス膠着性細胞の解析. 第24回日本移植学会総会, 1988.
- 61) 福地久和¹⁾, 吉村成子, 後藤茂¹⁾, 鎌田直司¹⁾ (¹⁾国立小児病院小児医療研究センター実験外科): [一般講演] ラット肝移植に伴う免疫学的寛容誘導における血清因子の解析. 第24回日本移植学会総会, 1988.
- 62) 大川共一: [一般講演] ディスポ製品の無駄使いについて. 第10回日本手術部医学会総会, 1988.
- 63) 大川共一: [一般講演] 手術用器械台カバーのディスポ化に関する研究. 第10回日本手術部医学会総会, 1988.
- 64) Nishi, K., Onda, M., Tokunaga, A., Yamashita, K., Tanaka, N., Miyashita, M. and Kiyama, T.: [シンポジウム] Results of screening studies for gastric cancer in Japan (Gastric cancer-some progress). International Symposium on Gastric Cancer (Nottingham), 1988.
- 65) Tokunaga, A., Onda, M., Tanaka, N., Matsukura, N., Nishi, K., Miyashita, M. and Kiyama, T.: [シンポジウム] Oestrogen receptor in gastric cancer and early results of endocrine treatment for gastric cancer (Gastric cancer-some progress). International Symposium on Gastric Cancer (Nottingham), 1988.
- 66) 徳永昭, 恩田昌彦, 山下精彦, 森山雄吉, 田中宣威, 松倉則夫, 京野昭二, 内田英二, 西恵吾, 清水康仁, 吉行

- 俊郎, 木山輝郎: [一般講演] 女性スキルス胃癌に対する内分泌治療の試み. 第26回日本癌治療学会, 1988.
- 67) 小林俊介, 金子等, 福岡英祐, 大滝修司, 宇井義典, 山川達郎, 高橋正純, 関戸仁: [一般講演] 制癌剤油脂懸濁液の直接的抗腫瘍効果に関する実験的, 臨床的検討. 第26回日本癌治療学会, 1988.
- 68) Nagai, T., Kurumado, K., Kanaya, H., Wada, H., Kusama, Y. and Yamakawa, T.: [一般講演] Clinicopathological changes of the biliary tract after bilioenterostomy in rats. The 8th Asian Pacific Congress of Gastroenterology (Seoul), 1988.
- 69) Yamakawa, T.: [一般講演] Transhepatic approach to malignant tumor of the biliary tract. The 8th Asian Pacific Congress of Digestive Endoscopy (Seoul), 1988.
- 70) 吉村成子, 後藤茂¹⁾, 福地久和¹⁾, 小林美和子, 鎌田直司¹⁾ (国立小児病院小児医療研究センター実験外科): [一般講演] ラット肝移植により誘導される抑制活性を有する脾のマクロファージの性状. 第18回日本免疫学会総会, 1988.
- 71) 住元了¹⁾, 吉村成子, 後藤茂¹⁾, 福地久和¹⁾, 小林美和子, 鎌田直司¹⁾ (国立小児病院小児医療研究センター実験外科): [一般講演] 肝移植ラット血清により誘導される免疫抑制機序の解析. 第2報 IL-2 receptor 発現の抑制について. 第18回日本免疫学会総会, 1988.
- 72) 田尻孝: [特別講演] 食道静脈瘤に対する各種基栓術と外科的治療. 第17回神奈川県消化器外科研究会, 1988.
- 73) 沖浜裕司, 恩田昌彦, 山下精彦, 森山雄吉, 田尻孝, 滝沢隆雄, 金徳栄, 中島米治郎, 鄭淳, 松倉則夫, 山田和人, 京野昭二, 松田健, 松田範子, 梅原松臣, 吉田寛: [一般講演] 高圧酸素療法が有効であった肝不全症例について. 第23回日本高気圧環境医学会総会, 1988.
- 74) 中川義宏, 恩田昌彦, 森山雄吉, 埴原忠良, 田中宣威, 徳永昭, 笹島耕二, 滝沢隆雄, 吉安正行, 古川清恵, 京野昭二, 松田範子, 宮下正夫: [一般講演] ガス壊疽患者に対する高圧酸素療法. 第23回日本高気圧環境医学会総会, 1988.
- 75) 金子等, 小林俊介, 山川達郎, 福岡英祐, 大滝修司, 宇井義典, 高橋正純, 草間泰夫: [一般講演] 制癌剤油脂懸濁液 nimustine-Lipiodol 液の肺転移抑制効果. 第47回日本癌学会総会, 1988.
- 76) 池田五十鈴¹⁾, 石坂幸人¹⁾, 田平知子¹⁾, 鈴木利光²⁾, 杉本徹³⁾, 杉村隆¹⁾, 長尾美奈子¹⁾ (国立ガンセンター研究所発がん研究部, ²⁾新潟大学医学部病理学部, ³⁾京都府立大小児科): [示説] ヒト神経芽細胞腫由来細胞株における *ret* オンコジンの発現. 第47回日本癌学会総会, 1988.
- 77) 田平知子¹⁾, 石坂幸人¹⁾, 池田五十鈴¹⁾, 杉村隆¹⁾, 長尾美奈子¹⁾ (国立ガンセンター研究所発がん研究部): [示説] 細胞分化と *proto-ret* の発現. 第47回日本癌学会総会, 1988.
- 78) 堺隆一¹⁾, 池田五十鈴¹⁾, 北川義徳¹⁾, 津田洋行²⁾, 伊東信行²⁾, 杉村隆¹⁾, 長尾美奈子¹⁾ (国立ガンセンター研究所発がん研究部, ²⁾名古屋大第1病理): [一般講演] *raf* オンコジンの活性化と肝発がんのメカニズム. 第47回日本癌学会総会, 1988.
- 79) 北川義徳¹⁾, 田平知子¹⁾, 池田五十鈴¹⁾, 菊池九二三²⁾, 立木尉²⁾, 杉村隆¹⁾, 長尾美奈子¹⁾ (国立ガンセンター研究所発がん研究部, ²⁾東北大抗酸菌研究所): [一般講演] ラット肝ホスファターゼ 2A 触媒サブユニットの cDNA クローニングと正常及びがん細胞におけるその発現. 第47回日本癌学会総会, 1988.
- 80) 羽尾邦彦, 和田雅世, 高井淳, 的場文夫, 古畑田哲彦: [一般講演] S 状結腸憩室炎による S 状結腸膀胱瘻の 1 例. 第43回国立病院療養所総合医学会, 1988.
- 81) 田平知子¹⁾, 石坂幸人¹⁾, 池田五十鈴¹⁾, 伊東文生¹⁾, 杉村隆¹⁾, 長尾美奈子¹⁾ (国立ガンセンター研究所発がん研究部): [一般講演] 神経芽細胞腫由来 *proto-ret* mRNA の構造と発現. 第11回日本分子生物学会年会, 1988.
- 82) 堺隆一¹⁾, 池田五十鈴¹⁾, 杉村隆¹⁾, 長尾美奈子¹⁾ (国立ガンセンター研究所発がん研究部): [一般講演] PCR 法を用いた腫瘍組織における *raf* 遺伝子変化の検索. 第11回日本分子生物学会年会, 1988.

- 83) 立花正徳, 斉藤誠, 吉田初雄, 岩波洋, 左近司光明, 坪井栄孝: [一般講演] 転移性肺腫瘍7手術例の検討. 第29回日本肺癌学会総会, 1988.
- 84) 岩波洋, 斉藤誠, 吉田初雄, 立花正徳, 左近司光明: [一般講演] 中葉原発肺癌切除例の検討. 第29回日本肺癌学会総会, 1988.
- 85) 横井公良, 恩田昌彦, 田中宣威, 森山雄吉, 徳永昭, 滝沢隆雄, 古川清憲, 田代真一, 橋本正好, 小林丈泰, 石川紀行: [ワークショップ] 若年者大腸癌手術症例の検討. 第43回日本大腸肛門病学会総会, 1988.
- 86) 京野昭二, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田中宣威, 滝沢隆雄, 徳永昭, 中島米治郎, 古川清憲, 田代真一, 横井公良, 八木和郎, 斎藤忠生, 鈴木英之, 石川紀行, 宮本昌仁: [一般講演] 術後イレウスに対する再手術時期. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
- 87) 鳥羽昌仁, 恩田昌彦, 山下精彦, 森山雄吉, 田中宣威, 田尻孝, 滝沢隆雄, 徳永昭, 中島米治郎, 古川清憲, 足立幹夫, 伊達治行, 京野昭二, 横井公良, 橋本正好, 有馬保生: [一般講演] 癌治療経過中に併発した胃・十二指腸潰瘍穿孔症例の検討. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
- 88) 深沢信吾, 山川達郎, 仲野明, 鬼頭文彦¹⁾, 土屋周二(横浜市大2外): [ワークショップ] Methyl Tertiary Butyl Ether (MTBE) を用いた胆石症の溶解実験; 術前 CT と超音波所見よりみた結石の溶解性. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
- 89) 山田和人, 恩田昌彦, 田尻孝, 古川清憲, 斎藤忠生, 鈴木英之, 石川紀行, 小林丈泰, 神田佳和¹⁾, 吉野芳夫¹⁾ (第2生化): [一般講演] エンドトキシンにより誘導されるロイニトリエン C₄ に対するビタミン A の抑制作用. 第8回エンドトキシン研究会, 1988.
- 90) 鈴木英之, 恩田昌彦, 田中宣威, 古川清憲, 田代真一, 中尾充, 宮下正夫, 鳥羽昌仁, 安東俊明, 斎藤忠生, 石川紀行, 小林丈泰, 渡辺学: [一般講演] エンドトキシンと CoQ₁₀; 白血球機能を中心として. 第8回エンドトキシン臨床研究会, 1988.
- 91) 京野昭二, 恩田昌彦, 吉葉昌彦, 山下精彦, 田尻孝, 徳永昭, 中島米治郎, 伊藤誠二, 伊達治行, 有馬保生, 橋本正好, 横井公良, 岡崎滋樹, 鳥羽昌仁, 八木和郎: [一般講演] 胃粘膜下病変に対する超音波内視鏡の有用性. とくに胃癌の深達度と粘膜下腫瘍の診断について. 第47回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 92) 飯泉成司, 平井淳, 永井哲志, 山川達郎, 藤田賢一: [一般講演] 吸引装置付き細径胆道ファイバースコープ (CHF-P₁₀KAI) の使用経験. 第36回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 93) 本田拓, 山川達郎, 金子等, 斎藤美津雄, 大滝修司, 永井哲志, 金谷洋: [一般講演] 経皮経肝的エンドプロトローゼ用チューブの問題点; 長期留置症例の検討から. 第36回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 94) 山本達也, 吉松信彦, 高井淳, 中島米治郎, 井出裕雄, 恩田昌彦, 木内博之: [一般講演] 術前確定診断が困難であった大腸癌併発クローン病の1例. 第202回消化器病学会関東地方会, 1988.
- 95) 江上格, 内田英二, 恩田昌彦: [一般講演] 膵癌の超音波診断と pitfalls. 第53回日本超音波医学会総会, 1988.
- 96) 伊達治行, 恩田昌彦, 山下精彦, 田尻孝, 笹島耕二, 京野昭二, 有馬保生, 宮下次広: [一般講演] 超音波内視鏡 (EUS) による食道癌の外膜浸潤; とくに外膜浸潤の程度の判定について. 第53回研究発表会日本超音波医学会, 1988.
- 97) Yamakawa, T.: [一般講演] Percutaneous transhepatic cholangioscopy and endoprosthesis in extrahepatic bile duct obstruction. 14th Annual Postgraduate Course in Surgery (Philippines), 1988.
- 98) 左近司光明, 立花正徳, 斉藤誠, 坪井栄孝: [一般講演] 胸膜中皮腫5例の検討. 第5回日本呼吸器外科学会総会, 1988.
- 99) 立花正徳, 斉藤誠, 成田久仁夫, 岩波洋, 左近司光明, 坪井栄孝: [一般講演] 気管支鏡からみた気管支形成術症例の検討. 第12回日本気管支学会, 1988.

- 100) 小川芳雄, 齊藤誠, 吉田初雄, 立花正徳, 岩波洋, 左近司光明: [一般講演] 術前に診断可能であった胆石によるイレウスの1例. 第277回福島医学会学術研究集会, 1988.
- 101) 横山滋彦, 恩田昌彦, 山下精彦, 徳永昭, 古川清憲, 京野昭二, 横井公良, 鳥羽昌仁, 安東俊明, 八木和郎: [一般講演] 吐血を主訴とした胃平滑筋腫の一例. 第202回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 102) 小林匡, 恩田昌彦, 森山雄吉, 滝沢隆生, 中島米治郎, 古川清憲, 京野昭二, 橋本正好, 岡崎滋樹, 中尾充, 安東俊明, 石川紀行, 山中洋一郎, 相本隆幸: [一般講演] 最近経験した膵による小腸穿孔の2例. 第731回外科集談会プログラム, 1988.
- 103) 吉松信彦, 山本達也, 高井淳, 中島米治郎, 井出裕雄, 木内博之, 恩田昌彦: [一般講演] S字状結腸癌の口側に併存した憩室の穿孔による汎発性腹膜炎の1例. 第731回外科集談会, 1988.
- 104) 中尾充, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田中宣威, 田尻孝, 徳永昭, 滝沢隆雄, 古川清憲, 田代真一, 山田和人, 鳥羽昌仁, 宮下正夫, 斎藤忠生, 鈴木英之, 石川紀行, 小林丈泰, 渡辺学: [一般講演] 消化器外科領域に於けるエンドトキシン血症とMOF. 第1回日本外科感染症研究会, 1988.
- 105) 足立幹夫, 恩田昌彦, 山下精彦, 田尻孝, 金徳栄, 鄭淳, 内田英二, 梅原松臣, 吉田寛, 牧野浩司, 杜正陽: [一般講演] 内視鏡的塞栓療法(E.E)後, 食道狭窄を来したが食道Dilator(ブジー)により狭窄の改善のみられた一例. 第7回食道静脈瘤硬化療法研究会, 1989.
- 106) 石川紀行, 恩田昌彦, 田中宣威, 古川清憲, 田代真一, 山田和人, 中尾充, 斎藤忠生, 鈴木英之, 小林丈泰: [一般講演] 好中球機能に及ぼす腸内菌叢の影響. ノートバイオロジー学会, 1989.
- 107) 水谷宗, 恩田昌彦, 山下精彦, 森山雄吉, 田中宣威, 徳永昭, 足立幹夫, 京野昭二, 渡辺章, 上田光孝, 鳥羽昌仁, 野村務, 牧野浩二, 西久保秀紀, 野村武夫¹⁾, 桑原哲夫¹⁾, 三宅弘一¹⁾ (¹⁾第3内科): [一般講演] 真性赤血球増加症に合併した胃癌の1例. 第203回日本消化器病学会関東地方会, 1989.
- 108) 西恵吾, 恩田昌彦, 徳永昭, 山下精彦, 森山雄吉, 田中宣威, 吉行俊郎, 清水康仁, 木山輝郎: [一般講演] 胃癌におけるEGF (Epidermal growth factor) およびEGF R (Epidermal growth factor receptor) の発現. 第33回日本消化器外科学会, 1989.
- 109) 永井哲志, 鞆勝勝磨, 山川達郎: [一般講演] 総胆管腸管吻合ラットによる胆道拡張に関する実験的研究. 第33回日本消化器外科学会総会, 1989.
- 110) 木山輝郎, 恩田昌彦, 徳永昭, 山下精彦, 森山雄吉, 田中宣威, 西恵吾, 吉行俊郎, 清水康仁, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾第2病理): [展示] ヒト胃癌における術前血清CEA値とヌードマウス可移植性との関連. 第33回日本消化器外科学会総会, 1989.
- 111) 上田光孝, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田中宣威, 徳永昭, 古川清憲, 田代真一, 京野昭二, 横井公良: [一般講演] 大腸癌イレウス手術症例の検討. 第30回大腸癌研究会, 1989.
- 112) 木山輝郎, 恩田昌彦, 徳永昭, 吉行俊郎, 清水康仁, 西恵吾, 八木和郎, 京野昭二, 松倉則夫, 田中宣威, 森山雄吉, 山下精彦: [展示] 胃癌組織の形態と機能の関連; Laurén分類と各種マーカーの出現. 第52回胃癌研究会, 1989.
- 113) 吉村成子, 後藤茂¹⁾, 福地久和¹⁾, 小林美和子, 鎌田直司¹⁾ (¹⁾国立小児病院小児医療研究センター実験外科): [一般講演] ラット肝移植により誘導される免疫学的寛容状態のメカニズム; 各種免疫系細胞の解析. 第12回北里研究所肝臓研究センター研究会, 1989.
- 114) 小林美和子, 吉村成子, 福地久和¹⁾, 後藤茂¹⁾, 鎌田直司¹⁾ (¹⁾国立小児病院小児医療研究センター実験外科): [一般講演] ラット肝移植により誘導される免疫学的寛容状態のメカニズム; 血清成分の解析. 第12回北里研究所肝臓研究センター研究会, 1989.
- 115) Tajiri, T., Onda, M., Umehara, M., Yohshida, H., Yamashita, Y., Kim, D. Y., Tei, J., Adachi, M., Yamada, K., Toba,

- M., Hayashi, H., Mamada, Y. and Aoki, N.: [一般講演] Procedural device for maintenance of choledoch selectivity in distal splenohepatic shunt. 7th Congress of the Asian Surgical Association (Perang, Malaysia), 1989.
- 116) Yokomuro, S., Onda, M., Ito, S., Kim, D. Y., Arima, Y., Toba, M., Yagi, K., Nakagawa, Y. and Tanai, N.: [一般講演] Clinical efficacy of radiotherapy on bile duct carcinoma. 7th Congress of the Asian Surgical Association (Perang, Malaysia), 1989.
- 117) Yamakawa, T.: [一般講演] Clinical significance of percutaneous transhepatic cholangioscopy for management of intrahepatic lithiasis. 7th Congress of the Asian Surgical Association (Perang, Malaysia), 1989.
- 118) Honda, H., Yamakawa, T. and Samaru, Y.¹⁾ (¹⁾東大医科研): [一般講演] A clinical study of phytohemagglutinin (PHA)-induced lymphocytes transformation for cancer-bearing patients using a whole blood culture method. 7th Congress of the Asian Surgical Association (Perang, Malaysia), 1989.
- 119) 田尻孝, 恩田昌彦, 梅原松臣, 吉田寛, 山下精彦, 金徳栄, 鄭淳, 足立幹夫, 鳥羽昌仁: [パネルディスカッション] 食道静脈瘤破裂の緊急止血について; 特に緊急塞栓術の有用性について. 第89回日本外科学会総会, 1989.
- 120) 沖浜裕司, 恩田昌彦, 森山雄吉, 滝沢隆雄, 中島米治郎, 古川清憲, 京野昭二, 林久太佳: [一般講演] Prostaglandin-E₂ とバパベリンの小腸粘膜・筋層血流分布への効果. 第89回日本外科学会総会, 1989.
- 121) 山中洋一郎, 恩田昌彦, 内田英二, 横室茂樹, 林哲弘, 笹島耕二, 田尻孝, 江上格, 中沢南堂, 浅野伍朗: [一般講演] 脾における Na⁺, K⁺-ATPase の局在に関する免疫組織化学的検討. 第89回日本外科学会総会, 1989.
- 122) 加藤俊二, 恩田昌彦, 田尻孝, 金徳栄, 吉村成子, 梅原松臣, 小林美和子, 吉田寛: [一般講演] 各種臓器に対する抗癌剤投与方法の検討; mitomycin C-DNA 付加体の消長を中心として. 第89回日本外科学会総会, 1989.
- 123) 大滝修司, 金子等, 宇井義典, 福岡英祐, 小林俊介, 山川達郎: [一般講演] 制癌剤油脂懸濁液を用いた胃癌の内視鏡的治療に関する研究. 第89回日本外科学会総会, 1989.
- 124) 木山輝郎, 恩田昌彦, 徳永昭, 山下精彦, 森山雄吉, 田中宣威, 西恵吾, 吉行俊郎, 清水康仁, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾第2病理): [展示] ヒト胃癌における術前血清 CEA 値とヌードマウス可移植性との関連. 第89回日本外科学会総会, 1989.
- 125) 中島米治郎, 恩田昌彦, 沖浜裕司, 森山雄吉, 滝沢隆雄, 古川清憲, 田代真一, 京野昭二, 齊藤忠生, 鈴木英之: [ポスター] 血行再開後の虚血腸管における不可逆的組織障害の発生に関する実験的研究. 第89回日本外科学会総会, 1989.
- 126) 吉村成子, 小林美和子, 福地久和¹⁾, 後藤茂¹⁾, 鎌田直司¹⁾, 金徳栄, 恩田昌彦 (¹⁾国立小児病院, 小児医療研究センター, 実験外科): [展示] ラット肝移植により誘導される免疫学的寛容機序に関する実験的検討. 第89回日本外科学会総会, 1989.
- 127) 田久保海峯, 笹島耕二, 山下精彦: [一般講演] 食道原発未分化癌の4例. 第78回日本病理学会総会, 1989.
- 128) 山中洋一郎, 矢島幹久, 平良敦史, 鈴木恒道, 浅野伍朗, 田辺義博, 野村武夫, 恩田昌彦: [展示] 急性骨髄性白血病に *Trichosporon beigellii* 感染症を併発した1剖検例. 第78回日本病理学会総会, 1989.
- 129) 金雅辰, 恩田昌彦, 山下精彦, 森山雄吉, 田中宣威, 滝沢隆雄, 徳永昭, 古川清憲, 京野昭二, 有馬保生, 沖浜裕司, 鳥羽昌仁, 安東俊明, 八木和郎, 水谷崇, 菊池俊雄, 奥田武志, 堀場光二, 相本隆幸: [一般講演] 小腸アニサキス・イレウス症例について. 第732回外科集談会, 1989.
- 130) 高井淳, 加藤俊二, 高田月彦, 中島米治郎, 井出裕雄, 杉崎祐一, 吉松信彦, 山本達也, 恩田昌彦: [一般講演] 組織診断に苦慮したS字状結腸における悪性神経鞘腫の1例. 第732回外科集談会, 1989.
- 131) 牧野浩司, 恩田昌彦, 山下精彦, 森山雄吉, 田中宣威, 田尻孝, 滝沢隆雄, 徳永昭, 中島米治郎, 古川清憲, 足立幹夫, 京野昭二, 有馬保生, 鳥羽昌仁, 八木和郎, 安東俊明: [一般講演] 悪性腫瘍治療経過中に発生した, 胃十二指腸穿孔の検討. 第12回日本腹部救急診療研究会, 1989.

- 132) 谷合信彦, 恩田昌彦, 山下精彦, 田尻孝, 徳永昭, 伊藤誠二, 橋本正好, 有馬保生, 宮本昌仁, 水谷崇, 西久保秀紀, 相本隆幸, 奥田武志: [一般講演] 胃悪性リンパ腫による消化管穿孔の一例. 第12回日本腹部救急診療研究会, 1989.
- 133) 飯田信也, 恩田昌彦, 江上格, 田尻孝, 滝沢隆雄, 笹島耕二, 金徳栄, 京野昭二, 吉村成子, 小川芳雄, 吉田寛, 瀬谷知子, 小林美和子, 真々田裕宏, 堀場光二: [一般講演] 腹部鈍的外傷による小児肝破裂の一例. 第12回日本腹部救急診療研究会, 1989.
- 134) 相本隆幸, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田中宣威, 滝沢隆雄, 徳永昭, 古川清憲, 京野昭二, 横井公良, 有馬保生, 沖浜裕司, 鳥羽昌仁, 安東俊明, 水谷崇, 菊池俊雄, 奥田武志, 堀場光二: [一般講演] 開腹既往のない小腸イレウス手術症例の検討. 第12回日本腹部救急診療研究会, 1989.

[多摩永山病院外科]

研究概要

- 1) 当科における最近の消化器疾患の治療成績(急性胆嚢炎の治療, 消化管手術症例における術後肝障害の検討)をまとめて, 多摩消化器シンポジウムにおいて報告した.
- 2) 前年度に引き続き, 乳腺外来において, 迅速穿刺吸引細胞診の症例を加え検討しており, 乳癌の早期診断と治療に良好な成績がえられている.
- 3) 潰瘍性大腸炎に対する5-ASA注腸療法の治療効果について, 引き続き検討している.

研究業績

論文

- 1) 安東俊明, 吉岡正智, 田中洋介, 和田勲武, 細井通則, 鳥羽昌仁, 八木和郎, 的場文夫, 恩田昌彦: [臨床研究] 急性胆嚢炎・胆管炎における手術時期の臨床的検討. 腹部救急診療の進歩, 8, 239~243, 1988.
- 2) 吉岡正智, 田中洋介, 和田勲武, 鳥羽昌仁, 安東俊明, 八木和郎, 前田昭太郎, 恩田昌彦: [症例報告] 診断ならびに治療に難渋した良性胆管狭窄の2症例. 胆道, 2, 186~194, 1988.
- 3) 田中洋介, 吉岡正智, 伊達治行, 安東俊明, 上田光孝, 鳥羽昌仁, 樋口勝美, 八木和郎: [原著] 胃十二指腸潰瘍手術症例の臨床的検討. 多摩消シンボ誌, 2, 69~75, 1988.
- 4) 吉岡正智: [症例報告] 自然排出した総胆管結石の1例. 消外, 11, 1895, 1988.
- 5) 田中洋介, 吉岡正智, 山田和人, 安東俊明, 樋口勝美, 鳥羽昌仁, 八木和郎, 上田光孝: [原著] 急性胆嚢炎の治療; 手術時期を中心にした臨床的検討. 多摩消シンボ誌, 3, 64~69, 1989.

学会発表

- 1) 田中洋介, 吉岡正智, 安東俊明, 樋口勝美, 鳥羽昌仁, 八木和郎, 上田光孝: [シンポジウム] 急性胆嚢炎の治療; 手術時期を中心にした臨床的検討. 第4回多摩消化器シンポジウム, 1988.
- 2) 高田月彦, 吉岡正智, 田中洋介, 山田和人, 樋口勝美, 上田光孝, 増森興治, 山田智彦, 前田昭太郎¹⁾ (多摩永山病院病理): [一般講演] 腸重積により緊急手術された小腸悪性腫瘍の一例. 第36回城西外科研究会, 1988.
- 3) 増森興治, 吉岡正智, 田中洋介, 山田和人, 樋口勝美, 上田光孝, 山田智彦, 高田月彦, 前田昭太郎¹⁾ (多摩永山病院病理): [一般講演] 十二指腸狭窄症状を呈した糞線虫症の一例. 第36回城西外科研究会, 1988.
- 4) 山田智彦¹⁾, 小田彰¹⁾, 和田英理¹⁾, 吉岡正智, 塩田吉宜, 安東俊明, 谷口善郎 (多摩永山病院救命救急センター): [一般講演] 多彩な病態を呈した多発外傷の一例. 第36回城西外科研究会, 1988.
- 5) 山田智彦, 吉岡正智, 田中洋介, 山田和人, 樋口勝美, 上田光孝, 増森興治, 高田月彦, 恩田昌彦¹⁾ (第1外

- 科)：〔一般講演〕急性胆嚢炎手術症例の検討；手術時期を中心に。第32回日本消化器外科学会総会，1988。
- 6) 田中洋介，吉岡正智，山田和人，塩田吉宜，谷口善郎，樋口勝美，山田智彦，増森興治，高田月彦：〔シンポジウム〕消化管手術症例における術後肝障害の検討。第5回多摩消化器シンポジウム，1988。
- 7) 増森興治，吉岡正智，田中洋介，山田和人，鳥羽昌仁，樋口勝美，谷口善郎，塩田吉宜，山田智彦，高田月彦，前田昭太郎¹⁾，恩田昌彦²⁾ (¹⁾多摩永山病院病理，²⁾第1外科)：〔展示〕十二指腸狭窄症状を呈した糞線虫症の1例。第56回日本医大医学会総会，1988。
- 8) 高田月彦，吉岡正智，田中洋介，山田和人，樋口勝美，谷口善郎，塩田吉宜，増森興治，山田智彦，多田裕美子¹⁾，前田昭太郎²⁾，恩田昌彦³⁾ (¹⁾多摩永山病院内科，²⁾同病理，³⁾第1外科)：〔展示〕出血性ショックに陥った十二指腸平滑筋腫の1例。第56回日本医大医学会総会，1988。
- 9) 谷口善郎，吉岡正智，田中洋介，山田和人，樋口勝美，塩田吉宜，山田智彦，増森興治，高田月彦：〔一般講演〕当科における高齢者手術症例の検討。第37回城西外科研究会，1988。
- 10) 高田月彦，吉岡正智，田中洋介，山田和人，上田光孝，樋口勝美，増森興治，山田智彦，前田昭太郎¹⁾，恩田昌彦²⁾ (¹⁾多摩永山病院病理，²⁾第1外科)：〔展示〕小腸重積症を惹起した回腸癌の1例。第30回日本消化器病学会総会，1988。
- 11) 樋口勝美，吉岡正智，田中洋介，山田和人，上田光孝，山田智彦，高田月彦，増森興治，前田昭太郎¹⁾，大塚俊司¹⁾，杉山佳世子¹⁾，恩田昌彦²⁾ (¹⁾多摩永山病院病理，²⁾第1外科)：〔一般講演〕乳腺腫瘍に対する穿刺吸引細胞診（迅速診断）の臨床的検討（第2報）。第50回日本臨床外科医学会，1988。
- 12) 塩田吉宜，吉岡正智，田中洋介，内田英二，樋口勝美，谷口善郎，増森興治，氏原康之，山口裕通：〔一般講演〕末期癌に有効であった化学療法の検討。第38回城西外科研究会，1989。

10. 第二外科学講座

[第一病院外科・付属病院胸部外科]

研究概要

第2外科学講座は、第一病院においては脳外科以外のすべての外科疾患を診療、教育、研究の対象としており、付属病院では胸部心臓血管疾患を主な対象としている。第二病院外科も第2外科学教室に属するが別に記載する。

1)心臓外科：先天性心疾患の病態生理、治療、後天性心疾患は弁置換術、虚血性心疾患の外科が主な研究、治療の対象である。IABP補助循環に関する診療、研究は本学集中治療室との共同により優れた成果を得ている。また不整脈の外科治療も研究、診療の主要テーマであり、国内の水準をリードしている。

2)血管外科：大動脈瘤、特に解離性大動脈瘤に対する治療成績の向上は著しい。新しい人工血管、補助心臓、ペースメーカーなどME、人工臓器に関する研究もすすめられており、臨床応用も次第に拡大発展しつつある。

3)甲状腺外科：当科甲状腺外来における患者数は増加の一途をたどり現在1日50人前後が受診する。手術は甲状腺癌、良性腺腫、バセドウ病など週2例程で上皮小体の手術も増加しており、保存的治療の患者も含めてこれらを主体とした内分泌疾患の総合的診療を行っている。

4)肺外科：肺癌の手術例は急速に増加し、特に胸部外科では年間40例を越え、その他良性腫瘍、化膿症、血管異常など興味ある症例が増加している。研究テーマとしては進行癌に対する拡大根治手術とともに臨床病理科と共同で集学的治療の効果も検討している。

5)食道外科：主に第一病院にて診療研究がなされ手術適応例においては粘膜下造影所見と外膜浸潤の対比、リンパ流の方向、初期例あるいは全身状態の悪い者に対する非開胸法、不適例には内視鏡的挿管法などが研究されている。

6)胃腸外科：教室の伝統的テーマであるイレウスの研究は経管栄養、腸内細菌叢に関するものが現在の主なものである。胃癌大腸癌の根治手術法にも工夫が加えられている。

7)肝臓外科：肝臓癌は可能な限り広汎切除を行い原発性だけでなく転移性でも根治の可能性があれば積極的に切除する。切除不適例には門注、持続動注療法を行う。

8)乳腺外科：乳腺患者は増加し各病期で手術・化学・放射線治療の併用を行い他施設との共同研究を続けている。

研究業績

論文

- 1) 宮入健：〔原著〕胃切除術後における骨ミネラル量の推移。日臨外医学会誌，48，759～765，1987。
- 2) 高橋真佐司：〔原著〕制癌剤マイクロカプセルの基礎的研究その血管塞栓効果と徐放効果。日外会誌，89，684～693，1988。
- 3) 田中茂夫，斎藤文明，榊原重泰，二宮淳一，松山謙，小坂真一，浅野哲雄，三枝直紀，加治正弘，池下正敏，庄司佑：〔原著〕呼吸代謝機能よりみた各種レート応答型ペースメーカー（RRPM）の心拍応答状況の比較。人工臓器，17，1196～1199，1988。
- 4) 二宮淳一，師田哲郎，原口秀司，加治正弘，三枝直紀，森岡晴記，山内茂生，浅野哲雄，庄司佑：〔原著〕拍動流体外循環の乳幼児開心術における心機能に及ぼす影響。人工臓器，17，1284～1287，1988。
- 5) 二宮淳一，山内茂生，森岡晴記，三枝直紀，原口秀司，小坂真一，庄司佑，能勢之彦，相沢猛：〔原著〕肺高血圧を伴った高度右心不全に対する右心バイパス時の拍動流と非拍動流の比較検討。人工臓器，17，943～946，1988。
- 6) 小坂真一，池下正敏，二宮淳一，藤本正信，田村浩一，原田厚，浅野哲雄，田中茂夫，庄司佑：〔原著〕僧帽弁

- 位における monostrut Bjork-Shiley 弁の血行導態及び臨床的評価. 人工臓器, 17, 1170~1173, 1988.
- 7) 小坂真一, 池下正敏, 森岡晴記, 山内茂生, 鈴木敏克, 三枝直紀, 五味測誠, 田中茂夫, 庄司佑:〔原著〕混合静脈血の温度変化による rate-responseive pacemaker の臨床使用経験. 人工臓器, 17, 1187~1191, 1988.
 - 8) 森岡晴記, 二宮淳一, 山内茂生, 三枝直紀, 林晃一, 庄司佑:〔原著〕急性左心不全に対する心拍同期式流量補助可能な balloon pumping 法の効果. 人工臓器, 17, 933~936, 1988.
 - 9) 加治正弘, 三枝直紀, 松山謙, 浅野哲雄, 榊原重泰, 池下正敏, 田中茂夫, 庄司佑:〔原著〕O₂ サブライデマンドレシオよりみた各種ペースングモードの比較検討. 人工臓器, 17, 1222~1223, 1988.
 - 10) 田中茂夫:〔原著〕ペースメーカー植え込みの適応. Heart Nursing, 2, 586~590, 1988.
 - 11) 笹井巧¹⁾, 土屋了介¹⁾, 宮沢直人¹⁾, 成毛韶夫¹⁾, 米山武志¹⁾, 末舛恵一¹⁾, 小泉潔, 山手昇 (¹⁾国立がんセンター外科):〔原著〕肺癌手術後の乳摩胸の治療. 日胸外会誌, 36, 1044~1018, 1988.
 - 12) 小泉潔, 山手昇, 五味測誠, 笹井巧, 富士崎隆, 塩田晶彦, 川木雅司, 加治正弘, 庄司佑:〔原著〕原発性肺癌切除例の肺血管外水分量に関する研究. 日胸外会誌, 36, 1339~1346, 1988.
 - 13) 天神敏博:〔原著〕Browodeoxyuridine 標識による細胞動態の解析;特にアドリアマイシンの影響について. 日癌治療会誌, 23, 1623~1632, 1988.
 - 14) 小山寿雄:〔原著〕マイクロ波サーモグラフィの乳腺疾患診断への応用と診断基準作製についての検討. 日臨外医会誌, 49, 1487~1494, 1988.
 - 15) 笹井巧, 森岡晴記, 川本雅司, 塩田晶彦, 家所良夫, 若林武雄, 宇部宮英敏, 富士崎隆, 小泉潔, 五味測誠, 日置正文, 向井佐志彦, 田中茂夫, 山手昇, 庄司佑:〔原著〕転移性肺腫瘍の外科治療, 予後因子の検討. 呼吸器外科, 2, 243~249, 1988.
 - 16) 三宅弘章:〔原著〕肺癌におけるランゲルハンス系細胞の出現とその意義について. 肺癌, 28, 849~855, 1988.
 - 17) Nikolio, S., Vellin, E. L., Tamura, K., Vetter, H., Tamura, T., Meisner, J. S. and Frater, R. W. M.:〔原著〕Passive properties of canine left ventricle; Diastolic stiffness and restoring forces. Circ. Res., 62, 1210~1222, 1988.
 - 18) 二宮淳一, 庄司佑, 田中茂夫, 田村浩一¹⁾, 野一色泰晴²⁾ (¹⁾病理, ²⁾岡山大学リハビリテーション外科):〔原著〕心臓血管外科への Nd-YAG レーザーの応用;その基礎と臨床. 日レーザー医会誌, 9, 1988.
 - 19) 未田結美¹⁾, 坂本なつ子¹⁾, 三上崑美子¹⁾, 馬越正通 (¹⁾第一病院中央手術室):〔原著〕手術室における新人教育について. 日手術部医会誌, 9, 327~330, 1988.
 - 20) Umakoshi, M., Shibuya, T. and Oba, H.:〔原著〕Die chirurgische Behandlung des Magenfrühkarzinoms. Verdaungs-krankheiten Jahrgang, 6, 86~88, 1988.
 - 21) 天神敏博:〔原著〕Bromodeoxyuridine 標識による細胞動態の解析;特にアドリアマイシンの影響について. 日癌治療会誌, 1123~1632, 1988.
 - 22) Osaka, S., Barratt-Boyes, B. G.¹⁾, Brandt, P.W.T.¹⁾, Korri, Whitlock, R.M.L.¹⁾ (¹⁾Green Lane 病院):〔原著〕Early and late results of re-operation for coronary artery disease; A 13 year experience. Aust. NZJ Surg., 58, 537~541, 1988.
 - 23) 鈴木章一, 熊井良司, 須田雍夫, 高山昇二郎, 関根毅, 藤田吉四郎:〔報告〕胃原発性非上皮性悪性腫瘍の検討. 埼玉医会誌, 23, 361~366, 1988.
 - 24) 為我井芳郎, 佐藤薫隆 (佼成病院):〔原著〕Blind Loop Syndrome における消化吸収障害の病態. 消化と吸収, 11, 67~70, 1988.
 - 25) 庄司佑, 池下正敏:〔原著〕不整脈の外科治療. 診断と治療, 77, 325~327, 1989.
 - 26) 二宮淳一, 庄司佑, 山手昇, 松島伸治, 塩田晶彦, 児玉行弘:〔原著〕Ringed expanded polytetra-fluoroethylene による上大静脈血管再建術の実験的研究. 日外会誌, 90, 114~119, 1989.

- 27) 二宮淳一, 庄司佑, 田中茂夫, 富士崎隆, 三枝直紀, 山内茂生, 佐々木建志, 田村浩一, 林晃一, 本田二郎, 野一色泰晴:〔原著〕Laser welding の研究;特に人工血管吻合の可能性について. 人工臓器, 18, 414~416, 1989.
- 28) 長浜充二, 金内秀士, 小川泰史, 斉藤節, 北村裕, 北俊典, 田中良明, 庄司佑:〔原著〕十全大補湯 (TJ-48) と免疫機能. Progress of Medicine, 9, 838~841, 1989.
- 29) 林載鳳¹⁾, 中村真己, 松村壕晃, 林雄三²⁾, 渋谷哲男³⁾, 竹田裕久³⁾ (¹⁾吉田総合病院外科, ²⁾安佐市民病院病理部, ³⁾第2病理):〔原著〕姉弟に発症した Crohn 病の2例. 臨床外科, 44, 399~403, 1989.
- 30) 関根毅, 鈴木章一, 須田雍夫:〔原著〕高齢者直腸癌治療切除例の検討;臨床病理学的成績と遠隔成績を中心に. 日消外会誌, 22, 819~825, 1989.
- 31) 斉藤文明, 田中茂夫, 庄司佑:〔原著〕ペースメーカー植込み症例の長期予後に関する研究. 心臓ペースング, 5, 120~129, 1989.
- 32) 庄司佑, 田中茂夫:〔総説〕Coronary Revascularization の歴史と現況. 胸部外科, 41, 681~693, 1988.
- 33) 小金沢滋:〔総説〕痔核に対する非手術的療法. 消外, 11, 1853~1854, 1988.
- 34) 田中茂夫:〔総説〕ペースメーカー療法の進歩;レート応答型ペースメーカー. Ther. Res., 9, 1415, 1988.
- 35) 池下正敏, 庄司佑:〔総説〕不整脈の外科治療;特に頻脈に対する手術法の実際. 治療, 70, 2384~2386, 1988.
- 36) 田中茂夫:〔総説〕Rate responsive pacemaker の機構と使用経験. 循環器科, 21, 479, 1988.
- 37) 庄司佑, 田中茂夫:〔総説〕生理的ペースメーカー;とくにレート応答型ペースングの臨床. 病態生理, 8, 130, 1989.
- 38) 田中茂夫:〔総説〕最近の不整脈の治療. カレントセラピー, 7, 336~398, 1989.
- 39) 岩下清志, 川村一彦¹⁾ (¹⁾栃木県県南総合病院外科):〔症例報告〕腸重積を合併しイレウス症状を呈した虫垂粘液嚢胞の1例. 日臨外医会誌, 49, 321~324, 1988.
- 40) 鈴木章一, 田久保海誉, 須田雍夫, 高山昇二郎, 関根毅, 藤田吉四郎:〔症例報告〕異所3重複癌の2例. 日臨外医会誌, 23, 656~660, 1988.
- 41) 笹井巧, 小泉潔, 松島伸治, 五味測誠, 山手昇, 庄司佑:〔症例報告〕腫瘤影呈した肺放射菌症の1手術例. 日胸外会誌, 36, 277~280, 1988.
- 42) 広本雅之, 津島秀史, 日下部輝夫, 高橋正人:〔症例報告〕左横隔膜弛緩に伴う出血性胃潰瘍合併胃軸捻症の1例. 日臨外医会誌, 49, 1418~1423, 1988.
- 43) 渡辺秀裕, 大場英己, 馬越正通, 庄司佑:〔症例報告〕急性気腫性胆嚢炎の1例. 日消外会誌, 21, 2164~2167, 1988.
- 44) 川本雅司, 田中茂夫, 庄司佑, 早川弘一¹⁾, 馬杉洋三²⁾, 山手昇³⁾ (¹⁾第1内科, ²⁾第1病理, ³⁾聖マリアンナ大3外):〔症例報告〕穿孔を伴った僧帽弁瘤の1例. 日臨外医会誌, 50, 85~90, 1989.
- 45) 日置正文, 宇都宮英敏, 若林武雄, 武井裕, 家所良夫, 庄司佑, 三宅弘章, 福田悠:〔症例報告〕原発性右室横紋筋肉腫の1例. 胸部外科, 42, 65~69, 1989.
- 46) 笹井巧, 榊原重泰, 加治正弘, 新田隆, 田中茂夫, 庄司佑:〔症例報告〕Fungus ball 様のX線像を呈した胸腔内異物の1例. 胸部外科, 42, 138~140, 1989.
- 47) 五味測誠, 森岡晴記, 田村浩一, 小坂真一, 池下正敏, 山手昇, 庄司佑:〔症例報告〕浸潤型胸腺腫の拡大手術. 手術, 43, 229~234, 1989.
- 48) 五味測誠, 山手昇, 小泉潔, 笹井巧, 庄司佑, 川村一彦:〔症例報告〕気管支原発粘表皮癌の2治療例. 肺癌, 28, 393~397, 1988.
- 49) 外園久芳, 佐藤薫隆, 為我井芳郎, 池上雅博:〔症例報告〕食道と胃の同時性早期重複癌の1例. Gastroenterol. Endosc., 31, 428~435, 1989.

- 50) 秋丸琥甫, 吉川厚, 渋谷哲男, 馬越正通, 庄司佑: [症例報告] 胃ファイバースコープを用いた胃瘻造設の経験. 消化, 12, 515~517, 1989.

著 書

- 1) 二宮淳一: [分担] 第2章 ME 機器編 C. 手術用機器, ヤグレーザー. “手術室で用いられる機器設備マニュアル” (都築正和 監修, 小野哲章 編集), p. 195~206, メディカ出版, 1988.
- 2) 庄司佑, 田中茂夫: [分担] 植込み型除細動器. “循環器疾患最新の治療 '88-'89” (安田寿一, 杉本恒明 編), p. 306~308, 南江堂, 1988.
- 3) 佐藤薫隆 (佼成病院): [分担] 短腸症候群. “消化吸収不良の臨床” (笹川力, 平塚秀雄, 和田四郎, 正宗研 編), p. 232~252, 永井書店, 1988.
- 4) 佐藤薫隆 (佼成病院): [分担] 腸管癒着症 Intestinal Adhesion Syndrome. “今日の治療指針1989年版”, p. 374~375, 医学書院, 1989.

学会発表

- 1) 高橋望, 竹田裕之, 天神敏博, 浅野伍郎¹⁾, 庄司佑, (¹⁾第2病理): [一般講演] 胃癌の発育様式と間質成分の動態に関する免疫組織化学的検討. 第88回日本外科学会総会, 1988.
- 2) 田中茂夫, 加治正弘, 三枝直紀, 佐々木建志, 小坂真一, 松山謙, 浅野哲雄, 斉藤文明, 榊原重泰, 池下正敏, 山手昇, 庄司佑: [一般講演] DDD および心拍応答型ペースメーカ; (RR-PM) の選択に関する検討. 第88回日本外科学会総会, 1988.
- 3) 浅野哲雄, Damiano, R. J.¹⁾, Sabiston, D. C.¹⁾, 山手昇, 庄司佑 (¹⁾米国 DUKE 大学): [一般講演] Fontan 術後右心不全の治療; 各種ペーシングの肺血流への効果について. 第88回日本外科学会総会, 1988.
- 4) 二宮淳一, 庄司佑, 山手昇, 田中茂夫, 萩原俊彦, 浅野哲雄, 佐々木建志, 山内茂生, 森岡晴記, 加治正弘, 原口秀司, 師田哲郎: [一般講演] 心機能・代謝の面よりみた乳幼児開心術における拍動流体外循環の検討. 第88回日本外科学会総会, 1988.
- 5) 三枝直紀, 二宮淳一, 山内茂生, 森岡晴記, 佐々木建志, 山手昇, 庄司佑, 能勢元彦¹⁾ (¹⁾クリーブランドクリニック人工臓器部): [示説] 心室中隔梗塞を伴った高度右心不全に対する右心バイパス法の研究. 第88回日本外科学会総会, 1988.
- 6) 田中茂夫, 佐々木建志, 加治正弘, 五味測誠, 池下哲雄, 浅野哲雄, 小坂真一, 庄司佑: [一般講演] 呼吸代謝能の運動負荷による変化の検討. 第27回日本 ME 学会, 1988.
- 7) 加治正弘, 佐々木建志, 浅野哲雄, 小坂真一, 池下正敏, 田中茂夫, 庄司佑: [一般講演] 左心機能評価法としての SDR 測定装置の開発. 第27回日本 ME 学会, 1988.
- 8) 五味測誠, 師田哲郎, 森岡晴記, 富士崎隆, 笹井巧, 山手昇¹⁾, 庄司佑 (¹⁾聖マリアンナ医大第3外科): [一般講演] 肺切除術々後の心肺機能. 第28回日本胸部疾患学会, 1988.
- 9) 真崎義隆, 藤松利浩, 川村一彦¹⁾ (¹⁾栃木県南総合病院外科): [一般講演] 両側転移性腎腫瘍に対し, エコーガイド下にて OK-432 大量局注により著効を示した1例. 第14回栃木県癌治療懇話会, 1988.
- 10) 藤松利浩, 真崎義隆, 川村一彦¹⁾ (¹⁾栃木県南総合病院外科): [一般講演] 再発甲状腺癌による気管狭窄に対して OK-432 局所注入が著効を示した一例. 第14回栃木県癌治療懇話会, 1988.
- 11) 石川仁¹⁾, 鈴木章一, 須田雍夫¹⁾, 関根毅¹⁾, 武内脩¹⁾, 田中洋一¹⁾ (¹⁾埼玉がんセンター): [一般講演] 同時性胆道系重複癌の4症例. 第199回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 12) 広本雅之¹⁾, 津島秀史¹⁾, 日下部輝夫¹⁾, 高橋正 (¹⁾日下部病院): [一般講演] 原発性びまん浸潤型大腸腺扁平

- 上皮癌の1例。第199回日本消化器病学会関東地方会，1988.
- 13) 川村一彦¹⁾，真崎義隆，藤松利浩（¹⁾栃木県南総合病院外科）：〔一般講演〕左乳腺と胆嚢にみられた同時性重複癌の1例。第199回日本消化器病学会関東地方会，1988.
 - 14) 池下正敏，矢島俊己，山手昇，庄司佑，田中茂夫，浅野哲雄¹⁾，維田隆夫¹⁾，宇都宮英敏¹⁾，榊原重之¹⁾，原田厚¹⁾，林田実¹⁾，佐々木建志¹⁾（¹⁾榊原記念病院）：〔一般講演〕心筋梗塞に合併する心室頻拍の外科治療。第52回日本循環器学会総会，1988.
 - 15) 清野精彦¹⁾，島井新一郎¹⁾，雪吹周生¹⁾，長江安洋¹⁾，田中啓治¹⁾，加藤貴雄¹⁾，高野照夫¹⁾，早川弘一¹⁾，田中茂夫（¹⁾第1内科）：〔展示〕Rate responsive pacingにおける心房機能の重要性について。第52回日本循環器学会総会，1988.
 - 16) 日置正文，武井裕，池下正敏，浅野哲雄，原田厚，庄司佑，家所良夫：〔展示〕小児WPW症候群の外科治療。第25回日本小児外科学会総会，1988.
 - 17) 佐藤俊彦¹⁾，斉木名執¹⁾，五十嵐義晃¹⁾，加藤正¹⁾，加藤富三¹⁾，加藤秀和，家所良夫，武井裕，庄司佑，横田淳一²⁾（¹⁾第一病院放射線科，²⁾東芝那須CT技術部）：〔一般講演〕MRIおよびMRIシネモードが術前診断に有用であった解離性大動脈瘤の1例。日本医大医学会第65回例会，1988.
 - 18) 塩田晶彦，杉本忠彦，佐々木建志，小泉潔，五味測誠，松島伸治，田中茂夫，庄司佑：〔一般講演〕開胸術後の胸壁疼痛に対する肋間神経ブロックの応用；特に石炭酸ブロックと凍結ブロックとの比較。日本医大医学会第65回例会，1988.
 - 19) 小林毅之¹⁾，横山和子¹⁾，小林薫（¹⁾麻酔科）：〔一般講演〕扁桃摘出術中に悪性局熱症を発症した1例。日本医大医学会第65回例会，1988.
 - 20) 村上裕亜，福田悠¹⁾，益田幸成¹⁾，石崎正通¹⁾，馬杉洋三¹⁾，庄司佑（¹⁾第1病理）：〔一般講演〕気管上皮擦過後の上皮再成；電顕的，免疫組織化学的検索。第77回日本病理学会総会，1988.
 - 21) 為我井芳郎，佐藤薫隆（佼成病院）：〔一般講演〕大腸ポリペクトミー後経過追跡例の検討。第35回日本消化器内視鏡学会総会，1988.
 - 22) 清野精彦¹⁾，高野照夫¹⁾，早川弘一¹⁾，田中茂夫（¹⁾第1内科）：〔シンポジウム〕生理的ペースングの左室収縮・拡張動態と神経内分泌動態に関する検討；心拍応答機能と心房心室興奮同期の重要性。第3回日本心臓ペースング学会，1988.
 - 23) 小坂真一，田中茂夫，池下正敏，大堀久男，庄司佑：〔一般講演〕ペースメーカーの交換理由と交換時期の決定について。第3回日本心臓ペースング学会，1988.
 - 24) 小坂真一，田中茂夫，池下正敏，榊原重泰，加治正弘，庄司佑：〔一般講演〕経静脈ペースメーカー植込み後遠隔期のペースング閾値，心内波高，抵抗値の経時的変化。第3回日本心臓ペースング学会，1988.
 - 25) 新田隆，池下正敏，矢島俊己，原田厚，浅野哲雄，田中茂夫，山手昇，庄司佑，村田実¹⁾，維田隆夫¹⁾，榊原高之¹⁾（¹⁾榊原記念病院）：〔一般講演〕虚血性心室頻拍に対する術式の選択。第3回日本心臓ペースング学会，1988.
 - 26) 矢島俊己，新田隆，原田厚，浅野哲雄，池下正敏，山手昇，庄司佑：〔一般講演〕心筋梗塞急性期に発生する心室性不整脈に対する心内膜Lugol液塗布法に関する検討。第3回日本心臓ペースング学会，1988.
 - 27) 加治正弘，佐々木建志，浅野哲雄，原田厚，家所良夫，池下正敏，田中茂夫，山手昇，庄司佑，榊原重泰¹⁾（¹⁾海老名総合病院外科）：〔一般講演〕高周波アブレーションによる実験的A-Vブロック作製法。第3回日本心臓ペースング学会，1988.
 - 28) 清野精彦¹⁾，雪吹周生¹⁾，島井新一郎¹⁾，田中啓治¹⁾，加藤貴雄¹⁾，高野照夫¹⁾，早川弘一¹⁾，田中茂夫（¹⁾集中治療室）：〔一般講演〕Rate responsive pacingにおける房室同期の重要性について；運動負荷左室収縮・拡張動態と血中心房性利尿ペプチド，cyclic nucleotidesの分析。第3回日本心臓ペースング学会，1988.
 - 29) Ikeshita, M., Yamate, N., Tanaka, S., Asano, T., Hashimoto, K., Harada, A. and Shoji, T.: 〔一般講演〕New techni-

que for low energy ablation of his bundle. North American Society of Pacing and Electrophysiology 9th Annual Scientific Session, 1988.

- 30) 秋丸琥甫, 庄司佑: [一般講演] 剖検にて遺残胸腺腫を認めた胸腺摘除後重症筋無力症発症の1例. 第7回胸腺研究会, 1988.
- 31) 五味淵誠, 福島孝男, 杉本忠彦, 笹井巧, 萩原俊彦, 二宮淳一, 田中茂夫, 庄司佑: [一般講演] 大静脈内浸潤と頸部リンパ節転移を示した浸潤型胸腺腫症例の拡大手術経験. 第7回胸腺研究会, 1988.
- 32) 秋丸琥甫, 斉藤節, 内山喜一郎, 大場英己, 渋谷哲男, 馬越正通, 金内秀士, 庄司佑: [一般講演] Subcutaneous portal and arterial reservoirs for chemotherapy of 34 nonresectable liver carcinoma. 第13回日本外科学系連合学会学術集会(国際セッション), 1988.
- 33) 中村聡, 常本実, 太田喜義, 島田宗洋: [一般講演] 重複大動脈弓を伴ったファロー四徴症の1手術治験例. 第66回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1988.
- 34) 原口秀司, 西村伝志¹⁾, 山本光伸¹⁾, 出雲俊久²⁾, 高山昇二郎²⁾ (¹⁾埼玉がんセンター胸外, ²⁾同病理部): [一般講演] キャッスルマン腫瘍の1切除例. 第66回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1988.
- 35) 中野秀昭¹⁾, 維田隆夫, 新田隆, 万納寺栄一¹⁾, 川瀬光彦¹⁾, 龍野勝彦¹⁾, 榊原高之¹⁾, 村田実²⁾ (¹⁾榊原記念病院外科, ²⁾同内科): [一般講演] Catheter ablation が不成功だった右室流出路源性若年性心室頻拍に対する1手術治例. 第66回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1988.
- 36) 中村聡¹⁾, 島田宗洋¹⁾, 長島直樹¹⁾, 山内仁紫, 太田喜義¹⁾, 常本実¹⁾, 香坂隆夫²⁾, 中山雅之²⁾, 野々山恵章²⁾, 宮坂勝之³⁾ (¹⁾国立小児病院心臓血管外科, ²⁾同小児医療センター免疫研究室, ³⁾同麻酔科): [一般講演] 開心術におけるリンパ球の functional subsets の変動. 第66回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1988.
- 37) 五味淵誠, 福島孝男, 杉本忠彦, 森岡晴記, 富士崎隆, 笹井巧, 松島伸治, 田中茂夫, 山手昇, 庄司佑: [一般講演] 肺切除の酸素摂取能に及ぼす影響. 第5回日本呼吸器外科学会, 1988.
- 38) 五味淵誠・小坂真一, 師田哲郎, 森岡晴記, 川本雅司, 小泉潔, 池下正敏, 山手昇, 庄司佑: [一般講演] 上大静脈再建例の検討. 第5回日本呼吸器外科学会, 1988.
- 39) 小泉潔, 川本雅司, 塩田晶彦, 佐々木建志, 若林武雄, 小坂真一, 松島伸治, 五味淵誠, 山手昇, 田中茂夫, 庄司佑, 田村浩一: [一般講演] 気管・気管支形成術後合併症の検討. 第5回日本呼吸器外科学会, 1988.
- 40) 笹井巧, 森岡晴記, 川本雅司, 塩田晶彦, 家所良夫, 宇都宮英敏, 若林武雄, 富士崎隆, 小泉潔, 五味淵誠, 松島伸治, 日置正文, 山手昇, 庄司佑: [一般講演] 転移性肺腫瘍手術後4年以上生存例と1年以内死亡例の検討. 第5回日本呼吸器外科学会, 1988.
- 41) 川村一彦, 真崎義隆¹⁾, 藤松利浩¹⁾ (¹⁾栃木県県南総合病院外科): [一般講演] 胃全摘後小腸大量切除の一治験例. 第729回外科集談会, 1988.
- 42) 真崎義隆¹⁾, 川村一彦, 藤松利浩¹⁾, 森岡晴記¹⁾ (¹⁾栃木県県南総合病院外科): [一般講演] 小腸広範切除の二治験例について. 第72回栃木県臨床外科集談会, 1988.
- 43) 三田茂, 岩田好文, 岡本弘子, 鈴木隆, 小松原登, 佐藤薫隆(佼成病院): [一般講演] 胃潰瘍の経過観察中に出現した double plorus の1例. 第46回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 44) 田中洋一¹⁾, 平田泰¹⁾, 鈴木章一, 須田雍夫¹⁾, 藤田吉四郎¹⁾ (¹⁾埼玉がんセンター): [一般講演] 食道癌における壁内転移と多発癌の検討. 第32回日本消化器外科学会総会, 1988.
- 45) 向井佐志彦¹⁾, 除光永, 佐藤薫隆¹⁾, 北浜秀男, 井出道也¹⁾, 長浜充二, 小山寿雄, 辻順行 (¹⁾佼成病院): [一般講演] 高齢者特に心疾患合併例の消化器手術における Swan-Ganz monitoring の臨床的意義. 第32回日本消化器外科学会総会, 1988.
- 46) 馬越正通, 白石敦, 渋谷哲男, 渋谷純一, 大場英己, 庄司佑, 秋丸琥甫: [一般講演] イレウスの保存的治

- 療；5日間以上の吸引療法施行例の検討。第32回日本消化器外科学会総会，1988.
- 47) 佐藤健，桧山護¹⁾，田中清一¹⁾，藤本武利¹⁾，渡辺一彦，平塚秀雄¹⁾（¹⁾平塚病院）：〔一般講演〕脾十二指腸切除術における脾空腸吻合の工夫。第32回日本消化器外科学会総会，1988.
 - 48) 井出道也¹⁾，陳光永，佐藤薫隆¹⁾，北浜秀男，向井佐志彦，長浜充二，小山寿雄，辻順行（¹⁾佼成病院）：〔示説〕大腸進行癌に併行した壁内転移と思われるⅡ。+Ⅱ。型癌病巣の検討。第32回日本消化器外科学会総会，1988.
 - 49) 藤本武利¹⁾，桧山護¹⁾，佐藤健，渡辺一彦，平塚秀雄¹⁾（¹⁾平塚胃腸病院）：〔示説-展示〕比較的大きな嚢胞で構成された脾漿液性嚢胞腺腫の3切除例。第32回消化器外科学会総会，1988.
 - 50) 二宮淳一：〔一般講演〕小児僧帽弁閉鎖不全症の外科治療上の問題点。第24回日本小児循環器学会総会，1988.
 - 51) 為我井芳郎，佐藤薫隆（佼成病院）：〔シンポジウム〕“各種病態下における消化吸收障害” Blind loop syndrome における消化吸收障害の病態。第19回日本消化吸收学会，1988.
 - 52) 坂本俊樹，馬淵綾子¹⁾，横室公三¹⁾，厨信一郎²⁾，庄司佑（¹⁾微生物・免疫，²⁾第3内科）：〔一般講演〕初代培養肝細胞のCSF産生能と肝再生に伴う造血系の変動。第24回日本肝臓学会総会，1988.
 - 53) 川村一彦¹⁾，真崎義隆，森岡晴記（¹⁾栃木県南総合病院外科）：〔一般講演〕出血性胆嚢炎の1治療例。第200回日本消化器病学会関東地方会，1988.
 - 54) 為我井芳郎¹⁾，佐藤薫隆¹⁾，向井佐志彦¹⁾，小山寿雄，井出道也，三宅弘章，陳光永，北浜秀男，辻順行，小松原登（¹⁾佼成病院）：〔一般講演〕大きさ1cm以下の大腸早期癌の臨床病理学的検討。第29回大腸癌研究会，1988.
 - 55) 鈴木章一，関根毅，須田雍夫，武内脩，田中洋一，内田健二，石川仁，平田泰，藤田吉四郎：〔一般講演〕直腸の早期癌に対する手術々式選択の検討。第29回大腸癌研究会，1988.
 - 56) Ninomiya, J., Shoji, T., Yamate, N., Tanaka, S., Tamura, K., Fujimoto, M. and Daikuzono, N.: 〔一般講演〕 Transluminal laser ablation of endocardium and HIS bundle. International Nd:YAG Laser Symposium, 1988.
 - 57) Ninomiya, J., Shoji, T., Yamate, N., Tanaka, S., Fujisaki, T., Saegusa, N., Sasaki, K., Tamura, K., Noishiki, Y., Fujimoto, M. and Daikuzono, N.: 〔一般講演〕 Heparinized biological vascular graft anastomosis by Nd:YAG Laser. International Nd:YAG Laser Symposium, 1988.
 - 58) 相沢猛¹⁾，二宮淳一，庄司佑，能勢元彦²⁾（¹⁾日機装，²⁾クリーブランドクリニック）：〔一般講演〕補助循環用超小型ポータブル遠心ポンプの開発とその性能評価。第26回日本人工臓器学会総会，1988.
 - 59) 杉本忠彦，池下正敏，加治正弘，田中茂夫，佐々木建志，庄司佑，矢島俊己，宇都宮英敏¹⁾，田中啓治¹⁾，浅野哲雄¹⁾，高野照夫¹⁾（¹⁾集中治療室）：〔一般講演〕心筋酸素需要バランス（SDR）測定装置の開発と臨床応用。第26回日本人工臓器学会総会，1988.
 - 60) 二宮淳一，佐々木建志，庄司佑，田村浩一，田中茂夫，林晃一，富士崎隆，本田二郎，三枝直紀，野一色泰晴¹⁾，山内茂生¹⁾（¹⁾岡山大）：〔一般講演〕Laserweldingの研究；特に人工血管吻合の可能性について。第26回日本人工臓器学会総会，1988.
 - 61) 新田隆，田中茂夫，池下正敏，浅野哲雄，小泉潔，宇都宮英敏，佐々木建志，原田厚，矢島俊己，杉本忠彦，庄司佑：〔一般講演〕虚血性心室頻拍に対して chemical ablation（ルゴール液塗布）を併用した1手術経験。第67回日本胸部外科学会関東甲信越地方会，1988.
 - 62) 崔禎浩¹⁾，堀場公¹⁾，中野秀昭¹⁾，竜野勝彦¹⁾，維田隆夫，川瀬光彦¹⁾，菊池利夫¹⁾，榊原高之¹⁾，万納寺栄一¹⁾，酒井成年²⁾，高橋幸宏¹⁾（¹⁾榊原記念病院外科，²⁾聖マリアンナ医大形成外科）：〔一般講演〕大胸筋有茎皮弁移植によりCABG後の難治性感染性縦隔膜炎を治癒せしめた1例。第67回日本胸部外科学会関東甲信越地方会，1988.
 - 63) 原口秀司，西村仁志¹⁾，山本光伸¹⁾（¹⁾埼玉がんセンター胸部外科）：〔一般講演〕再発胸腺腫3例。第67回日本胸部外科学会関東甲信越地方会，1988.
 - 64) 増本弘¹⁾，万納寺栄一¹⁾，維田隆夫，原田厚，方栄治²⁾，村田実²⁾（¹⁾榊原記念病院外科，²⁾同内科）：〔一般講演〕

- 高度心機能障害を伴った腹部大動脈瘤の1手術治験例. 第67回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1988.
- 65) 田中昌彦, 秋丸琥甫, 大場英己, 馬越正通, 庄司佑: [一般講演] 失血性ショックを伴った肝巨大血管腫に対する分割手術の経験. 第11回日本腹部救急診療研究会, 1988.
- 66) 増田栄, 秋丸琥甫, 大坂信太郎, 後藤慎介, 田中昌彦¹⁾, 小熊将之¹⁾, 日置正文¹⁾, 渋谷哲男, 金内秀士, 庄司佑, 川村一彦¹⁾ (¹⁾栃木県県南総合病院): [一般講演] 門脈合併切除例の臨床的検討. 第56回日本医大医学会総会, 1988.
- 67) 真崎義隆, 川村一彦¹⁾, 森岡晴記, 藤松利浩 (¹⁾栃木県県南総合病院外科): [一般講演] 小腸広範切除術後の問題点. 第56回日本医大医学会総会, 1988.
- 68) 花牟礼康生¹⁾, 角田誠之¹⁾, 松久威史¹⁾, 伊藤正秀¹⁾, 大島博¹⁾, 馬越正通 (¹⁾第一病院内視鏡科): [展示] 最近経験した大腸若年性ポリープの1例. 第56回日本医大医学会総会, 1988.
- 69) 野村信夫¹⁾, 松井南¹⁾, 石崎良太郎¹⁾, 小山美弥²⁾, 横田隆²⁾, 大綱弘²⁾, 秋丸琥甫, 金内秀士, 庄司佑, 中神義三³⁾ (¹⁾日本獣医畜産大分子腫瘍学研究室, ²⁾老人病研究所, ³⁾第一病院泌尿器科): [一般講演] “核内癌遺伝子”の関連遺伝子のcDNAクローニングの構造解析. 第56回日本医大医学会総会, 1988.
- 70) 佐藤薫隆¹⁾, 北浜秀男, 為我井芳郎¹⁾, 辻順行, 向井佐志彦¹⁾, 三宅弘章, 井出道也, 北川亘, 陳光司 (佼成病院): [一般講演] 小腸粘膜の形態学的, 酸素学的所見からみた Blind Loop Syndrome の病態. 第56回日本医大医学会総会, 1988.
- 71) 原田厚: [海外留学者講演] 心房細動への外科的アプローチ. 第56回日本医大医学会総会, 1988.
- 72) 小金澤滋¹⁾, 高柳佳司¹⁾, 木村俊仁, 木村謙一¹⁾ (¹⁾木村病院大腸肛門病センター): [一般講演] 小肛門外科の諸問題. 第56回日本医大医学会総会, 1988.
- 73) 葉山修陽¹⁾, 大園英一¹⁾, 荒井龍彦¹⁾, 原一男¹⁾, 赫彰郎¹⁾, 清水一雄, 庄司佑, 栗原怜²⁾, 河辺満彦²⁾, 米島秀夫²⁾ (¹⁾第一病院人工透析室, ²⁾春日部秀和病院腎内科): [一般講演] 腎性上皮小体機能亢進症7例の経験. 第56回日本医大医学会総会, 1988.
- 74) 百来比左¹⁾, 白井洋司¹⁾, 大久保正智¹⁾, 塩原正純¹⁾, 梅田敏彦¹⁾, 文入正敏¹⁾, 五味測誠, 浅野哲雄, 田中茂夫, 久吉隆郎²⁾, 平井真実²⁾, 三樹勝²⁾ (¹⁾形成外科, ²⁾第二病院外科): [展示] 胸壁再建術; 皮弁の選択について. 第56回日本医大医学部総会, 1988.
- 75) 浅野哲雄, 萩原俊彦, 加治正弘, 矢島俊己, 宇都宮英敏, 松山謙, 二宮淳一, 池下正敏, 田中茂夫, 庄司佑, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾ (¹⁾集中治療室): [一般講演] 急性心筋梗塞合併症の外科治療. 第56回日本医大医学部総会, 1988.
- 76) 松島伸治: [海外留学講演] 肺移植における肺保存法の実験的研究. 第56回日本医大医学部総会, 1988.
- 77) 秋丸琥甫, 秀嶋周, 北浜秀男, 渡辺一彦, 金内秀士, 庄司佑, 野村信夫¹⁾, 石崎良太郎¹⁾ (¹⁾日本獣医畜産大分子腫瘍): [一般講演] 神経芽細胞腫の N-myc 遺伝子増幅と予後との関連性について. 第47回日本癌学会総会, 1988.
- 78) 齊藤節, 田中宏治, 秋丸琥甫, 金内秀士, 大坂信太郎, 庄司佑, 田中昌彦: [一般講演] 切除不能肝癌の皮下レザボアによる局所化学療法の治療成績. 第47回日本癌学会総会, 1988.
- 79) Kunieda, T., Kanauchi, S., Matsui, M., Shoji, T., Ohami, H., Nomura, N., Akimaru, K., Ishizaki, R., Inomichi, T. and Nakagami, Y.: [一般講演] A novel form of activated RET gene isolated from NIH3T3 cells transformed by human DNA. 第47回日本癌学会総会. 1988.
- 80) 川村一彦¹⁾, 真崎義隆, 森岡晴記 (¹⁾栃木県県南総合病院): [一般講演] 大腸炎および上行・下行結腸に憩室を呈した消化管アシロイドシスの1例. 第201回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 81) 竹吉泉¹⁾, 鈴木章一, 平田泰¹⁾, 関根毅¹⁾, 須田雍夫¹⁾, 藤田吉四郎¹⁾ (¹⁾埼玉がんセンター): [一般講演] 多発小腸転移, 両側副腎転移を来した肺癌の1例. 第201回日本消化器病学会関東地方会, 1988.

- 82) 内田健二¹⁾, 須田雍夫¹⁾, 関根毅¹⁾, 武内脩¹⁾, 田中洋一¹⁾, 石井仁¹⁾, 鈴木章一 (1)埼玉がんセンター) : [一般講演] 早期胃癌の粘膜面の広がりとリンパ節転移について. 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 83) 鈴木章一, 須田雍夫¹⁾, 関根毅¹⁾, 武内脩¹⁾, 田中洋一¹⁾ (1)埼玉がんセンター) : [一般講演] 化療施行期間からみた切除胃癌の遠隔成績. 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 84) 渡辺秀裕, 須田雍夫¹⁾, 原栄一¹⁾, 島村香也子¹⁾, 小林康人¹⁾ (1)埼玉がんセンター) : [一般講演] 胃癌症例における胃壁の薬物代謝酵素 P448について. 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 85) 石川仁¹⁾, 関根毅¹⁾, 須田雍夫¹⁾, 武内脩¹⁾, 田中洋一¹⁾, 内田健二¹⁾, 鈴木章一 (1)埼玉がんセンター) : [一般講演] 直腸癌に対する補助化学療法を検討. 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 86) 田中昌彦, 松井聡, 田中宏治, 秋丸琥甫, 布施修一, 金内秀士, 小林薫, 庄司佑 : [一般講演] 切除不能肝癌に対する interleukin 2 の局所持続投与療法. 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 87) 斉藤節, 大場英己, 秋丸琥甫, 渋谷哲男, 田中昌彦, 馬越正通, 大坂信太郎, 金内秀士, 田中宏治, 庄司佑 : [一般講演] 切除不能肝癌に対する皮下レザボアを用いた門注動注化学療法の治療成績. 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 88) 松島伸治, 小泉潔, 五味潤誠, 浅野哲雄, 池下正敏, 田中茂夫, 庄司佑, Mortefue, C. M.¹⁾, Veith, F. J.¹⁾ (1)アルバートアインスタイン大学) : [一般講演] Rat 摘出肺保存法および保存効果の評価. 第24回日本移植学会総会, 1988.
- 89) 鈴木章一, 石川仁, 竹吉泉, 平田泰, 内田健二, 田中洋一, 武内脩, 関根毅, 須田雍夫 : [ポスター] 膽管合流異常を伴う先天性胆管拡張症に合併した総胆管多発癌の一例. 第11回日本胆管胆道合流異常研究会, 1988.
- 90) 川村一彦¹⁾, 真崎義隆, 森岡晴記 (1)栃木県南総合病院外科) : [一般講演] 全結腸切除を必要とした壊死型虚血性大腸炎の1例. 第730回外科集談会, 1988.
- 91) 川村一彦¹⁾, 真崎義隆, 森岡晴記 (1)栃木県南総合病院外科) : [一般講演] 肝切除の臨床的検討. 第28回全国国保地域医療学会, 1988.
- 92) Yamakawa, T., Karumado, K., Kaneko, H., Kobayashi, S., Hirai, A., Saito, M.¹⁾, Fukuma, K., Iizumi, S., Ui, Y., Naai, T. and Sato, N. (1)第2外科) : [一般講演] Clinical significance of cholangioscopy in diagnosis of biliary tract diseases. VI European Congress of Digestive Endoscopy, 1988.
- 93) Lucas, J. N.¹⁾, Tenjin, T., Straume, T.¹⁾, Pinkel, D.¹⁾ and Gray, J. W.¹⁾ (1)Lawrence Livermore National Laboratory, Livermore, Ca.) : [一般講演] Radiation dosimetry using fluorescence hybridization with specific probes for human chromosomes. Society for Analytical Cytology Meeting, Breckenridge, Colorado, 1988.
- 94) 井出道也, 佐藤薫隆¹⁾, 向井佐志彦¹⁾, 為我井芳郎¹⁾, 三宅弘幸, 陳光家, 北浜秀男, 辻順行, 北川亘 (1)佼成病院) : [一般講演] 人間ドックにおける大腸癌早期発見の検討. 第6回大腸検査法研究集会, 1988.
- 95) 庄司佑 : [特別講演] 不整脈の外科治療. 第41回日本胸部外科学会総会, 1988.
- 96) 家所良夫, 武井裕, 林晃一, 秋丸琥甫, 日置正文, 庄司佑 : [一般講演] 肺手術症例における術後急性期不整脈の検討. 第41回日本胸部外科学会総会, 1988.
- 97) 加治正弘, 原田厚, 佐々木建志, 浅野哲雄, 新田隆, 矢島俊己, 家所良夫, 池下正敏, 二宮淳一, 田中茂夫, 庄司佑, 田村浩一¹⁾, 榊原重泰²⁾, 笹井巧²⁾ (1)病理, 2)海老名病院) : [一般講演] 高周波アブレーションによる実験的 A-V ブロック作製. 第41回日本胸部外科学会総会, 1988.
- 98) 新田隆, 池下正敏, 矢島俊己, 原田厚, 浅野哲雄, 田中茂夫, 庄司佑, 山手昇¹⁾, 維田隆夫²⁾, 榊原重泰²⁾ (1)聖マリ大, 2)榊原病院) : [一般講演] 虚血性心室頻拍に対する手術術式の検討. 第41回日本胸部外科学会総会, 1988.
- 99) 田中茂夫, 庄司佑, 佐々木建志, 宇都宮英敏, 松山謙, 小坂真一, 浅野哲雄, 池下正敏, 宮本忠臣¹⁾ (1)小倉病

- 院)：〔一般講演〕左心補助循環時の右心不全対策；特に左右心房同時脱血時の酸素飽和度の変化。第41回日本胸部外科学会総会，1988。
- 100)浅野哲雄，田中茂夫，池下正敏，小泉潔，家所良夫，原田厚，新田隆，庄司佑：〔ビデオ展示〕多形性心室頻拍に対する拡大心内膜切除術心内膜凍結術 chemical ablation。第41回日本胸部外科学会総会，1988。
- 101)日置正文，加藤秀和，家所良夫，宇都宮英敏，武井裕，庄司佑，佐藤俊彦¹⁾，五十嵐義晃¹⁾，伊藤正¹⁾ (放射線科)：〔ビデオ展示〕MRIによる解離性大動脈瘤の診断と治療。第41回日本胸部外科学会総会，1988。
- 102)萩原俊彦，田中茂夫，池下正敏，日置正文，二宮淳一，浅野哲雄，宇都宮英敏，佐々木建志，庄司佑，清野精彦¹⁾，雪吹周生¹⁾，高野照夫¹⁾ (集中治療室)：〔一般講演〕急性心筋梗塞後心室中隔穿孔の急性期手術症例の検討。第41回日本胸部外科学会総会，1988。
- 103)松島伸治，庄司佑，Montefusco, C. M.¹⁾，Veith, F. J.¹⁾ (Albert Einstein 大学)：〔一般講演〕24時間肺保存に対する vevapamil の保護効果の検討。第41回日本胸部外科学会総会，1988。
- 104)五味淵誠，杉本忠彦，森岡晴記，塩田晶彦，富士崎隆，笹井巧，小泉潔，松島伸治，田中茂夫，庄司佑：〔一般講演〕肺切除術後の換気能に及ぼす心機能の変化について。第41回日本胸部外科学会総会，1988。
- 105)田村浩一¹⁾，川本雅司¹⁾，馬杉洋三¹⁾，浅野哲雄，二宮淳一，池下正敏，田中茂夫，山手昇，庄司佑 (病理)：〔パネルディスカッション〕胸部外科における Risk Factor；MOF剖検例の臨床病理学的検討。第41回日本胸部外科学会総会，1988。
- 106)二宮淳一，庄司佑，山手昇，田中茂夫，池下正敏，萩原俊彦，浅野哲雄，松山謙，小坂真一，佐々木建志，山内茂生，森岡晴記，高野照夫，宇都宮英敏：〔一般講演〕開心術近接期の高度心不全に対する補助循環の血行動態と臨床的検討。第41回日本胸部外科学会総会，1988。
- 107)池下正敏，田中茂夫，二宮淳一，日置正文，萩原俊彦，浅野哲雄，小坂真一，宇都宮英敏，武井裕，佐々木建志，庄司佑，山手昇：〔パネルディスカッション〕A型大動脈解離の急性期手術。第41回日本胸部外科学会総会，1988。
- 108)三枝直紀¹⁾，二宮淳一，山内茂生，森岡晴記，佐々木建志，田中茂夫，庄司佑，能勢元彦²⁾ (金海循環器病院心臓血管外科，²⁾クリーブランドクリニック人工臓器部)：〔一般講演〕心室中隔梗塞を伴った高度右心不全に対する右心バイパス法の研究。第41回日本胸部外科学会総会，1988。
- 109)小泉潔，川本雅司，塩田晶彦，若林武雄，富士崎隆，笹井巧，五味淵誠，松島伸治，田中茂夫，庄司佑：〔シンポジウム〕肺癌切除例の血行動態と肺血管外水分量の推移；急性期から慢性期管理の指標として(呼吸機能温存のための工夫)。第41回日本胸部外科学会総会，1988。
- 110)落雅美¹⁾，寺田功一¹⁾，山内茂生，佐々木建志，庄司佑 (会津中央病院)：〔一般講演〕慢性下肢動脈閉塞に対する直接血行再建上の問題点。第29回日本脈管学会総会，1988。
- 111)亀山孝二¹⁾，石原島繁彦¹⁾，山田宣孝¹⁾，浅野伍朗¹⁾，木村俊仁 (第2病理)：〔一般講演〕動脈硬化様変化の超音波顕微鏡による解析。第29回日本脈管学会総会，1988。
- 112)木村俊仁，庄司佑，亀山孝二¹⁾，浅野伍朗¹⁾ (第2病理)：〔一般講演〕血管挛縮における内皮細胞障害の意義。第29回日本脈管学会総会，1988。
- 113)二宮淳一，庄司佑，田中茂夫，萩原俊彦，浅野哲雄，富士崎隆，三枝直紀，佐々木建志，田村浩一，林晃一，本田二郎，師田哲郎，野一色泰晴¹⁾ (岡大リハ)：〔ワークショップ〕心血管外科における Laser 吻合の研究。第29回日本脈管学会総会，1988。
- 114)阿部政三¹⁾，鈴木礼子¹⁾，白木琴江¹⁾，坂本なつ子¹⁾，馬越正通 (第一病院中央手術室)：〔一般講演〕消毒効果の経時的変化について。第10回手術部医学会総会，1988。
- 115)末田結美¹⁾，三上崑美子¹⁾，加藤弘美¹⁾，白木琴江¹⁾，馬越正通，小林毅之²⁾，横山和子²⁾ (第一病院中央手術室，²⁾第一病院麻酔科)：〔一般講演〕悪性高熱症の看護基準；症例を通して。第10回手術部医学会総会，1988。

- 116) Sato, N., Tamegai, Y., Komatsubara, N. and Yamakawa, T. (佼成病院) : [一般講演] Significance of magnifying small intestinofiberscopy in short bowel syndrome. The 5th Asian-Pacific Congress of Digestive Endoscopy (Soul), 1989.
- 117) Tamegai, Y. and Sato, N. (佼成病院) : [一般講演] A clinico pathological study of early cancer of the colon in terms of the presence or absence of adenoma. The 5th Asian-Pacific Congress of Digestive Endoscopy (Soul), 1989.
- 118) Nagai, T., Kurumado, K., Kanaya, H., Wada, Y., Kusama, Y., Yamakawa, T. and Sato, N. (佼成病院) : [一般講演] Clinicopathological changes of the biliary tract after bilioenterostomy in rats. The 8th Asian-Pacific Congress of Gastroenterology (Soul) 1988.
- 119) Komatsubara, N., Mita, S., Suzuki, T. and Sato, N. (佼成病院) : [一般講演] A study on cases causing laceration and haemorrhage at the lesser curvature underneath the cardia at the upper G-I endoscopic examination. The 8th Asian-Pacific Congress of Gastroenterology (Soul), 1988.
- 120) Lucas, J. N.¹⁾, Tenjin, T., Straume, T.¹⁾, Pinkel, D.¹⁾ and Gray, J.¹⁾ (Lawrence Livermore National Laboratory, Livermore, Ca.) : [一般講演] Rapid detection of human chromosome aberrations using fluorescence *in situ* hybridization. Twenty-Seventh Hanford Life Sciences Symposium, Richland, Washington, 1988.
- 121) Straume, T.¹⁾, Bigbee, W. L.²⁾, Langlois, R. G.²⁾, Jensen, R. H.²⁾, Lucas, J.²⁾, Tenjin, T. and Gray, J.²⁾ (Environmental Sciences, ²⁾Biomedical Sciences Divisions, Lawrence Livermore National Laboratory, Livermore, CA) : [一般講演] Glycophorin-A mutation and chromosome translocation frequencies in irradiated persons; An intercomparison. Radiation Research Society, 37th Annual Meeting North American Hyperthermia Group, 9th Annual Meeting Abstract/Acceptance Form, 1988.
- 122) 佐藤薫隆, 磯野透 (佼成病院) : [シンポジウム] 小腸内視鏡の進歩と問題点; とくに吸収不良症候群に対する役割について. 第36回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 123) 井出道也, 佐藤薫隆¹⁾, 向井佐志彦¹⁾, 為我井芳郎¹⁾, 三宅弘章, 陳光永, 北浜秀男, 辻順行, 北川旦, 小松原登 (佼成病院) : [一般講演] 早期あるいは類似進行癌を思わせた胃スキルス5例の臨床病理学的検討. 第36回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 124) 五味淵誠, 朽方規喜, 川本雅司, 森岡晴記, 塩田晶彦, 笹井巧, 小泉潔, 松島申治, 田中茂夫, 庄司佑 : [一般講演] 肺切除後の低酸素摂取量症例の検討. 第29回日本肺癌学会, 1988.
- 125) 松島申治, 小泉潔, 塩田晶彦, 武井裕, 若林武雄, 川本雅司, 笹井巧, 五味淵誠, 池下正敏, 田中茂夫, 庄司佑 : [一般講演] 進行肺癌に対する隣接臓器合併切除例の検討. 第29回日本肺癌学会, 1988.
- 126) 小泉潔, 原口秀司, 川本雅司, 塩田晶彦, 若林武男, 笹井巧, 松島申治, 五味淵誠, 田中茂夫, 庄司佑, 渋谷昌彦¹⁾, 仁井谷久暢¹⁾ (臨床病理) : [一般講演] 教室におけるⅢ期腺癌の臨床的検討. 第29回日本肺癌学会, 1988.
- 127) 塩田晶彦, 川本雅司, 笹井巧, 小泉潔, 松島伸二, 五味淵誠, 田中茂夫, 庄司佑 : [一般講演] 高齢者肺癌症例の手術成績と合併症. 第29回日本肺癌学会, 1988.
- 128) 米田修一¹⁾, 本間威¹⁾, 吉田清一¹⁾, 日比野俊¹⁾, 吉井章¹⁾, 野口行雄¹⁾, 原口秀司²⁾, 西村仁志²⁾, 山本光伸²⁾, 砂倉瑞良³⁾, 出雲俊行⁴⁾ (埼玉県立がんセンター呼吸器科, ²⁾同胸部外科, ³⁾同放射線科, ⁴⁾同病理) : [一般講演] 非小細胞性肺癌に対する化学療法 (化療), 放射線療法 (放治), 手術の併用. 第29回日本肺癌学会, 1988.
- 129) 松島申治, 塩田晶彦, 佐々木健志, 田村浩一¹⁾, 川本雅司, 二宮淳一, 池下正敏, 田中茂夫, 庄司佑, Montefusco, C. M.¹⁾, Veith, F. J.¹⁾ (病理, ²⁾Albert Etuster) : [一般講演] 24時間肺保存の検討. 第5回肺および心肺移植研究会, 1988.
- 130) 馬越正通, 渋谷哲男, 大場英己, 秋丸琥甫, 白石敦, 渋谷純一, 庄司佑 : [パネルディスカッション] 癒着性イレウスの手術のタイミング. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.

- 131)秋丸琥甫, 齊藤節, 秀嶋周, 大坂信太郎, 内山喜一郎, 大場英己, 渋谷哲男, 馬越正通, 金内秀士, 庄司佑:〔ワークショップ〕切除不能肝臓に対する動注・門注併用局所化学療法. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
- 132)小熊将之, 馬越正通, 渋谷哲男, 大場英己, 内山喜一郎, 今井茂, 猪口正孝, 田中昌彦, 渋谷純一, 庄司佑:〔一般講演〕癌患者血清における SNO-5009試験の臨床的研究. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
- 133)猪口正孝, 内山喜一郎, 白石敦, 徳竹哲, 渋谷哲男, 庄司佑, 酒井欣男¹⁾, 高橋真佐司¹⁾ (¹⁾済生会平塚病院外科):〔ポスター〕重複幽門の1例. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
- 134)金子道也, 清水一雄, 野崎基, 豊島宏二, 庄司佑, 齊藤正子¹⁾, 佐治守²⁾, 小口栄基子³⁾, 増田幸雄³⁾ (¹⁾第一病院病理研究室, ²⁾同薬剤科, ³⁾同動物研究室):〔一般講演〕甲状腺疾患と乳癌の関連性に関する臨床および基礎的検討. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
- 135)井出道也, 辻順行, 陳光永, 小山寿雄, 向井佐志彦¹⁾, 清水匡訓¹⁾, 北浜秀男, 三宅弘幸, 為我井芳郎¹⁾, 佐藤薫隆¹⁾ (¹⁾佼成病院):〔一般講演〕人間ドックにおける大腸癌早期発見の検討. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
- 136)陳光永, 北川亘, 辻順行, 三宅弘幸, 為我井芳郎¹⁾, 井手道也, 向井佐志彦¹⁾, 佐藤薫隆¹⁾, 三浦妙太¹⁾ (¹⁾佼成病院):〔一般講演〕胃悪性リンパ腫の臨床病理学的検討. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
- 137)北浜秀男, 佐藤薫隆¹⁾, 向井佐志彦¹⁾, 為我井芳郎¹⁾, 小山寿雄, 井出道也, 三宅弘幸, 陳光永, 辻順行, 北川亘 (¹⁾佼成病院):〔一般講演〕乳癌の軟部組織再発に対する FNA の臨床的意義について. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
- 138)佐藤薫隆¹⁾, 為我井芳郎¹⁾, 井出道也, 向井佐志彦¹⁾ (¹⁾佼成病院):〔シンポジウム〕胃癌根治術後の問題点, とくに消化吸収障害の病態について. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
- 139)武井裕, 日置正文, 家所良夫, 宇都宮英敏, 松山謙, 若林武雄, 庄司佑:〔一般講演〕教室における重症弁膜症例の検討. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
- 140)鈴木章一, 関根毅, 須田雍夫, 武内脩, 田中洋一, 内田健二, 石川仁, 平田泰, 藤田吉四郎:〔一般講演〕大腸粘液癌の検討. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
- 141)二宮淳一, 本田二郎, 原口秀司, 加治正弘, 佐々木建志, 宇都宮英敏, 浅野哲雄, 萩原俊彦, 田中茂夫, 庄司佑:〔ワークショップ〕小児開心術後の輸血後肝炎予防法の検討. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
- 142)小泉潔, 福島孝男, 杉本忠彦, 川本雅司, 塩田晶彦, 若林武男, 富士崎隆, 笹井巧, 五味淵誠, 松島伸治, 田中茂夫, 庄司佑:〔ビデオクリニック〕左肺扁平上皮癌に対する左上葉管状切除術. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
- 143)五味淵誠, 本田二郎, 川本雅司, 佐々木建志, 森岡晴記, 塩田晶彦, 富士崎隆, 笹井巧, 小泉潔, 松島伸治, 田中茂夫, 庄司佑:〔一般講演〕肺硬化性血管腫の3治療例. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
- 144)落雅美¹⁾, 佐藤信¹⁾, 寺田功一¹⁾, 佐々木建志, 山内茂生, 田中茂夫, 庄司佑 (¹⁾総合会津中央病院循環器科):〔一般講演〕下肢慢性動脈閉塞の外科治療;再手術と PTA, PTCA 施行例について. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
- 145)笹井巧¹⁾, 榊原重泰¹⁾, 加治正弘¹⁾, 森岡晴記, 新田隆, 佐々木建志, 武井祐, 五味淵誠, 二宮淳一, 田中茂夫, 庄司佑, 向井佐志彦²⁾ (¹⁾海老名総合病院外科, ²⁾佼成病院外科):〔一般講演〕外傷性乳糜胸の治療経験. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
- 146)家所良夫, 武井裕, 日置正文, 宇都宮英敏, 若林武雄, 庄司佑:〔一般講演〕腹部大動脈～腸骨動脈領域疾患に対する外科的治療成績の検討. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
- 147)清水一雄, 豊島宏二, 野崎基, 庄司佑, 葉山修陽, 原一男, 栗原怜, 中島興治:〔一般講演〕二次性上皮小体機能亢進症8例の臨床的検討. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.

- 148)内山正一, 金子理, 吉野重利, 庄司佑:〔一般講演〕Meckel 憩室穿通により生じた大腸-小腸瘻の一例. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
- 149)保坂浩希, 五味淵誠, 小泉潔, 塩田晶彦, 佐々木建志, 真崎義隆, 田中茂夫, 庄司佑:〔一般講演〕肺化膿症の外科治療についての検討. 日本医大医学会第66回例会, 1988.
- 150)森岡晴記, 真崎義隆, 川村一彦¹⁾(¹⁾栃木県南総合病院外科):〔一般講演〕Recklighausen 病に合併した耳下腺腫瘍の一治験例. 第73回栃木県臨床外科集談会, 1988.
- 151)真崎義隆, 川村一彦¹⁾, 森岡晴記(¹⁾栃木県南総合病院外科):〔一般講演〕手掌に生じた神経鞘腫の一例. 第73回栃木県臨床外科集談会, 1988.
- 152)松島伸治, 塩田晶彦, 佐々木健志, 田村浩一¹⁾, 川本雅司, 二宮淳一, 池下正敏, 田中茂夫, 庄司佑, Montefusco, C. M.²⁾, Veith, F. J.²⁾, (¹⁾病理, ²⁾Albert Einstein 医科大学外科):〔一般講演〕24時間肺保存の検討. 第5回肺および心肺移植研究会, 1988.
- 153)北川亘, 佐藤薫隆¹⁾, 向井佐志彦¹⁾, 為我井芳郎¹⁾, 井出道也, 三宅弘幸, 陣光永, 北浜秀男, 辻順行, 小松原登(¹⁾俊成病院):〔一般講演〕術中内視鏡が有効であった大量出血性盲腸びらんの1治験例. 第47回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 154)清水一雄, 秀嶋周, 野崎基, 庄司佑, 吉野横一:〔一般講演〕甲状腺疾患(特に, バセドウ病, 橋本病)とヘバーデン結節について. 第21回甲状腺外科検討会, 1988.
- 155)清水一雄, 豊島宏二, 秀嶋周, 小山寿雄, 野崎基, 庄司佑, 葉山修陽, 原一男, 猪木洋三:〔一般講演〕腎性上皮小体機能亢進症と誤認したアルミニウム骨症の一例. 第21回甲状腺外科検討会, 1988.
- 156)Tanaka, S.:〔シンポジウム〕Satelite symposium on rate responsive pacemaker. 61st Annual Meeting of American Heart Association, 1988.
- 157)中野秀昭¹⁾, 堀場公寿¹⁾, 榊原高久¹⁾, 龍野勝彦¹⁾, 川瀬光彦¹⁾, 維田隆夫¹⁾, 原田厚(¹⁾榊原記念病院):〔一般講演〕前中隔型 WPW 症候群に対する心外膜アプローチ法による凍結療法. 日本循環器学会関東甲信越地方会130回例会, 1988.
- 158)山中博之¹⁾, 雪吹周生¹⁾, 金応文¹⁾, 加治正弘¹⁾, 宇都宮英敏¹⁾, 清野精彦¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一²⁾, 福島孝男, 田中茂夫, 庄司佑, 勝見敦³⁾, 辺見弘³⁾(¹⁾CCU, ²⁾第1内科, ³⁾付属病院 CCM):〔一般講演〕多発臓器塞栓症を発症した左室内粘液腫の1症例. 日本循環器学会関東甲信越地方会130回例会, 1988.
- 159)家所良夫, 日置正文, 武井裕, 植田修平, 赤須朱樹, 小林薫, 山内仁, 新田隆, 二宮淳一, 田中茂夫, 庄司佑:〔一般講演〕22時間の補助循環を要した小児 MVR の1治験例. 第68回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1988.
- 160)藤松利浩, 常本実¹⁾, 島田宗洋¹⁾, 太田喜義¹⁾, 遠藤慎一¹⁾, 渡徹¹⁾, 石澤瞭²⁾(¹⁾国立小児病院心臓血管外科, ²⁾循環器科):〔一般講演〕最近経験した混合型総肺静脈還流異常症の3手術治験例. 第68回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1988.
- 161)堀場公寿¹⁾, 榊原高之¹⁾, 維田隆夫, 原田厚, 万納寺栄一¹⁾, 菊池利夫¹⁾, 高橋幸宏¹⁾, 川瀬光彦¹⁾, 龍野勝彦¹⁾(¹⁾榊原記念病院):〔一般講演〕グラフト全閉塞に対する内胸動脈バイパス術にて運動能力の改善を示した1症例. 第68回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1988.
- 162)渡徹¹⁾, 常本実¹⁾, 太田喜義¹⁾, 島田宗洋¹⁾, 藤松利浩, 遠藤慎一¹⁾, 石澤瞭²⁾(¹⁾国立小児病院心臓血管外科, ²⁾同循環器科):〔一般講演〕Scimitar 症候群の1手術治験例. 第68回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1988.
- 163)坂本俊樹, 西澤高士¹⁾, 山下浩二¹⁾, 馬淵綾子¹⁾, 横室公三¹⁾, 厨信一郎²⁾, 庄司佑(¹⁾微生物・免疫, ²⁾第3内科):〔一般講演〕肝再生と造血系; 肝細胞の産生する GM-CSF と肝内の造血幹細胞について. 第18回日本免疫学会総会学術集会, 1988.
- 164)西澤高士¹⁾, 坂本俊樹, 馬淵綾子¹⁾, 横室公三¹⁾(¹⁾微生物・免疫):〔一般講演〕肝類洞細胞に膠着するリンパ

細胞の活性化とその意義(Ⅱ). 第18回日本免疫学会総会学術集会, 1988.

- 165)飯塚邦雄, 立野政雄, 渋谷哲男: [一般講演] 腰痛を主訴とした腹部鈍の外傷の1例. 第64回多摩医学会, 1988.
- 166)吉野重利, 内山正一, 西崎宣, 庄司佑: [一般講演] 虫垂炎と鑑別を要した急性腎盂腎炎の2症例. 第200回日本消化器病関東地方会, 1988.
- 167)原口秀司, 西村仁志¹⁾, 山本光伸¹⁾, 出雲俊之¹⁾, 高山昇二郎¹⁾ (1)埼玉県立がんセンター): [一般講演] 気管グロムス腫瘍の1切除例. 第93回日本肺癌学会関東部会, 1988.
- 168)川村一彦¹⁾, 森岡晴記, 真崎義隆 (1)栃木県南総合病院外科): [一般講演] 回盲部に限局した偽膜性大腸炎の1手術例. 第202回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 169)川村一彦¹⁾, 真崎義隆, 森岡晴記 (1)栃木県南総合病院外科): [一般講演] リンパ管腫を伴った多発回腸潰瘍の1治験例. 第731回外科集談会, 1988.
- 170)隅越幸男, 内山正一: [一般講演] Solitary ulcer syndrome. 第111回大腸肛門病懇談会, 1988.
- 171)遠藤慎一¹⁾, 石澤瞭²⁾, 常本実¹⁾, 小池一行¹⁾, 太田喜義¹⁾, 赤木美智男²⁾, 島田宗洋¹⁾, 仲本雅哉²⁾, 渡徹¹⁾, 小林順²⁾, 藤松利浩 (1)国立小児病院心臓血管外科, 2)同循環器科): [一般講演] 心室中隔欠損, 動脈管開存を伴った三心房症の1手術治験例. 第69回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1989.
- 172)原口秀司, 西村仁志¹⁾, 山本光伸¹⁾, 出雲俊之²⁾, 高山昇二郎²⁾ (1)埼玉がんセンター胸部外科, 2)同病理部): [一般講演] 術後照射後多発性骨転移を来した胸腺腫の1例. 第69回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1989.
- 173)藤松利浩¹⁾, 石澤瞭²⁾, 常本実¹⁾, 小池一行²⁾, 島田宗洋¹⁾, 赤木美智男²⁾, 太田喜義¹⁾, 仲本雅哉²⁾, 渡徹¹⁾, 小林順²⁾, 遠藤慎一¹⁾ (1)国立小児病院心臓血管外科, 2)循環器科): [一般講演] 大動脈弁狭窄, 大動脈縮窄, 心室中隔欠損術後に施行した Konno 手術の1治験例. 第69回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1989.
- 174)内山正一, 吉野重利¹⁾, 西崎宣, 中江純一¹⁾, 川本雅司, 長谷川伝¹⁾, 庄司佑 (1)目白第三病院): [一般講演] 食道破裂の2経験例. 第203回日本消化器病学会関東地方会, 1989.
- 175)竹吉泉¹⁾, 鈴木章一²⁾, 関根毅¹⁾, 須田雍夫¹⁾, 藤田吉四郎¹⁾ (1)埼玉がんセンター): [一般講演] 肝嚢胞多発腺癌の1例. 第203回日本消化器病学会関東地方会, 1989.
- 176)川村一彦¹⁾, 杉本忠彦, 森岡晴記 (1)栃木県南総合病院): [一般講演] 盲腸膀胱瘻をきたした盲腸癌の一例. 第203回日本消化器病学会関東地方会, 1989.
- 177)広本雅之¹⁾, 嘉悦勉¹⁾, 津島秀史¹⁾, 日下部輝夫¹⁾, 前田隆志 (1)日下部病院): [一般講演] 穿孔性腹膜炎を来した原発性小腸悪性リンパ腫の1例. 第203回日本消化器病学会関東地方会, 1989.
- 178)大村和子¹⁾, 新博次¹⁾, 安武正弘¹⁾, 畑典武¹⁾, 岸田浩¹⁾, 早川弘一¹⁾, 黒川顕²⁾ (1)第1内科, 2)付属病院 CCM): [一般講演] 右室二腔症の1成人例. 日本循環器学会関東甲信越地方会第131回例会, 1989.
- 179)保坂浩希, 小林薫, 新田隆, 佐々木建志, 萩原俊彦, 二宮淳一, 田中茂夫, 庄司佑, 高木亮¹⁾, 弦間和弘¹⁾, 隅崎達夫¹⁾, 恵畑欣一¹⁾ (1)放射線科): [一般講演] 左全肺静脈還流異常症の1治験例. 日本循環器学会関東甲信越地方会第131回例会, 1989.
- 180)佐藤薫隆¹⁾, 北浜秀男, 為我井芳郎¹⁾, 辻順行, 向井佐志彦¹⁾, 三宅弘章, 井出道也, 北川亘, 陳光永 (1)佼成病院): [一般講演] Blind loop syndrome に対する外科手術の効果; 特に小腸粘膜の形態学的酵素学的所見について. 第33回日本消化器外科学会総会, 1989.
- 181)森岡晴記, 真崎義隆, 川村一彦¹⁾ (1)栃木県南総合病院): [示説] 高齢者急性胆嚢炎手術症例の検討. 第33回日本消化器外科学会総会, 1989.
- 182)広本雅之¹⁾, 前田隆志, 嘉悦勉¹⁾, 津島秀史¹⁾, 日下部輝夫¹⁾ (1)日下部病院): [示説] 胃および大腸における原発性腺扁平上皮癌6症例の臨床病理組織学的検討. 第33回日本消化器外科学会総会, 1989.
- 183)斉藤節, 清水一雄, 秋丸琥甫, 馬越正通, 塩谷猛, 金内秀士, 田中昌彦, 庄司佑: [一般講演] 胃癌全摘後再建

- 術式の評価. 第33回日本消化器外科学会総会, 1989.
- 184) 鈴木章一, 内田健二, 須田雍夫, 竹吉泉, 関根毅, 平田泰, 武内脩, 藤田吉四郎, 田中洋一: [ポスター] 胃原発性悪性リンパ腫の検討. 第52回胃癌研究会, 1989.
- 185) 三宅弘章, 佐藤薫隆¹⁾, 陳光永, 向井佐志彦¹⁾, 為我井芳郎¹⁾, 井出道也, 辻順行, 徳竹哲, 北川順, 三浦妙太 (¹⁾校成病院): [一般講演] 胃悪性リンパ腫の免疫組織化学的検討. 第52回胃癌研究会, 1989.
- 186) 鈴木章一, 内田健二, 須田雍夫, 竹吉泉, 関根毅, 平田泰, 武内脩, 藤田吉四郎, 田中洋一: [一般講演] 胃癌切除後の胆石症. 第26回埼玉医学会総会外科医会, 1989.
- 187) 原口秀司, 西村仁志¹⁾, 山本光伸¹⁾, 出雲俊之¹⁾, 高山昇二郎¹⁾ (¹⁾埼玉県立がんセンター): [一般講演] 肺癌肉腫の1切除例. 第94回日本肺癌学会関東部会, 1989.
- 188) 井村肇, 別所竜蔵, 原口秀司, 川本雅司, 若林武雄, 富士崎隆, 笹井巧, 小泉潔, 松島伸治, 五味淵誠, 田中茂夫, 庄司佑, 伊藤公一郎¹⁾, 隅崎達夫¹⁾, 恵畑欣一¹⁾ (¹⁾放射線科): [一般講演] 孤立性肺動静脈瘻の1手術例. 第732回外科集談会, 1989.
- 189) 猪口正孝, 金子道也, 秋丸琥甫, 庄司佑, 植田候平, 斉藤節: [一般講演] 脾機能亢進症合併肝細胞癌に脾動脈塞栓術施行後肝切除を行った一例. 第732回外科集談会, 1989.
- 190) 井村肇, 別所竜蔵, 原口秀司, 川本雅司, 若林武雄, 富士崎隆, 笹井巧, 小泉潔, 松島伸治, 五味淵誠, 田中茂夫, 庄司佑, 伊藤公一郎¹⁾, 隅崎達夫¹⁾, 恵畑欣一¹⁾ (¹⁾放射線科): [一般講演] 孤立性肺動静脈瘻の1手術例. 第732回外科集談会, 1989.
- 191) 田中茂夫: [ワークショップ] 補助人工心臓適応症例の長期生存のために何が必要か? 左心補助施行時の右心不全対策. 第17回人工心臓と補助循環懇話会, 1989.
- 192) 武井裕, 赤須東樹, 日置正文, 庄司佑, 家所良夫, 加藤訓久: [示説] レーザー血流計による閉塞性動脈疾患の皮膚血流測定. 第89回日本外科学会総会, 1989.
- 193) 二宮淳一, 庄司佑, 田中茂夫, 田村浩一¹⁾, 野一色泰晴²⁾ (¹⁾病理, ²⁾岡山大学リハビリテーション外科): [一般講演] Contact laser surgery による循環器病治療の研究. 第89回日本外科学会総会, 1989.
- 194) 田中茂夫, 池下正敏, 松山謙, 小坂真一, 浅野哲雄, 宇都宮英敏, 佐々木建志, 新田隆, 加治正弘, 庄司佑: [示説] 各種レート応答型ペースメーカーの心拍応答状況からみた機種選択. 第89回日本外科学会総会, 1989.
- 195) 池下正敏, 田中茂夫, 浅野哲雄, 宇都宮秀敏, 家所良夫, 原田厚, 佐々木健志, 新田隆, 庄司佑, 維田隆夫¹⁾, 榊原高之¹⁾, 村田実¹⁾ (¹⁾榊原記念病院): [一般講演] 心筋梗塞に合併する致死性心室頻拍の外科治療; 特に治療成績向上に関する検討. 第53回日本循環器学会総会, 1989.
- 196) Nikolic, S., Yellin, E. L., Tamura, K., Tamura, T., Frater, R. W. M.: [一般講演] Effect of early diastolic loading on myocardial relaxation in the intact canine left ventricle. The 38th Annual Scientific Session of the American College of Cardiology (Anaheim, California), 1989.
- 197) 田中昌彦, 田中宏治, 秋丸琥甫, 金内秀士, 庄司佑: [一般講演] 切除不能肝癌に対する IL-2 の肝動脈, 門脈内注入療法. 第5回リザーバー研究会, 1989.
- 198) 大坂信太郎, 秋丸琥甫, 斉藤節, 金内秀士, 庄司佑: [一般講演] 外来における肝動脈, 門脈レザボアの長期使用例の検討. 第5回リザーバー研究会, 1989.
- 199) 田中茂夫: [招請講演] 臨床の立場からみたレート応答型ペースメーカーの意義. 第1回神奈川心臓ペースンギ研究会, 1989.

[第一病院内視鏡科]

研究概要

当科では各々が研究テーマを与えられ、消化器内視鏡学について各医局員が積極的に研究中である。以下に、各々の業績を中心に述べる。

大島教授は日本と西ドイツにおける多数の自験例により、Das Magenkarzinom in Japan und Deutschland という独文論文を著し、日独胃癌の相違を明らかにした。さらに諸外国との比較において消化管診断における放射線と内視鏡検査の動向を、またヨーロッパにおける最近の消化性潰瘍剤について述べるなど、常に国際的視野に立った発表を続けている。

当科の研究の中心をなす消化管の形態と機能に関する業績として、伊藤講師らは胃生検切片を用いて胃粘膜の局所免疫に関する IgA, IgM, IgG の検討を、松久らは胃運動と幽門形態に関する内視鏡的検討を、様々な角度から行い報告した。倉禎らは内視鏡検査時の胃内圧変化と陥凹型早期胃癌、びらん性胃炎との関係について発表した。

当科の重要な研究テーマの一つである老年者胃潰瘍について、本年は山口講師らがその自覚症状と便秘について検討し、その間に少なからぬ関連のあることを明らかにした。また清水らは各胃十二指腸疾患の胆汁酸濃度を測定し、幽門形態と胆汁酸逆流の関係を詳細に検討した。花牟礼らは胃十二指腸疾患の胃排出能と鉄経口負荷試験との関連性について報告した。磯らは慢性関節リウマチ患者における消化性潰瘍の長期観察治療経験について講演した。

その他の業績として、職域集検において内視鏡的に発見された胃十二指腸疾患について松久らが、大腸疾患について伊藤講師らが発表した。他科との共同研究としては、第一病院産婦人科との協力で、婦人科領域における腹腔鏡検査の経験を報告した。

以上いずれの研究も、大島教授から直接かつ懇切な指導を受けた成果である。

研究業績

論文

- 1) Oshima, H.: [原著] Das Magenkarzinom in Japan und Deutschland. Verdauungskrankheiten, **6**, 48~54, 1988.
- 2) Matsuhisa, T. und Oshima, H.: [原著] Die endoskopischen Charakteristika des Magenkarzinoms der Typen IIc und III. Verdauungskrankheiten, **6**, 61~69, 1988.
- 3) 倉禎二, 高塚務, 大島博, 吉川厚¹⁾, 村川泰佑²⁾ (¹⁾目白病院外科, ²⁾岩手県立花巻厚生病院外科): [報告] 最近経験した若年者結腸癌の1例. Ther. Res., **8**, 287~291, 1988.
- 4) 倉禎二, 伊藤正秀, 大島博: [原著] 内視鏡検査時の胃内圧変化とたこいば胃炎. 消内視鏡の進歩, **32**, 116~120, 1988.
- 5) 清水義人, 松久威史, 花牟礼康生, 角田誠之, 高塚務, 大島博: [原著] 胃内胆汁酸逆流と幽門形態に関する内視鏡的検討. 消内視鏡の進歩, **32**, 121~124, 1988.
- 6) 松久威史, 花牟礼康生, 磯長光, 高塚務, 角田誠之, 大島博: [原著] 幽門形態に関する内視鏡的検討; 胃運動能との関連性を含めて. 消内視鏡の進歩, **32**, 125~129, 1988.
- 7) 花牟礼康生, 松久威史, 大島博: [原著] 胃・十二指腸潰瘍の内視鏡所見と胃排出能の関連性について. 消内視鏡の進歩, **32**, 130~134, 1988.
- 8) 大島博: [総説] 消化管診断における放射線と内視鏡検査の動向; 諸外国における背景因子の観察. 臨と研, **65**, 2838~2843, 1988.
- 9) 大島博: [総説] 消化性潰瘍治療剤; ヨーロッパにおける最近の動向. Ther. Res., **9**, 1763~1769, 1988.
- 10) 松久威史, 大島博: [原著] 体位変換, 胃内圧変化の内視鏡的幽門形態に及ぼす影響. 消内視鏡の進歩, **33**, 91~95, 1988.

- 11) 清水義人, 松久威史, 花牟礼康生, 角田誠之, 高塚務, 大島博:〔原著〕胃内胆汁酸濃度と胃・十二指腸疾患に関する内視鏡的検討. 消内視鏡の進歩, 33, 96~100, 1988.
- 12) 山口文男, 大島博:〔原著〕老年者胃潰瘍の自覚症状と便秘. Geriat. Med., 27, 409~414, 1989.

学会発表

- 1) 伊藤正秀, 大島博:〔一般講演〕胃粘膜内IgA, IgM, IgG含有細胞の分布と炎症性細胞浸潤との関連について. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 2) 伊藤正秀, 大島博:〔一般講演〕胃粘膜の局所免疫に関するIgA, IgM, IgGの検討;炎症性細胞浸潤との関連から. 第35回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 3) 松久威史, 高塚務, 山口文男, 大島博:〔一般講演〕職域胃集検における内視鏡検査の有用性. 第35回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 4) 伊藤正秀, 大島博:〔一般講演〕十二指腸異所性胃粘膜症例にみられた薬剤誘発性胃炎. 第46回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 5) 倉禎二, 花牟礼康生, 大島博:〔一般講演〕内視鏡検査時の胃内圧変化と陥凹型早期胃癌. 第46回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 6) 松久威史, 大島博:〔一般講演〕幽門形態の内視鏡的観察;体位変換, 胃内圧変化による影響を中心に. 第46回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 7) 清水義人, 松久威史, 花牟礼康生, 角田誠之, 高塚務, 大島博:〔一般講演〕胃内胆汁酸濃度と胃・十二指腸疾患に関する内視鏡的検討. 第46回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 8) 花牟礼康生, 松久威史, 高塚務, 角田誠之, 大島博:〔一般講演〕胃・十二指腸潰瘍および胃癌患者の胃排出能に関する内視鏡的検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 9) 北川優¹⁾, 諏訪喜宣¹⁾, 若麻積佳樹¹⁾, 越野立夫¹⁾, 松久威史, 荒牧長門, 大島博(¹⁾第一病院産婦人科):〔一般講演〕当科における腹腔鏡の検査成績. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 10) 松久威史, 清水義人, 大島博:〔展示〕胃内圧変化, 体位変換と内視鏡的幽門形態. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 11) 清水義人, 松久威史, 花牟礼康生, 角田誠之, 高塚務, 大島博:〔展示〕胃内胆汁酸濃度と幽門形態に関する内視鏡的検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 12) 倉禎二, 伊藤正秀, 大島博:〔展示〕胃内圧上昇時におけるたこいぼ胃炎の形状変化について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 13) 伊藤正秀, 大島博:〔展示〕良性胃疾患における胃粘膜局所免疫の検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 14) 磯長光, 伊藤正秀, 大島博:〔展示〕慢性関節リウマチ患者における難治性胃潰瘍の治療経験. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 15) 花牟礼康生, 角田誠之, 松久威史, 伊藤正秀, 大島博, 馬越正通¹⁾(¹⁾第2外科):〔展示〕最近最近経験した大腸若年性ポリープの1例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 16) 伊藤正秀, 角田誠之, 高塚務, 磯長光, 花牟礼康生, 清水義人, 松久威史, 倉禎二, 大島博:〔一般講演〕職域大腸集検とその精検に関する問題点. 第6回大腸検査法研究集会, 1988.
- 17) 松久威史, 花牟礼康生, 清水義人, 高塚務, 角田誠之, 大島博:〔展示〕老年者の幽門形態に及ぼす内視鏡的諸因子;胃排出能との関連性を含めて. 第30回日本老年医学会総会, 1988.
- 18) 清水義人, 松久威史, 花牟礼康生, 角田誠之, 高塚務, 大島博:〔展示〕老年者における胃内胆汁逆流の内視鏡的検討. 第30回日本老年医学会総会, 1988.

- 19) 伊藤正秀, 大島博: [一般講演] 腸上皮化生胃粘膜と非化生粘膜における IgA, IgG, IgM の比較検討. 第30回日本消化器病学会大会, 1988.
- 20) 花牟礼康生, 松久威史, 高塚務, 角田誠之, 大島博: [一般講演] 胃・十二指腸潰瘍の胃排出能; 内視鏡所見および鉄経口負荷試験との関連において. 第30回日本消化器病学会大会, 1988.
- 21) 松久威史, 清水義人, 高塚務, 角田誠之, 大島博: [一般講演] 胃内圧と内視鏡操作の幽門形態に及ぼす影響. 第36回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 22) 伊藤正秀, 大島博: [一般講演] 消化性潰瘍の背景胃粘膜に関する部位別検討. 第36回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 23) 倉禎二, 伊藤正秀, 大島博: [一般講演] 胃内圧変化時におけるたこいば胃炎の内視鏡像について. 第36回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
- 24) 倉禎二, 松久威史, 伊藤正秀, 大島博: [一般講演] 胃内視鏡検査時における胃内圧変化の診断的意義に関する一考察. 第47回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 25) 花牟礼康生, 松久威史, 高塚務, 角田誠之, 大島博: [一般講演] 胃疾患患者における鉄経口負荷試験および胃排出能に関する内視鏡的検討. 第47回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 26) 磯長光, 花牟礼康生, 伊藤正秀, 大島博: [一般講演] 慢性関節リウマチ患者における消化性潰瘍の長期観察治療経験. 第47回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 27) 伊藤正秀, 大島博: [一般講演] 消化性潰瘍患者の胃粘膜各部位における生検組織所見と IgA, IgG 分布について. 第47回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1988.
- 28) 清水義人, 磯長光, 高屋善章, 倉禎二, 松久威史, 伊藤正秀, 花牟礼康生, 大島博: [一般講演] 上部消化管カンジダ感染症に関する内視鏡的検討. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 29) 松久威史, 高塚務, 山口文男, 大島博, 加島弘¹⁾, 鹿沼いね¹⁾, 田村都抄¹⁾ (¹⁾医療法人財団福音医療会神田キリスト教診療所): [一般講演] 職域集検により発見された胃十二指腸疾患; 内視鏡検査の立場より. 第26回日本消化器集団検診学会秋季大会, 1988.

[第二病院外科]

研究概要

毎夏タイのチェンマイ大学を訪れ、外科のボンスリー教授と胆石の疫学調査ならびに成分分析を共同研究のテーマとしているが、その成果の一つが、タイ人の胆石中の微量元素の分析ならびに中性子ラジオグラフィーによる胆石内部構造解析の研究である。これらの研究は本学化学教室田中幹夫講師の指導により立教大学原子力研究所の原子炉を使用して行われたもので、前者の微量元素は、Ca, Na, Mg, Mn, Cu, Fe, Co, Cl, Br, I, Hg の11種を放射化分析により定量分析したが、日本人胆石のそれと比較して特に注目されたのは、沃素含量が少ないことで、水銀の含有量の多いものが多く認められたことである。これらはいずれも外部よりの摂取量に影響されるものであるもので、疫学的あるいは病態生理学的にさらに究明してゆかなければならないと考えているが、胆石の成分は従来主成分としてのコレステロールあるいはビリルビン石灰等のみが注目されてきたが、これら微量成分が患者の既往における生活環境や食生活等を物語る資料としての意義のあることを知った。また後者の中性子ラジオグラフィーによる胆石の内部構造の解析は、貴重な資料である胆石を破碎することなく、その内部構造等を解析し、画像化することを可能ならしめたものである。

臨床的な研究課題としては、近年経験することの多い同時性、異時性重複癌症例の検討、絞縊性イレウスの X 線診断上における無ガス野所見の意義、早期胃癌におけるリンパ節転移の検討、噴門温存術式としての超小胃作成による胃切除術式の術後病態の検討等が研究された。

研究業績

論文

- 1) 葉山典泰, 喜多島豊三¹⁾, 奥村光治郎¹⁾, 黒田亮平¹⁾, 小泉強¹⁾, 難波亨, 中嶋雅彦¹⁾, 植田利貞¹⁾, 大城博¹⁾ (¹⁾国立立川病院): [報告] 非クロストリジウム感染性ガス壊疽の1例. 医療, 42, 721~724, 1988.
- 2) 久吉隆郎, 渡辺昌則, 難波亨, 平田正信, 赤岩順, 天野純治, 三樹勝, 佐藤雅史¹⁾, 渡辺英之¹⁾ (¹⁾放射線科): [総説] 若年者の肺癌手術症例の検討. 川崎医学会誌, 5, 24~28, 1988.
- 3) 喜多島豊三¹⁾, 植田利貞¹⁾, 中嶋雅彦¹⁾, 難波亨, 黒田亮平¹⁾, 葉山典泰, 奥村光治郎¹⁾, 西村曜¹⁾, 市川光明¹⁾ (¹⁾国立立川病院): [原著] 乳癌手術前後における患側上肢のリンパ系動態機能検査について. 医療, 42, 1127~1133, 1988.
- 4) Tanaka, M.¹⁾, Nagai, T.¹⁾, Tasaki, T., Miki, M., Hirakawa, K.²⁾, Watanabe, T.²⁾, Kobayashi, H.³⁾, Kubota, S.⁴⁾ and Abe, T.⁴⁾ (¹⁾Laboratory of Chemistry, ²⁾Department of Legal Medicine, ³⁾Institute for Atomic Energy, ⁴⁾Abe Sekkei): [総説] Letter of the editors a study of the internal structure of gallstones based on the differences between the interactions to elements of thermal neutrons and X-rays. Radioisotopes, 37, 685~686, 1988.
- 5) Matsumoto, K., Hara, T. and Asano, G.¹⁾ (¹⁾Department of Pathology): [総説] Hepato cellular change caused by obstructive jaundice. J. Clin. Electron Microscopy, 21, 712~713, 1988.

著書

- 1) 天野純治, 桜井蔚生, 久吉隆郎, 渡辺弘他¹⁾ (¹⁾神奈川県成人病検診管理指導協議会乳がん部会): [分担] 検診形式とその問題点について. “乳がん検診”, p. 32~40, 第2回神奈川県医師会がん検診研究会, 1988.

学会発表

- 1) 久吉隆郎, 難波亨, 河島文幸, 平田正信, 赤岩順, 天野純治, 三樹勝, 佐藤雅史¹⁾ (¹⁾第二病院放射線科): [一般講演] 化学療法により壊死化したと思われる大細胞癌の1切除例. 第92回肺癌学会関東部会, 1988.
- 2) 難波亨, 喜多島豊三¹⁾, 久吉隆郎, 平田正信 (¹⁾国立立川病院外科): [一般講演] 左大腿部に原発し肺・脳・心に多発転移した alveolar soft part sarcoma の一例. 第5回日本呼吸器外科学会総会, 1988.
- 3) 久吉隆郎, 難波亨, 桜井蔚生, 平田正信, 天野純治, 三樹勝: [一般講演] 穿通性外傷による縦隔内気管断裂の1手術例. 第5回日本呼吸器外科学会総会, 1988.
- 4) 久吉隆郎, 難波亨, 渡辺昌則, 平田正信, 赤岩順, 天野純治, 三樹勝: [一般講演] 両側気胸を併発した骨肉腫による転移性肺腫瘍の1例. 第66回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1988.
- 5) 天野純治, 赤岩順, 桜井蔚生, 久吉隆郎, 河島文幸, 三樹勝: [一般講演] 噴門温存術式としての超小胃の意義特に再建方法(B-I, 空腸間置)を中心として. 第32回日本消化器外科学会総会, 1988.
- 6) 望月功, 諏訪智治, 田崎達也, 土屋喜哉, 天野純治, 三樹勝: [一般講演] 高齢者緊急手術死亡例の死因からみた術後の管理の問題点とその対策. 第32回日本消化器外科学会総会, 1988.
- 7) 天野純治, 桜井蔚生, 三樹勝: [一般講演] 神奈川県乳癌集団検診(1978~1987年)に見られる年次的傾向と問題点. 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 8) 久吉隆郎, 三樹勝, 天野純治, 赤岩順, 平田正信, 桜井蔚生, 河島文幸, 平井真実, 望月功, 原一郎, 田崎博也, 松林博男, 田崎達也, 難波亨, 葉山典泰: [一般講演] 肺癌外科治療成績と2, 3の問題点について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 9) 努亦阿木都斯力木, 三樹勝, 天野純治, 赤岩順, 原一郎, 平井真実, 望月功, 桜井蔚生, 河島文幸, 久吉隆郎, 山口裕央, 吉田宏, 平野文也, 内藤英二, 荒川薫, 渡辺昌則: [一般講演] 早期胃癌のリンパ節転移陽性例の検

- 討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 10) 百束比古¹⁾, 白井洋司¹⁾, 大久保正智¹⁾, 塩塚正純¹⁾, 梅田敏彦¹⁾, 文入正敏¹⁾, 五味淵誠²⁾, 浅野哲雄²⁾, 田中茂夫²⁾, 久吉隆郎, 平井真実, 三樹勝 (¹⁾形成外科, ²⁾胸部外科): [展示] 胸壁再建術; 皮弁の選択について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
 - 11) 難波亨, 久吉隆郎, 平田正信, 赤岩順, 天野純治, 三樹勝, 百束比古¹⁾, 白井洋司¹⁾, 大久保正智¹⁾, 文入正敏¹⁾, 三神寛²⁾ (¹⁾形成外科, ²⁾第一病院皮膚科): [展示] 胸壁悪性腫瘍の切除例の検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
 - 12) 田崎達也, 荒川薫, 三樹勝, 永井俊¹⁾, 田中幹夫¹⁾, 渡辺日章²⁾ (¹⁾化学, ²⁾法医): [展示] タイ人の胆石中の微量元素含有量. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
 - 13) 田中幹夫¹⁾, 永井俊¹⁾, 守谷直樹²⁾, 上井一²⁾, 平川慶子²⁾, 渡辺日章²⁾, 三樹勝 (¹⁾化学, ²⁾法医): [一般講演] 中性子ラジオグラフ法による巨大尿石の画像解析について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
 - 14) 渡辺昌則, 久吉隆郎, 難波亨, 平田正信, 赤岩順, 天野純治, 三樹勝, 渡辺誠¹⁾, 黒田賢二²⁾, 松尾博由¹⁾, 平沼尚和¹⁾, 川並汪一²⁾, 太田吉男²⁾, 大庭孝男²⁾ (¹⁾第二病院整形外科, ²⁾同病理): [展示] 両側気胸を伴った骨肉腫による転移肺腫瘍の1例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
 - 15) 久吉隆郎, 難波亨, 桜井蔚生, 平井正信, 赤岩順, 天野純治, 三樹勝: [一般講演] 発見動機からみた肺重複癌の予後について. 第29回日本肺癌学会総会, 1988.
 - 16) 赤岩順, 三樹勝, 天野純治, 久吉隆郎, 山口裕史, 吉田宏, 平野文也, 内藤英二, 荒川薫: [一般講演] 大腸の重複癌手術10例の臨床的検討. 第43回日本大腸肛門病学会総会, 1988.
 - 17) 原一郎, 三樹勝, 渡辺昌則, 平井真実, 河島文幸: [一般講演] 非定型的な発症を示した toxic megacolon を合併した潰瘍性大腸炎の1例. 第43回日本大腸肛門病学会総会, 1988.
 - 18) 原一郎, 山口裕史, 平井真実, 三樹勝: [一般講演] Diphenylhydantoin 服用中に発症した胃 Reactive lymphoreticular hyperplasia の1例. 第36回日本消化器内視鏡学会総会, 1988.
 - 19) 大庭孝男¹⁾, 太田吉男¹⁾, 川並汪一¹⁾, 久吉隆郎 (¹⁾第二病院病理): [展示] 骨肉腫の肺転移部における捺印細胞について. 第27回日本臨床細胞学会秋期大会, 1988.
 - 20) 太田吉男¹⁾, 大庭孝男¹⁾, 川並汪一¹⁾, 久吉隆郎 (¹⁾第二病院病理): [展示] 5年前より転移性肺腫瘍陰影を認めた甲状腺癌の1例. 第27回日本臨床細胞学会秋期大会, 1988.
 - 21) 百束比古¹⁾, 白井洋司¹⁾, 秋元正宗¹⁾, 滝沢康¹⁾, 文入正敏¹⁾, 久吉隆郎 (¹⁾形成外科): [一般講演] Distally based island calf fasciocutaneous flap の経験. 第144回日本形成外科学会東京地方会, 1988.
 - 22) 的場康德, 三樹勝, 天野純治, 赤岩順, 松林博男, 平田正信, 久吉隆郎, 難波亨, 原文男¹⁾, 倉田文秋¹⁾, 佐藤雅史²⁾ (¹⁾第二病院内科, ²⁾同放射線科): [一般講演] 当科における膿胸手術の検討とその問題点. 第66回日本医科大学医学会例会, 1988.
 - 23) 久吉隆郎, 吉田宏, 平井真実, 河島文幸, 桜井蔚生, 赤岩順, 天野純治, 三樹勝: [一般講演] 腰麻手術中の気管内挿管操作により発生した著明な皮下気腫と緊張性気胸の一治験例. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
 - 24) 大久保哲行, 平田知己, 河島文幸, 桜井蔚生, 天野純治, 三樹勝: [一般講演] 無胆嚢症の2症例. 第731回外科集団会, 1988.
 - 25) 赤岩順, 三樹勝, 天野純治, 河島文幸, 吉田宏, 平野文也, 内藤英二, 荒川薫, 松林富士男¹⁾ (¹⁾プラザ記念病院): [ビデオシンポジウム] 一列層々吻合法を用いた胃空腸吻合術について. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
 - 26) 原亨, 松本光司, 三樹勝, 林哲弘¹⁾, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾第2病理): [一般講演] 胆道閉塞解除後の黄疸遷延に関する臨床的実験的研究; 特に胆道上皮細胞膜の変化を中心として. 第88回日本外科学会総会, 1988.

- 27) 天野純治, 三樹勝, 赤岩順, 桜井蔚生, 河島文幸, 久吉隆郎, 望月功: [一般講演] 絞縊性イレウスの診断と手術のタイミング. 第88回日本外科学会総会, 1988.
- 28) 奥村光治郎¹⁾, 喜多島豊三¹⁾, 難波亨 (¹国立立川病院外科): [一般講演] 十二指腸下行脚に発生した巨大腺腫に高分化型腺癌に合併した1例. 第43回国立病院療養所医学会総会, 1988.
- 29) 松本光司, 原亨, 浅野伍朗¹⁾, 三樹勝 (¹第2病理): [一般講演] 閉塞性黄疸に続発する胆管上皮細胞膜変化. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 30) 松本光司, 原亨, 浅野伍朗¹⁾ (¹第2病理): [一般講演] 閉塞性黄疸に続発する肝細胞の変化; 特に毛細胆管を中心として. 第20回日本臨床電子顕微鏡学会学術講演会, 1988.
- 31) Miki, M.¹⁾, Tanaka, M.²⁾, Tasaki, T.¹⁾, Prathodi, P.³⁾ and Sanda, T.³⁾ (¹Department of Surgery, ²Laboratory of Chemistoy, ³Chiang Mai University): [一般講演] Trace elements of gallstones in thailand. タイ国王主催外科学会第4回大会 (タイ国バンコック), 1988.
- 32) 久吉隆郎, 難波亨, 桜井蔚生, 平田正信, 赤岩順, 天野純治, 三樹勝, 佐藤雅史¹⁾, 川並汪一²⁾ (¹第二病院放射線科, ²同病理): [一般講演] 約5年間経過観察された肺転移巣より診断された甲状腺癌の一例. 第94回日本肺癌学会関東部会, 1989.
- 33) 天野純治, 赤岩順, 桜井蔚生, 久吉隆郎, 河島文幸, 三樹勝: [一般講演] 噴門温存術式としての超小胃, 特に抗内因子抗体をめぐる造血因子の検討. 第33回日本消化器外科学会総会, 1989.
- 34) 田崎達也, 三樹勝, 永井俊¹⁾, 田中幹男¹⁾, 渡辺日章²⁾ (¹化学, ²法医): [一般講演] No 185 中性子並びにX線ラジオグラフィーによる胆石内部構造解析の研究. 第75回日本消化器病学会総会, 1989.
- 35) 田崎達也, 荒川薫, 的場康德, 平田知己, 松林博男, 三樹勝, 永井俊¹⁾, 田中幹男¹⁾, 渡辺日章²⁾ (¹化学, ²法医): [一般講演] 日・タイ両国胆石成分の比較検討; 特に微量元素含有量について. 第89回日本外科学会総会, 1989.
- 36) 難波亨, 久吉隆郎, 平田正信, 三樹勝, 佐藤雅史¹⁾, 川並汪一²⁾ (¹第二病院放射線科, ²同病理): [一般講演] 特異な病態を呈した肺アスペルギルス症の一例. 第69回日本胸部外科学会関東甲信越, 1989.
- 37) 松本光司, 原亨, 浅野伍朗¹⁾, 三樹勝 (¹第2病理): [一般講演] 閉塞性黄疸に続発する肝細胞形質膜の変化. 第78回日本病理学会総会, 1989.
- 38) 的場康德, 三樹勝, 天野純治, 赤岩順, 桜井蔚生, 河島文幸, 原一郎, 平井真実, 久吉隆郎, 松林博男, 田崎博也, 葉山典泰, 山口裕史, 吉田宏, 平野文也, 内藤英二, 渡辺昌則, 平田知己, 大久保哲行: [一般講演] 当科における早期胃癌70例の検討. 第6回川崎市医師会医学会, 1989.
- 39) 内藤英二, 三樹勝, 天野純治, 赤岩順, 田崎博也, 大久保正智¹⁾, 難波亨, 川並汪一²⁾, 荒川薫 (¹形成外科, ²第二病院病理): [一般講演] 左頸部巨大腫瘍の一例; 悪性混合腫瘍. 第64回神奈川県臨床外科医学会集談会, 1989.

11. 脳神経外科学講座

研究概要

脳神経外科学教室の研究内容は、大きく三大別される。その一つは、悪性脳腫瘍に対する新しい治療法の開発で、制癌剤の局所注入療法や免疫療法等が行われてきている。最近では米国 Philadelphia Wister Institute と共同で悪性グリオーマに対するモノクローナル抗体を用いた免疫療法の開発が進められており、それぞれの研究成果も報告されている。今後の発展が期待される。

第二のプロジェクトは重症頭部外傷の病態の解明と診断・治療法に関する研究である。当教室では早くから diffuse axonal injury の病態と診断・治療についての研究をすすめてきており、米国ペンシルバニア大学脳神経外科 Prof. Genarrelli との共同研究も計画されている。今年もこれを中心とする頭部外傷の研究と発表が多く行われた。

第三のプロジェクトは脳血管障害に関する研究である。主として臨床例を中心とした症例の検討が中心であるが、最近米国ジョンスホプキンス大学脳神経外科 Prof. Long との共同研究、さらにミズーリ大学カンザスシティ校 Prof. Tsai 等との共同症例研究、カリフォルニア大学サンフランシスコ校脳神経外科 Prof. Pitts との共同研究が積極的に行われるようになり、基礎研究を含めた多くの研究報告が相ついだ。

また、脳死や植物状態患者等の研究も行われており、メディカルエシックスの面にも研究の広がりをみせている。

その他脳の感染性疾患、奇形・小児脳神経外科等にそれぞれの症例を中心とした研究発表があり、少ない研究員で最大の功績をあげているといえよう。

〔付属病院脳神経外科〕

研究業績

論文

- 1) 小林士郎, 中沢省三:〔報告〕ケルン学会記; ICRAN 86 Köln に参加して. 救急医, 12, 253~254, 1988.
- 2) 志村俊郎, 中沢省三, 小林士郎, 横田裕行, 大塚敏文¹⁾, 中村俊彦²⁾ (¹⁾CCM, ²⁾東京都監察医務院):〔原著〕Diffuse axonal injury 5 剖検例の臨床病理学的検討. 脳神経外科, 16, 647~653, 1988.
- 3) 小林士郎, 喜多村孝幸, 横田裕行, 中沢省三, 矢埜正美¹⁾, 大塚敏文²⁾ (¹⁾麻酔科, ²⁾CCM):〔報告〕両側性外傷性大脳基底核部出血の1例. 救急医, 12, 521~523, 1988.
- 4) 小林士郎, 中沢省三:〔総説〕急性硬膜下血腫(上). 月刊消防, 10(5), 19~23, 1988.
- 5) 小林士郎, 中沢省三:〔総説〕急性硬膜下血腫(下). 月刊消防, 10(6), 65~71, 1988.
- 6) 陳茂楠¹⁾, 清水匡訓¹⁾, 工藤玄恵²⁾, 樋口皓史³⁾, 中沢省三 (¹⁾佼成病院脳神経外科, ²⁾同病理, ³⁾海老名総合病院脳神経外科):〔報告〕Ependymoblastoma の1例; CT 所見の変化を中心に. 脳腫瘍病理, 5, 75~80, 1988.
- 7) 横田裕行, 諫山和男, 松本正博, 村山享一, 山川和臣¹⁾, 中沢省三 (¹⁾県南総合病院脳神経外科):〔報告〕外傷性一次性脳幹部損傷に続発したと思われる外傷性脊髓空洞症の1例. 救急医, 12, 641~646, 1988.
- 8) 小林士郎, 横田裕行, 中沢省三:〔報告〕両側外転, 顔面, 聴神経麻痺を生じた Crushing head injury の1例. 脳神経外科, 16, 869~873, 1988.
- 9) 志村俊郎, 中沢省三, 小林士郎, 横田裕行, 諫山和男, 山本保博¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 向井敏二²⁾, 徳留省悟²⁾ (²⁾東京都監察医務院):〔原著〕急性頭部外傷26剖検例の臨床病理学的検討. 救急医, 12, 865~871, 1988.
- 10) 小林士郎, 中沢省三:〔総説〕急性硬膜外血腫. 月刊消防, 10(8), 75~80, 1988.
- 11) 小林士郎, 中沢省三:〔報告〕脳神経外科ナースの卒後教育セミナー. Brain Nursing, 4, 408~411, 1988.
- 12) 小林士郎:〔報告〕脳神経外科領域における血管内手術法の進歩. Brain Nursing, 4, 677~681, 1988.

- 13) Imaya, H., Matsuura, H., Kudo, M. and Nakazawa, S.: [原著] Induction of lymphokine-activated killer cells from rat thymocytes using recombinant human interleukin-2. *Cancer Immunol. Immunother.*, **27**, 13~16, 1988.
- 14) 野手洋治, 辻之英, 中沢省三: [報告] 頭部外傷後両側内頸動脈領域に広汎な梗塞を呈した1例. *救急医*, **12**, 1033~1035, 1988.
- 15) 志村俊郎, 中沢省三, 横田裕行, 小林士郎, 大塚敏文¹⁾ (¹⁾CCM): [報告] 外傷性脳梁出血の2剖検例. *救急医*, **12**, 1159~1162, 1988.
- 16) Imaya, H., Matsuura, H., Kudo, M. and Nakazawa, S.: [原著] Suppression of splenic natural killer cell activity in rats with brain tumors. *Neurosurgery*, **23**, 23~26, 1988.
- 17) 小林士郎, 中沢省三: [総説] 頭部刺創および頭部突き刺し創. *月刊消防*, **10** (9), 75~66, 1988.
- 18) 小林士郎, 中沢省三: [報告] 米国脳神経外科学会におけるスポーツ医学. *臨床スポーツ医*, **5**, 953~955, 1988.
- 19) 横田裕行, 中沢省三, 松本正博, 小林士郎, 志村俊郎, 矢嶋浩三: [原著] 脳静脈血栓症-自験例5例と文献的考察. *日災医会誌*, **36**, 632~638, 1988.
- 20) 志村俊郎, 中沢省三, 池田幸穂, 野手洋治, 喜多村孝幸, 安久津靖彦: [原著] 再発悪性神経膠腫の病理組織学的研究; Adriamycin 局所注入療法症例の検討. *癌の臨*, **34**, 1537~1543, 1988.
- 21) 横田裕行, 水成隆之, 葛原正昭, 小林士郎, 矢嶋浩三, 中沢省三, 矢埜正実¹⁾, 山本保博¹⁾, 大塚敏文¹⁾ (¹⁾CCM): [原著] 外傷性遅発性小脳内血腫の検討. *Neurol. Med. Chir. (Tokyo)*, **28**, 886~890, 1988.
- 22) 小林士郎: [報告] 第58回米国脳神経外科学会に出席して; 米国およびカナダの脳神経外科の流れと現況を含めて. *日医新報*, No. 3361, 45~47, 1988.
- 23) 志村俊郎, 中沢省三, 葛原正昭, 足立好司: [報告] 治療経過中の CT scan にて gas shadow を認めた転移性脳腫瘍の一剖検例. *癌と化療*, **15**, 2999~3002, 1988.
- 24) 小林士郎, 中沢省三: [総説] 脳神経外科的スポーツ外傷. *月刊消防*, **10** (11), 76~81, 1988.
- 25) 小林士郎, 中沢省三: [総説] 老人の頭部外傷. *月刊消防*, **10** (12), 121~126, 1988.
- 26) Kobayashi, S., Andrews, B. T., Pitts, L. H. and Nakazawa, S.: [原著] A new dural elevator for use during removal of the sphenoid wing Technical Note. *J. Neurosurg.*, **69**, 793, 1988.
- 27) 小林士郎, 中沢省三, 横田裕行, 諫山和男, 矢埜正実¹⁾, 大塚敏文¹⁾ (¹⁾CCM): [原著] 急性期重症頭部外傷における外傷性クモ膜下出血の検討. *脳と神*, **40**, 1131~1135, 1988.
- 28) 野手洋治, 辻之英, 中沢省三: [報告] 同一領域に出血を繰り返した, 高血圧性脳内出血の1例. *Neurol. Med. Chir. (Tokyo)*, **28**, 915~918, 1988.
- 29) 志村俊郎, 中沢省三, 野手洋治, 猪鹿倉恭子, 山田彦彦¹⁾, 浅野伍朗¹⁾, 橋本清²⁾ (¹⁾第2病理, ²⁾小児科): [報告] Mixed glioma 3 症例の病理組織学的検討; 成人例と小児例において. *脳腫瘍病理*, **5**, 219~223, 1988.
- 30) 高橋弘, 中沢省三, Herlyn, D., Koprowski, H.: [原著] モノクローナル抗体を用いたヒト悪性グリオーマに対する免疫療法の検討. *神経免疫研究*, **1**, 147~154, 1988.
- 31) 小林士郎, 中沢省三: [総説] 意識障害; 頭部外傷患者例をととして. *臨看*, **15**, 125~133, 1989.
- 32) 小林士郎: [報告] 米国脳神経外科学会の現況. *Brain Nursing*, **5**, 97~100, 1989.
- 33) 小林士郎, 中沢省三: [総説] 小児の頭部外傷. *月刊消防*, **11** (1), 31~36, 1989.
- 34) 小林士郎, 中沢省三: [総説] 頭部外傷後遺症. *月刊消防*, **11** (2), 76~80, 1989.
- 35) 小林士郎, 中沢省三: [総説] 瞳孔不同; テント切痕ヘルニアをきたした小児脳腫瘍患者を例として. *臨看*, **15**, 229~234, 1989.
- 36) 小林士郎, 中沢省三: [総説] 除脳硬直; 小児重症頭部外傷例をととして. *臨看*, **15**, 401~407, 1989.
- 37) 小林士郎: [報告] 世界の手術室; アメリカ, カリフォルニア大学サンフランシスコ校脳神経外科. オペナージ

ング, 4, 206~209, 1989.

- 38) 中沢省三, 小林士郎, 横田裕行, 志村俊郎: [原著] びまん性軸索損傷の臨床と病理. 脳神経外科, 17, 247~253, 1989.
- 39) 小林士郎, 中沢省三: [総説] 頭部外傷患者の親族への手引き. 月刊消防, 11(3), 18~23, 1989.

著 書

- 1) 小林士郎, 中沢省三: [分担] 頭部外傷. “救急医学, 看護のための臨床医学大系 20”, p. 238~255, 情報開発研究所, 1988.
- 2) 小林士郎: [分担] 昏睡状態. “精神神経科マニュアル” (柏瀬宏隆編), p. 39~45, 朝倉書店, 1988.
- 3) 小林士郎: [分担] けいれん状態. “精神神経科マニュアル” (柏瀬宏隆編), p. 45~48, 朝倉書店, 1988.
- 4) 小林士郎: [分担] 失神状態. “精神神経科マニュアル” (柏瀬宏隆編), p. 48~51, 朝倉書店, 1988.
- 5) 中沢省三: [分担] 頭部外傷. “外傷の救急医学” (渡辺好博, 中沢省三, 小林国男編), p. 79~139, 南山堂, 1988.
- 6) 小林士郎: [分担] 老年者頭部外傷. “外傷の救急医学” (渡辺好博, 中沢省三, 小林国男編), p. 139~144, 南山堂, 1988.
- 7) 中沢省三: [分担] 「脳死」と「植物状態」. “外傷の救急医学” (渡辺好博, 中沢省三, 小林国男編), p. 145~148, 南山堂, 1988.
- 8) 高橋弘: [分担] 外傷を受けた小児の管理; 頭部外傷とその管理. “外傷の救急医学” (渡辺好博, 中沢省三, 小林国男編), p. 499~502, 南山堂, 1988.
- 9) 中沢省三: [分担] 救急室における看護の役割; 頭部外傷・脳卒中発作を中心に. “脳神経外科看護の知識と実際”, p. 123~158, メディカ出版, 1988.
- 10) Node, Y. and Nakazawa, S.: [分担] Clinical examination of the somatosensory evoked potential, auditory brain-stem response, and electroencephalography with ruptured cerebral aneurysm in the acute stage. “Advances in Surgery for Cerebral Stroke”, Springer-Verlag, Berlin, p. 667~669, 1988.
- 11) 小林士郎: [分担] 頭部外傷. “国試外科学Ⅱ” (伊藤洋, 江郷洋一編), p. 41~59, 医学評論社, 1989.
- 12) 小林士郎: [分担] 脳血管障害. “国試外科学Ⅱ” (伊藤洋, 江郷洋一編), p. 90~117, 医学評論社, 1989.

学会発表

- 1) Kobayashi, S., Pitts, L. H.¹⁾, Andrew, B. T.¹⁾ and Nakazawa, S. (¹⁾Dept. of Neurological Surgery, University of California at San Francisco): [一般講演] Massive epistaxis after balloon embolization of traumatic carotid cavernous fistulas. Surgical Neuroangiography Course and Symposium (New York), 1988.
- 2) 高橋弘, 中沢省三, Sutton, L.¹⁾, Schut, L.¹⁾ (¹⁾フィラデルフィア小児病院脳神経外科): [一般講演] 多発奇型を伴った頭蓋内くも膜嚢腫. 第16回日本小児神経外科学研究会, 1988.
- 3) 高橋弘, 中沢省三, Sutton, L.¹⁾, Schut, L.¹⁾, Herlyn, D.²⁾, Koprowski, H.²⁾ (¹⁾Childrens Hospital of Philadelphia University of Pennsylvania, ²⁾Wistar Institute of Anatomy and Biology): [一般講演] モノクロナール抗体による小児悪性脳腫瘍治療の試み. 第16回日本小児神経外科学研究会, 1988.
- 4) 高橋弘, 池田幸穂, 志村俊郎, 中沢省三: [一般講演] 若年者を中心とした特発性脳内血腫の臨床的検討. 第16回日本小児神経外科学研究会, 1988.
- 5) 志村俊郎, 小南修史, 猪鹿倉恭子, 中沢省三, 山田宣孝¹⁾, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾第2病理): [一般講演] 頭蓋内に多発性転移を来した malignant fibrous histiocytoma の電子顕微鏡的および免疫組織学的検討. 第29回日本神経病理学会総会, 1988.

- 6) 猪鹿倉恭子, 野手洋治, 高橋弘, 中沢省三: [一般講演] 小児内頸動脈閉塞症の一例. 第30回日本脳神経外科学会関東地方会, 1988.
- 7) 足立好司¹⁾, 陳茂楠¹⁾, 清水匡訓¹⁾, 工藤玄恵²⁾, 中沢省三 (¹⁾佼成病院脳神経科, ²⁾同病理): [一般講演] Wermer 症候群に合併した脳動脈瘤の一例. 第30回日本脳神経外科学会関東地方会, 1988.
- 8) 吉田大蔵, 中沢省三, 志村俊郎: [一般講演] 悪性グリオーマに対する Adriamycin 局所注入療法の臨床的研究. 第29回日本神経学会総会, 1988.
- 9) 猪鹿倉恭子, 野手洋治, 葛原正昭, 矢嶋浩三, 中沢省三: [一般講演] 視床出血における予後不良因子としての CT 所見および臨床症状について. 第29回日本神経学会総会, 1988.
- 10) 高橋弘, 中沢省三, Sutton, L.¹⁾, Herlyn, D.²⁾, Koprowski, H.²⁾ (¹⁾Department of Neurosurgery, Children's Hospital of Philadelphia, ²⁾The Wistar Institute): ヒト悪性グリオーマに有効なモノクローナル抗体の選択. 第29回日本神経学会総会, 1988.
- 11) 水成隆之, 横田裕行, 小林士郎, 中沢省三, 小井土雄一¹⁾, 黒川顕¹⁾, 大塚敏文¹⁾ (¹⁾CCM): [一般講演] 外傷性小脳内血腫の検討. 第2回日本外傷研究会, 1988.
- 12) 石郷岡聡, 野手洋治, 猪鹿倉恭子, 矢嶋浩三, 中沢省三, 坂本篤裕¹⁾, 吉河達祐¹⁾, 小川龍¹⁾ (¹⁾麻酔科): [一般講演] 術中悪性高熱症を呈した脳動脈奇形の一例. 日本医科大学医学会第65回例会, 1988.
- 13) 横田裕行¹⁾, 木村昭夫¹⁾, 小井戸雄一¹⁾, 山本保博¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 中沢省三 (¹⁾CCM): [一般講演] 脳死患者における視床下部ホルモン. 第1回脳蘇生研究会, 1988.
- 14) 猪鹿倉恭子¹⁾, 葛原正昭¹⁾, 中江純夫¹⁾, 中沢省三 (¹⁾目白第三病院脳神経外科): [一般講演] 高血圧性視床出血重症例の臨床的検討. 第25回日本救急医学会関東地方会, 1988.
- 15) 葛原正昭¹⁾, 猪鹿倉恭子¹⁾, 中江純夫¹⁾, 中沢省三 (¹⁾目白第三病院脳神経外科): [一般講演] 非高血圧性大脳基底核部出血に対する CT 誘導下定位血腫吸引除去術. 第25回日本救急医学会関東地方会, 1988.
- 16) Takahashi, H. and Nakazawa, S.: [一般講演] Specificities of head injuries in children. Vth Pan-Pacific Surgical Association Japan Chapter (Tokyo), 1988.
- 17) 高橋弘: [海外留学者講演] モノクローナル抗体を用いた悪性脳腫瘍の免疫療法. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 18) 小林士郎: [海外留学者講演] 脳神経外科領域における血管内手術法の進歩ならびに脳虚血巣に対するカルシウム拮抗薬の作用. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 19) 水成隆之, 岡田卓郎, 横田裕行, 小林士郎, 中沢省三, 小井土雄一¹⁾, 黒川顕¹⁾, 大塚敏文¹⁾ (¹⁾CCM): [一般講演] 外傷性後頭蓋窩血腫の検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 20) 陳茂楠¹⁾, 清水澄江¹⁾, 清水匡訓¹⁾, 山下陽一, 中沢省三 (¹⁾佼成病院脳神経外科): [一般講演] ¹²³I-IMPPECT による脳腫瘍の検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 21) 葛原正昭¹⁾, 猪鹿倉恭子¹⁾, 中江純夫²⁾, 中沢省三 (¹⁾目白第三病院脳神経外科, ²⁾同 CCM): [一般講演] 脳動脈瘤破裂後の脳血管攣縮とアラキドン酸代謝. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 22) 佐々木光由, 野手洋治, 吉田大蔵, 小南修史, 志村俊郎, 中沢省三: [展示] 若年者脳梗塞の1例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 23) 栗屋栄, 野手洋治, 矢嶋浩三, 中沢省三: [展示] 興味ある症状を呈した急性硬膜外血腫の1治療例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 24) 山下陽一, 小林士郎, 葛原正昭, 水成隆之, 猪鹿倉恭子, 中沢省三: [展示] 急性硬膜下血腫を伴った破裂脳動脈瘤の検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 25) 山口文雄, 岡田卓郎, 高橋弘, 矢嶋浩三, 中沢省三: [展示] 小脳症状により発症した頭蓋内舌下神経鞘腫の1

- 例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 26) 草彌博昭, 小南修史, 石郷岡聡, 岡田卓郎, 志村俊郎, 中沢省三, 横山宗伯¹⁾ (第2病理): [展示] Glioma Pontis と診断された2症例のMRI 所見について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
 - 27) 石郷岡聡, 野手洋治, 矢嶋浩三, 中沢省三: [展示] Transcranial doppler による頭蓋内血流動態の検討; 脳血流シンチグラムとの対比. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
 - 28) 猪鹿倉恭子, 葛原正昭¹⁾, 中江純夫²⁾, 中沢省三 (第1目白第三病院脳神経外科, ²⁾同 CCM): [展示] Anton 症状を呈した両側後大脳動脈領域脳梗塞の1例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
 - 29) 葛原正昭, 猪鹿倉恭子¹⁾, 中江純夫²⁾, 中沢省三 (第1目白第三病院脳神経外科, ²⁾同 CCM): [展示] 非高血圧性脳内血腫に対するCT 誘導下定位的血腫吸引除去術. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
 - 30) 大矢徹¹⁾, 川俣博志¹⁾, 伊藤公郎¹⁾, 高橋政之¹⁾, 高木亮¹⁾, 本多一義¹⁾, 隅崎達夫¹⁾, 恵畑欣一¹⁾, 中沢省三, 高橋弘 (放射線科): [展示] 経上腕動脈的脳血管 IADSA の経験. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
 - 31) 高橋弘, 中沢省三, Sutton, L.¹⁾, Schut, L.¹⁾, Herlyn, D.²⁾, Koprowski, H.²⁾ (Dept. of Neurosurgery, Children's Hospital of Philadelphia, ²⁾The Wistar Institute): [一般講演] 移植ヒト悪性グリオーマにおける抗上皮成長因子受容体モノクローナル抗体の有用性. 第47回日本癌学会総会, 1988.
 - 32) 栗屋栄, 高橋弘, 野手洋治, 矢嶋浩三, 中沢省三: [一般講演] 上眼窩裂症候群を呈した急性硬膜外血腫の1例. 第31回日本脳神経外科学会関東地方会, 1988.
 - 33) 中沢省三: [特別講演] 植物状態患者の現況. 第47回日本脳神経外科学会総会, 1988.
 - 34) 横田裕行, 志村俊郎, 中沢省三, 木村昭夫¹⁾, 黒川顕¹⁾, 山本保博¹⁾, 大塚敏文¹⁾ (CCM): [シンポジウム] 脳死患者における視床下部下垂体機能. 第47回日本脳神経外科学会総会, 1988.
 - 35) 葛原正昭, 猪鹿倉恭子, 矢嶋浩三, 中沢省三: [一般講演] 高血圧脳内血腫に対する定位的血腫吸引除去術の適応と限界. 第47回日本脳神経外科学会総会, 1988.
 - 36) 志村俊郎, 中沢省三, 安久津靖彦, 浅野伍朗¹⁾ (第2病理): [ポスター] Meningeal Leukemia; 22剖検例の病理組織学的検討. 第47回日本脳神経外科学会総会, 1988.
 - 37) 矢嶋浩三, 野手洋治, 松本正博, 足立好司, 横田裕行, 小林士郎, 中沢省三, 大塚敏文¹⁾ (CCM): [ポスター] 側頭尖端部硬膜外血腫. 第47回日本脳神経外科学会総会, 1988.
 - 38) 高橋弘, 中沢省三, Sutton, L.¹⁾, Schut, L.¹⁾, Herlyn, D.²⁾, Koprowski, H.²⁾ (Dept. of Neurosurgery, Children's Hospital of Philadelphia, University of Pennsylvania, ²⁾Wistar Institute of Anatomy and Biology): [ポスター] ヒト悪性グリオーマに対するモノクローナル抗体を用いた免疫療法へのアプローチ. 第47回日本脳神経外科学会総会, 1988.
 - 39) 猪鹿倉恭子, 葛原正昭, 清水澄江, 中沢省三, 中江純夫¹⁾ (第1目白第三病院 CCM): [ポスター] 劇症型慢性硬膜下血腫の臨床的検討. 第47回日本脳神経外科学会総会, 1988.
 - 40) Kobayashi, S., Tsai, F. Y.¹⁾ and Nakazawa, S. (University of Missouri at Kansas City): [一般講演] Percutaneous transluminal angioplasty (PTA) of "subclavian steal" syndrome. 第47回日本脳神経外科学会総会, 1988.
 - 41) Kobayashi, S., Tsai, F. Y.¹⁾ and Nakazawa, S. (University of Missouri at Kansas City): [一般講演] Interventional neuroradiology for traumatic vascular lesions in the head and neck. 第47回日本脳神経外科学会総会, 1988.
 - 42) 池田幸穂¹⁾, Long, D. M.¹⁾, 中沢省三 (Dept. of Neurosurgery, Johns Hopkins University, School of Medicine): [一般講演] 腫瘍性脳浮腫における Oxygen Free Radical の役割. 第47回日本脳神経外科学会総会, 1988.
 - 43) 池田幸穂¹⁾, 池田清美¹⁾, Long, D. M.¹⁾, 中沢省三 (Dept. of Neurosurgery, Johns Hopkins University, School of Medicine): [一般講演] Cold-induced brain edema における Iron chelator の効果. 第47回日本脳神経外科学会総会, 1988.

- 44) 陳茂楠¹⁾, 清水匡訓¹⁾, 山下陽一, 中沢省三 (¹⁾佼成病院脳神経外科) : [ポスター] ¹²³I-IMP Spect による脳腫瘍の検討. 第47回日本脳神経外科学会総会, 1988.
- 45) Kobayashi, S.¹⁾ and Nakazawa, S. (¹⁾Dept. of Neurological Surgery, University of California at San Francisco) : [ビデオセッション] Subarachnoid catheter method ; Easy and reliable method of monitoring of intracranial pressure. 第47回日本脳神経外科学会総会, 1988.
- 46) 中村孝男¹⁾, 山浦晶¹⁾, Pitts, L. H.²⁾, 小林士郎 (¹⁾千葉大学脳神経外科, ²⁾University of California at San Francisco) : [ポスター] 実験的頭部外傷に対する lipid peroxidation inhibitor, 21-aminosteroid U74006F の効果. 第47回日本脳神経外科学会総会, 1988.
- 47) 矢嶋浩三, 中沢省三, 志村俊郎, 岡田卓郎, 清水澄江 : [一般講演] 最近経験した難治性てんかんの手術著効例. 第11回ペンフィールド記念懇話会, 1988.
- 48) 池田幸穂, 中沢省三, Long, D. M.¹⁾ (¹⁾Dept. of Neurological Surgery, the Johns Hopkins Hospital) : [一般講演] 外傷性および腫瘍性脳浮腫発生における Oxygen free radical の役割. 第31回脳循環代謝研究会, 1988.
- 49) 佐々木光由, 小南修史, 吉田大蔵, 村山享一, 中沢省三 : [一般講演] トキソプラズマ髄膜炎の1例. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 50) 猪鹿倉恭子¹⁾, 葛原正昭¹⁾, 中江純夫²⁾, 中沢省三 (¹⁾目白第三病院脳神経外科, ²⁾同 CCM) : [一般講演] 視床出血の予後不良因子の検討. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
- 51) 葛原正昭¹⁾, 猪鹿倉恭子¹⁾, 中江純夫²⁾, 中沢省三 (¹⁾目白第三病院脳神経外科, ²⁾同 CCM) : [一般講演] 高血圧性脳内血腫症例に対する定位的血腫吸引除去術の適応と限界. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
- 52) 辻之英¹⁾, 横田裕行¹⁾, 谷口禎規¹⁾, 矢嶋浩三 (¹⁾目白第二病院脳神経外科) : [一般講演] 破裂脳動脈瘤急性期治療成績の検討. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
- 53) 山下陽一, 小林士郎, 矢嶋浩三, 中沢省三 : [一般講演] 脳底・上小脳動脈瘤, Von Reckling Hausen 病を合併したもやもや病の一治療例. 第32回日本脳神経外科学会関東地方会, 1988.
- 54) 小林士郎, 中沢省三, 横田裕行, 黒川顕¹⁾, 大塚敏文¹⁾ (¹⁾CCM) : [一般講演] 頭部代創の画像診断. 第12回脳神経 CT 研究会, 1989.
- 55) 喜多村孝幸, 小林士郎, 矢嶋浩三, 中沢省三 : [一般講演] 頭部外傷患者の治療効果及び予後判定に対する ¹²³I-IMP SPECT の有用性について. 第12回脳神経 CT 研究会, 1989.
- 56) 小林士郎, 中沢省三, 孫守成¹⁾, 翟允昌¹⁾ (¹⁾中国医科大学脳神経外科) : [ポスター] 頭部 lightning injury の1例. 第12回脳神経 CT 研究会, 1989.
- 57) 横田裕行¹⁾, 谷口禎規¹⁾, 辻之英¹⁾, 小林士郎, 矢嶋浩三, 中沢省三 (¹⁾目白第二病院脳神経外科) : [一般講演] Diffuse axonal injury (軽症例) における MRI の有用性. 第12回脳神経 CT 研究会, 1989.
- 58) 松本正博, 中沢省三, 矢嶋浩三 : [ポスター] 高令者転移性脳腫瘍患者の治療効果における年齢的ファクターの検討. 第2回老年脳神経外科研究会, 1989.
- 59) 小林士郎, 中沢省三, Ross, A. M.¹⁾, Pitts, L. H.¹⁾ (¹⁾カリフォルニア大学サンフランシスコ校脳神経外科) : [ポスター] 頭蓋内圧測定を施行した老年者頭部外傷例の検討. 第2回老年脳神経外科研究会, 1989.
- 60) 山下陽一, 諫山和男, 小林士郎, 矢嶋浩三, 中沢省三, [一般講演] 硬膜下血腫を合併した破裂脳動脈瘤11症例の検討. 第33回日本脳神経外科学会関東地方会, 1989.
- 61) 小林士郎, 中沢省三, Tsai, F. Y.¹⁾ (¹⁾ミズーリ大学カンザスシティ校放射線科) : [一般講演] Subclavian steal syndrome に対する経皮的血管拡張術 (PTA) の臨床経験. 第14回日本脳卒中学会総会, 1989.
- 62) 小林士郎, 中沢省三, Tsai, F. Y.¹⁾ (¹⁾ミズーリ大学カンザスシティ校放射線科) : [ポスター] 外傷性脳血管障害に対する塞栓術臨床経験. 第14回日本脳卒中学会総会, 1989.

- 63) 小林士郎, 中沢省三, Tsai, F. Y.¹⁾ (¹⁾ミズーリ大学カンザスシティ校放射線科) : [一般講演] 急性期外傷性頭頸部血管障害の塞栓術. 第26回日本救急医学会関東地方会, 1989.
- 64) 横田裕行¹⁾, 辻之英¹⁾, 谷口禎規¹⁾, 小林士郎, 中沢省三 (¹⁾目白第二病院脳神経外科) : [一般講演] 頭部外傷急性期における MRI の有用性; 軽症及び中等症例における検討. 第26回日本救急医学会関東地方会, 1989.
- 65) 猪鹿倉恭子¹⁾, 葛原正昭¹⁾, 中江純夫²⁾, 中沢省三 (¹⁾目白第三病院脳神経外科, ²⁾同 CCM) : [一般講演] 高齢者における脳挫傷の臨床的分析. 第26回日本救急医学会関東地方会, 1989.
- 66) 中沢省三, 小林士郎, 横田裕行, 岡田卓郎, 喜多村孝幸, 志村俊郎, 矢嶋浩三, 水成隆之¹⁾, 大塚敏文¹⁾ (¹⁾CCM) : [シンポジウム] Severe diffuse axonal injury (Gennarelli) の診断および病態像. 第12回日本神経外傷研究会, 1989.
- 67) 喜多村孝幸, 小林士郎, 矢嶋浩三, 中沢省三 : [一般講演] ¹²³I-IMP SPECT による脳挫傷例の検討. 第12回日本神経外傷研究会, 1989.
- 68) 小林士郎, 中沢省三, Pitts, H. L.¹⁾ (¹⁾カリフォルニア大学サンフランシスコ校脳神経外科) : [一般講演] 頭部外傷に合併する脊椎, 脊髄損傷. 第12回日本神経外傷研究会, 1989.
- 69) 水成隆之, 小林士郎, 岡田卓郎, 横田裕行, 矢嶋浩三, 中沢省三, 黒川顕¹⁾, 辺見弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾ (¹⁾CCM) : [一般講演] テント上下にわたる急性硬膜外血腫の検討. 第12回日本神経外傷研究会, 1989.
- 70) 小林士郎, 岡田卓郎, 横田裕行, 中沢省三, 水成隆之¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 矢埜正実²⁾ (¹⁾CCM, ²⁾都城市郡医師会病院麻酔科) : [一般講演] 多発外傷を伴った頭部外傷患者の管理. 第12回日本神経外傷研究会, 1989.
- 71) 高橋弘, 中沢省三, 岡田卓郎, 大塚敏文¹⁾ (¹⁾CCM) : [一般講演] いわゆる “Shaken baby syndrome” の臨床的検討. 第12回日本神経外傷研究会, 1989.
- 72) 岡田卓郎, 小林士郎, 横田裕行, 中沢省三, 水成隆之¹⁾, 黒川顕¹⁾ (¹⁾CCM) : [一般講演] 多発外傷を伴った頭部外傷における MAST (Medical antishock trousers) の有用性. 第12回日本神経外傷研究会, 1989.
- 73) 小林士郎, 中沢省三, 横田裕行, 黒川顕¹⁾, 水成隆之¹⁾ (¹⁾CCM) : [一般講演] 頭部 impalement injury の検討. 第12回日本神経外傷研究会, 1989.
- 74) 小林士郎, 中沢省三, 孫守成¹⁾, 翟充昌¹⁾ (¹⁾中国医科大学脳神経外科) : [一般講演] 落雷による脳損傷. 第12回日本神経外傷研究会, 1989.
- 75) 横田裕行¹⁾, 谷口禎規¹⁾, 辻之英¹⁾, 小林士郎, 矢嶋浩三, 中沢省三 (¹⁾目白第二病院脳神経外科) : [一般講演] Diffuse brain injury 軽症例の診断における MRI の有用性. 第12回日本神経外傷研究会, 1989.
- 76) 小林士郎 : [シンポジウム] ラグビーによる脳幹部損傷の1症例. 第10回関東協会メディカルソサエティ総会, 1989.

[多摩永山病院脳神経外科]

研究業績

学会発表

- 1) 村山亨一, Huang Y. P.¹⁾ (¹⁾Mt. Sinai Medical Center) : [一般講演] 小児 AIDS 患者の CT 所見. 第17回日本神経放射線研究会, 1988.
- 2) 村山亨一, Huang Y. P.¹⁾ (¹⁾Mt. Sinai Medical Center) : [一般講演] 脳卒中および脳卒中様症状で発症した AIDS について. 第47回日本脳卒中学会総会, 1988.
- 3) 小南修史, 吉田大蔵, 村山亨一, 北村誠一¹⁾, 中沢省三²⁾ (¹⁾放射線科, ²⁾付属脳神経外科) : [一般講演] 高血圧性橋出血に対する外科的アプローチ; 定位的血腫吸引術について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.

12. 整形外科学講座

[付属病院整形外科・第一病院整形外科・第二病院整形外科・多摩永山病院整形外科]

研究概要

現代の整形外科はその研究範囲が膨大なものとなっている。それらをすべて網羅するべく研究班に分けて研究している。

項目では、

- 1) 電気生理学的検索；脊髄電位，筋電図，神経電位，骨の電気刺激，生体電磁場刺激。
- 2) Biomechanics；脊椎，仙腸関節，膝関節，股関節，肩関節等の Biomechanics。
- 3) 軟骨再生と移植；動物実験による同種および自家軟骨移植。
- 4) 手の機能・解剖；特に手根骨の動態と変性。
- 5) 人工関節・靱帯；膝関節内前十字靱帯の人工靱帯の開発と臨床応用。
- 6) 脊椎管腔内の血行動態；脊椎，脊髄内の静脈の解剖と血行動態。
- 7) 臨床的検索；頸椎・腰椎の手術
 - i. 骨盤（仙腸関節）部の手術
 - ii. 関節手術と人工関節・靱帯置換
 - iii. 悪性腫瘍患肢温存手術
 - iv. スポーツ医学
 - v. その他

等が代表的なものである。

整形外科学では、機能の解析と確保が重要であるが，中でも特に Biomechanics が重要であると考え，この分野に重点を置いて研究を進めたいと考えている。

研究業績

論文

- 1) 白井康正：〔総説〕救急整形外科．骨・関節・靱帯．1，13～16，1988。
- 2) 白井康正，伊藤博元：〔原著〕電気刺激による難治性骨折の治療．Orthopaedics，5，85～88，1988。
- 3) 伊藤博元，白井康正，玉井健介，横内正直，中瀬猛，柴崎徹，高山裕史，肥沼正明，藤井信人：〔原著〕脛骨開放骨折後の遷延治療骨折に対する pulsing electromagnetic fields の治療経験．骨折，10，392～395，1988。
- 4) 小林千秋，白井康正，中川俊，石原正博，宮本雅史，城武俊，石川雅人，沼尻秀章，舟越龍也：〔原著〕足における神経病性関節症について．日本足の外科研究会雑誌，9，77～80，1988。
- 5) 古谷正博，肥留川道雄，井上惣一郎，浦田伸一，西川英樹¹⁾，白井康正，池谷正之²⁾（¹⁾西川整形外科，²⁾池谷整形外科）：〔原著〕スポーツによる手指 DIP 関節損傷の治療経験．整外スポーツ医学会誌，7，179～182，1988。
- 6) 玉井健介，白井康正，伊藤博元，中山義人，藤倉国男¹⁾，石坂公人，正木高，成田哲也，大場俊二，宮本雅史，高山裕史（¹⁾藤倉病院）：〔原著〕下腿開放骨折の治療成績．骨折，10，408～412，1988。
- 7) 松沢勲¹⁾，白井康正，渡辺誠，小林千秋，沢泉卓哉（¹⁾目白第3病院）：〔報告〕小児腓骨遠位下端における症候性過剰骨の4例．日本足の外科研究会雑誌，10，20～22，1988。
- 8) 松沢勲，白井康正，小林千秋，古谷正博，武内俊次：〔報告〕小児外反扁平足におけるレ線計測．日本足の外科

研究会雑誌, 10, 112~115, 1988.

- 9) 伊藤博元, 白井康正, 中瀬猛, 肥沼正明, 元文芳和, 浦田伸一, 舟越龍也:〔原著〕脛骨遷延治療骨折の骨欠損に対するパルス電磁場刺激(PEMFs)の治療経験. 関東整災外会誌, 19, 502~506, 1988.
- 10) 加藤和義, 宇佐美文章¹⁾, 福田憲昭, 肥留川道雄, 白井康正(¹⁾宇佐美整形外科):〔原著〕手掌末梢部における指神経交通枝の解剖学的検索. 日手の外科会誌, 5, 67~70, 1988.
- 11) 池谷正之¹⁾, 肥留川道雄, 宇佐美文章²⁾, 古谷正博(¹⁾池谷整形外科, ²⁾宇佐美整形外科):〔原著〕橈骨短縮術による kienböck の治療. 日整外会誌, 62, S976, 1988.
- 12) 古谷正博, 白井康正, 肥留川道雄, 大場俊二, 井上惣一郎, 下川晶, 沢泉卓哉, 小川ひろみ, 浦田伸一:〔報告〕スキーによる母指 MP 関節尺側側副靱帯損傷の治療経験. 臨スポーツ医, 5, 1021~1025, 1988.
- 13) 南和文:〔総説〕各スポーツに特有な外傷と障害; 相撲. 体育の科学, 38, 715~720, 1988.
- 14) 白井康正, 大場俊二:〔原著〕脊髄損傷; 合併症. 救急医, 12, 1617~1623, 1988.
- 15) 元文芳和, 白井康正, 伊藤博元, 高山裕史, 肥沼正明, 舟越龍也:〔報告〕上腕骨腫瘍の術後に発生した偽関節に対する PEMF 刺激の一例. 生体電気刺激研究会誌, 2, 55~58, 1988.
- 16) 肥沼正明, 白井康正, 伊藤博元, 菊地達之, 成田哲也, 舟越龍也, 元文芳和:〔報告〕Pulsing electromagnetic fields における骨折部の局所温度変化. 生体電気刺激研究会誌, 2, 89, 1988.
- 17) 松本真彦¹⁾, 宇佐美文章²⁾, 白井康正(¹⁾松本整形外科, ²⁾宇佐美整形外科):〔臨床報告〕大腿骨骨頭壊死に対する血管束移植術後の 1 剖検例. 整形外科, 40, 125~131, 1989.
- 18) 伊藤博元:〔総説〕整形外科救急患者の治療と全身管理. 骨・関節・靱帯, 1, 17~23, 1989.
- 19) 白井康正, 伊藤博元:〔原著〕パルス電磁場刺激療法. 手術, 43, 9~15, 1989.
- 20) 石川雅人, 白井康正, 小林千秋, 菊地達之, 大場俊二, 森田欣司, 森淳:〔報告〕立方骨に発生した Aneurysmal bone cyst の一例. 関東整災外会誌, 20, 66~69, 1989.
- 21) 中山義人, 白井康正, 成田哲也, 伊志嶺隆, 高山裕史:〔原著〕前十字靱帯断裂に対する Eriksson 法と Leeds-Keio 人工靱帯による augmentation 法の術後成績. 第 9 回東京膝関節研会誌, 9, 284~289, 1989.
- 22) 中山義人:〔総説〕膝蓋軟骨軟化症の病態, 診断, 治療について. 骨・関節・靱帯, 2, 181~189, 1989.
- 23) 小林千秋, 白井康正, 小野義比古, 南和文, 武内俊次, 宮本雅史, 井上惣一郎, 藤原淳, 代田哲夫, 中川俊:〔原著〕下腿外傷後, 足部変形, 拘縮の治療経験; とくに deep posterior compartment syndrome を中心として. 東日本臨床整形外科学会雑誌, 1, 307~311, 1989.
- 24) 古谷正博, 白井康正, 肥留川道雄, 西川英樹, 菊地達之, 大場俊二, 井上惣一郎, 石川雅人, 柴崎徹, 浦田伸一:〔原著〕手指末節骨に生じた囊腫様骨病変の検討. 東日本臨床整形外科学会雑誌, 1, 268~272, 1989.
- 25) 白井康正:〔原著〕多発外傷. 東日本臨床整形外科学会雑誌, 1, 61, 1989.
- 26) 白井康正, 高山裕史, 伊藤博元, 井伊京一郎:〔総説〕腸骨移植骨片採取後に生じた一過性大腿神経麻痺. 骨・関節・靱帯, 2, 335~338, 1989.
- 27) 白井康正:〔総説〕誘発筋電図. 骨・関節・靱帯, 2, 341~346, 1989.
- 28) 伊藤博元, 白井康正, 中山義人, 井伊京一郎, 元文芳和, 舟越龍也, 益子邦洋¹⁾, 辺見弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾(¹⁾救急医学):〔原著〕重要臓器損傷を伴った多発外傷の治療; 骨盤骨折症例を中心に. 東日本臨床整形外科学会雑誌, 1, 91~94, 1989.

著 書

- 1) 白井康正:〔分担〕脊椎分離・圧り症. “今日の治療指針1989”, p. 583~584, 医学書院, 1989.

学会発表

- 1) 成田哲也, 中山義人, 白井康正, 伊志嶺隆, 高山裕史, 森淳: [一般講演] 前十字靱帯断裂に対する Eriksson 法の術後成績. 第61回日本整形外科学会総会, 1988.
- 2) 池谷正之¹⁾, 肥留川道雄, 宇佐美文章²⁾, 古谷正博 (¹⁾池谷整形外科医院, ²⁾宇佐美整形外科): [パネルディスカッション] 橈骨短縮術による Kienböck 病の治療. 第61回日本整形外科学会総会, 1988.
- 3) 井上惣一郎, 白井康正, 肥留川道雄, 古谷正博, 菊池達之, 城武俊, 浦田伸一: [一般講演] 手舟状骨に発生した骨内ガングリオンの3例. 第16回関東整形災害外科学会, 1988.
- 4) 浦田伸一, 浅野伍朗¹⁾, 石原島繁彦¹⁾, 村田順造¹⁾, 佐藤正紀¹⁾ (¹⁾第2病理): [展示] 骨形成に関与する間質の性状. 第77回日本病理学会総会, 1988.
- 5) 藤井信人, 白井康正, 井伊京一郎, 山口淳一, 大場俊二, 井上惣一郎: [一般講演] 胸腰椎移行部脊髓損傷に対する Harrington Instrumentation Surgery の治療成績. 第2回日本外傷研究会, 1988.
- 6) 井伊京一郎, 白井康正, 中山義人, 宮本雅史, 川井真, 藤井信人: [一般講演] 大腿骨骨折を伴う骨盤骨折に対する治療経験. 第16回関東整形災害外科学会, 1988.
- 7) 肥留川道雄, 白井康正, 古谷正博, 宇佐美文章¹⁾, 池谷正之²⁾ (¹⁾宇佐美整形外科, ²⁾池谷整形外科医院): [一般講演] 長母指屈筋腱損傷の治療経験. 第31回日本手の外科学会, 1988.
- 8) 加藤和義, 宇佐美文章¹⁾, 福田憲昭, 肥留川道雄, 白井康正 (¹⁾宇佐美整形外科): [一般講演] 手掌末梢部における指神経交通枝の解剖学的検索. 第31回日本手の外科学会, 1988.
- 9) 宇佐美文章¹⁾, 加藤和義 (¹⁾宇佐美整形外科): [一般講演] 指神経交通枝. 第11回末梢神経を語る会, 1988.
- 10) 武内俊次, 白井康正, 石原正博, 小秋千秋, 沢泉卓哉, 森淳: [一般講演] スポーツによる外傷性腓骨筋腱脱臼の治療. 第16回関東整形災害外科学会, 1988.
- 11) 白井康正: [特別講演] 仙腸関節由来の腰痛. 第71回東北整形災害学会日整会教育研修講演, 1988.
- 12) 大村文敏, 白井康正, 山口淳一, 藤原淳, 大場俊二, 中川俊: [一般講演] 頸部脊柱管拡大術後の頸椎可動性について; 片開き式と棘突起縦割り法の比較. 第17回日本脊椎外科研究会, 1988.
- 13) 浦田伸一, 浅野伍朗¹⁾, 佐藤正紀¹⁾ (¹⁾第2病理): [一般講演] 骨化の過程における細胞外基質の役割. 第20回日本結合組織学会総会, 1988.
- 14) 福田憲昭, 代田哲夫, 小野義比古, 白井康正, 日置正文¹⁾ (¹⁾第2外科): [一般講演] 上殿動脈損傷により生じた大腿神経麻痺の1例. 関東整形災害外科学会第510回整形外科集談会東京地方会, 1988.
- 15) Ito, H., Narita, T. and Shirai, Y.: [Symposium] Effects of PEMF on nerve regeneration. 10th Bioelectrical Magnetic Society, 1988.
- 16) 井伊京一郎, 白井康正, 大場俊二, 宮本雅史, 伊志嶺隆, 井上惣一郎, 藤井信人: [一般講演] 大腿骨骨幹部骨折に対する Brooker-Wills interlocking intramedullary nail を用いた治療. 第14回日本骨折研究会, 1988.
- 17) 古谷正博, 白井康正, 肥留川道雄, 井上惣一郎, 浦田伸一, 池谷正之¹⁾ (¹⁾池谷整形外科): [一般講演] 足舟状骨疲労骨折の一例. 第14回日本整形スポーツ医学会, 1988.
- 18) 渡辺誠, 松尾博由, 黒田賢二, 恩田圭司, 小川ひろみ, 間瀬泰克, 田島圭輔: [一般講演] 大腿骨転子部骨折後に同側大腿骨顆上骨折を起こした2症例. 第73回神奈川整形災害外科医会, 1988.
- 19) 松沢勲, 白井康正, 渡辺誠, 小林千秋, 沢泉卓哉: [一般講演] 小児腓骨遠位下端における症候性過剰骨の4例. 第13回足の外科研究会, 1988.
- 20) 川井真, 白井康正, 井伊京一郎, 柴崎徹, 肥沼正明: [一般講演] 創外固定にて治療を行った大腿骨骨折を伴った骨盤骨折の一症例. 第14回日本骨折研究会, 1988.
- 21) 小林千秋, 白井康正, 中川俊, 石原正博, 小野義比古, 武内俊次, 伊志嶺隆, 柴崎徹: [一般講演] 外傷性足趾

- 屈曲拘縮の5例。第13回足の外科研究会, 1988.
- 22) 松沢勲, 白井康正, 小林千秋, 古谷正博, 武内俊次: [シンポジウム] 小児外反扁平足におけるレ線計測。第13回足の外科研究会, 1988.
 - 23) 菊地達之, 白井康正, 下川晶, 浦田伸一, 前田昭太郎: [ポスターセッション] 全経過25年の dedifferentiated liposarcoma と思われる1例。第21回骨軟部腫瘍研究会, 1988.
 - 24) 小林千秋, 白井康正, 小野義比古, 南和文, 武内俊次, 宮本雅史, 井上惣一郎, 藤原淳, 代田哲夫, 中川俊: [一般講演] 下腿外傷後, 足部変形, 拘縮の治療経験; 特に deep posterior compartment syndrome を中心として。第37回東日本臨床整形外科学会, 1988.
 - 25) 舟越龍也, 白井康正, 玉井健介, 菊地達之, 柴崎徹: [一般講演] 神輿瘤の1手術例。第512回整形外科集談会東京地方会(関東整形災害外科学会月例会), 1988.
 - 26) 古谷正博, 白井康正, 肥留川道雄, 西川英樹, 菊地達之, 大場俊二, 井上惣一郎, 石川雅人, 柴崎徹, 浦田伸一: [一般講演] 手指末節骨に生じた囊腫様骨病変の検討。第37回東日本整形外科学会, 1988.
 - 27) 檜原理子¹⁾, 益田律子¹⁾, 横山和子¹⁾, 南和文^(¹第一病院麻酔科): [一般講演] 硬膜外ブロック時の注入時痛により発見された脊髄腫瘍の一症例。第28回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1988.
 - 28) 柴崎徹, 白井康正, 山口淳一, 川井真, 石川雅人, 藤井信人, 沢泉卓哉: [一般講演] 大動脈遮断時の脊髄局所冷却における脊髄誘発電位の変化について。第3回整形外科学会基礎学術集会, 1988.
 - 29) 宮本雅史, 森田欣司: [一般講演] 大腿骨骨幹部骨折に対する Locked Intramedullary Nail Systems を用いた治療。第28回全国国保地域医療学会, 1988.
 - 30) Urata, S., Asano, G.¹⁾ and Yamada, N.¹⁾ (¹第2病理): [一般講演] A case of recurrent epitheloid sarcoma in the hand. 第20回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1988.
 - 31) 下川晶, 白井康正, 中山義人, 三浦啓志, 高山景範: [一般講演] 椎間板機能の力学的評価法; ¹H-NMR 法を中心として。第15回整形外科バイオメカニクス研究会, 1988.
 - 32) 元文芳和, 白井康正, 伊藤博元, 橋田雅美: [一般講演] サルモネラ菌による小児の胫骨骨髓炎の1例。第56回日本医科大学医学総会, 1988.
 - 33) 渡辺誠, 黒田賢二, 松尾博由, 平沼尚和, 渡辺昌則¹⁾, 久吉隆郎¹⁾, 難波亨¹⁾, 平田正信¹⁾, 赤岩順¹⁾, 天野純治¹⁾, 三樹勝¹⁾, 川並汪一²⁾, 太田吉男²⁾, 大庭孝男²⁾ (¹第二病院外科, ²同病理部): [一般講演] 両側気胸を伴った骨肉腫による転位性肺腫瘍の一例。第56回日本医科大学医学総会, 1988.
 - 34) 高山景範, 白井康正, 大場俊二, 伊志嶺隆, 三浦啓志, 池田龍二, 立石哲也¹⁾, 白崎芳夫¹⁾ (¹工業技術院機械技術研究所): [一般講演] 仙骨と腸骨の荷重に対する偏位。第15回整形外科バイオメカニクス研究会, 1988.
 - 35) 池田龍二, 白井康正, 大場俊二, 伊志嶺隆, 三浦啓志, 高山景範, 伊藤博信¹⁾, 田沼久美子¹⁾ (¹第2解剖): [パネルディスカッション] 仙腸関節の神経支配について; 特にその前方及び下方について。第3回日本整形外科学基礎学術集会, 1988.
 - 36) 城武俊, 白井康正, 中山義人, 菊地達之, 浦田伸一: [パネルディスカッション] 電気刺激の体幹筋に及ぼす影響について。第3回日本整形外科学基礎学術集会, 1988.
 - 37) 伊藤博元, 白井康正, 中山義人, 井伊京一郎, 元文芳和, 舟越龍也, 益子邦洋¹⁾, 辺見弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾ (救急医学): [シンポジウム] 重要臓器損傷を伴った多発外傷の治療; 骨盤骨折症例を中心に。第37回東日本臨床整形外科学会, 1988.
 - 38) 伊藤博元: [特別講演] Pulsing Electromagnetic Fieldy による難治性骨折の治療。関東整形外科学会月例会第512回東京地方会, 1988.
 - 39) Nakae, S., Takii, Y. and Matsuzawa, I.: [一般講演] Intrapulmonary pneumatocoles and hematomas following blunt

traume ; Report of two cases. The 5th Japan Chapter of Pan Pacific Surgical Association, 1988.

- 40) 小堀悦孝¹⁾, 松尾博由, 齊藤一郎¹⁾, 吉田早苗¹⁾, 沢田トミイ¹⁾, 生田純男¹⁾, 進貞夫¹⁾, 岩根正昭¹⁾ (スポーツイン
グ・ソサエティ・ナンバーワン) : [一般講演] 会員制スポーツクラブにおける健康管理. 第10回東日本スポー
ツ医学研究会, 1988.
- 41) 中山義人, 白井康正, 成田哲也, 伊志嶺隆, 高山裕史, 元文芳和, 森淳 : [一般講演] 膝蓋型変形性関節症に対
する Maquet 法と Cave and Rome 法の併用術の経験. 第16回日本リウマチ関節外科学会, 1988.
- 42) 南和文, 白井康正, 中川俊, 小野義比古, 黒田賢二, 小林千秋, 松尾博由, 館岡儀秋¹⁾, 松本茂²⁾ (¹⁾駒沢大学,
²⁾日本体育大学) : [一般講演] 学生相撲における整形外科的メディカルチェック ; 固定の有用性について. 第
10回東日本スポーツ医学研究会, 1988.
- 43) 高山景範, 白井康正, 肥留川道雄, 古谷正博, 井上惣一郎, 小川ひろみ, 池谷正之¹⁾ (¹⁾池谷整形外科医院) : [一
般講演] 腕相撲により発生した上腕骨内上顆骨折の一症例. 第10回東日本スポーツ医学研究会, 1988.
- 44) 松尾博由, 白井康正, 黒田賢二, 恩田圭司, 小川ひろみ, 間瀬泰克, 田島圭輔, 渡辺誠, 小堀悦孝¹⁾ (¹⁾日赤医
療センター) : [一般講演] アイスホッケー外傷の取り扱いについて. 第10回東日本スポーツ医学研究会, 1988.
- 45) 伊藤博元, 白井康正, 大場俊二, 柴崎徹, 高山景範 : [一般講演] Postero-lateral natch 撮影法の試み. 第15回
肩関節研究会, 1988.
- 46) 玉井健介, 白井康正, 石原正博, 元文芳和, 舟越龍也 : [一般講演] 寛骨臼回転骨切り術の経験. 第16回日本リ
ウマチ関節外科学会, 1988.
- 47) Urata, S., Sato, M., Qiao, Y., Kimura, K. and Asano, G. : [展示] Ultrastructural localization of alkaliue phosphatase and Ca^{++} -ATPase in mesenchymal cell on bone differentiation. Twenty-Ninth Annual Meeting of The Japan Society of Histochemistry and Cytochemistry, 1988.
- 48) 田島圭輔, 渡辺誠, 松尾博由, 井伊京一郎, 恩田圭司, 小川ひろみ, 間瀬泰克 : [一般講演] 小児膝蓋骨骨髄炎
の一治験例. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 49) 代田哲夫, 小野義比古, 黒田賢二, 南和文, 千葉由雄, 魚住葵 : [一般講演] 治療に難した MRSA 起因と思わ
れる大腿骨骨髄炎の1例. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 50) 井伊京一郎, 白井康正, 大場俊二, 宮本雅史, 伊志嶺隆, 井上惣一郎, 藤井信人 : [一般講演] 大腿骨骨幹部骨
折に対する Brooker-Wills nail を用いた治療の適応と利点. 第17回関東整形災害外科学会, 1988.
- 51) 平沼尚和, 白井康正, 石原正博, 武雅夫, 石坂公人, 城武俊 : [一般講演] 高齢者の腹臥位脊椎手術における循
環動態の変動. 第17回関東整形災害外科学会, 1988.
- 52) 藤井信人, 白井康正, 小川ひろみ, 井上惣一郎, 高田一彦, 古谷正博, 肥留川道雄 : [一般講演] ガングリオン
により発症した上肢末梢神経麻痺の3例. 第17回関東整形災害外科学会, 1988.
- 53) 渡辺誠, 白井康正, 松尾博由, 井伊京一郎, 恩田圭司, 小川ひろみ, 間瀬泰克, 田島圭輔 : [一般講演] Multi-
ple pinning 法を中心とした大腿骨頸部内側骨折の治療成績. 第17回関東整形災害外科学会, 1988.
- 54) 青木孝文, 井伊京一郎, 伊藤博元, 白井康正, 西川英樹¹⁾ (¹⁾西川整形外科) : [一般講演] 頭蓋骨硬化を伴っ
た骨線条症の一例. 関東整形災害外科学会第514回整形外科集談会東京地方会, 1988.
- 55) 川井真, 白井康正, 小林千秋, 大場俊二, 水野伸一, 大塚敏文¹⁾, 辺見弘¹⁾ (¹⁾救急医学) : [一般講演] 多発外
傷における創外固定の有用性. 第2回日本創外固定研究会, 1989.
- 56) 小林千秋, 白井康正, 菊地達之, 川井真, 沢泉卓哉, 中嶋隆夫 : [一般講演] 感染性偽関節特に欠損性偽関節に
対する創外固定器械の応用例について. 第2回日本創外固定研究会, 1989.
- 57) 宮本雅史, 白井康正, 伊藤博元, 舟越龍也, 森田欣司 : [一般講演] Malignant Hyperthermia の一症例. 関東整
形災害外科学会第515回整形外科集談会東京地方会, 1989.

- 58) 玉井健介, 白井康正, 宇佐美文章¹⁾, 菊地達之, 松本真彦²⁾ (¹⁾宇佐美整形外科, ²⁾松本整形外科): [シンポジウム] 大腿骨頭壊死に対する血管束移植術後の1剖検例. 特発性大腿骨頭壊死症調査研究班(厚生省)第2回班会議, 1989.
- 59) 白井康正: [特別講演] 仙腸関節性腰痛. 昭和大学医学会, 1989.
- 60) 中山義人, 白井康正, 成田哲也, 菊地達之, 伊志嶺隆, 高山裕史, 元文芳和, 浦田伸一, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾第2病理): [一般講演] 膝蓋軟骨軟化症の病態. 第10回東京膝関節学会, 1989.
- 61) 間瀬泰克, 白井康正, 渡辺誠, 松尾博由, 井伊京一郎, 恩田圭司, 小川ひろみ, 田島圭輔, 疋田史典¹⁾, 川並汪—²⁾ (¹⁾第二病院放射線科, ²⁾同病理部): [一般講演] 手指末節骨転移により発見された肺扁平上皮癌の1症例. 第75回神奈川整形災害外科医会, 1989.

13. 産婦人科学講座

[付属病院産婦人科]

研究概要

教室では周産期学を中心に研究がすすめられているが、そのほか悪性腫瘍や不妊症に関連する内分泌領域にまで及ぶ広範囲な研究が行われている。周産期学における研究では妊娠やぎの生理的実験モデルを用いた特筆すべき実験がすすんでおり、本年度は母体発熱による胎児の熱ストレスへの対応について検討された。すなわち母体発熱時の胎児の glycolysis や酸素運搬機能を中心とした赤血球内有機リン酸塩の代謝が研究され、胎児の循環機能や母体の子宮収縮へ及ぼす影響についても検討され成果を発表することができた。また一方胎盤での glucose の輸送や重炭酸の取り込みがどのようなメカニズムで行われているか、モルモット胎盤を用いた in vitro 灌流実験モデルによって研究されその成果が発表された。さらに実験的に作成された IUGR ラット胎児における腎分泌系の形態学的変化を追求したり、ウサギ胎児の肺発達について免疫組織学的に肺サーファクタントをとらえて検討がなされ注目すべき論文発表となった。

悪性腫瘍に関する臨床的研究では広汎性子宮全摘手術施行後の膀胱麻痺に対して鍼療法の効果が検討され良好な成績が得られている。また皮下埋め込み式リザーバー使用による動注化学療法の試みがなされ婦人科領域においては他大学に先がけて発表することができた。in vitro の実験では昨年にひきつづき絨毛癌や子宮癌における癌遺伝子の発現が検討され、さらに子宮癌とパピローマウイルス感染との関連も検討された。不妊症を中心とした内分泌領域では卵巣および妊娠子宮への Vit E の取り込みが検討され Vit E の妊孕性に果たす役割が明らかにされた。また切迫流産の予後判定における血中エストラジオールの有用性や、黄体期血中エストラジオールおよびプロゲステロン値による妊孕性の検討などがなされ、それぞれ成果を得ることができた。ひきつづき来年度もさらに大きな成果があげられるよう教室あげて努力している。

研究業績

論文

- 1) 荒木勤, 田中幸太郎: [原著] 卵巣妊娠. 産と婦, 55, 753~756, 1988.
- 2) 進純郎, 小川博康, 荒木勤: [原著] 難産例の新生児ケア. 産婦の実際, 37, 569~575, 1988.
- 3) 荒木勤, 竹内正人: [原著] 妊娠の確認. 産婦の実際, 37, 610~614, 1988.
- 4) 荒木勤, 土居大祐: [原著] 胎児仮死の取り扱い方; 妊娠中期以降. 産婦の実際, 37, 616~619, 1988.
- 5) 荒木勤, 河村堯: [原著] 新生児の栄養と母乳の意義. 周産期医, 18, 569~575, 1988.
- 6) 荒木勤: [原著] 子宮頸管熟化療法. Physician's Therapy Manual (PTM), 3, 1~2, 1988.
- 7) 荒木勤, 田中幸太郎: [原著] 切迫早産の管理と治療. 産婦の実際, 37, 768~774, 1988.
- 8) 福田功, 荒木勤: [原著] 羊水過多の診断と治療. 産婦の実際, 37, 764~767, 1988.
- 9) 加藤久盛, 荒木勤: [原著] 若年性子宮体癌の問題点. 産婦の実際, 37, 877~880, 1988.
- 10) 荒木勤, 佐々木茂, 磯崎太一: [原著] 胞状奇胎の診断と治療. 産婦の実際, 37, 924~926, 1988.
- 11) 佐々木茂, 磯崎太一, 荒木勤: [原著] 胞状奇胎娩出後の管理. 産婦の実際, 37, 928~932, 1988.
- 12) 荒木勤: [原著] SFD と LFD の用語解説. 周産期医, 18, 785~786, 1988.
- 13) 荒木勤, 鄭光民: [原著] 胎内治療; 現況と将来. 臨婦産, 42, 409~412, 1988.
- 14) 磯崎太一, 佐々木茂, 荒木勤: [原著] 妊娠中期の羊水診断. 産婦の実際, 37, 1054~1057, 1988.
- 15) 進純郎: [原著] CPD の診断とその取り扱い方. 産婦の実際, 37, 1058~1060, 1988.

- 16) 吉田雄一郎, 河村堯, 米山剛一, 荒木勤: [症例報告] 卵管絨毛癌の1例. 産婦の実際, 37, 1095~1098, 1988.
- 17) 澤倫太郎, 荒木勤: [原著] 授乳における栄養喪失とその補充. パリネイタルケア, 7, 832~838, 1988.
- 18) 岡本哲, 荒木勤: [原著] B型肝炎ウイルスキャリア妊婦の取り扱い方. 産婦の実際, 37, 1204~1207, 1988.
- 19) 荒木勤, 福田功: [原著] Rh不適合妊娠の管理. 産婦の実際, 37, 1208~1210, 1988.
- 20) 米山剛一, 荒木勤: [原著] 羊水塞栓症. 臨婦産, 42, 711~717, 1988.
- 21) 荒木勤, 西中健二, 進士雄二: [原著] 簡易超生体染色による絨毛組織の肉眼的判定. 産婦の実際, 37, 1347~1353, 1988.
- 22) 荒木勤, 竹内正人: [原著] IUGRのアセスメント. 産婦の実際, 37, 1370~1374, 1988.
- 23) 荒木勤, 竹内正人: [原著] IUGRの管理. 産婦の実際, 37, 1376~1379, 1988.
- 24) 石野尚吾, 林瑞成, 荒木勤: [原著] 不定愁訴と漢方. 産婦治療, 57, 313~316, 1988.
- 25) 荒木勤, 太田孝夫, 坂田寿衛, 佐藤郁夫, 久保武士: [原著] non-stress test (NST). 日産婦関東連会報, 48, 73~76, 1988.
- 26) 鴨井青龍, 岡本哲, 若月雅美, 磯崎太一, 土居大祐, 渡辺美千明, 河村堯, 荒木勤, 兼子和彦: [原著] 未熟児骨盤位の分娩様式とその予後. 産婦の世界, 40, 935~939, 1988.
- 27) 磯崎太一, 荒木勤: [原著] 胎盤遺残の取り扱い方. 産婦の実際, 37, 1510~1512, 1988.
- 28) 荒木勤, 米山剛一: [原著] 羊水塞栓. 産婦の実際, 37, 1514~1518, 1988.
- 29) 荒木勤: [原著] 妊娠期間の修正. 産婦の実際, 37, 1662~1665, 1988.
- 30) 鴨井青龍, 土居大祐, 渡辺美千明, 若月雅美, 八木覚, 荒木勤, 京野昭二, 古川清憲, 恩田昌彦: [原著] 妊娠にイレウスを合併した2症例. 日産婦東京会誌, 37, 301~304, 1988.
- 31) 進純郎, 荒木勤: [原著] けいれん. 産婦の実際, 37, 1832~1835, 1988.
- 32) 荒木勤, 家永聡: [原著] 妊婦管理の実際; 妊婦定期健診スケジュール. 産婦の実際, 37, 2018~2021, 1988.
- 33) 荒木勤, 鈴木聡: [原著] 分娩管理の実際. 産婦の実際, 37, 2022~2026, 1988.
- 34) 中山裕樹, 荒木勤: [原著] 高年、老年女性における不正性器出血. 産婦の実際, 37, 1953~1958, 1988.
- 35) 佐々木茂: [原著] Mother School (母親学級)のありかた. 周産期医, 18, 31~36, 1988.
- 36) 佐々木茂, 久木園みどり, 木村二女, 荒木勤: [原著] 妊婦のウエイトコントロール. 産婦の実際, 37, 2109~2114, 1988.
- 37) 鈴木聡, 荒木勤: [原著] 子宮内反症の取り扱い方. 産婦の実際, 37, 2158~2160, 1988.
- 38) 家永聡, 荒木勤: [原著] 分娩後出血の取り扱い方. 産婦の実際, 37, 2162~2165, 1988.
- 39) 米山剛一, 鈴木聡, 西中健二, 高田秀一, 鈴木俊治, 河村堯, 荒木勤: [原著] 不全子宮破裂を伴った羊水塞栓症の臨床病理学的検討. 日産婦東京会誌, 37, 429~432, 1988.
- 40) 可世木久幸, 大村浩, 家永聡, 外山和秀, 五十嵐俊夫, 荒木勤: [原著] 電子腹腔鏡による非開腹手術. 日本産婦人科内視鏡学会雑誌, 4, 127, 1988.
- 41) 米山剛一: [原著] Immunohistochemical Localization of Pulmonary Surfactants in Fetal Rabbit Lung. 日産婦会誌, 40, 1740~1746, 1988.
- 42) 荒木勤: [原著] IUGRのチェックポイント; 妊娠管理. 日産婦会誌, 41, N6~9, 1989.
- 43) 大村清, 荒木勤: [対談] 産婦人科の医事紛争をめぐる; その背景と対策. 産婦の実際, 38, 51~58, 1989.
- 44) 田中幸太郎, 荒木勤: [原著] 前置胎盤の管理. 産婦の実際, 38, 82~85, 1989.
- 45) 鴨井青龍, 荒木勤: [原著] 妊娠中の acute abdomen. 産婦の実際, 38, 86~89, 1989.
- 46) 荒木勤: [原著] IUGRの胎児に対するソルコセリル療法. 周産期医, 19, 43~48, 1989.
- 47) 荒木勤: [原著] IUGRのチェックポイント; 分娩管理. 日産婦会誌, 41, N26~29, 1989.

- 48) 荒木勤, 林瑞成:〔原著〕月経異常. 治療, 71, 467, 1989.
- 49) 荒木勤, 土居大祐:〔原著〕過期妊娠の取り扱い方. 産婦の実際, 38, 216~218, 1989.
- 50) 荒木勤, 土居大祐: ; 過期産児の取り扱い方. 産婦の実際, 38, 220~224, 1989.
- 51) 荒木勤:〔原著〕NSTの問題点. 産婦の実際, 41, 1~5, 1989.
- 52) 大村浩¹⁾, 山口勤¹⁾, 宮内裕光¹⁾, 小池敏正¹⁾, 五月女茂¹⁾, 竹下俊行, 荒木勤 (¹⁾下都賀総合病院):〔症例〕2回帝王切後に発症した頸管胎盤の1例. 産婦の実際, 38, 115~118, 1989.
- 53) 荒木勤, 進純郎:〔原著〕羊水過多の臨床. 産婦の実際, 38, 307~311, 1989.
- 54) 進純郎, 荒木勤:〔原著〕羊水過少の妊娠中の胎児管理. 産婦の実際, 38, 337~345, 1989.
- 55) 荒木勤, 渡辺美千明, 波多野久昭:〔原著〕糖尿病合併妊娠の母児管理. 産婦の実際, 38, 416~421, 1989.
- 56) 荒木勤, 鈴木俊治:〔原著〕過期妊娠の考え方. 周産期医, 19, 376~380, 1989.
- 57) 兼子和彦, 米山剛一:〔原著〕母体救急. 産婦の世界, 41, 15~19, 1989.

著 書

- 1) 荒木勤:〔分担〕妊娠中のスポーツの可否.“産婦人科診療上の問題点”(五十嵐正雄監修), p.1~3, 診断と治療社, 1988.
- 2) 諏訪喜宣, 越野立夫, 荒木勤:〔分担〕妊婦スポーツが産褥期に及ぼす影響について.“産婦人科診療上の問題点”(五十嵐正雄監修), p.15~19, 診断と治療社, 1988.
- 3) 野村忠利, 中嶋唯夫, 荒木勤:〔分担〕骨盤位に対する非選択的帝王切は避けたい.“産婦人科診療上の問題点”(五十嵐正雄監修), p.153~155, 診断と治療社, 1988.
- 4) 倉石公路, 小西英喜, 鄭光民, 加藤礼子, 河村堯, 荒木勤:〔分担〕IUGRの対策; 経母体的糖輸液療法.“産婦人科診療上の問題点”(五十嵐正雄監修), p.46~49, 診断と治療社, 1988.
- 5) 高橋英彦, 鈴木聡, 福田功, 澤倫太郎, 八木覚, 佐々木茂, 荒木勤:〔分担〕過期妊娠例における分娩誘発の可否; 予定日超過例の誘発可否.“産婦人科診療上の問題点”(五十嵐正雄監修), p.167~171, 診断と治療社, 1988.
- 6) 西中健二, 岩崎卓爾, 大村浩, 石川孝次, 石野尚吾, 荒木勤:〔分担〕広汎性子宮摘出後の諸問題と予防法; 広汎性子宮全摘術後の膀胱麻痺に対する針療法の効果について.“産婦人科診療上の問題点”(五十嵐正雄監修), p.314~316, 診断と治療社, 1988.
- 7) 石野尚吾:〔分担〕漢方薬.“治療薬ガイド”, 臨時増刊, p.730~738, 文光堂, 1988.
- 8) 荒木勤:〔分担〕前期破水(PROM).“産婦人科治療ハンドブック”(寺尾俊彦編), p.419~424, 南山堂, 1988.
- 9) 荒木勤:〔分担〕IUGR.“産婦人科治療ハンドブック”(寺尾俊彦編), p.425~431, 南山堂, 1988.
- 10) 荒木勤:〔分担〕女性性器, 妊産婦疾患; 胎内発育障害.“今日の治療指針”, 31, p.683, 医学書院, 1989.

学会発表

- 1) 波多野久昭, 河村堯, 角田隆, 澤倫太郎, 越野立夫, 荒木勤:〔一般講演〕モルモット胎盤での glucose 輸送の解明; in vitro 灌流実験モデルを用いて. 第40回日本産婦人科学会総会, 1988.
- 2) 河村堯, 波多野久昭, 小川博康, 田中幸太郎, 鈴木聡, 横田明重, 澤倫太郎, 荒木勤, 進純郎¹⁾, 佐藤喜一¹⁾ (¹⁾総合保原中央病院):〔一般講演〕母体発熱による胎児熱ストレスへの対応のメカニズム; 妊娠ヤギによる生理的実験モデルを用いて. 第40回日本産婦人科学会総会, 1988.
- 3) 米山剛一, 西中健二, 福田功, 竹内正人, 荒木勤, 馬杉洋三¹⁾ (¹⁾第1病理):〔一般講演〕肺サーファクタントからみたウサギ胎仔肺発達の免疫組織化学的研究. 第40回日本産婦人科学会総会, 1988.
- 4) 磯崎太一, 米山芳雄, 小川秀臣, 鈴木聡, 福田功, 佐々木茂, 荒木勤, 野村信夫¹⁾ (¹⁾日本獣医畜産大, 分子腫

- 瘍)：〔一般講演〕絨毛性疾患(胎状奇胎・絨毛癌)における細胞遺伝子の検討と癌遺伝子の発現に関する研究。第40回日本産婦人科学会総会, 1988.
- 5) 五十嵐俊夫, 可世木久幸, 外山和秀, 大村浩, 家永聡, 荒木勤：〔一般講演〕卵巣および妊娠子宮への Vitamin E の取り込み; Cholesterol と比較して。第40回日本産婦人科学会総会, 1988.
 - 6) 可世木久幸, 大村浩, 外山和秀, 家永聡, 五十嵐俊夫, 荒木勤：〔展示〕電子内視鏡の非開腹手術への応用。第40回日本産婦人科学会総会, 1988.
 - 7) 八木寛, 倉石公路, 鄭公民, 渡辺美千明, 小川隆吉, 荒木勤：〔展示〕ラット IUGR 胎仔の瞬内分泌系の数量的形態的变化と血中動態の関連性。第40回日本産婦人科学会総会, 1988.
 - 8) Kawamura, T., Suzuki, S., Sawa, R., Yokota, A., Doi, D., Tanaka, K., Hatano, H., Araki, T., Shin, S. and Sato, K.：〔一般講演〕Cardio vascular and endocrine responses in the fetal goat. XIth European Congress of Perinatal Medicine (Roma), 1988.
 - 9) Hatano, H., Kawamura, T., Arak, T., Leichtweiss, H. P.¹⁾ and Schröder, H.¹⁾ (¹⁾Hamburg University)：〔一般講演〕Mechanism of bicarbonate uptake in the isolated guinea pig placenta. XIth European Congress of Perinatal Medicine (Roma), 1988.
 - 10) Suzuki, S., Kawamura, T., Hatano, H., Tanaka, K., Araki, T., Shin, S. and Sato, K.：〔一般講演〕Effect of maternal hyperthermia on glycolysis and O₂ transport in the fetal goat in utero. XIth European Congress of Perinatal Medicine (Roma), 1988.
 - 11) 鴨居青龍, 土居大祐, 渡辺美千明, 若月雅美, 八木寛, 荒木勤, 京野昭二¹⁾, 古川清憲¹⁾, 恩田昌彦¹⁾ (¹⁾第1外科)：〔一般講演〕妊娠にイレウスを合併した2症例。第266回日本産婦人科学会東京地方部会, 1988.
 - 12) 西中健二, 土居大祐, 竹内正人, 渡辺美千明, 澤倫太郎, 福田功, 石野尚吾, 荒木勤：〔一般講演〕広汎性子宮全摘出後の膀胱麻痺に対する針療法の効果。日本医科大学医学会第65回例会, 1988.
 - 13) 磯崎太一, 太田雄治郎, 小川秀臣, 鈴木聡, 福田功, 佐々木茂, 荒木勤：〔一般講演〕絨毛性疾患における細胞性癌遺伝子および HPV の発現に関する研究。第6回日本産婦人科学会絨毛性疾患研究会, 1988.
 - 14) 磯崎太一¹⁾, 許田マチ子¹⁾, 篠原継男¹⁾, 栗田口康一¹⁾, 山田恵三¹⁾, 竹石芳光¹⁾, 兼子和彦¹⁾, 波多野久昭, 荒木勤 (¹⁾葛飾赤十字産院)：〔一般講演〕母体体位よりみた双胎妊婦体重増加, 胎児発育に関する検討。第75回日本産婦人科学会関東連合地方部会総会, 1988.
 - 15) 竹内正人, 澤倫太郎, 福田功, 岡本哲, 波多野久昭, 河村堯, 佐々木茂, 荒木勤, 大矢徹¹⁾, 隈崎達夫¹⁾, 恵畑欣一¹⁾ (¹⁾放射線科)：〔一般講演〕悪性腫瘍に対する皮下埋め込み式リザーバー使用による動注化学療法の試み。第75回日本産婦人科学会関東連合地方部会総会, 1988.
 - 16) 横田明重, 竹内正人, 土居大祐, 澤倫太郎, 鈴木聡, 小川博康, 田中幸太郎, 波多野久昭, 河村堯, 荒木勤, 進純郎¹⁾, 佐藤喜一¹⁾ (¹⁾総合保原中央病院)：〔一般講演〕母獣発熱時のヤギ胎仔の酸素運搬能に関する研究。第75回日本産婦人科学会関東連合地方部会総会, 1988.
 - 17) 家永聡, 外山和秀, 五十嵐俊夫, 大村浩, 可世木久幸, 荒木勤：〔一般講演〕新しく開発された産婦人科用電子内視鏡の応用。第75回日本産婦人科学会関東連合地方部会総会, 1988.
 - 18) 西中健二, 波多野久昭, 荒木勤, 進士雄二：〔一般講演〕絨毛の肉眼的組織染色簡易判別法。第75回日本産婦人科学会関東連合地方部会総会, 1988.
 - 19) 諏訪喜宣, 織田利光, 河合尚基, 若麻績佳樹, 越野立夫, 荒木勤, 許田マチ子¹⁾, 兼子和彦¹⁾ (¹⁾葛飾赤十字産院)：〔一般講演〕Maternity blues と血中 dehydroepiandrosterone sulfate. 第75回日本産婦人科学会関東連合地方部会総会, 1988.
 - 20) 小川博康, 吉田雄一郎, 進純郎, 佐々木茂, 荒木勤, 与田仁志¹⁾, 赤松洋¹⁾ (¹⁾日赤医療センター新生児未熟児

- 科)：〔展示〕無下顎症の1例。第75回日本産婦人科学会関東連合地方部会総会，1988。
- 21) 鈴木聡，米山剛一，岡本哲，土居大祐，波多野久昭，河村堯，佐々木茂，荒木勤：〔展示〕無症候性子宮破裂が誘因と考えられる羊水塞栓症の1症例。第75回日本産婦人科学会関東連合地方部会総会，1988。
- 22) 山口暁，永井進，力武義之，佐藤俊彦，五十嵐義晃，越野立夫，荒木勤：〔展示〕MRIが診断に有用であった機能性子宮を有する子宮頸部及び腔欠損の一例。第75回日本産婦人科学会関東連合地方部会総会，1988。
- 23) 田中幸太郎，八木覚，福田功，若月雅美，西中健二，渡辺美千明，河村堯，佐々木茂，荒木勤：〔展示〕最近経験した卵巣妊娠の4例。第75回日本産婦人科学会関東連合地方部会総会，1988。
- 24) 太田雄治郎，吉田雄一郎，佐々木茂，鈴木昭，荒木勤：〔展示〕保存的に治癒した頸管妊娠の一例。第75回日本産婦人科学会関東連合地方部会総会，1988。
- 25) 大村浩，竹下俊行，荒木勤，宮内裕光，小池敏正：〔展示〕2回帝切後に惹起されたと思われる頸管胎盤の1例。第75回日本産婦人科学会関東連合地方部会総会，1988。
- 26) 鴨居青龍，岡本哲，若月雅美，八木覚，河村堯，佐々木茂，荒木勤：〔展示〕最近経験した間質性肺炎合併妊娠の1例。第75回日本産婦人科学会関東連合地方部会総会，1988。
- 27) 福田功，土居大祐，鴨居青龍，波多野久昭，八木覚，河村堯，佐々木茂，荒木勤：〔一般講演〕妊娠中期に発症した急性骨髄性白血病の一症例について。第13回産婦人科新生児血液研究会，1988。
- 28) 竹内正人，河村堯，鈴木聡，澤倫太郎，土居大祐，小川博康，田中幸太郎，波多野久昭，荒木勤，進純郎¹⁾，佐藤喜一¹⁾（¹⁾総合保原中央病院）：〔一般講演〕発熱に伴うヤギ胎仔の赤血球内代謝への影響；とくに酸素運搬機構を中心に，第13回産婦人科・新生児血液研究会，1988。
- 29) 河村堯，小川博康，澤倫太郎，鈴木聡，土居大祐，竹内正人，田中幸太郎，横田明重，波多野久昭，荒木勤，進純郎¹⁾，佐藤喜一¹⁾（¹⁾総合保原中央病院）：〔一般講演〕母体感染に伴う子宮内胎児の循環機能と子宮収縮に及ぼす影響；妊娠ヤギの生理的実験モデルを用いて。第6回産婦人科感染症研究会，1988。
- 30) 可世木久幸，家永聡，外山和秀，五十嵐俊夫，大村浩，荒木勤：〔一般講演〕電子腔鏡による非開腹手術。第28回日本産婦人科内視鏡学会，1988。
- 31) 露木佳子，角田隆，山口暁，横田明重，菊地京子，越野立夫，荒木勤，小川隆吉¹⁾，小川秀子²⁾，青木由美²⁾（¹⁾都立築地産院，²⁾相模女子大）：〔一般講演〕ラット胎仔肝，脳における脂肪酸分析。第24回日本新生児学会総会，1988。
- 32) 八木覚，倉石公路，鄭公民，渡辺美千明，小川隆吉，荒木勤：〔一般講演〕ラット IUGR 胎仔の腺分泌系の数量的形態的变化。第24回日本新生児学会総会，1988。
- 33) 波多野久昭，河村堯，鈴木聡，澤倫太郎，竹内正人，土居大祐，荒木勤：〔一般講演〕重炭酸の胎盤輸送機構について；モルモット胎盤の人工的灌流実験モデルを用いて。第24回日本新生児学会総会，1988。
- 34) 小川博康，岡本哲，渡辺美千明，進純郎，河村堯，佐々木茂，荒木勤，与田仁志¹⁾，赤松洋¹⁾（¹⁾日赤医療センター，新生児未熟児未熟児科）：〔一般講演〕出生前診断に苦慮した無下顎症の1例。第24回日本新生児学会総会，1988。
- 35) 横田明重，河村堯，小川博康，田中幸太郎，竹内正人，土居大祐，鈴木聡，澤倫太郎，波多野久昭，荒木勤，進純郎¹⁾，佐藤喜一¹⁾（¹⁾総合保原中央病院）：〔一般講演〕発熱に伴うヤギ胎仔の酸素運搬能の影響。第24回日本新生児学会総会，1988。
- 36) 田中幸太郎，河村堯，小川博康，横田明重，竹内正人，土居大祐，鈴木聡，澤倫太郎，波多野久昭，荒木勤，進純郎¹⁾，佐藤喜一¹⁾（¹⁾総合保原中央病院）：〔一般講演〕母獣発熱に伴うヤギ胎仔の循環機能と子宮収縮に及ぼす影響；妊娠ヤギの生理的実験モデルを用いて。第24回日本新生児学会総会，1988。
- 37) 小川秀臣，米山剛一，渡辺美千明，若月雅美，八木覚，荒木勤：〔一般講演〕最近経験した Prune-belly 症候群の1例。第24回日本新生児学会総会，1988。

- 38) Kawamura, T., Suzuki, S., Sawa, R., Yokota, A., Doi, D., Tanaka, K., Ogawa, H., Hatano, H., Araki, T., Shin, S. and Sato, K. : [一般講演] Effect of endotoxin on the cardiovascular system in fetal goat. 5th Asia-Oceania Congress of Perinatology (BaLi), 1988.
- 39) Sawa, R., Kawamura, T., Ogawa, H., Suzuki, S., Takeuchi, M., Hatano, H., Araki, T., Shin, S. and Sato, K. : [一般講演] Effect of maternal hyperthermia on the oxygen transport system in fetal goat. 5th Asia-Oceania Congress of Perinatology (BaLi), 1988.
- 40) Sawa, R., Kawamura, T., Ogawa, H., Suzuki, S., Takeuchi, M., Hatano, H., Araki, T., Shin, S. and Sato, K. : [一般講演] Effect of maternal hyperthermia on the oxygen transport system in fetal goat. 15th Annual Meeting of the Society for the Study of Fetal Physiology (Great Barrier Reef), 1988.
- 41) Kawamura, T., Suzuki, S., Sawa, R., Yokota, A., Doi, D., Tanaka, K., Ogawa, H., Hatano, H., Araki, T., Shin, S. and Sato, K. : [一般講演] Effect of endotoxin on the cardiovascular and endocrine system in fetal goat in utero. 15th Annual Meeting of the Society for the Study of Fetal Physiology (Great Barrier Reef), 1988.
- 42) 若月雅美, 鴨井青龍, 岡本哲, 荒木勤 : [一般講演] 経腔プローベを用いた前置胎盤の診断. 第11回日本産婦人科学会産婦人科 ME 懇話会, 1988.
- 43) 岡本哲, 鴨井青龍, 若月雅美, 荒木勤 : [一般講演] 超音波検査にても診断が困難であった右下腹部腫瘍の1例. 第11回日本産婦人科学会産婦人科 ME 懇話会, 1988.
- 44) 外山和秀, 可世木久幸, 五十嵐俊夫, 家永聡, 大村浩, 荒木勤 : [一般講演] ヒト卵胞液, 顆粒膜細胞への Vitamin E の取り込み. 第6回日本受精着床学会総会, 1988.
- 45) 家永聡, 可世木久幸, 五十嵐俊夫, 外山和秀, 大村浩, 荒木勤, 高取修¹⁾ (¹⁾SRL, RI 部) : [一般講演] 切迫流産の予後判定における血中エストラジオールの有用性について. 第6回日本受精着床学会総会, 1988.
- 46) 可世木久幸, 家永聡, 外山和秀, 五十嵐俊夫, 大村浩, 荒木勤 : [一般講演] 電子腹腔鏡による非開腹手術. 第28回日本産科婦人科内視鏡学会, 1988.
- 47) 横田明重, 角田隆, 露木佳子, 山口暁, 大塚茂, 菊地京子, 越野立夫, 荒木勤, 小川隆吉¹⁾, 小川秀子²⁾, 青木由美²⁾ (¹⁾都立築地産院, ²⁾相模女子大) : [一般講演] ラット胎仔, 新生仔の肝および脳における脂肪酸分布. 第12回産婦人科栄養代謝研究会, 1988.
- 48) 小川博康, 河村堯, 田中幸太郎, 鈴木聡, 澤倫太郎, 竹内正人, 土居大祐, 横田明重, 波多野久昭, 荒木勤, 進純郎¹⁾, 佐藤喜一¹⁾ (¹⁾仁泉会総合保原中央病院) : [一般講演] 発熱に伴うヤギ胎仔の赤血球内有機リン酸塩代謝への影響. 第12回産婦人科栄養代謝研究会, 1988.
- 49) 磯崎太一¹⁾, 許田マチ子¹⁾, 兼子和彦¹⁾, 波多野久昭, 荒木勤 (¹⁾葛飾赤十字産院) : [一般講演] 母体体位よりみた双胎妊婦体重増加, 胎児発育に関する検討. 第12回産婦人科栄養代謝研究会, 1988.
- 50) 波多野久昭, 河村堯, 鈴木聡, 竹内正人, 荒木勤 : [一般講演] 重炭酸の経胎盤輸送機序の解明; 人工的に灌流したモルモット胎盤を用いて, 第12回産婦人科栄養代謝研究会, 1988.
- 51) 五十嵐俊夫, 可世木久幸, 外山和秀, 家永聡, 大村浩, 荒木勤, 竹島勉¹⁾, 山田隆²⁾ (¹⁾動物繁殖研究所, ²⁾私学共済下谷病院) : [一般講演] 着床期のラット子宮内のビタミン E 分布. 第12回産婦人科栄養代謝研究会, 1988.
- 52) Isozaki, T., Ohta, Y., Ogawa, H., Sasaki, S., and Araki, T. : [一般講演] Expression and amplification of c-oncogene in fresh hydatidiform mole. 4th World Congress on Gestational Trophoblastic Disease (Beijin), 1988.
- 53) Sasaki, S., Ohta, Y., Isozaki, T., Ogawa, H., Araki, T. and Pattillo, R. A. : [一般講演] Study on expression and amplification of c-oncogene in choriocarcinoma cell lines. 4th World Congress on Gestational Trophoblastic Disease (Beijin), 1988.
- 54) Sasaki, S. : [招請講演] Diagnosis and treatment of intra-uterine growth retardation. The First Jinan International

- al Congress of Obstetrics & Gynecology (Jinan), 1988.
- 55) Sasaki, S.: [招請講演] Genesis of hydatidiform mole. The First Jinan International Congress of Obstetrics & Gynecology (Jinan), 1988.
 - 56) Sasaki, S.: [招請講演] Chemotherapy in advanced ovarian cancer. The First Jinan International Congress of Obstetric & Gynecology (Jinan), 1988.
 - 57) 荒木勤: [特別講演] 前期破水の管理. 第254回日本産婦人科学会神奈川地方部会, 1988.
 - 58) 米山剛一, 鈴木聡, 西中健二, 高田秀一, 鈴木俊治, 河村堯, 荒木勤: [一般講演] 不全子宮破裂を伴った羊水塞栓症の臨床病理学的検討. 第267回日本産婦人科学会東京地方部会, 1988.
 - 59) 大村浩, 山口暁, 宮内裕光, 小池敏正: [展示] 分娩障害をきたした卵巣腫瘍の1例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
 - 60) 土居大祐, 河村堯, 小川博康, 横田明重, 竹内正人, 田中幸太郎, 鈴木聡, 澤倫太郎, 波多野久昭, 荒木勤, 進純郎¹⁾, 佐藤喜一¹⁾ (¹⁾総合保原中央病院): [一般講演] 外因性エンドトキシンによるヤギ胎仔の循環機能と子宮収縮への影響; 妊娠やぎの生理的実験モデルを用いて. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
 - 61) 許田マチ子¹⁾, 磯崎太一¹⁾, 栗田口康一¹⁾, 山田恵三¹⁾, 兼子和彦¹⁾, 荒木勤 (¹⁾葛飾赤十字産院): [一般講演] 子宮脱を伴った自然分娩の1例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
 - 62) 家永聡, 岡本哲, 蔵持和也, 高田秀一, 岩崎卓爾, 鴨井青龍, 可世木久幸, 荒木勤, 太田雄治郎, 吉田雄一郎: [展示] 最近経験した外陰部平滑筋腫の1例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
 - 63) 鈴木聡, 米山剛一, 岡本哲, 土居大祐, 天本治夫, 波多野久昭, 河村堯, 佐々木茂, 荒木勤, 馬杉洋三¹⁾ (¹⁾第1病理): [展示] 不全子宮破裂が誘因と考えられる羊水塞栓症の1例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
 - 64) 田中幸太郎, 八木覚, 福田功, 若月雅美, 西中健二, 鈴木俊治, 河村堯, 佐々木茂, 荒木勤: [展示] 最近経験した興味ある卵巣妊娠の4例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
 - 65) 小川博康, 岡本哲, 渡辺美千明, 高田秀一, 林瑞成, 鴨井青龍, 河村堯, 佐々木茂, 荒木勤, 与田仁志¹⁾, 赤松洋¹⁾ (¹⁾日赤医療センター新生児・未熟児科): [展示] 最近経験した無下顎症の1例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
 - 66) 磯崎太一, 太田雄治郎, 小川秀臣, 佐々木茂, 荒木勤, 野村信夫¹⁾ (¹⁾日本獣医畜産大分子腫瘍): [展示] 絨毛性疾患における癌遺伝子の発現に関する研究. 第47回日本癌学会総会, 1988.
 - 67) 太田雄治郎, 磯崎太一, 佐々木茂, 荒木勤, 野村信夫¹⁾ (¹⁾日本獣医畜産大分子腫瘍) [展示] 子宮癌組織における c-onc 遺伝子の研究. 第47回日本癌学会総会, 1988.
 - 68) Kaseki, H., Ienaga, S., Igarashi, T., Toyama, K., Ohmura, H. and Araki, T.: [一般講演] Electronic video laparoscopy (EVL) for gynecologic surgery. XII World Congress of Gynecology and Obstetrics (Rio de Janeiro), 1988.
 - 69) Kitagawa, M., Nakai, A., Kaneko, K., Koshino, T. and Araki, T.: Study of umbilical cord coiling and variable deceleration. XII World Congress of Gynecology and Dbstetrics (Rio de Janeiro), 1988.
 - 70) 波多野久昭, 高田秀一, 鈴木俊治, 天本治夫, 鈴木聡, 澤倫太郎, 河村堯, 佐々木茂, 荒木勤: [一般講演] 反復動注可能な皮下埋め込み式リザーバーを用いた動注化学療法の試み. 日本婦人科悪性腫瘍化学療法研究会. 第1回学術集会, 1988.
 - 71) 土居大祐, 波多野久昭, 鈴木俊治, 林瑞也, 竹内正人, 八木覚, 鴨井青龍, 荒木勤: [一般講演] 緊急帝王切開にいたった心室性頻拍症合併の一例. 第76回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1988.
 - 72) 福田功, 土居大祐, 天本治夫, 高田秀一, 澤倫太郎, 八木覚, 河村堯, 佐々木茂, 荒木勤: [一般講演] 妊娠中期に発症したと思われる急性骨髄性白血病の一症例. 第76回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1988.
 - 73) 山口暁, 大村浩, 宮内裕光, 小池敏正, 若麻績佳樹, 越野立夫, 荒木勤: [一般講演] 分娩障害をきたした卵巣

- 腫瘍の3例. 第76回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1988.
- 74) 横田明重, 露木佳子, 西島重光, 若麻績佳樹, 越野立夫, 荒木勤: [一般講演] 子宮筋腫合併妊娠の臨床的検討と管理法. 第76回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1988.
- 75) 家永聡, 岡本哲, 蔵持和也, 高田秀一, 岩崎卓爾, 鴨井青龍, 可世木久幸, 荒木勤: [一般講演] まれな外陰部平滑筋腫の一例. 第76回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1988.
- 76) 露木佳子, 横田明重, 山口暁, 角田隆, 越野立夫, 荒木勤, 小川隆吉, 浅野伍朗: [一般講演] 低酸素負荷による脳室上衣下出血の発症要因. 第76回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1988.
- 77) 笠原孝之, 織田利光, 中井章人, 西島重光, 越野立夫, 荒木勤: [一般講演] 振動音刺激に対する胎児心拍数と胎動の変化. 第76回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1988.
- 78) 鈴木聡, 澤倫太郎, 竹内正人, 土居大祐, 磯崎太一, 太田雄治郎, 波多野久昭, 佐々木茂, 荒木勤, 佐藤純子: [一般講演] 当教室にて施行した羊水穿刺例における α -fetoprotein(α -FP)値の検討. 第76回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1988.
- 79) 小川博康, 河村堯, 田中幸太郎, 竹内正人, 土居大祐, 鈴木聡, 澤倫太郎, 横田明重, 波多野久昭, 荒木勤, 進純郎¹⁾, 佐藤喜一¹⁾ (¹⁾総合保原中央病院): [一般講演] 母獣発熱とヤギ胎仔の循環機能および子宮収縮に関する研究. 第76回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1988.
- 80) 米山剛一, 西中健二, 高橋英彦, 若月雅美, 中島達人, 河村堯, 菊池三郎, 荒木勤: [一般講演] 最近3年間に経験した妊産婦死亡例の臨床病理学的解析. 第76回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1988.
- 81) 進純郎¹⁾, 佐藤喜一¹⁾, 荒木勤, 仁志田博司²⁾ (¹⁾仁泉会総合保原中央病院, ²⁾東京女子医大母子総合医療センター): [一般講演] 新生児エリテマトーデスの3兄弟例. 第33回未熟児新生児学会, 1988.
- 82) 五十嵐俊夫, 可世木久幸, 外山和秀, 家永聡, 大村浩, 荒木勤, 竹島勉¹⁾, 山田隆²⁾ (¹⁾動物繁殖研究所, ²⁾下谷病院): [一般講演] 妊娠進行に伴うラット子宮内のビタミンEの分布. 第33回日本不妊学会総会, 1988.
- 83) 外山和秀, 家永聡, 可世木久幸, 五十嵐俊夫, 大村浩, 荒木勤: [展示] クロミッド併用HMG律動療法にて妊娠した視床下部-下垂体性無排卵症の1例. 第33回日本不妊学会総会, 1988.
- 84) 家永聡, 可世木久幸, 外山和秀, 五十嵐俊夫, 大村浩, 荒木勤, 高取修¹⁾ (¹⁾SRL, RI部): [展示] 血中エストラジオール迅速測定法による切迫流産の予後判定. 第33回日本不妊学会総会, 1988.
- 85) 竹内正人, 米山剛一, 天本治夫, 鈴木俊治, 鴨井青龍, 河村堯, 荒木勤, 吉河達祐¹⁾ (¹⁾第二病院麻酔科): [一般講演] 両側チョコレート嚢胞にサルモネラ感染を合併した2症例. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 86) 荒木勤: [特別講演] 妊産婦死亡防止対策. 昭和63年度秋季日本産婦人科学会静岡県地方部会, 1988.
- 87) 河村堯, 天本治夫, 高田秀一, 米山芳雄, 荒木勤: [一般講演] 妊娠32週に発症した第2期顕症梅毒の1例. 日本性感染症(STD)学会第1回学術大会, 1988.
- 88) 荒木勤 [特別講演] 前期破水の管理. 昭和63年度日産日母群馬県支部集談会, 1988.
- 89) 倉石公路, 五十嵐俊夫, 山田隆¹⁾ (¹⁾下谷病院): [一般講演] 腔壁に発生したB細胞型節外リンパ腫の一例. 第268回日本産婦人科学会東京地方部会, 1988.
- 90) 渡辺美千明, 天本治夫, 土居大祐, 鴨井青龍, 波多野久昭, 河村堯, 荒木勤: [一般講演] 妊娠18週で診断し得た頭胸部結合双胎の興味ある1例. 第268回日本産婦人科学会東京地方部会, 1988.
- 91) 荒木勤: [シンポジウム] IUGR; 管理と予後. 第7回日本周産期学会, 1989.
- 92) 荒木勤: [特別講演] 前期破水の管理. 第29回日本産婦人科学会栃木地方部会, 1989.
- 93) 家永聡, 可世木久幸, 外山和秀, 大村浩, 五十嵐俊夫, 荒木勤: [一般講演] 黄体期血中エストラジオール及びプロゲステロン値による妊孕性の検討. 第99回日本不妊学会関東地方部会, 1989.
- 94) 荒木勤 [特別講演] 前期破水の管理. 昭和63年度日本母性保護医協会沖縄県支部日本産科婦人科学会沖縄地方部

会研修会, 1989.

95) 荒木勤: [特別講演] 妊産婦死亡防止対策. 昭和63年度北総産婦人科医学会学術集会, 1989.

96) 鴨井青龍, 岩崎卓爾, 鈴木聡, 高田秀一, 波多野久昭, 荒木勤: [一般講演] 出生前に結節性硬化症と診断しえた胎児心臓腫瘍の1例. 第2回日産婦東京地方部会合同研修会, 並びに第269回日本産婦人科学会東京地方部会, 1989.

97) Kawamura, T., Sawa, R., Takeuchi, M., Yoneyama, Y., Hatano, H., Sato, K. and Araki, T.: [展示] Effect of exogenous endotoxin on uterine activity in pregnant goats. The 36th Annual Meeting of Society for Gynecologic Investigation (San Diego), 1989.

[第一病院産婦人科]

研究概要

教室では周産期を中心とした研究が多く行われている.

周産期における臨床研究: ①妊婦とスポーツ; 妊婦水泳, 妊婦のエアロビクス(マタニティビスク)施行例における早産, 胎児の発育, 胎児の位置異常, 分娩時間などの検討. ② vibratory acoustic stimulation (VAS); 胎児の well-being の判定には NST, biophysical profile score などが用いられているが, 妊娠中期においては false positive が多いため, それらを少なくするために検討されている. ③ thermography を用いた新生児の自律神経系発達の評価; 全身の表在血管は自律神経により支配され, それらの収縮, 拡張は体表の温度に反映される. したがって, behavioral state の変化による体幹の thermography の有用性を検討している.

周産期における基礎研究: ①家兎新生仔における頭蓋内出血メカニズムの超微形態学的検討; 脳における種々の物質の透過性は blood brain barrier (BBB) の存在により制限されている. そこで低酸素負荷後, 家兎新生仔の血管内に horseradish peroxidase (HRP) を投与し脳質上位下層毛細血管の破綻してゆくメカニズムを観察した. ②ラット胎仔, 新生仔の脂肪酸代謝と ω -3 系不飽和脂肪酸欠乏による学習能力の変化; 脳は他の臓器に比し脂肪の占める割合は多く, 特に多価不飽和脂肪酸 (PUFA) そのなかでも ω -3 系不飽和脂肪酸の占める割合は多い. 当教室においては, 胎仔および新生仔の脳における ω -3 系不飽和脂肪酸の推移を求め, また ω -3 系不飽和脂肪酸欠乏時のラットの学習能力の低下につき検討した.

婦人科領域: ①子宮内膜症における CA125 の局在; 子宮内膜症患者において血中の CA125 が上昇することは明らかとなっているが, そのメカニズムは不明な点が多い. そこで酵素抗体法を用い内膜症組織の CA125 の局在を検討した.

以上が現在当教室における研究であるが, 今後研究施設, 教室員の充実を図りより優れたものにして行きたい.

研究業績

論文

- 1) 相谷佳子, 諏訪喜宣, 加藤久盛, 角田隆, 若麻績佳樹, 力武義之, 越野立夫, 山田宣孝¹⁾, 浅野伍朗¹⁾ (第2病理): [原著] 悪性腫瘍を強く疑った卵巣血管腫の1例. 日産婦東京会誌, 37, 66~69, 1988.
- 2) 越野立夫: [原著] 妊婦水泳の意義と現状. 助産婦誌, 42, 26~31, 1988.
- 3) 越野立夫, 諏訪喜宣: [原著] 妊娠とスポーツ; 妊婦水泳. (特集: 女性スポーツクリニックの知識). 産婦の実際, 37, 723~728, 1988.
- 4) 加藤久盛, 荒木勤: [原著] 若年性子宮体癌の問題点 (特集: 子宮体癌の up to date). 産婦の実際, 37, 877~880, 1988.
- 5) 中山裕樹, 露木佳子, 横田明重, 笠原孝之, 諏訪喜宣, 若麻績佳樹, 越野立夫: [原著] 経腔ブローグにて診断された卵管間質部妊娠の1例. 日産婦東京会誌, 37, 276~279, 1988.

- 6) 越野立夫, 西島重光, 笠原孝之, 朝倉啓文:〔原著〕胎動と刺激による NST (特集:胎児からのメッセージ). 産婦の実際, 37, 1423~1432, 1988.
- 7) 諏訪喜宣, 越野立夫:〔原著〕チャートによる症状, 診断, 治療 '88・'89, 妊娠初期・分娩・産褥の異常, 妊娠・出産に伴う精神障害. 産婦の実際, 37 (臨時増刊特集19号), 1786~1789, 1988.
- 8) 大塚茂:〔原著〕ラット胎仔脳における glycogen 代謝調節. 日産婦誌, 40, 1725~1732, 1988.
- 9) 中山裕樹, 荒木勤:〔原著〕高年, 老年女性における不正性器出血. 産婦の実際, 37, 1953~1958, 1988.
- 10) 諏訪喜宣:〔原著〕Maternity blues syndrome に関する研究. 日医大誌, 55, 582~590, 1988.
- 11) 横田明重, 露木佳子, 加藤久盛, 角田隆, 若麻績佳樹, 越野立夫, 清水義人¹⁾, 大島博¹⁾ (¹⁾第一病院内視鏡科):〔原著〕潰瘍性大腸炎合併妊娠の1例. 日産婦東京会誌, 37, 391~394, 1988.
- 12) 大村浩¹⁾, 山口暁¹⁾, 宮内裕光¹⁾, 小池敏正¹⁾, 五月女茂¹⁾, 竹下俊行¹⁾, 荒木勤²⁾ (¹⁾下都賀総合病院, ²⁾付属病院):〔原著〕2回帝王切後に発症した頸管胎盤の1例. 産婦の実際, 38, 115~118, 1989.
- 13) 北川優:〔原著〕臍帯巻絡と variable deceleration に関する研究. 日医大誌, 56, 22~30, 1989.
- 14) 若麻績佳樹:〔原著〕八丈島における産科診療の実際. 東母衛誌, 5, 21~23, 1989.
- 15) 佐藤俊彦¹⁾, 五十嵐義晃¹⁾, 伊藤正¹⁾, 加藤富三¹⁾, 山口暁, 永井進, 力武義之, 横田淳一²⁾ (¹⁾第一病院放射線科, ²⁾東芝那須工場 CT 技術部):〔原著〕先天性子宮頸管, 腔閉鎖症の1例; MRI を中心に. 臨放線, 34, 391~394, 1989.

著 書

- 1) 越野立夫:〔分担〕女性とスポーツ;妊婦水泳. “スポーツ医学(2)” (黒田善雄, 中嶋寛之編), p. 134~138, 金原出版, 1988.
- 2) 越野立夫:〔分担〕女性とスポーツ;妊娠中の運動. “スポーツ医学(2)” (黒田善雄, 中嶋寛之編), p. 139~141, 金原出版, 1988.

学会発表

- 1) 永井進:〔一般講演〕BASIC による CTG data の実時間入力. 第17回産婦人科マイクロコンピュータ研究会, 1988.
- 2) 河村堯, 波多野久昭, 小川博康, 田中幸太郎, 鈴木聡, 横田明重, 沢倫太郎, 荒木勤, 進純郎¹⁾, 佐藤喜一¹⁾ (¹⁾保原中央病院):〔一般講演〕母体発熱による胎児熱ストレスへの対応メカニズム;妊娠ヤギによる生理的実験モデルを用いて. 第40回日本産科婦人科学会総会, 1988.
- 3) 中山裕樹, 露木佳子, 横田明重, 笠原孝之, 諏訪喜宣, 若麻績佳樹, 越野立夫:〔一般講演〕経腔プローブにて診断された卵管間質部妊娠の1例. 第266回日産婦東京地方部会例会, 1988.
- 4) 若麻績佳樹:〔シンポジウム:追加発言〕八丈島における産科診療の実際. 第6回東京母性衛生学会, 1988.
- 5) 真能ねり, 諏訪喜宣, 中山裕樹, 若麻績佳樹, 力武義之, 越野立夫:〔一般講演〕帝王切開後の産褥子宮内膜炎の治療経験. 日本医大医学会第65回例会, 1988.
- 6) 大村浩¹⁾, 竹下俊行¹⁾, 宮内裕光¹⁾, 小池敏正¹⁾, 荒木勤 (¹⁾下都賀総合病院):〔ポスター〕2回帝王切後に発症した頸管胎盤の1例. 第75回日本産婦人科学会関東連合地方部会総会, 1988.
- 7) 山口暁, 永井進, 力武義之, 越野立夫, 荒木勤, 佐藤俊彦¹⁾, 五十嵐義晃¹⁾ (¹⁾放射線科):〔ポスター〕MRI が診断に有用であった機能性子宮を有する子宮頸部及び腔欠損の一例. 第75回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1988.
- 8) 諏訪喜宣, 織田利光, 河合尚基, 若麻績佳樹, 越野立夫, 荒木勤, 許田マチ子¹⁾, 兼子和彦¹⁾ (¹⁾葛飾赤十字産院):〔一般講演〕Maternity blues と血中 dehydroepiandrosterone sulfate. 第75回日本産科婦人科学会関東連合

地方部会総会, 1988.

- 9) 横田明重, 竹内正人, 土居大祐, 沢倫太郎, 鈴木聡, 小川博康, 田中幸太郎, 波多野久昭, 河村堯, 荒木勤, 進純郎¹⁾, 佐藤喜一¹⁾ (保原中央病院) : [一般講演] 母獣発熱時のヤギ胎仔の酸素運搬に関する研究, 第75回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1988.
- 10) 露木佳子, 角田隆, 山口暁, 横田明重, 菊池京子, 越野立夫, 荒木勤, 小川秀子¹⁾, 小川隆吉²⁾, 青木由美¹⁾ (相模女子大学, ²⁾都立築地産院) : [一般講演] ラット胎仔肝, 脳における脂肪酸分析. 第24回日本新生児学会総会, 1988.
- 11) 横田明重, 河村堯, 小川博康, 田中幸太郎, 竹内正人, 土居大祐, 鈴木聡, 沢倫太郎, 波多野久昭, 荒木勤, 進純郎¹⁾, 佐藤喜一¹⁾ (保原中央病院) : [一般講演] 発熱に伴うヤギ胎仔の酸素運搬能の影響. 第24回日本新生児学会総会, 1988.
- 12) 横田明重, 角田隆, 露木佳子, 山口暁, 大塚茂, 菊池京子, 越野立夫, 荒木勤, 小川隆吉¹⁾ (都立築地産院) : [一般講演] ラット胎仔, 新生仔の肝および脳における脂肪酸分析. 第12回産婦人科栄養・代謝研究会, 1988.
- 13) 横田明重, 露木佳子, 加藤久盛, 角田隆, 若麻績佳樹, 越野立夫, 清水義人¹⁾, 大島博¹⁾ (内視鏡科) : [一般講演] 潰瘍性大腸炎合併妊娠の1例. 第267回日本産科婦人科学会東京地方部会例会, 1988.
- 14) 北川優, 諏訪喜宣, 若麻績佳樹, 越野立夫, 松久威史¹⁾, 荒牧長門¹⁾, 大島博¹⁾ (内視鏡科) : [一般講演] 当科における腹腔鏡の検査成績. 第56回日本医大医学会総会, 1988.
- 15) 土居大祐, 河村堯, 小川博康, 横田明重, 竹内正人, 田中幸太郎, 鈴木聡, 沢倫太郎, 波多野久昭, 荒木勤, 進純郎¹⁾, 佐藤喜一¹⁾ (保原中央病院) : [一般講演] 外因性エンドトキシンによるヤギ胎仔の循環機能と子宮収縮への影響; 妊娠ヤギの生理的実験モデルを用いて. 第56回日本医大医学会総会, 1988.
- 16) 横田明重, 西島重光, 中山裕樹, 角田隆, 若麻績佳樹, 越野立夫 : [ポスター] MRI が分娩様式の決定に有用であった子宮筋腫合併妊娠. 第56回日本医大医学会総会, 1988.
- 17) 中山裕樹, 諏訪喜宣, 真能ねり, 越野立夫 : [ポスター] 4P-症候群の一例. 第56回日本医大医学会総会, 1988.
- 18) 大村浩, 山口暁, 宮内裕光, 小池敏正 (下都賀総合病院) : [ポスター] 分娩障害をきたした卵巣腫瘍の3例. 第56回日本医大医学会総会, 1988.
- 19) Kitagawa, M., Nakai, A., Kaneko, K., Koshino, T. and Araki, T. : [ポスター] Study of umbilical cord coiling and variable deceleration. XII World Congress of Gynecology and Obstetrics (Rio de Janeiro, Brazil), 1988.
- 20) 中山裕樹, 若麻績佳樹, 力武義之, 越野立夫 : [一般講演] 高齢婦人に発生した子宮内膜結核の一例. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 21) 横田明重, 露木佳子, 西島重光, 若麻績佳樹, 越野立夫, 荒木勤 : [一般講演] 子宮筋腫合併妊娠の臨床的検討と管理法. 第76回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1988.
- 22) 笠原孝之, 織田利光, 中井章人, 西島重光, 越野立夫, 荒木勤 : [一般講演] 振動音刺激に対する胎児心拍数と胎動の変化. 第76回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1988.
- 23) 露木佳子, 横田明重, 山口暁, 角田隆, 越野立夫, 荒木勤, 小川隆吉¹⁾, 浅野伍朗²⁾ (都立築地産院, ²⁾第2病棟) : [一般講演] 低酸素負荷による脳室上皮下出血の発症要因. 第76回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1988.
- 24) 山口暁¹⁾, 大村浩¹⁾, 宮内裕光¹⁾, 小池敏正¹⁾, 若麻績佳樹, 越野立夫, 荒木勤 (下都賀総合病院) : [一般講演] 分娩障害をきたした卵巣腫瘍の3例. 第76回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1988.
- 25) 小川博康, 河村堯, 田中幸太郎, 竹内正人, 土居大祐, 鈴木聡, 沢倫太郎, 横田明重, 波多野久昭, 荒木勤, 進純郎¹⁾, 佐藤喜一¹⁾ (保原中央病院) : [一般講演] 母獣発熱とヤギ胎仔の循環機能および子宮収縮に関する研

究；妊娠ヤギの生理的実験モデルを用いて。第76回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会，1988。

- 26) 大村浩，山口暁，宮内裕光，小池敏正，五月女茂（下都賀総合病院）：〔一般講演〕分娩障害をきたした卵巣腫瘍の3例。第27回栃木県農村医学会，1988。
- 27) 越野立夫：〔シンポジウム〕妊婦の水泳。88' 水泳医科学シンポジウム，1988。
- 28) 大村浩，山口暁，宮内裕光，小池敏正（下都賀総合病院）：〔一般講演〕妊娠に合併した巨大結腸症の一例。第29回日本産科婦人科学会栃木地方部会，1989。
- 29) Asakura, H., Ball, K. T. and Power, G. G. : 〔ポスター〕Dependency of oxygen consumption on fetal arterial oxygen tension. 36th Annual Meeting of Society for Gynecologic Investigation (Sun Diego, U.S.A.), 1989。

〔第二病院産婦人科〕

研究概要

本年度の業績は主として，経膈超音波診断に関するもの，妊娠中の摂生と妊娠，分娩の母体の予後に関するもの，子宮峡部と頸管に関するもの，その他と4大別することが可能である。

経膈超音波診断法はこの2～3年で産婦人科領域において広く使用されるにいたったものであるが，妊娠の確認や排卵の予知が主流である。超音波のプロブから距離的に最も近い所に位置する頸管や胎盤の問題を経膈的アプローチによって検索した報告は極めて少なく当医局の業績は注目に価するものである。また子宮内膜が方向性を有する運動を行うものであることを証明した報告は世界で初めてであり，経膈超音波診断法の新しい応用領域を開発したものであることができる。

妊娠中の摂生や分娩に関するものは社会が急激に変化して行き，またマスコミなどを通じて妊婦はむしろ情報の過多に悩んでいるのが現状であり，いかにそれらの情報を取捨選択し，また急速に変化する日常や社会生活にマッチした摂生法を考えるかが必要な時代となっている。従来の科学的根拠を欠く画一的な母子保健指導ではなく，妊娠と母体の負担，高年出産，理想的な妊婦用品の開発などはまさに時代のニーズにあった研究と自賛しうるものである。

また当医局の伝統的な研究項目である子宮収縮に関してはポータブルの小型陣痛計を開発することにより，陣痛の日内変動の問題を解明し，さらに同一個体を対照とした頸管の熟化と子宮収縮の研究も発展させることができた。

軟産道と並んで分娩の予後と密接に関連している骨産道の問題については，最近の進歩の著しい多変量解析の技術も応用してさらに新しい見地からの解明に成功した。

研究業績

論文

- 1) 石原楷輔：〔原著〕新しい産婦人科超音波診断。産婦治療，56，676～682，1988。
- 2) 石原楷輔，春山喜重，平野和雄，菊池三郎：〔原著〕骨盤位の原因と胎盤付着部。産婦の世界，40，875～880，1988。
- 3) 石原楷輔，菊池三郎：〔原著〕経膈・経直腸超音波検査法。産婦治療，57，560～568，1988。
- 4) 石原楷輔，小畑清一郎，高木清，関谷隆夫，松尾健志，大池澄孝，菊池三郎：〔原著〕膈式超音波検査による妊娠初期の観察。日産婦神奈川会誌，25，15～18，1988。
- 5) 菊池三郎：〔原著〕妊娠中の Minor disturbance の薬物療法。周産期医，18，1015～1018，1988。
- 6) 菊池三郎：〔原著〕帝王切開症候群。日産婦神奈川会誌，25，141～145，1988。
- 7) 岩田嘉行，雨宮清，内田勝次，岡島弘行，蔵本博行，見常多喜子，小清水勉，小菅興正，後藤田祐宏，斉藤真，坂倉啓一，鈴木健治，高橋哲也，高橋通，滝雅史，豊田正治，林和彦，平原史樹，福島務，本間遵，松崎浩，松本讓二，松山明美，宮原敬明：〔原著〕神奈川における絨毛性疾患発生状況；出生数との対比および年齢層から

- の検討. 日産婦誌, 41, 48~54, 1988.
- 8) 木下叫一, 山藤泰功, 松本譲二, 高橋通, 尾形永太郎, 菊池三郎: [原著] 理想的な妊婦靴. 日産婦神奈川会誌, 25, 93~98, 1988.
 - 9) 石原楷輔: [原著] 頸管無力症の胎胞形成例に対する緊急手術; 羊膜腔減圧法の併用. 周産期医, 19, 17~22, 1989.
 - 10) 高橋通: [原著] “分娩誘発” 自然待期の立場から母体側因子を中心として妊娠41週の分娩例の解析. 日産婦神奈川会誌, 25, 66~70, 1989.
 - 11) 石原楷輔, 大池澄孝, 菊池三郎: [原著] 子宮内膜の月経周期における変化と運動. 産婦の実際, 38, 159~165, 1989.

著 書

- 1) 石原楷輔, 菊池三郎: [分担] 帝切の適応; 分娩遷延 “産婦人科 Mook 増刊 I”, p. 56~62, 金原出版, 1988.

学会発表

- 1) 松本譲二, 関谷隆夫, 田中穂積, 高橋通: [一般講演] 多変量解析による骨盤入口面の数理的検討. 第40回日本産科婦人科学会総会, 1988.
- 2) 小西公麿, 米田義典, 松本譲二, 高橋通, 菊池三郎: [一般講演] 正常新生児体重の上限. 第252回日本産科婦人科学会神奈川地方部会, 1988.
- 3) 飯田晋也, 米田義典, 松本譲二, 高橋通, 石原楷輔, 菊池三郎: [原著] PROM の臨床的意義の再検討. 第253回日本産科婦人科学会神奈川地方部会, 1988.
- 4) Takahashi, T., Tanaka, H., Sekiya, T., Matsumoto, J. and Kikuchi, S.: [Oral Presentation] A new classification for pelvic inlet shape using multivariate analysis. Vth Asia-Oceania Congress of Perinatology (Denpasar), 1988.
- 5) Kikuchi, S., Ogata, E., Takahashi, T. and Tanaka, H.: [Oral Presentation] HFD from the standpoint of neonatal and maternal long term progress. Vth Asia-Oceania Congress of Perinatology (Denpasar), 1988.
- 6) Kikuchi, S., Ogata, E., Takahashi, T. and Tanaka, H.: [Oral Presentation] How labor starts; A preliminary study by the consecutive monitoring uterine contractions. Vth Asia Oceania Congress of Perinatology (Denpasar), 1988.
- 7) Kikuchi, S.: [Symposium] Female's lifespan in connection with parity. International Council for Physical Fitness Research (Osaka), 1988.
- 8) 高木清, 石原楷輔, 菊池三郎: [一般講演] 経膈プローブによる子宮頸部および峡部の超音波学的検討. 第56回日本医科大学医学総会, 1988.
- 9) 田中穂積, 高橋通, 菊池三郎: [展示] 陣痛からみた分娩開始. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 10) 松尾健志, 大池澄孝, 石原楷輔, 菊池三郎: [展示] 妊娠中期低置胎盤の母児の予後. 第56回日本医科大学医学総会, 1988.
- 11) 松本譲二: [パネルディスカッション] 出生数とコレステロール値 (中高年婦人の診療対策). 第254回日本産科婦人科学会神奈川地方部会, 1988.
- 12) 松本譲二, 米田義典, 塚田克也, 関谷隆夫, 岩崎孝一, 山藤泰功, 高橋通, 石原楷輔, 菊池三郎: [一般講演] 心疾患合併妊婦とそのFHR. 第76回日産婦関東連合地方部会, 1988.
- 13) 高木清, 小畑清一郎, 松尾健志, 大池澄孝, 石原楷輔, 菊池三郎: [一般講演] 子宮峡部・頸部の生理的变化と臨床応用. 第76回日産婦関東連合地方部会, 1988.

- 14) Kikuchi, S., Takagi, K., Matsuo, K., Obata, S., Oike, K. and Ishihara, K. : [Poster] Ultrasonographic diagnosis of cervical incompetence. World Federation for Ultrasound in Medicine and Biology Meeting (Washington), 1988.
- 15) Oike, K., Obata, S., Takagi, K., Matsuo, K., Ishihara, K. and Kikuchi, S. : [Oral Presentation] Observation of endometrial movement with transvaginal ultrasonography. World Federation for Ultrasound in Medicine and Biology Meeting (Washington), 1988.
- 16) Obata, S., Takagi, K., Matsuo, K., Oike, K., Ishihara, K. and Kikuchi, S. : [Poster] Hydronephrosis in pregnancy and its etiology. World Federation for Ultrasound in Medicine and Biology Meeting (Washington), 1988.
- 17) Ogata, E., Takahashi, T., Oike, K., Tanaka, H., Kikuchi, S., Matsumoto, J. and Sekiya, T. : [Poster] Influence of parity on the life span of females. XII World Congress of Gynecology and Obstetrics (Brasilia), 1988.
- 18) Matsumoto, J., Takahashi, T., Oike, K., Sekiya, T. and Kikuchi, S. : [Poster] Paternal smoking during pregnancy. XII. World Congress of gynecology and obstetrics (Brasilia), 1988.
- 19) Takahashi, T., Kikuchi, S., Oike, K., Matsumoto, J., Sekiya, T. and Katz, M. : [Poster] A new model for objective in vivo assessment of cervical ripening ; The effect of hormones and prelabor contractility. XII World Congress of gynecology and Obstetrics (Brasilia), 1988.
- 20) Sekiya, T., Takahashi, T., Oike, K., Matsumoto, J. and Kikuchi, S. : [Poster] What would be that ideal shoes during pregnancy ? XII World Congress of gynecology and obstetrics (Brasilia), 1988.
- 21) Oike, K., Matsuo, K., Ishihara, K. and Kikuchi, S. : [Poster] Diagnosis of placenta previa by ultrasonography Comparison between transabdominal and transrectal. XII World Congress of gynecology and obstetrics (Brasilia), 1988.
- 22) 飯田晋也, 関谷隆夫, 山藤泰功, 松本譲二, 高橋通, 石原楷輔, 菊池三郎 : [一般講演] グナザール服用中による SEM 子宮内膜の観察. 第256回日産婦神奈川地方部会, 1988.
- 23) 木下叫一, 塚田克也, 関谷隆夫, 山藤泰功, 石原楷輔, 菊池三郎 : [一般講演] 子宮外妊娠の超音波診断. 第256回日産婦神奈川地方部会, 1988.
- 24) 石原楷輔 : [シンポジウム, 座長解説] 経膈プローブによる画像診断. 第257回日産婦神奈川地方部会, 1989.
- 25) 高木清 : [シンポジウム] 経膈プローブを用いた子宮峡部・頸部の生理的変化と臨床応用. 第257回日産婦神奈川地方部会, 1989.
- 26) 小西公麿, 塚田克也, 米田義典, 高木清, 飯田晋也, 岩崎孝一, 松本譲二, 菊池三郎 : [一般講演] 40代の分娩. 第257回日産婦神奈川地方部会, 1989.
- 27) 菊池三郎 : [特別講演] 妊娠中の現代的摂生法. 第2回神奈川母性衛生学会総会, 1989.

[多摩永山病院産婦人科]

研究概要

周産期領域における基礎的研究として、妊娠ヤギを用いた生理的実験モデルを作成し、本年度は(1)母体感染時の発熱ストレスに対する胎仔の生体防御機構について、①胎仔循環動態、②胎仔内分泌機構や③酸素運搬機構などに関する病態生理の面から研究し、その結果、①に関しては子宮胎盤循環動態などの生理的意義、②に関しては胎仔 cortisol や catecholamin などの生理的意義、さらに③に関しては赤血球内有機燐酸塩 (2,3-DPG, ATP) の生理的意義などについて解明でき、大きな成果をあげることができた。また(2)母体発熱と子宮筋感受性に関する機序や(3)母体発熱時の子宮内胎仔の体温調節機構などについても研究し、前者に関しては prostaglandins や cortisol などが母体発熱時の子宮筋感受性に関与すること、さらに後者に関しては子宮胎盤循環の動態が胎仔の体温調節に重要な役割を果たしていることなどが解明され、大きな成果をあげることができた。さらに、臨床的研究でも胎児発育遅延 (IUGR) の

病態生理や治療に関して糖・グリコーゲン代謝の面から研究を行い、大きな成果をあげられた。

研究業績

論文

- 1) 荒木勤, 河村堯〔原著〕新生児の栄養と母乳の意義. 周産期医, **18**, 569~575, 1988.
- 2) 吉田雄一郎, 河村堯, 米山剛一, 荒木勤:〔原著〕卵管絨毛癌の1例. 産婦の実際, **37**, 1095~1098, 1988.
- 3) 米山剛一, 荒木勤:〔原著〕羊水塞栓症. 臨産産, **42**, 711~717, 1988.
- 4) 鴨井青龍, 岡本哲, 若月雅美, 磯崎太一, 土居大祐, 渡辺美千明, 河村堯, 荒木勤, 兼子和彦¹⁾(¹⁾葛飾赤十字産院):〔原著〕未熟児骨盤位の分娩様式とその予後. 産婦の世界, **40**, 935~939, 1988.
- 5) 米山剛一, 鈴木聰, 西中健二, 高田秀一, 鈴木俊治, 河村堯, 荒木勤:〔原著〕不全子宮破裂を伴った羊水塞栓症の臨床病理学的検討. 日産婦東京地方会誌, **37**, 429~432, 1988.
- 6) 河村堯, 小川博康, 渡辺美千明, 竹内正人, 土居大祐, 荒木勤:〔原著〕子宮内膜症に対するR2323の治療効果. 産婦の世界, **40**, 557~560, 1988.
- 7) Kawamura, T., Suzuki, S., Sawa, R., Yokota, A., Doi, D., Tanaka, K., Hatano, H., Araki, T., Shin, S.¹⁾ and Sato, K.¹⁾(¹⁾仁泉会医学研究所):〔原著〕Cardiovascular and endocrine responses in the fetal goat. "Proceeding of XI European Congress of Perinatal Medicine", Vol. 2, 581~588, 1988.
- 8) Hatano, H., Kawamura, T., Araki, T., Schroder, H.¹⁾ and Leichtweiss, H. P.¹⁾(¹⁾Hamburg Univ.):〔原著〕Mechanism of biocarbonate uptake in the isolated guinea pig placenta. "Proceeding of XI European Congress of Perinatal Medicine", Vol. 2, 523~533, 1988.
- 9) Suzuki, S., Kawamura, T., Hatano, H., Tanaka, K., Araki, T., Shin, S.¹⁾ and Sato, K.¹⁾(¹⁾仁泉会医学研究所):〔原著〕Effect of maternal hyperthermia on glycolysis and O₂ transport in the fetal goat uterus. "Proceeding of XI European Congress of Perinatal Medicine", Vol. 2, 965~971, 1988.
- 10) 中山裕樹, 露木佳子, 横田明重, 笠原孝之, 諏訪喜宣, 若麻績佳樹, 越野立夫:〔原著〕経膈プローブにて診断された卵管間質部妊娠の1例. 日産婦東京地方会誌, **37**, 276~279, 1988.
- 11) 河村堯:〔原著〕妊娠初期・分娩・産褥の異常(妊娠初期にみられる出血). 産婦の実際, **37**, 1718~1721, 1988.
- 12) 中山裕樹, 荒木勤:〔原著〕高年老年女性における不正性器出血. 産婦の実際, **37**, 1953~1958, 1988.
- 13) 米山剛一:〔原著〕Immunohistochemical localization of pulmonary surfactants in fetal rabbit lung. 日産婦会誌, **40**, 1740~1746, 1988.
- 14) 兼子和彦¹⁾, 米山剛一(¹⁾葛飾赤十字産院):〔原著〕母体救急. 産婦の世界, **41**, 15~19, 1989.
- 15) 北川優:〔原著〕臍帯巻絡とvariable decelerationに関する研究. 日医大誌, **56**, 22~30, 1989.

著書

- 1) 倉石公路, 小西英喜, 鄭光民, 加藤礼子, 河村堯, 荒木勤:〔分担〕経母体の糖輸液療法. "産婦人科診療上の問題点; IUGRの対策", p. 46~49, 診断と治療社, 1988.

学会発表

- 1) 波多野久昭, 河村堯, 角田隆, 沢倫太郎, 越野立夫, 荒木勤:〔一般講演〕モルモット胎盤でのglucose輸送の解明; in vitro灌流実験モデルを用いて. 第40回日本産科婦人科学会総会, 1988.
- 2) 河村堯, 波多野久昭, 小川博康, 田中幸太郎, 鈴木聰, 横田明重, 沢倫太郎, 荒木勤, 進純郎¹⁾, 佐藤喜一¹⁾(¹⁾仁泉会医学研究所):〔一般講演〕母体発熱による胎児熱ストレスへの対応のメカニズム; 妊娠やぎによる生理的

実験モデルを用いて. 第40回日本産科婦人科学会総会, 1988.

- 3) Kawamura, T., Suzuki, S., Sawa, R., Yokota, A., Doi, D., Tanaka, K., Hatano, H., Araki, T., Shin, S.¹⁾ and Sato, K.¹⁾ (仁泉会医学研究所): [一般講演] Cardiovascular and endocrine responses in the fetal goat. XIth European Congress of Perinatal Medicine (Roma), 1988.
- 4) Hatano, H., Kawamura, T., Araki, T., Leichtweiss, H. P.¹⁾ and Schroder, H.¹⁾ (Humburg Univ.): [一般講演] Mechanism of bicarbonate uptake in the isolated guinea pig placenta. XIth European Congress of Perinatal Medicine (Roma), 1988.
- 5) Suzuki, S., Kawamura, T., Hatano, H., Tanaka, K., Araki, T., Shin, S.¹⁾ and Sato, K.¹⁾ (仁泉会医学研究所): [一般講演] Effect of maternal hyperthermia on glycolysis and O₂ transport in the fetal goat in utero. XIth European Congress of Perinatal Medicine (Roma), 1988.
- 6) 中山裕樹, 露木佳子, 横田明重, 笠原孝之, 諏訪喜宣, 若麻績佳樹, 越野立夫: [一般講演] 経膈プローブにて診断された卵管間質部妊娠の1例. 第266回日本産科婦人科学会東京地方部会, 1988.
- 7) 眞能ねり, 諏訪喜宣, 中山裕樹, 若麻績佳樹, 力武義之, 越野立夫: [一般講演] 帝王切開後の産褥子宮内膜炎の治療経験. 日本医科大学医学会第65回例会, 1988.
- 8) 横田明重, 竹内正人, 土居大祐, 澤倫太郎, 鈴木聰, 小川博康, 田中幸太郎, 波多野久昭, 河村堯, 荒木勤, 進純郎¹⁾, 佐藤喜一¹⁾ (仁泉会医学研究所): [一般講演] 母獣発熱時のヤギ胎仔の酸素運搬能に関する研究. 第75回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 1988.
- 9) 竹内正人, 澤倫太郎, 福田功, 岡本哲, 波多野久昭, 河村堯, 佐々木茂, 荒木勤, 大矢徹¹⁾, 隈崎達夫¹⁾, 恵畑欣一¹⁾ (放射線科): [一般講演] 悪性腫瘍に対する皮下埋め込み式リザーバー使用による動注化学療法の試み. 第75回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 1988.
- 10) 鈴木聰, 米山剛一, 岡本哲, 土居大祐, 波多野久昭, 河村堯, 佐々木茂, 荒木勤: [一般講演] 無症候性子宮破裂が誘因と考えられる羊水塞栓症の1症例. 第75回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 1988.
- 11) 田中幸太郎, 八木覚, 福田功, 若月雅美, 西中健二, 渡辺美千明, 河村堯, 佐々木茂, 荒木勤: [一般講演] 最近経験した卵巣妊娠の4例. 第75回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 1988.
- 12) 鴨井青龍, 岡本哲, 若月雅美, 八木覚, 河村堯, 佐々木茂, 荒木勤: [一般講演] 最近経験した間質性肺炎合併妊娠の1例. 第75回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 1988.
- 13) 福田功, 土居大祐, 鴨井青龍, 波多野久昭, 八木覚, 河村堯, 佐々木茂, 荒木勤: [一般講演] 妊娠中期に発症した急性骨髄性白血病の1症例. 第13回産婦人科新生児血液研究会, 1988.
- 14) 竹内正人, 河村堯, 鈴木聰, 澤倫太郎, 土居大祐, 小川博康, 田中幸太郎, 波多野久昭, 荒木勤, 進純郎¹⁾, 佐藤喜一¹⁾ (仁泉会医学研究所): [一般講演] 発熱に伴うヤギ胎仔の赤血球内代謝への影響; とくに酸素運搬機構を中心に. 第13回産婦人科新生児血液研究会, 1988.
- 15) 河村堯, 小川博康, 澤倫太郎, 鈴木聰, 土居大祐, 竹内正人, 田中幸太郎, 横田明重, 波多野久昭, 荒木勤, 進純郎¹⁾, 佐藤喜一¹⁾ (仁泉会医学研究所): [一般講演] 母体感染に伴う子宮内胎児の循環機能と子宮収縮に及ぼす影響; 妊娠ヤギの生理的実験モデルを用いて. 第6回産婦人科感染症研究会, 1988.
- 16) 波多野久昭, 河村堯, 鈴木聰, 澤倫太郎, 竹内正人, 土居大祐, 荒木勤: [一般講演] 重炭酸の胎盤輸送機構について; モルモット胎盤の人工的灌流実験モデルを用いて. 第24回日本新生児学会総会, 1988.
- 17) 小川博康, 岡本哲, 渡辺美千明, 進純郎, 河村堯, 佐々木茂, 荒木勤, 与田仁志¹⁾, 赤松洋¹⁾ (日赤医療センター): [一般講演] 出生前診断に苦慮した無顎症の1例. 第24回日本新生児学会総会, 1988.
- 18) 横田明重, 河村堯, 小川博康, 田中幸太郎, 竹内正人, 土居大祐, 鈴木聰, 澤倫太郎, 波多野久昭, 荒木勤, 進純郎¹⁾, 佐藤喜一¹⁾ (仁泉会医学研究所): [一般講演] 発熱に伴うヤギ胎仔の酸素運搬能の影響. 第24回日本

新生児学会総会, 1988.

- 19) 田中幸太郎, 河村堯, 小川博康, 横田明重, 竹内正人, 土居大祐, 鈴木聰, 澤倫太郎, 波多野久昭, 荒木勤, 進純郎¹⁾, 佐藤喜一¹⁾ (仁泉会医学研究所) : [一般講演] 母獣発熱に伴うヤギ胎子の循環機能と子宮収縮に及ぼす影響; 妊娠ヤギの生理的実験モデルを用いて. 第24回日本新生児学会総会, 1988.
- 20) Kawamura, T., Suzuki, S., Sawa, R., Yokota, A., Doi, D., Tanaka, K., Ogawa, H., Hatano, H., Araki, T., Shin, S.¹⁾ and Sato, K.¹⁾ (仁泉会医学研究所) : [一般講演] Effect of endotoxin on the cardiovascular system in fetal goat. 5th Asia-Oceania Congress of Perinatology (Bali, Indonesia), 1988.
- 21) Sawa, R., Kawamura, T., Ogawa, H., Suzuki, S., Takeuchi, M., Hatano, H., Araki, T., Shin, S.¹⁾ and Sato, K.¹⁾ (仁泉会医学研究所) : [一般講演] Effect of maternal hyperthermia on the oxygen transport system in fetal goat. 5th Asia-Oceania Congress of Perinatology (Bali, Indonesia), 1988.
- 22) Sawa, R., Kawamura, T., Ogawa, H., Suzuki, S., Takeuchi, M., Hatano, H., Araki, T., Shin, S.¹⁾ and Sato, K.¹⁾ (仁泉会医学研究所) : Effect of maternal hyperthermia on the oxygen transport system in fetal goat. 15th Annual Meeting of the Society for the Study of Fetal Physiology (Australia), 1988.
- 23) Kawamura, T., Suzuki, S., Sawa, R., Yokota, A., Doi, D., Tanaka, K., Ogawa, H., Hatano, H., Araki, T., Shin, S.¹⁾ and Sato, K.¹⁾ (仁泉会医学研究所) : Effect of endotoxin on the cardiovascular and endocrine system in fetal goat in utero. 15th Annual Meeting of the Society for the Study of Fetal Physiology (Australia), 1988.
- 24) 小川博康, 河村堯, 田中幸太郎, 鈴木聰, 澤倫太郎, 竹内正人, 土居大祐, 横田明重, 波多野久昭, 荒木勤, 進純郎¹⁾, 佐藤喜一¹⁾ (仁泉会医学研究所) : [一般講演] 発熱に伴うヤギ胎仔の赤血球内有機リン酸塩代謝への影響. 第12回産婦人科栄養・代謝研究会, 1988.
- 25) 波多野久昭, 河村堯, 鈴木聰, 竹内正人, 荒木勤 : [一般講演] 重炭酸の経胎盤輸送機序の解明; 人工的に灌流したモルモット胎盤を用いて. 第12回産婦人科栄養・代謝研究会, 1988.
- 26) 米山剛一, 鈴木聰, 西中健二, 高田秀一, 鈴木俊治, 河村堯, 荒木勤 : [一般講演] 不全子宮破裂を伴った羊水塞柱症の臨床病理学的検討. 第267回日本産科婦人科学会東京地方部会, 1988.
- 27) 土居大祐, 河村堯, 小川博康, 横田明重, 竹内正人, 田中幸太郎, 鈴木聰, 澤倫太郎, 波多野久昭, 荒木勤, 進純郎¹⁾, 佐藤喜一¹⁾ (仁泉会医学研究所) : [一般講演] 外因性エンドトキシンによるヤギ胎仔の循環機能と子宮収縮への影響; 妊娠ヤギの生理的実験モデルを用いて. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 28) 鈴木聰, 米山剛一, 岡本哲, 土居大祐, 天本治夫, 波多野久昭, 河村堯, 佐々木茂, 荒木勤, 馬杉洋三¹⁾ (第1病理) : [展示] 不全子宮破裂が誘因と考えられる羊水塞柱症の1例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 29) 田中幸太郎, 八木覚, 福田功, 若月雅美, 西中健二, 鈴木俊治, 河村堯, 佐々木茂, 荒木勤 : [展示] 最近経験した興味ある卵巣妊娠の4例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 30) 小川博康, 岡本哲, 渡辺美千明, 高田秀一, 林瑞成, 鴨井青龍, 河村堯, 佐々木茂, 荒木勤, 与田仁志¹⁾, 赤松洋¹⁾ (日赤医療センター) : [展示] 最近経験した無下顎症の1例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 31) 横田明重, 西島重光, 中山裕樹, 角田隆, 若麻績佳樹, 越野立夫 : [展示] MRI が分娩様式の決定に有用であった子宮筋腫合併妊娠. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 32) 中山裕樹, 諏訪喜宣, 眞能ねり, 越野立夫 : [展示] 4P⁻症候群の1例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 33) Kitagawa, M., Nakai, A., Kaneko, K.¹⁾, Koshino, T. and Araki, T. (葛飾赤十字産院) : [展示] Study of umbilical cord coiling and variable deceleration. XII World Congress of Gynecology and Obstetrics (Rio de Janeiro), 1988.
- 34) 波多野久昭, 高田秀一, 鈴木俊治, 天本治夫, 鈴木聰, 澤倫太郎, 河村堯, 佐々木茂, 荒木勤 : [一般講演] 反復動注可能な皮下埋め込み式リザーバーを用いた動注化学療法の試み. 日本婦人科悪性腫瘍化学療法研究会第1回学術集会, 1988.

- 35) 福田功, 土居大祐, 天本治夫, 高田秀一, 澤倫太郎, 八木覚, 河村堯, 佐々木茂, 荒木勤: [一般講演] 妊娠中期に発症したと思われる急性骨髄性白血病の1例. 第76回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 1988.
- 36) 小川博康, 河村堯, 田中幸太郎, 竹内正人, 土居大祐, 鈴木聡, 澤倫太郎, 横田明重, 荒木勤, 進純郎¹⁾, 佐藤喜一¹⁾ (仁泉会医学研究所): [一般講演] 母獣発熱とヤギ胎仔の循環機能および子宮収縮に関する研究. 第76回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 1988.
- 37) 米山剛一, 西中健二, 高橋英彦, 若月雅美, 中島達人, 河村堯, 菊池三郎, 荒木勤: [一般講演] 最近3年間に経験した妊産婦死亡例の臨床病理学的解析. 第76回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 1988.
- 38) 竹内正人, 米山剛一, 天本治夫, 鈴木俊治, 鴨井青龍, 河村堯, 荒木勤, 古河達祐¹⁾ (麻醉科): [一般講演] 両側チョコレート嚢胞にサルモネラ感染を合併した2症例. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 39) 中山裕樹, 若麻績佳樹, 力武義之, 越野立夫: [一般講演] 高齢婦人に発生した子宮内膜結核の1例. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 40) 河村堯, 天本治夫, 高田秀一, 米山芳夫, 荒木勤: [一般講演] 妊娠32週に発症した第2期顕症梅毒の1例. 日本性感染症 (STD) 学会第1回学術大会, 1988.
- 41) 渡辺美千明, 天本治夫, 土居大祐, 鴨井青龍, 波多野久昭, 河村堯, 荒木勤: [一般講演] 妊娠18週で診断しえた頭胸部結合双胎の興味ある1例. 第268回日本産科婦人科学会東京地方部会, 1988.
- 42) 河村堯, 小川隆吉, 荒木勤: [シンポジウム] IUGR 胎児の肝グリコーゲン代謝異常に対する出生前治療へのアプローチ. 第7回日本周産期学会, 1989.
- 43) Kawamura, T., Sawa, R., Takeuchi, M., Yoneyama, Y., Hatano, H., Sato, K.¹⁾ and Araki, T. (仁泉会医学研究所): [一般講演] Effect exogenous endotoxin on uterine activity in pregnant goats. The 36th Annual Meeting of Society for Gynecologic Investigation (San Diego, USA), 1989.

14. 耳鼻咽喉科学講座

[付属病院耳鼻咽喉科]

研究概要

本年度で特筆すべきは奥田教授開講十周年を記念して教室のデータをもとに、奥田教授が「鼻アレルギー」、八木助教授が「めまい・難聴・耳鳴」の著書を刊行したことである。

教室のテーマであるアレルギー、頭頸部外科、神経耳科学に関する業績は例年と同じく多数発表された。

アレルギーでは花粉症の予防、治療、特に抗アレルギー剤の季節前投与、鼻アレルギーの病態生理、誘発テスト、抗体の定量などのほかに、教室が力を入れている粘膜表層肥満細胞の季節変動、多様性、治療による変化、細胞培養などに誇るべき成果が得られた。また好酸球の機能、動態、鼻粘膜上皮層内細胞成分、特にリンパ球サブセットの解析にも独創的な成果があり、国内外で高い評価をうけた。

神経耳科学では、聴性脳幹反応による聴力検査、昏睡の予後判定、前庭眼反射の機序と臨床応用などでみるべき成果があった。また内耳における免疫反応、刺激による半規管一次ニューロンの応答など基礎的動物実験も独自のもので、この方面の進歩に寄与した。中耳炎における鼓室形成術、耳鳴の診断、治療でよい成績をあげ、発表された。

頭頸部外科では、舌癌の治療、特にリンパ節転移、甲状腺癌、特に気管再建術、唾液腺腫瘍の診断、治療などがまとめられた。

そのほか軟部好酸球肉芽腫の免疫学的研究もオリジナルなものであった。

研究業績

論文

- 1) 相原康孝, 目沢朗憲, 大塚博邦, 奥田稔: [原著] スギ花粉症による感作と発症. 耳喉頭頸外科, **60**, 315~319, 1988.
- 2) 奥田稔, 竹中徹, 宇佐神篤: [原著] 木村病. 病理と臨, **66**, 1123~1127, 1989.
- 3) 顔真賢: [原著] The lymphocyte subset in the epithelium of allergic nasal mucosa; An immunoelectrom microscopic study. J. Clin Electron Microscopy, **21**, 764~765, 1988.
- 4) Liu, Ch. and Okuda, M.: [原著] Injurious effect of eosinophil extract on the human nasal mucosa. Rhinology, **26**, 121~132, 1988.
- 5) 犬山征夫, 羽田達正, 奥田稔, 他: [原著] 頭頸部進行扁平上皮癌に対する Carboplatin + PEP 療法と CDDP + PEP 療法の無作為化比較試験. 耳鼻と臨, **13**, 1417~1420, 1988.
- 6) 富山俊一, Harris, J. P.: [原著] 内耳免疫反応; KLH 抗原の鼓室階投与後の動態. Ear. Res. Jpn., **19**, 409~411, 1988.
- 7) 奥田稔, 他: [原著] 抗アレルギー薬 Traxanox の通年性鼻アレルギーに対する臨床的検討. 耳展, **31** (補3), 175~207, 1988.
- 8) 奥田稔, 他: [原著] アレルギー性鼻炎に対する AA673錠の臨床評価. 耳展, **31** (補3), 281~307, 1988.
- 9) 犬山征夫, 奥田稔, 他: [原著] 頭頸部癌に対する Carboplatin の phase II study. 癌と化療, **15**, 2131~2138, 1988.
- 10) 奥田稔: [総説] 花粉症. 診療手帖, **100**, 44~46, 1988.
- 11) 奥田稔: [原著] 鼻閉に対する新しい治療法. 耳喉・頭頸外科, **60**, 561~589, 1988.
- 12) 奥田稔: [総説] 花粉症. Current Insights in Allergy, **4**, 3~5, 1988.

- 13) 奥田稔：〔総説〕花粉症の予防と治療。治療学，21，71～73，1988.
- 14) 平良晋一，奥田稔，山野辺滋晴，羽田達正：〔原著〕扁桃原発悪性リンパ腫の1症例。耳喉頭頸外科，60，1049～1053，1988.
- 15) 奥田稔，他：〔原著〕AA 673錠のアレルギー性鼻炎に対する臨床薬理学的検討，耳展，31（補5），513～520，1988.
- 16) 奥田稔：〔原著〕アレルギー性鼻炎に対するAA-673錠の用量検討試験。耳展，31（補5），521～538，1988.
- 17) 奥田稔，他：〔原著〕抗アレルギー剤 Tazanolast の鼻アレルギーに対する臨床的検討。耳展，31（補9），1129～1148，1988.
- 18) 大塚博邦，大西正樹，目沢朗憲，大久保公裕，奥田稔：〔原著〕減感作による鼻粘膜好塩基性細胞の変動。耳鼻と臨，81，1617～1622，1988.
- 19) 大塚博邦，奥田稔：〔原著〕鼻誘発試験。臨免疫，20，190～197，1988.
- 20) 大塚博邦：〔総説〕アレルギー性鼻炎，花粉症；治療の進歩。カレントセラピー，6，34～36，1988.
- 21) 山野辺滋晴：〔原著〕聴性脳幹反応による音負荷後一過性聴力域値変化（NITTS）の観察。日耳鼻会報，91，1267～1273，1988.
- 22) 山口潤：〔原著〕頭蓋の大きさが聴性脳幹反応の波形に及ぼす影響について。日耳鼻会報，91，1406～1412，1988.
- 23) 青木秀治：〔原著〕前庭眼反射の適応現象と視運動性眼振。日耳鼻会報，91，1435～1443，1988.
- 24) 大久保公裕：〔原著〕ヒト上気道粘膜肥満細胞の組織学的多様性。日耳鼻会報，91，1920～1927，1988.
- 25) 馬場俊吉，八木聰明，青木秀治，佐久間文子，山口潤：〔原著〕昏睡患者聴性脳幹反応の経時的観察。耳鼻臨床，81，1135～1141，1988.
- 26) 山野辺滋晴，町井一史，馬場俊吉，八木聰明：〔原著〕耳鳴の評価と治療に関する研究；マスカー療法の効果に影響を与える因子について。Audiol. Jpn., 31，245～250，1988.
- 27) 八木聰明，馬場俊吉，森園徹志：〔原著〕鼓室形成術後聴力の評価に関する検討。日耳鼻会報，91，1244～1249，1988.
- 28) 八木聰明，上野博史，森園徹志：〔原著〕連続振子回転刺激に対する外側半規管一次ニューロンの応答。Ear. Res. Jpn., 19，459～461，1988.
- 29) 小林謙，八木聰明，森園徹志，神尾友和：〔原著〕前庭系の代償過程における頸部入力への役割。Equilibrium Res., 47，323～327，1988.
- 30) 馬場俊吉，八木聰明，青木秀治，山口潤，森園徹志，山野辺滋晴：〔原著〕昏睡患者聴性脳幹反応のI-V波間潜時。耳鼻と臨，34，1182～1187，1988.
- 31) 河村正三，八木聰明，他：〔原著〕化膿性中耳炎に対するCS-807の臨床評価。耳鼻，34，1247～1273，1988.
- 32) 馬場俊吉，八木聰明，他：〔原著〕急性陰窩性扁桃炎に対するCS-807の臨床評価。耳鼻，34，1274～1296，1988.
- 33) 中溝宗永，八木聰明，青木秀治，山野辺滋晴，小林謙：〔原著〕パッチテストの適応と判定基準について。臨耳，15，29～33，1988.
- 34) 羽田達正，奥田稔，富山俊一，他：〔原著〕顎下腺腫瘍の臨床統計。日本唾液腺学会誌，29，76～78，1988.
- 35) Liu, Ch.: 〔原著〕Seasonal variation of nasal surface basophilic cell in Japanese cedar pollinosis. Rhinology, 26，167～173，1988.
- 36) 奥田稔：〔総説〕鼻粘膜肥満細胞。日耳鼻免ア，6，90～91，1988.
- 37) Okuda, M.: 〔原著〕Pathophysiological aspect of nasal allergy. (Proceeding of Vth ISIAN), 耳展，31（補7），709～714，1988.
- 38) 奥田稔：〔原著〕反後性上気道感染・中耳炎はアレルギーによるか。小児診療，51，2064～2065，1988.

- 39) 奥田稔：〔総説〕花粉症とアレルギー．ドクターサロン，32，841～844，1988.
- 40) 馬場俊吉，八木聰明，森園徹志，後藤裕一：〔原著〕DOA 症例の ABR. *Audiol. Jpn.*, 31, 381～382, 1988.
- 41) 大河原大次，山野辺滋晴，馬場俊吉，八木聰明，町井一史：〔原著〕マスク療法の治療効果に影響する因子について．*Audiol. Jpn.*, 31, 507～508, 1988.
- 42) 山野辺滋晴，八木聰明：〔原著〕ABR による NITTS の観察．*Audiol. Jpn.*, 31, 567～568, 1988.
- 43) 羽田達正，奥田稔：〔原著〕舌癌頸転移後に関する問題点．耳鼻と臨，34（補5），1338～1342，1988.
- 44) 大塚博邦：〔原著〕鼻アレルギーにおける好塩基球，好酸球の動態．アレルギー診療，15，601～613，1988.
- 45) 大塚博邦：〔総説〕滲出性中耳炎と抗アレルギー剤による治療．耳鼻と臨，34，1328～1329，1988.
- 46) 大塚博邦：〔原著〕鼻アレルギー，副鼻腔炎における好塩基性細胞．日鼻科会誌，27，24～25，1988.
- 47) Yagi, T. and Ueno, H. : 〔原著〕Physiological characteristics of the primary horizontal canal nervous in guinea pigs ; Response difference between alert and anesthetized animals. *Adv. Otorhinolaryngol.*, 41, 20～24, 1988.
- 48) Aoki, H. and Yagi, T. : 〔原著〕Effect of VOR gain changes on OKR gain control in human subjects. *Adv. Otorhinolaryngol.*, 41, 58～62, 1988.
- 49) Kobayashi, Y., Yagi, T. and Kamino, T. : 〔原著〕The role of cervical inputs in compensation of unilateral labyrinthectomized patients. *Adv. Otorhinolaryngol.*, 42, 185～189, 1988.
- 50) 奥田稔：〔原著〕花粉症；免疫異常アレルギーの治療．総合臨，37，2848～2853，1988.
- 51) Ohnishi, M., Ruhno, J., Dolovich, J. and Denburg, J. A. : 〔原著〕Allergic rhinitis nasal mucosal conditioned medium stimulates growth and differentiation of basophil, mast cell and eosinophil progenitors from atopic blood. *J. Allergy Clin. Immunol.*, 81, 1149～1154, 1988.
- 52) Ohnishi, M., Ruhno, J., Bienenstock, J., Miler, R., Dolovich, J. and Denburg, J. A. : 〔原著〕Human nasal polyp epithelial basophil cell and eosinophil colony stimulating activity ; The effect is T cell dependent. *Am. Rev. Respir. Dis.*, 138, 560～564, 1988.
- 53) Okuda, M., Otsuka, H., Sakaguchi, K., Onishi, M. and Okubo, K. : 〔原著〕Effect of anti-allergic treatment on nasal surface basophil metachromatic cells in allergic rhinitis. *Allergy Proceeding*, 10, 23～26, 1989.
- 54) 奥田稔，他：〔原著〕スギ花粉症に対するアゼラスチンの予防および治療効果の検討．耳展，32（補1），37～54，1989.
- 55) 八木聰明，馬場俊吉，山野辺滋晴：〔原著〕ICU での ABR. *JOHNS*, 5, 343～348, 1989.
- 56) 大塚博邦：〔総説〕RAST, RIST, PCA 反応. *JOHNS*, 5, 606～608, 1989.
- 57) 平良晋一，奥田稔，羽田達正：〔原著〕甲状腺癌における気管の切除とその再建．頭頸部腫瘍，15，8～11，1989.

著 書

- 1) 矢島洋，奥田稔：〔分担〕最近の抗アレルギー薬はどの程度アレルギー疾患に有効か；鼻アレルギーを中心に．第5回免疫薬物療法研究会記録集，p. 117～134，医薬ジャーナル，1988.
- 2) Okuda, M. : 〔分担〕The treatment of allergic rhinitis. "Around the Nose" (Passali, D. ed.), p. 73～80, Calenzano, Firenze, 1988.
- 3) Okuda, M. : 〔分担〕Local nasal vasoconstrictor. "Around the Nose" (Passali, D. ed.), p. 111～115, Calenzano, Firenze, 1988.
- 4) 八木聰明：〔分担〕慢性中耳炎．"家庭の医学"，p. 107，社会保険法規研究会，1988.
- 5) 奥田稔：鼻アレルギー．金原出版，1988.
- 6) 八木聰明：めまい・難聴・耳鳴．金原出版，1988.

- 7) 八木聰明：〔分担〕くわしくわかる「病気の知識」事典。ホームクリニック別刷，主婦の友社，1988.
- 8) 奥田稔：〔分担〕鼻アレルギー．“アレルギーと抗アレルギー薬”，p. 92～105，ライフサイエンス，1988.
- 9) 八木聰明：〔分担〕Ⅳ 主要症状とその病態生理 感覚器．“ブルミエ 医学・医学総論”，p. 308～319，医歯薬出版，1988.
- 10) 奥田稔：〔分担〕花粉症．“今日の治療指針”，p. 543～544，医学書院，1989.
- 11) 奥田稔：〔分担〕花粉症の治療；抗ヒスタミン剤．“Physicians' Therapy Manual 4”，p. 12～13，1989.
- 12) 奥田稔：〔分担〕好酸球とアレルギー．フルブロン医会学術講演会記録集，p. 109～124，協和企画，1989.

学会発表

- 1) 富山俊一，Harris, J. P.：〔一般講演〕内耳免疫反応；KLH 抗原の鼓室内投与後の動態．第35回日本基礎耳科学会，1988.
- 2) 富山俊一，Harris, J. P.：〔一般講演〕抗原特異的内耳免疫反応．第6回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー研究会，1988.
- 3) 富山俊一，Harris, J. P.：〔一般講演〕内耳二次免疫反応における遊走浸潤細胞の観察．第6回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー研究会，1988.
- 4) 大久保公裕，関はるみ，大塚博邦，奥田稔：〔一般講演〕耳鼻咽喉科領域における mast cell の heterogeneity. 第6回免疫アレルギー研究会，1988.
- 5) 野中学，鈴木文雄，矢島洋：〔一般講演〕睡眠時無呼吸症候群の1症例．日耳鼻静岡県地方部会，1988.
- 6) 野中学，矢島洋：〔一般講演〕当科に於けるムコケレ，ピオケレの臨床．静岡県中部耳鼻咽喉科集談会，1988.
- 7) Okuda, M.：〔招待講演〕The treatment of allergic rhinitis. International Day of Rhinology (Florence), 1988.
- 8) Okuda, M.：〔招待講演〕Use and abuse of local nasal vasoconstrictors. International Day of Rhinology (Florence), 1988.
- 9) Okuda, M.：〔一般講演〕Our rush method of specific immunotherapy for house dust allergic rhinitis. 2nd Japan-Korean Joint Meeting of Otolaryng. Head and Neck Surgery (Osaka), 1988.
- 10) Okuda, M., Liu, Ch.：〔一般講演〕Seasonal variation of nasal surface basophilic cells and eosinophils in Japanese cedar pollinosis. 4th Japanese-Korean Allergy Symposium (Tokyo), 1988.
- 11) 森園徹志，奥田稔，平良晋一：〔一般講演〕パーソナルコンピュータによる入院患者データベースシステムの試み．第89回日本耳鼻咽喉科学会総会，1988.
- 12) 富山俊一：〔一般講演〕内耳注入抗原の動態．第89回日本耳鼻咽喉科学会総会，1988.
- 13) 山野辺滋晴，平良晋一，八木聰明，森園徹志：〔一般講演〕コンピュータ画像処理による眼振回旋成分の検討．第89回日本耳鼻咽喉科学会総会，1988.
- 14) 大西正樹，奥田稔，Denburg, J.A., Bienenstock, J., Dolovich, J.：〔一般講演〕鼻アレルギー患者粘膜擦過片培養上清中の Colony Stimulating Activity. 第89回日本耳鼻咽喉科学会総会，1988.
- 15) 富山俊一，Harris, J.P.：〔一般講演〕内耳注入抗原の動態．第89回日本耳鼻咽喉科学会総会，1988.
- 16) Okuda, M., Chen Zheng, H.：〔一般講演〕Migrating cells in the epithelium of allergic nasal mucosa. 25th Congress of European Rhinologic Society (Amsterdam), 1988.
- 17) Okuda, M.：〔Work shop〕Eosinophil in allergy. Further Development in Research of Nasal Pathophysiology (Stockholm), 1988.
- 18) 山野辺滋晴，大河原大次，町井一史，馬場俊吉，八木聰明：〔一般講演〕マスク療法の治療効果に影響する因子について．第8回耳鳴研究会，1988.

- 19) 羽田達正, 奥田稔, 平良晋一: [一般講演] ADM, DTIC が奏効したと思われる頭蓋内浸潤, 若年性血管線維腫症例. 第12回日本頭頸部腫瘍学会, 1988.
- 20) 平良晋一, 奥田稔, 羽田達正: [一般講演] 甲状腺癌における気管の切除とその再建. 第12回日本頭頸部腫瘍学会, 1988.
- 21) 大塚博邦: [シンポジウム] 鼻アレルギーと好塩基性細胞 (鼻腔・副鼻腔における炎症の成立と進行; I 型アレルギーと感染を契機として. 第27回日本鼻科学会, 1988.
- 22) 関はるみ, 大久保公裕, 大塚博邦, 奥田稔: [一般講演] スギ花粉症における鼻粘膜線毛運動. 第27回日本鼻科学会, 1988.
- 23) 大久保公裕, 関はるみ, 大塚博邦, 奥田稔: [一般講演] ヒト上気道粘膜の mast cell の heterogeneity. 第38回日本アレルギー学会, 1988.
- 24) 大西正樹, 奥田稔, Denburg, J. A., Bienenstock, J., Dolovich, J.: [推薦講演] 鼻粘膜上皮培養液の basophil, mast cell colony stimulating activity. 第38回日本アレルギー学会, 1988.
- 25) 大塚博邦: [シンポジウム] 鼻粘膜肥満細胞の性質と薬物反応性 (アレルギー反応と Ca). 第38回日本アレルギー学会, 1988.
- 26) 大塚博邦, 目沢朗憲, 大西正樹, 奥田稔: [一般講演] ヒト鼻茸より分離したマスト細胞の性質と抗アレルギー剤の効果. 第38回日本アレルギー学会, 1988.
- 27) Otsuka, H.: [一般講演] Change of metachromatic cell by immunotherapy. 国際アレルギー学会 (モントルー, スイス), 1988.
- 28) 顔真賢: [一般講演] 鼻アレルギー鼻粘膜遊走細胞の電顕的観察. 第三報 リンパ球の subset. 第19回日本臨床電子顕微鏡学会, 1988.
- 29) 山野辺滋晴, 八木聰明: [一般講演] ABR による NITTS の観察. 第33回オージオロジー学会, 1988.
- 30) 大河原大次, 山野辺滋晴, 馬場俊吉, 八木聰明, 町井一史: [一般講演] マスカー療法の治療効果に影響する因子について. 第33回オージオロジー学会, 1988.
- 31) 馬場俊吉, 八木聰明, 森園徹志, 後藤裕一: [一般講演] DOA 症例の ABR. 第33回オージオロジー学会, 1988.
- 32) 小林謙, 神尾友和, 森園徹志, 八木聰明: [一般講演] 頸部緊張刺激と温度眼振反応 第二報. 第47回平衡神経科学会総会, 1988.
- 33) 山野辺滋晴, 森園徹志, 八木聰明, 神尾友和, 平良晋一: [一般講演] 超小型赤外線 CCD カメラによる眼振記録. 第47回平衡神経科学会総会, 1988.
- 34) 青木秀治, 山口潤, 波多野吟哉, 馬場俊吉, 八木聰明: [一般講演] メマイ外来患者における ENG の定量的検討. 第47回平衡神経科学会総会, 1988.
- 35) 野中学, 富山俊一, 八木聰明: [一般講演] 内耳免疫反応; 温度眼振検査の経時的変化. 第47回平衡神経科学会総会, 1988.
- 36) 井上英輝, 八木聰明, 森園徹志, 坂口文雄: [一般講演] ヒト OKN の速度蓄積機構について. 第47回平衡神経科学会総会, 1988.
- 37) 山野辺滋晴, 平良晋一, 森園徹志, 八木聰明, 神尾友和: [一般講演] 画像認識による眼振回旋成分の解析. 第47回平衡神経科学会総会, 1988.
- 38) 八木聰明, 馬場俊吉: [一般講演] 他側耳聴力と鼓室形成術. 第16回日本臨床耳科学会総会, 1988.
- 39) 顔真賢, 青木秀治, 羽生佐保子, 八木聰明: [一般講演] 顔面神経 Herniation の 1 例. 第16回日本臨床耳科学会総会, 1988.
- 40) 井上英輝, 馬場俊吉, 八木聰明, 後藤裕一: [一般講演] 内リンパ囊減荷術の術後聴力に関与する因子について.

第16回日本臨床耳科学会総会, 1988.

- 41) Harris, J. P., Tomiyama, S., Fukuda, S. and Takahashi, M.: [シンポジウム] The endolymphatic sac; Its importance as a site of inner ear host defense and immunity. Second International Symposium on Meniere's Disease. (Cambridge, MA. USA), 1988.
- 42) 八木聰明: [パネル] 滲出性中耳炎(治りにくい疾患外来診療のこつ; どのようにあつかうか). 日本耳鼻咽喉科学会東京都地方部会教育パネル, 1988.
- 43) 羽田達正, 奥田稔, 富山俊一, 平良晋一, 他: [一般講演] 小唾液腺腫瘍の臨床統計. 第33回日本唾液腺学会, 1988.
- 44) 顔真賢: [シンポジウム] 鼻アレルギー鼻粘膜上皮層遊走細胞. 第1回気道シンポジウム, 1989.
- 45) 八木聰明: [招待講演] 身体平衡と深部受容器; ことに頸部との関わりについて. 山陽めまい平衡障害懇話会, 1989.
- 46) 富山俊一, 野中学, 八木聰明: [一般講演] 内耳免疫反応とその内耳病態変化について. 第36回日本基礎耳科学会, 1989.
- 47) 野中学, 富山俊一, 八木聰明: [一般講演] 内耳免疫反応の平衡機能に及ぼす影響について. 第36回日本基礎耳科学会, 1989.
- 48) 富山俊一, 野中学, 八木聰明: [一般講演] メニエール病動物モデル作製の試み; 内リンパ嚢局所免疫反応と平衡障害との関係. 第7回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー研究会, 1989.
- 49) 山野辺滋晴, 八木聰明: [一般講演] 平均加算処理における一工夫. 第4回情報処理研究会, 1989.
- 50) 大久保公裕, 池田雅一, 奥田稔: [一般講演] インターロイキン3, 4の鼻粘膜上皮層に及ぼす影響. 第7回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー研究会, 1989.
- 51) 大塚博邦, 大久保公裕, 仲田菊乃, 池田雅一, 関はるみ, 奥田稔: [一般講演] ヒト鼻茸より分離したマスト細胞に対するオキサトマイドの効果. 第7回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー研究会, 1989.
- 52) 富山俊一, 野中学, 八木聰明: [一般講演] メニエール病動物モデル作製の試み; 内リンパ嚢局所免疫反応と平衡障害との関係. 第7回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー研究会, 1989.

[第一病院耳鼻咽喉科]

研究概要

中耳に関する病態, 基礎的研究を行っている. 慢性中耳炎の粘膜病理を光顕的, 電顕的に検討している. また未知の問題が多い真珠性中耳炎の骨破壊に関して免疫組織化学的ならびに電顕的研究を行っている.

鼓膜に関しては鼓膜の器官培養という手法を用い, 鼓膜穿孔の再生に関する適切な治療法の確立のために, 光顕的, 電顕的に研究を進めている.

唾液腺に関しては特にその腫瘍の細胞分化の特性を, 間質性状との関連性およびhEGFの局在について, 光顕, 電顕, 組織化学的手法を用いて, 研究を行っている.

気管に関しては, その粘膜の発生, 分化, 種々の条件による影響等を, 器官培養の技法および一般動物実験を用いて, 光顕的, 電顕的, 組織化学的に, 研究・検討中である.

補聴器装用の特殊外来を設け, 実際に日常生活にうまく使用する方法, 所有している補聴器が患者の耳に適合しているかどうかを, 補聴器の処方, 方法等, 種々広く研究を行っている.

耳鳴, 顔面神経麻痺, 突発性難聴, 自律神経失調症に関して, 従来の治療法だけでなく, 針治療, 気功療法を用いて, 新しい治療法を確立しようと, 研究中である.

研究業績

論文

- 1) 鈴木栄一, 須藤光, 金田恵子, 露木弘光, 柏戸泉, 中村兼一, 中村賢二, 弓削庫太, 張重華¹⁾, 喬炎²⁾ (¹⁾上海医大, ²⁾中日友好医院): [原著] 針刺治療難治の重度耳鳴の療効観察. 中国針灸, 8, 23~24, 1988.
- 2) 張重華¹⁾, 鈴木栄一, 弓削庫太, 五十嵐義晃²⁾ (¹⁾上海医科大学眼耳鼻咽喉科医院, ²⁾第一病院放射線科): [原著] 針刺前後穴温度変化の観察. 中国針灸, 5, 37~38, 1988.
- 3) 弓削庫太, 星慎一, 平野敏一, 大藤周彦, 吉弘隆匡, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾第2病理): [原著] 鼻茸様所見を示した鼻腔腫瘍の4症例. 耳鼻・頭頸部外科, 60, 534~535, 1988.
- 4) 朴茂男¹⁾, 服部康夫¹⁾, 弓削庫太, 大屋滋²⁾, 永野泰宏³⁾, 富田伸²⁾, 浅野佳徳⁴⁾ (¹⁾第二病院耳鼻科, ²⁾旭中央病院脳神経外科, ³⁾白十字総合病院, ⁴⁾旭中央病院耳鼻咽喉科): [原著] 家族性の両側性聴神経腫瘍の1家系. 耳鼻・頭頸部外科, 60, 445~449, 1988.

学会発表

- 1) 星慎一, 中村兼一, 柏戸泉, 須藤光, 頼徳成, 平野敏一, 弓削庫太: [一般講演] 真珠腫形成に関する免疫組織化学的並びに電顕的研究. 第89回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1988.
- 2) 平野敏一, 星慎一, 中村兼一, 柏戸泉, 須藤光, 頼徳成, 弓削庫太: [一般講演] 唾液腺腫瘍におけるh EGFの局在とその意義について. 第89回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1988.
- 3) 星慎一, 呉橋宜宗¹⁾, 大藤周彦, 弓削庫太, 中村賢二 (¹⁾多摩永山病院耳鼻科): [一般講演] 伝音性聴力低下に対する必要利得 (第2報). 第33回日本オーディオロジー学会総会, 1988.
- 4) Hirano, T., Kashiwado, I., Nakamura, K., Asano, G.¹⁾ and Kurata, Y. (¹⁾Department of Pathology): [一般講演] The role of fibroblast in bone destruction of cholesteatoma. 第5回PPSA・JC総会, 1988.
- 5) 中村兼一, 頼徳成, 須藤光, 平野敏一, 柏戸泉, 鈴木勲, 弓削庫太, 焦正経¹⁾ (¹⁾天津儿童医院耳鼻科): [一般講演] 不適合挿管の気管に及ぼす影響. 第40回日本気管食道科学会, 1988.
- 6) 鈴木栄一, 平野敏一, 吉弘隆匡, 須藤光, 頼徳成, 山下由美, 鈴木勲, 中村兼一, 弓削庫太, 焦正経¹⁾ (¹⁾天津儿童医院耳鼻科): [一般講演] 最近遭遇した呼吸困難の小児4症例. 第40回日本気管食道科学会, 1988.
- 7) 星慎一, 平野敏一, 中村兼一, 弓削庫太: [一般講演] 慢性中耳炎の粘膜病理. 第16回日本臨床耳科学会, 1988.
- 8) 吉弘隆匡, 平野敏一, 弓削庫太, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾第2病理): [一般講演] 唾液腺腫瘍細胞の分化と間質性状との関連性. 第33回日本唾液腺学会, 1988.

[第二病院耳鼻咽喉科]

研究概要

現在のテーマは急性中耳炎, 滲出性中耳炎, 鼻閉, 耳鳴などの臨床的観察, 気道粘膜の異常, 損傷気道粘膜の修復過程の形態学的観察などが主である.

滲出性中耳炎についてはベンチレーションチューブの留置期間と治癒率の検索, 急性中耳炎との移行の問題等を観察している. 鼻閉では鍼治療の有効性についての研究を行っている. 耳鳴に関しては自律神経失調, 神経症, うつ状態などとの関連性について追求している.

基礎的研究としては immotile cilia syndrome を中心に各種気道疾患の鼻腔線毛を電顕的に観察し線毛の構造異常の研究を行っている. また, 気道粘膜損傷の再生, 実験的鼓室形成術の電顕的観察を行っている.

研究業績

論文

- 1) 服部康夫：〔総説〕気道線毛上皮細胞．呼吸，7，817～822，1988.
- 2) 服部康夫，村上忠也，中村兼一，弓削庫太：〔原著〕側頭骨 monostotic fibrous dysplasia の透過電顕的観察．日耳鼻会報，91，1366～1374，1988.
- 3) 中嶋慶則：〔原著〕小児急性中耳炎の臨床的観察；急性中耳炎から滲出性中耳炎への移行．耳鼻と臨，34，1320～1322，1988.
- 4) 中嶋慶則，服部康夫：〔原著〕小児急性中耳炎の臨床的観察．日耳鼻会報，92，347～352，1989.

学会発表

- 1) 鶴窪一行，中嶋慶則，梶本正子，服部康夫：〔一般講演〕鼻閉に対する鍼治療．第89回日本耳鼻咽喉科学会総会，1988.
- 2) 中嶋慶則：〔一般講演〕小児急性中耳炎の臨床的観察；急性中耳炎から滲出性中耳炎への移行．日本耳鼻咽喉科学会，東京都地方部会教育パネルシリーズ（XII），1988.
- 3) 稲葉真，中嶋慶則，梶本正子，鶴窪一行，服部康夫：〔一般講演〕副咽頭間隙神経原性腫瘍の2例．第70回日本耳鼻咽喉科学会東京都地方部会，1989.
- 4) 服部康夫，鈴木勲，柏戸泉，露木弘光，弓削庫太：〔一般講演〕形成鼓膜の生着に関する実験的研究．第37回基礎耳科学会総会，1989.

[多摩永山病院耳鼻咽喉科]

研究概要

- 1) 咽頭扁桃の肥大退縮の年齢における経時的変化および免疫学的変化をすでに発表した．また，電顕的にも経時変化を追求している．
- 2) 鼻アレルギーについて多摩地域における飛散度を継続して調査中である．
- 3) 麻酔科との協同研究である術後疼痛についても引き続き研究中である．

研究業績

学会発表

- 1) 三浦義雄¹⁾，添野眞一，野村忠利¹⁾，中嶋唯夫¹⁾，赤松洋²⁾（¹⁾多摩永山病院産婦人科，²⁾日赤医療センターNICU）：〔一般講演〕院外NICUの協力で成果をあげている選択；帝切実施をめぐる考察．第23回日本新生児学会総会，1987.
- 2) 添野眞一，呉橋宜宗，島田早苗，増森興治¹⁾，吉岡正智¹⁾，山田光輝²⁾（¹⁾多摩永山病院外科，²⁾同麻酔科）〔一般講演〕巨大食道ポリープの1症例．第40回日本気管食道科学会総会，1988.
- 3) 添野眞一，呉橋宜宗，島田早苗：〔一般講演〕耳鼻科領域における感染症；頬部腫脹，特に抜歯後に関連して．日本医科大学医学会第66回例会，1988.
- 4) 星慎一¹⁾，呉橋宜宗，大藤周彦¹⁾，弓削庫太¹⁾，中村賢二¹⁾（¹⁾第一病院耳鼻咽喉科）：〔一般講演〕伝音性聴力低下に対する必要利得（第2報）．第33回日本オーディオロジー学会総会，1988.

15. 泌尿器科学講座

[付属病院泌尿器科]

研究概要

教室の業績は、尿路結石、泌尿生殖器悪性腫瘍、前立腺肥大症、尿失禁、人工透析など広範囲にわたる。1989年4月より多摩永山病院泌尿器科も研究活動を開始して、泌尿器科学教室も4研究単位となった。

1) 尿路結石、付属病院において結石治療の主役となった体外衝撃波結石破碎装置(ESWL)二種の使用経験をえた。これらは、イスラエル、ダイレックス社製トリプターX1と、アメリカ、ノースゲート社製SD-3で、将来への展望の上で、これら装置の特徴と欠点を知りえたことは、経験の積みかさねのみでなく、今後を展望する上で大きなプラスとなった。さらに関連病院である関東通信病院においても、フランス、テクノメド社製ソノリス2000で治療が行われており、当教室ですでに3機種のESWLについての治療実績を有するにいたった。以上の経験から体外衝撃波結石治療上、①衝撃波発生装置と②焦点合わせの装置の優劣が、その装置の特性を決定することが判明した。

一方軽視されがちな経皮的腎尿管結石破碎術(PNL)の臨床上の意義は、内視鏡の進歩発展により尿路腫瘍に対する診断、治療への応用もなされようし、腎瘻造設、内視鏡操作の技術を修得できるという教育的見地からみても、決して放棄すべき術式ではないと考えられる。

経尿道的腎尿管切石術(TUL)も、下部尿管結石に対する高い成功率は、ESWLに勝るところであり、PNLとともにTULを修得することは、泌尿器科医には必須だということを確認した。さらに電子尿管鏡の発達には、本技術の急速な進歩をうながすものであろう。(西村、吉田、川村、坪井、平沢、沖、矢島、本田、広瀬、ほか)

2) 尿路腫瘍、前年度にひきつづいて、腎被膜下移植法による制癌感受性試験の基礎的研究と臨床的応用、膀胱癌の微小転移、制癌剤の耐性獲得、in vitroでのEGFの効果、CDDP毒性軽減の試みなどが主要テーマであり、逐次、学会、論文で報告しつつある。(平岡、長谷川、大原、堀内、寺島、山中、服部、近藤、ほか)

3) 前立腺肥大症、経尿道的前立腺剝離切除術(平岡式)の確立、臨床的意義についての検討がなされた。

4) 尿失禁、女子ストレス尿失禁に対するneedle bladder neck suspensionの適応と臨床的効果について発表した。(原、ほか)

5) 人工透析、慢性透析患者におけるPiperacillin(PIPC)の透析性と血中動態を検討し、血漿吸着療法を試みた。(佐藤、久島)

研究業績

論文

- 1) 木村禰代二¹⁾、加藤俊²⁾、高見沢裕吉³⁾、田利晴信⁴⁾、鈴置洋三⁵⁾、関場香⁶⁾、福岡正博⁷⁾、秋元成太、阿部令彦⁸⁾、山藤光彦⁹⁾、仁井谷久暢¹⁰⁾、古瀬清行¹¹⁾、太田和雄¹²⁾、木村郁郎¹³⁾、今野淳¹⁴⁾、本間威¹⁵⁾、富永健¹⁶⁾、新島端夫¹⁷⁾、稲垣治郎¹⁾(¹⁾名古屋記念病院内科、²⁾久留米大学医学部産婦人科、³⁾千葉大学医学部産婦人科、⁴⁾埼玉県立ガンセンター泌尿器科、⁵⁾国立名古屋病院産婦人科、⁶⁾岡山大学医学部産婦人科、⁷⁾大阪府立羽曳野病院第2内科、⁸⁾慶応義塾大学医学部外科、⁹⁾国立名古屋病院呼吸器科、¹⁰⁾臨床病理、¹¹⁾国立療養所近畿中央病院内科、¹²⁾愛知県がんセンター第2内科、¹³⁾岡山大学医学部第2内科、¹⁴⁾東北大学抗酸菌病研究所内科、¹⁵⁾埼玉県立がんセンター呼吸器科、¹⁶⁾都立駒込病院外科、¹⁷⁾東京大学医学部泌尿器科)：〔原著〕Carboplatinの第I相試験。Oncologia, 21, 88~94, 1988.
- 2) 平岡保紀、秋元成太、西浦弘¹⁾、陳泮水²⁾、藤岡良彰³⁾、淡輪邦夫³⁾、小川秀弥(¹⁾西浦病院泌尿器科、²⁾右田病院泌尿器科、³⁾河北病院泌尿器科)：〔原著〕経尿道的前立腺剝離切除術；剝離と切除法。日泌尿会誌, 79, 629

～634, 1988.

- 3) 平岡保紀, 秋元成太: [原著] 経尿道的前立腺剝離切除後の腺腫残存の有無; 経直腸的超音波断層法と病理組織学的検査法による評価. 西日泌尿, **50**, 537～540, 1988.
- 4) Yoshida, K., Akaza, H.¹⁾, Isurugi, K.²⁾, Oishi, Y.³⁾, Kitajima, K.⁴⁾, Sawamura, Y.⁵⁾, Baba, S.⁶⁾, Otani, N.⁷⁾, Harada, M.⁸⁾, Gunji, A.⁹⁾, Aso, Y.¹⁾ and Nijima, T.¹⁾ (¹⁾東京大学泌尿器科, ²⁾東京通信病院泌尿器科, ³⁾東京慈恵会医科大学泌尿器科, ⁴⁾日本大学医学部泌尿器科, ⁵⁾東邦大学医学部泌尿器科, ⁶⁾慶応義塾大学医学部泌尿器科, ⁷⁾筑波大学医学専門学群泌尿器科, ⁸⁾神奈川癌センター病理, ⁹⁾東京大学医学部保健学科): [原著] A prospective, randomized controlled study on the treatment of stage C and stage D prostatic cancer with estracyt in combination with other chemotherapeutic agents. Jpn. J. Clin. Oncol., **18**, 343～355, 1988.
- 5) 寺島保典: [原著] CDDP の膀胱腫瘍内濃度; 動注例と静注例の比較. 日癌治療誌, **23**, 45～52, 1988.
- 6) 広瀬始之: [原著] 家兎膀胱尿管移行部への各種外力の影響. 日泌尿会誌, **79**, 428～435, 1988.
- 7) 吉田和弘, 服部智任, 川村直樹: [報告] 同一腎に発生した重複癌. 臨泌, **42**, 468～473, 1988.
- 8) 大原正雄: [原著] 睾丸毒性に関する超微形態学的研究; CDDP のラット精細管細胞への影響. 日泌尿会誌, **79**, 788～798, 1988.
- 9) 小川秀彌: [総説] 体外式衝撃波結石破碎術 (ESWL) の適応と限界. Med. Pract., **5**, 1977, 1988.
- 10) 矢島勇臣, 西村泰司, 吉田和弘, 坪井成美, 平澤精一, 本田了, 広瀬始之, 秋元成太: [原著] 経皮的腎切石術の腎機能におよぼす影響; 尿中 NAG, β_2 -microglobulin, ^{99m}TcDTPA renogram を指標として. 西日泌尿, **50**, 891～896, 1988.
- 11) Hasegawa, J., Okumura, S., Abe, H., Kanamori, S., Yoshida, K. and Akimoto, M.: [原著] Renal cell carcinoma with solitary contralateral adrenal metastasis. Urology, **32**, 52～53, 1988.
- 12) 本田了: [原著] 家兎腎静脈鋳型からみた閉塞性腎疾患. 日泌尿会誌, **79**, 1145～1152, 1988.
- 13) 山田和彦, 吉田和弘, 阿部裕行, 長谷川潤, 木村剛, 秋元成太: [報告] 重複腎盂尿管に発生した上部尿路上皮腫瘍の2例. 臨泌, **42**, 645～648, 1988.
- 14) 新島端夫¹⁾, 田崎寛²⁾, 小柳知彦³⁾, 折笠精一⁴⁾, 小磯謙吉⁵⁾, 萩原正通²⁾, 田利清信⁶⁾, 松本恵一⁷⁾, 垣添忠生⁷⁾, 町田豊平⁸⁾, 藤田公生⁹⁾, 出口修宏²⁾, 大島博幸¹⁰⁾, 阿曾佳郎¹¹⁾, 赤座英之¹⁾, 秋元成太, 木村哲¹¹⁾, 河合恒雄¹²⁾, 里見佳昭¹³⁾, 小松秀一¹⁴⁾, 河辺香月¹⁵⁾, 藤田民夫¹⁶⁾, 吉田修¹⁷⁾, 松田公志¹⁷⁾, 園田孝夫¹⁸⁾, 古武敏彦¹⁹⁾, 三木恒治¹⁹⁾, 大森弘之²⁰⁾, 熊沢浄一²¹⁾, 上田豊史²¹⁾ (¹⁾東京大学医学部泌尿器科, ²⁾慶応義塾大学医学部泌尿器科, ³⁾北海道大学医学部泌尿器科, ⁴⁾東北大学医学部泌尿器科, ⁵⁾筑波大学臨床医学部泌尿器科, ⁶⁾埼玉県立がんセンター泌尿器科, ⁷⁾国立がんセンター泌尿器科, ⁸⁾東京慈恵会医科大学泌尿器科, ⁹⁾国立病院医療センター泌尿器科, ¹⁰⁾東京医科歯科大学泌尿器科, ¹¹⁾国立東京第2病院泌尿器科, ¹²⁾癌研究会付属病院泌尿器科, ¹³⁾横須賀共済病院泌尿器科, ¹⁴⁾新潟県立がんセンター新潟病院泌尿器科, ¹⁵⁾浜松医科大学泌尿器科, ¹⁶⁾名古屋記念病院泌尿器科, ¹⁷⁾東京大学医学部泌尿器科, ¹⁸⁾大阪大学医学部泌尿器科, ¹⁹⁾大阪府立成人病センター泌尿器科, ²⁰⁾岡山大学医学部泌尿器科, ²¹⁾九州大学医学部泌尿器科): [原著] Carboplatin の尿路性器悪性腫瘍に対する phase II Study. 癌と化療, **15**, 2305～2311, 1988.
- 15) 川村直樹: [原著] 経尿道的腎尿管結石摘出術 (特集: Medical Technology の進歩と胆石症, 尿路結石症). 最近医学, **43**, 1711～1715, 1988.
- 16) 秋元成太: [総説] 泌尿器科領域の救急診療. 日医師会誌, **100**, 725～727, 1988.
- 17) 平岡保紀: [原著] 経尿道的前立腺切除術. 医学のあゆみ, **146**, 828～830, 1988.
- 18) 坪井成美, 矢島勇臣, 長谷川潤, 平澤精一, 沖守, 杉沢裕, 西村泰司, 秋元成太: [原著] 経皮的腎尿管結石摘出術の腎機能におよぼす影響. 泌尿紀要, **34**, 1717～1721, 1988.

- 19) 原眞, 寺島保典, 金森幸男, 千賀康弘, 近藤幸尋, 大原正雄, 坪井成美, 西村泰司, 秋元成太:〔原著〕進行性尿路腫瘍に対する Interleukin 2 (IL₂) による治療. 泌尿紀要, **34**, 1693~1696, 1988.
- 20) 堀内和孝:〔原著〕ヌードマウス移植ヒト泌尿生殖器悪性腫瘍株に対する腎被膜下移植法 (Subrenal capsule assay) を用いた制癌剤感受性試験. 日泌尿会誌, **79**, 1633~1638, 1988.
- 21) 寺島保典, 西村泰司, 秋元成太, 金徳榮¹⁾, 田尻孝¹⁾ (¹⁾第1外科):〔報告〕経皮的針生検後術前化学療法を施行した副腎皮質癌の1例. 泌尿紀要, **34**, 1777~1782, 1988.
- 22) 平岡保紀, 秋元成太:〔総説〕前立腺肥大症手術術式の進歩; 経尿道的前立腺剝離切除術. 泌尿外科, **1**, 1133~1138, 1988.
- 23) 小川秀彌, 他:〔原著〕尿路上皮癌における尿中 Tissue Polypeptide Antigen (TPA) 濃度測定の臨床応用. 泌尿紀要, **34**, 2101~2110, 1988.
- 24) 原眞, 秋元成太:〔総説〕腎癌の前癌病変. 癌治療・今日と明日, **11**, 15~18, 1989.
- 25) 小川秀彌:〔総説〕前立腺癌. 日比谷同友会会報, **88**, 12~13, 1989.
- 26) 秋元成太, 原眞:〔総説〕尿失禁. 治療, **71**, 618~622, 1989.
- 27) 西村泰司, 本田了, 川村直樹, 坪井成美, 広瀬始之, 鈴木央, 山形健治, 渡辺潤, 服部智任, 矢島勇臣, 大原正雄, 平澤精一, 長谷川潤, 原眞, 吉田和弘, 秋元成太:〔原著〕第3世代 ESWL (TRIPTER X-1) による上部尿路結石治療の臨床経験. 日泌尿会誌, **80**, 151~157, 1989.
- 28) Akimoto, M.:〔総説〕Emergency treatment of urological field. Asian Med. J., **32**, 69~73, 1989.
- 29) 平岡保紀, 木村剛, 秋元成太, 小川秀彌, 浅野伍朗¹⁾, 伊藤博信²⁾, (¹⁾第2病理, ²⁾第2解剖):〔原著〕膀胱癌の膀胱傍組織内転移; 頻度, 存在部位, 形態についての検討. 日泌尿会誌, **80**, 185~191, 1989.
- 30) Nakamura, S.¹⁾, Nakayama, K.¹⁾, Nishihara, K.¹⁾, Imai, T.¹⁾ and Kanamori, S. (¹⁾第一病院皮膚科):〔報告〕Primary malignant melanoma of the penis; A case report and a review of the literature. J. Dermatol. (Tokyo), **16**, 68~72, 1989.
- 31) 小川秀彌, 堀夏樹, 近藤幸尋, 石井洋二:〔報告〕体外式衝撃波結石破砕術 (ESWL) についての臨床的検討. 通信医, **41**, 149~152, 1989.

著 書

- 1) 秋元成太:〔分担〕血尿. “今日の治療指針”(亀山正邦, 亀田治男, 高久史磨, 阿部令彦, 総編集), p. 461~462, 医学書院, 1989.
- 2) Yoshida, K., Abe, H., Nishimura, T. and Akimoto, M.:〔分担〕The significance of stamp cytology in prostatic cancer. “Prostate Cancer. The Second Tokyo Symposium”(Karr, J. P. and Yamanaka, H. eds.), p. 195~198, Elsevier, New York, 1989.

学会発表

- 1) 小川秀彌:〔特別講演〕体外式衝撃波碎石法(術)について. 第286回総合臨床懇話会, 1988.
- 2) 西村泰司:〔ワークショップ〕腎不全への進行と防止; 多発性嚢胞腎の進行要因の解析. 第18回日本腎臓学会東部部会, 1988.
- 3) 西村泰司, 寺島保典, 服部智任, 秋元成太:〔一般講演〕IL₂により分離, 増殖させた腎腫瘍浸潤リンパ球 (TIL) の Population についての検討. 第76回日本泌尿器科学会総会, 1988.
- 4) 平岡保紀, 木村剛, 秋元成太, 小川秀彌, 浅野伍朗¹⁾, 鈴木恒道²⁾ (¹⁾第2病理, ²⁾付属病院病理部):〔一般講演〕膀胱癌における膀胱周囲組織への微小転移. 第76回日本泌尿器科学会総会, 1988.

- 5) 吉田和弘, 西村泰司, 川村直樹, 原眞, 秋元成太: [一般講演] 電子尿管鏡による上部尿路の画像診断. 第76回日本泌尿器科学会総会, 1988.
- 6) 小川秀彌, 他: [一般講演] 新しい尿中腫瘍マーカー測定法. 第76回日本泌尿器科学会総会, 1988.
- 7) 小川秀彌, 近藤幸尋, 堀夏樹, 引間規夫, 西村泰司, 秋元成太: [一般講演] 再発性表在性膀胱腫瘍に対する腔内注入療法. 第76回日本泌尿器科学会総会, 1988.
- 8) 川村直樹, 原眞, 西村泰司, 秋元成太, 小川秀彌: [一般講演] 高齢者に対する TUL の検討. 第76回日本泌尿器科学会総会, 1988.
- 9) 坪井成美, 西村泰司, 阿部裕行, 川村直樹, 長谷川潤, 原眞, 沖守, 杉沢裕, 矢島勇臣, 引間規夫, 富田勝, 秋元成太, 中島均¹⁾, 藤岡良彰²⁾ (¹⁾国立東静岡病院泌尿器科, ²⁾河北病院泌尿器科): [一般講演] 経皮的腎尿管結石摘出術243例の臨床的検討. 第76回日本泌尿器科学会総会, 1988.
- 10) 長谷川潤, 堀内和孝, 山中吉郎, 秋元成太: [一般講演] ノードマウス腎被膜下移植法の臨床応用. 第76回日本泌尿器科学会総会, 1988.
- 11) 広瀬始之, 本田了, 秋元成太: [一般講演] 家兎膀胱尿管移行部への拡張, 切開操作による影響. 第76回日本泌尿器科学会総会, 1988.
- 12) 服部智任, 寺島保典, 西村泰司, 秋元成太: [一般講演] 泌尿生殖器系悪性腫瘍に対する上皮成長因子 (EGF) の効果. 第76回日本泌尿器科学会総会, 1988.
- 13) 山中吉郎, 堀内和孝, 山田晋介, 長谷川潤, 秋元成太: [一般講演] Wilms 腫瘍に対する制癌剤感受性試験; in vivo および in vitro の比較検討. 第76回日本泌尿器科学会総会, 1988.
- 14) 近藤幸尋, 堀夏樹, 引間規夫, 石井洋二, 小川秀彌: [一般講演] 当院における睾丸腫瘍の臨床的検討. 第76回日本泌尿器科学会総会, 1988.
- 15) 江川ゆり¹⁾, 青木見佳子¹⁾, 佐々木映子¹⁾, 石永ミチ¹⁾, 畑三恵子¹⁾, 矢島純¹⁾, 本田光芳¹⁾, 大原正雄, 原眞, 秋元成太, 宮下次廣²⁾, 恵畑欣一²⁾ (¹⁾皮膚科, ²⁾放射線科): [一般講演] Lymphorrhea Scroti (陰囊部リンパ液漏出症). 第87回日本皮膚科学会学術大会, 1988.
- 16) Yoshida, K., Nishimura, T., Abe, H., Tsuboi, N., Kawamura, N. and Akimoto, M.: [ビデオ] Videoimage ureteroscopy. 第83回アメリカ泌尿器科学会 (Boston), 1988.
- 17) 原眞, 大原正雄, 秋元成太, 江川ゆり¹⁾, 畑三恵子¹⁾, 矢島純¹⁾ (¹⁾皮膚科): [一般講演] 陰囊部リンパ液漏出症の1例. 第457回日本泌尿器科学会東京地方会, 1988.
- 18) 大原正雄, 長谷川潤, 吉田和弘, 秋元成太: [一般講演] 尿管子宮内膜症の1例. 第457回日本泌尿器科学会東京地方会, 1988.
- 19) 西村泰司, 川村直樹, 坪井成美, 阿部裕行, 服部智任, 広瀬始之, 矢島勇臣, 大原正雄, 長谷川潤, 原眞, 吉田和弘, 秋元成太: [一般講演] 第3世代 ESWL (TRIPTEK-X-1) による上部尿路切石術. 第457回日本泌尿器科学会東京地方会, 1988.
- 20) 原眞, 川村直樹, 阿部裕行, 坪井成美, 長谷川潤, 千賀康弘, 佐藤三洋, 山田和彦, 秋元成太: [一般講演] BCG 膀胱内注入療法; 再発予防における小量注入の試み. 第15回尿路悪性腫瘍研究会, 1988.
- 21) 秋元成太: [特別講演] 尿路悪性腫瘍の治療. 茨城泌尿器癌研究会, 1988.
- 22) 平岡保紀: [シンポジウム] TUR-P の問題点と経尿道的前立腺剝離切除術. 第3回前立腺シンポジウム, 1988.
- 23) 西村泰司, 川村直樹, 秋元成太: [一般講演] 体外衝撃波による上部尿路結石碎石術. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 24) 平岡保紀, 広瀬始之, 矢島勇臣, 大原正雄, 平澤精一, 長谷川潤, 原眞, 川村直樹, 吉田和弘, 西村泰司, 秋元成太: [展示] 経尿道的前立腺剝離切除術300例の経験. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.

- 25) 吉田和弘, 矢島勇臣, 平岡保紀, 川村直樹, 長谷川潤, 大原正雄, 本田了, 秋元成太:〔展示〕根治的前立腺全摘術. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 26) 原眞, 大原正雄, 坪井成美, 阿部裕行, 平澤精一, 矢島勇臣, 服部智任, 山田和彦, 辻井厚子¹⁾, 渡部眞理²⁾, 吉田和弘, 秋元成太, 藤岡良彰³⁾, 中島均⁴⁾ (¹⁾救急救命センター, ²⁾第1内科, ³⁾阿北総合病院泌尿器科, ⁴⁾国立東静病院泌尿器科):〔展示〕女子ストレス尿失禁に対する Needle Bladder Neck Suspension 手術. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 27) 平澤精一, 広瀬始之, 秋元成太:〔展示〕CAPD 施行時の問題点. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 28) 佐藤正広, 久島英二, 秋元成太, 富田勝, 吉田知永¹⁾ (¹⁾第1内科):〔展示〕血漿吸着療法の臨床的検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 29) 久島英二, 佐藤正広, 山中吉郎, 秋元成太, 富田勝:〔展示〕慢性透析患者における Piperacillin (PIPC); 透析性と血中動態. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 30) 渡辺眞理, 佐藤正広, 久島英二, 吉田和弘, 秋元成太, 金徳栄¹⁾ (¹⁾第1外科):〔展示〕透析によるアシドーシスの改善が遷延した1症例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 31) 服部智任, 寺島保典, 西村泰司, 秋元成太:〔展示〕膀胱扁平上皮癌に対する上皮成長因子 (EGF) の影響. 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 32) 平岡保紀, 木村剛, 秋元成太, 小川秀彌, 原眞, 川村直樹, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾第2病理):〔展示〕膀胱癌における膀胱周囲組織への微小転移; 頻度, 存在部位, 形態についての検討. 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 33) Akimoto, M., Horiuchi, K., Yamanaka, Y., Hasegawa, J. and Yoshida, K.:〔一般講演〕Chemosensitivity test against Urogenital malignant tumors; Transplanted into nude mice with the subrenal capsule assay. XXI Congreso de la Sociedad Internacional de Urologia (Buenos Aires), 1988.
- 34) Yoshida, K., Nishimura, T., Kawamura, N., Tsuboi, N. and Akimoto, M.:〔ビデオ〕Early experience with flexible videoimage ureteroscopy. XXI Congreso de la Sociedad Internacional de Urologia (Buenos Aires), 1988.
- 35) Ogawa, H.:〔ワークショップ〕A new development in urinary tumor marker measuring apparatus. XXI Congreso de la Sociedad Internacional de Urologia (Buenos Aires), 1988.
- 36) Ogawa, H.:〔一般講演〕Tele and open surgery for urolithiasis. XXI Congreso de la Sociedad Internacional de Urologia (Buenos Aires), 1988.
- 37) 吉田和弘:〔シンポジウム〕腎盂尿管腫瘍の基礎と臨床; 腎盂・尿管腫瘍の診断. 第53回日本泌尿器科学会東部連合総会, 1988.
- 38) 西村泰司, 川村直樹, 坪井成美, 阿部裕行, 広瀬始之, 服部智任, 本田了, 矢島勇臣, 大原正雄, 平澤精一, 長谷川潤, 原眞, 吉田和弘, 秋元成太:〔一般講演〕第3世代 ESWL (TRIPTER-X-1) による上部尿路結石の治療経験. 第53回日本泌尿器科学会東部連合総会, 1988.
- 39) 原眞, 藤岡良彰¹⁾, 中島均²⁾, 阿部裕行, 平澤精一, 矢島勇臣, 服部智任, 山田和彦, 辻井厚子³⁾, 秋元成太 (¹⁾河北病院泌尿器科, ²⁾国立東静病院泌尿器科, ³⁾救急救命センター):〔一般講演〕女子ストレス尿失禁に対する Needle Bladder Neck Suspension. 第53回日本泌尿器科学会東部連合総会, 1988.
- 40) 西村泰司, 川村直樹, 坪井成美, 阿部裕行, 広瀬始之, 吉田和弘, 秋元成太:〔一般講演〕ポータブル ESWL (TRIPTER-X-1K) による上部尿路結石治療経験. 第2回 Endourology, ESWL 研究会, 1988.
- 41) 吉田和弘, 西村泰司, 長谷川潤, 秋元成太:〔一般講演〕Flexible Ureteroscopy による上部尿路疾患の診断. 第2回 Endourology, ESWL 研究会, 1988.
- 42) 吉田和弘, 西村泰司, 坪井成美, 秋元成太:〔ビデオ〕Videoimage Ureteroscopy の臨床応用. 第2回 Endourology, ESWL 研究会, 1988.

- 43) 西村泰司, 近藤幸尋, 原眞, 山形健治, 長谷川潤, 川村直樹, 吉田和弘, 秋元成太:〔一般講演〕非観血的尿路切石術に起因する尿路性敗血症. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 44) Ogawa, H., Kondoh, Y. and Hori, N.:〔一般講演〕Limit and application of ESWL. VIth World Congress on Endourology and ESWL (Paris), 1988.
- 45) 矢島勇臣, 川村直樹, 吉田和弘, 木村剛, 秋元成太, 山中宣昭¹⁾, 鈴木恒道²⁾ (¹⁾第1病理, ²⁾付属病院病理部):〔一般講演〕右腎無形成および尿管開口異常症例. 第459回日本泌尿器科学会東京地方会, 1988.
- 46) 広瀬始之, 畑弘道, 坂本克輔, 梶谷実, 日下史章, 日下正章, 平沢潔, 甲田雅一:〔一般講演〕当科の淋菌性尿道炎の臨床的観察. 日本性感染症学会第1回学術大会, 1988.
- 47) 山田和彦, 矢島勇臣, 川村直樹, 木村剛, 寺島保典, 平岡保紀, 秋元成太:〔一般講演〕非機能性副腎腫瘍の2例. 第460回日本泌尿器科学会東京地方会, 1989.
- 48) 小川秀彌, 近藤幸尋, 堀夏樹, 石井洋二, 引間規夫, 西村泰司, 秋元成太:〔一般講演〕膀胱腫瘍に対する抗腫瘍剤の膀胱腔内注入療法. 第5報 Mitomycin C・5-Fu 併用注入効果. 第40回通信医学協会総会, 1989.
- 49) 堀夏樹, 近藤幸尋, 小川秀彌:〔一般講演〕体外式衝撃波結石破碎術 (ESWL); 無麻酔治療の経験. 第40回通信医学協会総会, 1989.
- 50) 本田了, 西村泰司, 鈴木央, 渡辺潤, 千賀康弘, 佐藤三洋, 山田和彦, 矢島勇臣, 沖守, 平澤精一, 長谷川潤, 原眞, 川村直樹, 吉田和弘, 秋元成太:〔一般講演〕米国ノースゲートリサーチ社製体外衝撃波結石破碎装置 (SD-3) による上部尿路切石術. 第462回日本泌尿器科学会東京地方会, 1989.

〔第一病院泌尿器科〕

研究概要

当科の研究概要は、尿路性器癌に関する基礎的臨床的検討に大別される。

尿路性器癌、特にヒト前立腺癌樹立細胞株等を用いた基礎実験は、組織培養を基にして抗癌剤の感受性試験として colony formation 法と、MTT 法とを用いその比較と臨床への応用の可能性について検討した。その結果は MTT 法が、臨床への応用として価値があることが認められた。また、遺伝子学的検討では、ヒト前立腺癌の核内遺伝子の関連遺伝子の DNA クローニングとその構造解析を行い若干の data が得られた。

次に免疫抑制物質 (I. S. 物質) と免疫賦活剤の関係について、実験膀胱癌を用い基礎的検討を加え I. S. 物質を、免疫賦活剤 PSK はその活性を防止し、減少させる効果があることを認めた。

共同研究として、前立腺癌に対し徐放型、LH-RH analogue の内分泌療法の有効性の検討、LC 9018 の各種悪性腫瘍に対する phase II study による結果を報告した。これら新しい癌治療法の開発は、今後に期待されるものと考えられる。

前立腺癌に対する腫瘍マーカーは、PAP, γ -Sm, PA の三者を比較検討されたが、それぞれ一長一短があることが認められ、三者を併用することが臨床的には有用であろうと考えられた。また進行性前立腺癌のマーカーとしてオステオカルシンの有用性について検討した。膀胱癌の再発防止対策として tumor free とした後 BRM, PSK を長期投与することにより再発を防止することが可能との結論を得た。また前立腺癌に対して用いられている女性ホルモン療法は、免疫抑制作用のあることが考えられ免疫賦活剤を併用することによりその有効性を増加し、再燃を防止することが認められた。また膀胱腫瘍におけるヒト乳頭腫ウイルス (HPV) に関する免疫組織化学的検討を加え報告したが、今後に期待される研究となるであろう。

研究業績

論文

- 1) 中神義三, 古武敏彦²⁾, 宇佐美道之²⁾, 松田稔¹⁾, 岡島英五郎³⁾, 長船匡男⁴⁾, 赤座英之⁵⁾, 岩動孝一郎⁵⁾, 新島端夫⁵⁾, 阿曾佳郎⁶⁾, 荒木徹⁷⁾, 板谷宏彬⁸⁾, 大井好忠⁹⁾, 大川順正¹⁰⁾, 大森弘之¹¹⁾, 小幡浩司¹²⁾, 片山喬¹³⁾, 守殿貞夫¹⁴⁾, 熊澤浄一¹⁵⁾, 小磯謙吉¹⁶⁾, 小柳知彦¹⁷⁾, 齊藤泰¹⁸⁾, 坂田安之輔¹⁹⁾, 酒徳治三郎²⁰⁾, 新谷浩²¹⁾, 竹内正文²²⁾, 難波克一²⁴⁾, 林田重昭²⁵⁾, 久住治男²⁶⁾, 町田豊平²⁷⁾, 宮崎重²⁸⁾, 小川暢也²⁹⁾, 園田孝夫¹⁾ (¹⁾大阪大学, ²⁾大阪府立成人病センター, ³⁾奈良県立医科大学, ⁴⁾箕面市立病院, ⁵⁾東京大学, ⁶⁾浜松医科大学, ⁷⁾倉敷成人病センター, ⁸⁾住友病院, ⁹⁾鹿児島大学, ¹⁰⁾和歌山県立医科大学, ¹¹⁾岡山大学, ¹²⁾名古屋第二赤十字病院, ¹³⁾富山医科薬科大学, ¹⁴⁾神戸大学, ¹⁵⁾九州大学, ¹⁶⁾筑波大学, ¹⁷⁾北海道大学, ¹⁸⁾長崎大学, ¹⁹⁾新潟県立がんセンター, ²⁰⁾山口大学, ²¹⁾関西医科大学, ²²⁾愛媛大学, ²⁴⁾岡山市立市民病院, ²⁵⁾社会保険徳山中央病院, ²⁶⁾金沢大学, ²⁷⁾東京慈恵会医科大学, ²⁸⁾大阪医科大学：泌尿器科, ²⁹⁾愛媛大学：薬理学)：〔原著〕徐放型 LH-RH analogue, ICI 118630 (Zoladex) による前立腺癌内分泌療法. 泌尿紀要, **34**, 369~382, 1988.
- 2) Ito, H., Nakagami, Y., Lin, T. T., Ikeda, K. and Oka, F. : 〔原著〕A comparative evaluation of PAP and γ -Sm as the tumor markers of prostatic cancer. Nippon Ika Daigaku Zasshi, **55**, 217~218, 1988.
- 3) 中神義三, 林昭棟, 田口鐵男¹⁾ (¹⁾大阪大学微生物病研究所附属病院：外科)：〔原著〕各種悪性腫瘍に対する LC 9018 の Phase II Study. Biotherapy, **2**, 532~542, 1988.
- 4) 中神義三：〔原著〕男性患者におけるバルーンカテーテル挿入の留意点. Med. Pract., **5**, 1451, 1988.
- 5) 阿部裕行：〔原著〕採尿方法によって尿所見はわかる. Med. Pract., **5**, 1658, 1988.
- 6) 中神義三：〔原著〕利尿剤 (diuretics) の乱用はさけたい. Med. Pract., **5**, 1827, 1988.
- 7) 林昭棟, 中神義三, 岡史篤, 池田一則, 木本洋一郎, 伊藤博, 阿部裕行：〔原著〕粘液分泌性尿管腺癌の 1 例. 泌尿外科, **1**, 985~988, 1988.
- 8) 中神義三, 古武敏彦²⁾, 宇佐美道之²⁾, 松田稔¹⁾, 岡島英五郎³⁾, 長船匡男⁴⁾, 赤座英之⁵⁾, 新島端夫⁵⁾, 阿曾佳郎⁶⁾, 荒木徹⁷⁾, 板谷宏彬⁸⁾, 大井好忠⁹⁾, 大川順正¹⁰⁾, 大森弘之¹¹⁾, 小幡浩司¹²⁾, 片山喬¹³⁾, 守殿貞夫¹⁴⁾, 熊澤浄一¹⁵⁾, 小磯謙吉¹⁶⁾, 小柳知彦¹⁷⁾, 齊藤泰¹⁸⁾, 坂田安之輔¹⁹⁾, 酒徳治三郎²⁰⁾, 佐長俊昭²¹⁾, 新谷浩²²⁾, 高羽津²³⁾, 竹内正文²⁴⁾, 難波克一²⁵⁾, 久住治男²⁶⁾, 町田豊平²⁷⁾, 宮崎重²⁸⁾, 小川暢也²⁹⁾, 園田孝夫¹⁾ (¹⁾大阪大学, ²⁾大阪府立成人病センター, ³⁾奈良県立医科大学, ⁴⁾箕面市立病院, ⁵⁾東京大学, ⁶⁾浜松医科大学, ⁷⁾倉敷成人病センター, ⁸⁾住友病院, ⁹⁾鹿児島大学, ¹⁰⁾和歌山県立医科大学, ¹¹⁾岡山大学, ¹²⁾名古屋第二赤十字病院, ¹³⁾富山医科薬科大学, ¹⁴⁾神戸大学, ¹⁵⁾九州大学, ¹⁶⁾筑波大学, ¹⁷⁾北海道大学, ¹⁸⁾長崎大学, ¹⁹⁾新潟県立ガンセンター, ²⁰⁾山口大学, ²¹⁾社会保険小倉記念病院, ²²⁾関西医科大学, ²³⁾国立大阪病院, ²⁴⁾愛媛大学, ²⁵⁾岡山市立市民病院, ²⁶⁾金沢大学, ²⁷⁾東京慈恵会医科大学, ²⁸⁾大阪医科大学：泌尿器科, ²⁹⁾愛媛大学：薬理学)：〔原著〕前立腺癌内分泌療法；LH-RH analogue, ICI 118630 (Zoladex) と去勢術あるいはエストロゲン療法との臨床比較試験. 泌尿紀要, **34**, 1853~1863, 1988.
- 9) 中神義三, 宇佐美道之²⁾, 古武敏彦²⁾, 松田稔¹⁾, 岡島英五郎³⁾, 長船匡男⁴⁾, 赤座英之⁵⁾, 新島端夫⁵⁾, 阿曾佳郎⁶⁾, 荒木徹⁷⁾, 板谷宏彬⁸⁾, 大井好忠⁹⁾, 大川順正¹⁰⁾, 大森弘之¹¹⁾, 小幡浩司¹²⁾, 片山喬¹³⁾, 守殿貞夫¹⁴⁾, 熊澤浄一¹⁵⁾, 小磯謙吉¹⁶⁾, 小柳知彦¹⁷⁾, 齊藤泰¹⁸⁾, 坂田安之輔¹⁹⁾, 酒徳治三郎²⁰⁾, 新谷浩²¹⁾, 久住治男²²⁾, 町田豊平²³⁾, 宮崎重²⁴⁾, 小川暢也²⁵⁾, 園田孝夫¹⁾ (¹⁾大阪大学, ²⁾大阪府立成人病センター, ³⁾奈良県立医科大学, ⁴⁾箕面市立病院, ⁵⁾東京大学, ⁶⁾浜松医科大学, ⁷⁾倉敷成人病センター, ⁸⁾住友病院, ⁹⁾鹿児島大学, ¹⁰⁾和歌山県立医科大学, ¹¹⁾岡山大学, ¹²⁾名古屋第二赤十字病院, ¹³⁾富山医科薬科大学, ¹⁴⁾神戸大学, ¹⁵⁾九州大学, ¹⁶⁾筑波大学, ¹⁷⁾北海道大学, ¹⁸⁾長崎大学, ¹⁹⁾新潟県立がんセンター, ²⁰⁾山口大学, ²¹⁾関西医科大学, ²²⁾金沢大学, ²³⁾東京慈恵会医科大学, ²⁴⁾大阪医科大学：泌尿器科, ²⁵⁾愛媛大学：薬理学)：〔原著〕LH-RH analogue (Zoladex) の前立腺癌患者に対する長期投与時の臨床効果の検討. 泌尿紀要, **34**, 2059~2066, 1988.

- 10) 中神義三：〔原著〕最近の女性に起こる膀胱炎について. Med. Pract., 5, 1974, 1988.
- 11) 中神義三：〔原著〕特発性腎出血 (idiopathic renal bleeding) という病名. Med. Pract., 5, 2107, 1988.
- 12) 中神義三：〔原著〕直腸診 (digital examination) の重要性. Med. Pract., 6, 110, 1989.
- 13) 林昭棟, 中神義三, 岡史篤, 池田一則, 木本洋一郎, 伊藤博, 阿部裕行, 金内秀士¹⁾ (¹⁾第2外科)：〔原著〕S状結腸憩室炎によるS状結腸膀胱瘻の1例. 泌尿外科, 2, 297-300, 1989.

学会発表

- 1) Nakagami, Y., Ikeda, K., Lin, T. T., Ito, H., Kimoto, Y. and Oka, F.：〔展示〕Serum immunosuppressive substance (IS) and effect of biological response modifier, PSK on urogenital tumors. Fourth International Conference on Immunopharmacology (Osaka), 1988.
- 2) Nakagami, Y., Matsumoto, K.¹⁾ and Kishimoto, T.¹⁾ (¹⁾Study Group on Postoperative Maintenance Therapy for Bladder Tumor, Tokyo-Japan)：〔展示〕Study on evaluation of immunochemotherapy to prevent the recurrence of bladder cancer. Fourth International Conference on Immunopharmacology (Osaka), 1988.
- 3) 松本恵一¹⁾, 岸本孝¹⁾, 中神義三 (¹⁾膀胱腫瘍術後維持療法研究会)：〔一般講演〕表在性膀胱癌の術後再発防止に対する免疫化学療法の検討. 第4報 対照群の再発に関する統計的観察. 第76回日本泌尿器科学会総会, 1988.
- 4) 林昭棟, 中神義三, 伊藤博, 岡史篤, 池田一則, 木本洋一郎, 石崎良太郎¹⁾, 松本恵一²⁾, 謝徳生³⁾, 余宏政³⁾, 蔡崇璋³⁾ (¹⁾獣医畜産大分子腫瘍研, ²⁾国立横須賀病院, ³⁾国立台湾大学泌尿器科)：〔一般講演〕MTT(3-(4,5-Dim-ethylthiazoly 1.2)-2,5-diphenyltetrazolium bromide)を用いた比色による泌尿器系癌細胞に対する抗癌剤のスクリーニングの検討. 第76回日本泌尿器科学会総会, 1988.
- 5) 伊藤博, 中神義三, 林昭棟, 木本洋一郎, 池田一則, 岡史篤：〔一般講演〕ホルモン依存性前立腺癌の免疫・ホルモン維持療法の検討 (第2報). 第76回日本泌尿器科学会総会, 1988.
- 6) 池田一則, 中神義三, 林昭棟, 伊藤博, 木本洋一郎, 岡史篤：〔展示〕尿路悪性腫瘍における免疫抑制物質 (IS Substance) と PSK 投与の影響に関する検討. 第76回日本泌尿器科学会総会, 1988.
- 7) 岡史篤, 中神義三, 林昭棟, 伊藤博, 木本洋一郎, 池田一則, 松本恵一¹⁾ (¹⁾国立横須賀病院)：〔展示〕泌尿器系腫瘍に対するK18の抗腫瘍効果に関する検討. 第76回日本泌尿器科学会総会, 1988.
- 8) 伊藤博, 林昭棟, 木本洋一郎, 池田一則, 岡史篤, 阿部裕行, 中神義三：〔一般講演〕ホルモン依存性前立腺癌の免疫・ホルモン維持療法の検討 (第2報). 日本医科大学医学会第65回例会, 1988.
- 9) 池田一則, 岡史篤, 伊藤博, 木本洋一郎, 林昭棟, 阿部裕行, 中神義三：〔一般講演〕尿路悪性腫瘍における免疫抑制物質 (IS substance) と PSK 投与の影響に関する検討. 日本医科大学医学会第65回例会, 1988.
- 10) 岡史篤, 池田一則, 伊藤博, 木本洋一郎, 林昭棟, 阿部裕行, 中神義三：〔一般講演〕直腸癌の浸潤と考えられる尿管狭窄により自然腎盂外溢流をきたした Urinoma の1例. 日本医科大学医学会第65回例会, 1988.
- 11) 林昭棟, 中神義三, 伊藤博, 岡史篤, 池田一則, 木本洋一郎, 阿部裕行, 石崎良太郎¹⁾ (¹⁾獣医畜産大分子腫瘍研)：〔一般講演〕MTT(3-(4,5-Dim-ethylthiazoly 1.2)-2,5-diphenyltetrazolium bromide)を用いた比色による泌尿器系癌細胞に対する抗癌剤のスクリーニング法の検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 12) 阿部裕行, 池田一則, 岡史篤, 伊藤博, 木本洋一郎, 林昭棟, 中神義三：〔展示〕進行性前立腺癌におけるオステオカルシンの意義. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 13) 伊藤博, 池田一則, 岡史篤, 木本洋一郎, 林昭棟, 阿部裕行, 中神義三：〔展示〕前立腺癌に対する腫瘍マーカーとしての PAP, PA, γ -Sm の比較検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 14) 木本洋一郎, 岡史篤, 池田一則, 伊藤博, 林昭棟, 阿部裕行, 中神義三：〔展示〕偶然発見された副腎腺腫の2

経験例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.

- 15) 野村信夫¹⁾, 松井南¹⁾, 石崎良太郎¹⁾, 小山美弥²⁾, 横田隆²⁾, 大網弘²⁾, 秋丸琥甫³⁾, 金内秀士³⁾, 庄司佑³⁾, 中神義三 (¹⁾獣医畜産大分子腫瘍研, ²⁾老人病研究所, ³⁾第2外科): [一般講演] 核内遺伝子の関連遺伝子の DNA クローニングとその構造解析. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 16) 中神義三, 池田一則, 岡史篤, 伊藤博, 木本洋一郎, 林昭棟, 阿部裕行: [展示] 泌尿器系腫瘍に対する K18 の基礎的・臨床的研究. 第47回日本癌学会総会, 1988.
- 17) 林昭棟, 阿部裕行, 伊藤博, 中神義三, 石崎良太郎¹⁾ (¹⁾獣医畜産大分子腫瘍研): [展示] MTT 色素還元法によるマイクロプレート短期培養の細胞障害試験でのヒト泌尿細胞株の抗癌剤に対する感受性試験. 第47回日本癌学会総会, 1988.
- 18) 中神義三¹⁾, 岸本孝¹⁾, 松本恵一¹⁾ (¹⁾膀胱腫瘍術後維持療法研究会): [一般講演] 表在性膀胱癌の術後再発防止に対する免疫化学療法の検討 (第5報). 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 19) 池田一則, 岡史篤, 伊藤博, 木本洋一郎, 林昭棟, 阿部裕行, 中神義三: [一般講演] 尿路悪性腫瘍に対する IS substance の PSK 投与による変動について. 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 20) 伊藤博, 池田一則, 岡史篤, 木本洋一郎, 林昭棟, 阿部裕行, 中神義三: [展示] 前立腺癌に対する腫瘍マーカーとしての PAP, PA, γ -Sm の比較検討. 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 21) Nakagami, Y., Oka, F., Lin, T., T., Ito, H., Kimoto, Y. and Ikeda, K.: [一般講演] Autitumor effect of a conjugate of human IgG and melphal K18 on urogenital cancers. 21st Congress of The International Society of Urology (Buenos Aires), 1988.
- 22) Lin, T., T., Nakagami, Y., Ikeda, K., Ito, H., Kimoto, Y. and Oka, F.: [一般講演] Serum immunosuppressive substance is and effects of biological response modifier, PSK on urogenital tumors. 21st Congress of The International Society of Urology (Buenos Aires), 1988.
- 23) Matsumoto, K.¹⁾, Nakagami, Y.¹⁾ and Kishimoto, T.¹⁾ (¹⁾ Study group on Postoperative Maintenance Therapy for Bladder Tumor, Tokyo-Japan): [一般講演] Study on evaluation of immunochemotherapy to prevent the recurrence of bladder cancer. 21st Congress of The International Society of Urology (Buenos Aires), 1988.
- 24) 阿部裕行, 中神義三, 林昭棟, 伊藤博, 木本洋一郎, 池田一則, 岡史篤: [一般講演] 尿路性器癌患者に対する非特異的免疫動態に関する検討. 第1報 モノクローナル抗体によるリンパ球表面マーカーと Tr の関係. 第53回日本泌尿器科学会東部総会, 1988.
- 25) 伊藤博, 池田一則, 岡史篤, 木本洋一郎, 林昭棟, 阿部裕行, 中神義三: [一般講演] 前立腺癌に対する腫瘍マーカーとしての PAP, PA, γ -Sm の比較検討. 第53回日本泌尿器科学会東部総会, 1988.
- 26) 木本洋一郎, 伊藤博, 池田一則, 岡史篤, 林昭棟, 阿部裕行, 中神義三: [展示] 偶然発見された副腎腺腫の2経験例. 第53回日本泌尿器科学会東部総会, 1988.
- 27) 池田一則, 中神義三, 阿部裕行, 林昭棟, 伊藤博, 木本洋一郎, 岡史篤, 石崎良太郎¹⁾, 野村信夫¹⁾, 岡田幸助²⁾ (¹⁾獣医畜産大分子腫瘍研, ²⁾岩手大農学部獣医学科): [一般講演] 膀胱腫瘍におけるヒト乳頭腫ウイルス (HPV) に関する免疫組織化学的電顕的研究 (予報). 第53回日本泌尿器科学会東部総会, 1988.

[第二病院泌尿器科]

研究概要

第二病院泌尿器科の研究は主として臨床的には尿路感染症 (特に β ラクタマーゼ産生菌に対する研究), 昨年来より継続せる前立腺腫瘍マーカーの臨床的統計, 腎腫瘍に対する免疫療法 (インターフェロン) の有効性についての検討を行った.

また付属病院泌尿器科と共同しヌードマウスヒト移植泌尿生殖器悪性腫瘍に対する各種抗癌剤，感受性試験の比較検討および臨床応用について研究した。併せて透析患者における抗生剤の血行動態についても共同研究を行った。

研究業績

論文

- 1) 広瀬始之：〔原著〕家兔膀胱尿管移行部への各種外力の影響。日泌尿会誌，79，428～435，1988.
- 2) 堀内和孝：〔原著〕ヌードマウス移植ヒト泌尿生殖器悪性腫瘍株に対する腎被膜下移植法（Subrenal capsule assay）を用いた制癌剤感受性試験。日泌尿会誌，79，1633～1638，1988.
- 3) 小川秀彌¹⁾，堀夏樹，近藤幸尋¹⁾，石井洋二¹⁾（¹⁾関東通信病院）：〔報告〕体外式衝撃波結石破碎術（ESWL）についての臨床的検討。通信医，41，149～152，1989.

学会発表

- 1) 寺島保典，服部智任¹⁾，堀内和孝，秋元成太¹⁾（¹⁾付属病院泌尿器科）：〔一般講演〕膀胱癌細胞株より分離したMTX 自然耐性クローンの検討。第76回日本泌尿器科学会総会，1988.
- 2) 西村泰司¹⁾，寺島保典，服部智任¹⁾，秋元成太¹⁾（¹⁾付属病院泌尿器科）：〔一般講演〕1L-2による分離，増殖させた腎腫瘍浸潤リンパ球（TIL）のpopulationについての検討。第76回日本泌尿器科学会総会，1988.
- 3) 服部智任¹⁾，寺島保典，西村泰司¹⁾，秋元成太¹⁾（¹⁾付属病院泌尿器科）：〔一般講演〕泌尿生殖器悪性腫瘍に対する上皮成長因子（EGF）の効果。第76回日本泌尿器科学会総会，1988.
- 4) 富田勝，引間規夫，雨宮裕¹⁾，杉澤裕，沖守，山田記道（¹⁾現帝京大学泌尿器科）：〔一般講演〕PNL・TULの反省。第76回日本泌尿器科学会総会，1988.
- 5) 小川秀彌¹⁾，近藤幸尋¹⁾，堀夏樹，久保田正充¹⁾，田中求平¹⁾，引間規夫，西村泰司²⁾，秋元成太²⁾（¹⁾関東通信病院，²⁾付属病院泌尿器科）：〔一般講演〕再発性表在性膀胱腫瘍に対する腔内注入療法。第76回日本泌尿器科学会総会，1988.
- 6) 広瀬始之，本田了¹⁾，秋元成太¹⁾（¹⁾付属病院泌尿器科）：〔一般講演〕家兔膀胱尿管移行部への拡張，切開操作による影響。第76回日本泌尿器科学会総会，1988.
- 7) 山中吉郎，堀内和孝，山田晋介，長谷川潤¹⁾，秋元成太¹⁾（¹⁾付属病院泌尿器科）：〔一般講演〕ヌードマウス移植ヒトWilms 腫瘍に対する制癌剤感受性試験の検討。第76回日本泌尿器科学会総会，1988.
- 8) 長谷川潤¹⁾，堀内和孝，山中吉郎，秋元成太¹⁾（¹⁾付属病院泌尿器科）：〔一般講演〕ヌードマウス腎被膜下移植法の臨床応用。第76回日本泌尿器科学会総会，1988.
- 9) 坪井成美¹⁾，西村泰司¹⁾，阿部裕行¹⁾，川村直樹¹⁾，長谷川潤¹⁾，原眞¹⁾，沖守¹⁾，杉澤裕¹⁾，矢島勇臣¹⁾，引間規夫，富田勝，秋元成太¹⁾，中島均¹⁾，藤岡良彰²⁾（¹⁾付属病院泌尿器科，²⁾河北総合病院）：〔一般講演〕経皮的腎尿管結石摘出術243例の臨床的検討。第76回日本泌尿器科学会総会，1988.
- 10) 近藤幸尋¹⁾，堀夏樹，引間規夫，石井洋二¹⁾，小川秀彌（¹⁾関東通信病院）：〔一般講演〕当院における辜丸腫瘍の臨床的検討。第76回日本泌尿器科学会総会，1988.
- 11) 西村泰司¹⁾，川村直樹¹⁾，坪井成美¹⁾，阿部裕行¹⁾，服部智任¹⁾，広瀬始之，矢島勇臣¹⁾，大原正雄¹⁾，長谷川潤¹⁾，原眞¹⁾，吉田和弘¹⁾，秋元成太¹⁾（¹⁾付属病院泌尿器科）：〔一般講演〕第2世代ESWL（TRIPTER-X1）による上部尿路切石術。第457回日本泌尿器科学会東京地方会，1988.
- 12) 引間規夫，堀内和孝，山田晋介，寺島保典，富田勝：〔一般講演〕偶然発見された腎および腎盂腫瘍の5例。第56回日本医科大学医学会総会，1988.
- 13) 富田勝，引間規夫，山田晋介，寺島保典，堀内和孝，堀夏樹，杉澤裕，本田イク，山田記道，久島英二¹⁾，佐藤

- 正広¹⁾, 吉田和広¹⁾ (¹⁾付属病院人工透析室) : [一般講演] 腎機能検査法の再評価. (1) 尿比重. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 14) 佐藤正広¹⁾, 久島英二¹⁾, 秋元成太²⁾, 富田勝, 吉田知永³⁾ (¹⁾付属病院透析室, ²⁾付属病院泌尿器科, ³⁾第1内科) : [展示] 血漿, 吸着療法の臨床的検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 15) 久島英二¹⁾, 佐藤正広¹⁾, 山中吉郎, 秋元成太²⁾, 富田勝 (¹⁾付属病院透析室, ²⁾付属病院泌尿器科) : [展示] 慢性透析患者における Piperacillin (PIPC) ; 透析性と血中動態. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 16) 平岡保紀¹⁾, 広瀬始之, 矢島勇臣¹⁾, 大原政雄¹⁾, 平澤精一¹⁾, 長谷川潤¹⁾, 原眞¹⁾, 川村直樹¹⁾, 吉田和弘¹⁾, 西村泰司¹⁾, 秋元成太¹⁾ (¹⁾付属病院泌尿器科) : [展示] 経尿道的前立腺剝離切除術300例の経験. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 17) 平澤精一¹⁾, 広瀬始之, 秋元成太¹⁾ (¹⁾付属病院泌尿器科) : [展示] CAPD 施行時の問題. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 18) 引間規夫, 堀内和孝, 寺島保典, 山田晋介, 富田勝 : [一般講演] 腎細胞癌術後10年目に睾丸転移を来した1例. 第53回日本泌尿器科学会東部総会, 1988.
- 19) 秋元成太¹⁾, 堀内和孝, 山中吉郎, 長谷川潤¹⁾, 吉田和弘¹⁾ (¹⁾付属病院泌尿器科) : [一般講演] Chemosensitivity test against urogenital malignant tumors transplanted into nude mice with the subrenal capsule assay. 第83回国際泌尿器科学会 (Buenos Aires, Argentine), 1988.
- 20) 西村泰司¹⁾, 川村直樹¹⁾, 坪井成美¹⁾, 阿部裕行¹⁾, 広瀬始之, 服部智任¹⁾, 本田了¹⁾, 矢島勇臣¹⁾, 大原正雄¹⁾, 平澤精一¹⁾, 長谷川潤¹⁾, 原眞¹⁾, 吉田和弘¹⁾, 秋元成太¹⁾ (¹⁾付属病院泌尿器科) : [一般講演] 第3世代 ESWL (TRIPSTER・X-1) による上部尿路結石の治療経験. 第53回日本泌尿器科学会東部総会, 1988.
- 21) 服部智任¹⁾, 寺島保典, 西村泰司¹⁾, 秋元成太¹⁾ (¹⁾付属病院泌尿器科) : [一般講演] 膀胱扁平上皮癌に対する上皮成長因子 (EGF) の影響. 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 22) 西村泰司¹⁾, 川村直樹¹⁾, 坪井成美¹⁾, 阿部裕行¹⁾, 広瀬始之, 吉田和弘¹⁾, 秋元成太¹⁾ (¹⁾付属病院泌尿器科) : [一般講演] ポータブル ESWL (TRIPSTER X-1K) による上部尿路結石の治療経験. 第2回日本 Endourology ESWL 研究会, 1988.
- 23) Ogawa, H.¹⁾, Kondoh, Y.¹⁾ and Hori, N. (¹⁾関東通信病院) : [一般講演] Limit and application of ESWL. VIth World Congress on Endourology and ESWL (Paris), 1988.
- 24) 広瀬始之, 畑弘道¹⁾, 坂本克輔¹⁾, 平澤潔¹⁾, 榎谷実¹⁾, 日下史章¹⁾, 日下正章¹⁾, 甲田雅一¹⁾ (¹⁾東京警察病院) : [一般講演] 当科の淋菌性尿道炎の臨床的観察. 日本性感染症学会第1回学術大会, 1988.
- 25) 富田勝, 引間規夫, 堀内和孝, 山田晋介, 寺島保典, 本田伊克, 山田記道 : [一般講演] 膀胱頸部炎の概念と治療. 第6回川崎市医師会医学会, 1989.
- 26) 小川秀彌¹⁾, 近藤幸尋¹⁾, 堀夏樹, 石井洋二¹⁾, 久保田正充¹⁾, 田中求平¹⁾, 引間規夫, 西村泰司²⁾, 秋元成太²⁾ (¹⁾関東通信病院, ²⁾付属病院泌尿器科) : [一般講演] 膀胱腫瘍に対する抗腫瘍の膀胱腔内注入療法. 第5報 Mitomycin C, 5-Fu 併用注入効果. 第40回通信医学協会総会, 1989.
- 27) 堀夏樹, 近藤幸尋¹⁾, 小川秀彌¹⁾ (¹⁾関東通信病院) : [一般講演] 体外式衝撃波結石破碎術 (ESWL) ; 無麻酔治療の経験. 第40回通信医学協会総会, 1989.

16. 眼科学講座

[付属病院眼科・第一病院眼科・第二病院眼科・多摩永山病院眼科]

研究概要

教室の研究対象はアレルギー性結膜炎、白内障、緑内障、網膜、コンタクトレンズ等である。

アレルギー性結膜炎、春季カタルでは遅発型反応を認め、涙液中の炎症細胞の出現の経時的動態変化を、細胞診、生化学的測定等により検討し、また抗アレルギー薬（Wp-831）の効果について発表した。

白内障について、ガラクトース白内障に、Vit E、Vit C の同時投与が効果あることを生化学的に認め、WBN/120b ラットの白内障について組織学的に検討された。白内障の眼内レンズの合併症について報告した。

緑内障について、トラベクトミー手術術式および顕微鏡下手術を検討し報告した。

網膜硝子体疾患時にみられるⅠ型コラーゲンの出現とその作用機序について検討した。また血管炎である Eales 病、静脈周囲炎等の網膜硝子体所見を報告した。

コンタクトレンズ（CL）について、酸素透過性 CL の酸素透過率の測定法は電極法と加圧法の測定結果を検討した。

研究業績

論文

- 1) 清水由規, 永井眞之, 宮本圭福: [総説] 水晶体・硝子体の展望; 1983年度(Ⅱ). 眼科, 30, 374~401, 1988.
- 2) 水谷由紀夫, 岩下英生, 野崎真司, 原田達夫, 水谷豊: [原著] DK 値測定法; 電極法阪問題点と加圧式測定法. 日コンタクトレンズ会誌, 30, 319~325, 1988.
- 3) 北川明彦, 多田知子, 原彰: [原著] 胞状網膜剥離の発生機序について. 眼科, 30, 467~470, 1988.
- 4) 清水由規, 田中通彦¹⁾, 北野周作²⁾, 他 (¹⁾横浜市立大学医学部, ²⁾日本大学医学部): [原著] 単純ヘルペス性角膜炎に対する組換え型ヒト白血球インターフェロン A 点眼液の効果. 眼臨医報, 82, 908~915, 1988.
- 5) 三浦雅博, 富川節子, 原彰, 清水由規: [原著] 色素性静脈周囲網脈絡膜萎縮の1例. 臨眼, 42, 574~575, 1988.
- 6) 大鹿秀夫, 原彰, 清水由規: [原著] Eales 病の病像について. 眼臨医報, 82, 947~949, 1988.
- 7) 永井眞之: [原著] VDT 作業と眼精疲労. 日医新報, No. 3348, 129, 1988.
- 8) 大鹿秀夫, 原彰, 清水由規: [原著] 若年者にみられた静脈周囲炎の硝子体出血の発生機序について. 眼科30, 663~666, 1988.
- 9) 永井眞之, 塩田昌美, 鈴木英理, 清水由規: [原著] 簡易グレーディングカードの使用経験; 集団2の使用経験. 眼科, 30, 747~749, 1988.
- 10) 原彰, 渡辺龍雄, 並松茂樹: [原著] 病的硝子体にみられたⅠ型コラーゲンについて. 日眼会誌, 92, 1363~1368, 1988.
- 11) 森秀樹, 渡辺龍雄, 原彰: [原著] Neovascular Glaucoma に対するトラベクロジヌソトミーの試み. 眼臨医報, 82, 2276, 1988.
- 12) 清水由規: [総説] 白内障. 薬局, 40, 579~583, 1989.
- 13) 永井眞之: [原著] 小児の眼鏡. 眼科, 31, 159~164, 1989.
- 14) 清水洋一, 宇多重員¹⁾, 清水由規 (¹⁾二本松眼科): [原著] Iridocorneal endothelial (ICE) Syndrome, (本態性虹彩萎縮症) の1例. 眼科, 31, 183~186, 1989.

著 書

- 1) 禰津直久：〔分担〕超音波水晶体乳化吸引手術 (KPE). “眼科マイクロサージェリー” (永田誠 監修), p. 88~93, 株式会社ミクス, 1988.
- 2) 禰津直久：〔分担〕緑内障；トラベクトミー. “眼科 MOOK 37 眼科顕微鏡手術”, p. 135~142, 金原出版, 1989.

学会発表

- 1) 大木薫, 清水由規：〔一般講演〕牛眼で発症した細膜芽細胞腫の1例. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 2) 永井眞之, 塩田昌美, 鈴木英理, 清水由規：〔一般講演〕簡易グレーティングカードの使用経験. 第13回日本小児眼科学会, 1988.
- 3) 水谷由紀夫：〔一般講演〕DK 値測定法；電極法の問題点と加圧式測定法. 第31回日本コンタクトレンズ学会, 1988.
- 4) 清水洋一, 宇多重員¹⁾ (¹⁾二本松眼科)：〔一般講演〕Iridocorneal endothelial (ICE) Syndrome, (本態性虹彩萎縮症) の1例. 第631回東京眼科集談会, 1988.
- 5) Saiga, T., Allansmith, M. R.¹⁾ and Bloch, K. J.¹⁾ (¹⁾Harvard Medical School, ERI)：〔ポスター〕Does the quinea pig have late phase reaction? ARVO1988.
- 6) 清水洋一：〔一般講演〕眼内レンズ挿入術後の合併症；特に眼圧上昇とその治療について. 日本医科大学医学会第65回例会, 1988.
- 7) 小野恵都子, 原彰, 森秀樹：〔一般講演〕家族性滲出性網膜症の症例. 第5回関東眼科学会, 1988.
- 8) 後藤伸彰：〔一般講演〕Amiodarone keratopathy. 第5回関東眼科学会, 1988.
- 9) 大木薫, 禰津直久, 内山幸昌, 清水由規：〔一般講演〕大動脈炎症候群の1例. 東京都眼科集談会, 1988.
- 10) 三浦雅博, 朝岡守, 池田桐子, 中山義章：〔一般講演〕糖尿病性網膜症に対する汎網膜光凝固について. 第3回日本医科大学多摩永山病院集談会, 1988.
- 11) 永井眞之：〔一般講演〕VDT 検診における50 cm 視力の変化. 第42回日本臨床眼科学会 G.D VDT 研究会, 1988.
- 12) 永井眞之, 塩田昌美, 鈴木英理, 清水由規：〔一般講演〕弱視訓練用視表による不同視弱視の治療. 第42回日本臨床眼科学会, 1988.
- 13) 小林博和, 村上喜三郎¹⁾, 菅田安男¹⁾, 山本由紀雄²⁾ (¹⁾都立馬込病院, ²⁾東京多摩老人医療センター)：〔一般講演〕超音波による硝子体の観察. 第42回日本臨床眼科学会, 1988.
- 14) 六鹿秀夫, 福興貴彦¹⁾, 富田美智子¹⁾, 菅田安男¹⁾ (¹⁾都立駒込病院)：〔一般講演〕眼科デジタル画像解析装置の使用経験. 第42回日本臨床眼科学会, 1988.
- 15) 中込豊, 原彰, 能美雅才, 渡辺龍雄：〔展示〕三角症候群の10症例. 第42回日本臨床眼科学会, 1988.
- 16) 清水洋一：〔一般講演〕緑内障眼における白内障手術例についての検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 17) 雑賀寿和, 竹内良夫¹⁾, 横室公三¹⁾, 清水由規 (¹⁾微生物免疫)：〔ポスター〕The effect of the anti inflammatory drug “WP 871”. 第13回国際アレルギー学会, 1988.
- 18) 平良亮子, 池田桐子, 中山義章：〔一般講演〕角膜真菌症の1例. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 19) 高橋浩：〔一般講演〕クラミジア性結膜炎の疑われたオウム病の症例. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 20) 山田幸永：〔一般講演〕桐沢型ぶどう膜炎の一症例. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 21) 土田覚：〔一般講演〕真菌性眼内炎の2例. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 22) 河合史子：〔一般講演〕眼内レンズと乱視のコントロール. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 23) 平良亮子, 池田桐子, 中山義章：〔一般講演〕角膜真菌症 (Monosporium SP.) の一例. 第639回東京眼科集談会, 1989.

- 24) 渡辺龍雄, 原彰, 並松茂樹, 田山三郎: [一般講演] 増殖性糖尿病性網膜症の増殖膜について. 第12回日本眼科手術学会, 1989.
- 25) 宇多重員¹⁾, 禰津直久, 清水洋一 (¹⁾二本松眼科): [一般講演] 後房レンズ嚢内移植後に Capsular bag が興味ある形を呈した一例. 第638回東京眼科集談会, 1989.

17. 麻酔科学講座

〔付属病院麻酔科〕

研究概要

本教室では小川教授の着任以来1年を経過し、特に研究面において新たな展開をみせているが研究体制、内容ともに次第に軌道に乗りつつあるところである。教室員数も増え研究テーマは基礎、臨床両面とも多彩になってきている。

小川教授のライフワークであるショックの病態生理の解明および治療の開発については昨年度に引き続き研究室での実験モデルによる研究が主体をなした。内臓虚血と再循環モデルを用いた実験ではヒト型SODの投与により循環系の改善や延命効果を認め、また輸液療法では従来の方法とは異なる視点から膠質液の晶質液に対する優越性が示された。出血性ショックモデルでの実験では、代謝性アシドーシスの改善にジクロロ酢酸の有効性を示した。これらの研究は新たな薬剤の組み合わせや方法を変え、さらに発展しつつあるところである。

臨床研究では麻酔薬や補助薬による神経性循環調節機構に及ぼす影響、低血圧麻酔時の脳血流量や代謝性変化、麻酔法による低酸素性肺血管収縮機構の変化やそのメカニズムの解明等が継続したテーマとして行われている。硬膜外麻酔の研究では従来あまり顧みられなかった腎機能への影響に新たなアプローチを行い、さらに薬液注入時のフィルター使用の有効性や局麻薬の血中吸収後の代謝に関して新たな知見を得ている。従来禁忌とされている術前の経口摂取についてはむしろ適当量の摂取により糖代謝に好結果をもたらすことも示した。術前の電解質特にNa濃度と術中の循環動態の変動を検索し、緊急手術例等での輸液管理の指標を示唆した。このほか、心筋梗塞患者の麻酔予後、高頻度人工呼吸の新しい適応、新たな手術手技に対応した麻酔管理の実際等に多彩なアプローチを行っているところである。

研究業績

論文

- 1) 結城禎一：〔原著〕広範囲熱症例におけるエネルギー消費量の検討；とくに必要エネルギー算定。救急医，12，461～469，1988。
- 2) 坂本篤裕，尾藤博保，井上哲夫，小川龍：〔原著〕心筋梗塞既往患者に対する麻酔の統計学的考察。日臨麻会誌，8，289～293，1988。
- 3) 仲田治夫，小川龍，中江純夫¹⁾（¹⁾目白第三病院）：〔総説〕中心静脈圧測定（特集：重症患者のモニタリング）。臨看，14，638～642，1988。
- 4) 井上哲夫，池田健次，宮田近昌¹⁾，松下行男¹⁾（¹⁾アイ・エム・アイ技術部）：〔原著〕VS600長期使用による機械的消耗について。人工呼吸，5，135～138，1988。
- 5) 小川龍：〔総説〕術後ショックの処置。消外，11，677～681，1988。
- 6) 遠藤正宏，中西一浩，小川龍：〔ブリーフレポート〕硬膜外麻酔中に冠動脈スパズムを疑った1症例。臨麻，12，1086～1088，1988。
- 7) 矢埜正実¹⁾，小川龍（¹⁾都城市郡医師会病院麻酔ICU）：〔原著〕静脈内局所麻酔（IVRA）と腋窩神経叢ブロックの比較。麻酔，37，1108～1111，1988。
- 8) 井上哲夫：〔Clinical Report〕全自動電子血圧計ダイナマップの使用経験。基礎と臨，22，5151～5154，1988。
- 9) 遠藤正宏，斉藤敏之，井上哲夫：〔症例報告〕血液透析患者に対するイソフルレン麻酔経験。臨麻，12，1309～1312，1988。
- 10) 小川龍：〔総説〕フリーラジカルの臨床；ショック・DIC。日臨，46，2196～2202，1988。

- 11) 小川龍：〔総説〕ショックの薬物療法；ステロイドは有効か。ICU と CCU, 12, 749～755, 1988.
- 12) 小川龍：〔総説〕ショックと酸素遊離基。麻酔, 37, 1447～1455, 1988.
- 13) 遠藤正宏, 小川龍, 西邑信男¹⁾ (1)府中恵仁会病院)：〔原著〕硬膜外麻酔時の血中リドカインの肺への取り込みに関する研究；全身麻酔併用および喉頭気管リドカインスプレーの影響。麻酔, 38, 59～65, 1989.
- 14) 竹田晋浩, 池崎弘之, 山口真人, 小川龍：〔原著〕術前経口摂取の糖代謝に及ぼす影響。臨麻, 13, 171～175, 1989.
- 15) 黒澤尚¹⁾, 吉河達祐 (1)精神医学教室・救命救急センター)：〔総説〕手術後の精神障害とその対策。臨外, 44, 191～196, 1989.
- 16) Thomson, K. D.¹⁾, Inoue, T. and Payne, J. P.¹⁾ (1)Research Dep. Anaesthetics, Royal College of Surgeons of England)：〔原著〕The use of pulse oximetry in post-operative hypoxaemia in patients after propofol induction of anaesthesia. Int. J. Clin. Monit. Comput., 6, 7～10, 1989.

著 書

- 1) 小川龍：臨床医のためのやさしい医学統計学。(増補版), 真興交易医書出版部, 1988.
- 2) 小川龍：〔分担〕ショック。“集中治療医学大系Ⅱ”(天羽敬祐編), p. 47～58, 朝倉書店, 1988.
- 3) 小川龍：〔共著〕図説ショックとライソソーム。協和規格, 1988.
- 4) 井上哲夫：〔分担〕小児の麻酔, 老人の麻酔, 産科麻酔, 特殊疾患の麻酔, 局所麻酔, 治療。“医師国家試験パートナーシリーズ, 外科・麻酔科。昭和64年版”。(医師国家試験パートナーシリーズ編集委員会編), p. 904～955, 金原出版, 1988.
- 5) 小川龍, 藤田達士¹⁾ (1)群馬大学麻酔科)：〔分担〕急性循環不全(ショック)。“臨床生理学シリーズ ① 心臓”(星猛, 入来正躬監修), p. 231～240, 南江堂, 1988.
- 6) 小川龍：〔分担〕麻酔事故(悪性高熱症を含む)。“1988年今日の治療指針”(日野原重明, 阿部正和総編集), p. 38, 医学書院, 1989.

学会発表

- 1) 小川龍, 尾藤博保, 大井良之, 輪嶋善一郎, 北村晶：〔一般講演〕内臓虚血後の生存率に対するヒト型 SOD の効果。第3回日本ショック学会総会, 1988.
- 2) 大井良之, 尾藤博保, 小川龍：〔一般講演〕内臓虚血における輸液の効果；晶質液 VS 膠質液。第3回日本ショック学会総会, 1988.
- 3) Inoue, T., Kabe, T., Yoshikawa, T. and Ogawa, R.：〔一般講演〕The use of bacteria-retentive filter in epidural analgesia. 9th World Congress of Anaesthesiologists (Washington, D. C., USA), 1988.
- 4) Endo, M. and Nishimura, N.：〔一般講演〕Pharmacokinetics and lung extraction of lidocaine during epidural anesthesia. 9th World Congress of Anaesthesiologists (Washington, D. C., USA), 1988.
- 5) 北村晶, 坂本篤裕, 尾藤博保, 井上哲夫, 小川龍：〔一般講演〕心筋梗塞既往患者の麻酔。日医大医学会第65回例会, 1988.
- 6) 輪嶋善一郎, 小川龍：〔一般講演〕Tranquilizer の圧受容反射に及ぼす影響。第9回日本循環制御医学会, 1988.
- 7) 小川龍：〔教育講演〕ショックと酸素遊離基。第35回日本麻酔学会総会, 1988.
- 8) 斉藤敏之, 坂本勇二郎, 石原之法¹⁾, 山田光輝¹⁾, 井上哲夫, 小川龍 (1)多摩永山病院麻酔科)：〔一般講演〕ATP による低血圧麻酔における代謝性アシドーシスの成因について。第35回日本麻酔学会総会, 1988.
- 9) 竹田晋浩, 池崎弘之, 山口真人, 小川龍：〔一般講演〕術前経口摂取の糖代謝に及ぼす影響。第35回日本麻酔学

会総会, 1988.

- 10) 吉河達祐, 加部俊文, 井上哲夫, 小川龍: [一般講演] 硬膜外への薬液注入時のフィルター使用. (2) 細菌学的検討. 第35回日本麻酔学会総会, 1988.
- 11) 矢埜正実¹⁾, 小川龍 (¹⁾都城市郡医師会病院麻酔 ICU): [一般講演] 静脈内局所麻酔と腋窩神経叢ブロックの比較. 第35回日本麻酔学会総会, 1988.
- 12) 小川龍, 尾藤博保, 大井良之, 輪嶋善一郎, 北村晶: [一般講演] 出血性ショック時の代謝性アシドーシスに対するジクロロ酢酸の効果. 第35回日本麻酔学会総会, 1988.
- 13) 宮田佳彦¹⁾, 長谷川伝¹⁾, 坂本勇二郎, 輪嶋善一郎, 大井良之, 竹田数章, 小川龍 (¹⁾目白病院): [一般講演] Indirect calorimetry における各種呼吸モードと PEEP 併用時のエネルギー消費について: 第35回日本麻酔学会総会, 1988.
- 14) 遠藤正宏, 小川龍, 西邑信男¹⁾, 鴛淵雅男¹⁾ (¹⁾博慈会記念病院): [一般講演] 星状神経節ブロックの脳血流に及ぼす影響; ¹³³Xe 吸入法による測定. 第22回日本ペインクリニック学会総会, 1988.
- 15) 山口真人, 梶本陽司, 井上哲夫, 小川龍: [一般講演] 体外衝撃波による腎結石碎石術の麻酔. 第28回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1988.
- 16) 池崎弘之, 園田清次郎, 仲田治夫, 結城禎一, 井上哲夫, 小川龍: [一般講演] 術前の血漿 Na 濃度と術中循環動態の変動. 第28回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1988.
- 17) 小川龍: [教育講演] 統計処理で誤りを犯さないために. 第16回日本歯科麻酔学会総会. 1988.
- 18) 園田清次郎, 岩沢博俊, 坂本篤裕, 井上哲夫, 小川龍: [一般講演] 硬膜外麻酔時の腎機能と昇圧薬 (ノルアドレナリン) の影響. 第8回日本臨床麻酔学会総会, 1988.
- 19) 北村晶, 坂本篤裕, 井上哲夫, 小川龍: [一般講演] 低血圧麻酔時の脳酸素供給能. 第8回日本臨床麻酔学会総会, 1988.
- 20) 池田健次, 山口真人, 竹田晋浩, 井上哲夫, 小川龍: [示説] 術中における HFJV の新しい適応. 第8回日本臨床麻酔学会総会, 1988.
- 21) 輪嶋善一郎, 小川龍: [示説] 麻酔薬の神経性循環調節機能へ及ぼす影響. 第2報 Tranquilizer と圧受容体反射. 第8回日本臨床麻酔学会総会, 1988.
- 22) 吉河達祐, 坂本篤裕, 加部俊文, 梶本陽司, 井上哲夫, 小川龍: [示説] 再度の麻酔を施行した悪性高熱症患者と家族の素因. 第8回日本臨床麻酔学会総会, 1988.
- 23) 小川龍, 園田清次郎, 仲田治夫, 結城禎一, 井上哲夫: [一般講演] 救急手術患者の低 Na 血症. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
- 24) 小川龍: [シンポジウム] 麻酔科から (高齢者の外科治療). 第23回日本成人病学会総会, 1989.
- 25) 尾藤博保, 池崎弘之, 大井良之, 小川龍: [一般講演] 腹腔内感染症によるショック患者の術中輸液. 第12回日本腹部救急診療研究会, 1989.
- 26) Saito, T., Yoshikawa, T., Inoue, T., Ogawa, R., Tanaka, K.¹⁾ and Takano, T.¹⁾ (¹⁾集中治療室): [一般講演] Sleep apnea in patients with acute myocardial infarction. 5th Congress of Western Pacific Association of Critical Care Medicine (Perth, Australia), 1989.

[第一病院麻酔科]

研究概要

昭和63年度は本教室の主要研究テーマである脊椎麻酔に関する業績を集大成した成書「臨床医のための脊椎麻酔」を横山助教授以下教室員の共同執筆で著した。わが国では脊椎麻酔に関する成書はかつてなく、脊椎麻酔の専門書と

しては本邦初版である。

臨床研究では以下のごとく多岐に及んでいる。

1) 麻酔全般に関して：

- i. 異常高血圧に対する KJK-945 の臨床応用
- ii. 麻酔中に発症する不整脈の回析

2) 脊椎麻酔に関して：

従来の主要研究である各種脊椎麻酔薬（3% lidocaine, 0.5% 高比重ならびに等比重 bupivacaine）の臨床使用の評価と考察。

3) ペインクリニック関連：

- i. CT ガイドによる各種交感神経ブロック手技の考案。
 - ii. 硬膜外刺激による脊髄誘発電位の臨床応用。
 - iii. 星状神経節の眼圧に及ぼす影響。
- 動物実験では、イヌにて左心室拡張期の循環動態を検討した。

研究業績

論文

- 1) 益田律子, 横山和子：〔原著〕仰臥位における高齢者の機能的残気量とクロージングボリウムについて。日臨麻会誌, 8, 208~214, 1988.
- 2) 益田律子, 横山和子, 小野恵都子：〔原著〕星状神経節ブロック下の眼圧の変動について。ペインクリニック, 9, 201~205, 1988.
- 3) 小林毅之, 立原利江子, 横山和子：〔症例報告〕気管支ファイバースコープによる気管内チューブ閉塞の1例。臨麻, 12, 527~528, 1988.
- 4) 箕作禎子, 横山和子, de Grood, P. M. R. M.¹⁾, Cruik, J. F.¹⁾ (¹⁾ナイメーヘン大学麻酔科)：〔症例報告〕サクシニルコリンの作用が遷延した透析患者の1症例。臨麻, 12, 673~674, 1988.
- 5) 島井信子, 横山和子：〔症例報告〕多剤に対するアレルギーを有する妊娠14週の卵巣のう腫合併例に対する麻酔経験。麻酔, 37, 731~737, 1988.
- 6) Nikolic, S., Yellin, E. L., Tamura, K., Vetter, H., Tamura, T., Meisner, J. S., Frater, R. W. M.：〔原著〕Passive properties of canine left ventricle ; Diastolic stiffness and restoring forces. Circ. Res., 62, 1210~1222, 1988.
- 7) 益田律子, 立原利江子, 横山和子：〔症例報告〕術前ホルター心電図により徐脈頻脈症候群を検出しえた高齢者, 腹部大動脈の1症例。麻酔, 37, 849~855, 1988.
- 8) 島井信子, 横山和子：〔原著〕BIVONA 社製 FOME-CUR[®] 付きスパイラルチューブ・サイドポートコネクター付きの試用経験。麻酔, 37, 1007~1011, 1988.
- 9) 横山和子, 広本雅之, 高橋正人, 日下部輝夫：〔症例報告〕麻酔導入直前に完全左脚ブロックをきたした1症例。日臨外医会誌, 50, 176~182, 1989.

著書

- 1) 横山和子：〔監修, 分担〕第一部 総論 1. 脊椎麻酔の歴史と展望 2. 脊椎麻酔の適応 3. 脊椎麻酔の禁忌, 第二部 基礎編 4. 解剖, 第三部 応用編 10. 一般外科. “脊椎麻酔; 基礎知識からペインクリニックまで”, 1., 2., 3., p. 1~15, 4. p. 15~48, 10. p. 167~190, HBJ 出版局, 1988.
- 2) 島井信子：〔分担〕第二部 基礎編 5. 生理 6. 薬理, 第三部 応用編 11. 整形外科. “脊椎麻酔; 基礎

- 知識からペインクリニックまで”(横山和子 監修), 5. p. 51~67, 6. p. 67~82, 11. p. 192~209, HBJ 出版局, 1988.
- 3) 益田律子: [分担] 第二部 基礎編 7. 脊椎麻酔の実際, 第三部 応用編 12. 産婦人科. “脊椎麻酔; 基礎知識からペインクリニックまで”(横山和子 監修), 7. p. 88~124, 12. p. 212~253, HBJ 出版局, 1988.
 - 4) 箕作禎子: [分担] 第二部 基礎編 8. 異常反応, 第三部 応用編 12. 産婦人科. “脊椎麻酔; 基礎知識からペインクリニックまで”(横山和子 監修), 8. p. 127~161, 12. p. 212~253, HBJ 出版局, 1988.
 - 5) 小林毅之: [分担] 第二部 基礎編 9. 脊椎麻酔の合併症, 第三部 応用編 13. 泌尿器科の麻酔. “脊椎麻酔; 基礎知識からペインクリニックまで”(横山和子 監修), 9. p. 134~161, 13. p. 259~283, HBJ 出版局, 1988.

学会発表

- 1) Nikolic, S., Yellin, E. L., Tamura, K., Tamura, T., Owus, K., Dahm, M., Frater, R. W. M.: [一般講演] Viscous properties of the in-situ completely relaxed left ventricle are insignificant at normal strain rates. The 37th Annual Scientific Session American College of Cardiology, 1988.
- 2) Yokoyama, K., Shimai, N. and Masuda, R.: [一般講演] A new method for evaluating the local anesthetics in spinal anesthesia. The 9th World Congress of Anaesthesiologists, 1988.
- 3) Yokoyama, K. and Tanifuji, M.: [一般講演] The effect of ketanserin on the cardiovascular response to intubation. The 9th World Congress of Anaesthesiologists, 1988.
- 4) Masuda, R. and Yokoyama, K.: [一般講演] The effects of age, smoking and posture on the respiratory functions. The 9th World Congress of Anaesthesiologists, 1988.
- 5) Mitsukuri, S., Yokoyama, K. and Tanifuji, M.: [一般講演] Comparison of thiopentone and propofol induction on cardiovascular response. The 9th World Congress of Anaesthesiologists, 1988.
- 6) 横山和子, 谷藤方俊: [一般講演] 気管内挿管時高血圧に対する Ketanserin の効果について. 日本医科大学医学会第65回例会, 1988.
- 7) 小林毅之, 横山和子, 小林薫¹⁾ (第2外科): [一般講演] 扁桃摘出術中に悪性高熱症を発症した1例. 日本医科大学医学会第65回例会, 1988.
- 8) 桧原理子, 田村高子, 島井信子, 横山和子: [一般講演] RA 患者の人工股関節置換術に対する麻酔管理. 日本医科大学医学会第65回例会, 1988.
- 9) 立原利江子, 島井信子, 横山和子: [一般講演] 高血圧症患者の術前管理について. 日本医科大学医学会第65回例会, 1988.
- 10) 坪田一男, 張裕子, 益田律子, 村上正和: [一般講演] 網膜静脈閉塞症に対するウロキナーゼ大量投与と星状神経節ブロックの併用療法. 第5回関東眼科学会, 1988.
- 11) 横山和子, 谷藤方俊: [一般講演] 気管内挿管時高血圧に対する Ketanserin の効果について. 第35回日本麻酔学会総会, 1988.
- 12) 島井信子, 箕作禎子, 横山和子: [一般講演] 3% lidocaine による脊椎麻酔. 第35回日本麻酔学会総会, 1988.
- 13) 箕作禎子, 島井信子, 益田律子, 横山和子: [一般講演] 0.5% 高比重ブピバカインによる脊椎麻酔. 第35回日本麻酔学会総会, 1988.
- 14) 村上正和, 張裕子, 坪田一男, 益田律子: [一般講演] 星状神経節ブロック眼圧に与える影響について. 第35回日本麻酔学会総会, 1988.
- 15) 益田律子, 横山和子: [一般講演] 帯状疱疹患者における電気生理学的検査について. 第22回日本ペインクリニック学会総会, 1988.

- 16) 箕作禎子, 島井信子, 横山和子: [一般講演] 局麻薬によるショックの既応がある患者に対する麻酔経験. 第7回日本蘇生学会総会, 1988.
- 17) 小林毅之, 島井信子, 益田律子, 横山和子: [一般講演] 三叉神経第Ⅲ枝領域に発生した带状疱疹の1症例. 第28回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1988.
- 18) 桧原理子, 益田律子, 横山和子, 南和文¹⁾ (¹⁾整形外科): [一般講演] 硬膜外ブロック時の注入時痛により発見された脊椎腫瘍の一症例. 第28回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1988.
- 19) 立原利江子, 横山和子, 谷藤方俊: [一般講演] 観血的動脈圧測定値と非観血圧的血圧測定値の相関について. 第28回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1988.
- 20) Masuda, R. and Yokoyama, K.: [一般講演] The technique of sympathetic blocks using computed tomography. 第3回国際ペインクリニックシンポジウム (フィレンツェ), 1988.
- 21) Tachihara, R., Masuda, R. and Yokoyama, K.: [一般講演] The effect of low energy laser for chronic disease. 第3回国際ペインクリニックシンポジウム (フィレンツェ), 1988.
- 22) 小林毅之, 横山和子: [一般講演] 新しい筋弛緩薬ベクロニウムの使用経験. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 23) 末田結美, 三上喜美子, 加藤弓佳, 白木琴江, 馬越正通, 小林毅之, 横山和子: [一般講演] 悪性高熱症の看護基準; 一症例を通して. 第10回日本手術部医学会総会, 1988.
- 24) Katoh, S.¹⁾, Sekiya, T.²⁾, Aruga, M.³⁾, Yokoyama, K., Yamazaki, K. and Saito, M.⁴⁾ (¹⁾Information Enging Dept. Teikyo Univ. of Techology, ²⁾Physiology Dept. National Defence Medical College, ³⁾Electric Enging Dept. Tokai Univ. ⁴⁾Inst. Medical Electronics School Tokyo Univ.): [一般講演] Parameter estimation for the ABR source derivation. Engineering in Medicine & Biotogy Society 10th Annual International conference (New Orleans), 1988.
- 25) 横山和子, 谷藤方俊, 小林毅之: [一般講演] KJK-945の降圧作用, 特に気管内挿管時高血圧対策としての使用経験. 第50回日本臨床外科医学会, 1988.
- 26) 益田律子, 横山和子, 北川松雄: [一般講演] CTガイドによる腹腔神経ブロック及び胸腰部交感神経節ブロックの試み. 第50回日本臨床外科医学会, 1988.
- 27) 島井信子, 箕作禎子, 益田律子, 横山和子: [一般講演] 0.5%高比重ブピバカイン (マーカイン)^Bによる脊椎麻酔の経験. 第50回日本臨床外科医学会, 1988.
- 28) 横山和子, 桧原理子, 益田律子: [一般講演] 術前または術中にCLBBBを呈した5症例の麻酔経験. 第50回日本臨床外科医学会, 1988.
- 29) 島井信子, 箕作禎子, 小林毅之, 横山和子: [一般講演] 0.5%高比重 (8% glucose 添加) bupivacaine と0.5%等比重 bupivacaine による脊椎麻酔の比較. 第8回日本臨床麻酔学会総会, 1988.
- 30) 小林毅之, 箕作禎子, 島井信子, 田村高子, 益田律子, 横山和子: [一般講演] 扁桃摘出術中に発生した悪性高熱症. 第8回日本臨床麻酔学会総会, 1988.
- 31) 小林毅之, 横山和子: [一般講演] 扁桃摘出術中に発生した悪性高熱症. 第12回悪性高熱研究会シンポジウム, 1988.
- 32) 松尾千恵美, 小林毅之, 横山和子: [一般講演] 麻酔導入時悪性高熱症をうたがい麻酔を中止した症例. 第12回悪性高熱研究会シンポジウム, 1988.
- 33) Yokoyawa, K. and Tachihara, R.: [一般講演] A correlation between invasive and non invasive blood pressure measurement in surgical patients. The 5th Congress of the Western Pacific Association of Critical Care Medicine, and Australian New Zealand Intensive Care Society, 1989.
- 34) Masuda, R., Yokoyama, K. and Yoshida, H.: [一般講演] Gas-cxgen-halothane (GOH) anesthesia for hypersensi-

tive pneumonitis. The 5th Congress of the Western Pacific Association of Critical Care Medicine, and Australian New Zealand. Intensive Care Society, 1989.

- 35) Mitsukuri, S. and Yokoyama, K. : [一般講演] Tracheobronchial shape in the perioperative chest. The 5th Congress of the Western Pacific Association of Critical Care Medicine, and Australian New Zealand. Intensive Care Society, 1989.
- 36) Nikolic, S., Yellin E. L, Tamura, K., Tamura, T. and Frater, R. W. M. : [一般講演] Effect of early diastolic loading on myocardial relaxation in the intact canine left ventricle. The 38th Annual Scientific Session of the American College of Cardiology, 1989.

[第二病院麻酔科]

研究概要

当科の研究は、臨床における硬膜外麻酔を中心として行っているが、呼吸機能に与える影響は妊婦、特に帝王切開術時の変化についての研究であり、胎児の胎位胎向による影響や、われわれの提唱する麻酔高の適切性をより確実なものにするために、引きつづき前年度からの研究を継続している。また術後鎮痛対策としての硬膜外麻酔の有用性については以前から発表を継続してきているが、投与薬剤による相違や有効性についての研究を行うと同時に、注入速度や硬膜外圧がどのように影響するかを調べ報告した。さらに硬膜外モルフィン投与のタニケットペインにおける有効性についての研究を行い、その有用性を検討し発表した。

麻酔施行時の頭蓋内血管の血流速度の変化について、非侵襲的測定法である Transcranial Doppler 法により中大脳動脈血流速度を計測し、麻酔施行上の最も危険時期の一つとされる麻酔導入時の挿管操作による変化と安全対策について研究した。併せて各種吸入麻酔薬の流血速度に与える影響を発表し、麻酔モニターとしての有効性について検討した。

研究業績

学会発表

- 1) 杉本季久造, 木下隆央, 丸茂穂積, 福代泰彰, 紙谷裕昭, 浮谷勝郎, 内木亮介, 島田洋一 : [一般講演] 輸血および輸液製剤によると考えられる術後腎不全の2例. 日本医科大学医学会第65回例会, 1988.
- 2) 内木亮介, 木下隆央, 丸茂穂積, 福代泰彰, 紙谷裕昭, 浮谷勝郎, 杉本季久造, 島田洋一 : [一般講演] 気管内チューブにより発作が誘発されたと思われる喘息患者の麻酔経験. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 3) 紙谷裕昭, 木下隆央, 福代泰彰, 浮谷勝郎, 杉本季久造, 島田洋一, 小川龍 : [一般講演] 硬膜外麻酔による帝王切開時の麻酔高と呼吸機能. 第35回日本麻酔学会総会, 1988.
- 4) 浮谷勝郎, 丸茂穂積, 福代泰彰, 紙谷裕昭, 内木亮介, 島田洋一, 小川龍 : [一般講演] 局麻薬注入速度による硬膜外圧および麻酔の拡がりについて. 第35回日本麻酔学会総会, 1988.
- 5) 杉本季久造, 木下隆央, 丸茂穂積, 福代泰彰, 紙谷裕昭, 島田洋一, 小川龍 : [一般講演] 硬膜外モルフィンとタニケットペイン. 第35回日本麻酔学会総会, 1988.
- 6) 丸茂穂積, 紙谷裕昭, 浮谷勝郎, 内木亮介, 杉本季久造, 島田洋一, 小川龍 : [一般講演] Transcranial Doppler による MCA Velocity の測定. 第35回日本麻酔学会総会, 1988.
- 7) 内木亮介, 木下隆央, 丸茂穂積, 福代泰彰, 紙谷裕昭, 浮谷勝郎, 杉本季久造, 島田洋一 : [一般講演] 麻酔導入時の Transcranial Doppler による MCA 流速の測定. 第7回日本脳・神経超音波研究会, 1988.
- 8) 紙谷裕昭, 木下隆央, 丸茂穂積, 福代泰彰, 浮谷勝郎, 内木亮介, 杉本季久造, 島田洋一, 小川龍 : [一般講演] 仰臥位妊婦の胎向による呼吸機能の変化と硬膜外麻酔による影響. 第8回日本臨床麻酔学会総会, 1988.

- 9) 浮谷勝郎, 木下隆央, 丸茂穂積, 福代泰彰, 紙谷裕昭, 内木亮介, 杉本季久造, 島田洋一, 小川龍: [一般講演] 硬膜外カテーテルの走行状態と麻酔の拡がりについて. 第8回日本臨床麻酔学会総会, 1988.
- 10) 杉本季久造, 木下隆央, 丸茂穂積, 福代泰彰, 紙谷裕昭, 浮谷勝郎, 内木亮介, 島田洋一, 小川龍: [一般講演] 硬膜外モルフィンとオピオールの差異についての検討. 第8回日本臨床麻酔学会総会, 1988.

[多摩永山病院麻酔科]

研究概要

本年度, われわの医局では, 疼痛・低血圧麻酔に関する研究を行った.

疼痛に関しては, 直腸癌に対するマイルス手術後の旧肛門部痛に対する新しいブロック法として, 尾骨神経および尾骨神経叢ブロックを考案したが, ひきつづき症例を積み重ねている.

低血圧麻酔では, ATP による低血圧麻酔時に生じる代謝性アシドーシスの成因について検討し, ATP の分解産物である尿酸, リン酸の生成と, ATP 投与による解糖系の亢進による乳酸値の上昇について報告した.

研究業績

学会発表

- 1) 斉藤敏之¹⁾, 石原之法, 山田光輝, 坂本勇二郎, 井上哲夫¹⁾, 小川龍¹⁾ (¹⁾付属病院麻酔科): [一般講演] ATP による低血圧麻酔における代謝性アシドーシスの成因について. 第35回日本麻酔学会総会, 1988.
- 2) 添野真一, 島田早苗, 山田光輝, 吉岡正智: [一般講演] 巨大食道ポリープの一症例. 第40回日本気管食道科学会, 1988.

18. 救急医学講座

[付属病院救命救急センター]

研究概要

救急医学は社会科学の側面を持ちながら自然科学の一分野として進歩を続けている。

まず、日本で最も古い救命救急センターを運営している関係から、わが国の風土・国民性にあった救急医療体制はどのようなものかという観点から研究・学会発表がなされた。

さらに、自然科学の面から多岐にわたる分野での研究・発表がなされた。心肺蘇生法は現在従来の方で良いのかどうか再検討がなされているところであり、年間300例を越える DOA (Dead on Arrival) 症例の経験をもとに当施設の考えをまとめた。

外傷は当施設の症例の半数近くを占めており、頭部・腹部・四肢の外傷に関し症例報告はもちろんのこと、経験の少ない施設に対する啓蒙のための論文も相次いで発表された。腹腔内損傷の診断のための腹腔洗浄法の意義に関しリサーチが進められ、その有用性を示すデータもまとめられた。また、腓損傷の診断における ERCP の有用性が検討され、ERCP 所見による腓損傷分類を提唱した。骨盤骨折、肝を中心とした腹部実質臓器損傷に対する経カテーテル動脈塞栓術の意義、また多発外傷に対する多部位同時手術の意義に関する研究発表も特筆される。

中毒はいまだ学問体系が完成されていない代表的分野であり、アルコール・農薬・ガス等の中毒に関し学会発表や概説・原著の発表が相次いだ。特に、クレゾール中毒に関して突っ込んだ研究がなされた。

脳死が社会問題となり、脳死を死とするか否かの議論がさかんになされており、脳死・脳蘇生研究会が発足し、数多い症例をもとに脳死患者の病態に関する報告がなされた。さらに、日本救急医学会で臓器移植の問題が取り上げられ、当施設もパネルディスカッションに参加し意見を述べている。

その他、脳血管障害、てんかん、急性腹症、ショック、呼吸不全、感染症、熱傷などさまざまな分野での研究・発表がなされた。

研究業績

論文

- 1) 木村昭夫, 黒岩明彦, 寺本明, 真柳佳昭, 岩田誠: [原著] 両耳側視野欠損を呈した転移性下垂体腫瘍の1例. *Neurol. Med. Chir.*, **28**, 1123~1127, 1988.
- 2) 安田和弘, 辺見弘, 山本保博, 黒川顕, 益子邦洋, 大塚敏文: [原著] 広範囲熱傷の初期治療から植皮まで. *日災医学会誌*, **36**, 275~281, 1988.
- 3) 辺見弘: [総説] 熱傷・電撃傷. 骨・関節・靱帯, **1**, 47~56, 1988.
- 4) 辺見弘: [総説] 局所療法. 手術, **42**, 667~674, 1988.
- 5) 安田和弘, 大塚敏文: [総説] 外傷後敗血症の原因と対策 (特集: 多発外傷—初療60分—). *臨外*, **43**, 1197~1200, 1988.
- 6) 益子邦洋, 木村昭夫, 高橋聡, 大塚敏文: [原著] 多発外傷の実態 (特集: 多発外傷—初療60分—). *臨外*, **43**, 1147~1152, 1988.
- 7) 益子邦洋, 大塚敏文: [総説] 胸・頭・腹部外傷の救急診療 (特集: 各科救急診療のポイント). *日医師会誌*, **100**, 707~710, 1988.
- 8) 黒川顕: [原著] 突然死とDOA. *日医師会誌*, **100**, 706, 1988.
- 9) 山本保博: [総説] ショックとステロイド (特集: 各科救急診療のポイント). *日医師会誌*, **100**, 715~721, 1988.

- 10) 安田和弘：〔総説〕異物. 日医師会誌, **100**, 736, 1988.
- 11) 山本保博：〔総説〕国際救護活動. 善隣, **132**, 2～6, 1988.
- 12) 山本保博：〔総説〕わが国の国際救急医療援助の将来. 医学のあゆみ, **145**, 507～509, 1988.
- 13) 黒川顕：〔原著〕呼吸器疾患の病態生理と救急処置. 月刊消防, 63～75, 1988.
- 14) 安田和弘：〔原著〕多発外傷の初期治療について；胸部外傷を中心として. 日救急医学会誌, **9**, 500～504, 1988.
- 15) 勝見敦, 辺見弘, 山本保博, 黒川顕, 益子邦洋, 安田和弘, 大友康裕, 森川雅浩, 大塚敏文：〔原著〕偶発性低体温症の検討. 日救急医学会誌, **9**, 654～655, 1988.
- 16) 中村加枝, 辺見弘, 山本保博, 黒川顕, 益子邦洋, 安田和弘, 大友康裕, 野崎益司, 長谷川雄二, 大塚敏文：〔原著〕腹腔洗浄法が診断上有用であった横隔膜損傷の2症例. 日救急医学会誌, **9**, 678～680, 1988.
- 17) 大塚敏文：〔原著〕多発性外傷に対する多部位同時手術の意義. 日本外傷研究誌, **2**, 115～118, 1988.
- 18) 山本保博, 牧野俊郎, 仁平信¹⁾, 林田真喜子¹⁾ (法医)：〔原著〕救急薬物分析としてのToxi-Lab[®]法. (特集：新しい救急処置). 救急医, **12**, 1755～1762, 1988.
- 19) 須崎紳一郎：〔総説〕液化石油ガス・天然ガス. 救急医, **12**, 1250, 1988.
- 20) 益子邦洋, 牧野俊郎, 大友康裕, 小井土雄一, 大塚敏文：〔講座〕flail chestについて. 救急医, **12**, 1631～1640, 1988.
- 21) 黒川顕：〔原著〕ホルマリン (特集：中毒). 救急医, **12**, 191～194, 1988.
- 22) 小林士郎¹⁾, 喜多村孝幸¹⁾, 横田裕行¹⁾, 中沢省三¹⁾, 矢埜正美²⁾, 大塚敏文 (脳神経外科, ²⁾麻酔科)：〔総説〕両側性外傷大脳基底核部出血の1例. 救急医, **12**, 521～523, 1988.
- 23) 山本保博：〔編集〕中毒. 救急医, **12**, 1988.
- 24) 山本保博：〔原著〕中毒治療の基本処置；腸洗浄. 下剤. 吸着剤の投与 (特徴：中毒—新しい治療指針). 救急医, **12**, 33～36, 1988.
- 25) 高橋良誌¹⁾, 益子邦洋 (聖隷浜松病院救命救急部)：〔報告〕多発外傷に合併したカンジダ敗血症の1治療例. 腫瘍と感染, **1**, 143～146, 1988.
- 26) 山本保博, 二宮宣文, 辺見弘, 大塚敏文：〔報告〕救急医療における感染合併症. 腫瘍と感染, **1**, 95～99, 1988.
- 27) 山本保博：〔報告〕代謝性疾患による昏睡. Emergency Nursing, **1**, 10～14, 1988.
- 28) 山本保博：〔総説〕アルコール・シンナー・ガス中毒, 洗剤・薬物中毒. 健康な子ども, **18**, 8～11, 1988.
- 29) 犬塚祥, 益子邦洋：〔総説〕多発外傷 (特集：ナース必携 救急マニュアル). Expert Nurse, **4**, 146～149, 1988.
- 30) 高橋聡, 益子邦洋：〔総説〕経管チューブに起因する合併症とその対策 (特集：看護のための特殊栄養マニュアル). 看護, **34**, 667～669, 1988.
- 31) 富岡譲二, 益子邦洋：〔総説〕栄養吸収不全患者 (特集：看護のための特殊栄養マニュアル). 看護, **34**, 706～709, 1988.
- 32) 小井土雄一, 益子邦洋：〔総説〕肺塞栓症による呼吸困難とショック (特集：重症患者のモニタリング). 臨看, **14**, 682～688, 1988.
- 33) 黒川顕：〔原著〕視診・触診・聴診とバイタルサイン. 臨看, **14**, 591～597, 1988.
- 34) 黒川顕, 大塚敏文：〔原著〕DOA (特集：救急患者のプライマリーケア). 外科診療, **30**, 737～743, 1988.
- 35) 山本保博：〔原著〕国際緊急医療体制とわが国の対応 (特集：救急医療は変わる). 医療 '88, **4**, 39～41, 1988.
- 36) 山本保博：〔総説〕化学薬品による中毒 (酸・アルカリなど). 小児内科, **20**, 582～584, 1988.
- 37) 山本保博, 鶴飼卓¹⁾, 岡田芳明²⁾, 遅塚令二³⁾, 山下衡⁴⁾, 吉岡敏治⁵⁾ (千里救命救急センター, ²⁾防衛医大救急部, ⁴⁾福岡徳州会病院, ⁴⁾筑波大陽麻酔科, ⁵⁾阪大救急医学)：〔総説〕全国アンケートによる急性中毒物質について

- の調査. 中毒研究, 1, 193~196, 1988.
- 38) 山本保博:〔総説〕中毒における救急処置. 中毒医学読本, 増刊20, 49~54, 1988.
- 39) 大塚敏文:〔総説〕救急医療を考える;三次救急医療の立場から. 東京医師会誌, 41, 761, 1988.
- 40) 山本保博, 長谷川雄二, 森川雅浩, 富岡譲二, 大友康裕, 大塚敏文:〔原著〕外傷性ショックにおける循環動態の変動とモニタリング. 日本ショック学会雑誌, 3, 21~23, 1988.
- 41) 山本保博, 大塚敏文:〔総説〕多臓器不全の臨床検査. 臨検, 32, 987~992, 1988.
- 42) 野崎益司, 益子邦洋, 須崎紳一郎, 吉田竜介, 大友康裕¹⁾, 金成秀生, 大塚敏文, 小泉潔¹⁾, 小坂真一¹⁾, 山手昇¹⁾, 庄司佑¹⁾ (¹⁾胸部外科):気道再術後に吻合部狭窄を来した再手術を要した右主気管支損傷の1例. 9, 76~77, 1988.
- 43) 平間久雄, 吉田竜介, 犬塚祥, 辺見弘, 山本保博, 黒川顕, 牧野俊郎, 小井土雄一, 坂田修一, 大塚敏文:〔原著〕低体温を伴ない, 心停止状態に陥った1溺水症例. 日救急医学会誌, 9, 198~200, 1988.
- 44) 木村昭夫, 金城秀成, 須崎紳一郎, 黒川顕, 山本保博, 大塚敏文, 岩崎康孝¹⁾, 横田裕行²⁾, (¹⁾神経科, ²⁾脳神経外科):〔原著〕脳死判定後異常体動を示した1長期生存例. 日救急医学会誌, 9, 322~323, 1988.
- 45) 長谷川雄二, 黒川顕, 横田裕行, 水成隆之, 小井土雄一, 木村昭夫, 中村加枝, 石橋励, 大塚敏文:〔原著〕最近経験した外傷性内頸動脈閉塞症の2例. 日救急医学会誌, 9, 330~331, 1988.
- 46) 益子邦洋:〔総説〕交通事故;ハンドル・シートベルト (特集:救急事典). 総合臨, 37, 1649~1651, 1988.
- 47) 辺見弘:〔総説〕化学物質による損傷. 総合臨, 37, 473~475, 1988.
- 48) 黒川顕:〔原著〕家庭用品による中毒 (救命救急 7. 中毒). 総合臨, 37 (増刊号), 550~554, 1988.
- 49) 黒川顕:〔原著〕動・植物による中毒 (救命救急 7. 中毒). 総合臨, 37 (増刊号), 555~557, 1988.
- 50) 辺見弘, 大塚敏文:〔総説〕熱傷. 臨と研, 65, 98~103, 1988.
- 51) 黒川顕:〔原著〕救急隊員の心肺蘇生治療をめぐる. 総合臨, 38, 35~38, 1988.
- 52) 益子邦洋:〔話題〕偶発性低体温症と予後;死亡が確認されるまでは徹底的に蘇生法を続ける. 医のあゆみ, 147, 109, 1988.
- 53) 山本保博:〔総説〕救急薬品 (特集:老年者の救急—1). 老年医学, 26, 35~39, 1988.
- 54) 大塚敏文:〔総説〕救急薬品;救急に必要な手技・手段. 老年医学, 26, 491, 1988.
- 55) 須崎紳一郎:〔総説〕外傷. 腎と透析, 25 (臨時増刊), 479, 1988.
- 56) 大友康裕:〔総説〕病態別救急患者の治療とケアのポイント;多発外傷. 月刊ナーシング, 9, 12~13, 1989.
- 57) 吉田竜介:〔総説〕DOA (来院時心肺停止状態). 月刊ナーシング, 9, 254~255, 1989.
- 58) 安田和弘:〔総説〕熱傷. 月刊ナーシング, 9, 246~247, 1989.
- 59) 益田邦洋:〔総説〕搬入患者の緊急性の程度を知るための全身観察と評価の手順 (特集:救急看護を考える). 月刊ナーシング, 9, 242~243, 1989.
- 60) 黒川顕:〔原著〕DOAの定義と実態. Emergency Nursing, 1 (4), 12~16, 1988.
- 61) 益田邦洋:〔総説〕多発外傷の定義と部位別予後. Emergency Nursing, 2 (1), 10~14, 1989.
- 62) 益田邦洋:〔総説〕Do & Don't;ショック. Mod. Physician, 9, 363, 1989.
- 63) 黒川顕, 大塚敏文:〔原著〕6. 外傷 (特集:特殊病態にみるARDS). 肺と心, 36, 80~84, 1989.
- 64) 益田邦洋:〔話題〕外傷患者の低体温. 医のあゆみ, 148, 472, 1989.
- 65) 吉田竜介, 安田和弘:〔総説〕各種ドレーンからのモニタリング. エキスパートナース, 5, 144~149, 1989.
- 66) 山本保博, 上嶋権兵衛:〔総説〕ARDSの診断と治療 (医学講座対談集). 日医師会誌, 101, 84~90, 1989.
- 67) 山本保博:〔総説〕バラコート中毒と急性呼吸不全 (医学講座対談集). 日医師会誌, 101, 91, 1989.
- 68) 山本保博:〔総説〕毒物嚥下;酸とアルカリを中心として (特集:消化器急性症の診療). 総合臨, 38, 538~540,

1989.

- 69) 山本保博, 大塚敏文: [総説] 重症患者のモニター; ショック患者を中心として. からだの科学, No. 145, 7~11, 1989.
- 70) 石田認治¹⁾, 森岡亨²⁾, 藤井千秋³⁾, 中沢博之⁴⁾, 三井香児⁵⁾, 山本保博, 藤村正治⁶⁾ (¹⁾兵庫医大救急部, ²⁾熊大麻酔科, ³⁾川崎医大救急医学, ⁴⁾千葉大学救急部, ⁵⁾東大救急部, ⁶⁾大阪府立母子保健総合医療センター新生児科): [総説] 救急蘇生法の指針. 救急医, 12, 488~544, 1989.
- 71) 大塚敏文, 山本保博: [総説] ICU・CCUの温湿度・清浄度(病院の空気調和シリーズ). 病院設備シリーズ4, 病院設備, 30, 59~63, 1989.
- 72) 益子邦洋, 吉田竜介, 高橋良誌¹⁾, 石橋励, 中山禎司²⁾, 外山香澄²⁾, 中山耕作²⁾, (¹⁾聖隷浜松病院救急部, ²⁾同脳神経外科): [原著] 二次救急医療施設における救急部の存在意義. 救急医, 臨増, 118~119, 1989.
- 73) 益子邦洋, 辺見弘, 山本保博, 黒川顕, 小関英, 安田和弘, 須崎紳一郎, 吉田竜介, 大友康裕, 大塚敏文: [原著] 腹腔内大量出血に対するショックパンツおよび胸部大動脈遮断術の意義. 救急医, 臨増, 177~179, 1989.
- 74) 遠藤正宏¹⁾, 須崎紳一郎, 安田和弘, 山本保博, 大塚敏文 (¹⁾関東労災病院麻酔科): [報告] 重症有機リン中毒における循環動態の検討; 2 治験例から. ICUとCCU, 13, 451~455, 1989.

著 書

- 1) 須崎紳一郎: [分担] 覚醒剤中毒. “今日の診断指針 第2版”, p. 1170, 医学書院, 1988.
- 2) 黒川顕: [分担] 蛇咬症. “集中治療医学大系 IV”(天羽敬祐編集), p. 303~305, 朝倉書店, 1988.
- 3) 黒川顕: [分担] サルチル酸系薬剤過剰摂取. “集中治療医学大系 IV”(天羽敬祐編集), p. 305~308, 朝倉書店, 1988.
- 4) 黒川顕: [分担] 毒キノコ中毒. “集中治療医学大系 IV”(天羽敬祐編集), p. 308~309, 朝倉書店, 1988.
- 5) 須崎紳一郎: [翻訳] 多発外傷患者の初療. “救急外来マニュアル”(山本保博, 上嶋権兵衛 監訳), p. 265~271, メディカルサイエンスインターナショナル, 1988.
- 6) 須崎紳一郎: [翻訳] 頭・頸部および顔面外傷. “救急外来マニュアル”(山本保博, 上嶋権兵衛 監訳), p. 273~284, メディカルサイエンスインターナショナル, 1988.
- 7) 須崎紳一郎: [翻訳] 眼科外傷. “救急外来マニュアル”(山本保博, 上嶋権兵衛 監訳), p. 285~289, メディカルサイエンスインターナショナル, 1988.
- 8) 須崎紳一郎: [翻訳] 胸部外傷. “救急外来マニュアル”(山本保博, 上嶋権兵衛 監訳), p. 291~303, メディカルサイエンスインターナショナル, 1988.
- 9) 須崎紳一郎: [翻訳] 腹部外傷. “救急外来マニュアル”(山本保博, 上嶋権兵衛 監訳), p. 305~308, メディカルサイエンスインターナショナル, 1988.
- 10) 須崎紳一郎: [翻訳] 泌尿生殖器外傷. “救急外来マニュアル”(山本保博, 上嶋権兵衛 監訳), p. 309~310, メディカルサイエンスインターナショナル, 1988.
- 11) 黒川顕: [翻訳] 咬傷と刺虫症. “救急外来マニュアル”(山本保博, 上嶋権兵衛 監訳), p. 367~377, メディカルサイエンスインターナショナル, 1988.
- 12) 黒川顕: [翻訳] 幼児虐待. “救急外来マニュアル”(山本保博, 上嶋権兵衛 監訳), p. 379~381, メディカルサイエンスインターナショナル, 1988.
- 13) 黒川顕: [翻訳] 救急分娩. “救急外来マニュアル”(山本保博, 上嶋権兵衛 監訳), p. 384~385, メディカルサイエンスインターナショナル, 1988.
- 14) 黒川顕: [翻訳] 潜水の事故. “救急外来マニュアル”(山本保博, 上嶋権兵衛 監訳), p. 387~388, メディカ

ル サイエンス インターナショナル, 1988.

- 15) 黒川顕：〔翻訳〕電撃傷。“救急外来マニュアル”（山本保博，上嶋権兵衛 監訳），p. 389～391，メディカルサイエンス インターナショナル，1988.
- 16) 黒川顕：〔翻訳〕高山病。“救急外来マニュアル”（山本保博，上嶋権兵衛 監訳），p. 393～396，メディカルサイエンス インターナショナル，1988.
- 17) 黒川顕：〔翻訳〕溺水。“救急外来マニュアル”（山本保博，上嶋権兵衛 監訳），p. 397～399，メディカルサイエンス インターナショナル，1988.
- 18) 黒川顕：〔翻訳〕中毒Ⅰ～ⅡC。“救急外来マニュアル”（山本保博，上嶋権兵衛 監訳），p. 401～417，メディカルサイエンス インターナショナル，1988.
- 19) 山本保博：〔翻訳〕中毒ⅡD～ⅡO。“救急外来マニュアル”（山本保博，上嶋権兵衛 監訳），p. 417～454，メディカルサイエンス インターナショナル，1988.
- 20) 山本保博：〔翻訳〕放射線障害と被曝。“救急外来マニュアル”（山本保博，上嶋権兵衛 監訳），p. 455～466，メディカルサイエンス インターナショナル，1988.
- 21) 山本保博：〔翻訳〕性的暴力。“救急外来マニュアル”（山本保博，上嶋権兵衛 監訳），p. 467～472，メディカルサイエンス インターナショナル，1988.
- 22) 山本保博：〔翻訳〕煙の吸入。“救急外来マニュアル”（山本保博，上嶋権兵衛 監訳），p. 473～475，メディカルサイエンス インターナショナル，1988.
- 23) 山本保博：〔翻訳〕自殺。“救急外来マニュアル”（山本保博，上嶋権兵衛 監訳），p. 477～，メディカルサイエンス インターナショナル，1988.
- 24) 山本保博，上嶋権兵衛：〔監訳〕救急外来マニュアル。メディカルサイエンス インターナショナル，1988.
- 25) 山本保博：〔分担〕泥酔者の対策。“小外科マニュアル”（出月康夫，桜井健司監修），p. 444，日本医師会，1988.
- 26) 大塚敏文：〔分担〕DOA の処置。“小外科マニュアル”（出月康夫，桜井健司監修），p. 130，日本医師会，1988.
- 27) 山本保博，大塚敏文：〔分担〕出血性ショック時の輸血。“輸液療法”，p. 56～62，金原出版，1988.
- 28) 山本保博：〔分担〕救急薬品の使用法。“救急事典”，p. 88～90，永井出版，1988.
- 29) 山本保博：〔分担〕凍傷。“救急事典”，p. 466，永井出版，1988.
- 30) 山本保博：MEMO 中毒・物理的原因による疾患。文光堂，1988.
- 31) 辺見弘：〔分担〕熱傷の代謝異常管理。“集中治療医学大系 V”，p. 169～178，朝倉書店，1988.
- 32) 大塚敏文：〔分担〕脂肪塞栓の病態と治療。“急性循環不全の病態と治療”，p. 13～16，メデカルトリビューン，1988.
- 33) 黒川顕，大塚敏文：〔分担〕救命救急処置。“新臨床外科学 第2版”（中村紀夫，阿部令彦，堀原一 監修），p. 121～132，医学書院，1989.
- 34) 山本保博：〔分担〕骨盤骨折。“新臨床外科学 第2版”（中村紀夫，阿部令彦，堀原一 監修），p. 950～954，医学書院，1989.
- 35) 山本保博：〔分担〕多発外傷。“新臨床外科学 第2版”（中村紀夫，阿部令彦，堀原一 監修），p. 954～956，医学書院，1989.
- 36) 山本保博：〔分担〕四肢外傷。“新臨床外科学 第2版”（中村紀夫，阿部令彦，堀原一 監修），p. 956～958，医学書院，1989.
- 37) 松井一成：〔分担〕産婦人科疾患と小児疾患の救急場合とその対処。“看護診断とケアプラン 救命救急患者のケア 15”，p. 133～143，Nursing Select 出版研，1989.
- 38) 黒川顕：〔分担〕4）脳外科疾患，脳外科疾患の急変場面。“看護診断とケアプラン 救命救急患者のケア 15”，p. 65～77，Nursing Select 出版研，1989.

- 39) 黒川顕：〔分担〕6)呼吸器系疾患，呼吸器系疾患の急変場面．“看護診断とケアプラン 救命救急患者のケア 15”，p. 103～111，Nursing Select 出版研，1989.
- 40) 黒川顕：〔分担〕救急・損傷時の診察．1．救急時の診察．“最新医学知識の整理 プルミエ医学・医療総論 V．診察・診断”，p. 121～129，医歯薬出版，1989.
- 41) 黒川顕：〔分担〕救急・損傷時の診察．2．外傷時の診察．“最新医学知識の整理 プルミエ医学・医療総論 V．診察・診断”，p. 130～142，医歯薬出版，1989.
- 42) 黒川顕：〔分担〕救急・損傷時の診察．3．熱傷時の診察．“最新医学知識の整理 プルミエ医学・医療総論 V．診察・診断”，p. 143，医歯薬出版，1989.
- 43) 益子邦洋：〔分担〕骨盤骨折．救急治療．“今日の治療指針 1989”（日野原重明，阿部正和監修），p. 31～32，医学書院，1989.
- 44) 益子邦洋：〔分担〕ショックパンプ；治療手技．“今日の治療指針 1989”（日野原重明，阿部正和監修），p. 100～101，医学書院，1989.
- 45) 辺見弘：〔分担〕脊椎損傷；救急治療．“今日の治療指針 1989”（日野原重明，阿部正和監修），p. 21～22，医学書院，1989.
- 46) 須崎紳一郎：〔分担〕有機溶剤中毒；中毒性疾患．“今日の治療指針 1989”（日野原重明，阿部正和監修），p. 119～120，医学書院，1989.
- 47) 山本保博：〔分担〕突然の呼吸困難；救急治療．“今日の治療指針 1989”（日野原重明，阿部正和監修），p. 8～9，医学書院，1989.
- 48) 黒川顕：〔分担〕突然の意識障害；救急治療．“今日の治療指針 1989”（日野原重明，阿部正和監修），p. 5～7，医学書院，1989.
- 49) 小関一英：〔分担〕皮膚損傷；救急治療．“今日の治療指針 1989”（日野原重明，阿部正和監修），p. 30，医学書院，1989.
- 50) 山本保博：〔分担〕静脈路が確保できないとき．“外科合併症 Decision Making”，p. 118～119，医学書院，1989.

学会発表

- 1) 益子邦洋，湯浅洋司，牧野俊郎，辺見弘，山本保博，小関一英，安田和弘，須崎紳一郎，松井一成，大塚敏文：〔一般講演〕胸部刺創の外科治療における問題点；136例の経験から．第88回日本外科学会総会，1988.
- 2) 北村昭夫，辺見弘，益子邦洋，山本保博，大塚敏文：〔一般講演〕多発外傷に対する多部位同時手術の意義．第88回日本外科学会総会，1988.
- 3) 須崎紳一郎，安田和弘，小関一英，益子邦洋，辺見弘，山本保博，大塚敏文：〔一般講演〕鈍的肝外傷に対するTAEの適応と意義；とくに非開腹例について．第88回日本外科学会総会，1988.
- 4) 山本保博，長谷川雄二，森川雅浩，富岡譲二，大友康裕，大塚敏文：〔シンポジウム〕外傷性ショックにおける循環動態の変動とモニタリング（ショックとモニタリング）．第3回日本Shock学会総会，1988.
- 5) 大塚敏文：〔会長講演〕重度外傷に対する多部位同時手術の意義．第2回日本外傷研究会，1988.
- 6) 金成秀生，辺見弘，山本保博，益子邦洋，安田和弘，横田裕行，森川雅浩，大塚敏文：〔一般講演〕横隔膜損傷に起因した心嚢内ヘルニアの1治検例．第2回日本外傷研究会，1988.
- 7) 北村昭夫，牧野俊郎，益子邦洋，辺見弘，大塚敏文：〔一般講演〕重傷胸腹部多発外傷における予後判別要因について．第2回日本外傷研究会，1988.
- 8) 石橋励¹⁾，牧野俊郎¹⁾，北村昭夫¹⁾，勝見敦，安田和弘（¹⁾総合会津中央病院救命救急センター）：〔一般講演〕高齢者多発外傷の検討．第2回日本外傷研究会，1988.

- 9) 小井土雄一, 辺見弘, 山本保博, 安田和弘, 須崎紳一郎, 大友康裕, 富岡譲二, 森川雅浩, 大塚敏文: [シンポジウム] 脾損傷とその手術適応, 多発外傷における脾損傷治療に関する検討. 第2回日本外傷研究会, 1988.
- 10) 水成隆之¹⁾, 横田裕行¹⁾, 小林士郎¹⁾, 中沢省三¹⁾, 小井土雄一, 黒川顕, 大塚敏文 (¹⁾脳神経外科): [一般講演] 外傷性小脳内血腫の検討. 第2回日本外傷研究会, 1988.
- 11) 大塚祥, 安田和弘, 富岡譲二, 須崎紳一郎, 肥沼正明, 黒川顕, 山本保博, 辺見弘, 大塚敏文: [一般講演] 骨盤骨折患者におけるビリルビン値の変動. 第2回日本外傷研究会, 1988.
- 12) 山本保博, 大塚敏文: [パネルディスカッション—特別発言] 広範囲熱傷の鍵は創感染の予防. 第14回日本熱傷学会. 1988.
- 13) 戸佐真弓, 辺見弘, 山本保博, 益子邦洋, 安田和弘, 黒川顕, 木村昭夫, 大塚敏文: [シンポジウム追加発言] 気道熱傷時の血中COヘモグロビン値とその予後について. 第14回日本熱傷学会. 1988.
- 14) 安田和弘, 辺見弘, 山本保博, 黒川顕, 益子邦洋, 須崎紳一郎, 戸佐真弓, 大塚敏文: [パネルディスカッション] 広範囲熱傷患者の感染対策; 早期移植を中心に. 第14回日本熱傷学会. 1988.
- 15) 須崎紳一郎, 小井土雄一, 富岡譲二, 辺見弘, 山本保博, 大塚敏文: [一般講演] 広範囲熱傷における抗生物質の創部水症内以降に関する研究. 第14回日本熱傷学会. 1988.
- 16) 安田和弘: [シンポジウム] 多発外傷の初期治療について胸部を中心にして. 第25回日本救急医学会関東地方会, 1988.
- 17) 中村加枝, 辺見弘, 山本保博, 黒川顕, 益子邦洋, 安田和弘, 大友康裕, 野崎益司, 長谷川雄二, 大塚敏文: [一般講演] 腹腔洗浄法が診断上有用であった横隔膜損傷の2症例. 第25回日本救急医学会関東地方会, 1988.
- 18) 勝見敦, 辺見弘, 山本保博, 益子邦洋, 安田和弘, 大友康裕, 森川雅浩, 大塚敏文: [一般講演] 偶発性低体温症の検討. 第25回日本救急医学会関東地方会, 1988.
- 19) 南正康¹⁾, 高橋真利子¹⁾, 真鍋明子¹⁾, 須崎紳一郎, 山本保博, 大塚敏文 (¹⁾衛生・公衆衛生): [シンポジウム] 救命救急センターにおける産業中毒迅速分析と定量化の意義. 第10回中毒研究会, 1988.
- 20) 勝見敦, 山本保博, 須崎紳一郎, 岩崎康孝¹⁾, 黒沢尚¹⁾ (¹⁾神経科): [シンポジウム] 中毒による自殺未遂患者の医療仕事量の検討. 第10回中毒研究会, 1988.
- 21) 仁平信¹⁾, 平川慶子¹⁾, 林田真喜子¹⁾, 渡辺日章¹⁾, 須崎紳一郎, 山本保博 (¹⁾法医): [一般講演] 核磁気共鳴法による有機リン農薬の分析法. 第10回中毒研究会, 1988.
- 22) 須崎紳一郎, 山本保博, 林田真喜子¹⁾, 仁平信¹⁾, 渡辺日章¹⁾ (¹⁾法医): [一般講演] 急性薬物中毒, 多剤併用例の薬物血中濃度の経時的变化. 第10回中毒研究会, 1988.
- 23) 森川雅浩, 山本保博, 勝見敦, 横田裕行, 須崎紳一郎, 南正康¹⁾ (¹⁾衛生・公衆衛生): [一般講演] 交換輸血を用いて救命し得た急性クレゾール中毒の一例. 第10回中毒研究会, 1988.
- 24) 富岡譲二, 山本保博, 須崎紳一郎, 山中すみへ¹⁾, 西村正雄 (¹⁾東京歯科大学衛生): [一般講演] 有機リン中毒者における血漿chE活性とAChE活性との相関. 第10回中毒研究会, 1988.
- 25) 高橋聡¹⁾, 坂田修一¹⁾, 平間久雄¹⁾, 木村明夫¹⁾, 牧野俊郎¹⁾, 蛭田芳文¹⁾, 菅桂一¹⁾, 阿久津功¹⁾, 須崎紳一郎, 安田和弘, 大塚敏文 (¹⁾総合会津中央病院救命救急センター): [一般講演] 当施設におけるパラコート中毒治療の現状と今後の展望. 第10回中毒研究会, 1988.
- 26) 大塚祥, 安田和弘, 横田裕行, 遠藤正宏, 大塚敏文: [一般講演] 脳死患者における消費熱量の検討. 第1回脳死・脳蘇生研究会, 1988.
- 27) 横田裕行, 木村昭夫, 小井土雄一, 山本保博, 大塚敏文, 小林士郎¹⁾ (¹⁾脳神経外科): [一般講演] 脳死患者における視床下部ホルモン. 第1回脳死・脳蘇生研究会, 1988.
- 28) 木村昭夫, 岩崎康孝, 金成秀成, 横田裕行, 大塚敏文: [一般講演] 脳死判定後長期心停止に陥らなかった一症

- 例. 第1回脳死・脳蘇生研究会, 1988.
- 29) 吉田竜介, 高橋良誌¹⁾, 益子邦洋, 石橋励, 前田稔廣, 中山耕作¹⁾ (¹⁾聖隷浜松病院救命救急部): [一般講演] 最近経験した下肢動脈損傷の2症例. 第24回中部外科学会総会, 1988.
 - 30) 黒川顕, 山本保博: [教育講演] 農薬中毒の診断と初期治療. 第37回日本農村医学会総会, 1988.
 - 31) 石橋励, 益子邦洋, 吉田竜介, 高橋良誌¹⁾, 前田稔廣 (¹⁾聖隷浜松病院救命救急部): [一般講演] 出血性ショックと腹膜炎を伴った腹部多発刺創の1治療例. 静岡県外科医会第147回集談会, 1988.
 - 32) 吉田竜介, 益子邦洋, 高橋良誌¹⁾, 石橋励, 中山耕作¹⁾ (¹⁾聖隷浜松病院救命救急部): [一般講演] 尿管S状結腸吻合術後に陥った重症低K血症の1治療例. 第5回東海救急医学会総会, 1988.
 - 33) 高橋良誌¹⁾, 益子邦洋, 吉田竜介, 石橋励, 小川理郎 (¹⁾聖隷浜松病院救命救急部): [一般講演] 昏睡状態に陥った2-4D中毒の一例. 第5回東海救急医学会総会, 1988.
 - 34) 石橋励, 益子邦洋, 吉田竜介, 高橋良誌¹⁾, 中山耕作 (¹⁾聖隷浜松病院救命救急部): [一般講演] 脊髄損傷を伴ったCrush syndromeの一治療例. 第5回東海救急医学会総会, 1988.
 - 35) 益子邦洋, 辺見弘, 山本保博, 黒川顕, 小関一英, 安田和弘, 吉田竜介, 富岡譲二, 大塚敏文: [一般講演] 胸骨骨折の臨床; 病態と外科的固定術の意義を中心に. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
 - 36) 辺見弘, 大塚敏文: [パネルディスカッション] 早期焼痂と同時植皮. 第50回日本臨床外科医学会総会, 1988.
 - 37) 長谷川雄二, 上野孝, 木村昭夫, 本間正人, 牧野俊郎: [一般講演] 鈍的腹部外傷非開腹例におけるMRIの検討. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
 - 38) 益子邦洋, 吉田竜介, 高橋良誌¹⁾, 石橋励, 中山禎司¹⁾, 外山香澄¹⁾, 中山耕作¹⁾ (¹⁾聖隷浜松病院救命救急部): [パネルディスカッション] 二次救急医療施設における救急部の存在意識. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
 - 39) 益子邦洋, 辺見弘, 山本保博, 黒川顕, 小関一英, 安田和弘, 須崎紳一郎, 吉田竜介, 大友康裕, 大塚敏文: [会話指名講演] 腹腔内大量出血に対するショックパンツおよび胸部大動脈遮断術の意義. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
 - 40) 益子邦洋, 辺見弘, 大塚敏文, 本多一義¹⁾, 隅崎達夫¹⁾, 恵畑欣一¹⁾, 吉田竜介²⁾, 高橋良誌²⁾, 深谷哲昭, (¹⁾付属病院放射線科, ²⁾聖隷浜松病院救命救急部): [一般講演] 重度骨盤骨折に対する経カテーテル動脈塞栓術(TAE)の新たな問題点. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
 - 41) 黒沢尚¹⁾, 大塚敏文, 山本保博, 小林国男²⁾, 岩崎益美³⁾, (¹⁾神経科, ²⁾帝京大救命救急センター, ³⁾東京都医師会): [一般講演] 合併症を有する救急患者の取り扱いについて. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
 - 42) 吉田竜介, 高橋良誌¹⁾, 益子邦洋, 中村雄幸²⁾, 金子裕一²⁾, 芋川英紀²⁾, 大塚敏文 (¹⁾聖隷浜松病院救命救急部, ²⁾同整形外科): [一般講演] 案通性脛部損傷例の臨床的検討. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
 - 43) 高橋良誌¹⁾, 益子邦洋, 吉田竜介, 外山香澄²⁾, 伊藤龍彦²⁾, 小豆原秀貴²⁾, 中山禎司²⁾ (¹⁾聖隷浜松病院救命救急部, ²⁾同脳神経外科): [一般講演] 中枢神経外傷におけるMRIの有用性について. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
 - 44) 高橋良誌¹⁾, 吉田竜介, 益子邦洋, 中山耕作¹⁾, 池野静男²⁾, 太田詩郎²⁾ (¹⁾聖隷浜松病院救命救急部, 同施設科): [一般講演] 少人数救急部のための新しいホットライン受信システム. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
 - 45) 黒川顕, 水成隆光, 小井土雄一, 山本保博, 辺見弘, 大塚敏文: [一般講演] CTXの髄液移行性について. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
 - 46) 黒川顕, 横田裕行¹⁾, 水成隆光, 大塚敏文 (¹⁾目白第二病院脳神経外科): [一般講演] 救命救急センターにおけるクモ膜下出血症例の検討. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
 - 47) 大友康裕, 辺見弘, 山本保博, 益子邦洋, 安田和弘, 小井土雄一, 勝見敦, 野崎益司, 平間久雄, 大塚敏文: [一般講演] 腹部鈍的外傷におけるPeritoneal tap and lavage法の有用性および問題点. 第16回日本救急医学会総会, 1988.

- 48) 松井一成, 辺見弘, 山本保博, 黒川顕, 安田和弘, 須崎紳一郎, 金成秀生, 平間久雄, 大塚敏文: [一般講演] Air rescue の現状と問題点. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
- 49) 須崎紳一郎, 富岡譲二, 犬塚祥, 山本保博, 大塚敏文, 林田真喜子¹⁾, 守谷直樹¹⁾, 仁平信¹⁾, 渡辺日章¹⁾ (¹⁾法医): [一般講演] 飲酒後の外傷に及ぼす血中アルコール濃度の影響. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
- 50) 森川雅浩, 山本保博, 須崎紳一郎, 勝見敦, 大塚敏文, 仁平信¹⁾, 南正康²⁾ (¹⁾法医, ²⁾衛生・公衆衛生): [一般講演] 急性クレゾール中毒の検討. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
- 51) 大塚祥, 安田和弘, 辺見弘, 山本保博, 黒川顕, 大塚敏文: [一般講演] 外傷患者におけるビリルビン値の検討; 重症骨盤骨折を中心に. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
- 52) 加藤一良, 黒川顕, 山本保博, 辺見弘, 大塚敏文, Lynch, S.¹⁾, Kerlin, P.¹⁾, Powell, L.¹⁾, Patrick, M.¹⁾, Ong, T. H.¹⁾, Strohg, R.¹⁾ (¹⁾Queensland Liver Transplant Unit): [パネルディスカッション] 救急医療と臓器移植; 肝移植の立場から. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
- 53) 安田和弘, 辺見弘, 山本保博, 黒川顕, 須崎紳一郎, 大塚祥, 石橋励, 中村加枝, 大塚敏文: [一般講演] 外傷患者における重症度の検討; 腹部外傷・骨盤骨折を中心に. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
- 54) 勝見敦, 辺見弘, 山本保博, 黒川顕, 益子邦洋, 安田和弘, 大友康裕, 森川雅浩, 大塚敏文: [一般講演] 偶然性低体温症の検討. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
- 55) 岩崎康孝¹⁾, 黒沢尚¹⁾, 遠藤俊吉¹⁾, 黒川顕, 大塚敏文 (¹⁾神経科): [一般講演] 救急施設に収容されるてんかん重積患者について; その治療. 第16回日本救急医学会総会, 1988.
- 56) 山本保博: [一般講演] 現地のニーズからみた医療援助の問題. 第3回日本国際保健医療学会, 1988.
- 57) Yamamoto, Y.: [Tutorial Lecture] Nosocomial infection and managing sepsis. 31st Annual Hawaii Seminar of University of Southern California, 1988.
- 58) 山本保博: [パネルディスカッション] 日本政府による災害時医療協力と将来の問題. アジア太平洋大災害医療会議, 1988.
- 59) 山本保博: [一般講演] What is the real cause of Nyos lake gas disaster in the Cameroon? アジア太平洋大災害医療会議, 1988.
- 60) 森川雅浩: [一般講演] Experience of Ajibar drought victim's hospital in Northan Ethiopia. アジア太平洋大災害医療会議, 1988.
- 61) 池田亮, 辺見弘, 山本保博, 黒川顕, 松田潔, 加藤和義, 大塚敏文: [一般講演] 潜涵病による呼吸不全の治療中活動性結核と判明した1症例. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 62) 松田潔, 辺見弘, 山本保博, 安田和弘, 小井土雄一, 坂田修一, 大塚敏文: [一般講演] 腹腔内膿瘍を合併した急性壊死性膵炎の1治験例. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.
- 63) 大友康裕, 辺見弘, 山本保博, 益子邦洋, 安田和弘, 小井土雄一, 勝見敦, 中村加枝, 森川雅浩, 大塚敏文: [ポスターシンポジウム] 腹部鈍的外傷における Peritoneal tap and lavage 法の有用性および問題点. 第11回日本腹部救急診察研究会, 1988.
- 64) 平間久雄, 小川理郎, 高橋良誌¹⁾, 吉田竜介, 須崎紳一郎, 益子邦洋 (¹⁾聖隷浜松病院・救急部): [一般講演] 最近経験した膀胱破裂の2例. 静岡外科医会第144回集談会, 1988.
- 65) Yamamoto, Y., Morikawa, M., Ohtomo, Y., Yasuda, K., Henmi, H. and Otsuka, T.: [一般講演] Infectious complications on extensive burn patients. The XXXIV Annual Congress of Japanese Section International College of Surgeons, 1988.
- 66) 大塚敏文: [シンポジウム] 臓器移植と臓器提供の現場を考える; 臓器提供の立場から. 第25回日本移植学会, 1988.

- 67) 山本保博：〔教育講座〕敗血症，DICMOF などの熱傷合併症の治療。昭和63年度日本熱傷協会セミナー，1989.
- 68) 南正康¹⁾，高橋真利子¹⁾，真鍋明子¹⁾，山本保博，須崎紳一郎，大塚敏文（¹⁾衛生・公衆衛生）：〔一般講演〕労働現場での有機溶剤（トルエン）急性中毒症例の尿中馬尿酸値と意識の関係。第3回日本中毒研究会東日本本部会，1989.
- 69) 山本保博：〔講義・実習〕レスピレーターの使用法。第14回救急医学セミナー，1989.
- 70) 山本保博：〔トピックス〕脳死。第14回救急医学セミナー，1989.
- 71) Suzuki, S., Yamamoto, Y., Otsuka, T., Hayashida, M., Nihira, M., Watanabe, T.：〔一般講演〕Effect of alcohol intoxication on trauma patients in Critical Care Medical Center in Tokyo. 5th Congress of WPACCM-ANZIC, 1989.
- 72) 坂田修一，辺見弘，山本保博，黒川顕，益子邦洋，安田和弘，須崎紳一郎，松井一成，岩間裕，森川雅浩，平間久雄，大塚敏文：〔一般講演〕肝損傷治療における TAE の問題点。第26回日本救急医学会関東地方会，1989.
- 73) 本間正人，辺見弘，山本保博，黒川顕，益子邦洋，安田和弘，吉田竜介，犬塚祥，松田潔，加地正人，大塚敏文，久志本茂樹，牧野俊郎：〔一般講演〕ERCP を施行した脾損傷症例の検討。第26回日本救急医学会関東地方会，1989.
- 74) 西沢健司¹⁾，平野公晟¹⁾，原田香里¹⁾，辺見弘，大塚敏文（付属病院薬剤部）：〔一般講演〕救命救急センターにおける専属薬剤師の役割。第26回日本救急医学会関東地方会，1989.
- 75) 百瀬文教，辺見弘，山本保博，黒川顕，益子邦洋，安田和弘，水成隆光，中村加枝，金成秀生，前田稔廣，大塚敏文：〔一般講演〕橋出血症例の検討。第26回日本救急医学会関東地方会，1989.
- 76) 清水博，辺見弘，黒川顕，益子邦洋，松田潔，坂田修一，大塚敏文，大矢徹，隅崎達夫：〔一般講演〕大量出血をきたした顔面脛部巨大血管腫の1例，第26回日本救急医学会関東地方会，1989.
- 77) 岩崎康孝¹⁾，黒澤尚¹⁾，遠藤俊吉¹⁾，黒川顕，大塚敏文（¹⁾神経科）：〔一般講演〕救急施設に収容されるてんかん重積患者について。第二報 その治療と予後。第26回日本救急医学会関東地方会，1989.
- 78) 上野孝，辺見弘，山本保博，黒川顕，益子邦洋，安田和弘，長谷川雄二，野崎益司，坂田修一，小川理郎，大塚敏文：〔一般講演〕心肺蘇生装置の有効性の検討；米国 MII 社製 THUMPER MODEL 1005 の使用経験に基づいて。第26回日本救急医学会関東地方会，1989.
- 79) 小池燕¹⁾，西原哲¹⁾，桑野稔啓²⁾，山本保博（¹⁾白鬚病院救急部，²⁾慈恵医科大学第1内科）：〔一般講演〕舞蹈病症状を呈した悪性症候群の1例。第26回日本救急医学会関東地方会，1989.
- 80) 金子義郎，辺見弘，山本保博，黒川顕，益子邦洋，松田潔，清水博，石橋励，池田亮，大塚敏文：〔一般講演〕原因不明の意識障害にて経過の遷延したフェノバルビタール中毒の1症例。第26回日本救急医学会関東地方会，1989.
- 81) 山本保博：〔招待講演〕救命救急センターからみた救急医療体制。日本学術会議セミナー，1989.
- 82) 中村加枝，二宮宣文，高橋良誌¹⁾，池田亮，須崎紳一郎（聖隷浜松病院救命救急部）：〔一般講演〕鈍的腎外傷の治療経験。静岡外科医会第149回集談会，1989.
- 83) 安田和弘，辺見弘，山本保博，益子邦洋，松井一成，大友康裕，百瀬文教，大塚敏文：〔一般講演〕腹膜刺激症状を呈した特発性食道破裂（Boerhaave 症候群）の一治験例。第12回日本腹部救急診療研究会，1989.
- 84) 犬塚祥，辺見弘，山本保博，安田和弘，須崎紳一郎，松井一成，有馬政輝，大塚敏文：〔一般講演〕外傷後特発性小腸出血の2症例。第12回日本腹部救急診療研究会，1989.

19. 付属病院位置施設等

[付属病院集中治療室]

研究概要

集中治療室（CCU & ICU）では、開室以来主として急性心筋梗塞、不安定狭心症、重症不整脈、重症心不全などの致命的心疾患収容症例を対象に、その病態生理と診断・治療に関する臨床的研究を続けており、内外の学会において評価されている。

不安定狭心症—急性心筋梗塞—心筋梗塞後狭心症は、今日 acute coronary syndrome としてとられられ、その発症機転、虚血性心筋障害の進展とその対策に関して研究を進めている。特に再灌流療法（ICT, PTCA）の有効性と問題点が明らかにされてきており、心機能（stunned myocardium reperfusion injury など）に関する知見が集積されている。

重症不整脈に関しては、その病態（心機能・心筋代謝）、予知（加算平均心電図）、治療（薬剤、心臓ペースング）に関する検討が進められている。

重症（難治性）心不全の治療に関する問題点が指摘されており、心機能のみならず循環不全（特に腎臓・肝臓・骨格筋・末梢皮膚組織）の観点から病態を分析した成績を示している。薬物療法（各種血管拡張薬、強心薬）、機械的循環補助に関する研究も集積しており、致死的不整脈の合併とその対策がもう一点の課題としてとりあげられている。

また当施設は東京都 CCU ネットワークの事務局となっており、急性心筋塞発症の疫学的分析に関するデータも集積しており、数々の興味深い重要な成績を示している。

さらに ICU として、術後管理、重症呼吸不全、多臓器不全の病態とその対策に関して臨床的検討を進めている。

研究業績

論文

- 1) 高野照夫, 畑典武¹⁾ (第1内科): [総説] 胸痛; 救急を要する症状と具体的方法 (特集, 老年者の救急 I). Geriat. Med., 26, 535~542, 1988.
- 2) 高野照夫: [総説] ECUM (Extracorporeal Ultrafiltration Method). Medicina, 25, 636~637, 1988.
- 3) 太田真夫¹⁾, 高野照夫 (第1内科): [総説] 入院を要する心不全の判断と初期治療 (特集: 心不全の治療と管理). 医と薬学, 19, 1099~1103, 1988.
- 4) 高野照夫, 宮入泰郎: [総説] 患者急変時のモニターの見方. Expert Nurse, 4, 8~11, 1988.
- 5) 渡部真理, 高野照夫: [総説] 狭心症と心筋梗塞の診断と治療; CCU を中心に (特集: 狭心症と心筋梗塞②). Heart Nursing, 1, 64~73, 1988.
- 6) 大木清司, 高野照夫, 清野精彦, 森規勝: [総説] 緊急医療と心電図. 臨検, 32, 527~533, 1988.
- 7) 田中啓治: [総説] 心筋梗塞の発症とストレス. 医のあゆみ, 145, 873~873, 1988.
- 8) 清野精彦, 森規彦: [総説] 心筋梗塞急性期の重症度評価の実際・心電図. Med. Pract., 5, 955~958, 1988.
- 9) 大津文雄¹⁾, 高野照夫 (多摩永山病院内科): [総説] 心筋梗塞急性期の重症度評価の実際・循環動態. Med. Pract., 5, 967~969, 1988.
- 10) 加藤貴雄, 大木清司: [総説] 急性心筋梗塞に伴った不整脈治療の実際・頻脈. Med. Pract., 5, 1029~1031, 1988.
- 11) 田中啓治: [総説] 心破裂と心室瘤. Med. Pract., 5, 1045, 1988.
- 12) 新谷博¹⁾, 安田寿一²⁾, 河合忠一³⁾, 佐藤友英⁴⁾, 小畑博敬²⁾, 西田雅之²⁾, 高野照夫, 飯塚昌彦⁵⁾, 木全心一⁶⁾, 片桐敬¹⁾, 後藤英道¹⁾, 篠山重威⁷⁾, 久萬田俊明³⁾, 久保田新一郎⁸⁾, 古賀義則⁹⁾ (第1昭和第3内科, 第2北海道大学

- 循環器内科, ³⁾京都大学第3内科, ⁴⁾帝京大学第2内科, ⁵⁾東京大学第2内科, ⁶⁾東京女子医科大学循環器内科, ⁷⁾富山医科薬科大学第2内科, ⁸⁾大阪医科大学第3内科, ⁹⁾久留米大学第3内科) : [原著] うっ血性心不全に対する Enalapril Maleate (MK-421) の急性効果および慢性効果. 薬理と治療, **16**, 149~179, 1988.
- 13) 高野照夫 : [総説] 心筋梗塞の発作予防と発作時の対処法 (特集: 心筋梗塞の発作予防と対処法). 健康管理, No. 408, 4~18, 1988.
 - 14) 島井新一郎 : [原著] 急性心筋梗塞の早期の腎機能と心血行動態およびその予後判定に関する検討. 日老医学会誌, **25**, 610~619, 1988.
 - 15) 高野照夫 : [総説] ショック. 現代医, **20**, 262~266, 1988.
 - 16) Ohta, M.¹⁾, Hayakawa, H.¹⁾, Takano, T., Aihara, K.²⁾, Yajima, G.³⁾, (¹⁾First Department of Internal Medicine, ²⁾Central Electron Microscopy Institute, ³⁾Department of Pathology) : [原著] Ultrastructural observation in clinical and experimental myocardial infarction, with reference to pathogenesis. Jpn. Circ. J., **52**, 664~672, 1988.
 - 17) 高野照夫, 保坂浩希 : [総説] IABP. 総合臨, **37**, 66~68, 1988.
 - 18) 清野精彦, 高野照夫, 早川弘一¹⁾, 栗田明²⁾ (¹⁾第1内科, ²⁾防衛医科大学第1内科) : [原著] 急性心不全における末梢循環動態と循環調節機構について. 循環器, **24**, 122~127, 1988.
 - 19) 加藤貴雄 : [総説] 抗不整脈薬; Ib~Ic 群について. Ther. Res., **9**, 12~16, 1988.
 - 20) 高野照夫, 太田真夫 : [総説] 重症心筋梗塞症. Mebio, **5**, 86~90, 1988.
 - 21) 高野照夫 : [総説] 東京都 CCU 連絡協議会の活動について; prehospital care の問題点. 治療, **70**, 166~167, 1988.
 - 22) 小林義典¹⁾, 田中隆¹⁾, 飯田恵子¹⁾, 洪基哲¹⁾, 新博次¹⁾, 加藤貴雄¹⁾, 早川弘一¹⁾, 清野精彦, 田中啓治, 高野照夫 (¹⁾第1内科) : [症例報告] 心室遅延電位ならびに entrainment 現象を証明し, 心室頻拍の機序を推定しえた ARVD の一例. Jpn. J. Electrocardiology, **8**, 87~87, 1988.
 - 23) 広沢弘七郎¹⁾, 木全心一¹⁾, 河合忠一²⁾, 由井芳樹²⁾, 阿部裕³⁾, 細田瑤一⁴⁾, 青木延雄⁵⁾, 中島光好⁶⁾, 梶原長雄⁷⁾, 上松瀬勝男⁷⁾, 高野照夫, 本宮武司⁸⁾, 田中寿英⁹⁾, 南野隆三¹⁰⁾, 児玉和久¹¹⁾, 佐藤光¹²⁾, 延吉正清¹³⁾, 光藤和明¹⁴⁾, 早崎和也¹⁵⁾ (¹⁾東女医大, ²⁾京都大, ³⁾国立大阪病院, ⁴⁾自治医大, ⁵⁾東京医科歯科大, ⁶⁾浜松医大, ⁷⁾駿河台日大, ⁸⁾都立広尾病院, ⁹⁾榊原記念病院, ¹⁰⁾桜橋渡辺病院, ¹¹⁾大阪警察病院, ¹²⁾広島市民病院, ¹³⁾小倉記念病院, ¹⁴⁾倉敷中央病院, ¹⁵⁾済生会熊本病院) : [原著] 急性心筋梗塞に対する AK-124 (組織プラスミノゲンアクチベーター) の冠動脈内注入療法の臨床評価; ウロキナーゼを対照とした多施設二重盲検試験. Jpn. Pharmacol. Ther., **16**, 215~247, 1988.
 - 24) 高野照夫, 田中啓治, 高田加寿子 : [総説] 急性心筋梗塞の疫学と CCU (特集: 急性心筋梗塞の病態と臨床). 臨成人病, **18**, 7~13, 1988.
 - 25) 高野照夫, 木内要 : [総説] 心筋梗塞 (いわゆる Non-Q Myocardial Infarction を含めて). Medicina, **25**, 1678~1679, 1988.
 - 26) 雪吹周生, 清野精彦, 高野照夫 : [症例報告] 肺血栓塞栓症. 循環科学, **9**, 1048~1054, 1988.
 - 27) 小林義典¹⁾, Ni, Y.-X., 高野照夫 (¹⁾第1内科) : [総説] 心筋梗塞と不整脈. Coronary, **5**, 261~268, 1988.
 - 28) 高野照夫 : [総説] 狭心症と心筋梗塞の診断と治療初期治療の重要性; 特に CCU を中心として. 大分医会誌, **7**, 24~30, 1988.
 - 29) 清野精彦, 高野照夫 : [総説] 急性心不全 Acute heart failure. 臨と研, **65**, 57~64, 1988.
 - 30) 佐藤光治¹⁾, 佐々木映子¹⁾, 石永三千¹⁾, 矢島純¹⁾, 畑三恵子¹⁾, 服部怜美¹⁾, 本田光芳¹⁾, 上田洋一²⁾, 清野精彦 (¹⁾皮膚科, ²⁾第1内科) : [症例報告] 結節性紅斑型薬疹の2例. 皮の臨, **30**, 1399~1401, 1988.
 - 31) 清野精彦, 高野照夫 : [総説] 心肺蘇生と心腔内注射. 日医新報, No. 3369, 129~130, 1988.

- 32) 田中啓治, 真鍋辰哉, 雪吹周生, 渡部真理, 高野照夫, 小坂真一¹⁾ (1)胸部外科) : [症例報告] 緊急ベッドサイド開胸により救命しえた左室自由壁破裂の一例. 臨床医, 14, 2078~2081, 1988.
- 33) 加藤貴雄, 石原茂樹, 田中隆, 小林義典, 高田加寿子, 島井新一郎, 清野精彦, 田中啓治, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (1)第1内科) : [原著] 新しい抗不整脈薬 Cibenzoline 静注の心行動態に及ぼす影響. 臨薬理, 19, 707~716, 1988.
- 34) Takano, T., Ibuki, C. and Seino, Y. : [総説] Cardiac tamponade. Reprinted from the Asian Medical Journal, 31, 674~686, 1988.
- 35) 高野照夫 : [総説] 急性心筋梗塞におけるプライマリケア; 急性期治療の進歩. 日医新報, No. 3372, 3~12, 1988.
- 36) 加藤貴雄, 雪吹周生, 早川弘一¹⁾ (1)第1内科) : [総説] 重症不整脈の治療の進歩. ICU と CCU, 11, 1111~1120, 1988.
- 37) Seino, Y., Uemasu, J.¹⁾, Rose, H.¹⁾, Vyden, J.¹⁾, Fichman, M.¹⁾, Sellers, A.¹⁾, Franklin, S.¹⁾ (1)Division of Cardiology and Nephrology, Cedars-Sinai Medical Center) [原著] Observations on carotid artery hemodynamics in hemodialysis patients by an ultrasonic quantitative flowmeter. Journal of Cardiovascular Ultrasonography, 7, 321~327, 1988.
- 38) 田中啓治, 高野照夫 : [総説] 心破裂, 心室瘤, 仮性心室瘤, 心膜炎. 臨床医, 14, 1415~1417, 1988.
- 39) 高野照夫, 来馬明視¹⁾ (1)第1内科) : [総説] 危険な不整脈, 心停止 (DC ショック). 総合臨, 38, 113~116, 1989.
- 40) 高野照夫 : [総説] 循環器救急医療. 日医会誌, 101, 349~354, 1989.
- 41) 田中啓治 : [総説] 早期梗塞後狭心症の特徴と循環動態 (特集: 心筋梗塞後狭心症). ICU と CCU, 13, 99~107, 1989.
- 42) 島井新一郎, 高野照夫 : [総説] 心原性ショックの薬物治療 (特集: 心原性ショック). 救急医, 13, 279~285, 1989.
- 43) Seino, Y., Shimai, S., Tanaka, K., Takano, T. and Hayakawa, H.¹⁾ (1)第1内科) : [原著] Cardiovascular circulatory adjustments and renal function in acute heart failure. Jpn. Circ. J., 53, 180~190, 1989.

著 書

- 1) 田中啓治, 高田加寿子, 高野照夫 : [分担] 不安定狭心症. “集中治療医学大系Ⅱ” (天羽敬祐編), p. 271~281, 朝倉書店, 1988.
- 2) 清野精彦, 高野照夫 : [分担] 急性心筋梗塞における対策. “不整脈ハンドブック” (杉本恒明, 下村克朗監), p. 121~124, メディカルレビュー社, 1988.
- 3) 田中啓治, 高野照夫 : [分担] 硝酸エステル剤. “治療薬ガイド” (和田攻, 大久保昭行, 永田直一, 矢崎義雄編), p. 120~124, 文光堂, 1988.
- 4) 高野照夫, 保坂浩希 : [分担] IABP. “救急事典” (永井忠雄編), p. 66~68, 永井書店, 1988.
- 5) 清野精彦, 高野照夫 [分担] うっ血性心不全. “講座プロスタグランジン 2 心・血管と血小板” (三島好雄, 内田康美, 室田誠逸, 山本昭三編), p. 353~360, 東京化学同人, 1989.

学会発表

- 1) 加藤貴雄¹⁾, 大木清司¹⁾, 田中隆¹⁾, 小林義典¹⁾, 太田真夫¹⁾, 早川弘一¹⁾, 高野照夫 (1)第1内科) : [一般講演] 心筋梗塞における心室遅延電位とその臨床的有用性. 第52回日本循環器学会, 1988.

- 2) 島井新一郎, 高田加寿子, 石原茂樹, 塚本浩, 清野精彦, 森規勝, 田中啓治, 加藤貴雄, 高野照夫: [一般講演] 急性心筋梗塞におけるアミノ酸分析, 特に分枝アミノ酸芳香族アミノ酸についての検討. 第52回日本循環器学会, 1988.
- 3) 島井新一郎, 高野照夫, 高田加寿子, 栗原広孝, 森規勝, 雪吹周生, 清野精彦, 田中啓治, 加藤貴雄: [ポスター] 虚血心筋障害進展に対する顆粒球エラスターゼの関与とタンパク分解酵素阻害薬の効果. 第52回日本循環器学会, 1988.
- 4) 清野精彦, 島井新一郎, 雪吹周生, 長江安洋, 田中啓治, 加藤貴雄, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (第1内科): [ポスター] Rate responsive pacing における心房機能の重要性について: 運動負荷心臓力学動態と血中心房性利尿ペプチド cyclic nucleotides の分析. 第52回日本循環器学会, 1988.
- 5) 清野精彦, 島井新一郎, 田中啓治, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (第1内科): [シンポジウム] 循環不全; 心血管循環調節機序と腎不全について. 第52回日本循環器学会, 1988.
- 6) 島井新一郎, 高野照夫: [シンポジウム] 虚血心筋障害進展に対する顆粒球エラスターゼの関与とタンパク分解酵素阻害薬の効果. 第52回日本循環器学会, 1988.
- 7) 加藤貴雄: [シンポジウム] 抗不整脈薬; Ib~c 群について. 第52回日本循環器学会, 1988.
- 8) 清野精彦, 高野照夫, 早川弘一¹⁾, 田中茂夫¹⁾ (第1内科, ²⁾胸部外科): [シンポジウム] 生理的ペーシングの左室収縮・拡張動態と神経内分泌動態に関する検討; 心拍応答機能と心房心室興奮同期の重要性. 第3回日本心臓ペーシング学会, 1988.
- 9) 加藤貴雄, 大木清司, 黒木伸一¹⁾, 早川弘一¹⁾ (第1内科): [シンポジウム] 任意の平均加算様式による LP 検出のメリット. 第3回日本心臓ペーシング学会, 1988.
- 10) 清野精彦, 雪吹周生, 島井新一郎, 田中啓治, 加藤貴雄, 高野照夫, 早川弘一¹⁾, 田中茂夫²⁾ (第1内科, ²⁾胸部外科): [一般講演] Rate responsive pacing における房室同期の重要性について: 運動負荷左室収縮・拡張動態と血中心房性利尿ペプチド, cyclic nucleotides の分析. 第3回日本心臓ペーシング学会, 1988.
- 11) 高野照夫: [シンポジウム] CCU 入院患者のリスクファクター. 第11回動脈硬化セミナー, 1988.
- 12) 杉本忠彦¹⁾, 加治正弘, 佐々木建志¹⁾, 矢島俊己¹⁾, 宇都宮英敏, 浅野哲雄¹⁾, 池下正敏¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 庄司佑¹⁾, 田中啓治, 高野照夫 (第1胸部外科): [ポスター] 心筋酸素需要バランス (SDR) 測定装置の開発と臨床応用. 第26回日本人工臓器学会, 1988.
- 13) 金應文, 田中隆¹⁾, 大木清司, 黒木伸一¹⁾, 小林義典¹⁾, 太田真夫¹⁾, 加藤貴雄, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (第1内科): [一般講演] 加算平均心電図法を用いた QRS 初期部微小電位の臨床的意義. 第5回日本心電学会, 1988.
- 14) 浅野哲雄¹⁾, 萩原俊彦¹⁾, 加治正弘¹⁾, 矢島俊己¹⁾, 宇都宮英敏, 松山謙¹⁾, 二宮淳一¹⁾, 池下正敏¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 庄司佑¹⁾, 田中啓治, 高野照夫 (第1胸部外科): [一般講演] 急性心筋梗塞合併症の外科治療. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 15) 清野精彦, 滝田孝之¹⁾, 高野照夫, 大竹稔¹⁾, 早川弘一¹⁾, 奥村英正¹⁾ (第1内科): [シンポジウム] 本邦冠動脈疾患に合併せる末梢動脈硬化病変の糖尿病性血管障害としての特徴. 第29回日本脈管学会総会, 1988.
- 16) 山中博之, 雪吹周生, 金應文, 加治正弘, 宇都宮英敏, 清野精彦, 田中啓治, 高野照夫, 早川弘一¹⁾, 福島孝男²⁾, 田中茂夫²⁾, 庄司佑²⁾, 勝見敦³⁾, 辺見弘³⁾ (第1内科, ²⁾胸部外科, ³⁾付属病院救急救命センター): [一般講演] 多発臓器塞栓症を発症した左室内粘液腫の1症例. 第130回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1988.
- 17) 雪吹周生, 清野精彦, 木内要, 早川弘一¹⁾, 高橋厚²⁾ (第1内科, ²⁾愛和医院): [一般講演] 慢性腎透析例における不整脈出現に関する分析とその対策について. 第5回日本心電学会学術集会, 1988.
- 18) Seino, Y., Ibuki, C., Shimai, S., Takano, T. and Hayakawa, H.¹⁾ (第1内科): [ポスター] Cardiodynamic and neurohumoral importance of AV synchrony in rate responsive pacing. The 61st Scientific Sessions of American

Heart Association (Washington, D. C.), 1988.

- 19) Seino, Y., Ibuki, C., Shimai, S., Tanaka, K., Katoh, T., Takano, T., Tanaka, S.¹⁾ and Hayakawa, H.²⁾ (1)胸部外科, 2)第1内科): [ポスター] Cardiodynamic and neurohumoral importance of AV synchrony in rate responsive pacing. The 10th congress of the European Society of Cardiology(Wien), 1988.
- 20) 田中啓治: [シンポジウム] 不安定狭心症. 第36回日本心臓病学会, 1988.
- 21) 島井新一郎, 高野照夫, 木内要, 雪吹周生, 高田加寿子, 清野精彦, 田中啓治, 加藤貴雄: [一般講演] 急性心筋梗塞における心房性利尿ペプチドと心行動態, 内分泌機能に関する検討, 第36回日本心臓病学会, 1988.
- 22) 萩原俊彦¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 池下正敏¹⁾, 日置正文¹⁾, 二宮淳一¹⁾, 浅野哲雄¹⁾, 宇都宮英敏, 佐々木建志¹⁾, 庄司佑¹⁾, 清野精彦, 雪吹周生, 高野照夫 (1)胸部外科): [一般講演] 急性心筋梗塞後心室中隔穿孔(VSP)の急性期手術症例の検討. 第41回日本胸部外科学会, 1988.
- 23) 金應文, 田中隆¹⁾, 大木清司¹⁾, 黒木伸一¹⁾, 小林義典¹⁾, 太田真夫¹⁾, 加藤貴雄¹⁾, 早川弘一¹⁾, 高野照夫 (1)第1内科): [一般講演] 加算平均心電図法 QRS 初期部電位の特徴; 正常例, 脚ブロック例の比較. 第53回日本循環器学会, 1989.
- 24) 田中隆¹⁾, 金應文, 大木清司¹⁾, 加藤貴雄¹⁾, 早川弘一¹⁾, 高野照夫 (1)第1内科): [一般講演] 加算平均心電図法(SAE)によるQRS初期部微小電位(IP)の臨床的意義; 重症心室性不整脈(VA)および梗塞部位との関係. 第53回日本循環器学会, 1989.
- 25) 清野精彦, 大木清司¹⁾, 島井新一郎, 雪吹周生, 木内要¹⁾, 田中啓治, 加藤貴雄¹⁾, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (1)第1内科): [一般講演] Persistent atrial standstill における α -hANP の分泌反応の評価: 内分泌学的診断基準として. 第53回日本循環器学会, 1989.
- 26) 滝田孝之¹⁾, 清野精彦, 大木清司¹⁾, 塚本浩, 中村辰男¹⁾, 稲福睦美¹⁾, 田中啓治, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (1)第1内科): [一般講演] 本邦冠動脈疾患症例における末梢動脈硬化の進展に関する分析. 第53回日本循環器学会, 1989.
- 27) 島井新一郎, 高野照夫, 木内要, 雪吹周生, 高田加寿子, 大木清司, 宇都宮英敏, 清野精彦, 田中啓治: [一般講演] 急性心筋梗塞(AMI)において心房性 Na 利尿ペプチド(α -hANP)の分泌を刺激するものは何か? 第53回日本循環器学会, 1989.
- 28) 遠藤孝雄¹⁾, 木内要¹⁾, 福岡長知¹⁾, 富田喜文¹⁾, 藤田信輔¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 子島潤¹⁾, 高野照夫, 早川弘一¹⁾, 高見光孝²⁾, 陳忠正²⁾ (1)第1内科, 2)第一製薬中央所): [一般講演] 白血球・血小板粘着凝集抑制剤 DN-9693 のイヌ末梢血白血球化学遊走および実験的心筋梗塞サイズに対する効果. 第53回日本循環器学会, 1989.
- 29) 高田加寿子, 田中啓治, 島井新一郎, 清野精彦, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (1)第1内科): [一般講演] 心房性ナトリウム利尿ペプチド(SUN-4936)のうっ血性心不全に対する効果. 第53回日本循環器学会, 1989.
- 30) 田中啓治, 高野照夫, 広澤弘七郎¹⁾ (1)日赤看護大学): [一般講演] 東京都における急性心筋梗塞(AMI)の発生頻度の周期性変動について. 第53回日本循環器学会, 1989.
- 31) 清野精彦, 木内要¹⁾, 雪吹周生, 島井新一郎, 大木清司, 宇都宮英敏, 田中啓治, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (1)第1内科): [一般講演] 急性心筋梗塞発症早期の doppler MR の病態について. 第53回日本循環器学会, 1989.

[付属病院病理部]

研究概要

本施設は主な業務が臨床各科のサービス部門としての役割が大きく, そのため独自の研究業績は十分とは言えないが, 福田講師を主として, 病理学教室とともに行った業績に見るべきものが多い。

また, 細胞診の分野で臨床検査技師, 細胞検査士も独自の発表を行っている。

今後も症例報告や臨床各科の発表の援助的な仕事を中心となると思われるので、その点を一つの柱、さらにはわれわれの仕事の母体となっている病理学教室と協同での研究的創造的仕事を強めて行きたい。

研究業績

論文

- 1) 福田悠：〔総説〕弾性線維の胎生期発および病的変化；電顕的・免疫組織化学的検索。結合組織，20，32～35，1988。
- 2) 福田悠：〔総説〕肺胞間質（筋線維芽）細胞。呼吸，7，1372～1380，1988。
- 3) Fukuda, Y., Masuda, Y.¹⁾, Kishi, J.²⁾, Hashimoto, Y.²⁾, Hayakawa, T.²⁾, Nogawa, H.³⁾ and Nakanishi, Y.⁴⁾ (¹⁾第1病理，²⁾愛知学院大学歯学部生化学，³⁾千葉大学教養学部生物学，⁴⁾名古屋大学理学部化学)：〔原著〕The role of interstitial collagens in cleft formation of mouse embryonic submandibular gland during initial branching. Development, 103, 259～267, 1988。
- 4) 根岸鋼¹⁾，鈴木恒道，益田幸成¹⁾，馬杉洋三¹⁾，寺本明²⁾，大浜栄作³⁾ (¹⁾第1病理，²⁾東京警察病院，³⁾新潟大学脳研)：〔原著〕原発性下垂体癌の2剖検例。脳神経，40，491～496，1988。

学会発表

- 1) 福田悠，川本雅司¹⁾，馬杉洋三¹⁾，Ferrans, V. J.²⁾ (¹⁾第1病理，²⁾NHLBI. NIH. USA.)：〔一般講演〕プレオマイシン肺線維症の肺胞構造改築における肺胞腔内線維化の意義。第28回日本胸部疾患学会，1988。
- 2) 村上裕亜，福田悠，益田幸成¹⁾，石崎正通¹⁾，馬杉洋三¹⁾，庄司佑²⁾ (¹⁾第1病理，²⁾第2外科)：〔一般講演〕気管上皮擦過後の上皮再生；電顕的免疫組織学的検索。第77回日本病理学会総会，1988。
- 3) 福田悠，益田幸成¹⁾，石崎正通¹⁾，馬杉洋三¹⁾ (¹⁾第1病理)：〔一般講演〕肺気腫に見られる異常弾性線維の形成機序。第77回日本病理学会総会，1988。
- 4) 田村浩一¹⁾，福田悠，益田幸成¹⁾，馬杉洋三¹⁾ (¹⁾第1病理)：〔一般講演〕僧帽弁逸脱症候群の弁尖における弾性線維の変化。第77回日本病理学会総会。1988。
- 5) 鈴木恒道，矢島幹久¹⁾ (¹⁾第2病理)：〔一般講演〕進行性多巣性白質脳症を疑われた Neoplastic Angioendotheliomatosis。第77回日本病理学会総会，1988。
- 6) 福田悠，馬杉洋三¹⁾，Ferrans, V. J.²⁾ (¹⁾第1病理，²⁾NHLBI. NIH. USA.)：〔ワークショップ〕肺線維症における肺胞構造改築。第20回日本結合組織学会総会，1988。
- 7) 福田悠，中沢南堂¹⁾，石崎正通²⁾，益田幸成²⁾，馬杉洋三²⁾ (¹⁾第2病理，²⁾第1病理)：第20回日本結合組織学会総会，1988。
- 8) Fukuda, Y., Masuda, Y.¹⁾, Ishizaki, M.¹⁾, Masugi, Y.¹⁾ and Ferrans, V. J.²⁾ (¹⁾第1病理，²⁾NHLBI. NIH. USA.)：〔展示〕Morphogenesis of abnormal elastic fibers in panacinar and centriacinar emphysema. 8th International Congress of Histochemistry and Cytochemistry (Washington, D. C.)，1988。
- 9) Nakanishi, Y.¹⁾, Fukuda, Y., Masuda, Y.²⁾, Nogawa, H.³⁾, Kishi, J.⁴⁾, Hashimoto, Y.⁴⁾, and Hayakawa, T.⁴⁾ (¹⁾名古屋大学理学部化学，²⁾第1病理，³⁾千葉大学教養学部生物学，⁴⁾愛知学院大学歯学部生化学)：〔シンポジウム〕Effects of interstitial collagenase and collagenase inhibitor on the morphogenesis of salivary gland (Proteases and Tissue Remodeling). 4th International Congress of Cell Biology (Montreal)，1988。
- 10) Fukuda, Y., Nakazawa, N.¹⁾, Ishizaki, M.²⁾, Masuda, Y.²⁾, and Masugi, Y.²⁾ (¹⁾第2病理，²⁾第1病理)：〔展示〕Role of microfibrils in elastogenesis of cultured pulmonary fibroblasts. 4th International Congress of Cell Biology (Montreal)，1988。

- 11) Kimura, G.¹⁾, Akimoto, M.²⁾, Sugitani, Y.¹⁾, Fukuda, Y., Nakazawa, N.³⁾, Asano, G.³⁾, and Masugi, Y.¹⁾ (第1 病理, 第2 泌尿器科, 第3 第2 病理) : [展示] Stimulation of *in vitro* calcification of human osteoblastic cells with conditioned medium from a human prostatic tumor cell line. 4th International Congress of Cell Biology (Montreal), 1988.
- 12) Nakanishi, Y.¹⁾, Fukuda, Y., Masuda, Y.²⁾, Nogawa, H.³⁾, Kishi, J.⁴⁾, Hashimoto, Y.⁴⁾, and Hayakawa, T.⁴⁾ (名古屋大学理学部化学, 第1 病理, 第3 千葉大学教養学部生物学, 第4 愛知学院大学歯学部生化学) : [展示] Effects of interstitial collagenase and collagenase inhibitor on the morphogenesis of salivary gland. 4th International Congress of Cell Biology (Montreal), 1988.
- 13) 木村剛¹⁾, 秋元成太¹⁾, 杉崎祐一¹⁾, 中沢南堂³⁾, 福田悠, 浅野伍朗³⁾, 馬杉洋三¹⁾ (第1 病理, 第2 泌尿器科, 第3 第2 病理) : [一般講演] ヒト培養前立腺癌細胞のヒト培養骨芽細胞に与える影響について. 第76回日本泌尿器科学会総会, 1988.
- 14) 木村剛¹⁾, 杉崎祐一¹⁾, 横沢俊一, 福田悠, 平岡保紀²⁾, 秋元成太²⁾, 馬杉洋三¹⁾ (第1 病理, 第2 泌尿器科) : [一般講演] 膀胱および前立腺尿道上皮における Prostatic acid phosphatase (PAP) ・ Prostatic specific antigen (PSA) の発現. 第76回日本泌尿器科学会総会, 1988.
- 15) 横山宗伯²⁾, 竹田裕之²⁾, 山田宣孝²⁾, 福田悠, 鈴木恒道, 浅野伍朗²⁾, 馬杉洋三 (第2 病理, 第1 病理) : [一般講演] 全身播種を呈した小脳髄芽細胞腫の一部検例. 第95回東京病理集談会, 1988.
- 16) 田村浩一¹⁾, 福田悠, 石崎正通¹⁾, 益田幸成¹⁾, 馬杉洋三¹⁾ (第1 病理) : [一般講演] 心臓弁膜粘液様変性部の微細形態像. 第78回日本病理学会総会, 1989.
- 17) 福田悠, 益田幸成¹⁾, 石崎正通¹⁾, 馬杉洋三¹⁾ (第1 病理) : [一般講演] 肺気腫病変における肺胞構造改築機序. 第78回日本病理学会総会, 1989.
- 18) 平岡保紀¹⁾, 木村剛¹⁾, 秋元成太¹⁾, 鈴木恒道²⁾, 浅野伍朗²⁾ (第1 附属泌尿器科, 第2 第2 病理) : [一般講演] 膀胱癌における膀胱周囲組織への微小転移. 第76回日本泌尿器科学会総会, 1988.
- 19) 香月元¹⁾, 佐竹泰子¹⁾, 鈴木恒道 (第1 東京警察病院中検二部) : [一般講演] 陰嚢水腫細胞診において判定困難であった陰嚢中皮細胞過形成の1 例. 第29回日本臨床細胞学会総会, 1988.
- 20) 弦間和仁¹⁾, 山本彰¹⁾, 隈崎達夫¹⁾, 恵畑欣一¹⁾, 鈴木恒道 (第1 付属病院放射線科) : [展示] 術中出血量の減少を目的とした骨, 軟骨腫瘍に対する動脈塞栓術の経験. 第56回日本医大医学会総会, 1988.
- 21) 森田敏和¹⁾, 吉野克正¹⁾, 平野正憲¹⁾, 岩瀬透¹⁾, 浜田英治¹⁾, 瀬在秀一¹⁾, 清水敏朗¹⁾, 山本佳洋¹⁾, 鈴木恒道 (第1 東京警察病院内科) : [一般講演] 諸臓器に高度の脂肪蓄積を認めたアルコール肝硬変の一部検例. 第23回日本肝臓学会東部会, 1988.
- 22) 石沢優¹⁾, 右田徹¹⁾, 平野正憲¹⁾, 宇藤浩¹⁾, 斉藤慶一¹⁾, 浜田英治¹⁾, 山本佳洋¹⁾, 清水敏朗¹⁾, 森田敏和¹⁾, 岩瀬透¹⁾, 田川努¹⁾, 梶原周二¹⁾, 斉藤慶一¹⁾, 鈴木恒道 (第1 東京警察病院消化器科) : [一般講演] S 結腸に Borrmann 2 型腫瘍を呈した横紋筋肉腫と思われる1 例. 第47回日本消化器内視鏡学会, 1988.
- 23) 渡会泰彦, 松原美幸, 梅崎博嗣, 鈴木恒道, 浅川一枝, 前田昭太郎¹⁾, 川本雅司²⁾, 松島伸治³⁾ (第1 多摩永山病院病理, 第2 第1 病理, 第3 胸部外科) : [展示] 男性乳癌(粘液癌)の1 例. 第27回日本臨床細胞学会秋季大会, 1988.
- 24) 松原美幸, 渡会泰彦, 浅川一枝, 鈴木恒道, 梅崎博嗣, 前田昭太郎¹⁾, 菊地達之²⁾, 白井康正²⁾, 浦田伸二²⁾ (第1 多摩永山病院病理, 第2 付属病院整形外科) :
- 25) 平川恒久¹⁾, 香川隆男¹⁾, 末岡伸夫¹⁾, 高橋文恵¹⁾, 青木正明¹⁾, 小林正文¹⁾, 野村武夫¹⁾, 永井俊彦²⁾, 鈴木恒道 (第1 第3 内科, 第2 多摩医療センター) : [一般講演] ウサギ腐蝕性胃炎の病理組織学的検討; HCl, NaOH, パラコート の対比. 第75回日本消化器病学会総会. 1989.
- 26) 山中洋一郎¹⁾, 矢島幹久¹⁾, 平良敦史¹⁾, 浅野伍朗¹⁾, 田辺義博²⁾, 野村武夫²⁾, 恩田昌彦²⁾, 鈴木恒道 (第1 第2 病理, 第2 第3 内科, 第3 第1 外科) : [展示] 急性骨髄性白血病に *Trichosporon beigelii* 感染症を併発した1 剖検例. 第78

[付属病院中央検査部]

研究概要

糖尿病患者についてのアミノ酸に関する検索が続けられている。

各部門における活動は以下のごとくである。①血液部門では Sysmex M2000 による白血球粒度分布異常の原因と成績信頼性に関して。②一般検査部門ではセファデックス G50 を用いた尿中酵素 (LDH) の前処理についての検討。③血清部門では病院職員と学生に関する HBs 抗原, 抗体およびワクチン接種後の成績の継続的観察が進行中であり, 抗核抗体検出時の検鏡像識別と疾患関連の観察が行われている。④細菌部門では検査材料から検出された酵母様真菌に関する観察, および手術室内の細菌学的環境管理への研究協力が行われている。⑤ R1・内分泌部門では WHO 準拠に伴う各種項目の見直しが順次に行われており, 腫瘍標識物による疾患識別や RAST 法による各種 reagin 濃度観察が続けられている。⑥生化学部門では各種糖基質を用いたアミラーゼ活性の検討が行われた。⑦緊急部門では高速電解質分析装置 (PVA- α II) の検討, 血中 CPK-MB に関する各種疾患の観察, 整理が進行中であり, さらに尿中 AAP 酵素活性の観察は続行中である。なお生理機能検査部門は昭和63年11月1日から分離独立した。

研究業績

論文

- 1) 池野廣幸, 本山三生, 皆川彰, 内田孝子¹⁾, 金子栄子¹⁾, 大川共一¹⁾ (¹⁾中央手術部): [報告] 中央手術部における清浄度について; 空中浮遊細菌数と検出菌. 日本手術部医学会誌, 9, 114~117, 1988.
- 2) 藤井克彦, 佐藤寛之, 本山三生, 皆川彰: [研究] 化学発光イムノアッセイ法による血中 CK-MB 蛋白の定量的観察; 免疫阻害法との比較. 医学と薬学, 21, 481~486, 1989.

著書

- 1) 池野廣幸: [分担] 蛍光抗体 (FA) 法. “臨床微生物迅速診断法テキスト” (東京都臨床衛生検査技師会微生物検査研修会編), p. 33~35, 1988.
- 2) 野本剛史: [分担] 測定法の実際; 腫瘍マーカー NSE. “検査と技術”, p. 702~704, 医学書院, 1988.
- 3) 皆川彰, 他: [分担] (4) 解析結果, (5) まとめ. 昭和63年度, 第7回東京都衛生検査所精度管理調査報告書. p. 8~11, 東京都衛生局医務部, 1988.

学会発表

- 1) 瀬川純子, 皆川彰, 高山弘平: [一般講演] 血中, 殊に赤血球アミノ酸測定の意義について (第2報). 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 2) 亀山雅弥, 池野廣幸, 本山三生, 皆川彰: [展示] 臨床検査材料から検出される酵母様真菌について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 3) 甲斐美穂子, 藤井克彦, 佐藤寛之, 笹原よし子, 長谷川公子, 池野廣幸, 本山三生, 皆川彰: [展示] 高速電解質分析装置 PVA- α II (セントラル科学貿易) の機器特性および基礎的検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 4) 佐藤寛之, 皆川彰: [展示] セファデックス G50 を用いた尿中 AAP 活性測定について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 5) 三橋太, 森文子, 野本剛史, 本山三生, 皆川彰: [展示] 病院職員の HBs 検査および第2回ワクチン接種の成

- 績について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 6) 藤井克彦, 佐藤寛之, 皆川彰: [展示] CK-BB・Macro-CK 分画検出の臨床的有用性について. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
 - 7) 嶋本和子¹⁾, 大川共一¹⁾, 高岡雅子¹⁾, 内田孝子¹⁾, 池野廣幸, 本山三生, 皆川彰, 吉岡宏尚²⁾ (¹⁾中央手術部, ²⁾(株)ホギメディカル): [一般講演] 手術用器械台カバーのディスプレイ化に関する検討. 第10回日本手術部医学会, 1988.
 - 8) 三橋太, 森文子, 野本剛史, 本山三生, 皆川彰: [一般講演] 当施設における職員健康管理について; 特にHBs ワクチン接種後の抗体価の動向. 第36回日本臨床病理学会総会, 1988.
 - 9) 日ノ澤進一郎, 池野廣幸, 本山三生, 皆川彰: [展示] Sysmex M2000による白血球粒度分布異常 (フラグ WL 表示) を示した原因と血算データの信頼性. 第25回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1988.
 - 10) 佐藤寛之, 本山三生, 皆川彰: [展示] 尿中 AAP 活性の測定について; ゲルろ過による前処理効果を含めて. 第25回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1988.
 - 11) 高木豊, 佐藤寛之, 本山三生, 皆川彰: [展示] 尿中 LDH 測定の基礎的検討; 特に前処理について. 第25回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1988.
 - 12) 藤井克彦, 佐藤寛之, 本山三生, 皆川彰: [展示] Immunoinhibition method を用いて CK-MB の測定; 異常 CK-MB 値の疾患例について. 第25回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1988.
 - 13) 町田幸雄, 斉藤公一, 本山三生, 皆川彰: [展示] BG5P 基質を用いたアミラーゼ測定試薬の検討. (第一報) 基礎的検討. 第25回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1988.
 - 14) 町田幸雄, 斉藤公一, 本山三生, 皆川彰: [展示] BG5P 基質を用いたアミラーゼ測定試薬の検討. (第二報) インヒビターを用いて. 第25回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1988.
 - 15) 小島陸奥子, 野本剛史, 本山三生, 皆川彰: [展示] WHO 準拠に伴う LH・FSH 値の検索. 第25回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1988.
 - 16) 野本剛史, 小島陸奥子, 本山三生, 皆川彰: [展示] 腫瘍 marker における疾患別検索例. (第十報) 主に NSE 値とその利用効果について. 第25回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1988.
 - 17) 野本剛史, 小島陸奥子, 本山三生, 皆川彰: [展示] RAST 法による各種 reagin 濃度と陽性率推移. (第五報) 過去八年間の総体的推移と花粒症について. 第25回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1988.
 - 18) 三橋太, 森文子, 野本剛史, 本山三生, 皆川彰: [展示] 抗核抗体検出における各種パターンの認識と疾患との関連. 第25回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1988.
 - 19) 三橋太, 森文子, 野本剛史, 本山三生, 皆川彰: [展示] HBs ワクチン接種における抗体価の動向; 当施設職員を対象として. 第25回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1988.
 - 20) 大川共一¹⁾, 高岡雅子¹⁾, 内田孝子¹⁾, 池野廣幸, 本山三生, 皆川彰 (¹⁾中央手術部): [一般講演] 中央手術部の環境管理; 当院における2年間の推移と問題点. 第四回日本環境感染学会, 1989.

〔付属病院薬剤部〕

研究概要

付属病院薬剤部の主な業務として, ①地域医療への参加, ②救急医療への参加, ③研究活動への参加, 協力, ④新卒医師教育への協力, ⑤薬品の適正な管理と効率的な運営などが考えられる。

したがって, 付属病院薬剤部における研究活動も, 基本的には, これらの業務を積極的に展開することにより生じた問題が中心となると考えられる。

特に付属病院薬剤部は, 救命救急センターに薬剤師を2名派遣しているため, 医療現場における薬剤に関する多くの問題を, 収集しやすい状況が作られている。

現在、救命救急センターでの薬剤師活動から、中心静脈栄養法におけるインスリン製剤の輸液バッグおよびラインでの吸着の問題が指摘され研究を開始した。

また、業務の効率化を目的として、薬品管理コンピューターシステムの改良、調剤業務におけるコンピューターによる印字システムの開発、調剤薬供給システムにおけるカート方式の導入などについても検討を開始した。

研究業績

学会発表

- 1) 平田清貴, 西沢健司, 平野公晟, 辺見弘¹⁾ (1)救急医学) : [一般講演] 薬物投与計画における Pocket Computer の利用. 第56回日本医科大学医学学会総会, 1988.
- 2) 西沢健司, 原田香里, 平野公晟, 辺見弘¹⁾ (1)救急医学) : [一般講演] 救命救急センターにおける薬剤師の役割. 第26回日本救急医学会関東地方会, 1989.

20. 第一病院付置施設等

[第一病院人工透析室]

研究概要

- 1) 慢性腎不全患者の血液透析中における脳血流動態および脳代謝について.

本研究の成果は、すでにたびたび学会に発表したところであるが、本題の前半の成果は、荒井の原著論文として、日本医科大学雑誌55巻3号に掲載した。現在脳代謝について検討を加えつつある。

- 2) 慢性腎不全患者の免疫能および二三の薬剤による賦活化作用について.

慢性腎不全患者の細胞免疫、液性免疫の低下のあることはよく知られている。このため感染性に罹患しやすいこと、また悪性腫瘍の発生頻度の高いことが指摘されている。何らかの方法で免疫能を賦活できれば、臨床上有意義である。一つの方法として、透析患者に HB ワクチンを接種した場合、健常者に比して抗体の獲得率が低いといわれている。この場合、免疫系を賦活しうる薬剤の併用によって抗体獲得率の上昇がおこれば、本薬剤のみの使用でも免疫能の上昇が期待できる。

研究業績

論文

- 1) 荒井龍彦 : [原著] 血液透析中における慢性腎不全患者の脳血流動態について. 日医大誌, **55**, 291~300, 1988.
- 2) 河辺満彦, 葉山修陽, 荒井龍彦, 大藺英一, 原一男, 赫彰郎¹⁾, 福田憲昭²⁾, 中川俊²⁾, 樋口順三³⁾ (1)第2内科, ²⁾第一病院整形外科, ³⁾東京人工腎臓センター) : [報告] 心因性腰痛と診断されていた維持透析患者に脊髄腫瘍の合併を認めた1症例. 透析会誌, **21**, 717~720, 1988.
- 3) 葉山修陽, 大藺英一, 河辺満彦, 荒井龍彦, 原一男, 赫彰郎 : [報告] 二重内腔透析用カテーテル留置により鎖骨下静脈の閉塞を認めた1症例. 腎と透析, **25**, 950~952, 1988.
- 4) Fukuo, Y., Hayama, N., Koyama, J., Nagashima, M., Hara, K., Terashi, A., Tamaki, C.¹⁾ and Seta, K.¹⁾ (1)Institute of Geriatric Hospital, Tokyo) : [報告] Effects of LDL apheresis on cerebrotendinous xanthomatosis ; A case study. Therapeutic Plasmapheresis, **Ⅶ**(No. 312), p. 482~486, ISAO Press, 1988.

学会発表

- 1) 大藺英一¹⁾, 葉山修陽¹⁾, 池田一則¹⁾, 岡史篤¹⁾, 荒井龍彦¹⁾, 原一男¹⁾, 赫彰郎¹⁾, 石崎正通²⁾, 馬杉洋三²⁾, 大國壽士³⁾ (¹⁾第2内科, ²⁾第1病理, ³⁾微生物・免疫): [一般講演] 急性腎不全を呈した PSAGN の1症例. 第18回日本腎臓学会東部部会, 1988.
- 2) 葉山修陽¹⁾, 小林陽二¹⁾, 鈴木秀徳¹⁾, 大藺英一¹⁾, 荒井龍彦¹⁾, 原一男¹⁾, 赫彰郎¹⁾, 金川卓郎²⁾, 石崎正通³⁾, 馬杉洋三³⁾ (¹⁾第2内科, ²⁾田尻ヶ丘病院, ³⁾第1病理): [一般講演] Shunt nephritis の1症例. 第18回日本腎臓学会東部部会, 1988.
- 3) 葉山修陽, 大藺英一, 荒井龍彦, 原一男, 赫彰郎, 栗原怜¹⁾, 河辺満彦¹⁾, 米島秀夫 (¹⁾春日部秀和病院内科): [ポスター] 腎不全における脂質代謝異常と二次性副甲状腺機能亢進症の関連について. 第33回日本透析療学会総会, 1988.
- 4) 葉山修陽, 大藺英一, 荒井龍彦, 原一男, 赫彰郎, 清水一雄¹⁾, 庄司佑¹⁾, 栗原怜²⁾, 河辺満彦²⁾, 米島秀夫²⁾ (¹⁾第2外科, ²⁾春日部秀和病院腎内科): [一般講演] 腎性上皮小体機能亢進症7例の経験. 第56回日本医科大学医学部総会, 1988.
- 5) 葉山修陽, 大藺英一, 荒井龍彦, 原一男, 赫彰郎, 栗原怜, 河辺満彦, 米島秀夫¹⁾ (¹⁾春日部秀和病院腎臓内科): [一般講演] 透析患者における HDL, LDL glycosylation について. 第二報 糖尿病性腎症における透析液糖濃度の影響. 第31回日本腎臓学会総会, 1988.

[第一病院中央検査室]

研究業績

- 1) 向坂元秀, 新宅孝征: [一般講演] 臨床材料より検出された遊離コアグラゼ陰性黄色ブドウ球菌について. 第56回日本医科大学医学部総会, 1988.

21. 第二病院付置施設等

[第二病院健康管理科]

研究概要

本年度は, 前年度に引き続き, 個々のライフスタイルと, 疾患の諸因子に及ぼす影響について, 検討した.

人間ドック者を対象に, 喫煙と飲酒が, 血中諸因子に及ぼす影響を与えるかを検討した.

結果として,

- 1) 総コレステロール値, 空腹時血糖値は, 飲酒群では, やや高値を示し, 喫煙群ではむしろ, やや低値であった.
- 2) HDL-コレステロール値は, 喫煙群では低値で, 飲酒群では高値であった.
- 3) 中性脂肪, および尿酸値は, 飲酒群では, やや高値, 喫煙群では, 有意に低値を示した.
- 4) 飲酒群において, GOT, GPT の値を検討したところ, GOT では, 飲まない人と一合程度の晩酌する人では, ほぼ同じ値を示し, 毎日かなりの量を晩酌する人は高値であった. この関係は, GPT では, やや異なり, 時々飲む人がやや高値を示し, 晩酌する人とほとんど飲まない人の間にはあまり差がなかった. 喫煙群では, 両者にほとんど変動がみられなかった. 今後は, 飲酒群と喫煙群の白血球数, 赤血球数, AG 比, 総蛋白, ALP, 心拍数, 肺活量等の血中諸因子に対する影響に検討を加えるつもりである.

研究業績

論文

- 1) 関谷政雄：〔原著〕人間ドック者にみられる微熱の意義. 健康医学, 3(1), 54～56, 1988.

学会発表

- 1) 関谷政雄, 山田記道：〔一般講演〕人間ドック者に発見された hyperfunctioning thyroid adenoma の1症例. 日本人間ドック学会（第29回）, 1988.
- 2) 関谷政雄, 遠山俊之：〔一般講演〕人間ドック者にみられる微熱の意義. 日本医科大学医学会第66回例会, 1988.

〔第二病院病理部〕

研究概要

病理部3年目にあたる昭和63年度は、借住い最後の年となり丁度平成元年3月までプレハブにて仕事をし、4月に本建築に移転した。B館に染色室、免疫室、情報室ができC館に助手室、部長室が新設されこれですべて基礎造りが完了することになった。

臨床側からのコンサルテーションに対する要望が極めて高く、この1年間は特に消化器病センターの充実が病理側からもうかがえた。産婦人科とともにそれぞれの助手、研修医、BST学生の病理診断に対する関心が深い。皮膚科もその検体提出数が抜きんでて多く肉眼形態診断との対比検討が堅実に進められておりできる限りお手伝いしている。

昭和62年4月27日に第二病院 chest conference を初めて開催したが、それ以来原則として毎週水曜日の夕方、放射線科（佐藤）、外科（平田、久吉、難波）、内科（倉田、嶋崎）が中心となり実施中である。対象は最も新しい外来・入院患者であるが、これまでに提示された症例は多彩であり、興味深いものは学会で報告しつつある。次年度は、これらの症例をリサーチ分野へどのように組み込むかについて模索せねばならない。

World Health Organization の指導下で、慶応大学、徳島大学、産業医大、労働省科学研究所などと共同で推進しつつある「塵肺早期変化の病理」については、この1年間で北京、上海、ソウルへ出向き実際に検体を彩取できるようになった段階にある。患者肺組織と気管支肺胞洗浄液細胞などの光顕・電顕的分析、無機金属の分析、細胞傷害因子および線維芽細胞成長因子、蛋白分解酵素など多面的解析を行いつつある。今回の国際会議までにまとめる予定である。

抗原伝達細胞に関しては正常組織と腫瘍における出現の違いに注目したが、現在同細胞の多様な出現と病的条件下での活性化につき検索中である。また肉芽腫反応の炎症における意義についても人体材料で免疫病理学的に解析しつつある。これらの基礎データをもとに臨床各科との共同研究を目指す考えでいる。

研究業績

論文

- 1) 服部怜美¹⁾, 三枝由紀子¹⁾, 佐藤元泰¹⁾, 川並汪一, 青木見佳子²⁾ (¹⁾第二病院皮膚科, ²⁾付属病院皮膚科)：〔原著〕Gabexate Mesilate (FOY) による Eosinophilic Panniculitis. 日本皮膚病理組織研究会会誌. 4, 12～15, 1988.
- 2) Osaka, M.¹⁾, Aramaki, T.¹⁾, Okumura, H.¹⁾, Kawanami, O. (¹⁾First Department of Medicine)：〔原著〕Primary biliary cirrhosis with fibrosing alveolitis. Gastroenterol. Jpn., 23, 457～460, 1988.
- 3) 田中満¹⁾, 新本弘¹⁾, 甲田英一¹⁾, 山口佳寿博²⁾, 岡田泰昌²⁾, 山沢文裕²⁾, 川並汪一, 竹口甲三³⁾ (¹⁾慶応大学放射線診断科, ²⁾慶応大学内科, ³⁾川崎市立井田病院内科)：〔原著〕内視鏡検査によるサルコイドーシスの末梢気道の検討. 日胸疾患会誌, 26, 943～949, 1988.

- 4) 三宅弘章：〔原著〕肺癌におけるランゲルハンス系細胞の出現とその意義について．肺癌，28，849～855，1988.

著 書

- 1) 川並汪一：〔編集〕講座 肺の細胞；Ⅱ型肺胞上皮細胞(3)ヒトにおける再生と腫瘍化（児玉哲郎著）．“呼吸7”，p. 451～458，レスピレーションリサーチファンデーション，1988.
- 2) 川並汪一：〔編集〕講座 肺の細胞；肺クララ細胞（木村雄二，三浦溥太郎，相田真介著）．“呼吸7”，p. 581～587，レスピレーションリサーチファンデーション，1988.
- 3) 川並汪一：〔編集〕講座 肺の細胞；気管・気管支腺の構造と機能および病態時における変化（勝山努，望月一郎，中山淳，金井正光著）．“呼吸7”，p. 708～714，レスピレーションリサーチファンデーション，1988.
- 4) 川並汪一：〔編集〕講座 肺の細胞；気道線毛上皮細胞（服部康夫著）．p. 817～822，レスピレーションリサーチファンデーション，1988.
- 5) 川並汪一：〔編集〕講座 肺の細胞；呼吸器系における免疫グロブリン産生細胞（大田健著）．“呼吸7”，p. 926～931，レスピレーションリサーチファンデーション，1988.
- 6) 川並汪一：〔編集〕講座 肺の細胞；ヒト気管支上皮細胞の培養と機能(1)培養法と増殖・分化（笹島耕二，宮下正夫，Harris, C. C., Lechner, J. F. 著）．“呼吸7”，p. 1044～1049，レスピレーションリサーチファンデーション，1988.
- 7) 川並汪一：〔編集〕講座 肺の細胞；ヒト気管支上皮細胞の培養と機能(2)発癌機構の解明のために（宮下正夫，笹島耕一，松倉則夫，増井徹，Lechner, J. F., Harris, C. C. 著）．“呼吸7”，p. 1152～1156，レスピレーションリサーチファンデーション，1988.
- 8) 川並汪一：〔編集〕講座 肺の細胞；呼吸器系小血管内皮細胞（江部達夫，小林理著）．“呼吸7”，p. 1255～1262，レスピレーションリサーチファンデーション，1988.
- 9) 川並汪一：〔編集〕講座 肺の細胞；肺胞間質（筋線維芽）細胞（福田悠著）．“呼吸7”，p. 1372～1380，レスピレーションリサーチファンデーション，1988.
- 10) 川並汪一：〔編集〕講座 肺の細胞；肺と血小板（黒沢元博，小林裕幸著）．“呼吸8”，p. 51～57，レスピレーションリサーチファンデーション，1989.
- 11) 川並汪一：〔編集〕講座 肺の細胞；肺のTリンパ球—表面マーカーと機能—（吉澤靖之，大塚盛男，高橋伸禎著）．“呼吸8”，p. 183～188，レスピレーションリサーチファンデーション，1989.
- 12) 川並汪一：〔編集〕講座 肺の細胞；肺胞マクロファージのサブセットとその意義—モノクローナル標識抗体を用いた解析—（菅守隆，安藤正幸，東賢次著）．p. 298～302，“呼吸8”，レスピレーションリサーチファンデーション，1989.

学会発表

- 1) 松原貴則¹⁾，藤井裕介¹⁾，倉田文秋¹⁾，嶋崎譲¹⁾，上田征夫¹⁾，原文男¹⁾，川並汪一（¹⁾第二病院内科）：〔パネルディスカッション〕糖尿病に関係する肺末梢病変について．第85回日本内科学会講演会，1988.
- 2) 田中満¹⁾，甲田英一¹⁾，佐藤勝²⁾，山口佳寿博²⁾，岡田泰昌²⁾，山沢文裕²⁾，川並汪一（¹⁾慶応大学放射線診断科，²⁾慶応大学内科）：〔一般講演〕末梢気道の内視鏡所見に関する研究．第28回日本胸部疾患学会総会，1988.
- 3) 川並汪一，青木見佳子¹⁾，松田健¹⁾，小泉信一郎¹⁾，山本達也¹⁾，馬杉洋三¹⁾（¹⁾第1病理）：〔一般講演〕ヒトマスト細胞の生理的脱顆粒の組織化学的電顕的特徴．第77回日本病理学会総会，1988.
- 4) 鈴木隆¹⁾，植木伊津美¹⁾，井砂司¹⁾，野崎幹弘¹⁾，平山峻¹⁾，川並汪一（¹⁾東京女子医科大学形成外科）：〔一般講演〕多発性脳膿瘍を併発した重症熱傷の稀れな1例．第14回日本熱傷学会総会，1988.

- 5) 渡辺昌則¹⁾, 久吉隆郎¹⁾, 難波亨¹⁾, 平田正信¹⁾, 赤岩順¹⁾, 天野純治¹⁾, 三樹勝¹⁾, 渡辺誠²⁾, 黒田賢二²⁾, 松尾博由²⁾, 平沼尚和²⁾, 川並汪一, 太田吉男, 大庭孝男 (¹⁾第二病院外科, ²⁾同整形外科) : [展示] 両側気胸を伴った骨肉腫による転移性肺腫瘍の1例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 6) 太田吉男, 大庭幸男, 川並汪一, 久吉隆郎¹⁾ (¹⁾第二病院外科) : [展示] 5年前より転移性肺腫瘍陰影を認めた甲状腺癌の1例. 第27回日本臨床細胞学会秋期大会, 1988.
- 7) 大庭孝男, 太田吉男, 川並汪一, 久吉隆郎¹⁾ (¹⁾第二病院外科) : [展示] 骨肉腫の肺転移部における捺印細胞診について. 第27回日本臨床細胞学会秋期大会, 1988.
- 8) 田口正男¹⁾, 松尾健志¹⁾, 菊池三郎¹⁾, 太田吉男, 川並汪一 (¹⁾第二病院産婦人科) : [展示] 多量の腹水貯留をきたし死亡した平滑筋肉腫の一例. 第27回日本臨床細胞学会秋期大会, 1988.
- 9) 難波亨¹⁾, 久吉隆郎¹⁾, 平田正信¹⁾, 三樹勝¹⁾, 佐藤雅史²⁾, 川並汪一 (¹⁾第二病院外科, ²⁾同放射線科) : [一般講演] 特異な病態を呈した肺アスペルギルス症の一例. 第69回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1989.
- 10) 内藤英二¹⁾, 三樹勝¹⁾, 天野純治¹⁾, 赤岩順¹⁾, 田崎博也¹⁾, 大久保正智¹⁾, 難波亨¹⁾, 川並汪一, 荒川薫¹⁾ (¹⁾第二病院外科) : [一般講演] 左頸部巨大腫瘍の一例. (悪性混合腫瘍). 第64回神奈川県臨床外科医学会集談会, 1989.
- 11) 難波亨¹⁾, 久吉隆郎¹⁾, 桜井蔚生¹⁾, 平田正信¹⁾, 赤岩順¹⁾, 天野純治¹⁾, 三樹勝¹⁾, 佐藤雅史²⁾, 川並汪一 (¹⁾第二病院外科, ²⁾同放射線科) : [一般講演] 約5年間経過観察された肺転移巣より診断された甲状腺癌の一例. 第94回日本肺癌学会関東部会, 1989.

[第二病院中央検査室]

研究業績

学会発表

- 1) 津金香代子, 関洋子, 井上雅則, 鈴木稔, 原文男 : [展示] EL-1000による α -fetoprotein 定量の検討. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.

[第二病院薬剤科]

研究業績

論文

- 1) 赤羽伸一, 岩上正明, 佐藤陽一, 平野公晟, 原敦子¹⁾ (¹⁾看護部) : [報告] 患者志向による調剤業務の再検討. (その1) 入院調剤方式について. JJSH, 25(3), 29~31, 1989.
- 2) 小坂好男, 小野敏和, 永楽ひとみ, 平野公晟 : [報告] 患者志向による調剤業務の再検討. (その2) 調剤過誤防止対策. JJSH, 25(3), 32~34, 1989.

学会発表

- 1) 尾上肇, 若城由美子, 目黒由香, 平野公晟 : [一般講演] 安全性情報の伝達に関する調査 (第二報). 日本病院薬剤師会第18回関東ブロック学術大会, 1988.

22. 多摩永山病院付置施設等

[多摩永山病院救命救急センター]

研究概要

救急医療全般にわたって症例報告を中心に発表を行った。特にCHF, CAVH, DHP等の血液浄化法を中毒, 心不全, 呼吸不全, 腎不全, 肝不全, 敗血症等の各種病態に施行し, 臨床面での検討を行い, またその方法, 装置の改良, 工夫についても研究をすすめた。

研究業績

論文

- 1) 小田彰, 政次富美子, 岡野節子, 千代ちま, 萩森正紀¹⁾ (¹⁾特別養護老人ホーム仁育会) : [原著] 新しい褥瘡予防用素材としての有機導電性繊維サンダーロン SS-Nの使用経験. 看技, 34, 105~107, 1988.

学会発表

- 1) 安東俊明, 小田彰, 和田英理, 塩田吉宣, 谷口善郎, 高崎秀明 : [一般講演] 多臓器不全をきたした熱中症の1例. 第25回日本救急医学会関東地方会, 1988.
- 2) 和田英理, 吉岡正智, 田中洋介, 山田和人, 樋口勝美, 塩田吉宣, 谷口善郎, 増森興治, 高田月彦, 小田彰, 山本鼎¹⁾, 前田昭太郎²⁾, 恩田昌彦³⁾ (¹⁾多摩永山病院放射線科, ²⁾同病理, ³⁾第1外科) : [展示] 二次陰影を伴う小結節型肺胞上皮癌の1切除例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 3) 梅森真理, 小田彰, 和田英理, 高崎秀明, 小西清二, 氏原康之, 清水康仁, 恩田昌彦¹⁾ (¹⁾第1外科) : [展示] 全身浮腫を伴う重症心不全に対して持続的血液ろ過 (CHF) が著効した1例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 4) 山本達也, 小田彰, 和田英理, 梅森真理, 和田雅世, 小川芳夫, 吉松信彦 : [一般講演] いわゆる股裂きとなった交通外傷の1治療例. 第38回城西外科研究会, 1989.

[多摩永山病院病理部]

研究概要

病理部では本年度より, ①病理組織部門, ②免疫組織化学部門, ③電子顕微鏡部門, ④細胞診断部門の4部門に分け, それぞれの部門を充実させ, 診断, 教育, 研究の内容の向上に努めている。

研究概要は昨年度までと基本的に同様であるが, 特に悪性腫瘍の早期診断, 早期治療のために, 外来迅速細胞診に力を入れている。

研究業績

論文

- 1) 吉岡正智, 田中洋介, 和田動武, 鳥羽昌仁, 安東俊明, 八木和郎, 前田昭太郎, 恩田智彦 : [症例報告] 診断ならびに治療に難渋した良性胆管狭窄の2症例. 胆道, 2, 186~194, 1988.

学会発表

- 1) 高田月彦¹⁾, 吉岡正智¹⁾, 田中洋介¹⁾, 山田和人¹⁾, 樋口勝美¹⁾, 上田光孝¹⁾, 増森興治¹⁾, 山田智彦¹⁾, 前田昭太郎 (¹⁾多

- 摩永山病院外科)：〔一般講演〕腸重積により緊急手術された腸悪性腫瘍の一例。第36回城西外科研究会，1988。
- 2) 増森興治¹⁾，吉岡正智¹⁾，田中洋介¹⁾，山田和人¹⁾，樋口勝美¹⁾，上田光孝¹⁾，山田智彦¹⁾，高田月彦¹⁾，前田昭太郎¹⁾ (多摩永山病院外科)：〔一般講演〕十二指腸狭窄症状を呈した糞線虫症の一例。第36回城西外科研究会，1988。
- 3) 前田昭太郎，大塚俊司，倉品修平¹⁾ (多摩永山病院中央検査室)：〔展示〕剖検例の細菌学的検索。第1報 特起因菌および薬剤耐性化に関する検討。第77回日本病理学会総会，1988。
- 4) 大塚俊司，奥田朗夫，前田昭太郎：〔展示〕乳癌における Estrogen Receptor (ER) の検討 第1報。第77回日本病理学会総会，1988。
- 5) 菊地達之¹⁾，白井康正¹⁾，下川晶¹⁾，浦田伸一¹⁾，前田昭太郎¹⁾ (整形外科)：〔展示〕全経過25年の dedifferentiated liposarcoma と思われる一例。日本整形外科学会第21回骨・軟部腫瘍研究会，1988。
- 6) 和田英理¹⁾，吉岡正智¹⁾，田中洋介¹⁾，山田和人¹⁾，樋口勝美¹⁾，塩田勝美¹⁾，山田智彦¹⁾，谷口善郎¹⁾，増森興治¹⁾，高田月彦¹⁾，小田彰²⁾，山本鼎³⁾，孫田誠三³⁾，有竹澄江³⁾，田島なつき³⁾，前田昭太郎，恩田昌彦⁴⁾，長澤紘一⁵⁾，針谷吉人⁵⁾，大津文雄⁵⁾，渡部眞理⁵⁾ (多摩永山病院外科，²⁾同救命救急センター，³⁾同放射線科，⁴⁾第1外科，⁵⁾多摩永山病院内科)：〔展示〕二次陰影を伴う結節型肺胞上皮癌の1切除例。第56回日本医科大学医学会総会，1988。
- 7) 倉品修平¹⁾，中川恵理¹⁾，伊佐野京子¹⁾，飯野幸永¹⁾，長澤紘一²⁾，前田昭太郎¹⁾ (多摩永山病院中央検査室，²⁾同内科)：〔展示〕剖検例の細菌学的検索。第2報 弱毒菌の動向。第56回日本医科大学医学会総会，1988。
- 8) 高田月彦¹⁾，吉岡正智¹⁾，田中洋介¹⁾，山田和人¹⁾，樋口勝美¹⁾，谷口善郎¹⁾，塩田吉宜¹⁾，増森興治¹⁾，山田智彦¹⁾，多田裕美子²⁾，前田昭太郎，恩田昌彦³⁾ (多摩永山病院外科，²⁾同内科，³⁾第1外科)：〔展示〕出血性ショックに陥った十二指腸平滑筋腫の1例。第56回日本医科大学医学会総会，1988。
- 9) 増森興治¹⁾，吉岡正智¹⁾，田中洋介¹⁾，山田和人¹⁾，鳥羽昌二¹⁾，樋口勝美¹⁾，谷口喜郎¹⁾，塩田吉宜¹⁾，前田昭太郎，恩田昌彦²⁾ (多摩永山病院外科，²⁾第1外科)：〔展示〕十二指腸狭窄症状を呈した糞線虫症の1例。第56回日本医科大学医学会総会，1988。
- 10) 高田月彦¹⁾，吉岡正智¹⁾，田中洋介¹⁾，山田和人¹⁾，樋口勝美¹⁾，谷口善郎¹⁾，塩田吉宜¹⁾，増森興治¹⁾，山田智彦¹⁾，多田裕美子²⁾，前田昭太郎，恩田昌彦³⁾ (多摩永山病院外科，²⁾同内科，³⁾第1外科)：〔一般講演〕出血性ショックに陥った十二指腸平滑筋腫の1例。第56回日本医科大学医学会総会，1988。
- 11) 高田月彦¹⁾，吉岡正智¹⁾，田中洋介¹⁾，山田和人¹⁾，樋口勝美¹⁾，増森興治¹⁾，山田智彦¹⁾，前田昭太郎，恩田昌彦²⁾ (多摩永山病院外科，²⁾第1外科)：〔展示〕小腸重積症を惹起した回腸癌の1例。第30回日本消化器病学会総会，1988。
- 12) 多田裕美子¹⁾，今泉孝敬¹⁾，鈴木健¹⁾，大津文雄¹⁾，針谷吉人¹⁾，長澤紘一¹⁾，前田昭太郎，奥村英正²⁾ (多摩永山病院内科，²⁾第1内科)：〔一般講演〕抗下垂体陽性甲状腺機能低下症を合併した overlap syndrome の1例。第378回日本内科学会関東地方会，1988。
- 13) 杉山佳世子，前田昭太郎，大塚俊司，東敬子，奥田朗夫，哲翁弥生¹⁾，今泉孝敬¹⁾，山本鼎²⁾，大竹清子³⁾ (多摩永山病院内科，²⁾同放射線科，³⁾第2病理)：〔展示〕アミラーゼ産生性若年型肺癌の1例。第27回日本臨床細胞学会秋期大会学術講演会，1988。
- 14) 渡会泰彦¹⁾，松原美幸¹⁾，梅崎博嗣¹⁾，浅川一枝¹⁾，鈴木恒道¹⁾，前田昭太郎，川本雅司²⁾，松島伸治²⁾ (付属病院病理部，²⁾胸部外科)：〔展示〕男性乳癌(粘液癌)の1例。第27回日本臨床細胞学会秋期大会学術講演会，1988。
- 15) 松原美幸¹⁾，渡会泰彦¹⁾，梅崎博嗣¹⁾，浅川一枝¹⁾，鈴木恒道¹⁾，前田昭太郎，浦田伸一²⁾，菊地達之²⁾，白井康正²⁾ (付属病院病理部，²⁾同整形外科)：〔展示〕類上皮肉腫の1例。第27回日本臨床細胞学会秋期大会学術講演会，1988。
- 16) 多田裕美子¹⁾，中込明裕¹⁾，福岡長知¹⁾，田中邦夫¹⁾，鈴木健¹⁾，大津文雄¹⁾，針谷吉人¹⁾，長澤紘一¹⁾，前田昭太郎¹⁾ (多摩永山病院内科)：〔一般講演〕大動脈弁穿破をきたした β -Streptococci A 群感染性心内膜炎の2例。日本医

科大学医学第66回例会，1988.

- 17) 哲翁弥生¹⁾，内田高浩¹⁾，今泉孝敬¹⁾，鈴木健²⁾，大津文雄¹⁾，針谷吉人¹⁾，長澤紘一¹⁾，山本鼎²⁾，前田昭太郎，奥村英正³⁾（¹⁾多摩永山病院内科，²⁾同放射線科，³⁾第1内科）：〔一般講演〕若年発症アミラーゼ産生肺癌の1例. 第380回日本内科学会関東地方会，1989.
- 18) 多田裕美子¹⁾，鈴木健¹⁾，大津文雄¹⁾，針谷吉人¹⁾，長澤紘一¹⁾，前田昭太郎，早川弘一²⁾，丸山二郎³⁾，川越榮³⁾，宗像純司（¹⁾多摩永山病院内科，²⁾第1内科，³⁾都立駒込病院）：〔一般講演〕長期生存した完全血管転位症に大動脈縮窄症を合併した1剖検例. 第131回日本循環器学会関東甲信越地方例会，1989.
- 19) 前田昭太郎，杉山佳世子，奥田朗夫，東敬子，大塚俊司，岩谷敦子¹⁾，内田高浩²⁾（¹⁾多摩永山病院中央検査室，²⁾同内科）：〔一般講演〕アミラーゼ産生性若年型肺癌の一部検例. 第78回日本病理学会総会，1989.

〔多摩永山病院中央検査室〕

研究業績

論文

倉品修平，伊佐野京子：〔原著〕抗生物質，血中薬物. 検と技，16，898～900，1988.

学会発表

- 1) 井上淳，岩名敦子，岡崎桂子，岡本直人，木原麻奈美，飯野幸永，長澤紘一¹⁾（¹⁾多摩永山病院内科）：〔展示〕血漿フルクトサミン測定の基礎的検討. 第56回日本医科大学医学会総会，1988.
- 2) 倉品修平，中川恵理，伊佐野京子，飯野幸永，長澤紘一¹⁾，前田昭太郎²⁾（¹⁾多摩永山病院内科，²⁾同病理検査室）：〔展示〕剖検例の細菌学的検索. 第2報 弱毒菌の動向. 第56回日本医科大学医学会総会，1988.

〔多摩永山病院薬剤科〕

研究概要

当薬剤科は病院薬局の本来実施すべき薬剤師職能を追求することによって，実践業務に直結したテーマを中心に研究を心がけている. 臨床各科と共同し，分析，合成，情報解析等薬剤師の技術，知識を応用可能な領域で問題の解決にあたっていきたい.

具体的には標榜した薬物療法を患者個人別に効率化するための試行を重ね，臨床薬学実践の成果を報告してきた. 医師との共同による TDM（薬物の体液内濃度測定）や患者への服薬指導等は医療効率を高める証明をした. また製剤関連では外科との提携による潰瘍性大腸炎に対する5-ASA 注腸剤の適用や他施設との共同による婦人科癌に対する耐化セルロースガーゼの適用は注目を集めた.

医薬品情報に関しては日本病院薬剤師会学術委員会メンバーとして，「医薬品インタビューフォーム」を4年をかけて制定し，今後の新薬情報の基準項目が統一された. これと関連するが1988年4月診療報酬改訂により施設基準適合病院に調剤技術基本料が新に加算されたが，当病院は内科，外科，眼科，耳鼻咽喉科145床が11月に認可され，日常業務に加えて病棟での薬剤師活動を本格的に開始している.

研究業績

論文

- 1) 村田正弘：〔論説〕パネルターミナルケアと麻薬；麻薬管理資格認定制度により権限と責任を. ファルマシア，24，1007～1008，1988.
- 2) 中原保裕：〔総説〕医薬品副作用モニタリング制度に対する病院薬剤師の取組み. 月刊薬事，31，239～248，1989.

- 3) 浜田康次, 永野喜久江¹⁾, 村田正弘 (¹⁾付属病院薬剤部): [原著] エンシュアリキッド® の配合変化脳外科領域の粉砕薬剤中心に. The Japanese Journal of Parenteral and Enteral Nutrition, 11, 343~346, 1989.
- 4) 内田智¹⁾, 村田正弘 (¹⁾青梅市立総合病院産婦人科): [短報] Bleomycin 酸化セルロースガーゼの婦人科癌に対する使用経験. 癌と化療, 16, 135~137, 1989.

著 書

- 1) 村田正弘: わかりやすい薬の知識. 看護の科学社, 1988.

学会発表

- 1) 朝長文弥¹⁾, 村田正弘, 他 (¹⁾北里大学病院): [委員会報告] DI 業務と医薬品情報に関する調査・検討. 日本薬学会第108年会 (病院薬局協議会), 1988.
- 2) 中原保裕, 村田正弘: [一般講演] 慢性気管支患者に対する退院時服薬指導の意義. 日本薬学会第108年会 (病院薬局協議会), 1988.
- 3) 中原保裕: [シンポジウム] 患者志向の服薬指導とコストベネフィット. 第2回クリニカルファーマシーシンポジウム, 1988.
- 4) 畝本賜男, 宿前貴子, 村田正弘: [一般講演] 適切な薬物療法実施のための薬剤師職能の再考—褥瘡患者の状況変化に対応した製剤の検討と効果. 日本病院薬剤師会関東ブロック第18回学術大会, 1988.
- 5) 浜田康次, 永野喜久江¹⁾, 村田正弘 (¹⁾付属病院薬剤部): [一般講演] エンシュアリキッドの配合変化; 脳外科領域の粉砕薬剤を中心に. 第27回医薬品相互作用研究会シンポジウム, 1988.
- 6) 中原保裕, 吉岡優子, 浜田康次, 村田正弘, 田中邦夫¹⁾, 富士崎成子¹⁾, 鈴木健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 針谷吉人¹⁾, 長沢紘一¹⁾ (¹⁾多摩永山病院内科): [一般講演] 気管支喘息発作時における Theophylline therapeutic range の意義.

[多摩永山病院看護部]

研究概要

当院看護部では、看護業務の合理化をはかるための改善と、看護職員の意欲を高め、看護の質が向上することを目的に、研究活動を奨励している。教育効果を上げる一つ的手段として、また研究結果は実践の場に還元できることをめざして取り組んでいる。

1) 救命救急センターと脳外科病棟では、意識レベルの低下している患者の褥創予防として、有機導電繊維の素材を工夫し、30例に使用してその有効性を実証した。

また救命救急センターにおけるICU シンドロームの予防策として、精神症状看護マニュアルを作成した。入室する全患者をスクリーニングして基準を活用した結果、精神症状の予防手段として効果を認めたので報告した。

2) 内科病棟では、増加する老人患者の環境適応への援助に、多大な看護力を要している。事例は、夜間譫妄をきたした70歳の男性患者である。老人にとって最善の解決方法は、できるだけ早期に元の環境に戻すことであり、同時に一般病棟における異常行動を起こす患者のケアは、人的、物的面での対応の困難さと、転院先の中間施設が不足している現状について報告した。

3) 整形外科領域では、青年期の患者層が多く、発達段階の特徴から、反抗的な態度に遭遇する。そこで患者と看護婦の相互関係を発展させていくことを目的に、プロセスレコードによる看護場面の再構成を行い、看護婦の対応が大きく影響する青年期の心理的特徴を明らかにして、対応方法について考察した。

平成元年度は、受持看護体制の強化、クリニカルラダーの導入、モラル調査に焦点をおき、看護管理上の問題解決に向けて、研究的な取り組みをしていきたい。

研究業績

論文

- 1) 千代ちま, 岡野節子, 政次富美子, 萩森正紀¹⁾, 小田彰 (¹⁾特養仁育会): [研究報告] 新しい褥創予防素材としての有機導電性繊維サンダーロン SS-N[®] の使用経験. 看技, 34(7), 105~107, 1988.
- 2) 河田みどり, 笹川恵美子, 遠藤三代子, 梶木屋英子: [研究報告] 夜間譫妄をきたした患者の看護の一考察. 看護実践の科学, 13(4), 23~26, 1988.
- 3) 松井美香, 石井ひろみ, 大力和子, 緋田雅美, 熊谷玲子, 岡野節子, 政次富美子: [研究報告] 救急部門における PONR の充実; 質の高い急性期ケアをめざして (特集: POS 研究会報告). 看教, 29(12), 768~771, 1988.

学会発表

- 1) 筒井美紀, 池田かおり, 中村好美, 松本ひろみ, 笹熊幸, 並里玲子, 大野幸美, 林菜保美: [一般講演] 青年期患者との関わりの重要性を考える; プロセスレコードから看護婦の対応を見直して. 東京都看護協会南部地区看護研究学会, 1988.
- 2) 斉藤聖美, 古川明美, 中村春美, 坂本幸広, 岡田美千子, 戸田幸子, 本間妙子, 政次富美子: [一般講演] 救急医療の場における精神症状看護; マニュアルの作成と活用を試みて. 第26回救急医学会関東地方会, 1989.

〔 4 〕 付 置 研 究 施 設

1. 老人病研究所

研究概要

老化の生物説に従うと、各臓器組織の機能低下とその要因のすべてを老化の原因としてとりあげることができる。age-related change が広汎に追跡されてきた理由もここにある。殊にすべての臓器組織を構築している動脈、その老化（動脈硬化）は、老年医学の重要な1分野である。一方分子のレベルで眺めると、老化は生体を構築している分子の質的量的経年変化によって招かれること、殊に DNA とそれをめぐる経年変化が重要視されてきている。また老年者の抗体産生能を集団のレベルで調べる疫学的検索も、老化の immune theory を検討する一手段である。近年はまた「老年痴呆」が老年社会における最大の課題としてとりあげられ、殊に栄養素との関連が注目されてきている。

老研各部門は上述の観点に立って、従来の研究とともに、重点の一つを「痴呆」に定めて研究している。

1) 動脈硬化関連：① CTBL (cholesterol transfer between two lipoprotein) 法を用いて、LCAT 活性の高値はすべての状況下での antirisk ではないと推論した。②同一老人(10名)の血清脂質および cholesterol dynamics を5年間追跡し、加齢との関係を明らかにした。③八丈島民の脳梗塞発生の低率をタウリンを中心に追跡中。④ストレス効果が高 TC 状態で増幅される機作を解析中。

2) 胸部交感神経節の冠動脈血流量に及ぼす影響についての研究。

3) 痴呆関連：①含硫アミノ酸、殊にホモチス테인と脳梗塞および脳動脈硬化との関連。②アルミニウム脳の実験的研究。③アルコールの脳に及ぼす影響の実験的研究など。

4) 遺伝子関連：transgenic mice を利用して oncogene の腫瘍形成能を主として研究している。

5) 疫学的検索：①高齢者のインフルエンザ死亡率の高値を HI 抗体の保有とワクチン接種による HI 抗体産生能を中心に検索中。②モデル地域を設定し、高齢社会に対応する医療保健・福祉対策のあり方について検討している。

研究業績

論文

- 1) 中山恵二¹⁾、今井俊哉¹⁾、金森幸男¹⁾、中村進一、山本泰一（¹⁾第一病院皮膚科）：〔原著〕毛細血管拡張性肉芽腫を伴った陰茎悪性黒色腫の一例。Skin Cancer, 3, 168~172, 1988.
- 2) Nakajima, S., Ozasa, K., Hada, K. and Hasegawa, T.: 〔原著〕Cholesterol transfer between α - and β -lipoprotein lipoprotein fractions in serum; Method of estimation and some factors influencing the cholesterol translocation. Nippon Ika Daigaku Zasshi, 55, 251~260, 1988.
- 3) 羽田和正、長谷川卓志、西横貴代美、中島信治、福生吉裕¹⁾、赫彰郎¹⁾（¹⁾第2内科）：〔報告〕Xanthoma 患者の血清 cholesterol dynamics に関する検討。日医大誌, 55, 320~324, 1988.

著書

- 1) 清水一：〔分担〕腎の染色、過ヨウ素酸メテナミン染色。“染色法のすべて”，p. 45~49, 医歯薬出版, 1988.

学会発表

- 1) 福田正彦、清水一、枝川聖子、片山博徳、山本泰一、大網弘：〔一般講演〕副腎皮質癌の一例。第29回日本臨床細胞総会, 1988.
- 2) 横田隆、大石一二三、小山美弥、大網弘：〔一般講演〕NMS10におけるヒアルロン酸合成能に及ぼすハイドロコルチゾンの影響。第77回日本病理学会, 1988.

- 3) 小山美弥, 横田隆, 大石一二三, 山本泰一, 大網弘: [一般講演] K-ras の増幅が確認された胃癌の一例剖検例. 第77回日本病理学会, 1988.
- 4) 小林秀規¹⁾, 秋本伸¹⁾, 五十嵐達紀¹⁾, 大田代安律¹⁾, 白井聡¹⁾, 太田岳洋¹⁾, 中上哲雄¹⁾, 羽生富士夫¹⁾, 大網弘^(¹東京女子医大消化器病センター外科): [一般講演] 上行結腸に発生した Oncocytic Adenocarcinoma の1例. 第729回外科集談会, 1988.
- 5) 長谷川卓志, 羽田和正, 西横貴代美, 大網弘, 小山美弥, 中島信治: [一般講演] ストレス負荷による代謝変化の動脈硬化に及ぼす影響について. 昭和63年度日本動脈硬化学会総会, 1988.
- 6) 尾沢ますみ, 高橋修和, 勝又晴美, 柚木斉¹⁾, 八木悠紀子²⁾ (¹衛生学・公衆衛生学教室, ²国立公衆衛生院): [展示] 農村地域における高齢者の血清脂質並びに肥満度についての検討. 第47回日本公衆衛生学会総会, 1988.
- 7) 黒沢純夫¹⁾, 鈴木繁¹⁾, 高橋修和, 柚木斉¹⁾, 南正康¹⁾ (¹衛生学・公衆衛生学教室): [展示] 振動・引金付工具作業者の弾発指について; 実態と対策. 第47回日本公衆衛生学会総会, 1988.
- 8) 横田隆, 大石一二三, 小山美弥, 大網弘: [一般講演] ストレス負荷における胃粘膜病変与える free radical scavenger の影響. 第56回日本医科大学医学総会, 1988.
- 9) 大石一二三, 横田隆, 小山美弥, 大網弘: [一般講演] 転移性腫瘍の heparitinase. 第56回日本医科大学医学総会, 1988.
- 10) 小山美弥, 片山博徳, 枝川聖子, 清水一, 大網弘, [一般講演] 実験的アルミニウム脳症の形態学的検索. 第56回日本医科大学医学総会, 1988.
- 11) 枝川聖子, 清水一, 片山博徳, 小山美弥, 大網弘: [一般講演] Golgi-Rapid 法と Golgi-Kopsch 法の比較検討. 第56回日本医科大学医学総会, 1988.
- 12) 清水一, 枝川聖子, 片山博徳, 大網弘: [一般講演] Estrogen 投与によるウサギ子宮内膜の核 DNA 量. 第56回日本医科大学医学総会, 1988.
- 13) Koyama, J., Fukuo, Y.¹⁾, Kobayashi, Y.¹⁾, Hayama, N.¹⁾, Hara, K.¹⁾, Hada, K.¹⁾, Terashi, A.¹⁾, Hasegawa, T. and Nakajima, S. (¹第2内科): [一般講演] The effects of LDL apheresis on aortic pulse wave velocity (PWV) in patients with familial hyper-cholesterolemia. 8th International Symposium on Atherosclerosis, 1988.
- 14) 浦崎政浩¹⁾, 清水一 (¹賛育会病院病理): [一般講演] 小児頭大の腫瘍として見られた脾腺維性腫瘍の一症例. 日本臨床細胞学会東京都支部会学術集会, 1988.
- 15) 清水一, 枝川聖子, 片山博徳, 原博, 大網弘: [一般講演] Estrogen 投与によるウサギ子宮内膜の核 DNA 量. 第27回日本臨床細胞学会秋期大会, 1988.
- 16) 原田信比古¹⁾, 松山秀樹¹⁾, 平野宏¹⁾, 新井田達雄¹⁾, 鈴木博孝¹⁾, 羽生富士夫¹⁾, 大網弘, 松尾成人¹⁾ (¹東京女子医大消化器病センター外科): [一般講演] 重複胃の一切除例. 第202回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 17) 小林秀規¹⁾, 今泉俊秀¹⁾, 三浦修¹⁾, 中迫利明¹⁾, 長谷川正治¹⁾, 小形慈彦¹⁾, 吉井克己¹⁾, 羽生富士夫¹⁾, 大網弘 (¹東京女子医大消化器病センター外科): [一般講演] 画像診断上脾癌と鑑別が困難で, 病理学的に脾周囲の著明な線維化を伴った慢性脾炎の一切除例. 第202回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 18) 吉井克己¹⁾, 今泉俊秀¹⁾, 三浦修¹⁾, 中迫利明¹⁾, 長谷川正治¹⁾, 小形慈彦¹⁾, 羽生富士夫¹⁾, 大網弘 (¹東京女子医大消化器センター外科): [一般講演] 画像診断上興味ある所見を呈した脾頭部癌と脾内胆管癌の同時性重複癌の一例. 第202回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 19) 羽田和正¹⁾, 神原礼文¹⁾, 新井弘一¹⁾, 尾上敏夫¹⁾, 斎藤彰¹⁾, 村松忠¹⁾, 永島幹夫¹⁾, 高橋常文¹⁾, 岩崎正知¹⁾, 渋谷敏道¹⁾, 稲葉治樹¹⁾, 小林陽二¹⁾, 福生吉裕¹⁾, 赫彰郎¹⁾, 長谷川卓志, 小山潤三, 中島信治 (¹第2内科): [一般講演] 無発性糖尿病患者における血中フルクトサミンの重要性について. 第23回日本成人病学会, 1989.
- 20) 相良宗徳¹⁾, 中山恵二¹⁾, 立原利江子¹⁾, 中村進一¹⁾, 片山博徳 (¹第一病院皮膚科): [一般講演] 多彩な皮疹を呈した顕症梅毒の一例. 第654回日本皮膚科学会合同臨床東京地方会, 1989.

2. ワクチン療法研究施設

研究概要

当施設開設以来、すでに17年を経過し、本年5月末のSSM使用登録癌患者数は、累積264,223名の多数にのぼり、共同治験医師数も、16,000名を凌駕し、各医師より寄せられる各種悪性腫瘍の治療経過報告書は、それ自体、日本における進行末現癌の治療現況・疫学統計としても、貴重なデータを提供しつつある。結核菌体抽出物質（SSM、丸山ワクチン）の悪性腫瘍に対する非特異的免疫療法としての基礎的、臨床的研究が、学内外の協力のもとに、一貫して、推進され、その概要、関連論文等については、“丸山ワクチンの癌の臨床”（新興医学出版）に、一括文献名が紹介されてある。

愛知癌センターの中里博昭氏らの行った胃癌非治癒切除症例におけるSSMの臨床比較対照試験、あるいは東北大、後藤由夫教授らの、進行癌における二重盲検法によるSSMの効果等の論文にも示されたSSMの進行末期癌における優れた延命効果、治療効果は、その副作用皆無の利点と併せて、最近特に問題とされつつある抗癌剤の副作用による死亡、quality of lifeの観点からも、医家の一層の信頼を勝ち得つつある。東京医科歯科大、難治研、坂本忍、岡本良平氏ら、同大第二外科、嘉和知靖之、三島好雄氏らが、DMH誘発ラット実験大腸癌のDNA合成系酵素に与えるSSMの影響について、大腸正常部分が低下S活性を示したことから、発癌抑制効果、癌部分が低下K活性を示したことから、癌増殖抑制効果の可能性を示唆したことは、われわれが、日常、多数の臨床例を通して経験してきた再発、再燃の減少、癌巣の成長停滞、退縮等におけるSSMの影響と併せて、癌予防の問題も含めて、極めて興味深い。最近、癌告知の問題が、特にquality of life、informed consent、法的な問題も含めて、討議の対象となることが多い。われわれは、多数の癌患者の来訪を得て、アンケートを通じ、資料を集計中である。放射線による白血球減少の抑制作用の解析も最終段階にある。

研究業績

論文

- 1) 藤田敬四郎, 新井愛彦, 平井敏之, 丸山千里, 平尾隆三¹⁾ (¹⁾平尾医院): [原著] 当施設における結核菌体抽出物質 (SSM) 使用登録癌患者数, 特に婦人科領域における過去8年間の推移と現況と悪性中皮腫の1症例. 日産婦東京会誌, 37, 161~167, 1988.

学会発表

- 1) 藤田敬四郎, 平井敏之, 後藤博一, 新井愛彦, 仲地紀良¹⁾, 岩城弘子, 小島大輔, 飯田和美, 宮崎定活, 本多悟, 丸山千里 (¹⁾老人科): [展示] 当施設におけるSSM使用登録癌患者数の現況と長期にわたり希有な治療経過をとった腹部悪性腫瘍の2例. 第56回日本医科大学医学会総会, 1988.
- 2) 藤田敬四郎, 平井敏之, 後藤博一, 新井愛彦, 仲地紀良¹⁾, 飯田和美, 宮崎定活, 本多悟, 岩城弘子, 丸山千里 (¹⁾老人科): [一般講演] 当施設における結核菌体抽出物質 (SSM) 使用登録癌患者数の現況 (第10報) 及び10年以上加療中の進行末期癌患者の経過概要. 第26回日本癌治療学会総会, 1988.
- 3) 飯田和美, 藤田敬四郎, 後藤博一, 新井愛彦, 仲地紀良¹⁾, 岩城弘子, 平井敏之, 丸山千里 (¹⁾老人科): [展示] SSM経口投与の試み; 基礎的検討. 第26回日本癌治療学会総会, 1988.

あ と が き

「日本医科大学研究業績集」を「日本医科大学研究業績年報」と改め、その内容にも手を加えてから3年が経過し、新しいスタイルも定着しつつある様に思われる。殊に、研究室の研究の意図や研究活動の状況を記した「研究概要」は、それぞれの研究室の活動内容を俯瞰し、理解を容易にするとする点で好評の様である。

big scienceの様相を濃くしつつある最近の医学研究は勿論、ナイーブな驚きに触発されて始ったばかりの小さな研究にとっても、上質な情報が重要であることに違いはない。この年報が、教室活動の単なる記録にとどまることなく、何らかの形で、研究者のイマジネーションを刺激し、研究の推進に役立てばと願っている。

終わりに、昭和63年度の研究業績年報の作製に携われた関係各位に深く感謝するものである。

平成2年1月

研究委員会 横 室 公 三

平成2年 3 月 10 日 印 刷

平成2年 3 月 20 日 発 行

発 行 日 本 医 科 大 学
研 究 委 員 会

〒113 東京都文京区千駄木1-1-5

TEL 03 (822) 2131

印 刷 栄 和 印 刷 株 式 会 社

〒211 川崎市中原区井田杉山町478

TEL 044 (752) 8491

